



**IBM System x3550 M3
Type 4254 および 7944
問題判別の手引き**





**IBM System x3550 M3
Type 4254 および 7944
問題判別の手引き**

— お願い —

本書および本書で紹介する製品をご使用になる前に、519 ページの『ヘルプおよび技術サポートの入手』に記載されている一般情報、523 ページの『特記事項』、「保証情報」、および IBM Documentation CD に収録されている「*Safety Information*」および「*Environmental Notices and User Guide*」の各資料をお読みください。

本装置は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 に適合しています。

本製品およびオプションに電源コード・セットが付属する場合は、それぞれ専用のものになっていますので他の電気機器には使用しないでください。

お客様の環境によっては、資料中の円記号がバックスラッシュと表示されたり、バックスラッシュが円記号と表示されたりする場合があります。

原典： IBM System x3550 M3
Type 4254 and 7944
Problem Determination and Service Guide

発行： 日本アイ・ピー・エム株式会社

担当： トランスレーション・サービス・センター

第12版第1刷 2013.10

© Copyright IBM Corporation 2013.

目次

安全について	vii
トレーニングを受けたサービス技術員向けのガイドライン	ix
安全点検ガイド	ix
電気機器の保守のためのガイドライン	x
安全に関する注意書き	xi

第 1 章 ここから開始します 1

問題の診断	1
文書化されていない問題	4

第 2 章 IBM System x3550 M3 サーバー 5

関連資料	5
本書で使用される注記	6
機能および仕様	7
サーバーのコントロール、LED、および電源	10
正面図	10
オペレーター情報パネル	11
Light Path 診断パネル	13
背面図	14
サーバーのパワー・サプライ	17
サーバーの電源をオンにする	18
サーバーの電源をオフにする	18
内部 LED、コネクタ、およびジャンパー	19
システム・ボードの内部コネクタ	20
システム・ボードの外部コネクタ	20
システム・ボードのスイッチとジャンパー	21
システム・ボード LED	25
システム・ボードのオプション装置コネクタ	25

第 3 章 診断 27

診断ツール	27
イベント・ログ	28
Setup ユーティリティを使用してイベント・ログを表示する	29
サーバーを再始動することなく、イベント・ログを表示する	30
エラー・ログの消去	31
エラー・メッセージ	32
システム・イベント・ログ	32
統合管理モジュール (IMM) エラー・メッセージ	32
POST	252
POST エラー・コード	252
診断プログラムおよびメッセージ	270
診断プログラムの実行	270
診断テキスト・メッセージ	271
テスト・ログの表示	271
診断メッセージ	272
チェックアウト手順	306
チェックアウト手順について	306

チェックアウト手順の実行	307
トラブルシューティング表	308
DVD ドライブの問題	309
一般的な問題	310
ハード・ディスクの問題	310
ハイパーバイザーの問題	313
再現性の低い問題	313
キーボード、マウス、またはポインティング・デバイスの問題	314
メモリーの問題	316
マイクロプロセッサ問題	318
モニターおよびビデオの問題	318
オプション装置の問題	321
電源問題	323
シリアル装置の問題	326
ServerGuide の問題	327
ソフトウェアの問題	328
USB ポートの問題	328
ビデオの問題	329
Light Path 診断	329
Light Path 診断 LED	332
パワー・サプライ LED	339
AC パワー・サプライ LED	340
DC パワー・サプライ LED	341
システム・パルス LED	343
サーバー・ファームウェアのリカバリー	344
インバンドの手動リカバリー方式	344
インバンドの自動ブート・リカバリー方式	347
アウト・オブ・バンド方式	347
自動ブート・リカバリー (ABR)	347
Nx ブート障害	348
電源の問題の解決	348
イーサネット・コントローラーの問題の解決	349
未解決問題の解決	350
問題判別のヒント	351

第 4 章 部品リスト、IBM System x3550 M3 Type 4254 および 7944 353

交換可能なサーバー・コンポーネント	353
消耗部品	359
プロダクト・リカバリー CD	360
電源コード	366

第 5 章 コンポーネントの取り外しと交換 367

取り付けのガイドライン	367
システムの信頼性に関するガイドライン	369
電源オンされているサーバー内部での作業	370
静電気に弱い装置の取り扱い	370
装置またはコンポーネントの返却	371

内部ケーブルのルーティングおよびコネクタ	371
消耗部品および Tier 1 CRU の取り外しと交換	375
カバーの取り外し	376
カバーの取り付け	377
マイクロプロセッサ 2 エアー・バッフルの取り外し	378
マイクロプロセッサ 2 エアー・バッフルの取り付け	379
DIMM エアー・バッフルの取り外し	380
DIMM エアー・バッフルの取り付け	381
メモリー・モジュールの取り外し	382
メモリー・モジュールの取り付け	383
DIMM 取り付け順序	386
メモリー・ミラーリング	387
Online-spare メモリー	389
DIMM の取り付け	390
ホット・スワップ・ハード・ディスクの取り外し	391
ホット・スワップ・ハード・ディスクの取り付け	392
ホット・スワップ・ハード・ディスクの ID	393
シンプル・スワップ・ハード・ディスクの取り外し	394
シンプル・スワップ・ハード・ディスクの取り付け	395
シンプル・スワップ・ハード・ディスクの ID	397
オプションの DVD ドライブの取り外し	397
オプション DVD ドライブの取り付け	399
アダプターの取り外し	403
アダプターの交換	404
SAS/SATA RAID ライザー・カード・アセンブリの取り外し	408
SAS/SATA RAID ライザー・カード・アセンブリの取り付け	409
SAS/SATA RAID ライザー・カードからの	
ServeRAID SAS/SATA コントローラーの取り外し	410
SAS/SATA RAID ライザー・カードへの	
ServeRAID SAS/SATA コントローラーの取り付け	412
オプションの ServeRAID アダプター拡張機能キーの取り外し	415
オプションの ServeRAID アダプター拡張機能キーの取り付け	417
ホット・スワップ・ファン・アセンブリの取り外し	419
ホット・スワップ・ファン・アセンブリの取り付け	421
ホット・スワップ AC パワー・サプライの取り外し	422
ホット・スワップ AC パワー・サプライの取り付け	424
USB 組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスの取り外し	427
USB 組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスの取り付け	428
仮想メディア・キーの取り外し	429
仮想メディア・キーの取り付け	430

オプションの 2 ポート・イーサネット・アダプターの取り外し	431
オプションの 2 ポート・イーサネット・アダプターの取り付け	432
リモート・バッテリーとして取り付けられた RAID アダプター・バッテリーの取り外し	436
リモート・バッテリーとしての RAID アダプター・バッテリーのサーバーへの取り付け	438
システム・バッテリーの取り外し	439
システム・バッテリーの取り付け	442
Tier 2 の CRU の取り外しと交換	443
ベゼルの取り外し	444
ベゼルの取り付け	445
オプションの光学式ドライブ・ケージの取り外し	446
オプションの光学式ドライブ・ケージの取り付け	447
DVD ケーブルの取り外し	448
DVD ケーブルの取り付け	450
PCI ライザー・カード・アセンブリの取り外し	452
PCI ライザー・カード・アセンブリの取り付け	453
ライザー・カードからの PCI ライザー・カード・ブラケットの取り外し	454
ライザー・カードへの PCI ライザー・カード・ブラケットの取り付け	455
ホット・スワップ SAS/SATA ハード・ディスク・バックプレーンの取り外し	456
ホット・スワップ SAS/SATA ハード・ディスク・バックプレーンの取り付け	457
シンプル・スワップ SATA ハード・ディスク・バックプレート・アセンブリの取り外し	459
シンプル・スワップ SATA ハード・ディスク・バックプレート・アセンブリの取り付け	460
オペレーター情報パネル・アセンブリの取り外し	462
オペレーター情報パネル・アセンブリの取り付け	463
FRU の取り外しと交換	464
240 VA 安全カバーの取り外し	465
240 VA 安全カバーの取り付け	466
マイクロプロセッサとヒートシンクの取り外し	467
マイクロプロセッサおよびヒートシンクの取り付け	470
熱伝導グリース	475
ヒートシンク保持モジュールの取り外し	476
ヒートシンク保持モジュールの取り付け	477
システム・ボードの取り外し	478
システム・ボードの取り付け	481

第 6 章 構成情報と説明	485
ファームウェアの更新	485
サーバーの構成	486
ServerGuide Setup and Installation CD の使用	488
ServerGuide の機能	489
セットアップおよび構成の概要	490

標準的なオペレーティング・システムのインストール	491
ServerGuide を使用しないオペレーティング・システムのインストール	491
Setup ユーティリティの使用	492
Setup ユーティリティの開始	492
Setup ユーティリティのメニュー選択項目	493
パスワード	497
Boot Manager プログラムの使用	500
バックアップ・サーバー・ファームウェアの開始	500
統合管理モジュールの使用	501
リモート・プレゼンス機能およびブルー・スクリーン・キャプチャー機能の使用	503
リモート・プレゼンス機能の使用可能化	504
IMM 用の IP アドレスの取得	504
Web インターフェースへのログオン	505
組み込みハイパーバイザーの使用	505
フラッシュ・デバイス・イメージの回復	506
Broadcom Gigabit Ethernet ユーティリティ・プログラムの使用可能化	507
Gigabit Ethernet コントローラーの構成	507
LSI Configuration ユーティリティ・プログラムの使用	507
LSI Configuration ユーティリティ・プログラムの開始	509
ハード・ディスクのフォーマット	509
ハード・ディスクの RAID アレイの作成	510
IBM Advanced Settings ユーティリティ・プログラム	510
IBM Systems Director の更新	511
最新バージョンのインストール	511
ご使用の管理サーバーがインターネットに接続されている場合の更新のインストール	511
ご使用の管理サーバーがインターネットに接続されていない場合の更新のインストール	512
汎用固有 ID (UUID) の更新	512
DMI/SMBIOS データの更新	515

付録. ヘルプおよび技術サポートの入手	519
依頼する前に	519
ヘルプおよび情報を WWW から入手する	520
IBM への DSA データの送信方法	520
個別設定したサポート Web ページの作成	521
ソフトウェアのサービスとサポート	521
ハードウェアのサービスとサポート	521

特記事項.	523
商標	524
重要事項	524
粒子汚染	525
通信規制の注記	526
電波障害自主規制特記事項	526
Federal Communications Commission (FCC) statement	526
Industry Canada Class A emission compliance statement	527
Avis de conformité à la réglementation d'Industrie Canada	527
Australia and New Zealand Class A statement	527
European Union EMC Directive conformance statement	527
Germany Class A statement	528
VCCI クラス A 情報技術装置	529
電子情報技術産業協会 (JEITA) 表示	529
Korea Communications Commission (KCC) statement	529
Russia Electromagnetic Interference (EMI) Class A statement	529
People's Republic of China Class A electronic emission statement	530
Taiwan Class A compliance statement	530

索引	531

安全について

Before installing this product, read the Safety Information.

قبل تركيب هذا المنتج، يجب قراءة الملاحظات الأمنية

Antes de instalar este produto, leia as Informações de Segurança.

在安装本产品之前，请仔细阅读 **Safety Information**
(安全信息)。

安裝本產品之前，請先閱讀「安全資訊」。

Prije instalacije ovog produkta obavezno pročitajte Sigurnosne Upute.

Před instalací tohoto produktu si přečtěte příručku bezpečnostních instrukcí.

Læs sikkerhedsforskrifterne, før du installerer dette produkt.

Lees voordat u dit product installeert eerst de veiligheidsvoorschriften.

Ennen kuin asennat tämän tuotteen, lue turvaohjeet kohdasta Safety Information.

Avant d'installer ce produit, lisez les consignes de sécurité.

Vor der Installation dieses Produkts die Sicherheitshinweise lesen.

Πριν εγκαταστήσετε το προϊόν αυτό, διαβάστε τις πληροφορίες ασφάλειας
(safety information).

לפני שתתקינו מוצר זה, קראו את הוראות הבטיחות.

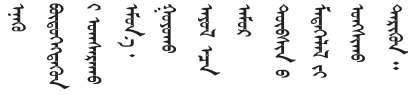
A termék telepítése előtt olvassa el a Biztonsági előírásokat!

Prima di installare questo prodotto, leggere le Informazioni sulla Sicurezza.

製品の設置の前に、安全情報をお読みください。

본 제품을 설치하기 전에 안전 정보를 읽으십시오.

Пред да се инсталира овој продукт, прочитајте информацијата за безбедност.



Les sikkerhetsinformasjonen (Safety Information) før du installerer dette produktet.

Przed zainstalowaniem tego produktu, należy zapoznać się z książką "Informacje dotyczące bezpieczeństwa" (Safety Information).

Antes de instalar este produto, leia as Informações sobre Segurança.

Перед установкой продукта прочтите инструкции по технике безопасности.

Pred inštaláciou tohto zariadenia si pečítajte Bezpečnostné predpisy.

Pred namestitvijo tega proizvoda preberite Varnostne informacije.

Antes de instalar este producto, lea la información de seguridad.

Läs säkerhetsinformationen innan du installerar den här produkten.

ཐོན་ཁུངས་འདི་བདེ་སྤྱད་མ་བྱས་གོང་། སྐྱོར་གྱི་ཡིད་གཟབ་
བྱ་འདྲ་མིན་ཡིད་པའི་འོད་མེར་བལྟ་དགོས།

Bu ürünü kurmadan önce güvenlik bilgilerini okuyun.

مەزكۇر مەھسۇلاتنى ئورنىتىشتىن بۇرۇن بىخەتەرلىك ئۇچۇرلىرىنى ئوقۇپ چىقىڭ.

Youq mwngz yungh canjbinj neix gaxgonq, itdingh aeu doeg aen
canjbinj soengq cungj vahgangj ancien siusik.

トレーニングを受けたサービス技術員向けのガイドライン

このセクションには、トレーニングを受けたサービス技術員のための情報を示します。

安全点検ガイド

この情報は、ご使用の IBM® 製品の保守を行う場合に、潜在的に存在する危険な状況を見極めるために役立てていただくためのものです。

各 IBM 製品には、設計され組み立てられた時点で、ユーザーとサービス技術員を障害から保護するための安全項目が義務付けられています。このセクションの情報は、こうした項目のみに言及します。このセクションの対象とならない IBM 以外の代替製品の使用または IBM 以外の機構やオプション装置の接続により起こりうる潜在的な危険を識別するには、適切な判断を行う必要があります。危険な状況が存在する場合、その危険がどの程度深刻なものであるか、この問題を解決せずに製品に対する作業を続行できるかどうかについて判断する必要があります。

次のような状況とそれがもたらす危険について検討します。

- 電氣的な危険。特に、1 次側電源（フレームの 1 次電圧が、重大または致命的な感電事故の原因になる場合があります。）
- 爆発の危険。例えば、損傷を受けた CRT 表面またはコンデンサーの膨らみ。
- 機械的な危険。例えば、ハードウェアのゆるみまたは脱落。

製品を点検して潜在的に危険な状態の有無を調べるには、以下のステップを実行してください。

1. 電源がオフになっていて、電源コードが切り離されていることを確認します。
2. 外部カバーに損傷、ゆるみ、または切れ目がないことを確認し、鋭くとがった箇所の有無を調べます。
3. 以下について電源コードをチェックします。
 - 接地線を含む 3 線式の電源コードのコネクターが良好な状態であるかどうか。計器を使用して、外部接地ピンと筐体接地間の 3 線式接地線の導通が、0.1 オーム以下であることを測定により確認します。
 - 電源コードのタイプは正しい。
 - 絶縁体が擦り切れたり摩耗していないか。
4. カバーを取り外します。
5. 明らかに IBM によるものではない改造箇所をチェックします。IBM 以外の改造箇所の安全については適切な判断を行ってください。
6. 金属のやすりくず、汚れ、水やその他の液体、あるいは火災や煙による損傷の兆候など、明らかに危険な状況でないか、システムの内部をチェックします。
7. 磨耗したケーブル、擦り切れたケーブル、または何かではさまれているケーブルがないかをチェックします。
8. パワー・サプライ・カバーの留め金具（ねじまたはリベット）が取り外されたり、不正な変更がされていないことを確認します。

電気機器の保守のためのガイドライン

電気機器を扱うときは、以下のガイドラインを遵守してください。

- 作業域に電氣的危険がないかどうかをチェックしてください。こうした危険とは、例えば、濡れたフロア、接地されていない電源延長ケーブル、安全保護用のアースがないことなどです。
- 承認済みのツールおよびテスト装置を使用してください。工具の中には、握りや柄の部分のソフト・カバーが感電防止のための絶縁性を持たないものがあります。
- 安全な操作状態のために電気ハンド・ツールを定期的に検査および保守してください。磨耗したり破損したツールやテスターは使用しないでください。
- デンタル・ミラーの反射面で、通電中の電気回路に触れないでください。この表面は導電性のため、これに触れた場合、人体の傷害や機械の損傷を起こす可能性があります。
- ゴム製のフロア・マットの中には、静電気の放電を減少させるために、小さい導電ファイバーを含むものがあります。このタイプのマットを感電の保護として使用しないでください。
- 危険な状態、または危険な電圧を持つ装置のそばで、1人で作業しないでください。
- 電気事故が発生した場合に、すぐに電源をオフにできるよう、非常電源切斷 (EPO) スイッチ、切斷スイッチ、あるいは電源コンセントの場所を見つけておきます。
- 機械的な点検、電源近くでの作業、またはメイン・ユニットの取り外しや取り付けを行う前には、すべての電源を切り離してください。
- 機器での作業を開始する前に、電源コードを抜いておきます。電源コードを抜くことができない場合は、この機器に電力を供給している配電盤の電源をオフにし、そのままの状態に保つようお客様に依頼してください。
- 電源と回路が切斷されていることを前提にしないでください。まず、電源がオフになっていることを確認してください。
- 電気回路がむき出しの機器で作業する必要がある場合、次の予防手段をとってください。
 - 必要に応じて、すぐに電源スイッチを切れるように、電源オフ制御機構を理解している別の人物に立ち会ってもらおう。
 - 電源がオンになっている電気装置の作業を行う際は、片手のみを使用する。もう一方の手は、ポケットの中に入れておくか、背中に回しておきます。こうすることで、感電の原因となる完全な回路が形成されるのを防ぐことができます。
 - テスターを使用する時は、制御を正しく設定し、テスター用の承認済みプローブ・リードおよび付属品を使用する。
 - 適切なゴム製マットの上に立ち、床の金属部分や機器の枠などのアースと自分の身体とを絶縁する。
- 高電圧の測定時には、細心の注意を払ってください。
- パワー・サプライ、ポンプ、ブロー、ファン、電動発電機などのコンポーネントの正しい接地状態を確保するために、これらのコンポーネントの保守は、その通常の作動位置以外の場所では行わないでください。

- 電氣的事故が発生した場合は、十分に用心し、電源をオフにして、別の人物に医療援助を求めに行かせてください。

安全に関する注意書き

以下では、本書に記載されている「注意」および「危険」に関する情報を説明します。

重要:

本書のすべての「注意」と「危険」の注意書きには番号のラベルが付いています。この番号は、英語の **Caution** と **Danger** と対応する翻訳文の「注意」と「危険」を相互参照するのに使用します。

例えば、「Caution」の注意書きに数字の 1 が付いていた場合、「IBM Safety Information」小冊子を見ればその注意書きに対応した 1 の翻訳文が見つかります。

本書で述べられている手順を実行する前に「注意」と「危険」の注意書きをすべてお読みください。もし、システムあるいはオプションに追加の安全情報がある場合はその装置の取り付けを開始する前にお読みください。

安全 1



危険

電源ケーブルや電話線、通信ケーブルからの電流は危険です。

感電を防ぐために次の事項を守ってください。

- 雷雨の間はケーブルの接続や切り離し、または本製品の設置、保守、再構成を行わないでください。
- すべての電源コードは正しく配線され接地されたコンセントに接続してください。
- ご使用の製品に接続するすべての装置も正しく配線されたコンセントに接続してください。
- 信号ケーブルの接続または切り離しは可能なかぎり片手で行ってください。
- 火災、水害、または建物に構造的損傷の形跡が見られる場合は、どの装置の電源もオンにしないでください。
- 取り付けおよび構成手順で特別に指示されている場合を除いて、装置のカバーを開く場合はその前に、必ず、接続されている電源コード、通信システム、ネットワーク、およびモデムを切り離してください。
- ご使用の製品または接続された装置の取り付け、移動、またはカバーの取り外しを行う場合には、次の表の説明に従ってケーブルの接続および切り離しを行ってください。

ケーブルの接続手順:

1. すべての電源をオフにします。
2. 最初に、すべてのケーブルを装置に接続します。
3. 信号ケーブルをコネクタに接続します。
4. 電源コードを電源コンセントに接続します。
5. 装置の電源をオンにします。

ケーブルの切り離し手順:

1. すべての電源をオフにします。
2. 最初に、電源コードをコンセントから取り外します。
3. 信号ケーブルをコネクタから取り外します。
4. すべてのケーブルを装置から取り外します。

安全 2



注意:

リチウム・バッテリーを交換する場合は、IBM 部品番号 33F8354 またはメーカーが推奨する同等タイプのバッテリーのみを使用してください。システムにリチウム・バッテリーが入ったモジュールがある場合、そのモジュールの交換には同じメーカーの同じモジュール・タイプのみを使用してください。バッテリーにはリチウムが含まれており、適切な使用、扱い、廃棄をしないと、爆発するおそれがあります。

次のことはしないでください。

- 水に投げ込む、あるいは浸す
- 100°C (華氏 212 度) を超える過熱
- 修理または分解

バッテリーを廃棄する場合は地方自治体の条例に従ってください。

安全 3



注意:

レーザー製品 (CD-ROM、DVD ドライブ、光ファイバー装置、または送信機など) を取り付ける場合には以下のことに注意してください。

- カバーを外さないこと。カバーを取り外すと有害なレーザー光を浴びることがあります。この装置の内部には保守が可能な部品はありません。
- 本書に記述されていないコントロールや調整を使用したり、本書に記述されていない手順を実行すると、有害な光線を浴びることがあります。



危険

一部のレーザー製品には、クラス 3A またはクラス 3B のレーザー・ダイオードが組み込まれています。次のことに注意してください。

カバーを開くとレーザー光線の照射があります。光線を見つめたり、光学装置を用いて直接見たり、光線を直接浴びることは避けてください。

クラス 1 レーザー製品
Laser Klasse 1
Laser Klass 1
Luokan 1 Laserlaitte
Appareil A Laser de Classe 1

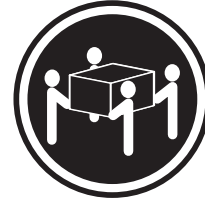
安全 4



≥ 18 kg (39.7 lb)



≥ 32 kg (70.5 lb)



≥ 55 kg (121.2 lb)

注意:

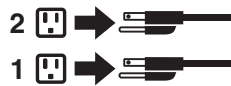
装置を持ち上げる場合には、安全に持ち上げる方法に従ってください。

安全に関する注記 5



注意:

装置の電源制御ボタンおよび電源機構の電源スイッチは、装置に供給されている電流をオフにするものではありません。装置には 2 本以上の電源コードが使われている場合があります。装置から完全に電気を取り除くには、給電部からすべての電源コードを切り離してください。



安全 6



注意:

もし電源コードを装置側でストレイン・リリーフ・ブラケットで固定した場合は、電源コードの給電部側はいつでも容易にアクセスできるようにしておく必要があります。

安全 8



注意:

電源機構 (パワー・サプライ) のカバーまたは次のラベルが貼られている部分のカバーは決して取り外さないでください。



このラベルが貼られているコンポーネントの内部には、危険な電圧、強い電流が流れています。これらのコンポーネントの内部には、保守が可能な部品はありません。これらの部品に問題があると思われる場合はサービス技術員に連絡してください。

安全 12



注意:

このラベルが貼られている近くには高温になる部品が存在します。



安全 26



注意:

ラックに装着された装置の上には物を置かないでください。



ラック安全情報、安全 2



危険

- ラック・キャビネットのレベル・パッドは必ず下げてください。
- ラック・キャビネットには必ずスタビライザー・ブラケットを取り付けてください。
- サーバーおよびオプション装置は、必ずラック・キャビネットの最下部から取り付けてください。
- 最も重い装置は、必ずラック・キャビネットの最下部に取り付けてください。

第 1 章 ここから開始します

多くの問題は、本書およびワールド・ワイド・ウェブ (WWW) にあるトラブルシューティング手順に従うことで、外部の支援を得ずに解決することができます。

本書には、お客様が実行できる診断テスト、トラブルシューティング手順、およびエラー・メッセージとエラー・コードの説明が記載されています。ご使用のオペレーティング・システムおよびソフトウェアに付属の資料にも、トラブルシューティング情報が含まれています。

問題の診断

IBM または認定保証サービス提供者に連絡する前に、以下の手順を、ここに示されている順序で実行して、サーバーに関する問題を診断してください。

手順

1. **問題が発生する前の状態にサーバーを戻します。** 問題が発生する前に変更したハードウェア、ソフトウェア、あるいはファームウェアがある場合は、可能であればそれらの変更を元に戻します。これを行う対象には、以下の項目があります。
 - ハードウェア・コンポーネント
 - デバイス・ドライバおよびファームウェア
 - システム・ソフトウェア
 - UEFI ファームウェア
 - システム入力電力またはネットワーク接続
2. **Light Path 診断 LED およびイベント・ログを確認します。** このサーバーは、ハードウェアおよびソフトウェアの問題診断が容易に行えるように設計されています。
 - **Light Path 診断 LED** Light Path 診断 LED の使用については、329 ページの『Light Path 診断』を参照してください。
 - **イベント・ログ:** 通知イベントおよび診断については、28 ページの『イベント・ログ』を参照してください。
 - **ソフトウェアまたはオペレーティング・システムのエラー・コード:** 特定のエラー・コードに関する情報は、ソフトウェアまたはオペレーティング・システムの資料を参照してください。資料については、製造メーカーの Web サイトをご覧ください。
3. **IBM Dynamic System Analysis (DSA) を実行して、システム・データを収集します。** ハードウェア、ファームウェア、ソフトウェア、およびオペレーティング・システムについての情報を収集するには、Dynamic System Analysis (DSA) を実行します。IBM または認定保証サービス提供者に連絡する際に、この情報を提供してください。DSA の実行方法については、「*Dynamic System Analysis Installation and User's Guide*」を参照してください。

最新バージョンの DSA コードおよび「*Dynamic System Analysis Installation and User's Guide*」をダウンロードするには、<http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnocid=SERV-DSA> にアクセスしてください。

4. **コードの更新を確認して、適用します。** 多くの問題に対応するフィックスまたは回避策が、更新済みの UEFI ファームウェア、デバイス・ファームウェア、またはデバイス・ドライバで使用可能である場合があります。・サーバー用に使用可能な更新のリストを表示するには、<http://www.ibm.com/support/fixcentral/> にアクセスしてください。

重要: 誤ったファームウェアまたはデバイス・ドライバ・アップデートをインストールすると、サーバーの誤動作の原因となることがあります。ファームウェアまたはデバイス・ドライバの更新をインストールする前に、ダウンロードした更新に付属のすべての README および変更履歴ファイルをお読みください。これらのファイルには、更新に関する重要な情報および更新のインストール手順が記載されています。この手順には、以前のファームウェアまたはデバイス・ドライバのバージョンから最新のバージョンに更新するための特殊な手順も含まれます。

重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションに対してサポートされていることを確認してください。

- a. **UpdateXpress システム更新をインストールします。** UpdateXpress System Pack または UpdateXpress CD イメージとしてパッケージされているコード更新をインストールできます。UpdateXpress System Pack には、サーバー用のオンライン・ファームウェア更新とデバイス・ドライバ更新の統合テスト済みバンドルが収録されています。さらに、IBM ToolsCenter Bootable Media Creator を使用して、ファームウェア更新の適用およびブリブート診断の実行に適切なブート可能メディアを作成することができます。UpdateXpress System Pack について詳しくは、および 485 ページの『ファームウェアの更新』を参照してください。Bootable Media Creator について詳しくは、<http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnocid=TOOL-BOMC>を参照してください。

リストされた重要な更新の中に、リリースの日付が UpdateXpress System Pack または UpdateXpress イメージのリリース日以降のものがある場合は、必ず個別にインストールしてください (ステップ 4b を参照)。

- b. **手動のシステム更新をインストールします。**

- 1) **既存のコード・レベルを判別します。**

DSA で、「**Firmware/VPD**」をクリックしてシステム・ファームウェア・レベルを表示するか、「**Software**」をクリックしてオペレーティング・システム・レベルを表示します。

- 2) **最新レベルではないコードの更新をダウンロードして、インストールします。**

・サーバー用に使用可能な更新のリストを表示するには、<http://www.ibm.com/support/fixcentral/> にアクセスしてください。

更新をクリックすると、情報ページが表示され、その更新で修正された問題のリストが記載されています。このリストにお客様の特定の問題がないか調べてください。ただし、お客様の問題がリストされていない場合、更新をインストールすると問題が解決される場合があります。

5. **構成の誤りを確認して、訂正します。** サーバーが誤って構成されている場合、それを使用可能にするとシステム機能に障害が起きることがあります。サーバーの構成を誤って変更した場合、使用可能であったシステム機能が作動を停止することがあります。
 - a. **インストール済みのすべてのハードウェアおよびソフトウェアがサポートされていることを確認します。** <http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us/> を参照して、サーバーがインストール済みのオペレーティング・システム、オプション装置、およびソフトウェア・レベルをサポートしていることを確認してください。サポートされていないハードウェアまたはソフトウェア・コンポーネントがある場合、それをアンインストールして、それが問題の原因ではないかどうかを判別します。IBM または認定保証サービス提供者に連絡して支援を求める前に、サポートされていないハードウェアを取り外す必要があります。
 - b. **サーバー、オペレーティング・システム、およびソフトウェアのインストールおよび構成が正しく行われていることを確認します。** 多くの構成問題は、電源ケーブルや信号ケーブルの緩み、あるいははっきり取り付けられていないアダプターに原因があります。サーバーの電源をオフにし、ケーブルを接続し直し、アダプターを取り付け直して、サーバーの電源をオンに戻すことで、問題を解決できる場合があります。チェックアウト手順の実行については、306 ページの『チェックアウト手順について』を参照してください。サーバーの構成については、485 ページの『第 6 章 構成情報と説明』を参照してください。
6. **コントローラーおよび管理ソフトウェアの資料を参照します。** 問題が特定の機能に関連している場合 (例えば、RAID ハード・ディスクが RAID アレイにオフラインとしてマークされる場合) には、関連のコントローラーと管理または制御ソフトウェアの資料を参照して、コントローラーが正しく構成されていることを確認してください。

RAID アダプターおよびネットワーク・アダプターなど、さまざまなデバイスの問題判別に関する情報を入手できます。

オペレーティング・システムまたは IBM ソフトウェアやデバイスに関する問題については、<http://www.ibm.com/supportportal/> にアクセスしてください。

7. **トラブルシューティング手順および RETAIN のヒントを確認します。** トラブルシューティング手順および RETAIN のヒントには、既知の問題および推奨される解決策が文書化されています。トラブルシューティング手順および RETAIN のヒントを検索するには、<http://www.ibm.com/supportportal/> にアクセスしてください。
8. **トラブルシューティング表を使用します。** 識別可能な現象が発生している問題の解決方法を見つけるには、308 ページの『トラブルシューティング表』を参照してください。

単一の問題が複数の現象の原因になっていることがあります。最も顕著な現象のトラブルシューティング手順に従ってください。その手順で問題を診断できない場合は、可能であれば、別の現象に関する手順を使用してください。

問題が解決しない場合は、IBM または認定保証サービス提供者に連絡して、追加の問題判別および場合によってはハードウェアの交換について支援を求めてください。オンライン・サービス要求を開くには、http://www.ibm.com/support/entry/portal/Open_service_request/ にアクセスしてください。エラー・コードおよび収集されたデータに関する情報を提供できるように準備してください。

文書化されていない問題

診断手順を完了しても問題が残る場合、その問題はこれまでに IBM によって確認されていない可能性があります。すべてのコードが最新レベルであり、すべてのハードウェアおよびソフトウェアの構成が有効であり、どの Light Path 診断 LED およびログ項目もハードウェア・コンポーネントの障害を示していないことを確認した後で、IBM または認定保証サービス提供者に連絡して支援を得てください。

オンライン・サービス要求を開くには、http://www.ibm.com/support/entry/portal/Open_service_request/ にアクセスしてください。エラー・コード、収集されたデータ、および使用した問題判別手順についての情報を提供できるように準備してください。

第 2 章 IBM System x3550 M3 サーバー

本書には、ご使用の IBM System x3550 M3 サーバーをセットアップするための情報および手順、いくつかのオプション装置の取り付け手順、サーバーの配線および構成、装置の取り外しおよび交換、ならびに診断およびトラブルシューティング情報を記載しています。

本書の最新版は、<http://www.ibm.com/supportportal/> から入手できます。

保証の条件に関する情報については、サーバーに付属の資料「保証情報」を参照してください。サービスと支援を受ける方法については、519 ページの『ヘルプおよび技術サポートの入手』を参照してください。

関連資料

この資料には、サーバーのセットアップと配線の方法、サポートされるオプション装置の取り付け方法、サーバーの構成方法を含め、サーバーに関する一般情報が記載されています。また、ユーザーが自分自身で問題を解決するのに役立つ情報や、サービス技術員向けの情報も記載されています。サーバーには、以下の資料も付属しています。

- *Environmental Notices and User Guide*

この資料は、IBM Documentation CD に PDF 形式で収められています。この資料には、環境に関する注記が翻訳されて収録されています。

- *IBM 機械コードのご使用条件*

この資料は、IBM Documentation CD に PDF 形式で収められています。ご使用の製品用の翻訳された「IBM 機械コードのご使用条件」が記載されています。

- *重要事項*

この資料は、印刷形式でサーバーに付属します。ご使用の IBM 製品の安全、環境、および電波障害自主規制特記事項が記載されています。

- *Licenses and Attributions Documents*

この資料は、IBM Documentation CD に PDF 形式で収められています。オープン・ソースの注意が記載されています。

- *ラック搭載手順*

この印刷された資料は、サーバーをラックに取り付けるための手順を記載しており、ラック・キットに付属しています。

- *Rack Safety Information*

このマルチリンガルの資料には、ラックの資料で使用されている注意と危険の表記が記載されています。注意と危険の各表記には番号が割り当てられているため、その番号を使用して対応する日本語を見つけることができます。

- *Safety Information*

この資料は、IBM *Documentation* CD に PDF 形式で収められています。この資料には、注意と危険項目についての注記が記載されています。この文書に記載された注意と危険の注記にはそれぞれ番号が割り当てられており、これを使用して、「*Safety Information*」の中にご使用の言語で書かれた対応する注記を見付けることができます。

- *Safety Information* ラベル

この資料には、製品の安全ラベルの中国語 (簡体字)、モンゴル語、チベット語、ウィグル語、およびチワン語の翻訳バージョンが提供されています。

- 保証情報

この資料は、印刷形式でサーバーに付属します。この資料には、保証条件と、IBM Web サイト上の「IBM 保証の内容と制限」へのポインターが記載されています。

サーバーのモデルによっては、追加資料が、IBM *Documentation* CD で提供される場合もあります。

ToolsCenter for System x and BladeCenter は、ファームウェア、デバイス・ドライバ、およびオペレーティング・システムの更新、管理、およびデプロイ用のツールに関する情報が記載されているオンライン情報センターです。ToolsCenter for System x and BladeCenter は <http://publib.boulder.ibm.com/infocenter/toolsctr/v1r0/> にあります。

このサーバーには、サーバーに付属の資料には記述されていない機能が含まれている場合があります。資料は、このようなフィーチャーに関する情報を組み込むために随時更新される可能性があり、また、サーバーの資料に含まれていない追加情報を提供するための技術更新情報を利用できる場合があります。これらの更新情報は、IBM Web サイトから入手できます。更新を確認するには、<http://www.ibm.com/supportportal/> にアクセスしてください。

本書で使用される注記

本書の注意および危険に関する注記は、IBM *System x Documentation* CD に収められている複数言語による「*Safety Information*」資料にも記載されています。安全に関する各注記には番号が付いています。この番号を使用して、「*Safety Information*」資料の中で、対応する自国語の注記を見つけることができます。

本書では、次の注記が使用されます。

- **注:** この注記には、重要なヒント、ガイダンス、助言が書かれています。
- **重要:** この注記には、不都合な、または問題のある状態を避けるために役立つ情報または助言が書かれています。また、これらの注記は、プログラム、デバイス、またはデータに損傷を及ぼすおそれのあることを示します。「重要」の注記は、損傷を起こすおそれのある指示や状態の記述の直前に書かれています。
- **注意:** この注記は、ユーザーに対して危険が生じる可能性がある状態を示します。「注意」の注記は、危険となりうる手順または状態の記述の直前に書かれています。

- **危険:** これらの注記は、ユーザーに対して致命的あるいはきわめて危険となりうる状態を示します。「危険」の注記は、致命的あるいはきわめて危険となりうる手順または状態の記述の直前に書かれています。

機能および仕様

以下の情報は、サーバーの機能と仕様の要約です。

ご使用のサーバー・モデルによっては、使用できない機能があったり、一部の仕様が該当しない場合があります。

表 1. 機能および仕様

マイクロプロセッサ: - Intel Xeon™ マルチコア・マイクロプロセッサを最大 2 個サポート (1 個は取り付け済み) - レベル 3 キャッシュ - 最大 6.4 GT/秒の QuickPath Interconnect (QPI) リンク速度 注: - インテル Xeon™ 5500 シリーズ・マイクロプロセッサと Xeon™ 5600 シリーズ・マイクロプロセッサを同一サーバーには取り付けないでください。 - マイクロプロセッサのタイプと速度を判別するには、Setup ユーティリティ・プログラムを使用します。 - サポートされるマイクロプロセッサのリストについては、 http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us/ を参照してください。 メモリー: - 最小: 2 GB - 最大: 288 GB 48 GB (Unbuffered DIMM (UDIMM) 使用時) 288 GB (Registered DIMM (RDIMM) 使用時) - タイプ: PC3-10600-999、800、1066、および 1333 MHz、ECC、DDR3 registered または unbuffered SDRAM DIMM - スロット: 18 デュアル・インライン - サポート (モデルによって異なります): 2 GB および 4 GB unbuffered DIMM 2 GB、4 GB、8 GB、および 16 GB registered DIMM SATA 光学式ドライブ (オプション): - DVD-ROM - マルチバーナー ホット・スワップ・ファン: このサーバーには、5 個のデュアル・モーター・ホット・スワップ・ファンが標準装備されています。	ハード・ディスク拡張ベイ (モデルによって異なります): - 最大 8 個の 2.5 型ホット・スワップ SAS またはホット・スワップ SATA ハード・ディスク・ベイ - 最大 4 個の 2.5 型ホット・スワップ SAS/SATA またはシンプル・スワップ SATA ハード・ディスク・ベイ (オプションの光学式ドライブ・ベイを持つサーバー・モデル) PCI 拡張スロット: 2 個の PCI ライザー・スロットをサポート - スロット 1 はロー・プロファイル・カード (PCI Express Gen2 x16 または PCI-X 1.0a 64 ビット/133 MHz) をサポート - スロット 2 はハーフサイズ、フルハイット・カード (PCI Express Gen2 x16 または PCI-X 1.0a 64 ビット/133 MHz) をサポート ビデオ・コントローラー (IMM に内蔵): - Matrox G200eV (2 つのアナログ・ポート、前面に 1 つ、背面に 1 つ、同時に接続可能) 注: 最大ビデオ解像度は、75 Hz で 1600 x 1200 です。 - SVGA 互換ビデオ・コントローラー - DDR2 250 MHz SDRAM ビデオ・メモリー・コントローラー - Avocent デジタル・ビデオ圧縮 16 MB のビデオ・メモリー (拡張不可)	パワー・サブライ: - 最大 2 個のホット・スワップ・パワー・サブライで冗長性をサポート 460 ワット AC 675 ワット AC 675 ワット高効率 AC 675 ワット DC 注: サーバー内で 460 ワットのパワー・サブライと 675 ワットのパワー・サブライ、高効率パワー・サブライと高効率ではないパワー・サブライ、あるいは AC パワー・サブライと DC パワー・サブライを混用することはできません。 環境: - 室温: - サーバー電源オン時: 10°C から 35°C、高度: 0 から 914.4 m、高度が 305 m 上がるごとに 1.0°C ずつシステム温度から減らしてください。 - サーバー電源オフ時: 5°C から 45°C、最大高度: 3048 m - 出荷時: -40°C から 60°C、最大高度: 3048 m - 湿度: - サーバー電源オフ時: 20% から 80%。最大露点: 21°C。最大変化率: 5 °C/時間。 - サーバー電源オフ時: 8% から 80%、最大露点: 27°C - 粒子汚染: 重要: 浮遊微小粒子や反応性ガスは、単独で、あるいは湿気や気温など他の環境要因と組み合わせられることで、サーバーにリスクをもたらす可能性があります。微粒子およびガスの制限については、525 ページの『粒子汚染』を参照してください。 発熱量 (消費電力): - 最小構成: 194 ワット - 最大構成: 675 ワット

表 1. 機能および仕様 (続き)

内蔵機能: - 統合管理モジュール (IMM)。サーバー・プロセッサの制御およびモニター機能、ビデオ・コントローラー、およびリモート・キーボード、ビデオ、マウス、ならびにリモート・ハード・ディスク機能 (オプションの仮想メディア・キーが取り付けられている場合) を提供します。 - Broadcom BCM5709 Gb イーサネット・コントローラー (TCP/IP オフロード・エンジン (TOE) および Wake on LAN サポート付き) 5 つの USB 2.0 ポート (シャーシの前面に 2 つ、背面に 2 つ、組み込みハイパーバイザー・ソフトウェアを使用するオプションの USB フラッシュ・デバイスが取り付けられた SAS/SATA RAID ライザー・カードに 1 つ) 4 つのイーサネット・ポート (システム・ボードに 2 つ、オプションの IBM デュアル・ポート 1 Gb イーサネット・ドーター・カードが取り付けられている場合は 2 つの追加ポート) - システム管理 RJ-45 (システム管理ネットワークに接続するために背面に 1 つ)。このシステム管理コネクタは IMM 機能専用です。このコネクタは、オプションの IBM 仮想メディア・キーが取り付けられていても取り付けられていなくてもアクティブです。 - シリアル・ポート 1 個	RAID コントローラー (モデルによって異なる): - RAID レベル 0、1、および 1E を提供する ServeRAID-BR10i v2 SAS/SATA アダプター (一部のホット・スワップ・モデルに標準装備) - RAID レベル 0、1、および 1E を提供するオプションの ServeRAID-BR10i SAS/SATA アダプターをオーダー可能 - RAID レベル 0、1、5、6、10、50、および 60 を提供するオプションの ServeRAID-MR10i SAS/SATA アダプターをオーダー可能。 - オプションの RAID 5/50 および SED (自己暗号化ドライブ) アップグレード機能とともに、RAID レベル 0、1、および 10 を提供するオプションの ServerRAID M1015 SAS/SATA アダプター - オプションの RAID 6/60 および SED アップグレード機能とともに、RAID レベル 0、1、5、10 および 50 を提供するオプションの ServeRAID M5014 SAS/SATA アダプター - オプションの RAID 6/60 および SED アップグレード機能とともに、RAID レベル 0、1、5、10 および 50 を提供するオプションの ServeRAID M5015 SAS/SATA アダプター サイズ: 1U - 高さ: 43 mm - 奥行き: 711 mm - 幅: 440 mm - 質量: 約 15.9 kg (完全構成の場合) 放出音響ノイズ: - 音響パワー、アイドリング時: 最大 6.1 ベル - 音響パワー、作動時: 最大 6.1 ベル	電源入力: - 正弦波入力 (47 から 63 Hz) 必須 - 低電圧入力 - 最低: 100 V AC - 最高: 127 V AC - 高電圧入力レンジ: - 最低: 200 V AC - 最高: 240 V AC - 入力電力 (kVA) (近似値): - 最小: 0.090 kVA - 最大: 0.700 kVA 注: - 電力消費量と発熱量は、取り付けであるオプション機構と使用している電源管理オプション機構の数とタイプに応じて変動します。 - 音レベルは、管理された音響環境のもとで、米国規格協会 (ANSI) S12.10 および ISO 7779 によって指定された手順に従って測定されたもので、ISO 9296 に従って報告されています。特定の場所における実際の音圧レベルは、室内反響およびその他の近隣の騒音源によって、ここに示した平均値を超える場合があります。放出ノイズ・レベルは、無作為にサンプルとして抽出されたシステムでの公称 (上限) 音響パワー・レベル (ベル単位) を示しています。

サーバーのコントロール、LED、および電源

このセクションでは、サーバーの前面と背面にあるコントロール、発光ダイオード (LED)、およびサーバーのオン/オフの方法について説明します。

システム・ボード上の LED の位置については、25 ページの『システム・ボード LED』を参照してください。

正面図

以下の情報を使用して、サーバーの前面にあるコントロール、LED、およびコネクタを確認します。

次の図は、サーバーの前面にあるコントロール、LED、およびコネクタを示したものです。

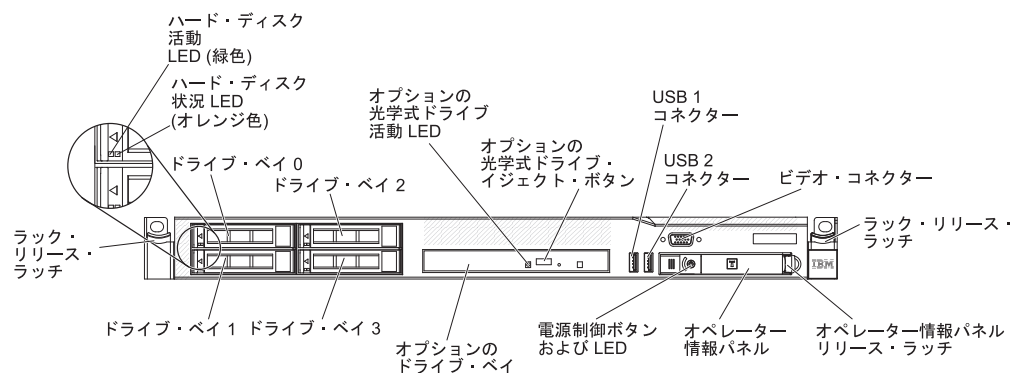


図 1. 正面図

次の図は、シンプル・スワップ・サーバー・モデル前面を示したものです。

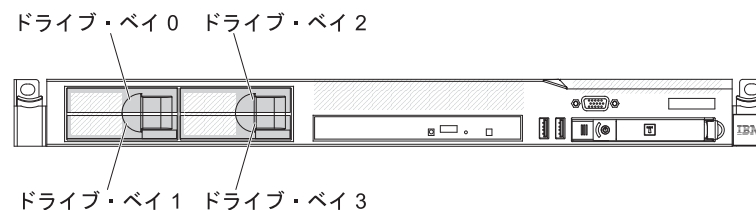


図 2. 正面図: シンプル・スワップ HDD モデル

- ・ **ラック・リリース・ラッチ:** サーバーをラックから取り出すには、サーバー前面の両側にあるこのラッチを押します。
- ・ **ハード・ディスク活動 LED:** この LED は、ホット・スワップ SAS または SATA ハード・ディスク上で使用されます。それぞれのホット・スワップ・ハード・ディスクには活動 LED があり、この LED が点滅しているときは、ドライブが使用中であることを示します。
- ・ **ハード・ディスク状況 LED:** この LED はホット・スワップ SAS または SATA ハード・ディスク上で使用されます。この LED が点灯したままになっているときは、ドライブに障害が発生したことを示します。オプションの IBM ServeRAID コントローラーがサーバーに取り付けられている場合、この LED が

ゆっくりと (1 秒に 1 回) 点滅しているときは、ドライブが再構成されていることを示します。LED が素早く (1 秒に 3 回) 点滅するときは、コントローラーがドライブを識別していることを示します。

- **DVD イジェクト・ボタン:** DVD ドライブから DVD または CD を取り出すときに、このボタンを押します。
- **DVD ドライブ活動 LED:** この LED が点灯しているときは、DVD ドライブが使用中であることを示します。
- **オペレーター情報パネル:** このパネルには、コントロールと、サーバー状況に関する情報を提供する LED が装備されています。
- **オペレーター情報パネル・リリース・ラッチ:** 青色のリリース・ラッチを左へスライドさせて Light Path 診断パネルを引き出すと、Light Path 診断 LED とボタンが見えます。Light Path 診断について詳しくは、13 ページの『Light Path 診断パネル』を参照してください。
- **ビデオ・コネクタ:** モニターは、このコネクタに接続します。サーバーの前面および背面にあるビデオ・コネクタは、両方とも同時に使用できます。
- **USB コネクタ:** USB マウスやキーボードなどの USB デバイスは、これらのコネクタのいずれかに接続します。

オペレーター情報パネル

以下の情報を使用して、オペレーター情報パネルを確認します。

次の図は、オペレーター情報パネルにあるコントロール・ボタンおよび LED を示しています。

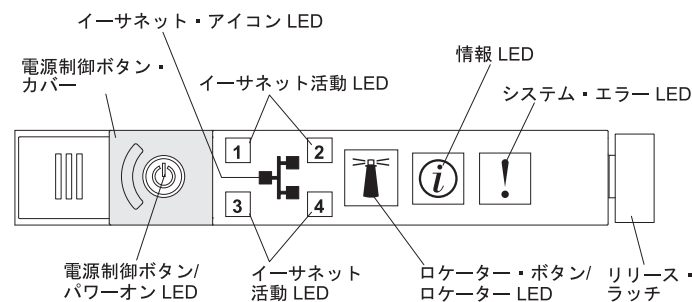


図 3. オペレーター情報パネル

- **電源制御ボタンとパワーオン LED:** サーバーの電源を手動でオンまたはオフにしたり、サーバーを電力低下状態からウェイクさせるには、このボタンを押します。パワーオン LED の状態は以下のとおりです。

オフ: AC 電源が入っていないか、パワー・サプライまたは LED 自体が故障していることを示します。

高速で点滅 (1 秒間に 4 回): サーバーはオフであり、オンにする準備ができていません。電源制御ボタンが使用不可になっています。この状態は約 20 秒から 40 秒続きます。

低速で点滅 (1 秒間に 1 回): サーバーはオフであり、オンにする準備ができています。電源制御ボタンを押すと、サーバーの電源をオンにすることができます。

点灯: サーバーの電源がオンになっています。

減光オン/オフ: サーバーは省電力状態になっています。サーバーを復帰させるには、電源制御ボタンを押すか、IMM Web インターフェースを使用します。

IMM Web インターフェースへのログオンについては、505 ページの『Web インターフェースへのログオン』を参照してください。

- **イーサネット活動 LED:** これらのどれかの LED が点灯している場合、その LED に対応するイーサネット・ポートに接続されたイーサネット LAN との間でサーバーが信号の送信または受信を行っていることを示します。
- **システム・ロケーター・ボタン/LED** この青色の LED は、他のサーバーの中から該当のサーバーを視覚的に見付けるのに使用します。この LED は、プレゼンス検出ボタンとしても使用されます。IBM Systems Director を使用して、この LED をリモート側から点灯させることができます。この LED は IMM によって制御されます。ユーザーがシステム・ロケーター・ボタンを押すと、この LED が点滅し、オフにするためにもう一度押すまで点滅を継続します。ロケーター・ボタンは、他のサーバーの中から該当のサーバーを視覚的に見つけるために押します。
- **システム情報 LED:** このオレンジ色の LED が点灯しているときは、重大でないイベントが起こったことを示します。エラー・ログの追加情報をチェックしてください。
- **システム・エラー LED:** このオレンジ色の LED が点灯している場合、システム・エラーが発生したことを示しています。システム・エラー LED はサーバー背面にもあります。オペレーター情報パネルの Light Path 診断パネル上の LED も点灯して、エラーを切り分ける支援をします。この LED は、IMM が制御します。
- **ハード・ディスク活動 LED:** この緑色の LED が点灯していると、ハード・ディスク・ドライブの 1 つが使用中であることを示します。

注:

1. SAS ドライブの場合、ハード・ディスク活動 LED は、ハード・ディスク上とオペレーター情報パネルに示されます。
2. SATA ドライブの場合、ハード・ディスク活動は、オペレーター情報パネル上のハード・ディスク活動 LED でのみ示されます。

Light Path 診断パネル

Light Path 診断パネルは、オペレーター情報パネルの上部にあります。

注: カバーの下部にあるシステム・サービス・ラベルにも、Light Path 診断 LED の位置に関する情報が記載されています。

Light Path 診断パネルにアクセスするには、オペレーター・パネルにある青色のリリース・ラッチを左側にスライドします。オペレーター・パネルのヒンジがサーバー・シャーシから外れるまでパネルを前方に引きます。次に、パネルを下げると Light Path 診断パネルの情報を見ることができます。

注: Light Path 診断パネルをサーバーの外にスライドして引き出して LED またはチェックポイント・コードを検査するときは、Light Path 診断パネルをサーバーから出した状態でサーバーを連続的に稼働させないでください。パネルをサーバーの外に出すのは短時間に制限する必要があります。サーバーが稼働しているときは、冷却を確保するために Light Path 診断パネルはサーバーの中に置く必要があります。

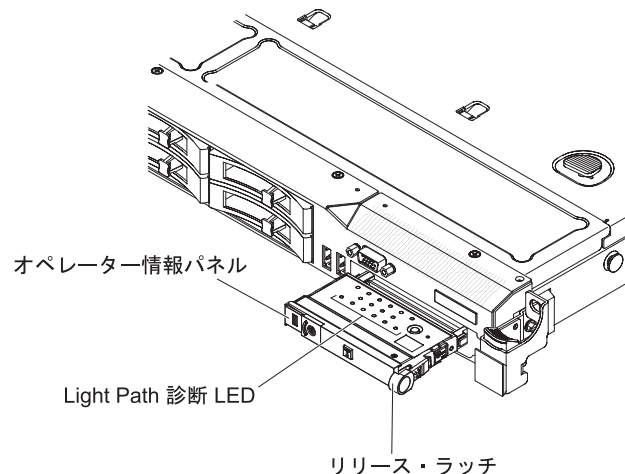


図 4. Light Path 診断パネルの露出

次の図は、Light Path 診断パネル上の LED とコントロールを示しています。

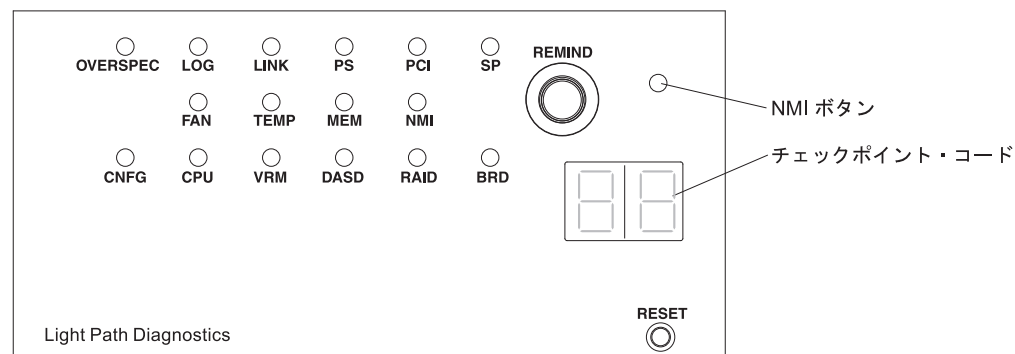


図 5. Light Path 診断パネルの露出

- **リマインド・ボタン:** このボタンは、前面パネルのシステム・エラー LED をリマインド・モードにします。リマインド・モードになると、問題が修正されるか、システムが再始動するか、または新たに問題が発生するまでシステム・エラー LED が 2 秒ごとに点滅します。

システム・エラー LED インディケーターをリマインド・モードにすることによって、最後に発生した障害の確認のみを行い、問題を修正するための即時アクションをとらないようにすることができます。リマインド機能は IMM が制御します。

- **NMI ボタン:** このボタンは、マイクロプロセッサにマスク不可能割り込みを強制する場合に押します。こうすると、サーバーをブルー・スクリーンにし、メモリー・ダンプを取ることができます (このボタンは、IBM サービス・サポートから指示されたときにのみ使用してください)。
- **チェックポイント・コード表示:** この表示には、ブート・ブロックと POST の間でシステムが停止した時点を示すチェックポイント・コードが表示されます。チェックポイント・コードは、UEFI によって生成されるバイトまたはワード値です。この表示は、エラー・コードを表示することも交換すべきコンポーネントを示すこともありません。
- **リセット・ボタン:** サーバーをリセットし、パワーオン・セルフテスト (POST) を実行するときに、このボタンを押します。このボタンを押すには、ペンまたはまっすぐに伸ばしたペーパー・クリップの先を使用するとよいかもしれません。リセット・ボタンは、Light Path 診断パネルの右下隅にあります。

Light Path 診断パネルの LED についての追加情報は、332 ページの『Light Path 診断 LED』を参照してください。

背面図

以下の情報を使用して、サーバーの背面にあるコントロール、LED、およびコネクタを確認します。

次の図は、サーバー背面にあるコネクタおよび LED を示しています。

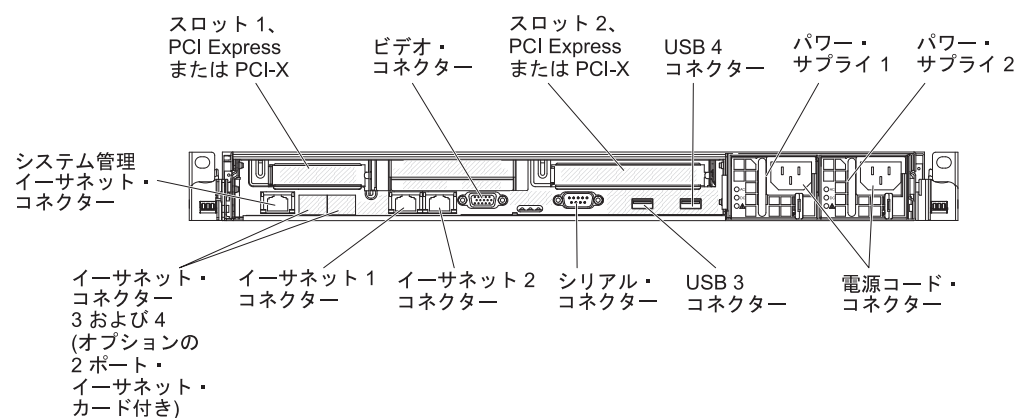


図 6. 背面図

- **PCI スロット 1:** このスロットには、ロー・プロファイル PCI Express または PCI-X アダプターを挿入します。このスロットに PCI アダプターを取り付ける必

要がある場合は、オプションのブラケット付き PCI Express または PCI-X ライザー・カード・アセンブリーが購入できます。

- **PCI スロット 2:** このスロットには、ハーフサイズ、フルハイトの PCI Express または PCI-X アダプターを挿入します。サーバーの標準モデルには、PCI Express ライザー・カード・アセンブリーが 1 つ、このスロットに取り付けられています。このスロットに PCI-X アダプターを取り付ける必要がある場合は、オプションのブラケット付き PCI-X ライザー・カード・アセンブリーが購入できます。
- **電源コード・コネクタ:** このコネクタには電源コードを接続します。
- **ビデオ・コネクタ:** モニターは、このコネクタに接続します。サーバーの前面および背面のビデオ・コネクタは同時に使用することができます。

注: 最大ビデオ解像度は、75 Hz で 1600 x 1200 です。

- **シリアル・コネクタ:** 9 ピンのシリアル装置は、このコネクタに接続します。シリアル・ポートは、統合管理モジュール (IMM) と共用されます。IMM は、共用シリアル・ポートを制御することにより、Serial over LAN (SOL) を使用してテキストのコンソール・リダイレクトを実行し、シリアル・トラフィックをリダイレクトできます。
- **USB コネクタ:** USB マウスやキーボードなどの USB デバイスは、これらのコネクタのいずれかに接続します。
- **システム管理イーサネット・コネクタ:** サーバーをネットワークに接続してシステム管理情報を完全に制御するには、このコネクタを使用します。
- **イーサネット・コネクタ:** これらのコネクタのいずれかを使用して、サーバーをネットワークに接続します。イーサネット 1 コネクタを使用すると、単一のネットワーク・ケーブルを介して、IMM とネットワークを共有することができます。

次の図は、サーバー背面にある LED を示しています。

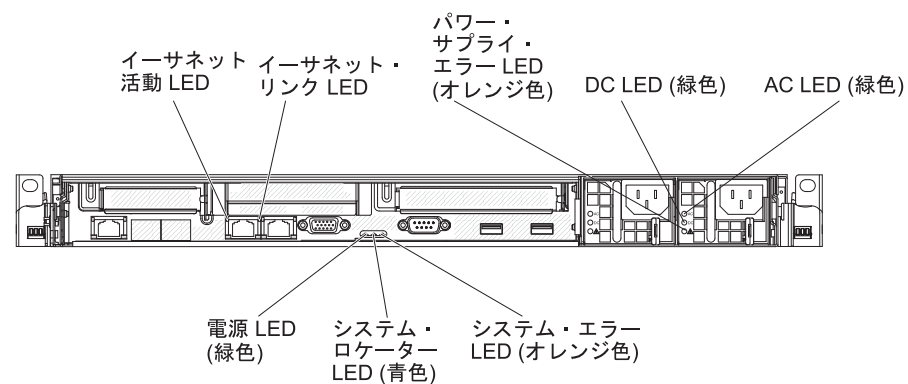


図 7. 背面図 LED

次の図は、DC パワー・サプライにある LED を示しています。

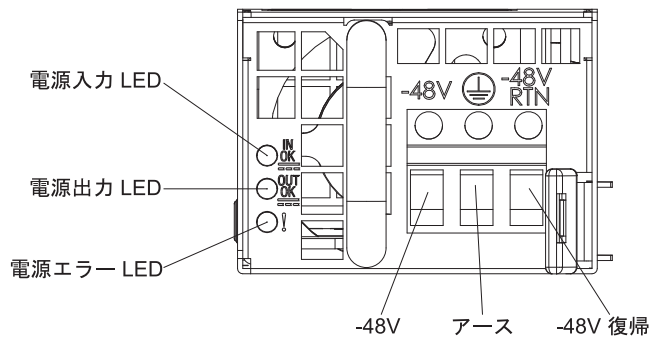


図 8. DC パワー・サプライ LED

- イーサネット活動 LED:** この LED が点灯している場合、サーバーが、イーサネット・ポートに接続されたイーサネット LAN との間で信号の送受信を行っていることを示します。
- イーサネット・リンク LED:** この LED が点灯している場合、イーサネット・ポート用の 10BASE-T、100BASE-TX、または 1000BASE-TX インターフェース上にアクティブなリンク接続が存在することを示します。
- AC 電源 LED:** 各ホット・スワップ AC パワー・サプライには AC 電源 LED と DC 電源 LED があります。AC 電源 LED が点灯している場合は、電源コードを通して十分な電力がパワー・サプライに供給されていることを示します。通常の稼働時には、AC および DC の電源 LED はともに点灯します。この他の LED の組み合わせについては、339 ページの『パワー・サプライ LED』を参照してください。
- IN OK 電源 LED:** 各ホット・スワップ DC パワー・サプライには、IN OK 電源 LED と OUT OK 電源 LED があります。IN OK 電源 LED が点灯している場合は、電源コードを通して十分な電力がパワー・サプライに供給されていることを示します。標準的な操作では、IN OK と OUT OK の両方の電源 LED が点灯します。この他の LED の組み合わせについては、339 ページの『パワー・サプライ LED』を参照してください。
- DC 電源 LED:** 各ホット・スワップ・パワー・サプライには DC 電源 LED と AC 電源 LED があります。DC 電源 LED が点灯している場合は、パワー・サプライがシステムに対して十分な DC 電源を供給していることを示します。通常の稼働時には、AC および DC の電源 LED はともに点灯します。この他の LED の組み合わせについては、339 ページの『パワー・サプライ LED』を参照してください。
- OUT OK 電源 LED:** 各ホット・スワップ DC パワー・サプライには、IN OK 電源 LED と OUT OK 電源 LED があります。OUT OK 電源 LED が点灯している場合は、パワー・サプライがシステムに対して十分な DC 電源を供給していることを示します。標準的な操作では、IN OK と OUT OK の両方の電源 LED が点灯します。この他の LED の組み合わせについては、339 ページの『パワー・サプライ LED』を参照してください。
- パワー・サプライ・エラー LED:** パワー・サプライ・エラー LED が点灯している場合、パワー・サプライに障害が発生したことを示します。

注: パワー・サプライ 1 がデフォルトであり、1 次パワー・サプライです。パワー・サプライ 1 に障害が起きた場合は、ただちに交換する必要があります。

- **システム・エラー LED:** この LED が点灯しているときは、システム・エラーが起こったことを示します。Light Path 診断パネル上の LED も点灯して、エラーの切り分けに役立ちます。
- **パワーオン LED:** この LED が点灯しており、点滅していない場合は、サーバーがオンになっていることを示します。パワーオン LED の状態は次のとおりです。

オフ: 電源が入っていないか、パワー・サプライまたは LED 自体に障害があります。

高速で点滅 (1 秒間に 4 回): サーバーはオフであり、オンにする準備ができていません。電源制御ボタンが使用不可になっています。この状態は約 20 秒から 40 秒継続します。

低速で点滅 (1 秒間に 1 回): サーバーはオフであり、オンにする準備ができています。電源制御ボタンを押すと、サーバーの電源をオンにすることができます。

点灯: サーバーの電源がオンになっています。

減光オン/オフ: サーバーは省電力状態になっています。サーバーを復帰させるには、電源制御ボタンを押すか、IMM Web インターフェースを使用します。IMM Web インターフェースへのログオンについては、505 ページの『Web インターフェースへのログオン』を参照してください。

- **システム・ロケーター LED:** この LED は、他のサーバーの中からご使用のサーバーを視覚的に確認するのに使用します。IBM Systems Director を使用して、この LED をリモート側から点灯させることができます。

サーバーのパワー・サプライ

サーバーが給電部に接続されているがオンになっていないときは、オペレーティング・システムは実行されず、サービス・プロセッサ (統合管理モジュール) を除くすべてのコア・ロジックはシャットダウンされています。ただし、サーバーは、サーバーをオンにするためのリモート要求などのサービス・プロセッサからの要求には応答可能です。

パワーオン LED が点滅することにより、サーバーが給電部に接続されているがオンになっていないことを示します。

サーバーの電源をオンにする

以下の情報を使用して、サーバーの電源をオンにします。

サーバーを電源に接続してから約 5 秒後に 1 つ以上のファンが稼働を開始し、サーバーが電源に接続されている間、冷却機能を提供します。また、パワーオン・ボタン LED が高速で点滅します。サーバーが電源に接続されて約 20 秒から 40 秒後に、電源制御ボタンがアクティブになり (パワーオン LED がゆっくりと点滅)、1 つ以上のファンが回転を開始してサーバーが電源に接続されている間の冷却を行います。電源制御ボタンを押すことにより、サーバーの電源をオンにできます。

また、サーバーの電源は、次のいずれの方法でオンにすることもできます。

- サーバーの電源がオンのときに電源障害が発生した場合は、電源が復元したときに、サーバーは自動的に再始動します。
- 使用しているオペレーティング・システムが Wake on LAN 機能をサポートしている場合は、Wake on LAN 機能がサーバーをオンにできます。

注: 4 GB 以上の (物理または論理) メモリーを取り付けると、一部のメモリーは、さまざまなシステム・リソース用に予約され、オペレーティング・システムでは使用不可になります。システム・リソース用に予約されるメモリーの量は、オペレーティング・システム、サーバー構成、構成済みの PCI オプションなどによって異なります。

サーバーの電源をオフにする

以下の情報を使用して、サーバーの電源をオフにします。

サーバーの電源をオフにしてサーバーを電源に接続したままにすると、サーバーをオンにするためのリモート要求などのサービス・プロセッサからの要求には応答可能です。サーバーを電源に接続したままにしていると、1 つ以上のファンが動作を続ける場合があります。サーバーからすべての電源を切るには、電気コンセントから電源コードを抜く必要があります。

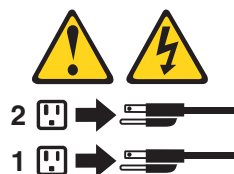
オペレーティング・システムによっては、サーバーの電源をオフにする前に正常シャットダウンが必要な場合があります。オペレーティング・システムのシャットダウンについては、オペレーティング・システムの資料を参照してください。

安全 5



注意:

装置の電源制御ボタンおよびパワー・サプライの電源スイッチは、装置に供給されている電流をオフにするものではありません。装置には 2 本以上の電源コードが使われている場合があります。装置から完全に電気を取り除くには給電部からすべての電源コードを切り離してください。



サーバーは、次のいずれかの方法でオフにすることができます。

- ご使用のオペレーティング・システムがサーバーの電源をオフにする機能をサポートしている場合は、オペレーティング・システムからオフにできます。オペレーティング・システムが正常シャットダウンをすると、サーバーは自動的にオフになります。
- ご使用のオペレーティング・システムが、電源制御ボタンを押してオペレーティング・システムを正常シャットダウンし、サーバーをオフにする機能をサポートしている場合、電源制御ボタンを押してオペレーティング・システムの正常シャットダウンを開始しサーバーをオフにすることができます。
- オペレーティング・システムの機能が停止した場合は、電源制御ボタンを 4 秒間を超えて押し続けるとサーバーの電源をオフにできます。
- Wake on LAN 機能によってサーバーの電源をオフにすることができますが、以下の制約があります。
 - PCI アダプターを取り付ける場合、PCI Express ライザー・アセンブリーおよび PCI-X ライザー・アセンブリーを取り外す前に電源コードを給電部から切り離す必要があります。そうしないと、システム・ボードのロジックによりアクティブ電源管理イベント信号がディセーブルにされ、Wake on LAN が作動しなくなる場合があります。ただし、サーバーがローカルで電源オンされると、アクティブ電源管理イベント信号はシステム・ボード・ロジックによりイネーブルにされます。
- 統合管理モジュール (IMM) は、クリティカルなシステム障害への自動対応としてサーバーをオフにできます。

内部 LED、コネクター、およびジャンパー

以下の情報を使用して、内部 LED、コネクター、およびジャンパーを確認します。

このセクションにある図は、内部ボード上のコネクター、LED、およびジャンパーを示しています。

注: 図はご使用のハードウェアと多少異なる場合があります。

システム・ボードの内部コネクタ

次の図で、システム・ボード上の内部コネクタを示します。

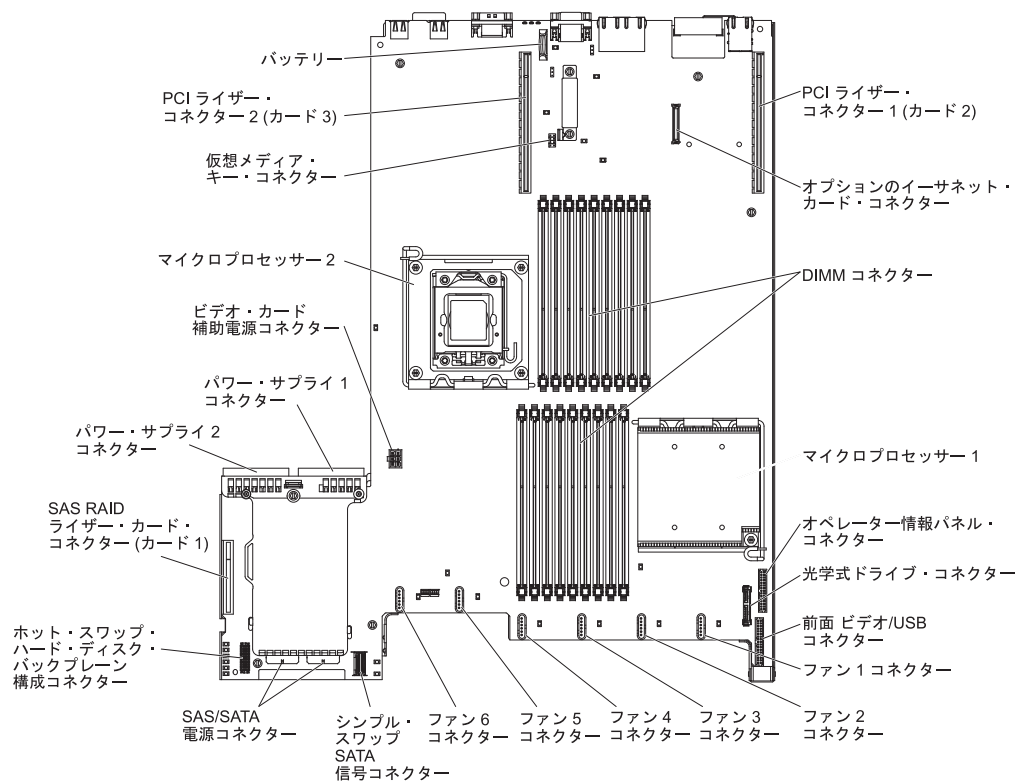


図 9. システム・ボードの内部コネクタ

システム・ボードの外部コネクタ

次の図に、システム・ボード上の外部コネクタを示します。

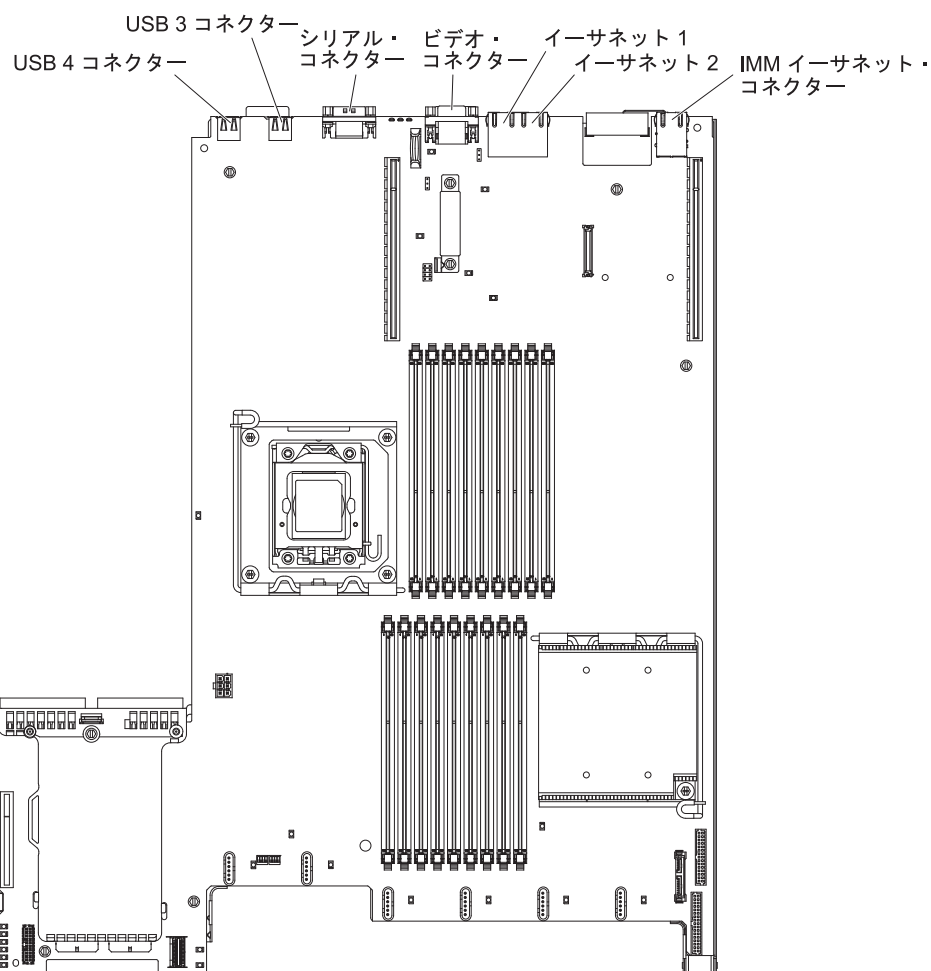


図 10. システム・ボードの外部コネクタ

システム・ボードのスイッチとジャンパー

以下の図でスイッチとジャンパーについての位置と説明を示します。

注: スイッチ・ブロックの上に透明な保護ステッカーが張られている場合、スイッチにアクセスするためにステッカーを取り除いて廃棄する必要があります。

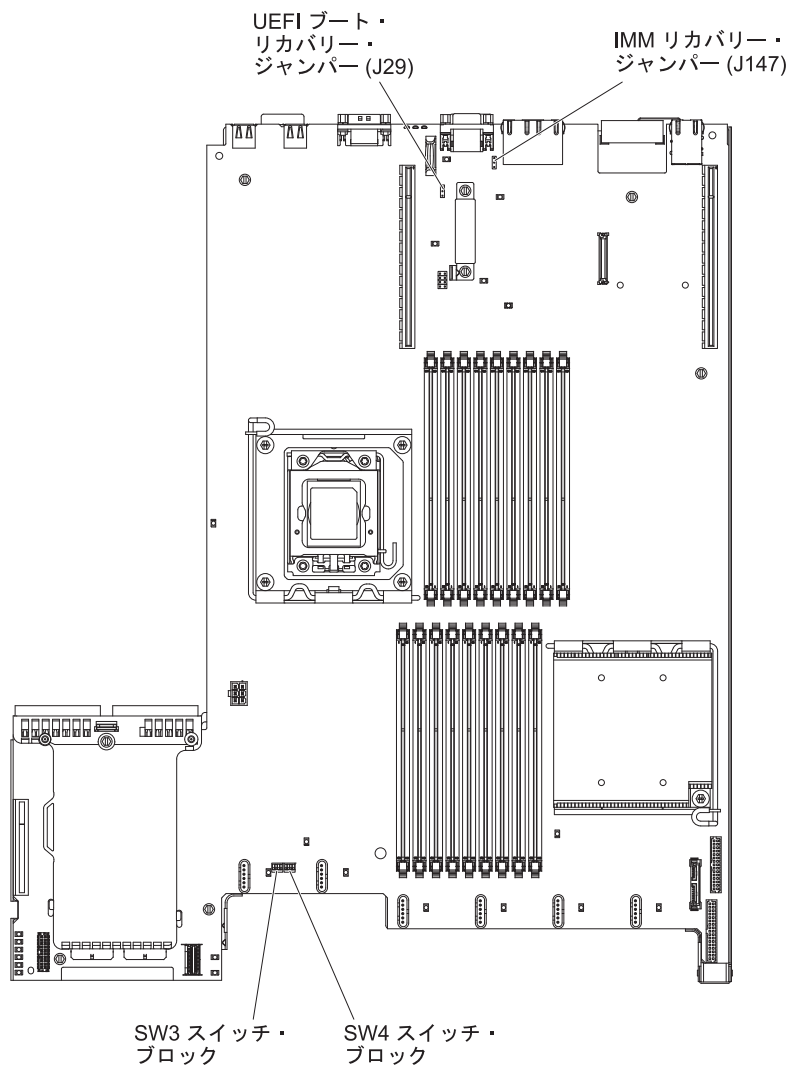


図 11. システム・ボードのスイッチとジャンパー

表 2. システム・ボード・ジャンパー

ジャンパー番号	ジャンパー名	ジャンパーの設定
J29	UEFI ブート・リカバリー・ジャンパー	- ピン 1 と 2: 通常 (デフォルト) プライマリー・サーバー・ファームウェア ROM ページをロードします。 - ピン 2 と 3: 2 次 (バックアップ) サーバー・ファームウェア ROM ページをロードします。

表 2. システム・ボード・ジャンパー (続き)

ジャンパー番号	ジャンパー名	ジャンパーの設定
J147	IMM リカバリー・ジャンパー	- ピン 1 と 2: 通常 (デフォルト)。1 次 IMM ファームウェア ROM ページをロードします。 - ピン 2 と 3: 2 次 (バックアップ) IMM ファームウェア ROM ページをロードします。
表の注記: - ジャンパーを取り付けていない場合、サーバーはジャンパーがピンの 1 と 2 にセットされているものとして反応します。 - サーバーの電源をオンにする前に UEFI ブート・リカバリー・ジャンパー (J29)の位置をピン 1 と 2 からピン 2 と 3 に変更すると、どちらのフラッシュ ROM ページがロードされるかを通知するアラートが出されます。サーバーの電源をオンにした後は、ジャンパーのピン位置を変更しないでください。これを行うと、予測不能な問題が発生する可能性があります。		

次の表は、システム・ボード上の SW3 スイッチ・ブロックの機能について説明しています。

表 3. システム・ボードの SW3 スイッチ・ブロック定義

スイッチ番号	デフォルトの位置	説明
1	オフ	CMOS メモリーをクリアします。このスイッチをオンに切り替えると、CMOS メモリー内のデータがクリアされます。
2	オフ	Trust Platform Module (TPM) 物理プレゼンス。このスイッチをオン位置にすると、TPM に対する物理プレゼンスを示します。
3	オフ	予約済み
4	オフ	予約済み

以下の表は、システム・ボード上にある SW4 スイッチ・ブロックについて説明しています。

表 4. システム・ボードの SW4 スイッチ・ブロック定義

スイッチ番号	デフォルトの位置	説明
1	オフ	始動パスワードのオーバーライド。このスイッチの位置を変更すると、次回にサーバーの電源を入れたときに始動パスワード検査をバイパスして、Setup ユーティリティを開始するため、始動パスワードを変更または削除できるようになります。始動パスワードが変更された後に、スイッチをデフォルト位置に戻す必要はありません。 管理者パスワードが設定されている場合、このスイッチの位置を変更しても管理者パスワード検査に影響を及ぼすことはありません。 パスワードに関する追加情報については、497 ページの『パスワード』を参照してください。
2	オフ	このスイッチをオンに切り替えてからオフにすると、パワーオンを強制して、サーバーのパワーオンおよびパワーオフ・ボタンをオーバーライドするため、これらのボタンは機能しなくなります。
3	オフ	(トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 強制電源許可。このスイッチの位置を切り替えると、IMM のパワーオン検査プロセスをオーバーライドします。
4	オフ	予約済み

重要:

1. スイッチの設定値の変更またはジャンパーの移動の前に、サーバーの電源をオフにしてください。その後、すべての電源コードおよび外部ケーブルを切り離してください。vii ページの『安全について』、367 ページの『取り付けのガイドライン』、370 ページの『静電気に弱い装置の取り扱い』、および 18 ページの『サーバーの電源をオフにする』に記載されている情報を確認します。
2. 本書の図に表示されていないシステム・ボード・スイッチまたはジャンパー・ブロックは予約済みです。

システム・ボード LED

次の図は、システム・ボード上の発光ダイオード (LED) を示しています。

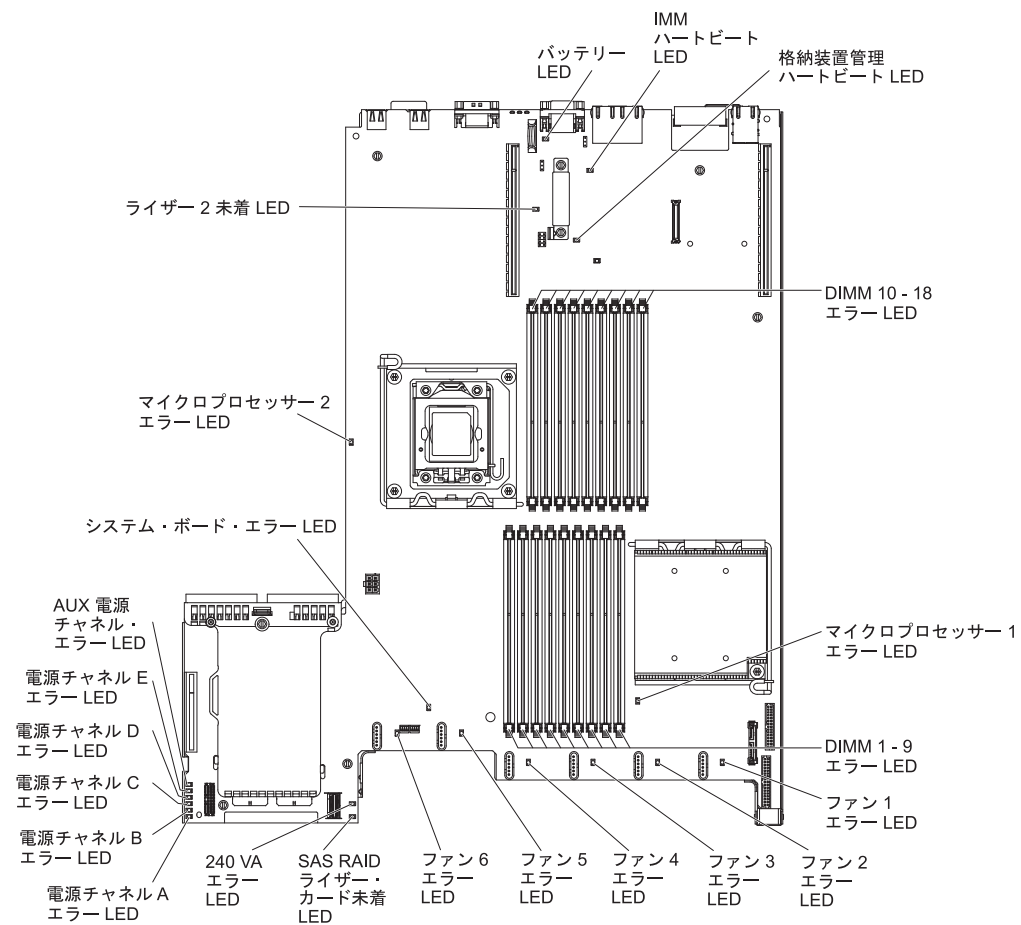


図 12. システム・ボード LED

システム・ボードのオプション装置コネクタ

次の図は、ユーザーが取り付け可能なオプション用のコネクタを示しています。

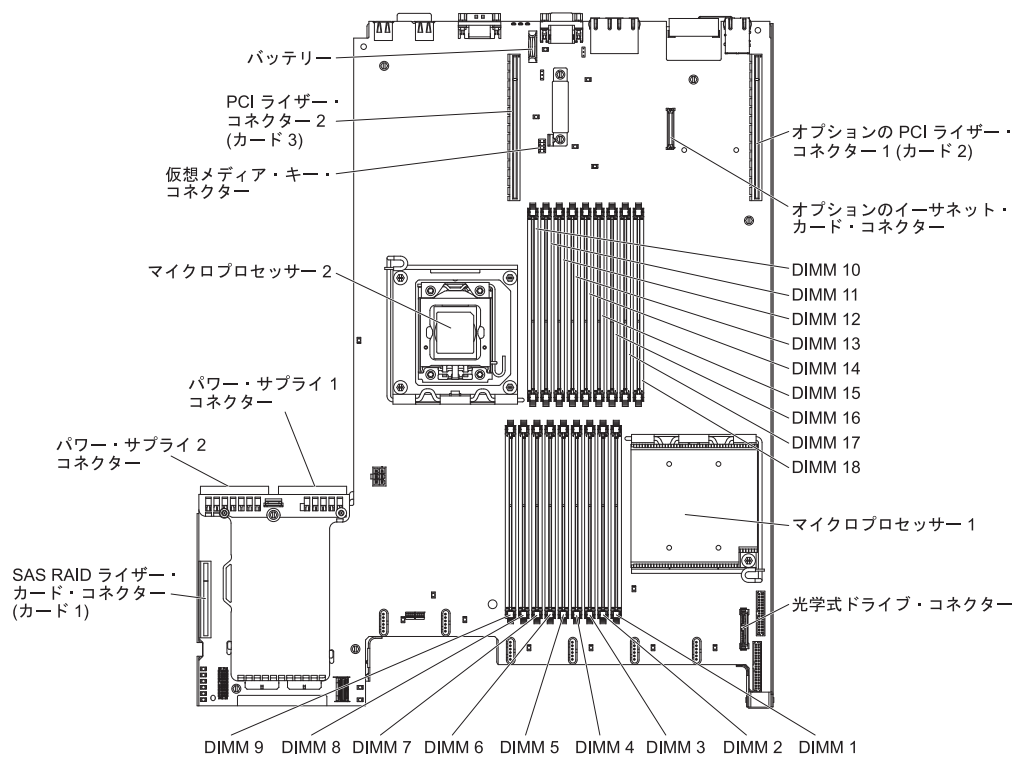


図 13. システム・ボードのオプション装置コネクタ

第 3 章 診断

この章では、サーバーで発生した問題を解決するために役立つ診断ツールについて説明します。

この章の情報を使用しても問題の特定および修正ができない場合は、詳細について、519 ページの『ヘルプおよび技術サポートの入手』を参照してください。

診断ツール

このセクションでは、ハードウェア関連の問題の診断と解決に役立つ利用可能なツールを説明します。

- **Light Path 診断**

Light Path 診断を使用して、システム・エラーを迅速に診断します。詳しくは、329 ページの『Light Path 診断』を参照してください。

- **Dynamic System Analysis (DSA) Preboot 診断プログラム**

DSA Preboot 診断プログラムには、問題の切り分け、構成分析、およびエラー・ログ収集機能があります。これらの診断プログラムは、サーバーの主要なコンポーネントをテストする基本方式で、内蔵 USB メモリーに保管されています。診断プログラムは、サーバーに関する次の情報を収集します。

- システム構成
- ネットワーク・インターフェースおよび設定
- 取り付けられたハードウェア
- Light Path 診断の状況
- サービス・プロセッサの状況および構成
- 重要プロダクト・データ、ファームウェア、および UEFI 構成
- ハード・ディスクの正常性
- RAID コントローラー構成
- コントローラーおよびサービス・プロセッサのイベント・ログ (以下の情報を含む)
 - システム・エラー・ログ
 - 温度、電圧、およびファン速度の情報
 - Self-monitoring Analysis, and Reporting Technology (SMART) データ
 - マシン・チェック・レジスター
 - USB 情報
 - モニター構成情報
 - PCI スロット情報

診断プログラムは、収集されたすべてのログのイベントを含むマージされたログを作成します。この情報は 1 つのファイルに収集され、ユーザーはこのファイルを IBM サービスおよびサポートに送ることができます。さらに、テキスト・レポート・ファイルを使用してサーバー情報をローカルに表示することができます。

す。また、ログを取り外し可能メディアにコピーして、Web ブラウザーから表示することもできます。詳しくは、270 ページの『診断プログラムの実行』を参照してください。

- **トラブルシューティング表**

これらの表には、問題の現象と、問題を訂正するための処置がリストされています。詳しくは、308 ページの『トラブルシューティング表』を参照してください。

- **IBM Electronic Service Agent**

IBM Electronic Service Agent はサーバーのハードウェア・エラー・イベントをモニターするソフトウェア・ツールで、自動的に電子サービス要求を IBM サービスおよびサポートに発信します。さらに、システム構成情報をスケジュール・ベースで収集および送信するため、ユーザーおよびサポート担当者はこの情報を利用できます。このソフトウェアは最小のシステム・リソースしか使用せず、無料で提供されます。IBM エレクトロニック・サービス・エージェントの詳細な情報またはダウンロードが必要な場合は、http://www.ibm.com/support/entry/portal/Open_service_request/ にアクセスしてください。

- **POST エラー・コードおよびイベント・ログ**

パワーオン・セルフテスト (POST) は、テストが正常に完了したか問題が検出されたかを示すメッセージを生成します。詳しくは、『イベント・ログ』および 252 ページの『POST』を参照してください。

- **チェックポイント・コード**

チェックポイント・コードは、システム始動時またはリセット時の POST ルーチンの進行を追跡します。チェックポイント・コードは、Light Path 診断パネル上のチェックポイント・コード・ディスプレイに表示されます。

イベント・ログ

エラー・コードおよびメッセージが、以下のタイプのイベント・ログに表示されます。ログの一部のエラー・コードおよびメッセージは省略形で示されます。

PCI-X スロットのトラブルシューティングを行うときは、イベント・ログには PCI-X バスが数値で報告されるという点に注意してください。数値の割り当ては、構成によって異なります。この割り当ては、Setup ユーティリティを実行することにより確認できます (詳しくは、492 ページの『Setup ユーティリティの使用』を参照)。

- **POST イベント・ログ:** このログには、POST 中に生成された最新の 3 つのエラー・コードとメッセージが入っています。POST イベント・ログの内容は Setup ユーティリティを使用して表示できます。
- **システム・イベント・ログ:** このログには、POST 中に生成されたメッセージおよびサービス・プロセッサからのすべてのシステム状況メッセージが入っています。システム・イベント・ログの内容は、Setup ユーティリティから表示できます。

システム・イベント・ログにはサイズの制限があります。ログがフルになって、新しい項目が既存の項目を上書きしません。したがって、Setup ユーティリ

ティーを使用して、定期的にシステム・イベント・ログを消去する必要があります。エラーをトラブルシューティングする際には、必ずシステム・イベント・ログを消去して、現行のエラーを見つけやすくしてください。

各システム・イベント・ログ項目は、それぞれ専用のページに表示されます。メッセージは画面の左側にリストされ、選択されたメッセージの詳細は画面の右側に表示されます。1つの項目から次の項目に移動するには、上矢印キー (↑) および下矢印キー (↓) を使用します。

イベントが発生した場合、システム・イベント・ログには「Assertion Event」が表示されます。イベントが発生しなくなると、ログには「Deassertion Event」が表示されます。

- **統合管理モジュール (IMM) イベント・ログ:** このログにはすべての IMM、POST およびシステム管理割り込み (SMI) イベントのフィルタリングされたサブセットが入っています。IMM イベント・ログは、IMM Web インターフェースおよび Dynamic System Analysis (DSA) プログラムから (ASM イベント・ログとして) 表示することができます。
- **DSA ログ:** このログは、Dynamic System Analysis (DSA) プログラムによって生成されるもので、システム・イベント・ログ (IPMI イベント・ログとして)、IMM シャーシ・イベント・ログ (ASM イベント・ログとして)、およびオペレーティング・システム・イベント・ログを時系列でまとめたものです。DSA ログは、DSA プログラムから表示することができます。

Setup ユーティリティを使用してイベント・ログを表示する

以下の情報を使用して、Setup ユーティリティからイベント・ログを表示します。

このタスクについて

エラー・ログを表示する場合は、以下のステップを実行してください。

手順

1. サーバーの電源をオンにします。
2. プロンプトの「<F1> Setup」が表示されたら、F1 キーを押します。始動パスワードと管理者パスワードの両方を設定してある場合は、エラー・ログを表示するには管理者パスワードを入力する必要があります。
3. 「**System Event Logs**」を選択し、以下のステップのうちの 1 つを実行します。
 - POST イベント・ログを表示するには、「**POST Event Viewers**」を選択します。
 - IMM システム・イベント・ログを表示する場合は、「**System Event Log**」を選択します。

サーバーを再始動することなく、イベント・ログを表示する

サーバーが停止していない場合は、サーバーを再始動することなく 1 つ以上のイベント・ログを表示する方法がいくつかあります。

Dynamic System Analysis (DSA) の Portable エディションをすでにインストールしてある場合は、それを使用してシステム・イベント・ログ (IPMI イベント・ログとして)、IMM イベント・ログ (ASM イベント・ログとして)、オペレーティング・システム・イベント・ログ、またはマージされた DSA ログを表示することができます。また、DSA Preboot を使用してこれらのログを表示することもできますが、DSA Preboot を使用するにはサーバーを再始動する必要があります。

DSA Portable、DSA Preboot をインストールする、あるいは DSA Preboot CD イメージをダウンロードするには、<http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnocid=SERV-DSA> にアクセスします。

IPMITool がサーバーにインストールされている場合は、これを使用してシステム・イベント・ログを表示することができます。最新バージョンの Linux オペレーティング・システムには、現行バージョンの IPMITool が付属しています。

IPMI の概要については、<http://www.ibm.com/developerworks/linux/blueprints/> にアクセスして「**Using Intelligent Platform Management Interface (IPMI) on IBM Linux platforms**」をクリックします。

IMM システム・イベント・ログは、統合管理モジュール (IMM) Web インターフェースの「**Event Log**」リンクを通して表示できます。詳しくは、505 ページの『Web インターフェースへのログオン』を参照してください。

次の表は、サーバーの状態に応じてイベント・ログを表示するために使用できる方法を説明しています。最初の 3 つの状態に対しては、通常サーバーの再始動は必要ありません。

表 5. イベント・ログを表示する方法

状態	処置
サーバーが停止していない、かつネットワークに接続されている。	以下の方法のいずれかを使用します。 • ポータブル DSA を実行して、イベント・ログを表示する、あるいは、サポート技術員に送信できる出力ファイルを作成します。 • Web ブラウザーで IMM の IP アドレスを入力し、「イベント・ログ」ページに進みます。 • IPMITool を使用して、システム・イベント・ログを表示します。
サーバーは停止していないが、ネットワークには接続していない。	IPMITool を使用して、ローカル側でシステム・イベント・ログを表示します。

表 5. イベント・ログを表示する方法 (続き)

状態	処置
サーバーはハング状態ではなく、統合管理モジュール (IMM) がネットワークに接続されている。	Web ブラウザーで IMM の IP アドレスを入力し、「イベント・ログ」ページに進みます。詳しくは、504 ページの『IMM 用の IP アドレスの取得』および 505 ページの『Web インターフェースへのログオン』を参照してください。
サーバーが停止している。	• DSA Preboot がインストールされている場合は、サーバーを再始動して F2 を押し、DSA Preboot を始動して、イベント・ログを表示します。 • DSA Preboot がインストールされていない場合は、DSA Preboot CD を挿入し、サーバーを再始動して、DSA Preboot を始動し、イベント・ログを表示します。 • 代わりに、サーバーを再始動し、F1 を押して Setup ユーティリティーを開始して、POST イベント・ログまたはシステム・イベント・ログを表示することもできます。詳しくは、29 ページの『Setup ユーティリティーを使用してイベント・ログを表示する』を参照してください。

エラー・ログの消去

以下の情報を使用して、イベント・ログを消去します。

このタスクについて

エラー・ログを消去するには、次のステップを実行します。

注: サーバーが再始動されるたびに、POST エラー・ログは自動的に消去されます。

手順

1. サーバーの電源をオンにします。
2. プロンプトの「<F1> Setup」が表示されたら、F1 キーを押します。始動パスワードと管理者パスワードの両方を設定してある場合は、エラー・ログを表示するには管理者パスワードを入力する必要があります。
3. IMM システム・イベント・ログを消去するには、「**System Event Logs**」 > 「**System Event Log**」 > 「**Clear System Event Log**」を選択し、次に、「Enter」を 2 回押します。

エラー・メッセージ

このセクションでは、問題が検出されたときに生成される、UEFI/POST、IMM、および DSA のエラー・コードとメッセージをリストします。

詳細については、252 ページの『POST エラー・コード』、『統合管理モジュール (IMM) エラー・メッセージ』、および 272 ページの『診断メッセージ』を参照してください。

システム・イベント・ログ

システム・イベント・ログには、3 つのタイプがあります。

情報 情報メッセージに対しては処置は不要です。このタイプのメッセージは、システム・レベルの重要なイベント (例えばサーバーが始動された時点など) を記録します。

警告 警告メッセージは、即時処置が必要なものではありません。このタイプのメッセージは、例えば推奨される最大周囲温度を超えた場合などのように、問題が発生する可能性があることを示します。

エラー エラー・メッセージは、処置を必要とする場合があります。このタイプのメッセージは、システム・エラー (例えばファンが検出されないなど) を示します。

各メッセージには日付と時刻の情報が含まれ、メッセージのソース (POST または IMM) も示されています。

統合管理モジュール (IMM) エラー・メッセージ

次の表は、IMM エラー・メッセージおよび検出された問題を修正するための推奨アクションを説明しています。

IMM についての詳細は、「*Integrated Management Module User's Guide*」 (www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnocid=MIGR-5079770&brandind=5000008) を参照してください。

注: この表にリストされていない表明解除イベントは、単なる通知です。

40000001-00000000 Management Controller [arg1] Network Initialization Complete.

説明: このメッセージは、管理コントローラー・ネットワークが初期化を完了した場合に使用されます。

4000000100000000 または 0x4000000100000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - IMM ネットワーク・イベント

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0001

SNMP トラップ ID: 37

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000002-00000000 Certificate Authority [arg1] has detected a [arg2] Certificate Error.

説明: このメッセージは、SSL サーバー、SSL クライアント、またはトラステッド CA 証明書にエラーがある場合に使用されます。

4000000200000000 または 0x4000000200000000 として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0002

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: インポートしている証明書が正しく、適切に生成されていることを確認します。

40000003-00000000 Ethernet Data Rate modified from [arg1] to [arg2] by user [arg3].

説明: このメッセージは、クライアントがイーサネット・ポートのデータ転送速度を変更した場合に使用されます。

4000000300000000 または 0x4000000300000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0003

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000004-00000000 Ethernet Duplex setting modified from [arg1] to [arg2] by user [arg3].

説明: このメッセージは、クライアントがイーサネット・ポートの二重設定を変更した場合に使用されます。

4000000400000000 または 0x4000000400000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0004

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000005-00000000 Ethernet MTU setting modified from [arg1] to [arg2] by user [arg3].

説明: このメッセージは、クライアントがイーサネット・ポートの MTU 設定を変更した場合に使用されます。

4000000500000000 または 0x4000000500000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0005

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000006-00000000 Ethernet locally administered MAC address modified from [arg1] to [arg2] by user [arg3].

説明: このメッセージは、クライアントがイーサネット・ポートの MAC アドレス設定を変更した場合に使用されます。

4000000600000000 または 0x4000000600000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0006

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000007-00000000 Ethernet interface [arg1] by user [arg2].

説明: このメッセージは、クライアントがイーサネット・インターフェースを使用可能または使用不可にした場合に使用されます。

4000000700000000 または 0x4000000700000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0007

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000008-00000000 Hostname set to [arg1] by user [arg2].

説明: このメッセージは、クライアントが管理コントローラーのホスト名を変更した場合に使用されます。

4000000800000000 または 0x4000000800000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - IMM ネットワーク・イベント

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0008

SNMP トラップ ID: 37

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000009-00000000 IP address of network interface modified from [arg1] to [arg2] by user [arg3].

説明: このメッセージは、クライアントが管理コントローラーの IP アドレスを変更した場合に使用されます。

4000000900000000 または 0x4000000900000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - IMM ネットワーク・イベント

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0009

SNMP トラップ ID: 37

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000000a-00000000 IP subnet mask of network interface modified from [arg1] to [arg2] by user [arg3].

説明: このメッセージは、クライアントが管理コントローラーの IP サブネット・マスクを変更した場合に使用されます。

4000000a00000000 または 0x4000000a00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0010

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000000b-00000000 IP address of default gateway modified from [arg1] to [arg2] by user [arg3].

説明: このメッセージは、クライアントが管理コントローラーのデフォルト・ゲートウェイの IP アドレスを変更した場合に使用されます。

4000000b00000000 または 0x4000000b00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0011

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000000c-00000000 OS Watchdog response [arg1] by [arg2] .

説明: このメッセージは、クライアントによって OS ウォッチドッグが使用可能または使用不可にされた場合に使用されます。

4000000c00000000 または 0x4000000c00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0012

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000000d-00000000 DHCP[[arg1]] failure, no IP address assigned.

説明: このメッセージは、DHCP サーバーが管理コントローラーへの IP アドレスの割り当てに失敗した場合に使用されます。

4000000d00000000 または 0x4000000d00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0013

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 問題が解決するまで、以下のステップを実行します。 IMM ネットワーク・ケーブルが接続されていることを確認します。 IMM に IP アドレスを割り当てることができる DHCP サーバーがネットワーク上に存在することを確認します。

4000000e-00000000 Remote Login Successful. Login ID: [arg1] from [arg2] at IP address [arg3].

説明: このメッセージは、クライアントが管理コントローラーに正常にログインした場合に使用されます。

4000000e00000000 または 0x4000000e00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - リモート・ログイン

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0014

SNMP トラップ ID: 30

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000000f-00000000 Attempting to [arg1] server [arg2] by user [arg3].

説明: このメッセージは、クライアントが管理コントローラーを使用してシステム上の電源機能を実行している場合に使用されます。

4000000f00000000 または 0x4000000f00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0015

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000010-00000000 Security: Userid: [arg1] had [arg2] login failures from WEB client at IP address [arg3].

説明: このメッセージは、クライアントが Web ブラウザーから管理コントローラーにログインできなかった場合に使用されます。

4000001000000000 または 0x4000001000000000 として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリ: システム - リモート・ログイン

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0016

SNMP トラップ ID: 30

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 問題が解決するまで、以下のステップを実行します。正しいログイン ID およびパスワードが使用されていることを確認してください。システム管理者にログイン ID またはパスワードをリセットするように依頼してください。

40000011-00000000 Security: Login ID: [arg1] had [arg2] login failures from CLI at [arg3].

説明: このメッセージは、クライアントがレガシー CLI から管理コントローラーにログインできなかった場合に使用されます。

4000001100000000 または 0x4000001100000000 として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリ: システム - リモート・ログイン

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0017

SNMP トラップ ID: 30

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 問題が解決するまで、以下のステップを実行します。正しいログイン ID およびパスワードが使用されていることを確認してください。システム管理者にログイン ID またはパスワードをリセットするように依頼してください。

40000012-00000000 Remote access attempt failed. Invalid userid or password received. Userid is [arg1] from WEB browser at IP address [arg2].

説明: このメッセージは、クライアントが Web ブラウザーから管理コントローラーにログインできなかった場合に使用されます。

4000001200000000 または 0x4000001200000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - リモート・ログイン

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0018

SNMP トラップ ID: 30

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 正しいログイン ID およびパスワードが使用されていることを確認してください。

40000013-00000000 Remote access attempt failed. Invalid userid or password received. Userid is [arg1] from TELNET client at IP address [arg2].

説明: このメッセージは、クライアントが Telnet セッションから管理コントローラーにログインできなかった場合に使用されます。

4000001300000000 または 0x4000001300000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - リモート・ログイン

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0019

SNMP トラップ ID: 30

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 正しいログイン ID およびパスワードが使用されていることを確認してください。

40000014-00000000 The [arg1] on system [arg2] cleared by user [arg3].

説明: このメッセージは、システムの管理コントローラー・イベント・ログがユーザーによって消去された場合に使用されます。

4000001400000000 または 0x4000001400000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0020

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000015-00000000 Management Controller [arg1] reset was initiated by user [arg2].

説明: このメッセージは、管理コントローラーのリセットがユーザーによって開始された場合に使用されます。

4000001500000000 または 0x4000001500000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0021

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000016-00000000 ENET[[arg1]] DHCP-HSTN=[arg2], DN=[arg3], IP@=[arg4], SN=[arg5], GW@=[arg6], DNS1@=[arg7] .

説明: このメッセージは、管理コントローラーの IP アドレスおよび構成が DHCP サーバーによって割り当てられた場合に使用されます。

4000001600000000 または 0x4000001600000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0022

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000017-00000000 ENET[[arg1]] IP-Cfg:HstName=[arg2], IP@=[arg3] ,NetMsk=[arg4], GW@=[arg5] .

説明: このメッセージは、クライアント・データを使用して管理コントローラーの IP アドレスおよび構成が静的に割り当てられた場合に使用されます。

4000001700000000 または 0x4000001700000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0023

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000018-00000000 LAN: Ethernet[[arg1]] interface is no longer active.

説明: このメッセージは、管理コントローラーのイーサネット・インターフェースがアクティブでなくなった場合に使用されます。

4000001800000000 または 0x4000001800000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0024

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000019-00000000 LAN: Ethernet[[arg1]] interface is now active.

説明: このメッセージは、管理コントローラーのイーサネット・インターフェースがアクティブでなくなった場合に使用されます。

4000001900000000 または 0x4000001900000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0025

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000001a-00000000 DHCP setting changed to [arg1] by user [arg2].

説明: このメッセージは、クライアントが DHCP 設定を変更した場合に使用されます。

4000001a00000000 または 0x4000001a00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0026

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000001b-00000000 Management Controller [arg1]: Configuration restored from a file by user [arg2].

説明: このメッセージは、クライアントがファイルから管理コントローラー構成を復元した場合に使用されます。

4000001b00000000 または 0x4000001b00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0027

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000001c-00000000 Watchdog [arg1] Screen Capture Occurred .

説明: このメッセージは、オペレーティング・システム・エラーが発生し、画面がキャプチャーされた場合に使用されます。

4000001c00000000 または 0x4000001c00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0028

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: オペレーティング・システム・エラーがない場合は、問題が解決するまで以下のステップを実行します。ウォッチドッグ・タイマーをより高い値に再構成します。IMM Ethernet-over-USB インターフェースが使用可能になっていることを確認します。オペレーティング・システムに、RNDIS または cdc_ether デバイス・ドライバーを再インストールします。ウォッチドッグを使用不可にします。オペレーティング・システム・エラーがある場合は、インストールされているオペレーティング・システムの整合性を検査します。

4000001d-00000000 Watchdog [arg1] Failed to Capture Screen.

説明: このメッセージは、オペレーティング・システム・エラーが発生し、画面キャプチャーが失敗した場合に使用されます。

4000001d00000000 または 0x4000001d00000000 として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0029

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 問題が解決するまで、以下のステップを実行します。ウォッチドッグ・タイマーをより高い値に再構成します。IMM Ethernet over USB インターフェースが使用可能になっていることを確認します。オペレーティング・システムに、RNDIS または cdc_ether デバイス・ドライバーを再インストールします。ウォッチドッグを使用不可にします。インストールされたオペレーティング・システムの整合性を検査します。IMM ファームウェアを更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションに対してサポートされていることを確認してください。

4000001e-00000000 Running the backup Management Controller [arg1] main application.

説明: このメッセージは、管理コントローラーがバックアップ・メイン・アプリケーションを実行するまで復元された場合に使用されます。

4000001e00000000 または 0x4000001e00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0030

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: IMM ファームウェアを更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションに対してサポートされていることを確認してください。

4000001f-00000000 Please ensure that the Management Controller [arg1] is flashed with the correct firmware.

The Management Controller is unable to match its firmware to the server.

説明: このメッセージは、管理コントローラーのファームウェア・バージョンがサーバーに合致しない場合に使用されます。

4000001f00000000 または 0x4000001f00000000 として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0031

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: IMM ファームウェアを、サーバーがサポートするバージョンに更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションに対してサポートされていることを確認してください。

40000020-00000000 Management Controller [arg1] Reset was caused by restoring default values.

説明: このメッセージは、クライアントが構成をデフォルト値に復元したために管理コントローラーがリセットされた場合に使用されます。

4000002000000000 または 0x4000002000000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0032

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000021-00000000 Management Controller [arg1] clock has been set from NTP server [arg2].

説明: このメッセージは、管理コントローラーのクロックが Network Time Protocol サーバーから設定された場合に使用されます。

4000002100000000 または 0x4000002100000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0033

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000022-00000000 SSL data in the Management Controller [arg1] configuration data is invalid. Clearing configuration data region and disabling SSL.

説明: このメッセージは、管理コントローラーが構成データに無効な SSL データを検出し、構成データ領域をクリアし、SSL を使用不可にしている場合に使用されます。

4000002200000000 または 0x4000002200000000 として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0034

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 問題が解決するまで、以下のステップを実行します。インポートしている証明書が正しいことを確認します。証明書のインポートを再試行します。

40000023-00000000 Flash of [arg1] from [arg2] succeeded for user [arg3] .

説明: このメッセージは、クライアントがインターフェースおよび IP アドレス (%d からファームウェア・コンポーネント (MC メインアプリケーション、MC ブート ROM、BIOS、診断、システム電源バックプレーン、リモート拡張ユニットの電源バックプレーン、内蔵システム管理プロセッサ、またはリモート拡張ユニットのプロセッサ) を正常にフラッシュした場合に使用されます。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0035

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000024-00000000 Flash of [arg1] from [arg2] failed for user [arg3].

説明: このメッセージは、クライアントが障害によりインターフェースおよび IP アドレスからファームウェア・コンポーネントをフラッシュしなかった場合に使用されます。

4000002400000000 または 0x4000002400000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0036

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000025-00000000 The [arg1] on system [arg2] is 75% full.

説明: このメッセージは、システムの管理コントローラー・イベント・ログが 75% フルである場合に使用されます。

4000002500000000 または 0x4000002500000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - イベント・ログ 75% フル

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0037

SNMP トラップ ID: 35

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000026-00000000 The [arg1] on system [arg2] is 100% full.

説明: このメッセージは、システムの管理コントローラー・イベント・ログが 100% フルである場合に使用されます。

4000002600000000 または 0x4000002600000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - イベント・ログ 75% フル

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0038

SNMP トラップ ID: 35

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以前のログ項目が失われないようにするには、ログをテキスト・ファイルとして保管し、ログをクリアします。

40000027-00000000 Platform Watchdog Timer expired for [arg1].

説明: このメッセージは、プラットフォーム・ウォッチドッグ・タイマーの満了が実装環境で検出された場合に使用されます。

4000002700000000 または 0x4000002700000000 として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: システム - OS タイムアウト

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0039

SNMP トラップ ID: 21

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 問題が解決するまで、以下のステップを実行します。ウォッチドッグ・タイマーをより高い値に再構成します。IMM Ethernet-over-USB インターフェースが使用可能になっていることを確認します。オペレーティング・システムに、RNDIS または cdc_ether デバイス・ドライバを再インストールします。ウォッチドッグを使用不可にします。インストールされたオペレーティング・システムの整合性を検査します。

40000028-00000000 Management Controller Test Alert Generated by [arg1].

説明: このメッセージは、クライアントがテスト・アラートを生成した場合に使用されます。

4000002800000000 または 0x4000002800000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0040

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000029-00000000 Security: Userid: [arg1] had [arg2] login failures from an SSH client at IP address [arg3].

説明: このメッセージは、クライアントが SSH から管理コントローラーへのログインに失敗した場合に使用されます。

4000002900000000 または 0x4000002900000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - リモート・ログイン

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0041

SNMP トラップ ID: 30

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 問題が解決するまで、以下のステップを実行します。正しいログイン ID およびパスワードが使用されていることを確認してください。システム管理者にログイン ID またはパスワードをリセットするように依頼してください。

4000002a-00000000 [arg1] firmware mismatch internal to system [arg2]. Please attempt to flash the [arg3] firmware.

説明: このメッセージは、特定タイプのファームウェア・ミスマッチが検出された場合に使用されます。

4000002a00000000 または 0x4000002a00000000 として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0042

SNMP トラップ ID: 22

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: IMM ファームウェアを再消去して、最新のバージョンにします。

4000002b-00000000 Domain name set to [arg1].

説明: ユーザーによってドメイン・ネームが設定されました。

4000002b00000000 または 0x4000002b00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0043

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000002c-00000000 Domain Source changed to [arg1] by user [arg2].

説明: ユーザーによってドメイン・ソースが変更されました。

4000002c00000000 または 0x4000002c00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0044

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000002d-00000000 DDNS setting changed to [arg1] by user [arg2].

説明: ユーザーによって DDNS 設定が変更されました。

4000002d00000000 または 0x4000002d00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0045

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000002e-00000000 DDNS registration successful. The domain name is [arg1].

説明: DDNS 登録および値

4000002e00000000 または 0x4000002e00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0046

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000002f-00000000 IPv6 enabled by user [arg1] .

説明: ユーザーが IPv6 プロトコルを有効にしました。

4000002f00000000 または 0x4000002f00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0047

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000030-00000000 IPv6 disabled by user [arg1] .

説明: ユーザーが IPv6 プロトコルを無効にしました。

4000003000000000 または 0x4000003000000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0048

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000031-00000000 IPv6 static IP configuration enabled by user [arg1].

説明: ユーザーが IPv6 静的アドレス割り当て方式を有効にしました。

4000003100000000 または 0x4000003100000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0049

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000032-00000000 IPv6 DHCP enabled by user [arg1].

説明: ユーザーが IPv6 DHCP 割り当て方式を有効にしました。

4000003200000000 または 0x4000003200000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0050

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000033-00000000 IPv6 stateless auto-configuration enabled by user [arg1].

説明: ユーザーが IPv6 ステートレス自動割り当て方式を有効にしました。

4000003300000000 または 0x4000003300000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0051

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000034-00000000 IPv6 static IP configuration disabled by user [arg1].

説明: ユーザーが IPv6 静的割り当て方式を無効にしました。

4000003400000000 または 0x4000003400000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0052

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000035-00000000 IPv6 DHCP disabled by user [arg1].

説明: ユーザーが IPv6 DHCP 割り当て方式を無効にしました。

4000003500000000 または 0x4000003500000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0053

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000036-00000000 IPv6 stateless auto-configuration disabled by user [arg1].

説明: ユーザーが IPv6 ステートレス自動割り当て方式を無効にしました。

4000003600000000 または 0x4000003600000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0054

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000037-00000000 ENET[[arg1]] IPv6-LinkLocal:HstName=[arg2], IP@=[arg3], Pref=[arg4] .

説明: IPv6 リンク・ローカル・アドレスがアクティブです。

4000003700000000 または 0x4000003700000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0055

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000038-00000000 ENET[[arg1]] IPv6-Static:HstName=[arg2], IP@=[arg3],Pref=[arg4], GW@=[arg5].

説明: IPv6 静的アドレスがアクティブです。

4000003800000000 または 0x4000003800000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0056

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

40000039-00000000 ENET[[arg1]] DHCPv6-HSTN=[arg2], DN=[arg3], IP@=[arg4], Pref=[arg5].

説明: IPv6 DHCP 割り当てアドレスがアクティブです。

4000003900000000 または 0x4000003900000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0057

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000003a-00000000 IPv6 static address of network interface modified from [arg1] to [arg2] by user [arg3].

説明: このメッセージは、クライアントが管理コントローラーの IPv6 静的アドレスを変更した場合に使用されます。

4000003a00000000 または 0x4000003a00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0058

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 通知メッセージ。アクションは不要です。

4000003b-00000000

説明: このメッセージは、DHCP6 サーバーが管理コントローラーへの IP アドレスの割り当てに失敗した場合に使用されます。

4000003b00000000 または 0x4000003b00000000 として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: なし

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: IMM および ID: 0059

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 問題が解決するまで、以下のステップを実行します。 IMM ネットワーク・ケーブルが接続されていることを確認します。 IMM に IP アドレスを割り当てることができる DHCPv6 サーバーがネットワーク上に存在することを確認します。

80010002-2801xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going low (lower non-critical) has asserted. (CMOS Battery)

説明: このメッセージは、下限非クリティカル・センサーが低すぎることの表明が実装環境で検出された場合に使用されます。

800100022801xxxx または 0x800100022801xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - 電圧

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0476

SNMP トラップ ID: 13

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: システム・バッテリーを交換してください。

80010202-0701xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going low (lower critical) has asserted. (Planar 12V)

説明: このメッセージは、下限クリティカル・センサーが低すぎることの表明が実装環境で検出された場合に使用されます。

800102020701xxxx または 0x800102020701xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 電圧

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0480

SNMP トラップ ID: 1

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. パワー・サプライ n LED を確認します。 2. 障害のあるパワー・サプライを取り外します。 3. Light Path 診断 LED の OVER SPEC LED に対する処置に従います。 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) システ

80010202-2801xxxx • 80010204-1d01xxxx

ム・ボードを交換します。(n = パワー・サプライ番号) Planar 3.3V : Planar 5V :

80010202-2801xxxx **Numeric sensor [NumericSensorElementName] going low (lower critical) has asserted. (CMOS Battery)**

説明: このメッセージは、下限クリティカル・センサーが低すぎることの表明が実装環境で検出された場合に使用されます。

800102022801xxxx または 0x800102022801xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 電圧

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0480

SNMP トラップ ID: 1

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. パワー・サプライ n LED を確認します。 2. 障害のあるパワー・サプライを取り外します。 3. Light Path 診断 LED の OVER SPEC LED に対する処置に従います。 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。(n = パワー・サプライ番号)

80010204-1d01xxxx **Numeric sensor [NumericSensorElementName] going low (lower critical) has asserted. (Fan 1A Tach)**

説明: このメッセージは、下限クリティカル・センサーが低すぎることの表明が実装環境で検出された場合に使用されます。

800102041d01xxxx または 0x800102041d01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: Critical - Fan Failure

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0480

SNMP トラップ ID: 11

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. 障害を起こしているファン n を取り付け直します。このファンはシステム・ボード上のファン・コネクタの近くで点灯している LED により示されています。 2. 障害のあるファンを交換します。(n = ファン番号) Fan 1B Tach :

80010204-1d02xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going low (lower critical) has asserted. (Fan 2A Tach)

説明: このメッセージは、下限クリティカル・センサーが低すぎることの表明が実装環境で検出された場合に使用されます。

800102041d02xxxx または 0x800102041d02xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: Critical - Fan Failure

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0480

SNMP トラップ ID: 11

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. 障害を起こしているファン n を取り付け直します。このファンはシステム・ボード上のファン・コネクタの近くで点灯している LED により示されています。 2. 障害のあるファンを交換します。(n = ファン番号) Fan 2B Tach :

80010204-1d03xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going low (lower critical) has asserted. (Fan 3A Tach)

説明: このメッセージは、下限クリティカル・センサーが低すぎることの表明が実装環境で検出された場合に使用されます。

800102041d03xxxx または 0x800102041d03xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: Critical - Fan Failure

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0480

SNMP トラップ ID: 11

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. 障害を起こしているファン n を取り付け直します。このファンはシステム・ボード上のファン・コネクタの近くで点灯している LED により示されています。 2. 障害のあるファンを交換します。(n = ファン番号) Fan 3B Tach :

80010204-1d04xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going low (lower critical) has asserted. (Fan 4A Tach)

説明: このメッセージは、下限クリティカル・センサーが低すぎることの表明が実装環境で検出された場合に使用されます。

800102041d04xxxx または 0x800102041d04xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: Critical - Fan Failure

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0480

SNMP トラップ ID: 11

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. 障害を起こしているファン n を取り付け直します。このファンはシステム・ボード上のファン・コネクタの近くで点灯している LED により示されています。 2. 障害のあるファンを交換します。(n = ファン番号) Fan 4B Tach :

80010204-1d05xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going low (lower critical) has asserted. (Fan 5A Tach)

説明: このメッセージは、下限クリティカル・センサーが低すぎることの表明が実装環境で検出された場合に使用されます。

800102041d05xxxx または 0x800102041d05xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: Critical - Fan Failure

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0480

SNMP トラップ ID: 11

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. 障害を起こしているファン n を取り付け直します。このファンはシステム・ボード上のファン・コネクタの近くで点灯している LED により示されています。 2. 障害のあるファンを交換します。(n = ファン番号) Fan 5B Tach :

80010204-1d06xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going low (lower critical) has asserted. (Fan 6A Tach)

説明: このメッセージは、下限クリティカル・センサーが低すぎることの表明が実装環境で検出された場合に使用されます。

800102041d06xxxx または 0x800102041d06xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: Critical - Fan Failure

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0480

SNMP トラップ ID: 11

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. 障害を起こしているファン n を取り付け直します。このファンはシステム・ボード上のファン・コネクタの近くで点灯している LED により示されています。 2. 障害のあるファンを交換します。(n = ファン番号) Fan 6B Tach :

80010701-0c01xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-critical) has asserted. (Ambient Temp)

説明: このメッセージは、上限非クリティカル・センサーが高すぎることの表明が実装環境で検出された場合に使用されます。

800107010c01xxxx または 0x800107010c01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0490

SNMP トラップ ID: 12

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. 温度を下げてください。 2. サーバーの通気を検査します。サーバーへの空気の流入、またはサーバーからの空気の排出が妨害されていないことを確認します。

80010901-0c01xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper critical) has asserted. (Ambient Temp)

説明: このメッセージは、上限クリティカル・センサーが高すぎることの表明が実装環境で検出された場合に使用されます。

800109010c01xxxx または 0x800109010c01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0494

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

80010902-0701xxxx • 80010b01-0c01xxxx

ユーザーの処置: 1. 周囲の温度を下げてください。 2. サーバーの通気を検査します。サーバーへの空気の流入、またはサーバーからの空気の排出が妨害されていないことを確認します。

80010902-0701xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper critical) has asserted. (Planar 12V)

説明: このメッセージは、上限クリティカル・センサーが高すぎることの表明が実装環境で検出された場合に使用されます。

800109020701xxxx または 0x800109020701xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 電圧

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0494

SNMP トラップ ID: 1

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. パワー・サブライ n LED を確認します。 2. 障害のあるパワー・サブライを取り外します。 3. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。 (n = パワー・サブライ番号) Planar 3.3V : Planar 5V :

80010b01-0c01xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-recoverable) has asserted. (Ambient Temp)

説明: このメッセージは、上限リカバリー不能センサーが高すぎることの表明が実装環境で検出された場合に使用されます。

80010b010c01xxxx または 0x80010b010c01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0498

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: サーバーの通気を検査します。サーバーへの空気の流入、またはサーバーからの空気の排出が妨害されていないことを確認します。

80030012-2301xxxx Sensor [SensorElementName] has deasserted. (OS RealTime Mod)

説明: このメッセージは、センサーによる表明解除が実装環境で検出された場合に使用されます。

800300122301xxxx または 0x800300122301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0509

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

80070201-0301xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to critical from a less severe state. (CPU 1 OverTemp)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に移行したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

800702010301xxxx または 0x800702010301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0522

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エアー・バックフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。 2. 室温を確認してください。仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『機能および仕様』を参照)。 3. マイクロプロセッサ n のヒートシンクが正しく取り付けられていることを確認します。 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ n を交換します。(n = マイクロプロセッサ番号)

80070201-0302xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to critical from a less severe state. (CPU 2 OverTemp)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に移行したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

800702010302xxxx または 0x800702010302xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0522

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

80070201-2001xxxx • 80070201-2002xxxx

ユーザーの処置: 1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。 2. 室温を確認してください。仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『機能および仕様』を参照)。 3. マイクロプロセッサ n のヒートシンクが正しく取り付けられていることを確認します。 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ n を交換します。(n = マイクロプロセッサ番号)

80070201-2001xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to critical from a less severe state. (DIMM 1 Temp)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に移行したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

800702012001xxxx または 0x800702012001xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0522

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。 2. 室温を確認してください。仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『機能および仕様』を参照)。 3. マイクロプロセッサ n のヒートシンクが正しく取り付けられていることを確認します。 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ n を交換します。(n = マイクロプロセッサ番号)

80070201-2002xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to critical from a less severe state. (DIMM 2 Temp)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に移行したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

800702012002xxxx または 0x800702012002xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0522

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。 2. 室温を確認してください。仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『機能および仕様』を参照)。 3. マイクロプロセッサ n のヒートシンクが正しく取り付けられていることを確認します。 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ n を交換します。(n = マイクロプロセッサ番号)

80070201-2003xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to critical from a less severe state. (DIMM 3 Temp)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に移行したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

800702012003xxxx または 0x800702012003xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0522

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。 2. 室温を確認してください。仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『機能および仕様』を参照)。 3. マイクロプロセッサ n のヒートシンクが正しく取り付けられていることを確認します。 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ n を交換します。(n = マイクロプロセッサ番号)

80070201-2004xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to critical from a less severe state. (DIMM 4 Temp)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に移行したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

800702012004xxxx または 0x800702012004xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0522

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。 2. 室温を確認してください。仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『機能および仕様』を参照)。 3. マイクロプロセッサ n のヒートシンクが正しく取り付けられていることを確認します。 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ n を交換します。(n = マイクロプロセッサ番号)

80070201-2005xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to critical from a less severe state. (DIMM 5 Temp)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に移行したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

800702012005xxxx または 0x800702012005xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0522

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。 2. 室温を確認してください。仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『機能および仕様』を参照)。 3. マイクロプロセッサ n のヒートシンクが正しく取り付けられていることを確認します。 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ n を交換します。(n = マイクロプロセッサ番号)

80070201-2006xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to critical from a less severe state. (DIMM 6 Temp)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に移行したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

800702012006xxxx または 0x800702012006xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0522

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。 2. 室温を確認してください。仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『機能および仕様』を参照)。 3. マイクロプロセッサ n のヒートシンクが正しく取り付けられていることを確認します。 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ n を交換します。(n = マイクロプロセッサ番号)

80070201-2007xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to critical from a less severe state. (DIMM 7 Temp)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に移行したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

800702012007xxxx または 0x800702012007xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0522

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。 2. 室温を確認してください。仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『機能および仕様』を参照)。 3. マイクロプロセッサ n のヒートシンクが正しく取り付けられていることを確認します。 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ n を交換します。(n = マイクロプロセッサ番号)

80070201-2008xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to critical from a less severe state. (DIMM 8 Temp)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に移行したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

800702012008xxxx または 0x800702012008xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0522

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。 2. 室温を確認してください。仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『機能および仕様』を参照)。 3. マイクロプロセッサ n のヒートシンクが正しく取り付けられていることを確認します。 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ n を交換します。(n = マイクロプロセッサ番号)

80070201-2009xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to critical from a less severe state. (DIMM 9 Temp)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に移行したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

800702012009xxxx または 0x800702012009xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0522

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。 2. 室温を確認してください。仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『機能および仕様』を参照)。 3. マイクロプロセッサ n のヒートシンクが正しく取り付けられていることを確認します。 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ n を交換します。(n = マイクロプロセッサ番号)

80070201-200axxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to critical from a less severe state. (DIMM 10 Temp)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に移行したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

80070201200axxxx または 0x80070201200axxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0522

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。 2. 室温を確認してください。仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『機能および仕様』を参照)。 3. マイクロプロセッサ n のヒートシンクが正しく取り付けられていることを確認します。 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ n を交換します。(n = マイクロプロセッサ番号)

80070201-200bxxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to critical from a less severe state. (DIMM 11 Temp)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に移行したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

80070201200bxxxx または 0x80070201200bxxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0522

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。 2. 室温を確認してください。仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『機能および仕様』を参照)。 3. マイクロプロセッサ n のヒートシンクが正しく取り付けられていることを確認します。 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ n を交換します。(n = マイクロプロセッサ番号)

80070201-200cxxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to critical from a less severe state. (DIMM 12 Temp)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に移行したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

80070201200cxxxx または 0x80070201200cxxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0522

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。 2. 室温を確認してください。仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『機能および仕様』を参照)。 3. マイクロプロセッサ n のヒートシンクが正しく取り付けられていることを確認します。 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ n を交換します。(n = マイクロプロセッサ番号)

80070201-200dxxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to critical from a less severe state. (DIMM 13 Temp)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に移行したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

80070201200dxxxx または 0x80070201200dxxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0522

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。 2. 室温を確認してください。仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『機能および仕様』を参照)。 3. マイクロプロセッサ n のヒートシンクが正しく取り付けられていることを確認します。 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ n を交換します。(n = マイクロプロセッサ番号)

80070201-200exxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to critical from a less severe state. (DIMM 14 Temp)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に移行したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

80070201200exxxx または 0x80070201200exxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0522

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。 2. 室温を確認してください。仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『機能および仕様』を参照)。 3. マイクロプロセッサ n のヒートシンクが正しく取り付けられていることを確認します。 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ n を交換します。(n = マイクロプロセッサ番号)

80070201-200fxxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to critical from a less severe state. (DIMM 15 Temp)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に移行したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

80070201200fxxxx または 0x80070201200fxxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0522

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。 2. 室温を確認してください。仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『機能および仕様』を参照)。 3. マイクロプロセッサ n のヒートシンクが正しく取り付けられていることを確認します。 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ n を交換します。(n = マイクロプロセッサ番号)

80070201-2010xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to critical from a less severe state. (DIMM 16 Temp)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に移行したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

800702012010xxxx または 0x800702012010xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0522

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。 2. 室温を確認してください。仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『機能および仕様』を参照)。 3. マイクロプロセッサ n のヒートシンクが正しく取り付けられていることを確認します。 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ n を交換します。(n = マイクロプロセッサ番号)

80070201-2011xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to critical from a less severe state. (DIMM 17 Temp)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に移行したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

800702012011xxxx または 0x800702012011xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0522

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。 2. 室温を確認してください。仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『機能および仕様』を参照)。 3. マイクロプロセッサ n のヒートシンクが正しく取り付けられていることを確認します。 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ n を交換します。(n = マイクロプロセッサ番号)

80070201-2012xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to critical from a less severe state. (DIMM 18 Temp)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に移行したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

800702012012xxxx または 0x800702012012xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0522

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。 2. 室温を確認してください。仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『機能および仕様』を参照)。 3. マイクロプロセッサ n のヒートシンクが正しく取り付けられていることを確認します。 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ n を交換します。(n = マイクロプロセッサ番号)

80070201-2d01xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to critical from a less severe state. (IOH Temp Status)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に移行したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

800702012d01xxxx または 0x800702012d01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0522

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エアー・バックフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。 2. 室温を確認してください。仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『機能および仕様』を参照)。 3. マイクロプロセッサ n のヒートシンクが正しく取り付けられていることを確認します。 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ n を交換します。(n = マイクロプロセッサ番号)

80070202-0701xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to critical from a less severe state. (Planar Fault)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に移行したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

800702020701xxxx または 0x800702020701xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - 電圧

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0522

SNMP トラップ ID: 1

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. システム・イベント・ログを確認します。 2. システム・ボード上のエラー LED を確認します。 3. 障害のある装置をすべて交換します。 4. サーバーのファームウェアの更新を確認します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。 デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションに対してサポートされていることを確認してください。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

80070204-0a01xxxx **Sensor [SensorElementName] has transitioned to critical from a less severe state. (PS 1 Fan Fault)**

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に移行したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

800702040a01xxxx または 0x800702040a01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: Critical - Fan Failure

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0522

SNMP トラップ ID: 11

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. パワー・サプライ・ファンの通気を妨げるもの (ケーブルの束など) がないことを確認します。
2. パワー・サプライ n を交換します。(n = パワー・サプライ番号)

80070204-0a02xxxx **Sensor [SensorElementName] has transitioned to critical from a less severe state. (PS 2 Fan Fault)**

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に移行したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

800702040a02xxxx または 0x800702040a02xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: Critical - Fan Failure

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0522

SNMP トラップ ID: 11

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. パワー・サプライ・ファンの通気を妨げるもの (ケーブルの束など) がないことを確認します。
2. パワー・サプライ n を交換します。(n = パワー・サプライ番号)

80070208-0a01xxxx **Sensor [SensorElementName] has transitioned to critical from a less severe state. (PS 1 OP Fault)**

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に移行したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

800702080a01xxxx or 0x800702080a01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 電源

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0522

SNMP トラップ ID: 4

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. パワー・サプライ・ファンの通気を妨げるもの (ケーブルの束など) がないことを確認します。

2. IBM 電源コンフィギュレーター・ユーティリティーを使用して現行のシステム電力使用量を確認してください。詳しい情報およびユーティリティーのダウンロードについては、<http://www-03.ibm.com/systems/bladecenter/resources/powerconfig.html> にアクセスしてください。 3. パワー・サプライ n を交換します。(n = パワー・サプライ番号) PS 1 Therm Fault :

80070208-0a02xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to critical from a less severe state. (PS 2 OP Fault)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に移行したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

800702080a02xxxx または 0x800702080a02xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - 電源

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0522

SNMP トラップ ID: 4

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. パワー・サプライ・ファンの通気を妨げるもの (ケーブルの束など) がないことを確認します。 2. IBM 電源コンフィギュレーター・ユーティリティーを使用して現行のシステム電力使用量を確認してください。詳しい情報およびユーティリティーのダウンロードについては、<http://www-03.ibm.com/systems/bladecenter/resources/powerconfig.html> にアクセスしてください。 3. パワー・サプライ n を交換します。(n = パワー・サプライ番号) PS 2 Therm Fault :

8007020f-2582xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to critical from a less severe state. (No I/O Resources)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に移行したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

8007020f2582xxxx または 0x8007020f2582xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0522

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 以下のステップを実行し、PCI 入出力リソース・エラーの問題を解決します。 1. 基本的なシステムでの I/O リソース要件を理解します。 2. 目的のアドイン・アダプターの入出力リソース要件を確認します。例えば、PCI-X アダプターまたは PCIe アダプターなど。 3. 不要なオンボード・デバイスおよび入出力を要求するオンボード・デバイスを使用不可にします。 4. F1 セットアップで、「System Settings then Device and I/O Ports」メニューを選択します。 5. I/O リソースが 64 KB 未満になるまで、アダプターを取り外すかスロットを使用不可にします。

80070219-0701xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to critical from a less severe state. (Sys Board Fault)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からクリティカルな状態に移行したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

800702190701xxxx または 0x800702190701xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0522

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. システム・イベント・ログを確認します。 2. システム・ボード上のエラー LED を確認します。 3. 障害のある装置をすべて交換します。 4. サーバーのファームウェアの更新を確認します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションに対してサポートされていることを確認してください。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

80070301-0301xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to non-recoverable from a less severe state. (CPU 1 OverTemp)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からリカバリー不能な状態に移行したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

800703010301xxxx または 0x800703010301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0524

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。 2. 室温を確認してください。仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『機能および仕様』を参照)。 3. マイクロプロセッサ n のヒートシンクを確認します。 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ n を交換します。(n = マイクロプロセッサ番号)

80070301-0302xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to non-recoverable from a less severe state. (CPU 2 OverTemp)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からリカバリー不能な状態に移行したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

800703010302xxxx or 0x800703010302xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0524

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。 2. 室温を確認してください。仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『機能および仕様』を参照)。 3. マイクロプロセッサー n のヒートシンクを確認します。 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサー n を交換します。(n = マイクロプロセッサー番号)

80070301-2d01xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to non-recoverable from a less severe state. (IOH Temp Status)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からリカバリー不能な状態に移行したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

800703012d01xxxx または 0x800703012d01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0524

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。 2. 室温を確認してください。仕様の範囲内で稼働させる必要があります (詳しくは、『機能および仕様』を参照)。 3. マイクロプロセッサー n のヒートシンクを確認します。 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサー n を交換します。(n = マイクロプロセッサー番号)

80070603-0701xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to non-recoverable. (Pwr Rail A Fault)

説明: このメッセージは、センサーがリカバリー不能な状態に移行したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

800706030701xxxx または 0x800706030701xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 電源

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0530

SNMP トラップ ID: 4

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. 詳しくは、電源の問題を参照してください。 2. サーバーの電源をオフにして、電源から切り離します。 3. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 障害のあるマイクロプロセッサを交換します。 Pwr Rail B Fault : Pwr Rail C Fault : Pwr Rail D Fault : Pwr Rail E Fault :

80070608-0701xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to non-recoverable. (VT Fault)

説明: このメッセージは、センサーがリカバリー不能な状態に移行したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

800706080701xxxx または 0x800706080701xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 電源

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0530

SNMP トラップ ID: 4

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. パワー・サプライ n LED を確認します。 2. パワー・サプライ n を交換します。(n = パワー・サプライ番号)

80070608-0a01xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to non-recoverable. (PS 1 VCO Fault)

説明: このメッセージは、センサーがリカバリー不能な状態に移行したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

800706080a01xxxx または 0x800706080a01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 電源

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0530

SNMP トラップ ID: 4

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. パワー・サプライ n LED を確認します。 2. パワー・サプライ n を交換します。(n = パワー・サプライ番号) PS1 12V OC Fault : PS1 12V OV Fault : PS1 12V UV Fault :

80070608-0a02xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to non-recoverable. (PS 2 VCO Fault)

説明: このメッセージは、センサーがリカバリー不能な状態に移行したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

800706080a02xxxx または 0x800706080a02xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 電源

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0530

SNMP トラップ ID: 4

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. パワー・サプライ n LED を確認します。 2. パワー・サプライ n を交換します。(n = パワー・サプライ番号) PS2 12V OC Fault : PS2 12V OV Fault : PS2 12V UV Fault :

800b0008-1381xxxx Redundancy [RedundancySetElementName] has been restored. (Power Unit)

説明: This message is for the use case when an implementation has detected Redundancy was Restored.

800b00081381xxxx または 0x800b00081381xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - 冗長パワー・サプライ

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT and ID: 0561

SNMP トラップ ID: 10

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

800b0108-1381xxxx Redundancy Lost for [RedundancySetElementName] has asserted. (Power Unit)

説明: このメッセージは、冗長性が失われたことが表明された場合に使用されます。

800b01081381xxxx または 0x800b01081381xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 冗長パワー・サプライ

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0802

SNMP トラップ ID: 9

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. 両方のパワー・サプライの LED を確認します。 2. パワー・サプライ LED の処置に従います。

800b010a-1e81xxxx Redundancy Lost for [RedundancySetElementName] has asserted. (Cooling Zone 1)

説明: このメッセージは、冗長性が失われたことが表明された場合に使用されます。

800b010a1e81xxxx または 0x800b010a1e81xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: Critical - Fan Failure

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0802

SNMP トラップ ID: 11

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ファン n のコネクタが損傷していないことを確認します。 2. システム・ボード上のファン n コネクタが損傷していないことを確認します。 3. ファンが正しく取り付けられていることを確認します。 4. ファンを取り付け直します。 5. ファンを交換します。(n = ファン番号)

800b010a-1e82xxxx Redundancy Lost for [RedundancySetElementName] has asserted. (Cooling Zone 2)

説明: このメッセージは、冗長性が失われたことが表明された場合に使用されます。

800b010a1e82xxxx または 0x800b010a1e82xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: Critical - Fan Failure

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0802

SNMP トラップ ID: 11

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ファン n のコネクタが損傷していないことを確認します。 2. システム・ボード上のファン n コネクタが損傷していないことを確認します。 3. ファンが正しく取り付けられていることを確認します。 4. ファンを取り付け直します。 5. ファンを交換します。(n = ファン番号)

800b010a-1e83xxxx Redundancy Lost for [RedundancySetElementName] has asserted. (Cooling Zone 3)

説明: このメッセージは、冗長性が失われたことが表明された場合に使用されます。

800b010a1e83xxxx または 0x800b010a1e83xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: Critical - Fan Failure

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0802

SNMP トラップ ID: 11

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ファン n のコネクタが損傷していないことを確認します。 2. システム・ボード上のファン n コネクタが損傷していないことを確認します。 3. ファンが正しく取り付けられていることを確認します。 4. ファンを取り付け直します。 5. ファンを交換します。(n = ファン番号)

800b010c-2581xxxx Redundancy Lost for [RedundancySetElementName] has asserted. (Backup Memory)

説明: このメッセージは、冗長性が失われたことが表明された場合に使用されます。

800b010c2581xxxx または 0x800b010c2581xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0802

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. システム・イベント・ログで DIMM の障害イベント (訂正不能または PFA) を確認し、障害を解決します。 2. Setup ユーティリティーでミラーリングを再度使用可能にします。

800b030c-2581xxxx Non-redundant:Sufficient Resources from Redundancy Degraded or Fully Redundant for [RedundancySetElementName] has asserted. (Backup Memory)

説明: このメッセージは、Redundancy Set が「冗長性の機能低下」状態または「完全冗長」状態から「非冗長: 十分なりリソース」状態に移行した場合に使用されます。

800b030c2581xxxx または 0x800b030c2581xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリ: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0806

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. システム・イベント・ログで DIMM の障害イベント (訂正不能または PFA) を確認し、障害を解決します。 2. Setup ユーティリティーでミラーリングを再度使用可能にします。

800b050a-1e81xxxx Non-redundant:Insufficient Resources for [RedundancySetElementName] has asserted. (Cooling Zone 1)

説明: このメッセージは、Redundancy Set が「非冗長: 不十分なりリソース」状態に移行した場合に使用されます。

800b050a1e81xxxx または 0x800b050a1e81xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: Critical - Fan Failure

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0810

SNMP トラップ ID: 11

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ファン n のコネクタが損傷していないことを確認します。 2. システム・ボード上のファン n コネクタが損傷していないことを確認します。 3. ファンが正しく取り付けられていることを確認します。 4. ファンを取り付け直します。 5. ファンを交換します。(n = ファン番号)

800b050a-1e82xxxx Non-redundant:Insufficient Resources for [RedundancySetElementName] has asserted. (Cooling Zone 2)

説明: このメッセージは、Redundancy Set が「非冗長: 不十分なりソース」状態に移行した場合に使用されます。

800b050a1e82xxxx または 0x800b050a1e82xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: Critical - Fan Failure

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0810

SNMP トラップ ID: 11

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ファン n のコネクタが損傷していないことを確認します。 2. システム・ボード上のファン n コネクタが損傷していないことを確認します。 3. ファンが正しく取り付けられていることを確認します。 4. ファンを取り付け直します。 5. ファンを交換します。(n = ファン番号)

800b050a-1e83xxxx Non-redundant:Insufficient Resources for [RedundancySetElementName] has asserted. (Cooling Zone 3)

説明: このメッセージは、Redundancy Set が「非冗長: 不十分なりソース」状態に移行した場合に使用されます。

800b050a1e83xxxx または 0x800b050a1e83xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: Critical - Fan Failure

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0810

SNMP トラップ ID: 11

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ファン n のコネクタが損傷していないことを確認します。 2. システム・ボード上のファン n コネクタが損傷していないことを確認します。 3. ファンが正しく取り付けられていることを確認します。 4. ファンを取り付け直します。 5. ファンを交換します。(n = ファン番号)

800b050c-2581xxxx Non-redundant:Insufficient Resources for [RedundancySetElementName] has asserted. (Backup Memory)

説明: このメッセージは、Redundancy Set が「非冗長: 不十分なりソース」状態に移行した場合に使用されます。

800b050c2581xxxx または 0x800b050c2581xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0810

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. システム・イベント・ログで DIMM の障害イベント (訂正不能または PFA) を確認し、障害を解決します。 2. Setup ユーティリティでミラーリングを再度使用可能にします。

806f0007-0301xxxx [ProcessorElementName] has Failed with IERR. (CPU 1)

説明: このメッセージは、「プロセッサ障害 - IERR 状態」が発生したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f00070301xxxx または 0x806f00070301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - CPU

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0042

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. イーサネット、SCSI、および SAS などのすべてのアダプターおよび標準デバイスにおいて、最新のファームウェアおよびデバイス・ドライバのレベルがインストールされていることを確認します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションに対してサポートされていることを確認してください。2. ファームウェア (UEFI および IMM) を最新レベルに更新します (『ファームウェアの更新』)。3. DSA プログラムを実行します。4. アダプターを取り付け直します。5. アダプターを交換します。6. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ n を交換します。7. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。 (n = マイクロプロセッサ番号)

806f0007-0302xxxx [ProcessorElementName] has Failed with IERR. (CPU 2)

説明: このメッセージは、「プロセッサ障害 - IERR 状態」が発生したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f00070302xxxx または 0x806f00070302xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - CPU

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0042

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. イーサネット、SCSI、および SAS などのすべてのアダプターおよび標準デバイスにおいて、最新のファームウェアおよびデバイス・ドライバのレベルがインストールされていることを確認します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションに対してサポートされていることを確認してください。2. ファームウェア (UEFI および IMM) を最新レベルに更新します (『ファームウェアの更新』)。3. DSA プログラムを実行します。4. アダプターを取り付け直します。5. アダプターを交換します。6. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ n を交換します。7. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。 (n = マイクロプロセッサ番号)

806f0008-0a01xxxx • 806f0009-1381xxxx

806f0008-0a01xxxx [PowerSupplyElementName] has been added to container [PhysicalPackageElementName]. (Power Supply 1)

説明: このメッセージは、パワー・サプライが追加されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f00080a01xxxx または 0x806f00080a01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0084

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f0008-0a02xxxx [PowerSupplyElementName] has been added to container [PhysicalPackageElementName]. (Power Supply 2)

説明: このメッセージは、パワー・サプライが追加されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f00080a02xxxx または 0x806f00080a02xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0084

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f0009-1381xxxx [PowerSupplyElementName] has been turned off. (Host Power)

説明: このメッセージは、使用不可にされた電源装置が実装環境で検出された場合に使用されます。

806f00091381xxxx または 0x806f00091381xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - 電源オフ

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0106

SNMP トラップ ID: 23

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000d-0400xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been added. (Drive 0)

説明: このメッセージは、ドライブが追加されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f000d0400xxxx or 0x806f000d0400xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0162

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000d-0401xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been added. (Drive 1)

説明: このメッセージは、ドライブが追加されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f000d0401xxxx または 0x806f000d0401xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0162

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000d-0402xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been added. (Drive 2)

説明: このメッセージは、ドライブが追加されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f000d0402xxxx or 0x806f000d0402xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0162

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000d-0403xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been added. (Drive 3)

説明: このメッセージは、ドライブが追加されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f000d0403xxxx または 0x806f000d0403xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0162

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000d-0404xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been added. (Drive 4)

説明: このメッセージは、ドライブが追加されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f000d0404xxxx または 0x806f000d0404xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0162

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000d-0405xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been added. (Drive 5)

説明: このメッセージは、ドライブが追加されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f000d0405xxxx または 0x806f000d0405xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0162

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000d-0406xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been added. (Drive 6)

説明: このメッセージは、ドライブが追加されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f000d0406xxxx または 0x806f000d0406xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0162

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000d-0407xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been added. (Drive 7)

説明: このメッセージは、ドライブが追加されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f000d0407xxxx または 0x806f000d0407xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0162

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f000f-220101xx The System [ComputerSystemElementName] has detected no memory in the system. (ABR Status)

説明: このメッセージは、メモリーをシステム内で検出済みであることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f000f220101xx または 0x806f000f220101xx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0794

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. サーバーが、始動に必要な最小構成を満たしていることを確認します (『パワー・サブライ LED』を参照)。 2. 以下のようにして、サーバーのファームウェアをバックアップ・ページから回復します: a. サーバーを再始動します。 b. プロンプトが出されたら、F3 を押してファームウェアをリカバリーします。 3. 1 次ページのサーバー・ファームウェアを更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションに対してサポートされていることを確認してください。 4. 問題が発生しなくなるまで、各コンポーネントを一度に 1 つずつ取り外し、そのたびにサーバーを再始動します。 5. 問題が解決しない場合は、(トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。ファームウェア・エラー:

806f000f-220102xx Subsystem [MemoryElementName] has insufficient memory for operation. (ABR Status)

説明: このメッセージは、操作に使用可能なメモリーが不十分であることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f000f220102xx または 0x806f000f220102xx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0132

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. サーバーが、始動に必要な最小構成を満たしていることを確認します (『パワー・サブライ LED』を参照)。 2. 1 次ページのサーバー・ファームウェアを更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションに対してサポートされていることを確認してください。 3. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。ファームウェア・エラー :

806f000f-220103xx The System [ComputerSystemElementName] encountered firmware error - unrecoverable boot device failure. (ABR Status)

説明: このメッセージは、リカバリー不能ブート・デバイス障害を示すシステム・ファームウェア・エラーが発生したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f000f220103xx または 0x806f000f220103xx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0770

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。ファームウェア・エラー :

806f000f-220104xx The System [ComputerSystemElementName] has encountered a motherboard failure. (ABR Status)

説明: このメッセージは、致命的なマザーボード障害がシステムで発生したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f000f220104xx または 0x806f000f220104xx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0795

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。ファームウェア・エラー：

806f000f-220107xx The System [ComputerSystemElementName] encountered firmware error - unrecoverable keyboard failure. (ABR Status)

説明: このメッセージは、リカバリー不能キーボード障害を示すシステム・ファームウェア・エラーが発生したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f000f220107xx または 0x806f000f220107xx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0764

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。ファームウェア・エラー：

806f000f-22010axx The System [ComputerSystemElementName] encountered firmware error - no video device detected. (ABR Status)

説明: このメッセージは、ビデオ・デバイスが検出されないことを示すシステム・ファームウェア・エラーが発生したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f000f22010axx または 0x806f000f22010axx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0766

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

806f000f-22010bxx • 806f000f-22010cxx

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。ファームウェア・エラー：

806f000f-22010bxx Firmware BIOS (ROM) corruption was detected on system [ComputerSystemElementName] during POST. (ABR Status)

説明: システムで POST 中に、ファームウェア BIOS (ROM) 破損が検出されました。

806f000f22010bxx または 0x806f000f22010bxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0850

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. サーバーが、始動に必要な最小構成を満たしていることを確認します (『パワー・サブライ LED』を参照)。2. 以下のようにして、サーバーのファームウェアをバックアップ・ページから回復します: a. サーバーを再始動します。b. プロンプトが出されたら、F3 を押してファームウェアをリカバリーします。3. サーバーのファームウェアを最新レベルに更新します (『ファームウェアの更新』を参照)。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションに対してサポートされていることを確認してください。4. 問題が発生しなくなるまで、各コンポーネントを一度に 1 つずつ取り外し、そのたびにサーバーを再始動します。5. 問題が解決しない場合は、(トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。ファームウェア・エラー：

806f000f-22010cxx CPU voltage mismatch detected on [ProcessorElementName]. (ABR Status)

説明: このメッセージは、CPU 電圧がソケット電圧と一致していないことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f000f22010cxx または 0x806f000f22010cxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - CPU

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0050

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。ファームウェア・エラー：

806f000f-2201ffff The System [ComputerSystemElementName] encountered a POST Error. (ABR Status)

説明: このメッセージは、POST エラーが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f000f2201ffff または 0x806f000f2201ffff として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0184

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。ファームウェア・エラー：

806f0013-1701xxxx A diagnostic interrupt has occurred on system [ComputerSystemElementName]. (NMI State)

説明: このメッセージは、フロント・パネル NMI/診断割り込みが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f00131701xxxx または 0x806f00131701xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0222

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: NMI ボタンを押していない場合は、以下のステップを実行してください。1. NMI ボタンが押されていないことを確認します。2. オペレーター情報パネルのケーブルを交換します。3. オペレーター情報パネルを交換します。

806f0021-2201xxxx Fault in slot [PhysicalConnectorSystemElementName] on system [ComputerSystemElementName]. (No Op ROM Space)

説明: このメッセージは、スロットの障害が実装環境で検出された場合に使用されます。

806f00212201xxxx または 0x806f00212201xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0330

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. PCI LED を確認します。2. 対象のアダプターおよびライザー・カードを取り付け直します。3. サーバーのファームウェア (UEFI および IMM) およびアダプターのファームウェアを更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションに対し

806f0021-2582xxxx • 806f0021-3001xxxx

てサポートされていることを確認してください。 4. 両方のアダプターを取り外します。 5. ライザー・カードを交換します。 6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

806f0021-2582xxxx Fault in slot [PhysicalConnectorSystemElementName] on system [ComputerSystemElementName]. (All PCI Error)

説明: このメッセージは、スロットの障害が実装環境で検出された場合に使用されます。

806f00212582xxxx または 0x806f00212582xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0330

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. PCI LED を確認します。 2. 対象のアダプターおよびライザー・カードを取り付け直します。 3. サーバーのファームウェア (UEFI および IMM) およびアダプターのファームウェアを更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。 デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションに対してサポートされていることを確認してください。 4. 両方のアダプターを取り外します。 5. ライザー・カードを交換します。 6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。 1 つの PCI エラー:

806f0021-3001xxxx Fault in slot [PhysicalConnectorSystemElementName] on system [ComputerSystemElementName]. (PCI 1)

説明: このメッセージは、スロットの障害が実装環境で検出された場合に使用されます。

806f00213001xxxx または 0x806f00213001xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0330

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. PCI LED を確認します。 2. 対象のアダプターおよびライザー・カードを取り付け直します。 3. サーバーのファームウェア (UEFI および IMM) およびアダプターのファームウェアを更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。 デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションに対してサポートされていることを確認してください。 4. 両方のアダプターを取り外します。 5. ライザー・カードを交換します。 6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。 PCI 2 : PCI 5 :

806f0023-2101xxxx Watchdog Timer expired for [WatchdogElementName]. (Watchdog)

説明: このメッセージは、ウォッチドッグ・タイマーの満了が実装環境で検出された場合に使用されます。

806f00232101xxxx または 0x806f00232101xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0368

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f0107-0301xxxx An Over-Temperature Condition has been detected on [ProcessorElementName]. (CPU 1)

説明: このメッセージは、プロセッサの温度超過状態が検出されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f01070301xxxx または 0x806f01070301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0036

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ファンが作動していることを確認します。通気を行うための障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エアー・バッフルが所定の位置に正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じていることを確認します。 2. マイクロプロセッサ n のヒートシンクが正しく取り付けられていることを確認します。 3. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ n を交換します。(n = マイクロプロセッサ番号)

806f0107-0302xxxx An Over-Temperature Condition has been detected on [ProcessorElementName]. (CPU 2)

説明: このメッセージは、プロセッサの温度超過状態が検出されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f01070302xxxx または 0x806f01070302xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0036

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ファンが作動していることを確認します。通気を行うための障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エアー・バッフルが所定の位置に正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じていることを確認します。 2. マイクロプロセッサ n のヒートシンクが正しく取り付けられている

806f0108-0a01xxxx • 806f0108-0a02xxxx

ことを確認します。 3. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ n を交換します。(n = マイクロプロセッサ番号)

806f0108-0a01xxxx [PowerSupplyElementName] has Failed. (Power Supply 1)

説明: このメッセージは、パワー・サプライに障害が起きたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f01080a01xxxx または 0x806f01080a01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 電源

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0086

SNMP トラップ ID: 4

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. パワー・サプライ n を取り付け直します。 2. パワーオン LED が点灯しておらず、パワー・サプライ・エラー LED が点灯している場合、パワー・サプライ n を交換します。 3. パワーオン LED とパワー・サプライ・エラー LED がどちらも点灯していない場合は、『電源問題』を参照して詳細を確認してください。(n = パワー・サプライ番号)

806f0108-0a02xxxx [PowerSupplyElementName] has Failed. (Power Supply 2)

説明: このメッセージは、パワー・サプライに障害が起きたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f01080a02xxxx または 0x806f01080a02xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 電源

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0086

SNMP トラップ ID: 4

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. パワー・サプライ n を取り付け直します。 2. パワーオン LED が点灯しておらず、パワー・サプライ・エラー LED が点灯している場合、パワー・サプライ n を交換します。 3. パワーオン LED とパワー・サプライ・エラー LED がどちらも点灯していない場合は、『電源問題』を参照して詳細を確認してください。(n = パワー・サプライ番号)

806f0109-1381xxxx [PowerSupplyElementName] has been Power Cycled. (Host Power)

説明: このメッセージは、電源の再投入が行われた電源装置が実装環境で検出された場合に使用されます。

806f01091381xxxx または 0x806f01091381xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0108

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f010c-2001xxxx Uncorrectable error detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 1)

説明: このメッセージは、メモリーの訂正不能エラーが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f010c2001xxxx または 0x806f010c2001xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0138

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。 3. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。 6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。 7. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前の場合は、影響を受けたすべての DIMM を手動で再び使用可能にします。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降である場合、サーバーを給電部から切断し、給電部に再接続し、再始動します。 8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサを交換します。

**806f010c-2002xxxx Uncorrectable error detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem
[MemoryElementName]. (DIMM 2)**

説明: このメッセージは、メモリーの訂正不能エラーが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f010c2002xxxx または 0x806f010c2002xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0138

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。 3. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。 6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。 7. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前の場合は、影響を受けたすべての DIMM を手動で再び使用可能にします。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降である場合、サーバーを給電部から切断し、給電部に再接続し、再始動します。 8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサを交換します。

**806f010c-2003xxxx Uncorrectable error detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem
[MemoryElementName]. (DIMM 3)**

説明: このメッセージは、メモリーの訂正不能エラーが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f010c2003xxxx または 0x806f010c2003xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0138

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。 3. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。 6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。 7. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前の場合は、影響を受けたすべての DIMM を手動で再び使用可能にします。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降である場合、サーバーを給電部から切断し、給電部に再接続し、再始動します。 8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロ

プロセッサを交換します。

**806f010c-2004xxxx Uncorrectable error detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem
[MemoryElementName]. (DIMM 4)**

説明: このメッセージは、メモリーの訂正不能エラーが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f010c2004xxxx または 0x806f010c2004xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0138

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。 3. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。 6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。 7. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前の場合は、影響を受けたすべての DIMM を手動で再び使用可能にします。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降である場合、サーバーを給電部から切断し、給電部に再接続し、再始動します。 8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサを交換します。

**806f010c-2005xxxx Uncorrectable error detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem
[MemoryElementName]. (DIMM 5)**

説明: このメッセージは、メモリーの訂正不能エラーが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f010c2005xxxx または 0x806f010c2005xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0138

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。 3. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。 6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。 7. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前の場合は、影響を受けたすべての DIMM を手動で再

806f010c-2006xxxx • 806f010c-2007xxxx

び使用可能にします。 サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降である場合、サーバーを給電部から切断し、給電部に再接続し、再始動します。 8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサを交換します。

806f010c-2006xxxx Uncorrectable error detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 6)

説明: このメッセージは、メモリーの訂正不能エラーが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f010c2006xxxx または 0x806f010c2006xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0138

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。 3. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。 6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。 7. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前の場合は、影響を受けたすべての DIMM を手動で再び使用可能にします。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降である場合、サーバーを給電部から切断し、給電部に再接続し、再始動します。 8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサを交換します。

806f010c-2007xxxx Uncorrectable error detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 7)

説明: このメッセージは、メモリーの訂正不能エラーが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f010c2007xxxx または 0x806f010c2007xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0138

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。 3. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、シ

ステム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。
 7. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前の場合は、影響を受けたすべての DIMM を手動で再び使用可能にします。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降である場合、サーバーを給電部から切断し、給電部に再接続し、再始動します。8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサを交換します。

**806f010c-2008xxxx Uncorrectable error detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem
 [MemoryElementName]. (DIMM 8)**

説明: このメッセージは、メモリーの訂正不能エラーが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f010c2008xxxx または 0x806f010c2008xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0138

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。3. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。7. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前の場合は、影響を受けたすべての DIMM を手動で再び使用可能にします。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降である場合、サーバーを給電部から切断し、給電部に再接続し、再始動します。8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサを交換します。

**806f010c-2009xxxx Uncorrectable error detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem
 [MemoryElementName]. (DIMM 9)**

説明: このメッセージは、メモリーの訂正不能エラーが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f010c2009xxxx または 0x806f010c2009xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0138

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。3. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが

806f010c-200axxxx • 806f010c-200bxxxx

損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。 6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。 7. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前の場合は、影響を受けたすべての DIMM を手動で再び使用可能にします。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降である場合、サーバーを給電部から切断し、給電部に再接続し、再始動します。 8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサを交換します。

806f010c-200axxxx Uncorrectable error detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 10)

説明: このメッセージは、メモリーの訂正不能エラーが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f010c200axxxx または 0x806f010c200axxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0138

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。 3. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。 6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。 7. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前の場合は、影響を受けたすべての DIMM を手動で再び使用可能にします。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降である場合、サーバーを給電部から切断し、給電部に再接続し、再始動します。 8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサを交換します。

806f010c-200bxxxx Uncorrectable error detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 11)

説明: このメッセージは、メモリーの訂正不能エラーが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f010c200bxxxx または 0x806f010c200bxxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0138

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。 3. 問題

が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクタで問題が発生する場合は、DIMM コネクタを確認します。コネクタに異物が入っていたり、コネクタが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。7. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前の場合は、影響を受けたすべての DIMM を手動で再び使用可能にします。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降である場合、サーバーを給電部から切断し、給電部に再接続し、再始動します。8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサを交換します。

**806f010c-200cxxxx Uncorrectable error detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem
[MemoryElementName]. (DIMM 12)**

説明: このメッセージは、メモリーの訂正不能エラーが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f010c200cxxxx または 0x806f010c200cxxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0138

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。3. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクタで問題が発生する場合は、DIMM コネクタを確認します。コネクタに異物が入っていたり、コネクタが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。7. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前の場合は、影響を受けたすべての DIMM を手動で再び使用可能にします。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降である場合、サーバーを給電部から切断し、給電部に再接続し、再始動します。8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサを交換します。

**806f010c-200dxxxx Uncorrectable error detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem
[MemoryElementName]. (DIMM 13)**

説明: このメッセージは、メモリーの訂正不能エラーが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f010c200dxxxx または 0x806f010c200dxxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0138

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新につい

806f010c-200exxxx

ては、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。 3. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。 6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。 7. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前の場合は、影響を受けたすべての DIMM を手動で再び使用可能にします。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降である場合、サーバーを給電部から切断し、給電部に再接続し、再始動します。 8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサを交換します。

806f010c-200exxxx Uncorrectable error detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 14)

説明: このメッセージは、メモリーの訂正不能エラーが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f010c200exxxx または 0x806f010c200exxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0138

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。 3. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。 6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。 7. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前の場合は、影響を受けたすべての DIMM を手動で再び使用可能にします。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降である場合、サーバーを給電部から切断し、給電部に再接続し、再始動します。 8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサを交換します。

**806f010c-200fxxxx Uncorrectable error detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem
[MemoryElementName]. (DIMM 15)**

説明: このメッセージは、メモリーの訂正不能エラーが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f010c200fxxxx または 0x806f010c200fxxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0138

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。 3. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。 6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。 7. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前の場合は、影響を受けたすべての DIMM を手動で再び使用可能にします。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降である場合、サーバーを給電部から切断し、給電部に再接続し、再始動します。 8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサを交換します。

**806f010c-2010xxxx Uncorrectable error detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem
[MemoryElementName]. (DIMM 16)**

説明: このメッセージは、メモリーの訂正不能エラーが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f010c2010xxxx または 0x806f010c2010xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0138

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。 3. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。 6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。 7. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前の場合は、影響を受けたすべての DIMM を手動で再び使用可能にします。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降である場合、サーバーを給電部から切断し、給電部に再接続し、再始動します。 8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロ

プロセッサを交換します。

**806f010c-2011xxxx Uncorrectable error detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem
[MemoryElementName]. (DIMM 17)**

説明: このメッセージは、メモリーの訂正不能エラーが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f010c2011xxxx または 0x806f010c2011xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0138

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。 3. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。 6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。 7. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前の場合は、影響を受けたすべての DIMM を手動で再び使用可能にします。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降である場合、サーバーを給電部から切断し、給電部に再接続し、再始動します。 8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサを交換します。

**806f010c-2012xxxx Uncorrectable error detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem
[MemoryElementName]. (DIMM 18)**

説明: このメッセージは、メモリーの訂正不能エラーが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f010c2012xxxx または 0x806f010c2012xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0138

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。 3. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。 6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。 7. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前の場合は、影響を受けたすべての DIMM を手動で再

び使用可能にします。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降である場合、サーバーを給電部から切断し、給電部に再接続し、再始動します。8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサを交換します。

806f010c-2581xxxx Uncorrectable error detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (All DIMMS)

説明: このメッセージは、メモリーの訂正不能エラーが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f010c2581xxxx または 0x806f010c2581xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0138

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。3. 問題が DIMM に付随する場合は、該当する DIMM を交換します。4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。7. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前の場合は、影響を受けたすべての DIMM を手動で再び使用可能にします。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降である場合、サーバーを給電部から切断し、給電部に再接続し、再始動します。8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサを交換します。1 つの DIMM:

806f010d-0400xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault. (Drive 0)

説明: このメッセージは、ドライブが障害によって使用不可になったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f010d0400xxxx または 0x806f010d0400xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0164

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク (ドライブを再度取り付ける前に 1 分以上待ちます)。b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。3. 次のコンポーネントを、記載されている順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。a. ハード・ディスク。b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。c. ハード・ディスク・バックプレーン。(n = ハード・ディスク番号)

806f010d-0401xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault. (Drive 1)

説明: このメッセージは、ドライブが障害によって使用不可になったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f010d0401xxxx または 0x806f010d0401xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0164

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。 a. ハード・ディスク (ドライブを再度取り付ける前に 1 分以上待ちます)。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 3. 次のコンポーネントを、記載されている順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 c. ハード・ディスク・バックプレーン。(n = ハード・ディスク番号)

806f010d-0402xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault. (Drive 2)

説明: このメッセージは、ドライブが障害によって使用不可になったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f010d0402xxxx または 0x806f010d0402xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0164

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。 a. ハード・ディスク (ドライブを再度取り付ける前に 1 分以上待ちます)。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 3. 次のコンポーネントを、記載されている順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 c. ハード・ディスク・バックプレーン。(n = ハード・ディスク番号)

806f010d-0403xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault. (Drive 3)

説明: このメッセージは、ドライブが障害によって使用不可になったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f010d0403xxxx または 0x806f010d0403xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0164

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。 a. ハード・ディスク (ドライブを再度取り付ける前に 1 分以上待ちます)。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 3. 次のコンポーネントを、記載されている順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 c. ハード・ディスク・バックプレーン。(n = ハード・ディスク番号)

806f010d-0404xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault. (Drive 4)

説明: このメッセージは、ドライブが障害によって使用不可になったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f010d0404xxxx または 0x806f010d0404xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0164

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。 a. ハード・ディスク (ドライブを再度取り付ける前に 1 分以上待ちます)。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 3. 次のコンポーネントを、記載されている順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 c. ハード・ディスク・バックプレーン。(n = ハード・ディスク番号)

806f010d-0405xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault. (Drive 5)

説明: このメッセージは、ドライブが障害によって使用不可になったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f010d0405xxxx または 0x806f010d0405xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0164

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。 a. ハード・ディスク (ドライブを再度取り付ける前に 1 分以上待ちます)。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 3. 次のコンポーネントを、記載されている順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 c. ハード・ディスク・バックプレーン。(n = ハード・ディスク番号)

806f010d-0406xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault. (Drive 6)

説明: このメッセージは、ドライブが障害によって使用不可になったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f010d0406xxxx または 0x806f010d0406xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0164

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。 a. ハード・ディスク (ドライブを再度取り付ける前に 1 分以上待ちます)。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 3. 次のコンポーネントを、記載されている順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 c. ハード・ディスク・バックプレーン。(n = ハード・ディスク番号)

806f010d-0407xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been disabled due to a detected fault. (Drive 7)

説明: このメッセージは、ドライブが障害によって使用不可になったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f010d0407xxxx または 0x806f010d0407xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0164

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。a. ハード・ディスク (ドライブを再度取り付ける前に 1 分以上待ちます)。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 3. 次のコンポーネントを、記載されている順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 c. ハード・ディスク・バックプレーン。(n = ハード・ディスク番号)

806f010f-2201xxxx The System [ComputerSystemElementName] encountered a firmware hang. (Firmware Error)

説明: このメッセージは、システム・ファームウェアのハングが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f010f2201xxxx または 0x806f010f2201xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: システム - ブート障害

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0186

SNMP トラップ ID: 25

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. サーバーが、始動に必要な最小構成を満たしていることを確認します (『パワー・サブライ LED』を参照)。 2. 1 次ページのサーバー・ファームウェアを更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションに対してサポートされていることを確認してください。 3. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

806f011b-0701xxxx The connector [PhysicalConnectorElementName] has encountered a configuration error. (Video USB)

説明: このメッセージは、インターコネクト構成エラーが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f011b0701xxxx または 0x806f011b0701xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0266

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. システム・ボード上の電源パドル・ケーブルを取り付け直します。 2. 電源パドル・ケーブルを交換します。 3. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

806f0123-2101xxxx Reboot of system [ComputerSystemElementName] initiated by [WatchdogElementName]. (Watchdog)

説明: このメッセージは、ウォッチドッグによるリブートの発生が実装環境で検出された場合に使用されます。

806f01232101xxxx または 0x806f01232101xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0370

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f0125-0b01xxxx [ManagedElementName] detected as absent. (SAS Riser)

説明: このメッセージは、管理対象エレメントが存在しないことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f01250b01xxxx または 0x806f01250b01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0392

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f0125-0b02xxxx [ManagedElementName] detected as absent. (PCI Riser 1)

説明: このメッセージは、管理対象エレメントが存在しないことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f01250b02xxxx または 0x806f01250b02xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0392

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f0125-0b03xxxx [ManagedElementName] detected as absent. (PCI Riser 2)

説明: このメッセージは、管理対象エレメントが存在しないことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f01250b03xxxx または 0x806f01250b03xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0392

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f0125-0c01xxxx [ManagedElementName] detected as absent. (Front Panel)

説明: このメッセージは、管理対象エレメントが存在しないことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f01250c01xxxx または 0x806f01250c01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0392

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f0125-1d01xxxx [ManagedElementName] detected as absent. (Fan 1)

説明: このメッセージは、管理対象エレメントが存在しないことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f01251d01xxxx または 0x806f01251d01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0392

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f0125-1d02xxxx [ManagedElementName] detected as absent. (Fan 2)

説明: このメッセージは、管理対象エレメントが存在しないことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f01251d02xxxx または 0x806f01251d02xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0392

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f0125-1d03xxxx [ManagedElementName] detected as absent. (Fan 3)

説明: このメッセージは、管理対象エレメントが存在しないことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f01251d03xxxx または 0x806f01251d03xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0392

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f0125-1d04xxxx [ManagedElementName] detected as absent. (Fan 4)

説明: このメッセージは、管理対象エレメントが存在しないことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f01251d04xxxx または 0x806f01251d04xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0392

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f0125-1d05xxxx [ManagedElementName] detected as absent. (Fan 5)

説明: このメッセージは、管理対象エレメントが存在しないことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f01251d05xxxx または 0x806f01251d05xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0392

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f0125-1d06xxxx [ManagedElementName] detected as absent. (Fan 6)

説明: このメッセージは、管理対象エレメントが存在しないことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f01251d06xxxx または 0x806f01251d06xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0392

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f0207-0301xxxx [ProcessorElementName] has Failed with FRB1/BIST condition. (CPU 1)

説明: このメッセージは、「プロセッサ障害 - FRB1/BIST 状態」が実装環境で検出された場合に使用されます。

806f02070301xxxx または 0x806f02070301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - CPU

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0044

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. イーサネット、SCSI、および SAS などのすべてのアダプターおよび標準デバイスにおいて、最新のファームウェアおよびデバイス・ドライバのレベルがインストールされていることを確認します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションに対してサポートされていることを確認してください。2. ファームウェア (UEFI および IMM) を最新レベルに更新します (『ファームウェアの更新』)。3. DSA プログラムを実行します。4. アダプターを取り付け直します。5. アダプターを交換します。6. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ n を交換します。7. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。 (n = マイクロプロセッサ番号)

806f0207-0302xxxx [ProcessorElementName] has Failed with FRB1/BIST condition. (CPU 2)

説明: このメッセージは、「プロセッサ障害 - FRB1/BIST 状態」が実装環境で検出された場合に使用されます。

806f02070302xxxx または 0x806f02070302xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - CPU

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0044

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. イーサネット、SCSI、および SAS などのすべてのアダプターおよび標準デバイスにおいて、最新のファームウェアおよびデバイス・ドライバのレベルがインストールされていることを確認します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションに対してサポートされていることを確認してください。2. ファームウェア (UEFI および IMM) を最新レベルに更新します (『ファームウェアの更新』)。3. DSA プログラムを実行します。4. アダプターを取り付け直します。5. アダプターを交換します。6. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ n を交換します。7. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。 (n = マイクロプロセッサ番号)

**806f020d-0400xxxx Failure Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array
[ComputerSystemElementName].(Drive 0)**

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f020d0400xxxx または 0x806f020d0400xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0168

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。 a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 3. 次のコンポーネントを、記載された順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 c. ハード・ディスク・バックプレーン。(n = ハード・ディスク番号)

**806f020d-0401xxxx Failure Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array
[ComputerSystemElementName].(Drive 1)**

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f020d0401xxxx または 0x806f020d0401xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0168

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。 a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 3. 次のコンポーネントを、記載された順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 c. ハード・ディスク・バックプレーン。(n = ハード・ディスク番号)

**806f020d-0402xxxx Failure Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array
[ComputerSystemElementName].(Drive 2)**

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f020d0402xxxx または 0x806f020d0402xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0168

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。 a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 3. 次のコンポーネントを、記載された順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 c. ハード・ディスク・バックプレーン。(n = ハード・ディスク番号)

**806f020d-0403xxxx Failure Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array
[ComputerSystemElementName].(Drive 3)**

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f020d0403xxxx or 0x806f020d0403xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0168

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。 a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 3. 次のコンポーネントを、記載された順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 c. ハード・ディスク・バックプレーン。(n = ハード・ディスク番号)

**806f020d-0404xxxx Failure Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array
[ComputerSystemElementName].(Drive 4)**

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f020d0404xxxx または 0x806f020d0404xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0168

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。 a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 3. 次のコンポーネントを、記載された順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 c. ハード・ディスク・バックプレーン。(n = ハード・ディスク番号)

**806f020d-0405xxxx Failure Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array
[ComputerSystemElementName].(Drive 5)**

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f020d0405xxxx または 0x806f020d0405xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0168

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。 a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 3. 次のコンポーネントを、記載された順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 c. ハード・ディスク・バックプレーン。(n = ハード・ディスク番号)

**806f020d-0406xxxx Failure Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array
[ComputerSystemElementName].(Drive 6)**

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f020d0406xxxx または 0x806f020d0406xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0168

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。 a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 3. 次のコンポーネントを、記載された順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 c. ハード・ディスク・バックプレーン。(n = ハード・ディスク番号)

**806f020d-0407xxxx Failure Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array
[ComputerSystemElementName].(Drive 7)**

説明: このメッセージは、アレイ障害が予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f020d0407xxxx または 0x806f020d0407xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0168

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ドライブ n にハード・ディスクの診断テストを実行します。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。 a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 3. 次のコンポーネントを、記載された順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ハード・ディスク。 b. システム・ボードからバックプレーンへのケーブル。 c. ハード・ディスク・バックプレーン。(n = ハード・ディスク番号)

806f0212-2584xxxx The System [ComputerSystemElementName] has encountered an unknown system hardware fault. (CPU Fault Reboot)

説明: このメッセージは、不明なシステム・ハードウェア障害が実装環境で検出された場合に使用されます。

806f02122584xxxx または 0x806f02122584xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0214

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。 2. マイクロプロセッサ n のヒートシンクが正しく取り付けられていることを確認します。 3. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ n を交換します。(n = マイクロプロセッサ番号)

806f0223-2101xxxx Powering off system [ComputerSystemElementName] initiated by [WatchdogElementName]. (Watchdog)

説明: このメッセージは、ウォッチドッグによる電源オフが発生したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f02232101xxxx または 0x806f02232101xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0372

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f0308-0a01xxxx [PowerSupplyElementName] has lost input. (Power Supply 1)

説明: このメッセージは、パワー・サプライの入力が失われたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f03080a01xxxx または 0x806f03080a01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0100

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. 電源コードを再接続します。 2. パワー・サプライ n LED を確認します。 3. 詳しくは、『パワー・サプライ LED』を参照してください。(n = パワー・サプライ番号)

806f0308-0a02xxxx [PowerSupplyElementName] has lost input. (Power Supply 2)

説明: このメッセージは、パワー・サブライの入力が失われたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f03080a02xxxx or 0x806f03080a02xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0100

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. 電源コードを再接続します。 2. パワー・サブライ n LED を確認します。 3. 詳しくは、『パワー・サブライ LED』を参照してください。(n = パワー・サブライ番号)

806f030c-2001xxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 1)

説明: このメッセージは、メモリーの消し込み障害が実装環境で検出された場合に使用されます。

806f030c2001xxxx または 0x806f030c2001xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0136

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. DIMM がしっかりと装着されていること、および DIMM コネクターに異物がないことを確認します。その後、同じ DIMM を使用して再試行します。 3. 問題が DIMM に関連している場合は、エラー LED によって示される障害のある DIMM を交換します。 4. 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。 7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) この問題がマイクロプロセッサ・ソケット・ピンに関連している場合は、システム・ボードを交換します。

806f030c-2002xxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 2)

説明: このメッセージは、メモリーの消し込み障害が実装環境で検出された場合に使用されます。

806f030c2002xxxx または 0x806f030c2002xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0136

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. DIMM がしっかりと装着されていること、および DIMM コネクタに異物がないことを確認します。その後、同じ DIMM を使用して再試行します。 3. 問題が DIMM に関連している場合は、エラー LED によって示される障害のある DIMM を交換します。 4. 同じ DIMM コネクタで問題が発生する場合は、該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクタで問題が発生する場合は、DIMM コネクタを確認します。コネクタに異物が入っていたり、コネクタが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。 7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) この問題がマイクロプロセッサ・ソケット・ピンに関連している場合は、システム・ボードを交換します。

806f030c-2003xxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 3)

説明: このメッセージは、メモリーの消し込み障害が実装環境で検出された場合に使用されます。

806f030c2003xxxx または 0x806f030c2003xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0136

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. DIMM がしっかりと装着されていること、および DIMM コネクタに異物がないことを確認します。その後、同じ DIMM を使用して再試行します。 3. 問題が DIMM に関連している場合は、エラー LED によって示される障害のある DIMM を交換します。 4. 同じ DIMM コネクタで問題が発生する場合は、該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクタで問題が発生する場合は、DIMM コネクタを確認します。コネクタに異物が入っていたり、コネクタが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロ

プロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。 7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) この問題がマイクロプロセッサ・ソケット・ピンに関連している場合は、システム・ボードを交換します。

806f030c-2004xxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 4)

説明: このメッセージは、メモリーの消し込み障害が実装環境で検出された場合に使用されます。

806f030c2004xxxx または 0x806f030c2004xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0136

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. DIMM がしっかりと装着されていること、および DIMM コネクタに異物がないことを確認します。その後、同じ DIMM を使用して再試行します。 3. 問題が DIMM に関連している場合は、エラー LED によって示される障害のある DIMM を交換します。 4. 同じ DIMM コネクタで問題が発生する場合は、該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクタで問題が発生する場合は、DIMM コネクタを確認します。コネクタに異物が入っていたり、コネクタが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。 7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) この問題がマイクロプロセッサ・ソケット・ピンに関連している場合は、システム・ボードを交換します。

806f030c-2005xxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 5)

説明: このメッセージは、メモリーの消し込み障害が実装環境で検出された場合に使用されます。

806f030c2005xxxx または 0x806f030c2005xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0136

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. DIMM がしっかりと装着されていること、および DIMM コネクタに異物がないことを確認します。その後、同じ DIMM を使用して再試行します。 3. 問題が DIMM に関連している場合は、エラー LED によって示される障害のある DIMM を交換します。 4. 同じ DIMM コネクタで問題が発生する場合は、該当する DIMM (システム・ボー

ドのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。 7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) この問題がマイクロプロセッサ・ソケット・ピンに関連している場合は、システム・ボードを交換します。

806f030c-2006xxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 6)

説明: このメッセージは、メモリーの消し込み障害が実装環境で検出された場合に使用されます。

806f030c2006xxxx または 0x806f030c2006xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0136

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. DIMM がしっかりと装着されていること、および DIMM コネクターに異物がないことを確認します。その後、同じ DIMM を使用して再試行します。 3. 問題が DIMM に関連している場合は、エラー LED によって示される障害のある DIMM を交換します。 4. 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。 7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) この問題がマイクロプロセッサ・ソケット・ピンに関連している場合は、システム・ボードを交換します。

806f030c-2007xxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 7)

説明: このメッセージは、メモリーの消し込み障害が実装環境で検出された場合に使用されます。

806f030c2007xxxx または 0x806f030c2007xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0136

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。 1. このメモリー・エラーに適用され

る、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。

2. DIMM がしっかりと装着されていること、および DIMM コネクターに異物がないことを確認します。その後、同じ DIMM を使用して再試行します。

3. 問題が DIMM に関連している場合は、エラー LED によって示される障害のある DIMM を交換します。

4. 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。

5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。

6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。

7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) この問題がマイクロプロセッサ・ソケット・ピンに関連している場合は、システム・ボードを交換します。

806f030c-2008xxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 8)

説明: このメッセージは、メモリーの消し込み障害が実装環境で検出された場合に使用されます。

806f030c2008xxxx または 0x806f030c2008xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0136

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。

2. DIMM がしっかりと装着されていること、および DIMM コネクターに異物がないことを確認します。その後、同じ DIMM を使用して再試行します。

3. 問題が DIMM に関連している場合は、エラー LED によって示される障害のある DIMM を交換します。

4. 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。

5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。

6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。

7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) この問題がマイクロプロセッサ・ソケット・ピンに関連している場合は、システム・ボードを交換します。

806f030c-2009xxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 9)

説明: このメッセージは、メモリーの消し込み障害が実装環境で検出された場合に使用されます。

806f030c2009xxxx または 0x806f030c2009xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0136

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. DIMM がしっかりと装着されていること、および DIMM コネクタに異物がないことを確認します。その後、同じ DIMM を使用して再試行します。 3. 問題が DIMM に関連している場合は、エラー LED によって示される障害のある DIMM を交換します。 4. 同じ DIMM コネクタで問題が発生する場合は、該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクタで問題が発生する場合は、DIMM コネクタを確認します。コネクタに異物が入っていたり、コネクタが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。 7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) この問題がマイクロプロセッサ・ソケット・ピンに関連している場合は、システム・ボードを交換します。

806f030c-200axxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 10)

説明: このメッセージは、メモリーの消し込み障害が実装環境で検出された場合に使用されます。

806f030c200axxxx または 0x806f030c200axxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0136

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. DIMM がしっかりと装着されていること、および DIMM コネクタに異物がないことを確認します。その後、同じ DIMM を使用して再試行します。 3. 問題が DIMM に関連している場合は、エラー LED によって示される障害のある DIMM を交換します。 4. 同じ DIMM コネクタで問題が発生する場合は、該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクタで問題が発生する場合は、DIMM コネクタを確認します。コネクタに異物が入っていたり、コネクタが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロ

806f030c-200bxxxx • 806f030c-200cxxxx

プロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。 7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) この問題がマイクロプロセッサ・ソケット・ピンに関連している場合は、システム・ボードを交換します。

806f030c-200bxxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 11)

説明: このメッセージは、メモリーの消し込み障害が実装環境で検出された場合に使用されます。

806f030c200bxxxx または 0x806f030c200bxxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0136

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. DIMM がしっかりと装着されていること、および DIMM コネクタに異物がないことを確認します。その後、同じ DIMM を使用して再試行します。 3. 問題が DIMM に関連している場合は、エラー LED によって示される障害のある DIMM を交換します。 4. 同じ DIMM コネクタで問題が発生する場合は、該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクタで問題が発生する場合は、DIMM コネクタを確認します。コネクタに異物が入っていたり、コネクタが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。 7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) この問題がマイクロプロセッサ・ソケット・ピンに関連している場合は、システム・ボードを交換します。

806f030c-200cxxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 12)

説明: このメッセージは、メモリーの消し込み障害が実装環境で検出された場合に使用されます。

806f030c200cxxxx または 0x806f030c200cxxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0136

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. DIMM がしっかりと装着されていること、および DIMM コネクタに異物がないことを確認します。その後、同じ DIMM を使用して再試行します。 3. 問題が DIMM に関連している場合は、エラー LED によって示される障害のある DIMM を交換します。 4. 同じ DIMM コネクタで問題が発生する場合は、該当する DIMM (システム・ボー

ドのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクタで問題が発生する場合は、DIMM コネクタを確認します。コネクタに異物が入っていたり、コネクタが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。 7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) この問題がマイクロプロセッサ・ソケット・ピンに関連している場合は、システム・ボードを交換します。

806f030c-200dxxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 13)

説明: このメッセージは、メモリーの消し込み障害が実装環境で検出された場合に使用されます。

806f030c200dxxxx または 0x806f030c200dxxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0136

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. DIMM がしっかりと装着されていること、および DIMM コネクタに異物がないことを確認します。その後、同じ DIMM を使用して再試行します。 3. 問題が DIMM に関連している場合は、エラー LED によって示される障害のある DIMM を交換します。 4. 同じ DIMM コネクタで問題が発生する場合は、該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクタで問題が発生する場合は、DIMM コネクタを確認します。コネクタに異物が入っていたり、コネクタが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。 7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) この問題がマイクロプロセッサ・ソケット・ピンに関連している場合は、システム・ボードを交換します。

806f030c-200exxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 14)

説明: このメッセージは、メモリーの消し込み障害が実装環境で検出された場合に使用されます。

806f030c200exxxx または 0x806f030c200exxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0136

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。 1. このメモリー・エラーに適用され

る、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。

2. DIMM がしっかりと装着されていること、および DIMM コネクタに異物がないことを確認します。その後、同じ DIMM を使用して再試行します。

3. 問題が DIMM に関連している場合は、エラー LED によって示される障害のある DIMM を交換します。

4. 同じ DIMM コネクタで問題が発生する場合は、該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。

5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクタで問題が発生する場合は、DIMM コネクタを確認します。コネクタに異物が入っていたり、コネクタが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。

6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。

7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) この問題がマイクロプロセッサ・ソケット・ピンに関連している場合は、システム・ボードを交換します。

806f030c-200fxxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 15)

説明: このメッセージは、メモリーの消し込み障害が実装環境で検出された場合に使用されます。

806f030c200fxxxx または 0x806f030c200fxxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0136

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。

1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。

2. DIMM がしっかりと装着されていること、および DIMM コネクタに異物がないことを確認します。その後、同じ DIMM を使用して再試行します。

3. 問題が DIMM に関連している場合は、エラー LED によって示される障害のある DIMM を交換します。

4. 同じ DIMM コネクタで問題が発生する場合は、該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。

5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクタで問題が発生する場合は、DIMM コネクタを確認します。コネクタに異物が入っていたり、コネクタが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。

6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。

7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) この問題がマイクロプロセッサ・ソケット・ピンに関連している場合は、システム・ボードを交換します。

806f030c-2010xxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 16)

説明: このメッセージは、メモリーの消し込み障害が実装環境で検出された場合に使用されます。

806f030c2010xxxx または 0x806f030c2010xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0136

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. DIMM がしっかりと装着されていること、および DIMM コネクターに異物がないことを確認します。その後、同じ DIMM を使用して再試行します。 3. 問題が DIMM に関連している場合は、エラー LED によって示される障害のある DIMM を交換します。 4. 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。 7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) この問題がマイクロプロセッサ・ソケット・ピンに関連している場合は、システム・ボードを交換します。

806f030c-2011xxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 17)

説明: このメッセージは、メモリーの消し込み障害が実装環境で検出された場合に使用されます。

806f030c2011xxxx または 0x806f030c2011xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0136

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. DIMM がしっかりと装着されていること、および DIMM コネクターに異物がないことを確認します。その後、同じ DIMM を使用して再試行します。 3. 問題が DIMM に関連している場合は、エラー LED によって示される障害のある DIMM を交換します。 4. 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロ

プロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。 7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) この問題がマイクロプロセッサ・ソケット・ピンに関連している場合は、システム・ボードを交換します。

806f030c-2012xxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 18)

説明: このメッセージは、メモリーの消し込み障害が実装環境で検出された場合に使用されます。

806f030c2012xxxx または 0x806f030c2012xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0136

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. DIMM がしっかりと装着されていること、および DIMM コネクタに異物がないことを確認します。その後、同じ DIMM を使用して再試行します。 3. 問題が DIMM に関連している場合は、エラー LED によって示される障害のある DIMM を交換します。 4. 同じ DIMM コネクタで問題が発生する場合は、該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクタで問題が発生する場合は、DIMM コネクタを確認します。コネクタに異物が入っていたり、コネクタが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。 7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) この問題がマイクロプロセッサ・ソケット・ピンに関連している場合は、システム・ボードを交換します。

806f030c-2581xxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (All DIMMS)

説明: このメッセージは、メモリーの消し込み障害が実装環境で検出された場合に使用されます。

806f030c2581xxxx または 0x806f030c2581xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0136

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. DIMM がしっかりと装着されていること、および DIMM コネクタに異物がないことを確認します。その後、同じ DIMM を使用して再試行します。 3. 問題が DIMM に関連している場合は、エラー LED によって示される障害のある DIMM を交換します。 4. 同じ DIMM コネクタで問題が発生する場合は、該当する DIMM (システム・ボー

ドのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクタで問題が発生する場合は、DIMM コネクタを確認します。コネクタに異物が入っていたり、コネクタが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。 7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) この問題がマイクロプロセッサ・ソケット・ピンに関連している場合は、システム・ボードを交換します。 1 つの DIMM:

806f0313-1701xxxx A software NMI has occurred on system [ComputerSystemElementName]. (NMI State)

説明: このメッセージは、ソフトウェア NMI が実装環境で検出された場合に使用されます。

806f03131701xxxx or 0x806f03131701xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0228

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. デバイス・ドライバーをチェックします。 2. デバイス・ドライバーを再インストールします。 3. すべてのデバイス・ドライバーを最新レベルに更新します。 4. ファームウェア (UEFI および IMM) を更新します。

806f0323-2101xxxx Power cycle of system [ComputerSystemElementName] initiated by watchdog [WatchdogElementName]. (Watchdog)

説明: このメッセージは、ウォッチドッグによる電源サイクルが発生したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f03232101xxxx or 0x806f03232101xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0374

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f040c-2001xxxx [PhysicalMemoryElementName] Disabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 1)

説明: このメッセージは、メモリーが使用不可となったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f040c2001xxxx または 0x806f040c2001xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0131

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。 2. メモリーの障害 (メモリー訂正不能エラー、あるいはメモリー・ロギングが限度に達した、など) によって DIMM が使用不可にされている場合は、そのエラー・イベントの推奨処置に従い、サーバーを再始動します。 3. このメモリー・イベントに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup ユーティリティまたは Advanced Settings ユーティリティ (ASU) から DIMM を再び使用可能にすることができます。

806f040c-2002xxxx [PhysicalMemoryElementName] Disabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 2)

説明: このメッセージは、メモリーが使用不可となったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f040c2002xxxx または 0x806f040c2002xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0131

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。 2. メモリーの障害 (メモリー訂正不能エラー、あるいはメモリー・ロギングが限度に達した、など) によって DIMM が使用不可にされている場合は、そのエラー・イベントの推奨処置に従い、サーバーを再始動します。 3. このメモリー・イベントに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup ユーティリティまたは Advanced Settings ユーティリティ (ASU) から DIMM を再び使用可能にすることができます。

806f040c-2003xxxx [PhysicalMemoryElementName] Disabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 3)

説明: このメッセージは、メモリーが使用不可となったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f040c2003xxxx または 0x806f040c2003xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0131

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。 2. メモリーの障害 (メモリー訂正不能エラー、あるいはメモリー・ロギングが限度に達した、など) によって DIMM が使用不可にされている場合は、そのエラー・イベントの推奨処置に従い、サーバーを再始動します。 3. このメモリー・イベントに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup ユーティリティまたは Advanced Settings ユーティリティ (ASU) から DIMM を再び使用可能にすることができます。

806f040c-2004xxxx [PhysicalMemoryElementName] Disabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 4)

説明: このメッセージは、メモリーが使用不可となったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f040c2004xxxx または 0x806f040c2004xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0131

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。 2. メモリーの障害 (メモリー訂正不能エラー、あるいはメモリー・ロギングが限度に達した、など) によって DIMM が使用不可にされている場合は、そのエラー・イベントの推奨処置に従い、サーバーを再始動します。 3. このメモリー・イベントに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup ユーティリティまたは Advanced Settings ユーティリティ (ASU) から DIMM を再び使用可能にすることができます。

806f040c-2005xxxx [PhysicalMemoryElementName] Disabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 5)

説明: このメッセージは、メモリーが使用不可となったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f040c2005xxxx または 0x806f040c2005xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0131

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。 2. メモリーの障害 (メモリー訂正不能エラー、あるいはメモリー・ロギングが限度に達した、など) によって DIMM が使用不可にされている場合は、そのエラー・イベントの推奨処置に従い、サーバーを再始動します。 3. このメモリー・イベントに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup ユーティリティまたは Advanced Settings ユーティリティ (ASU) から DIMM を再び使用可能にすることができます。

806f040c-2006xxxx [PhysicalMemoryElementName] Disabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 6)

説明: このメッセージは、メモリーが使用不可となったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f040c2006xxxx または 0x806f040c2006xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0131

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。 2. メモリーの障害 (メモリー訂正不能エラー、あるいはメモリー・ロギングが限度に達した、など) によって DIMM が使用不可にされている場合は、そのエラー・イベントの推奨処置に従い、サーバーを再始動します。 3. このメモリー・イベントに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup ユーティリティまたは Advanced Settings ユーティリティ (ASU) から DIMM を再び使用可能にすることができます。

806f040c-2007xxxx [PhysicalMemoryElementName] Disabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 7)

説明: このメッセージは、メモリーが使用不可となったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f040c2007xxxx または 0x806f040c2007xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0131

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。 2. メモリーの障害 (メモリー訂正不能エラー、あるいはメモリー・ロギングが限度に達した、など) によって DIMM が使用不可にされている場合は、そのエラー・イベントの推奨処置に従い、サーバーを再始動します。 3. このメモリー・イベントに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup ユーティリティまたは Advanced Settings ユーティリティ (ASU) から DIMM を再び使用可能にすることができます。

806f040c-2008xxxx [PhysicalMemoryElementName] Disabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 8)

説明: このメッセージは、メモリーが使用不可となったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f040c2008xxxx または 0x806f040c2008xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0131

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。 2. メモリーの障害 (メモリー訂正不能エラー、あるいはメモリー・ロギングが限度に達した、など) によって DIMM が使用不可にされている場合は、そのエラー・イベントの推奨処置に従い、サーバーを再始動します。 3. このメモリー・イベントに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup ユーティリティまたは Advanced Settings ユーティリティ (ASU) から DIMM を再び使用可能にすることができます。

806f040c-2009xxxx [PhysicalMemoryElementName] Disabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 9)

説明: このメッセージは、メモリーが使用不可となったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f040c2009xxxx または 0x806f040c2009xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0131

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。 2. メモリーの障害 (メモリー訂正不能エラー、あるいはメモリー・ロギングが限度に達した、など) によって DIMM が使用不可にされている場合は、そのエラー・イベントの推奨処置に従い、サーバーを再始動します。 3. このメモリー・イベントに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup ユーティリティまたは Advanced Settings ユーティリティ (ASU) から DIMM を再び使用可能にすることができます。

806f040c-200axxxx [PhysicalMemoryElementName] Disabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 10)

説明: このメッセージは、メモリーが使用不可となったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f040c200axxxx または 0x806f040c200axxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0131

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。 2. メモリーの障害 (メモリー訂正不能エラー、あるいはメモリー・ロギングが限度に達した、など) によって DIMM が使用不可にされている場合は、そのエラー・イベントの推奨処置に従い、サーバーを再始動します。 3. このメモリー・イベントに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup ユーティリティまたは Advanced Settings ユーティリティ (ASU) から DIMM を再び使用可能にすることができます。

806f040c-200bxxxx [PhysicalMemoryElementName] Disabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 11)

説明: このメッセージは、メモリーが使用不可となったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f040c200bxxxx または 0x806f040c200bxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0131

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。 2. メモリーの障害 (メモリー訂正不能エラー、あるいはメモリー・ロギングが限度に達した、など) によって DIMM が使用不可にされている場合は、そのエラー・イベントの推奨処置に従い、サーバーを再始動します。 3. このメモリー・イベントに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup ユーティリティまたは Advanced Settings ユーティリティ (ASU) から DIMM を再び使用可能にすることができます。

806f040c-200cxxxx [PhysicalMemoryElementName] Disabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 12)

説明: このメッセージは、メモリーが使用不可となったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f040c200cxxxx または 0x806f040c200cxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0131

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。 2. メモリーの障害 (メモリー訂正不能エラー、あるいはメモリー・ロギングが限度に達した、など) によって DIMM が使用不可にされている場合は、そのエラー・イベントの推奨処置に従い、サーバーを再始動します。 3. このメモリー・イベントに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup ユーティリティまたは Advanced Settings ユーティリティ (ASU) から DIMM を再び使用可能にすることができます。

806f040c-200dxxxx [PhysicalMemoryElementName] Disabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 13)

説明: このメッセージは、メモリーが使用不可となったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f040c200dxxxx または 0x806f040c200dxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0131

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。 2. メモリーの障害 (メモリー訂正不能エラー、あるいはメモリー・ロギングが限度に達した、など) によって DIMM が使用不可にされている場合は、そのエラー・イベントの推奨処置に従い、サーバーを再始動します。 3. このメモリー・イベントに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup ユーティリティまたは Advanced Settings ユーティリティ (ASU) から DIMM を再び使用可能にすることができます。

806f040c-200exxxx [PhysicalMemoryElementName] Disabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 14)

説明: このメッセージは、メモリーが使用不可となったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f040c200exxxx または 0x806f040c200exxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0131

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。 2. メモリーの障害 (メモリー訂正不能エラー、あるいはメモリー・ロギングが限度に達した、など) によって DIMM が使用不可にされている場合は、そのエラー・イベントの推奨処置に従い、サーバーを再始動します。 3. このメモリー・イベントに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup ユーティリティまたは Advanced Settings ユーティリティ (ASU) から DIMM を再び使用可能にすることができます。

806f040c-200fxxxx [PhysicalMemoryElementName] Disabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 15)

説明: このメッセージは、メモリーが使用不可となったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f040c200fxxxx または 0x806f040c200fxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0131

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。 2. メモリーの障害 (メモリー訂正不能エラー、あるいはメモリー・ロギングが限度に達した、など) によって DIMM が使用不可にされている場合は、そのエラー・イベントの推奨処置に従い、サーバーを再始動します。 3. このメモリー・イベントに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup ユーティリティまたは Advanced Settings ユーティリティ (ASU) から DIMM を再び使用可能にすることができます。

806f040c-2010xxxx [PhysicalMemoryElementName] Disabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 16)

説明: このメッセージは、メモリーが使用不可となったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f040c2010xxxx または 0x806f040c2010xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0131

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。 2. メモリーの障害 (メモリー訂正不能エラー、あるいはメモリー・ロギングが限度に達した、など) によって DIMM が使用不可にされている場合は、そのエラー・イベントの推奨処置に従い、サーバーを再始動します。 3. このメモリー・イベントに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup ユーティリティまたは Advanced Settings ユーティリティ (ASU) から DIMM を再び使用可能にすることができます。

806f040c-2011xxxx [PhysicalMemoryElementName] Disabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 17)

説明: このメッセージは、メモリーが使用不可となったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f040c2011xxxx または 0x806f040c2011xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0131

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。 2. メモリーの障害 (メモリー訂正不能エラー、あるいはメモリー・ロギングが限度に達した、など) によって DIMM が使用不可にされている場合は、そのエラー・イベントの推奨処置に従い、サーバーを再始動します。 3. このメモリー・イベントに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup ユーティリティまたは Advanced Settings ユーティリティ (ASU) から DIMM を再び使用可能にすることができます。

806f040c-2012xxxx [PhysicalMemoryElementName] Disabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 18)

説明: このメッセージは、メモリーが使用不可となったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f040c2012xxxx または 0x806f040c2012xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0131

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。 2. メモリーの障害 (メモリー訂正不能エラー、あるいはメモリー・ロギングが限度に達した、など) によって DIMM が使用不可にされている場合は、そのエラー・イベントの推奨処置に従い、サーバーを再始動します。 3. このメモリー・イベントに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup ユーティリティまたは Advanced Settings ユーティリティ (ASU) から DIMM を再び使用可能にすることができます。

806f040c-2581xxxx [PhysicalMemoryElementName] Disabled on Subsystem [MemoryElementName]. (All DIMMS)

説明: このメッセージは、メモリーが使用不可となったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f040c2581xxxx または 0x806f040c2581xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0131

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します。 2. メモリーの障害 (メモリー訂正不能エラー、あるいはメモリー・ロギングが限度に達した、など) によって DIMM が使用不可にされている場合は、そのエラー・イベントの推奨処置に従い、サーバーを再始動します。 3. このメモリー・イベントに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup ユーティリティーまたは Advanced Settings ユーティリティー (ASU) から DIMM を再び使用可能にすることができます。1 つの DIMM:

806f0413-2582xxxx A PCI PERR has occurred on system [ComputerSystemElementName]. (PCIs)

説明: このメッセージは、PCI PERR が実装環境で検出された場合に使用されます。

806f04132582xxxx または 0x806f04132582xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0232

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. PCI LED を確認します。 2. 対象のアダプターおよびライザー・カードを取り付け直します。 3. サーバーのファームウェア (UEFI および IMM) およびアダプターのファームウェアを更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションに対してサポートされていることを確認してください。 4. 両方のアダプターを取り外します。 5. PCIe アダプターを交換します。 6. ライザー・カードを交換します。

806f0507-0301xxxx [ProcessorElementName] has a Configuration Mismatch. (CPU 1)

説明: このメッセージは、プロセッサ構成のミスマッチが発生したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f05070301xxxx または 0x806f05070301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - CPU

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0062

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. CPU LED を確認します。CPU LED の詳細については、『Light Path 診断』を参照してください。 2. サーバーのファームウェアの更新を確認します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションに対してサポートされていることを確認してください。 3. 取り付けられたマイクロプロセッサ同士に互換性があることを確認します。 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ n を取り付け直します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ n を交換します。(n = マイクロプロセッサ番号)

806f0507-0302xxxx [ProcessorElementName] has a Configuration Mismatch. (CPU 2)

説明: このメッセージは、プロセッサ構成のミスマッチが発生したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f05070302xxxx または 0x806f05070302xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - CPU

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0062

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. CPU LED を確認します。CPU LED の詳細については、『Light Path 診断』を参照してください。 2. サーバーのファームウェアの更新を確認します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションに対してサポートされていることを確認してください。 3. 取り付けられたマイクロプロセッサ同士に互換性があることを確認します。 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ n を取り付け直します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ n を交換します。(n = マイクロプロセッサ番号)

**806f050c-2001xxxx Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem
[MemoryElementName]. (DIMM 1)**

説明: このメッセージは、メモリー・ロギング限度に達したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f050c2001xxxx または 0x806f050c2001xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリ: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0144

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。 3. 同じ DIMM でまだエラーが発生する場合は、対象の DIMM を交換します。 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。 6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。

**806f050c-2002xxxx Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem
[MemoryElementName]. (DIMM 2)**

説明: このメッセージは、メモリー・ロギング限度に達したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f050c2002xxxx または 0x806f050c2002xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリ: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0144

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。 3. 同じ DIMM でまだエラーが発生する場合は、対象の DIMM を交換します。 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。 6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。

**806f050c-2003xxxx Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem
[MemoryElementName]. (DIMM 3)**

説明: このメッセージは、メモリー・ロギング限度に達したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f050c2003xxxx または 0x806f050c2003xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0144

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。 3. 同じ DIMM でまだエラーが発生する場合は、対象の DIMM を交換します。 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。 6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。

**806f050c-2004xxxx Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem
[MemoryElementName]. (DIMM 4)**

説明: このメッセージは、メモリー・ロギング限度に達したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f050c2004xxxx または 0x806f050c2004xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0144

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。 3. 同じ DIMM でまだエラーが発生する場合は、対象の DIMM を交換します。 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。 6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。

**806f050c-2005xxxx Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem
[MemoryElementName]. (DIMM 5)**

説明: このメッセージは、メモリー・ロギング限度に達したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f050c2005xxxx または 0x806f050c2005xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0144

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。 3. 同じ DIMM でまだエラーが発生する場合は、対象の DIMM を交換します。 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。 6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。

**806f050c-2006xxxx Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem
[MemoryElementName]. (DIMM 6)**

説明: このメッセージは、メモリー・ロギング限度に達したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f050c2006xxxx または 0x806f050c2006xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0144

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。 3. 同じ DIMM でまだエラーが発生する場合は、対象の DIMM を交換します。 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。 6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。

**806f050c-2007xxxx Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem
[MemoryElementName]. (DIMM 7)**

説明: このメッセージは、メモリー・ロギング限度に達したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f050c2007xxxx または 0x806f050c2007xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0144

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。 3. 同じ DIMM でまだエラーが発生する場合は、対象の DIMM を交換します。 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。 6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。

**806f050c-2008xxxx Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem
[MemoryElementName]. (DIMM 8)**

説明: このメッセージは、メモリー・ロギング限度に達したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f050c2008xxxx または 0x806f050c2008xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0144

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。 3. 同じ DIMM でまだエラーが発生する場合は、対象の DIMM を交換します。 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。 6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。

806f050c-2009xxxx Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 9)

説明: このメッセージは、メモリー・ロギング限度に達したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f050c2009xxxx または 0x806f050c2009xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0144

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。 3. 同じ DIMM でまだエラーが発生する場合は、対象の DIMM を交換します。 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。 6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。

806f050c-200axxxx Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 10)

説明: このメッセージは、メモリー・ロギング限度に達したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f050c200axxxx または 0x806f050c200axxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0144

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。 3. 同じ DIMM でまだエラーが発生する場合は、対象の DIMM を交換します。 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。 6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。

**806f050c-200bxxxx Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem
[MemoryElementName]. (DIMM 11)**

説明: このメッセージは、メモリー・ロギング限度に達したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f050c200bxxxx または 0x806f050c200bxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0144

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。 3. 同じ DIMM でまだエラーが発生する場合は、対象の DIMM を交換します。 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。 6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。

**806f050c-200cxxxx Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem
[MemoryElementName]. (DIMM 12)**

説明: このメッセージは、メモリー・ロギング限度に達したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f050c200cxxxx または 0x806f050c200cxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0144

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。 3. 同じ DIMM でまだエラーが発生する場合は、対象の DIMM を交換します。 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。 6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。

**806f050c-200dxxxx Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem
[MemoryElementName]. (DIMM 13)**

説明: このメッセージは、メモリー・ロギング限度に達したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f050c200dxxxx または 0x806f050c200dxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリ: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0144

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。 3. 同じ DIMM でまだエラーが発生する場合は、対象の DIMM を交換します。 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。 6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。

**806f050c-200exxxx Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem
[MemoryElementName]. (DIMM 14)**

説明: このメッセージは、メモリー・ロギング限度に達したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f050c200exxxx または 0x806f050c200exxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリ: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0144

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。 3. 同じ DIMM でまだエラーが発生する場合は、対象の DIMM を交換します。 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。 6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。

**806f050c-200fxxxx Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem
[MemoryElementName]. (DIMM 15)**

説明: このメッセージは、メモリー・ロギング限度に達したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f050c200fxxxx または 0x806f050c200fxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0144

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。 3. 同じ DIMM でまだエラーが発生する場合は、対象の DIMM を交換します。 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。 6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。

**806f050c-2010xxxx Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem
[MemoryElementName]. (DIMM 16)**

説明: このメッセージは、メモリー・ロギング限度に達したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f050c2010xxxx または 0x806f050c2010xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0144

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。 3. 同じ DIMM でまだエラーが発生する場合は、対象の DIMM を交換します。 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。 6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。

**806f050c-2011xxxx Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem
[MemoryElementName]. (DIMM 17)**

説明: このメッセージは、メモリー・ロギング限度に達したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f050c2011xxxx または 0x806f050c2011xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0144

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。 3. 同じ DIMM でまだエラーが発生する場合は、対象の DIMM を交換します。 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。 6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。

**806f050c-2012xxxx Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem
[MemoryElementName]. (DIMM 18)**

説明: このメッセージは、メモリー・ロギング限度に達したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f050c2012xxxx または 0x806f050c2012xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0144

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。 3. 同じ DIMM でまだエラーが発生する場合は、対象の DIMM を交換します。 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。 6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。

806f050c-2581xxxx Memory Logging Limit Reached for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (All DIMMS)

説明: このメッセージは、メモリー・ロギング限度に達したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f050c2581xxxx または 0x806f050c2581xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0144

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 該当する DIMM (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログに示されます) を、異なるメモリー・チャネルまたはマイクロプロセッサにスワップします。 3. 同じ DIMM でまだエラーが発生する場合は、対象の DIMM を交換します。 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。 6. (トレーニングを受けた技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。 1 つの DIMM:

806f050d-0400xxxx Array [ComputerSystemElementName] is in critical condition. (Drive 0)

説明: このメッセージは、アレイがクリティカルであることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f050d0400xxxx または 0x806f050d0400xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0174

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアおよびハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。 4. RAID アダプターを交換します。 5. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

806f050d-0401xxxx Array [ComputerSystemElementName] is in critical condition. (Drive 1)

説明: このメッセージは、アレイがクリティカルであることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f050d0401xxxx または 0x806f050d0401xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0174

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアおよびハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。 4. RAID アダプターを交換します。 5. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

806f050d-0402xxxx Array [ComputerSystemElementName] is in critical condition. (Drive 2)

説明: このメッセージは、アレイがクリティカルであることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f050d0402xxxx または 0x806f050d0402xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0174

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアおよびハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。 4. RAID アダプターを交換します。 5. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

806f050d-0403xxxx Array [ComputerSystemElementName] is in critical condition. (Drive 3)

説明: このメッセージは、アレイがクリティカルであることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f050d0403xxxx または 0x806f050d0403xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0174

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアおよびハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。 4. RAID アダプターを交換します。 5. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

806f050d-0404xxxx Array [ComputerSystemElementName] is in critical condition. (Drive 4)

説明: このメッセージは、アレイがクリティカルであることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f050d0404xxxx または 0x806f050d0404xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0174

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアおよびハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。 4. RAID アダプターを交換します。 5. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

806f050d-0405xxxx Array [ComputerSystemElementName] is in critical condition. (Drive 5)

説明: このメッセージは、アレイがクリティカルであることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f050d0405xxxx または 0x806f050d0405xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0174

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアおよびハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。 4. RAID アダプターを交換します。 5. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

806f050d-0406xxxx Array [ComputerSystemElementName] is in critical condition. (Drive 6)

説明: このメッセージは、アレイがクリティカルであることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f050d0406xxxx または 0x806f050d0406xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0174

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアおよびハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。 4. RAID アダプターを交換します。 5. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

806f050d-0407xxxx Array [ComputerSystemElementName] is in critical condition. (Drive 7)

説明: このメッセージは、アレイがクリティカルであることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f050d0407xxxx または 0x806f050d0407xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0174

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアおよびハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。 4. RAID アダプターを交換します。 5. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

806f0513-2582xxxx A PCI SERR has occurred on system [ComputerSystemElementName]. (PCIs)

説明: このメッセージは、PCI SERR が実装環境で検出された場合に使用されます。

806f05132582xxxx または 0x806f05132582xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0234

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. PCI LED を確認します。 2. 対象のアダプターおよびライザー・カードを取り付け直します。 3. サーバーのファームウェア (UEFI および IMM) およびアダプターのファームウェアを更新します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションに対してサポートされていることを確認してください。 4. アダプターがサポートされていることを確認します。サポートするオプション装置のリストについては、<http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us/> を参照してください。 5. 両方のアダプターを取り外します。 6. PCIe アダプターを交換します。 7. ライザー・カードを交換します。

**806f052b-2101xxxx Invalid or Unsupported firmware or software was detected on system
[ComputerSystemElementName]. (IMM FW Failover)**

説明: このメッセージは、無効な/サポートされないファームウェア/ソフトウェアのバージョンが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f052b2101xxxx または 0x806f052b2101xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0446

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. サーバーが、始動に必要な最小構成を満たしていることを確認します (『パワー・サブライ LED』を参照)。 2. サーバーを再始動して、バックアップ・ページからサーバー・ファームウェアをリカバリーします。 3. サーバーのファームウェアを最新レベルに更新します (『ファームウェアの更新』を参照)。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。 デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションに対してサポートされていることを確認してください。 4. 問題が発生しなくなるまで、各コンポーネントを一度に 1 つずつ取り外し、そのたびにサーバーを再始動します。 5. 問題が解決しない場合は、(トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

**806f0607-0301xxxx An SM BIOS Uncorrectable CPU complex error for [ProcessorElementName] has asserted.
(CPU 1)**

説明: このメッセージは、SM BIOS 訂正不能 CPU 複合エラーが表明された場合に使用されます。

806f06070301xxxx または 0x806f06070301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - CPU

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0816

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. 取り付けられたマイクロプロセッサ同士に互換性があることを確認します (マイクロプロセッサの要件については、『マイクロプロセッサおよびヒートシンクの取り付け』を参照)。 2. サーバーのファームウェアを最新レベルに更新します (『ファームウェアの更新』を参照)。 3. (トレーニングを受けた技術員のみ) 互換性の無いマイクロプロセッサを取り替えます。

806f0607-0302xxxx An SM BIOS Uncorrectable CPU complex error for [ProcessorElementName] has asserted.
(CPU 2)

説明: このメッセージは、SM BIOS 訂正不能 CPU 複合エラーが表明された場合に使用されます。

806f06070302xxxx または 0x806f06070302xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - CPU

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0816

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. 取り付けられたマイクロプロセッサ同士に互換性があることを確認します (マイクロプロセッサの要件については、『マイクロプロセッサおよびヒートシンクの取り付け』を参照)。 2. サーバーのファームウェアを最新レベルに更新します (『ファームウェアの更新』を参照)。 3. (トレーニングを受けた技術員のみ) 互換性の無いマイクロプロセッサを取り替えます。

806f0608-0a01xxxx [PowerSupplyElementName] has a Configuration Mismatch. (Power Supply 1)

説明: このメッセージは、パワー・サプライに構成エラーのあることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f06080a01xxxx または 0x806f06080a01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 電源

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0104

SNMP トラップ ID: 4

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. 取り付けられたパワー・サプライの定格 (ワット数) が同一であることを確認します。 2. 定格 (ワット数) が同一のパワー・サプライを再取り付けします。

806f0608-0a02xxxx [PowerSupplyElementName] has a Configuration Mismatch. (Power Supply 2)

説明: このメッセージは、パワー・サプライに構成エラーのあることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f06080a02xxxx または 0x806f06080a02xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - 電源

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0104

SNMP トラップ ID: 4

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. 取り付けられたパワー・サプライの定格 (ワット数) が同一であることを確認します。 2. 定格 (ワット数) が同一のパワー・サプライを再取り付けします。

806f060d-0400xxxx Array [ComputerSystemElementName] has failed. (Drive 0)

説明: このメッセージは、アレイが失敗したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f060d0400xxxx または 0x806f060d0400xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0176

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアおよびハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。 4. RAID アダプターを交換します。 5. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

806f060d-0401xxxx Array [ComputerSystemElementName] has failed. (Drive 1)

説明: このメッセージは、アレイが失敗したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f060d0401xxxx または 0x806f060d0401xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0176

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアおよびハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。 4. RAID アダプターを交換します。 5. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

806f060d-0402xxxx Array [ComputerSystemElementName] has failed. (Drive 2)

説明: このメッセージは、アレイが失敗したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f060d0402xxxx または 0x806f060d0402xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0176

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアおよびハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。 4. RAID アダプターを交換します。 5. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

806f060d-0403xxxx Array [ComputerSystemElementName] has failed. (Drive 3)

説明: このメッセージは、アレイが失敗したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f060d0403xxxx または 0x806f060d0403xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0176

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアおよびハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。 4. RAID アダプターを交換します。 5. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

806f060d-0404xxxx Array [ComputerSystemElementName] has failed. (Drive 4)

説明: このメッセージは、アレイが失敗したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f060d0404xxxx または 0x806f060d0404xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0176

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアおよびハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。 4. RAID アダプターを交換します。 5. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

806f060d-0405xxxx Array [ComputerSystemElementName] has failed. (Drive 5)

説明: このメッセージは、アレイが失敗したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f060d0405xxxx または 0x806f060d0405xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0176

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアおよびハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。 4. RAID アダプターを交換します。 5. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

806f060d-0406xxxx Array [ComputerSystemElementName] has failed. (Drive 6)

説明: このメッセージは、アレイが失敗したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f060d0406xxxx または 0x806f060d0406xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0176

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアおよびハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。 4. RAID アダプターを交換します。 5. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

806f060d-0407xxxx Array [ComputerSystemElementName] has failed. (Drive 7)

説明: このメッセージは、アレイが失敗したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f060d0407xxxx または 0x806f060d0407xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0176

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. RAID アダプターのファームウェアおよびハード・ディスクのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 2. SAS ケーブルが正しく接続されていることを確認します。 3. SAS ケーブルを交換します。 4. RAID アダプターを交換します。 5. 状況 LED が点灯しているハード・ディスクを交換します。

806f070c-2001xxxx Configuration Error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 1)

説明: このメッセージは、メモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f070c2001xxxx または 0x806f070c2001xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0126

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: DIMM が正しい順序で取り付けられていること、すべて同じサイズ、タイプ、速度、およびテクノロジーであることを確認します。

**806f070c-2002xxxx Configuration Error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 2)**

説明: このメッセージは、メモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f070c2002xxxx または 0x806f070c2002xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0126

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: DIMM が正しい順序で取り付けられていること、すべて同じサイズ、タイプ、速度、およびテクノロジーであることを確認します。

**806f070c-2003xxxx Configuration Error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 3)**

説明: このメッセージは、メモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f070c2003xxxx または 0x806f070c2003xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0126

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: DIMM が正しい順序で取り付けられていること、すべて同じサイズ、タイプ、速度、およびテクノロジーであることを確認します。

**806f070c-2004xxxx Configuration Error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 4)**

説明: このメッセージは、メモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f070c2004xxxx または 0x806f070c2004xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0126

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: DIMM が正しい順序で取り付けられていること、すべて同じサイズ、タイプ、速度、およびテクノロジーであることを確認します。

806f070c-2005xxxx • 806f070c-2006xxxx

ロジーであることを確認します。

806f070c-2005xxxx Configuration Error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 5)

説明: このメッセージは、メモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f070c2005xxxx または 0x806f070c2005xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0126

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: DIMM が正しい順序で取り付けられていること、すべて同じサイズ、タイプ、速度、およびテクノロジーであることを確認します。

806f070c-2006xxxx Configuration Error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 6)

説明: このメッセージは、メモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f070c2006xxxx または 0x806f070c2006xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0126

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: DIMM が正しい順序で取り付けられていること、すべて同じサイズ、タイプ、速度、およびテクノロジーであることを確認します。

**806f070c-2007xxxx Configuration Error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 7)**

説明: このメッセージは、メモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f070c2007xxxx または 0x806f070c2007xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0126

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: DIMM が正しい順序で取り付けられていること、すべて同じサイズ、タイプ、速度、およびテクノロジーであることを確認します。

**806f070c-2008xxxx Configuration Error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 8)**

説明: このメッセージは、メモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f070c2008xxxx または 0x806f070c2008xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0126

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: DIMM が正しい順序で取り付けられていること、すべて同じサイズ、タイプ、速度、およびテクノロジーであることを確認します。

**806f070c-2009xxxx Configuration Error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 9)**

説明: このメッセージは、メモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f070c2009xxxx または 0x806f070c2009xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0126

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: DIMM が正しい順序で取り付けられていること、すべて同じサイズ、タイプ、速度、およびテクノロジーであることを確認します。

806f070c-200axxxx • 806f070c-200bxxxx

ロジーであることを確認します。

806f070c-200axxxx Configuration Error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 10)

説明: このメッセージは、メモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f070c200axxxx または 0x806f070c200axxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0126

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: DIMM が正しい順序で取り付けられていること、すべて同じサイズ、タイプ、速度、およびテクノロジーであることを確認します。

806f070c-200bxxxx Configuration Error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 11)

説明: このメッセージは、メモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f070c200bxxxx または 0x806f070c200bxxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0126

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: DIMM が正しい順序で取り付けられていること、すべて同じサイズ、タイプ、速度、およびテクノロジーであることを確認します。

**806f070c-200cxxxx Configuration Error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 12)**

説明: このメッセージは、メモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f070c200cxxxx または 0x806f070c200cxxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0126

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: DIMM が正しい順序で取り付けられていること、すべて同じサイズ、タイプ、速度、およびテクノロジーであることを確認します。

**806f070c-200dxxxx Configuration Error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 13)**

説明: このメッセージは、メモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f070c200dxxxx または 0x806f070c200dxxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0126

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: DIMM が正しい順序で取り付けられていること、すべて同じサイズ、タイプ、速度、およびテクノロジーであることを確認します。

**806f070c-200exxxx Configuration Error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 14)**

説明: このメッセージは、メモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f070c200exxxx or 0x806f070c200exxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0126

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: DIMM が正しい順序で取り付けられていること、すべて同じサイズ、タイプ、速度、およびテクノロジーであることを確認します。

806f070c-200fxxxx • 806f070c-2010xxxx

ロジーであることを確認します。

806f070c-200fxxxx Configuration Error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 15)

説明: このメッセージは、メモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f070c200fxxxx または 0x806f070c200fxxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0126

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: DIMM が正しい順序で取り付けられていること、すべて同じサイズ、タイプ、速度、およびテクノロジーであることを確認します。

806f070c-2010xxxx Configuration Error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 16)

説明: このメッセージは、メモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f070c2010xxxx または 0x806f070c2010xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0126

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: DIMM が正しい順序で取り付けられていること、すべて同じサイズ、タイプ、速度、およびテクノロジーであることを確認します。

**806f070c-2011xxxx Configuration Error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 17)**

説明: このメッセージは、メモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f070c2011xxxx または 0x806f070c2011xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0126

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: DIMM が正しい順序で取り付けられていること、すべて同じサイズ、タイプ、速度、およびテクノロジーであることを確認します。

**806f070c-2012xxxx Configuration Error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName].
(DIMM 18)**

説明: このメッセージは、メモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f070c2012xxxx または 0x806f070c2012xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0126

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: DIMM が正しい順序で取り付けられていること、すべて同じサイズ、タイプ、速度、およびテクノロジーであることを確認します。

**806f070c-2581xxxx Configuration Error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName].
(All DIMMS)**

説明: このメッセージは、メモリー DIMM 構成エラーが解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f070c2581xxxx または 0x806f070c2581xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0126

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: DIMM が正しい順序で取り付けられていること、すべて同じサイズ、タイプ、速度、およびテクノロジーであることを確認します。

806f070d-0400xxxx • 806f070d-0402xxxx

ロジーであることを確認します。 1 つの DIMM:

806f070d-0400xxxx Rebuild in progress for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 0)

説明: このメッセージは、アレイの再ビルドが進行中であることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f070d0400xxxx または 0x806f070d0400xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0178

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f070d-0401xxxx Rebuild in progress for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 1)

説明: このメッセージは、アレイの再ビルドが進行中であることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f070d0401xxxx or 0x806f070d0401xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0178

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f070d-0402xxxx Rebuild in progress for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 2)

説明: このメッセージは、アレイの再ビルドが進行中であることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f070d0402xxxx または 0x806f070d0402xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0178

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f070d-0403xxxx Rebuild in progress for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 3)

説明: このメッセージは、アレイの再ビルドが進行中であることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f070d0403xxxx または 0x806f070d0403xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0178

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f070d-0404xxxx Rebuild in progress for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 4)

説明: このメッセージは、アレイの再ビルドが進行中であることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f070d0404xxxx or 0x806f070d0404xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0178

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f070d-0405xxxx Rebuild in progress for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 5)

説明: このメッセージは、アレイの再ビルドが進行中であることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f070d0405xxxx または 0x806f070d0405xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0178

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f070d-0406xxxx Rebuild in progress for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 6)

説明: このメッセージは、アレイの再ビルドが進行中であることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f070d0406xxxx または 0x806f070d0406xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0178

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f070d-0407xxxx Rebuild in progress for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 7)

説明: このメッセージは、アレイの再ビルドが進行中であることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f070d0407xxxx または 0x806f070d0407xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0178

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f0807-0301xxxx [ProcessorElementName] has been Disabled. (CPU 1)

説明: このメッセージは、プロセッサが使用不可となったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f08070301xxxx または 0x806f08070301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0061

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f0807-0302xxxx [ProcessorElementName] has been Disabled. (CPU 2)

説明: このメッセージは、プロセッサが使用不可となったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f08070302xxxx または 0x806f08070302xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0061

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f0807-2584xxxx [ProcessorElementName] has been Disabled. (All CPUs)

説明: このメッセージは、プロセッサが使用不可となったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f08072584xxxx または 0x806f08072584xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0061

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。 1 つの CPU :

806f0813-2581xxxx A Uncorrectable Bus Error has occurred on system [ComputerSystemElementName]. (DIMMs)

説明: このメッセージは、バスの訂正不能エラーが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f08132581xxxx または 0x806f08132581xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0240

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. システム・イベント・ログを確認します。 2. (トレーニングを受けた技術員のみ) 障害のあるマイクロプロセッサをシステム・ボードから取り外します (『マイクロプロセッサおよびヒートシンクの取り外し』を参照)。 3. サーバーのファームウェアの更新を確認します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションに対してサポートされていることを確認してください。 4. 2 つのマイクロプロセッサが一致していることを確認してください。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

806f0813-2582xxxx A Uncorrectable Bus Error has occurred on system [ComputerSystemElementName]. (PCIs)

説明: このメッセージは、バスの訂正不能エラーが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f08132582xxxx または 0x806f08132582xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0240

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. システム・イベント・ログを確認します。 2. (トレーニングを受けた技術員のみ) 障害のあるマイクロプロセッサをシステム・ボードから取り外します (『マイクロプロセッサおよびヒートシンクの取り外し』を参照)。 3. サーバーのファームウェアの更新を確認します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションに対してサポートされていることを確認してください。 4. 2 つのマイクロプロセッサが一致していることを確認してください。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

806f0813-2584xxxx A Uncorrectable Bus Error has occurred on system [ComputerSystemElementName]. (CPU)

説明: このメッセージは、バスの訂正不能エラーが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f08132584xxxx または 0x806f08132584xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0240

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: はい

ユーザーの処置: 1. システム・イベント・ログを確認します。 2. (トレーニングを受けた技術員のみ) 障害のあるマイクロプロセッサをシステム・ボードから取り外します (『マイクロプロセッサおよびヒートシンクの取り外し』を参照)。 3. サーバーのファームウェアの更新を確認します。重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションに対してサポートされていることを確認してください。 4. 2 つのマイクロプロセッサが一致していることを確認してください。 5. (トレーニングを受けた技術員のみ) システム・ボードを交換します。

806f0823-2101xxxx Watchdog Timer interrupt occurred for [WatchdogElementName]. (Watchdog)

説明: このメッセージは、ウォッチドッグ・タイマー割り込みの発生が実装環境で検出された場合に使用されます。

806f08232101xxxx または 0x806f08232101xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0376

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

806f0a07-0301xxxx [ProcessorElementName] is operating in a Degraded State. (CPU 1)

説明: このメッセージは、プロセッサが機能低下状態で稼働していることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f0a070301xxxx または 0x806f0a070301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - CPU

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0038

SNMP トラップ ID: 42

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。 2. 室温を確認してください。仕様の範囲内で稼働させる必要があります。 3. マイクロプロセッサ n のヒートシンクが正しく取り付けられていることを確認します。 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ n を交換します。(n = マイクロプロセッサ番号)

806f0a07-0302xxxx [ProcessorElementName] is operating in a Degraded State. (CPU 2)

説明: このメッセージは、プロセッサが機能低下状態で稼働していることが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f0a070302xxxx または 0x806f0a070302xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 警告

アラート・カテゴリー: 警告 - CPU

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0038

SNMP トラップ ID: 42

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ファンが作動していること、通気への障害物がないこと (サーバーの前面と背面)、エアー・バッフルが所定の位置にあり、正しく取り付けられていること、およびサーバー・カバーが取り付けられており、完全に閉じられていることを確認します。 2. 室温を確認してください。仕様の範囲内で稼働させる必要があります。 3. マイ

81010002-2801xxxx • 81010202-2801xxxx

クロプロセッサ n のヒートシンクが正しく取り付けられていることを確認します。 4. (トレーニングを受けた技術員のみ) マイクロプロセッサ n を交換します。(n = マイクロプロセッサ番号)

81010002-2801xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going low (lower non-critical) has deasserted. (CMOS Battery)

説明: このメッセージは、下限非クリティカル・センサーが低すぎることの表明解除が実装環境で検出された場合に使用されます。

810100022801xxxx または 0x810100022801xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - 電圧

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0477

SNMP トラップ ID: 13

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010202-0701xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going low (lower critical) has deasserted. (Planar 12V)

説明: このメッセージは、下限クリティカル・センサーが低すぎることの表明解除が実装環境で検出された場合に使用されます。

810102020701xxxx または 0x810102020701xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 電圧

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0481

SNMP トラップ ID: 1

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。 Planar 3.3V : Planar 5V :

81010202-2801xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going low (lower critical) has deasserted. (CMOS Battery)

説明: このメッセージは、下限クリティカル・センサーが低すぎることの表明解除が実装環境で検出された場合に使用されます。

810102022801xxxx または 0x810102022801xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 電圧

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0481

SNMP トラップ ID: 1

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81010204-1d01xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going low (lower critical) has deasserted. (Fan 1A Tach)

説明: このメッセージは、下限クリティカル・センサーが低すぎることの表明解除が実装環境で検出された場合に使用されます。

810102041d01xxxx または 0x810102041d01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: Critical - Fan Failure

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0481

SNMP トラップ ID: 11

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。 Fan 1B Tach :

81010204-1d02xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going low (lower critical) has deasserted. (Fan 2A Tach)

説明: このメッセージは、下限クリティカル・センサーが低すぎることの表明解除が実装環境で検出された場合に使用されます。

810102041d02xxxx または 0x810102041d02xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: Critical - Fan Failure

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0481

SNMP トラップ ID: 11

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。 Fan 2B Tach :

81010204-1d03xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going low (lower critical) has deasserted. (Fan 3A Tach)

説明: このメッセージは、下限クリティカル・センサーが低すぎることの表明解除が実装環境で検出された場合に使用されます。

810102041d03xxxx または 0x810102041d03xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: Critical - Fan Failure

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0481

SNMP トラップ ID: 11

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。 Fan 3B Tach :

81010204-1d04xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going low (lower critical) has deasserted. (Fan 4A Tach)

説明: このメッセージは、下限クリティカル・センサーが低すぎることの表明解除が実装環境で検出された場合に使用されます。

810102041d04xxxx または 0x810102041d04xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: Critical - Fan Failure

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0481

SNMP トラップ ID: 11

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。 Fan 4B Tach :

81010204-1d05xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going low (lower critical) has deasserted. (Fan 5A Tach)

説明: このメッセージは、下限クリティカル・センサーが低すぎることの表明解除が実装環境で検出された場合に使用されます。

810102041d05xxxx または 0x810102041d05xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: Critical - Fan Failure

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0481

SNMP トラップ ID: 11

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。 Fan 5B Tach :

81010204-1d06xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going low (lower critical) has deasserted. (Fan 6A Tach)

説明: このメッセージは、下限クリティカル・センサーが低すぎることの表明解除が実装環境で検出された場合に使用されます。

810102041d06xxxx または 0x810102041d06xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: Critical - Fan Failure

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0481

SNMP トラップ ID: 11

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。 Fan 6B Tach :

**81010701-0c01xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-critical) has deasserted.
(Ambient Temp)**

説明: このメッセージは、上限非クリティカル・センサーが高すぎることの表明解除が実装環境で検出された場合に使用されます。

810107010c01xxxx または 0x810107010c01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: 警告 - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0491

SNMP トラップ ID: 12

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**81010901-0c01xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper critical) has deasserted.
(Ambient Temp)**

説明: このメッセージは、上限クリティカル・センサーが高すぎることの表明解除が実装環境で検出された場合に使用されます。

810109010c01xxxx または 0x810109010c01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0495

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**81010902-0701xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper critical) has deasserted.
(Planar 12V)**

説明: このメッセージは、上限クリティカル・センサーが高すぎることの表明解除が実装環境で検出された場合に使用されます。

810109020701xxxx または 0x810109020701xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - 電圧

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0495

SNMP トラップ ID: 1

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。 Planar 3.3V : Planar 5V :

81010b01-0c01xxxx Numeric sensor [NumericSensorElementName] going high (upper non-recoverable) has deasserted. (Ambient Temp)

説明: このメッセージは、上限リカバリー不能センサーが高すぎることの表明解除が実装環境で検出された場合に使用されます。

81010b010c01xxxx または 0x81010b010c01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0499

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81030012-2301xxxx Sensor [SensorElementName] has asserted. (OS RealTime Mod)

説明: このメッセージは、センサーによる表明が実装環境で検出された場合に使用されます。

810300122301xxxx または 0x810300122301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0508

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81070201-0301xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to a less severe state from critical. (CPU 1 OverTemp)

説明: このメッセージは、センサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に移行したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

810702010301xxxx または 0x810702010301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0523

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81070201-0302xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to a less severe state from critical. (CPU 2 OverTemp)

説明: このメッセージは、センサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に移行したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

810702010302xxxx または 0x810702010302xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0523

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81070201-2001xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to a less severe state from critical. (DIMM 1 Temp)

説明: このメッセージは、センサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に移行したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

810702012001xxxx または 0x810702012001xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0523

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81070201-2002xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to a less severe state from critical. (DIMM 2 Temp)

説明: このメッセージは、センサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に移行したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

810702012002xxxx または 0x810702012002xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0523

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81070201-2003xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to a less severe state from critical. (DIMM 3 Temp)

説明: このメッセージは、センサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に移行したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

810702012003xxxx または 0x810702012003xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0523

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81070201-2004xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to a less severe state from critical. (DIMM 4 Temp)

説明: このメッセージは、センサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に移行したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

810702012004xxxx または 0x810702012004xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0523

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81070201-2005xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to a less severe state from critical. (DIMM 5 Temp)

説明: このメッセージは、センサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に移行したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

810702012005xxxx または 0x810702012005xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0523

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81070201-2006xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to a less severe state from critical. (DIMM 6 Temp)

説明: このメッセージは、センサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に移行したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

810702012006xxxx または 0x810702012006xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0523

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81070201-2007xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to a less severe state from critical. (DIMM 7 Temp)

説明: このメッセージは、センサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に移行したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

810702012007xxxx または 0x810702012007xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0523

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81070201-2008xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to a less severe state from critical. (DIMM 8 Temp)

説明: このメッセージは、センサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に移行したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

810702012008xxxx または 0x810702012008xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0523

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81070201-2009xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to a less severe state from critical. (DIMM 9 Temp)

説明: このメッセージは、センサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に移行したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

810702012009xxxx または 0x810702012009xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0523

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81070201-200axxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to a less severe state from critical. (DIMM 10 Temp)

説明: このメッセージは、センサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に移行したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

81070201200axxxx または 0x81070201200axxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0523

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81070201-200bxxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to a less severe state from critical. (DIMM 11 Temp)

説明: このメッセージは、センサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に移行したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

81070201200bxxxx または 0x81070201200bxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0523

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81070201-200cxxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to a less severe state from critical. (DIMM 12 Temp)

説明: このメッセージは、センサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に移行したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

81070201200cxxxx または 0x81070201200cxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0523

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81070201-200dxxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to a less severe state from critical. (DIMM 13 Temp)

説明: このメッセージは、センサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に移行したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

81070201200dxxxx または 0x81070201200dxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0523

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81070201-200exxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to a less severe state from critical. (DIMM 14 Temp)

説明: このメッセージは、センサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に移行したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

81070201200exxxx または 0x81070201200exxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0523

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81070201-200fxxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to a less severe state from critical. (DIMM 15 Temp)

説明: このメッセージは、センサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に移行したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

81070201200fxxxx または 0x81070201200fxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0523

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81070201-2010xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to a less severe state from critical. (DIMM 16 Temp)

説明: このメッセージは、センサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に移行したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

810702012010xxxx または 0x810702012010xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0523

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81070201-2011xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to a less severe state from critical. (DIMM 17 Temp)

説明: このメッセージは、センサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に移行したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

810702012011xxxx または 0x810702012011xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0523

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81070201-2012xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to a less severe state from critical. (DIMM 18 Temp)

説明: このメッセージは、センサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に移行したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

810702012012xxxx または 0x810702012012xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0523

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81070201-2d01xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to a less severe state from critical. (IOH Temp Status)

説明: このメッセージは、センサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に移行したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

810702012d01xxxx または 0x810702012d01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0523

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81070202-0701xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to a less severe state from critical. (Planar Fault)

説明: このメッセージは、センサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に移行したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

810702020701xxxx または 0x810702020701xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 電圧

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0523

SNMP トラップ ID: 1

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81070204-0a01xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to a less severe state from critical. (PS 1 Fan Fault)

説明: このメッセージは、センサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に移行したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

810702040a01xxxx または 0x810702040a01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: Critical - Fan Failure

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0523

SNMP トラップ ID: 11

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81070204-0a02xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to a less severe state from critical. (PS 2 Fan Fault)

説明: このメッセージは、センサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に移行したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

810702040a02xxxx または 0x810702040a02xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: Critical - Fan Failure

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0523

SNMP トラップ ID: 11

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81070208-0a01xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to a less severe state from critical. (PS 1 OP Fault)

説明: このメッセージは、センサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に移行したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

810702080a01xxxx または 0x810702080a01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 電源

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0523

SNMP トラップ ID: 4

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。 PS 1 Therm Fault :

81070208-0a02xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to a less severe state from critical. (PS 2 OP Fault)

説明: このメッセージは、センサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に移行したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

810702080a02xxxx または 0x810702080a02xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 電源

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0523

SNMP トラップ ID: 4

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。 PS 2 Therm Fault :

8107020f-2582xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to a less severe state from critical. (No I/O Resources)

説明: このメッセージは、センサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に移行したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

8107020f2582xxxx または 0x8107020f2582xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0523

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81070219-0701xxxx Sensor [SensorElementName] has transitioned to a less severe state from critical. (Sys Board Fault)

説明: このメッセージは、センサーがクリティカルな状態から重大度の低い状態に移行したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

810702190701xxxx または 0x810702190701xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0523

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81070301-0301xxxx Sensor [SensorElementName] has deasserted the transition to non-recoverable from a less severe state. (CPU 1 OverTemp)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からリカバリー不能状態に移行したことが表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

810703010301xxxx または 0x810703010301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0525

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81070301-0302xxxx Sensor [SensorElementName] has deasserted the transition to non-recoverable from a less severe state. (CPU 2 OverTemp)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からリカバリー不能状態に移行したことが表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

810703010302xxxx または 0x810703010302xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0525

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81070301-2d01xxxx Sensor [SensorElementName] has deasserted the transition to non-recoverable from a less severe state. (IOH Temp Status)

説明: このメッセージは、センサーが重大度の低い状態からリカバリー不能状態に移行したことが表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

810703012d01xxxx または 0x810703012d01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0525

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81070603-0701xxxx Sensor [SensorElementName] has deasserted the transition to non-recoverable. (Pwr Rail A Fault)

説明: このメッセージは、センサーがリカバリー不能状態に移行したことが表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

810706030701xxxx または 0x810706030701xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - 電源

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0531

SNMP トラップ ID: 4

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。 Pwr Rail B Fault : Pwr Rail C Fault : Pwr Rail D Fault : Pwr Rail E Fault :

81070608-0701xxxx Sensor [SensorElementName] has deasserted the transition to non-recoverable. (VT Fault)

説明: このメッセージは、センサーがリカバリー不能状態に移行したことが表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

810706080701xxxx または 0x810706080701xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - 電源

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0531

SNMP トラップ ID: 4

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

81070608-0a01xxxx Sensor [SensorElementName] has deasserted the transition to non-recoverable. (PS 1 VCO Fault)

説明: このメッセージは、センサーがリカバリー不能状態に移行したことが表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

810706080a01xxxx または 0x810706080a01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - 電源

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0531

SNMP トラップ ID: 4

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。 PS1 12V OC Fault : PS1 12V OV Fault : PS1 12V UV Fault :

81070608-0a02xxxx Sensor [SensorElementName] has deasserted the transition to non-recoverable. (PS 2 VCO Fault)

説明: このメッセージは、センサーがリカバリー不能状態に移行したことが表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

810706080a02xxxx または 0x810706080a02xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 電源

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0531

SNMP トラップ ID: 4

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。 PS2 12V OC Fault : PS2 12V OV Fault : PS2 12V UV Fault :

810b010a-1e81xxxx Redundancy Lost for [RedundancySetElementName] has deasserted. (Cooling Zone 1)

説明: このメッセージは、冗長性が失われたことが表明解除された場合に使用されます。

810b010a1e81xxxx または 0x810b010a1e81xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: Critical - Fan Failure

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0803

SNMP トラップ ID: 11

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

810b010a-1e82xxxx Redundancy Lost for [RedundancySetElementName] has deasserted. (Cooling Zone 2)

説明: このメッセージは、冗長性が失われたことが表明解除された場合に使用されます。

810b010a1e82xxxx または 0x810b010a1e82xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: Critical - Fan Failure

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0803

SNMP トラップ ID: 11

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

810b010a-1e83xxxx Redundancy Lost for [RedundancySetElementName] has deasserted. (Cooling Zone 3)

説明: このメッセージは、冗長性が失われたことが表明解除された場合に使用されます。

810b010a1e83xxxx または 0x810b010a1e83xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: Critical - Fan Failure

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0803

SNMP トラップ ID: 11

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

810b010c-2581xxxx Redundancy Lost for [RedundancySetElementName] has deasserted. (Backup Memory)

説明: このメッセージは、冗長性が失われたことが表明解除された場合に使用されます。

810b010c2581xxxx または 0x810b010c2581xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0803

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

810b030c-2581xxxx Non-redundant:Sufficient Resources from Redundancy Degraded or Fully Redundant for [RedundancySetElementName] has deasserted. (Backup Memory)

説明: このメッセージは、Redundancy Set が「非冗長: 十分なりソース」状態から変化した場合に使用されます。

810b030c2581xxxx または 0x810b030c2581xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0807

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

810b050a-1e81xxxx • 810b050a-1e83xxxx

810b050a-1e81xxxx Non-redundant:Insufficient Resources for [RedundancySetElementName] has deasserted. (Cooling Zone 1)

説明: このメッセージは、Redundancy Set が「非冗長: 不十分なりソース」状態から変化した場合に使用されます。

810b050a1e81xxxx または 0x810b050a1e81xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: Critical - Fan Failure

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0811

SNMP トラップ ID: 11

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

810b050a-1e82xxxx Non-redundant:Insufficient Resources for [RedundancySetElementName] has deasserted. (Cooling Zone 2)

説明: このメッセージは、Redundancy Set が「非冗長: 不十分なりソース」状態から変化した場合に使用されます。

810b050a1e82xxxx または 0x810b050a1e82xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: Critical - Fan Failure

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0811

SNMP トラップ ID: 11

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

810b050a-1e83xxxx Non-redundant:Insufficient Resources for [RedundancySetElementName] has deasserted. (Cooling Zone 3)

説明: このメッセージは、Redundancy Set が「非冗長: 不十分なりソース」状態から変化した場合に使用されます。

810b050a1e83xxxx または 0x810b050a1e83xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: Critical - Fan Failure

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0811

SNMP トラップ ID: 11

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

810b050c-2581xxxx Non-redundant:Insufficient Resources for [RedundancySetElementName] has deasserted. (Backup Memory)

説明: このメッセージは、Redundancy Set が「非冗長: 不十分なりソース」状態から変化した場合に使用されます。

810b050c2581xxxx または 0x810b050c2581xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0811

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0007-0301xxxx [ProcessorElementName] has Recovered from IERR. (CPU 1)

説明: このメッセージは、「プロセッサのリカバリー済み - IERR 状態」が発生したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f00070301xxxx または 0x816f00070301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - CPU

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0043

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0007-0302xxxx [ProcessorElementName] has Recovered from IERR. (CPU 2)

説明: このメッセージは、「プロセッサのリカバリー済み - IERR 状態」が発生したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f00070302xxxx または 0x816f00070302xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - CPU

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0043

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**816f0008-0a01xxxx [PowerSupplyElementName] has been removed from container [PhysicalPackageElementName].
(Power Supply 1)**

説明: このメッセージは、パワー・サプライが除去されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f00080a01xxxx または 0x816f00080a01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0085

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**816f0008-0a02xxxx [PowerSupplyElementName] has been removed from container [PhysicalPackageElementName].
(Power Supply 2)**

説明: このメッセージは、パワー・サプライが除去されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f00080a02xxxx または 0x816f00080a02xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0085

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0009-1381xxxx [PowerSupplyElementName] has been turned on. (Host Power)

説明: このメッセージは、電源装置が使用可能にされたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f00091381xxxx または 0x816f00091381xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - 電源オン

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0107

SNMP トラップ ID: 24

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**816f000d-0400xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been removed from unit
[PhysicalPackageElementName]. (Drive 0)**

説明: このメッセージは、ドライブが取り外されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f000d0400xxxx or 0x816f000d0400xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0163

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ハード・ディスク n を取り付け直します。(n = ハード・ディスク番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。 2. ハード・ディスクを交換します。 3. ディスクのファームウェアおよび RAID コントローラーのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 4. SAS ケーブルをチェックします。

**816f000d-0401xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been removed from unit
[PhysicalPackageElementName]. (Drive 1)**

説明: このメッセージは、ドライブが取り外されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f000d0401xxxx または 0x816f000d0401xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0163

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ハード・ディスク n を取り付け直します。(n = ハード・ディスク番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。 2. ハード・ディスクを交換します。 3. ディスクのファームウェアおよび RAID コントローラーのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 4. SAS ケーブルをチェックします。

**816f000d-0402xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been removed from unit
[PhysicalPackageElementName]. (Drive 2)**

説明: このメッセージは、ドライブが取り外されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f000d0402xxxx または 0x816f000d0402xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0163

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ハード・ディスク n を取り付け直します。(n = ハード・ディスク番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。 2. ハード・ディスクを交換します。 3. ディスクのファームウェアおよび RAID コン

816f000d-0403xxxx • 816f000d-0404xxxx

トローラーのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 4. SAS ケーブルをチェックします。

**816f000d-0403xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been removed from unit
[PhysicalPackageElementName]. (Drive 3)**

説明: このメッセージは、ドライブが取り外されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f000d0403xxxx または 0x816f000d0403xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0163

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ハード・ディスク n を取り付け直します。(n = ハード・ディスク番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。 2. ハード・ディスクを交換します。 3. ディスクのファームウェアおよび RAID コントローラーのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 4. SAS ケーブルをチェックします。

**816f000d-0404xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been removed from unit
[PhysicalPackageElementName]. (Drive 4)**

説明: このメッセージは、ドライブが取り外されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f000d0404xxxx または 0x816f000d0404xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0163

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ハード・ディスク n を取り付け直します。(n = ハード・ディスク番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。 2. ハード・ディスクを交換します。 3. ディスクのファームウェアおよび RAID コントローラーのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 4. SAS ケーブルをチェックします。

**816f000d-0405xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been removed from unit
[PhysicalPackageElementName]. (Drive 5)**

説明: このメッセージは、ドライブが取り外されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f000d0405xxxx または 0x816f000d0405xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0163

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ハード・ディスク n を取り付け直します。(n = ハード・ディスク番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。 2. ハード・ディスクを交換します。 3. ディスクのファームウェアおよび RAID コントローラーのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 4. SAS ケーブルをチェックします。

**816f000d-0406xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been removed from unit
[PhysicalPackageElementName]. (Drive 6)**

説明: このメッセージは、ドライブが取り外されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f000d0406xxxx または 0x816f000d0406xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0163

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ハード・ディスク n を取り付け直します。(n = ハード・ディスク番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。 2. ハード・ディスクを交換します。 3. ディスクのファームウェアおよび RAID コントローラーのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 4. SAS ケーブルをチェックします。

**816f000d-0407xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been removed from unit
[PhysicalPackageElementName]. (Drive 7)**

説明: このメッセージは、ドライブが取り外されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f000d0407xxxx または 0x816f000d0407xxxx として表示される場合もあります。

重大度: エラー

アラート・カテゴリ: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: はい

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0163

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: 1. ハード・ディスク n を取り付け直します。(n = ハード・ディスク番号)。ドライブを再取り付けする前に 1 分以上待ちます。 2. ハード・ディスクを交換します。 3. ディスクのファームウェアおよび RAID コン

816f000f-2201ffff • 816f0021-2201xxxx

トローラーのファームウェアのレベルが最新であることを確認します。 4. SAS ケーブルをチェックします。

816f000f-2201ffff The System [ComputerSystemElementName] has detected a POST Error deassertion. (ABR Status)

説明: このメッセージは、POST エラーが表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f000f2201ffff または 0x816f000f2201ffff として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0185

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。 ファームウェア・エラー :

816f0013-1701xxxx System [ComputerSystemElementName] has recovered from a diagnostic interrupt. (NMI State)

説明: このメッセージは、フロント・パネル NMI/診断割り込みからの回復が実装環境で検出された場合に使用されます。

816f00131701xxxx または 0x816f00131701xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0223

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0021-2201xxxx Fault condition removed on slot [PhysicalConnectorElementName] on system [ComputerSystemElementName]. (No Op ROM Space)

説明: このメッセージは、スロットの障害状態が除去されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f00212201xxxx または 0x816f00212201xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0331

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**816f0021-2582xxxx Fault condition removed on slot [PhysicalConnectorElementName] on system
[ComputerSystemElementName]. (All PCI Error)**

説明: このメッセージは、スロットの障害状態が除去されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f00212582xxxx または 0x816f00212582xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0331

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。 1 つの PCI エラー:

**816f0021-3001xxxx Fault condition removed on slot [PhysicalConnectorElementName] on system
[ComputerSystemElementName]. (PCI 1)**

説明: このメッセージは、スロットの障害状態が除去されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f00213001xxxx または 0x816f00213001xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0331

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。 PCI 2 : PCI 5 :

816f0107-0301xxxx An Over-Temperature Condition has been removed on [ProcessorElementName]. (CPU 1)

説明: このメッセージは、プロセッサの温度超過状態が除去されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f01070301xxxx または 0x816f01070301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0037

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0107-0302xxxx An Over-Temperature Condition has been removed on [ProcessorElementName]. (CPU 2)

説明: このメッセージは、プロセッサの温度超過状態が除去されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f01070302xxxx または 0x816f01070302xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 温度

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0037

SNMP トラップ ID: 0

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0108-0a01xxxx [PowerSupplyElementName] has returned to OK status. (Power Supply 1)

説明: このメッセージは、パワー・サプライが通常の作動状況に戻ったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f01080a01xxxx または 0x816f01080a01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 電源

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0087

SNMP トラップ ID: 4

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0108-0a02xxxx [PowerSupplyElementName] has returned to OK status. (Power Supply 2)

説明: このメッセージは、パワー・サプライが通常の作動状況に戻ったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f01080a02xxxx または 0x816f01080a02xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - 電源

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0087

SNMP トラップ ID: 4

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010c-2001xxxx Uncorrectable error recovery detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 1)

説明: このメッセージは、メモリーの訂正不能エラー・リカバリーが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f010c2001xxxx または 0x816f010c2001xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0139

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010c-2002xxxx Uncorrectable error recovery detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 2)

説明: このメッセージは、メモリーの訂正不能エラー・リカバリーが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f010c2002xxxx または 0x816f010c2002xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0139

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010c-2003xxxx Uncorrectable error recovery detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 3)

説明: このメッセージは、メモリーの訂正不能エラー・リカバリーが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f010c2003xxxx または 0x816f010c2003xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0139

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010c-2004xxxx Uncorrectable error recovery detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 4)

説明: このメッセージは、メモリーの訂正不能エラー・リカバリーが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f010c2004xxxx または 0x816f010c2004xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0139

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010c-2005xxxx Uncorrectable error recovery detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 5)

説明: このメッセージは、メモリーの訂正不能エラー・リカバリーが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f010c2005xxxx または 0x816f010c2005xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0139

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010c-2006xxxx Uncorrectable error recovery detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 6)

説明: このメッセージは、メモリーの訂正不能エラー・リカバリーが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f010c2006xxxx または 0x816f010c2006xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0139

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010c-2007xxxx Uncorrectable error recovery detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 7)

説明: このメッセージは、メモリーの訂正不能エラー・リカバリーが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f010c2007xxxx または 0x816f010c2007xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0139

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010c-2008xxxx Uncorrectable error recovery detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 8)

説明: このメッセージは、メモリーの訂正不能エラー・リカバリーが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f010c2008xxxx または 0x816f010c2008xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0139

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010c-2009xxxx Uncorrectable error recovery detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 9)

説明: このメッセージは、メモリーの訂正不能エラー・リカバリーが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f010c2009xxxx または 0x816f010c2009xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0139

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010c-200axxxx Uncorrectable error recovery detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 10)

説明: このメッセージは、メモリーの訂正不能エラー・リカバリーが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f010c200axxxx または 0x816f010c200axxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0139

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010c-200bxxxx Uncorrectable error recovery detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 11)

説明: このメッセージは、メモリーの訂正不能エラー・リカバリーが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f010c200bxxxx または 0x816f010c200bxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0139

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010c-200cxxxx Uncorrectable error recovery detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 12)

説明: このメッセージは、メモリーの訂正不能エラー・リカバリーが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f010c200cxxxx または 0x816f010c200cxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0139

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010c-200dxxxx Uncorrectable error recovery detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 13)

説明: このメッセージは、メモリーの訂正不能エラー・リカバリーが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f010c200dxxxx または 0x816f010c200dxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0139

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010c-200exxxx Uncorrectable error recovery detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 14)

説明: このメッセージは、メモリーの訂正不能エラー・リカバリーが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f010c200exxxx または 0x816f010c200exxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0139

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010c-200fxxxx Uncorrectable error recovery detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 15)

説明: このメッセージは、メモリーの訂正不能エラー・リカバリーが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f010c200fxxxx または 0x816f010c200fxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0139

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010c-2010xxxx Uncorrectable error recovery detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 16)

説明: このメッセージは、メモリーの訂正不能エラー・リカバリーが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f010c2010xxxx または 0x816f010c2010xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0139

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010c-2011xxxx Uncorrectable error recovery detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 17)

説明: このメッセージは、メモリーの訂正不能エラー・リカバリーが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f010c2011xxxx または 0x816f010c2011xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0139

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010c-2012xxxx Uncorrectable error recovery detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 18)

説明: このメッセージは、メモリーの訂正不能エラー・リカバリーが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f010c2012xxxx または 0x816f010c2012xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0139

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010c-2581xxxx Uncorrectable error recovery detected for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (All DIMMS)

説明: このメッセージは、メモリーの訂正不能エラー・リカバリーが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f010c2581xxxx または 0x816f010c2581xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0139

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。 1 つの DIMM:

816f010d-0400xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been enabled. (Drive 0)

説明: このメッセージは、ドライブが使用可能になったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f010d0400xxxx または 0x816f010d0400xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0167

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010d-0401xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been enabled. (Drive 1)

説明: このメッセージは、ドライブが使用可能になったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f010d0401xxxx または 0x816f010d0401xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0167

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010d-0402xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been enabled. (Drive 2)

説明: このメッセージは、ドライブが使用可能になったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f010d0402xxxx または 0x816f010d0402xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0167

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010d-0403xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been enabled. (Drive 3)

説明: このメッセージは、ドライブが使用可能になったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f010d0403xxxx または 0x816f010d0403xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0167

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010d-0404xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been enabled. (Drive 4)

説明: このメッセージは、ドライブが使用可能になったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f010d0404xxxx または 0x816f010d0404xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0167

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010d-0405xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been enabled. (Drive 5)

説明: このメッセージは、ドライブが使用可能になったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f010d0405xxxx または 0x816f010d0405xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0167

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010d-0406xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been enabled. (Drive 6)

説明: このメッセージは、ドライブが使用可能になったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f010d0406xxxx または 0x816f010d0406xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0167

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010d-0407xxxx The Drive [StorageVolumeElementName] has been enabled. (Drive 7)

説明: このメッセージは、ドライブが使用可能になったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f010d0407xxxx または 0x816f010d0407xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0167

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f010f-2201xxxx The System [ComputerSystemElementName] has recovered from a firmware hang. (Firmware Error)

説明: このメッセージは、実装環境でシステム・ファームウェアがハングした状態からリカバリーされた場合に使用されます。

816f010f2201xxxx または 0x816f010f2201xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0187

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f011b-0701xxxx The connector [PhysicalConnectorElementName] configuration error has been repaired. (Video USB)

説明: このメッセージは、インターコネクト構成エラーが修復されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f011b0701xxxx または 0x816f011b0701xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0267

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0125-0b01xxxx [ManagedElementName] detected as present. (SAS Riser)

説明: このメッセージは、管理対象エレメントが現在は存在することが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f01250b01xxxx または 0x816f01250b01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0390

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0125-0b02xxxx [ManagedElementName] detected as present. (PCI Riser 1)

説明: このメッセージは、管理対象エレメントが現在は存在することが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f01250b02xxxx または 0x816f01250b02xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0390

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0125-0b03xxxx [ManagedElementName] detected as present. (PCI Riser 2)

説明: このメッセージは、管理対象エレメントが現在は存在することが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f01250b03xxxx または 0x816f01250b03xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0390

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0125-0c01xxxx [ManagedElementName] detected as present. (Front Panel)

説明: このメッセージは、管理対象エレメントが現在は存在することが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f01250c01xxxx または 0x816f01250c01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0390

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0125-1d01xxxx [ManagedElementName] detected as present. (Fan 1)

説明: このメッセージは、管理対象エレメントが現在は存在することが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f01251d01xxxx または 0x816f01251d01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0390

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0125-1d02xxxx [ManagedElementName] detected as present. (Fan 2)

説明: このメッセージは、管理対象エレメントが現在は存在することが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f01251d02xxxx または 0x816f01251d02xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0390

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0125-1d03xxxx [ManagedElementName] detected as present. (Fan 3)

説明: このメッセージは、管理対象エレメントが現在は存在することが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f01251d03xxxx または 0x816f01251d03xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0390

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0125-1d04xxxx [ManagedElementName] detected as present. (Fan 4)

説明: このメッセージは、管理対象エレメントが現在は存在することが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f01251d04xxxx または 0x816f01251d04xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0390

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0125-1d05xxxx [ManagedElementName] detected as present. (Fan 5)

説明: このメッセージは、管理対象エレメントが現在は存在することが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f01251d05xxxx または 0x816f01251d05xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0390

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0125-1d06xxxx [ManagedElementName] detected as present. (Fan 6)

説明: このメッセージは、管理対象エレメントが現在は存在することが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f01251d06xxxx または 0x816f01251d06xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0390

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0207-0301xxxx [ProcessorElementName] has Recovered from FRB1/BIST condition. (CPU 1)

説明: このメッセージは、「プロセッサのリカバリー済み - FRB1/BIST 状態」が発生したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f02070301xxxx または 0x816f02070301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - CPU

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0045

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0207-0302xxxx [ProcessorElementName] has Recovered from FRB1/BIST condition. (CPU 2)

説明: このメッセージは、「プロセッサのリカバリー済み - FRB1/BIST 状態」が発生したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f02070302xxxx または 0x816f02070302xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - CPU

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0045

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f020d-0400xxxx Failure no longer Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName]. (Drive 0)

説明: このメッセージは、アレイ障害が現在は予測されることが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f020d0400xxxx または 0x816f020d0400xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0169

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**816f020d-0401xxxx Failure no longer Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array
[ComputerSystemElementName]. (Drive 1)**

説明: このメッセージは、アレイ障害が現在は予測されないことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f020d0401xxxx または 0x816f020d0401xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0169

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**816f020d-0402xxxx Failure no longer Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array
[ComputerSystemElementName]. (Drive 2)**

説明: このメッセージは、アレイ障害が現在は予測されないことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f020d0402xxxx または 0x816f020d0402xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0169

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**816f020d-0403xxxx Failure no longer Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array
[ComputerSystemElementName]. (Drive 3)**

説明: このメッセージは、アレイ障害が現在は予測されないことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f020d0403xxxx または 0x816f020d0403xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0169

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f020d-0404xxxx Failure no longer Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName]. (Drive 4)

説明: このメッセージは、アレイ障害が現在は予測されないことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f020d0404xxxx または 0x816f020d0404xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0169

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f020d-0405xxxx Failure no longer Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName]. (Drive 5)

説明: このメッセージは、アレイ障害が現在は予測されないことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f020d0405xxxx または 0x816f020d0405xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0169

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f020d-0406xxxx Failure no longer Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName]. (Drive 6)

説明: このメッセージは、アレイ障害が現在は予測されないことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f020d0406xxxx または 0x816f020d0406xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0169

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f020d-0407xxxx Failure no longer Predicted on drive [StorageVolumeElementName] for array [ComputerSystemElementName]. (Drive 7)

説明: このメッセージは、アレイ障害が現在は予測されないことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f020d0407xxxx または 0x816f020d0407xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - 障害予知

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0169

SNMP トラップ ID: 27

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0212-2584xxxx The System [ComputerSystemElementName] has recovered from an unknown system hardware fault. (CPU Fault Reboot)

説明: このメッセージは、不明なシステム・ハードウェア障害が実装環境で回復された場合に使用されます。

816f02122584xxxx または 0x816f02122584xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0215

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0308-0a01xxxx [PowerSupplyElementName] has returned to a Normal Input State. (Power Supply 1)

説明: このメッセージは、パワー・サプライの入力が通常に戻ったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f03080a01xxxx または 0x816f03080a01xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0099

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0308-0a02xxxx [PowerSupplyElementName] has returned to a Normal Input State. (Power Supply 2)

説明: このメッセージは、パワー・サプライの入力が通常に戻ったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f03080a02xxxx または 0x816f03080a02xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0099

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030c-2001xxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has recovered. (DIMM 1)

説明: このメッセージは、メモリーの消し込み障害のリカバリーが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f030c2001xxxx または 0x816f030c2001xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0137

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030c-2002xxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has recovered. (DIMM 2)

説明: このメッセージは、メモリーの消し込み障害のリカバリーが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f030c2002xxxx または 0x816f030c2002xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0137

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030c-2003xxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has recovered. (DIMM 3)

説明: このメッセージは、メモリーの消し込み障害のリカバリーが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f030c2003xxxx または 0x816f030c2003xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0137

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030c-2004xxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has recovered. (DIMM 4)

説明: このメッセージは、メモリーの消し込み障害のリカバリーが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f030c2004xxxx または 0x816f030c2004xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0137

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030c-2005xxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has recovered. (DIMM 5)

説明: このメッセージは、メモリーの消し込み障害のリカバリーが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f030c2005xxxx または 0x816f030c2005xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0137

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030c-2006xxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has recovered. (DIMM 6)

説明: このメッセージは、メモリーの消し込み障害のリカバリーが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f030c2006xxxx または 0x816f030c2006xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0137

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030c-2007xxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has recovered. (DIMM 7)

説明: このメッセージは、メモリーの消し込み障害のリカバリーが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f030c2007xxxx または 0x816f030c2007xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0137

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030c-2008xxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has recovered. (DIMM 8)

説明: このメッセージは、メモリーの消し込み障害のリカバリーが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f030c2008xxxx または 0x816f030c2008xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0137

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030c-2009xxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has recovered. (DIMM 9)

説明: このメッセージは、メモリーの消し込み障害のリカバリーが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f030c2009xxxx または 0x816f030c2009xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0137

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030c-200axxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has recovered. (DIMM 10)

説明: このメッセージは、メモリーの消し込み障害のリカバリーが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f030c200axxxx または 0x816f030c200axxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0137

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030c-200bxxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has recovered. (DIMM 11)

説明: このメッセージは、メモリーの消し込み障害のリカバリーが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f030c200bxxxx または 0x816f030c200bxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0137

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030c-200cxxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has recovered. (DIMM 12)

説明: このメッセージは、メモリーの消し込み障害のリカバリーが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f030c200cxxxx または 0x816f030c200cxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0137

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030c-200dxxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has recovered. (DIMM 13)

説明: このメッセージは、メモリーの消し込み障害のリカバリーが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f030c200dxxxx または 0x816f030c200dxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0137

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030c-200exxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has recovered. (DIMM 14)

説明: このメッセージは、メモリーの消し込み障害のリカバリーが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f030c200exxxx または 0x816f030c200exxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0137

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030c-200fxxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has recovered. (DIMM 15)

説明: このメッセージは、メモリーの消し込み障害のリカバリーが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f030c200fxxxx または 0x816f030c200fxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0137

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030c-2010xxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has recovered. (DIMM 16)

説明: このメッセージは、メモリーの消し込み障害のリカバリーが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f030c2010xxxx または 0x816f030c2010xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0137

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030c-2011xxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has recovered. (DIMM 17)

説明: このメッセージは、メモリーの消し込み障害のリカバリーが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f030c2011xxxx または 0x816f030c2011xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0137

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030c-2012xxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has recovered. (DIMM 18)

説明: このメッセージは、メモリーの消し込み障害のリカバリーが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f030c2012xxxx または 0x816f030c2012xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0137

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f030c-2581xxxx Scrub Failure for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has recovered. (All DIMMS)

説明: このメッセージは、メモリーの消し込み障害のリカバリーが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f030c2581xxxx または 0x816f030c2581xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0137

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。 1 つの DIMM:

816f0313-1701xxxx System [ComputerSystemElementName] has recovered from an NMI. (NMI State)

説明: このメッセージは、ソフトウェア NMI から回復したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f03131701xxxx または 0x816f03131701xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0230

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f040c-2001xxxx [PhysicalMemoryElementName] Enabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 1)

説明: このメッセージは、メモリーが使用可能となったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f040c2001xxxx または 0x816f040c2001xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0130

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f040c-2002xxxx [PhysicalMemoryElementName] Enabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 2)

説明: このメッセージは、メモリーが使用可能となったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f040c2002xxxx または 0x816f040c2002xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0130

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f040c-2003xxxx [PhysicalMemoryElementName] Enabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 3)

説明: このメッセージは、メモリーが使用可能となったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f040c2003xxxx または 0x816f040c2003xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0130

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f040c-2004xxxx [PhysicalMemoryElementName] Enabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 4)

説明: このメッセージは、メモリーが使用可能となったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f040c2004xxxx または 0x816f040c2004xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0130

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f040c-2005xxxx [PhysicalMemoryElementName] Enabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 5)

説明: このメッセージは、メモリーが使用可能となったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f040c2005xxxx または 0x816f040c2005xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0130

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f040c-2006xxxx [PhysicalMemoryElementName] Enabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 6)

説明: このメッセージは、メモリーが使用可能となったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f040c2006xxxx または 0x816f040c2006xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0130

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f040c-2007xxxx [PhysicalMemoryElementName] Enabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 7)

説明: このメッセージは、メモリーが使用可能となったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f040c2007xxxx または 0x816f040c2007xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0130

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f040c-2008xxxx [PhysicalMemoryElementName] Enabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 8)

説明: このメッセージは、メモリーが使用可能となったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f040c2008xxxx または 0x816f040c2008xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0130

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f040c-2009xxxx [PhysicalMemoryElementName] Enabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 9)

説明: このメッセージは、メモリーが使用可能となったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f040c2009xxxx または 0x816f040c2009xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0130

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f040c-200axxxx [PhysicalMemoryElementName] Enabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 10)

説明: このメッセージは、メモリーが使用可能となったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f040c200axxxx または 0x816f040c200axxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0130

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f040c-200bxxxx [PhysicalMemoryElementName] Enabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 11)

説明: このメッセージは、メモリーが使用可能となったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f040c200bxxxx または 0x816f040c200bxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0130

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f040c-200cxxxx [PhysicalMemoryElementName] Enabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 12)

説明: このメッセージは、メモリーが使用可能となったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f040c200cxxxx または 0x816f040c200cxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0130

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f040c-200dxxxx [PhysicalMemoryElementName] Enabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 13)

説明: このメッセージは、メモリーが使用可能となったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f040c200dxxxx または 0x816f040c200dxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0130

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f040c-200exxxx [PhysicalMemoryElementName] Enabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 14)

説明: このメッセージは、メモリーが使用可能となったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f040c200exxxx または 0x816f040c200exxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0130

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f040c-200fxxxx [PhysicalMemoryElementName] Enabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 15)

説明: このメッセージは、メモリーが使用可能となったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f040c200fxxxx または 0x816f040c200fxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0130

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f040c-2010xxxx [PhysicalMemoryElementName] Enabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 16)

説明: このメッセージは、メモリーが使用可能となったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f040c2010xxxx または 0x816f040c2010xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0130

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f040c-2011xxxx [PhysicalMemoryElementName] Enabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 17)

説明: このメッセージは、メモリーが使用可能となったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f040c2011xxxx または 0x816f040c2011xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0130

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f040c-2012xxxx [PhysicalMemoryElementName] Enabled on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 18)

説明: このメッセージは、メモリーが使用可能となったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f040c2012xxxx または 0x816f040c2012xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0130

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f040c-2581xxxx [PhysicalMemoryElementName] Enabled on Subsystem [MemoryElementName]. (All DIMMS)

説明: このメッセージは、メモリーが使用可能となったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f040c2581xxxx または 0x816f040c2581xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0130

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。 1 つの DIMM:

816f0413-2582xxxx A PCI PERR recovery has occurred on system [ComputerSystemElementName]. (PCIs)

説明: このメッセージは、PCI PERR がリカバリーされたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f04132582xxxx または 0x816f04132582xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0233

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0507-0301xxxx [ProcessorElementName] has Recovered from a Configuration Mismatch. (CPU 1)

説明: このメッセージは、プロセッサ構成のミスマッチがリカバリーされたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f05070301xxxx または 0x816f05070301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - CPU

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0063

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0507-0302xxxx [ProcessorElementName] has Recovered from a Configuration Mismatch. (CPU 2)

説明: このメッセージは、プロセッサ構成のミスマッチがリカバリーされたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f05070302xxxx または 0x816f05070302xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - CPU

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0063

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050c-2001xxxx Memory Logging Limit Removed for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 1)

説明: このメッセージは、メモリー・ロギング限度が除去されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f050c2001xxxx または 0x816f050c2001xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0145

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050c-2002xxxx Memory Logging Limit Removed for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 2)

説明: このメッセージは、メモリー・ロギング限度が除去されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f050c2002xxxx または 0x816f050c2002xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0145

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**816f050c-2003xxxx Memory Logging Limit Removed for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem
[MemoryElementName]. (DIMM 3)**

説明: このメッセージは、メモリー・ロギング限度が除去されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f050c2003xxxx または 0x816f050c2003xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0145

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**816f050c-2004xxxx Memory Logging Limit Removed for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem
[MemoryElementName]. (DIMM 4)**

説明: このメッセージは、メモリー・ロギング限度が除去されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f050c2004xxxx または 0x816f050c2004xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0145

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**816f050c-2005xxxx Memory Logging Limit Removed for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem
[MemoryElementName]. (DIMM 5)**

説明: このメッセージは、メモリー・ロギング限度が除去されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f050c2005xxxx または 0x816f050c2005xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0145

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050c-2006xxxx Memory Logging Limit Removed for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 6)

説明: このメッセージは、メモリー・ロギング限度が除去されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f050c2006xxxx または 0x816f050c2006xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0145

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050c-2007xxxx Memory Logging Limit Removed for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 7)

説明: このメッセージは、メモリー・ロギング限度が除去されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f050c2007xxxx または 0x816f050c2007xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0145

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050c-2008xxxx Memory Logging Limit Removed for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 8)

説明: このメッセージは、メモリー・ロギング限度が除去されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f050c2008xxxx または 0x816f050c2008xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0145

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**816f050c-2009xxxx Memory Logging Limit Removed for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem
[MemoryElementName]. (DIMM 9)**

説明: このメッセージは、メモリー・ロギング限度が除去されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f050c2009xxxx または 0x816f050c2009xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0145

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**816f050c-200axxxx Memory Logging Limit Removed for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem
[MemoryElementName]. (DIMM 10)**

説明: このメッセージは、メモリー・ロギング限度が除去されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f050c200axxxx または 0x816f050c200axxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0145

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**816f050c-200bxxxx Memory Logging Limit Removed for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem
[MemoryElementName]. (DIMM 11)**

説明: このメッセージは、メモリー・ロギング限度が除去されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f050c200bxxxx または 0x816f050c200bxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0145

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050c-200cxxxx Memory Logging Limit Removed for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 12)

説明: このメッセージは、メモリー・ロギング限度が除去されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f050c200cxxxx または 0x816f050c200cxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0145

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050c-200dxxxx Memory Logging Limit Removed for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 13)

説明: このメッセージは、メモリー・ロギング限度が除去されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f050c200dxxxx または 0x816f050c200dxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0145

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050c-200exxxx Memory Logging Limit Removed for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 14)

説明: このメッセージは、メモリー・ロギング限度が除去されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f050c200exxxx または 0x816f050c200exxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0145

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050c-200fxxxx Memory Logging Limit Removed for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 15)

説明: このメッセージは、メモリー・ロギング限度が除去されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f050c200fxxxx または 0x816f050c200fxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0145

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050c-2010xxxx Memory Logging Limit Removed for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 16)

説明: このメッセージは、メモリー・ロギング限度が除去されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f050c2010xxxx または 0x816f050c2010xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0145

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050c-2011xxxx Memory Logging Limit Removed for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 17)

説明: このメッセージは、メモリー・ロギング限度が除去されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f050c2011xxxx または 0x816f050c2011xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0145

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050c-2012xxxx Memory Logging Limit Removed for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (DIMM 18)

説明: このメッセージは、メモリー・ロギング限度が除去されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f050c2012xxxx または 0x816f050c2012xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0145

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050c-2581xxxx Memory Logging Limit Removed for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]. (All DIMMS)

説明: このメッセージは、メモリー・ロギング限度が除去されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f050c2581xxxx または 0x816f050c2581xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0145

SNMP トラップ ID: 43

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。 1 つの DIMM:

816f050d-0400xxxx Critical Array [ComputerSystemElementName] has deasserted. (Drive 0)

説明: このメッセージは、クリティカルなアレイが表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f050d0400xxxx または 0x816f050d0400xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0175

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050d-0401xxxx Critical Array [ComputerSystemElementName] has deasserted. (Drive 1)

説明: このメッセージは、クリティカルなアレイが表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f050d0401xxxx または 0x816f050d0401xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0175

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050d-0402xxxx Critical Array [ComputerSystemElementName] has deasserted. (Drive 2)

説明: このメッセージは、クリティカルなアレイが表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f050d0402xxxx または 0x816f050d0402xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0175

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050d-0403xxxx Critical Array [ComputerSystemElementName] has deasserted. (Drive 3)

説明: このメッセージは、クリティカルなアレイが表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f050d0403xxxx または 0x816f050d0403xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0175

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050d-0404xxxx Critical Array [ComputerSystemElementName] has deasserted. (Drive 4)

説明: このメッセージは、クリティカルなアレイが表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f050d0404xxxx または 0x816f050d0404xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0175

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050d-0405xxxx Critical Array [ComputerSystemElementName] has deasserted. (Drive 5)

説明: このメッセージは、クリティカルなアレイが表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f050d0405xxxx または 0x816f050d0405xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0175

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050d-0406xxxx Critical Array [ComputerSystemElementName] has deasserted. (Drive 6)

説明: このメッセージは、クリティカルなアレイが表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f050d0406xxxx または 0x816f050d0406xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0175

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f050d-0407xxxx Critical Array [ComputerSystemElementName] has deasserted. (Drive 7)

説明: このメッセージは、クリティカルなアレイが表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f050d0407xxxx または 0x816f050d0407xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0175

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0607-0301xxxx An SM BIOS Uncorrectable CPU complex error for [ProcessorElementName] has deasserted. (CPU 1)

説明: このメッセージは、SM BIOS 訂正不能 CPU 複合エラーが表明解除された場合に使用されます。

816f06070301xxxx または 0x816f06070301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - CPU

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0817

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0607-0302xxxx An SM BIOS Uncorrectable CPU complex error for [ProcessorElementName] has deasserted. (CPU 2)

説明: このメッセージは、SM BIOS 訂正不能 CPU 複合エラーが表明解除された場合に使用されます。

816f06070302xxxx または 0x816f06070302xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - CPU

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0817

SNMP トラップ ID: 40

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f060d-0400xxxx Array in system [ComputerSystemElementName] has been restored. (Drive 0)

説明: このメッセージは、失敗したアレイが復元されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f060d0400xxxx または 0x816f060d0400xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0177

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f060d-0401xxxx Array in system [ComputerSystemElementName] has been restored. (Drive 1)

説明: このメッセージは、失敗したアレイが復元されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f060d0401xxxx または 0x816f060d0401xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0177

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f060d-0402xxxx Array in system [ComputerSystemElementName] has been restored. (Drive 2)

説明: このメッセージは、失敗したアレイが復元されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f060d0402xxxx または 0x816f060d0402xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0177

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f060d-0403xxxx Array in system [ComputerSystemElementName] has been restored. (Drive 3)

説明: このメッセージは、失敗したアレイが復元されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f060d0403xxxx または 0x816f060d0403xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0177

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f060d-0404xxxx Array in system [ComputerSystemElementName] has been restored. (Drive 4)

説明: このメッセージは、失敗したアレイが復元されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f060d0404xxxx または 0x816f060d0404xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0177

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f060d-0405xxxx Array in system [ComputerSystemElementName] has been restored. (Drive 5)

説明: このメッセージは、失敗したアレイが復元されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f060d0405xxxx または 0x816f060d0405xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0177

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f060d-0406xxxx Array in system [ComputerSystemElementName] has been restored. (Drive 6)

説明: このメッセージは、失敗したアレイが復元されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f060d0406xxxx または 0x816f060d0406xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0177

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f060d-0407xxxx Array in system [ComputerSystemElementName] has been restored. (Drive 7)

説明: このメッセージは、失敗したアレイが復元されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f060d0407xxxx または 0x816f060d0407xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - ハード・ディスク

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0177

SNMP トラップ ID: 5

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**816f070c-2001xxxx Configuration error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem
[MemoryElementName]has deasserted. (DIMM 1)**

説明: このメッセージは、メモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f070c2001xxxx または 0x816f070c2001xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0127

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**816f070c-2002xxxx Configuration error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem
[MemoryElementName]has deasserted. (DIMM 2)**

説明: このメッセージは、メモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f070c2002xxxx または 0x816f070c2002xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0127

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**816f070c-2003xxxx Configuration error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem
[MemoryElementName]has deasserted. (DIMM 3)**

説明: このメッセージは、メモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f070c2003xxxx または 0x816f070c2003xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0127

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**816f070c-2004xxxx Configuration error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem
[MemoryElementName]has deasserted. (DIMM 4)**

説明: このメッセージは、メモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f070c2004xxxx または 0x816f070c2004xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0127

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070c-2005xxxx Configuration error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has deasserted. (DIMM 5)

説明: このメッセージは、メモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f070c2005xxxx または 0x816f070c2005xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0127

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070c-2006xxxx Configuration error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has deasserted. (DIMM 6)

説明: このメッセージは、メモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f070c2006xxxx または 0x816f070c2006xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0127

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070c-2007xxxx Configuration error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has deasserted. (DIMM 7)

説明: このメッセージは、メモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f070c2007xxxx または 0x816f070c2007xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0127

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**816f070c-2008xxxx Configuration error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem
[MemoryElementName]has deasserted. (DIMM 8)**

説明: このメッセージは、メモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f070c2008xxxx または 0x816f070c2008xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0127

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**816f070c-2009xxxx Configuration error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem
[MemoryElementName]has deasserted. (DIMM 9)**

説明: このメッセージは、メモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f070c2009xxxx または 0x816f070c2009xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0127

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**816f070c-200axxxx Configuration error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem
[MemoryElementName]has deasserted. (DIMM 10)**

説明: このメッセージは、メモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f070c200axxxx または 0x816f070c200axxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリ: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0127

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070c-200bxxxx Configuration error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has deasserted. (DIMM 11)

説明: このメッセージは、メモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f070c200bxxxx または 0x816f070c200bxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0127

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070c-200cxxxx Configuration error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has deasserted. (DIMM 12)

説明: このメッセージは、メモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f070c200cxxxx または 0x816f070c200cxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0127

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070c-200dxxxx Configuration error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has deasserted. (DIMM 13)

説明: このメッセージは、メモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f070c200dxxxx または 0x816f070c200dxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0127

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**816f070c-200exxxx Configuration error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem
[MemoryElementName]has deasserted. (DIMM 14)**

説明: このメッセージは、メモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f070c200exxxx または 0x816f070c200exxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0127

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**816f070c-200fxxxx Configuration error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem
[MemoryElementName]has deasserted. (DIMM 15)**

説明: このメッセージは、メモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f070c200fxxxx または 0x816f070c200fxxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0127

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

**816f070c-2010xxxx Configuration error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem
[MemoryElementName]has deasserted. (DIMM 16)**

説明: このメッセージは、メモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f070c2010xxxx または 0x816f070c2010xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0127

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070c-2011xxxx Configuration error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has deasserted. (DIMM 17)

説明: このメッセージは、メモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f070c2011xxxx または 0x816f070c2011xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0127

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070c-2012xxxx Configuration error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has deasserted. (DIMM 18)

説明: このメッセージは、メモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f070c2012xxxx または 0x816f070c2012xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0127

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070c-2581xxxx Configuration error for [PhysicalMemoryElementName] on Subsystem [MemoryElementName]has deasserted. (All DIMMS)

説明: このメッセージは、メモリー DIMM 構成エラーが表明解除されたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

806f816f070c2581xxxx または 0x816f070c2581xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - メモリー

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0127

SNMP トラップ ID: 41

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。 1 つの DIMM:

816f070d-0400xxxx Rebuild completed for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 0)

説明: このメッセージは、アレイの再ビルドが完了したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f070d0400xxxx または 0x816f070d0400xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0179

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070d-0401xxxx Rebuild completed for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 1)

説明: このメッセージは、アレイの再ビルドが完了したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f070d0401xxxx または 0x816f070d0401xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0179

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070d-0402xxxx Rebuild completed for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 2)

説明: このメッセージは、アレイの再ビルドが完了したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f070d0402xxxx または 0x816f070d0402xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0179

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070d-0403xxxx Rebuild completed for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 3)

説明: このメッセージは、アレイの再ビルドが完了したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f070d0403xxxx または 0x816f070d0403xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0179

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070d-0404xxxx Rebuild completed for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 4)

説明: このメッセージは、アレイの再ビルドが完了したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f070d0404xxxx または 0x816f070d0404xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0179

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070d-0405xxxx Rebuild completed for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 5)

説明: このメッセージは、アレイの再ビルドが完了したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f070d0405xxxx または 0x816f070d0405xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0179

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070d-0406xxxx Rebuild completed for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 6)

説明: このメッセージは、アレイの再ビルドが完了したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f070d0406xxxx または 0x816f070d0406xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0179

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f070d-0407xxxx Rebuild completed for Array in system [ComputerSystemElementName]. (Drive 7)

説明: このメッセージは、アレイの再ビルドが完了したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f070d0407xxxx または 0x816f070d0407xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0179

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0807-0301xxxx [ProcessorElementName] has been Enabled. (CPU 1)

説明: このメッセージは、プロセッサが使用可能となったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f08070301xxxx または 0x816f08070301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0060

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0807-0302xxxx [ProcessorElementName] has been Enabled. (CPU 2)

説明: このメッセージは、プロセッサが使用可能となったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f08070302xxxx または 0x816f08070302xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0060

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0807-2584xxxx [ProcessorElementName] has been Enabled. (All CPUs)

説明: このメッセージは、プロセッサが使用可能となったことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f08072584xxxx または 0x816f08072584xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: システム - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0060

SNMP トラップ ID:

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。 1 つの CPU :

816f0813-2581xxxx System [ComputerSystemElementName]has recovered from an Uncorrectable Bus Error. (DIMMs)

説明: このメッセージは、システムがバスの訂正不能エラーからリカバリーされたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f08132581xxxx または 0x816f08132581xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0241

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0813-2582xxxx System [ComputerSystemElementName]has recovered from an Uncorrectable Bus Error. (PCIs)

説明: このメッセージは、システムがバスの訂正不能エラーからリカバリーされたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f08132582xxxx または 0x816f08132582xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0241

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0813-2584xxxx System [ComputerSystemElementName]has recovered from an Uncorrectable Bus Error. (CPU)

説明: このメッセージは、システムがバスの訂正不能エラーからリカバリーされたことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f08132584xxxx または 0x816f08132584xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: クリティカル - その他

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0241

SNMP トラップ ID: 50

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0a07-0301xxxx The Processor [ProcessorElementName] is no longer operating in a Degraded State. (CPU 1)

説明: このメッセージは、プロセッサが機能低下状態で稼働していないことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f0a070301xxxx または 0x816f0a070301xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - CPU

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0039

SNMP トラップ ID: 42

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

816f0a07-0302xxxx The Processor [ProcessorElementName] is no longer operating in a Degraded State. (CPU 2)

説明: このメッセージは、プロセッサが機能低下状態で稼働していないことが実装環境で検出された場合に使用されます。

816f0a070302xxxx または 0x816f0a070302xxxx として表示される場合もあります。

重大度: 通知

アラート・カテゴリー: 警告 - CPU

保守可能: いいえ

CIM 情報: 接頭部: PLAT および ID: 0039

SNMP トラップ ID: 42

自動的にサポートに通知: いいえ

ユーザーの処置: アクションは不要です。通知用のみです。

POST

サーバーの電源をオンにすると、サーバーのコンポーネントとサーバー内の一部のオプション装置の動作を検査する一連のテストが実行されます。この一連のテストを「パワーオン・セルフテスト」、すなわち POST と呼びます。

始動パスワードが設定されている場合、POST が実行されるようにするには、プロンプトに従ってパスワードを入力し、Enter キーを押す必要があります。

POST エラー・コード

以下の表では、POST エラー・コードと、検出された問題を訂正するための推奨について説明します。

エラーは、重大、警告、または通知として表示されることがあります。

- 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。
- どのコンポーネントがお客様交換可能ユニット (CRU) で、どのコンポーネントが現場交換可能ユニット (FRU) であるか判別するには、353 ページの『第 4 章 部品リスト、IBM System x3550 M3 Type 4254 および 7944』を参照してください。
- 処置のステップの前に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けたサービス技術員のみです。
- IBM Support Web サイト (<http://www.ibm.com/supportportal/>) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。

エラー・コード	説明	処置
0010002	マイクロプロセッサがサポートされません。	- 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り付け直し、そのたびにサーバーを再始動します。 (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) マイクロプロセッサ 1。 (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) マイクロプロセッサ 2 (取り付けられている場合)。 (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) マイクロプロセッサ 2 を取り外して、サーバーを再始動します。 (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) マイクロプロセッサ 1 を取り外し、マイクロプロセッサ 2 をマイクロプロセッサ 1 のコネクタに取り付けます。サーバーを再始動します。エラーが修正された場合は、マイクロプロセッサ 1 が不良のため取り替える必要があります。 - 以下のコンポーネントを示された順序で一度に 1 つずつ取り替え、そのたびにサーバーを再始動します。 (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) マイクロプロセッサ 1。 (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) マイクロプロセッサ 2。 (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボード。
0011000	無効なマイクロプロセッサ・タイプ。	- サーバーのファームウェアを最新レベルに更新します (485 ページの『ファームウェアの更新』を参照)。 (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 影響を受けたマイクロプロセッサ (エラー LED が点灯している) を、サポートされているタイプと交換します。

- 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。
- どのコンポーネントがお客様交換可能ユニット (CRU) で、どのコンポーネントが現場交換可能ユニット (FRU) であるか判別するには、353 ページの『第 4 章 部品リスト、IBM System x3550 M3 Type 4254 および 7944』を参照してください。
- 処置のステップの前に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けたサービス技術員のみです。
- IBM Support Web サイト (<http://www.ibm.com/supportportal/>) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。

エラー・コード	説明	処置
0011002	マイクロプロセッサのミスマッチ	1. Setup ユーティリティを実行し、「System Information」 > 「System Summary」 > 「Processor Details」と選択してマイクロプロセッサ情報を表示し、取り付けられているマイクロプロセッサの仕様を比較します。 2. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) マイクロプロセッサのうちの 1 つを取り外して交換し、両方のマイクロプロセッサが一致するようにします。
0011004	マイクロプロセッサが BIST に失敗しました。	1. サーバーのファームウェアを最新レベルに更新します (485 ページの『ファームウェアの更新』を参照)。 2. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) マイクロプロセッサ 2 を取り付け直します。 3. 次のコンポーネントを、リストに示されている順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 a. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) マイクロプロセッサ b. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボード
001100A	マイクロコード更新が失敗しました。	1. サーバーのファームウェアを最新レベルに更新します (485 ページの『ファームウェアの更新』を参照)。 2. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) マイクロプロセッサを交換します。
0018010	同一モデルのマイクロプロセッサのステッピング ID が一致していません。	1. Setup ユーティリティを実行し、「System Information」 > 「System Summary」 > 「Processor Details」と選択してマイクロプロセッサ情報を表示し、取り付けられているマイクロプロセッサの仕様を比較します。 2. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) マイクロプロセッサのうちの 1 つを取り外して交換し、両方のマイクロプロセッサが一致するようにします。

- 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。
- どのコンポーネントがお客様交換可能ユニット (CRU) で、どのコンポーネントが現場交換可能ユニット (FRU) であるか判別するには、353 ページの『第 4 章 部品リスト、IBM System x3550 M3 Type 4254 および 7944』を参照してください。
- 処置のステップの前に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けたサービス技術員のみです。
- IBM Support Web サイト (<http://www.ibm.com/supportportal/>) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。

エラー・コード	説明	処置
0018009	マイクロプロセッサのコア速度が一致していません。	1. Setup ユーティリティを実行し、「System Information」 > 「System Summary」 > 「Processor Details」と選択してマイクロプロセッサ情報を表示し、取り付けられているマイクロプロセッサの仕様を比較します。 2. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) マイクロプロセッサのうちの 1 つを取り外して交換し、両方のマイクロプロセッサが一致するようにします。
001800B	サイズが一致しないマイクロプロセッサのキャッシュ・レベルが 1 つ以上あります。	1. Setup ユーティリティを実行し、「System Information」 > 「System Summary」 > 「Processor Details」と選択してマイクロプロセッサ情報を表示し、取り付けられているマイクロプロセッサの仕様を比較します。 2. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) マイクロプロセッサのうちの 1 つを取り外して交換し、両方のマイクロプロセッサが一致するようにします。
0018005	マイクロプロセッサのコア数が一致していません。	1. Setup ユーティリティを実行し、「System Information」 > 「System Summary」 > 「Processor Details」と選択してマイクロプロセッサ情報を表示し、取り付けられているマイクロプロセッサの仕様を比較します。 2. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) マイクロプロセッサのうちの 1 つを取り外して交換し、両方のマイクロプロセッサが一致するようにします。
0018006	マイクロプロセッサの QPI 速度が一致していません。	1. Setup ユーティリティを実行し、「System Information」 > 「System Summary」 > 「Processor Details」と選択してマイクロプロセッサ情報を表示し、取り付けられているマイクロプロセッサの仕様を比較します。 2. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) マイクロプロセッサのうちの 1 つを取り外して交換し、両方のマイクロプロセッサが一致するようにします。

- 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。
- どのコンポーネントがお客様交換可能ユニット (CRU) で、どのコンポーネントが現場交換可能ユニット (FRU) であるか判別するには、353 ページの『第 4 章 部品リスト、IBM System x3550 M3 Type 4254 および 7944』を参照してください。
- 処置のステップの前に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けたサービス技術員のみです。
- IBM Support Web サイト (<http://www.ibm.com/supportportal/>) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。

エラー・コード	説明	処置
0018007	マイクロプロセッサの電源セグメントが一致していません。	1. Setup ユーティリティを実行し、「System Information」 > 「System Summary」 > 「Processor Details」と選択してマイクロプロセッサ情報を表示し、取り付けられているマイクロプロセッサの仕様を比較します。 2. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) マイクロプロセッサのうちの 1 つを取り外して交換し、両方のマイクロプロセッサが一致するようにします。
0018008	マイクロプロセッサの内部 DDR3 周波数が一致していません。	1. Setup ユーティリティを実行し、「System Information」 > 「System Summary」 > 「Processor Details」と選択してマイクロプロセッサ情報を表示し、取り付けられているマイクロプロセッサの仕様を比較します。 2. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) マイクロプロセッサのうちの 1 つを取り外して交換し、両方のマイクロプロセッサが一致するようにします。
0050001	DIMM が使用不可です。	注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。 1. DIMM が正しく取り付けられていることを確認します (390 ページの『DIMM の取り付け』を参照)。 2. メモリー障害が原因で DIMM が使用不可にされている場合は、そのエラー・イベントの推奨アクションに従った後、サーバーを再始動します。 3. このメモリー・イベントに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクター・エラー LED も点灯していない場合は、Setup ユーティリティまたは Advanced Settings ユーティリティ (ASU) から DIMM を再び使用可能にすることができます。

- 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。
- どのコンポーネントがお客様交換可能ユニット (CRU) で、どのコンポーネントが現場交換可能ユニット (FRU) であるか判別するには、353 ページの『第 4 章 部品リスト、IBM System x3550 M3 Type 4254 および 7944』を参照してください。
- 処置のステップの前に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けたサービス技術員のみです。
- IBM Support Web サイト (<http://www.ibm.com/supportportal/>) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。

エラー・コード	説明	処置
0051003	訂正不能な DIMM エラー	注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前の場合は、影響を受けたすべての DIMM を手動で再び使用可能にします。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降である場合、サーバーを給電部から切断し、給電部に再接続し、再始動します。 3. 問題が解決しない場合は、障害のある DIMM を交換します。 4. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 同じ DIMM コネクターで問題が発生する場合は、DIMM コネクターを確認します。コネクターに異物が入っていたり、コネクターが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。 6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。

- 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。
- どのコンポーネントがお客様交換可能ユニット (CRU) で、どのコンポーネントが現場交換可能ユニット (FRU) であるか判別するには、353 ページの『第 4 章 部品リスト、IBM System x3550 M3 Type 4254 および 7944』を参照してください。
- 処置のステップの前に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けたサービス技術員のみです。
- IBM Support Web サイト (<http://www.ibm.com/supportportal/>) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。

エラー・コード	説明	処置
0051004	DIMM presence が読み取り/書き込み障害を検出しました。	注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。 1. サーバーのファームウェアを最新レベルに更新します (485 ページの『ファームウェアの更新』を参照)。 2. DIMM を取り付け直します。 3. DIMM を正しい順序で取り付けます (390 ページの『DIMM の取り付け』を参照)。 4. 障害のある DIMM を交換します。 5. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。
0051006	DIMM のミスマッチを検出	注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。DIMM が一致しており、正しい順序で取り付けられていることを確認します (390 ページの『DIMM の取り付け』を参照)。
0051009	メモリーが検出されません。	注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。 1. 1 つ以上の DIMM がサーバーに取り付けられていることを確認します。 2. DIMM を取り付け直し、サーバーを再始動します 3. DIMM が正しい順序で取り付けられていることを確認します (詳しくは、390 ページの『DIMM の取り付け』を参照)。 4. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 障害のある DIMM を制御するマイクロプロセッサを交換します。 5. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

- 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。
- どのコンポーネントがお客様交換可能ユニット (CRU) で、どのコンポーネントが現場交換可能ユニット (FRU) であるか判別するには、353 ページの『第 4 章 部品リスト、IBM System x3550 M3 Type 4254 および 7944』を参照してください。
- 処置のステップの前に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けたサービス技術員のみです。
- IBM Support Web サイト (<http://www.ibm.com/supportportal/>) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。

エラー・コード	説明	処置
005100A	使用可能なメモリーが検出されません。	注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。 1 つ以上の DIMM がサーバーに取り付けられていることを確認します。 - DIMM を取り付け直し、サーバーを再始動します - DIMM が正しい順序で取り付けられていることを確認します (詳しくは、390 ページの『DIMM の取り付け』を参照)。 - CMOS メモリーをクリアし、すべての DIMM コネクターが使用可能にされていることを確認します (21 ページの『システム・ボードのスイッチとジャンパー』を参照)。ファームウェア設定はすべてデフォルト設定にリセットされるので注意してください。

- 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。
- どのコンポーネントがお客様交換可能ユニット (CRU) で、どのコンポーネントが現場交換可能ユニット (FRU) であるか判別するには、353 ページの『第 4 章 部品リスト、IBM System x3550 M3 Type 4254 および 7944』を参照してください。
- 処置のステップの前に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けたサービス技術員のみです。
- IBM Support Web サイト (<http://www.ibm.com/supportportal/>) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。

エラー・コード	説明	処置
0058001	PFA しきい値を超えました	注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. 対象の DIMM と (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログで示されます)、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサをスワップします (メモリー装着については、390 ページの『DIMM の取り付け』を参照)。 3. 同じ DIMM でまだエラーが発生する場合は、対象の DIMM を交換します。 4. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 同じ DIMM コネクタで問題が発生する場合は、DIMM コネクタを確認します。コネクタに異物が入っていたり、コネクタが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 5. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。 6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。
0058007	サポートされていない DIMM が装着されています。	注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。 1. DIMM を取り付け直し、サーバーを再始動します 2. DIMM が正しい順序で取り付けられていることを確認します (390 ページの『DIMM の取り付け』を参照)。

- 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。
- どのコンポーネントがお客様交換可能ユニット (CRU) で、どのコンポーネントが現場交換可能ユニット (FRU) であるか判別するには、353 ページの『第 4 章 部品リスト、IBM System x3550 M3 Type 4254 および 7944』を参照してください。
- 処置のステップの前に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けたサービス技術員のみです。
- IBM Support Web サイト (<http://www.ibm.com/supportportal/>) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。

エラー・コード	説明	処置
0058008	DIMM のメモリー・テストが失敗しました。	注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。 1. このメモリー・エラーに適用される、該当する RETAIN tip またはファームウェアの更新については、IBM Support Web サイトを確認してください。 2. サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 より前の場合は、影響を受けたすべての DIMM を手動で再び使用可能にします。サーバー・ファームウェアのバージョンが UEFI v1.10 以降である場合、サーバーを給電部から切断し、給電部に再接続し、再始動します。 3. 対象の DIMM と (システム・ボードのエラー LED またはイベント・ログで示されます)、異なるメモリー・チャンネルまたはマイクロプロセッサをスワップします (メモリー装着については、390 ページの『DIMM の取り付け』を参照)。 4. 問題が DIMM に関連したものである場合は、障害のある DIMM を交換します。 5. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 同じ DIMM コネクタで問題が発生する場合は、DIMM コネクタを確認します。コネクタに異物が入っていたり、コネクタが損傷したりしている場合は、システム・ボードを交換します。 6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 対象のマイクロプロセッサを取り外し、マイクロプロセッサ・ソケット・ピンに損傷がないか確認します。損傷があった場合、システム・ボードを交換します。 7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) この問題がマイクロプロセッサ・ソケット・ピンに関連している場合は、システム・ボードを交換します。 8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するマイクロプロセッサを交換します。

- 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。
- どのコンポーネントがお客様交換可能ユニット (CRU) で、どのコンポーネントが現場交換可能ユニット (FRU) であるか判別するには、353 ページの『第 4 章 部品リスト、IBM System x3550 M3 Type 4254 および 7944』を参照してください。
- 処置のステップの前に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けたサービス技術員のみです。
- IBM Support Web サイト (<http://www.ibm.com/supportportal/>) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。

エラー・コード	説明	処置
0058015	スペア・メモリー・チャンネルのアクティブ化の開始	通知のみ。メモリー Online-spare 機能をアクティブにする際に、障害がある DIMM が検出されました。イベント・ログに未解決の DIMM 障害イベントがないか確認してください。
00580A1	ミラーリング・モードには無効な DIMM 装着	注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。 1. 障害 LED が点灯する場合、障害を解決してください。 2. DIMM を正しい順序で取り付けます (390 ページの『DIMM の取り付け』を参照)。
00580A4	メモリー装着が変更されました。	通知のみ。メモリーが追加、移動、または変更されました。
00580A5	ミラーリングのフェイルオーバーが完了しました	通知のみ。メモリーの冗長性が失われました。イベント・ログで未訂正の DIMM 障害イベントを確認します (28 ページの『イベント・ログ』を参照)。
00580A6	スペア・メモリー・チャンネルがアクティブになりました	通知のみ。障害のある DIMM をバックアップするために、メモリー Online-spare チャンネルがアクティブにされました。イベント・ログに未解決の DIMM 障害イベントがないか確認してください。
0068002	CMOS バッテリーがクリアされました。	1. バッテリーを取り付け直します。 2. CMOS メモリーをクリアします (21 ページの『システム・ボードのスイッチとジャンパー』を参照)。 3. 以下のコンポーネントを、以下に示された順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 a. バッテリー b. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボード。

- 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。
- どのコンポーネントがお客様交換可能ユニット (CRU) で、どのコンポーネントが現場交換可能ユニット (FRU) であるか判別するには、353 ページの『第 4 章 部品リスト、IBM System x3550 M3 Type 4254 および 7944』を参照してください。
- 処置のステップの前に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けたサービス技術員のみです。
- IBM Support Web サイト (<http://www.ibm.com/supportportal/>) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。

エラー・コード	説明	処置
2011001	PCI-X SERR	1. ライザー・カード LED を確認します。 2. 影響を受けたすべてのアダプターおよびライザー・カードを取り付け直します。 3. PCI アダプター・ファームウェアを更新します。 4. 該当のアダプターをライザー・カードから取り外します。 5. 次のコンポーネントを、リストに示されている順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ライザー・カード b. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボード
2018001	PCI Express が未解決または未解決エラー	1. ライザー・カード LED を確認します。 2. 影響を受けたすべてのアダプターおよびライザー・カードを取り付け直します。 3. PCI アダプター・ファームウェアを更新します。 4. 該当のアダプターをライザー・カードから取り外します。 5. 次のコンポーネントを、リストに示されている順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 a. ライザー・カード b. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボード

- 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。
- どのコンポーネントがお客様交換可能ユニット (CRU) で、どのコンポーネントが現場交換可能ユニット (FRU) であるか判別するには、353 ページの『第 4 章 部品リスト、IBM System x3550 M3 Type 4254 および 7944』を参照してください。
- 処置のステップの前に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けたサービス技術員のみです。
- IBM Support Web サイト (<http://www.ibm.com/supportportal/>) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。

エラー・コード	説明	処置
2018002	オプション ROM のリソース割り振りが失敗しました	一部のデバイスが初期化されなかったことを知らせる通知メッセージです。 1. 可能な場合、PCI スロット内のアダプターの順序を再設定して、オプション・デバイス ROM コードのロード順序を変更します。 2. Setup ユーティリティを実行して「Startup Options」を選択し、ブート優先順位を変更することによりオプション装置の ROM コードのロード順序を変更します。 3. Setup ユーティリティを実行して、使用されていない機能があればそれらのリソースを使用不可にすることにより、使用可能なスペースを増やします。 a. 「Startup Options」 > 「Planar Ethernet (PXE/DHCP)」を選択して、内蔵イーサネット・コントローラー ROM を使用不可にします。 b. 「Advanced Functions」 > 「PCI Bus Control」 > 「PCI ROM Control Execution」を選択して、PCI スロット内のアダプターの ROM を使用不可にします。 c. 「Devices and I/O Ports」を選択して、すべての内蔵デバイスを使用不可にします。 4. 次のコンポーネントを、リストに示されている順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 a. 各アダプター b. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボード
3xx0007 (xx は 00 - 19 の間)	ファームウェアの障害が検出され、システムが停止しました	1. サーバー・ファームウェアを最新のレベルにまで回復します。 2. 最近行った構成変更をすべて元に戻すか、または CMOS メモリーをクリアして設定をデフォルト値に復元します (21 ページの『システム・ボードのスイッチとジャンパー』を参照)。 3. 最近取り付けられたすべてのハードウェアを取り外します。

- 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。
- どのコンポーネントがお客様交換可能ユニット (CRU) で、どのコンポーネントが現場交換可能ユニット (FRU) であるか判別するには、353 ページの『第 4 章 部品リスト、IBM System x3550 M3 Type 4254 および 7944』を参照してください。
- 処置のステップの前に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けたサービス技術員のみです。
- IBM Support Web サイト (<http://www.ibm.com/supportportal/>) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。

エラー・コード	説明	処置
3038003	ファームウェアが破損しています	1. Setup ユーティリティを実行し、「Load Default Settings」を選択し、設定を保管してサーバー・ファームウェアを回復します。 2. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。
3048005	2 次 (バックアップ) UEFI イメージがブートされました	通知のみ。2 次バンクをブートするためにバックアップ・スイッチが使用されました。
3048006	ABR により、2 次 (バックアップ) UEFI イメージがブートされました	1. Setup ユーティリティ・プログラムを実行し、「Load Default Settings」を選択して、設定を保管し、1 次 UEFI 設定を回復します。 2. サーバーの電源を切り、給電部から取り外します。 3. サーバーを給電部に再接続し、サーバーをオンにします。
305000A	RTC 日時が間違っています	1. Setup ユーティリティで日時設定を調整し、サーバーを再始動します。 2. バッテリーを取り付け直します。 3. 次のコンポーネントを、リストに示されている順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 a. バッテリー b. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボード

- 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。
- どのコンポーネントがお客様交換可能ユニット (CRU) で、どのコンポーネントが現場交換可能ユニット (FRU) であるか判別するには、353 ページの『第 4 章 部品リスト、IBM System x3550 M3 Type 4254 および 7944』を参照してください。
- 処置のステップの前に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けたサービス技術員のみです。
- IBM Support Web サイト (<http://www.ibm.com/supportportal/>) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。

エラー・コード	説明	処置
3058001	システム構成が無効です	1. Setup ユーティリティを実行し、「Save Settings」を選択します。 2. Setup ユーティリティを実行し、「Load Default Settings」を選択して設定を保管します。 3. 次のコンポーネントを、リストに示されている順序で一度に 1 つずつ取り付け直し、そのたびにサーバーを再始動します。 a. バッテリー b. 障害のある装置 (その装置が FRU である場合は、必ずトレーニングを受けたサービス技術員が取り付け直す必要があります) 4. 次のコンポーネントを、リストに示されている順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 a. バッテリー b. 障害のある装置 (その装置が FRU である場合は、必ずトレーニングを受けたサービス技術員が交換する必要があります) c. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボード
3058004	ブートが 3 回失敗しました	1. 新しい設定や新しく取り付けられたデバイスなど、最近のシステムへの変更を取り消します。 2. サーバーが信頼できる給電部に接続されていることを確認します。 3. ServerProven Web サイト (http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us/) にリストされていないすべてのハードウェアを取り外します。 4. オペレーティング・システムが破損していないことを確認します。 5. Setup ユーティリティを実行し、構成を保管して、サーバーを再始動します。 6. 351 ページの『問題判別のヒント』を参照してください。
3108007	システム構成がデフォルトの設定値に復元されました	通知のみ。このメッセージは通常、CMOS バッテリー・クリア・イベントと関連しています。

- 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。
- どのコンポーネントがお客様交換可能ユニット (CRU) で、どのコンポーネントが現場交換可能ユニット (FRU) であるか判別するには、353 ページの『第 4 章 部品リスト、IBM System x3550 M3 Type 4254 および 7944』を参照してください。
- 処置のステップの前に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けたサービス技術員のみです。
- IBM Support Web サイト (<http://www.ibm.com/supportportal/>) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。

エラー・コード	説明	処置
3138002	ブート構成エラー	1. Setup ユーティリティに行った最近の構成変更を除去します。 2. Setup ユーティリティを実行し、「Load Default Settings」を選択して設定を保管します。
3808000	IMM 通信障害	1. システムをシャットダウンして、サーバーから電源コードを 30 秒間切り離した後、サーバーを電源に再接続して再始動します。 2. IMM ファームウェアを最新のレベルに更新します (485 ページの『ファームウェアの更新』を参照)。 3. 仮想メディア・キーがしっかりと取り付けられ、損傷していないことを確認します。 4. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。
3808002	IMM へのシステム構成の更新エラー	1. システムをシャットダウンして、サーバーから電源コードを抜いてから電源にサーバーを再接続し、再始動します。 2. Setup ユーティリティを実行し、「Save Settings」を選択します。 3. IMM ファームウェアを最新のレベルに更新します (485 ページの『ファームウェアの更新』を参照)。
3808003	IMM からのシステム構成取得エラー	1. システムをシャットダウンして、サーバーから電源コードを抜いてから電源にサーバーを再接続し、再始動します。 2. Setup ユーティリティを実行し、「Save Settings」を選択します。 3. IMM ファームウェアを最新のレベルに更新します (485 ページの『ファームウェアの更新』を参照)。

- 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。
- どのコンポーネントがお客様交換可能ユニット (CRU) で、どのコンポーネントが現場交換可能ユニット (FRU) であるか判別するには、353 ページの『第 4 章 部品リスト、IBM System x3550 M3 Type 4254 および 7944』を参照してください。
- 処置のステップの前に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けたサービス技術員のみです。
- IBM Support Web サイト (<http://www.ibm.com/supportportal/>) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。

エラー・コード	説明	処置
3808004	IMM システム・イベント・ログがフルです	• アウト・オブ・バンドを使用している場合は、IMM Web インターフェースまたは IPMITool を使用して、オペレーティング・システムからログを消去します。 • ローカル・コンソールを使用している場合、 1. Setup ユーティリティを実行します。 2. 「System Event Log」 > 「Clear System Event Log」を選択します。 3. サーバーを再始動します。
3818001	Core Root of Trust Measurement (CRTM) 更新が失敗しました	1. Setup ユーティリティを実行し、「Load Default Settings」を選択して設定を保管します。 2. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。
3818002	Core Root of Trust Measurement (CRTM) 更新が異常終了しました	1. Setup ユーティリティを実行し、「Load Default Settings」を選択して設定を保管します。 2. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。
3818003	Core Root of Trust Measurement (CRTM) フラッシュ・ロックが失敗しました	1. Setup ユーティリティを実行し、「Load Default Settings」を選択して設定を保管します。 2. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。
3818004	Core Root of Trust Measurement (CRTM) システム・エラー	1. Setup ユーティリティを実行し、「Load Default Settings」を選択して設定を保管します。 2. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。
3818005	現行バンクの Core Root of Trust Measurement (CRTM) カプセル署名が無効です	1. Setup ユーティリティを実行し、「Load Default Settings」を選択して設定を保管します。 2. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

- 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。
- どのコンポーネントがお客様交換可能ユニット (CRU) で、どのコンポーネントが現場交換可能ユニット (FRU) であるか判別するには、353 ページの『第 4 章 部品リスト、IBM System x3550 M3 Type 4254 および 7944』を参照してください。
- 処置のステップの前に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けたサービス技術員のみです。
- IBM Support Web サイト (<http://www.ibm.com/supportportal/>) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。

エラー・コード	説明	処置
3818006	対向バンクの CRTM カプセル署名が無効です	1. サーバーのファームウェア・バンクをバックアップ・バンクに切り替えます (500 ページの『バックアップ・サーバー・ファームウェアの開始』を参照)。 2. Setup ユーティリティを実行し、「Load Default Settings」を選択して設定を保管します。 3. バンクを元の 1 次バンクに切り替えます。 4. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。
3818007	CRTM のカプセル署名更新が無効です	1. Setup ユーティリティを実行し、「Load Default Settings」を選択して設定を保管します。 2. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。
3828004	AEM 電力キャッピングが使用不可です	1. 設定およびイベント・ログを確認します。 2. Setup ユーティリティで、Active Energy Manager 機能が使用可能になっていることを確認します。「System Settings」 > 「Power」 > 「Active Energy」 > 「Capping Enabled」を選択します。 3. サーバーのファームウェアを最新レベルに更新します (485 ページの『ファームウェアの更新』を参照)。 4. IMM ファームウェアを最新のレベルに更新します (485 ページの『ファームウェアの更新』を参照)。

診断プログラムおよびメッセージ

診断プログラムは、サーバーの主要コンポーネントをテストするための基本手段です。診断プログラムを実行すると、テキスト・メッセージが画面に表示され、テスト・ログに保管されます。診断テキスト・メッセージは問題が検出されたことを示し、そのテキスト・メッセージの結果として取るべき処置を提供します。

サーバーの診断プログラムが最新バージョンであることを確認してください。最新バージョンをダウンロードするには、<http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnocid=SERV-DSA>に進んでください。

診断パーティションが損傷を受け診断プログラムが開始できない場合、内蔵 USB フラッシュ・デバイス上の診断コードをリセットおよび更新するためにユーティリティーが使用可能です。ユーティリティーの詳しい説明とダウンロードについては、<http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnocid=SERV-DSA>に進んでください。

診断プログラムの実行

以下の情報を使用して、診断プログラムを実行します。

このタスクについて

注: DSA メモリー・テストは、実行するのに最大 30 分かかります。問題がメモリーの問題でない場合は、メモリー・テストをスキップしてください。

診断プログラムを実行するには、次のステップを実行します。

手順

1. サーバーが稼働中の場合は、サーバーとそれに接続されているすべての装置の電源をオフにします。
2. すべての接続されている装置の電源をオンにしてから、サーバーの電源を入れます。
3. When the prompt <F2> Dynamic System Analysis is displayed, press F2.プロンプト「<F2> Dynamic System Analysis」が表示されたら、F2 キーを押します。

注: DSA プリブート診断プログラムは、プログラムを始動した際、異常なほど長時間応答しないように見える場合があります。これは、プログラムのロード中は正常な動作です。ロード・プロセスには、最大 10 分かかります。

4. オプションとして、「Quit to DSA」を選択してスタンドアロン・メモリー診断プログラムを終了することができます。

注: スタンドアロン・メモリー診断環境を終了後、サーバーを再始動して、スタンドアロン・メモリー診断環境に再度アクセスする必要があります。

5. 「gui」と入力するとグラフィカル・ユーザー・インターフェースを表示することができます。または、「cmd」と入力して DSA インタラクティブ・メニューを表示することもできます。
6. 画面の指示に従って、実行する診断テストを選択してください。

タスクの結果

診断プログラムでハードウェアのエラーが検出されないのに、通常のサーバー操作時に問題が続く場合は、ソフトウェアのエラーが原因である場合があります。ソフトウェアの問題と思われる場合は、ソフトウェアに付属の情報を参照してください。

1 つの問題について複数のエラー・メッセージが出されることがあります。その場合は、最初のエラー・メッセージの原因を解決してください。通常、次回に診断プログラムを実行するときは、他のエラー・メッセージは出なくなります。

例外: 複数のエラー・コードまたは Light Path 診断 LED がマイクロプロセッサ・エラーを示している場合、エラーはマイクロプロセッサまたはマイクロプロセッサ・ソケットにある可能性があります。マイクロプロセッサの問題の診断については、318 ページの『マイクロプロセッサ問題』を参照してください。

テストの途中でサーバーが停止し、続行できなくなった場合には、サーバーを再起動し、もう一度診断プログラムの実行を試みてください。問題が解決しない場合は、サーバーの停止時にテストされていたコンポーネントを交換してください。

診断テキスト・メッセージ

診断テキスト・メッセージは、テストの実行中に表示されます。

診断テキスト・メッセージには、以下の結果のいずれかが示されます。

Passed: テストはエラーなしに完了しました。

Failed: テストでエラーが検出されました。

Aborted: サーバー構成が原因で、テストが進行できませんでした。

テストの失敗に関する追加情報が、それぞれのテストの拡張診断結果から入手可能です。

テスト・ログの表示

以下の情報を使用して、テスト・ログを表示します。

このタスクについて

テストが完了したときにテスト・ログを表示するには、DSA 対話式メニューで **view** コマンドを入力するか、グラフィカル・ユーザー・インターフェースで「**Diagnostic Event Log**」を選択します。DSA Preboot コレクションを外付け USB デバイスに転送するには、DSA 対話式メニューで **copy** コマンドを入力します。

診断メッセージ

以下の表では、診断プログラムが生成する可能性があるメッセージと、検出された問題を解決するための推奨アクションについて説明します。

「アクション」の欄の推奨アクションを、リストされている順に実行してください。

表 6. DSA プリブート・メッセージ

- 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。 - どのコンポーネントがお客様交換可能ユニット (CRU) で、どのコンポーネントが現場交換可能ユニット (FRU) であるか判別するには、353 ページの『第 4 章 部品リスト、IBM System x3550 M3 Type 4254 および 7944』を参照してください。 - 処置のステップの先頭に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と付されている場合、そのステップは必ずトレーニングを受けたサービス技術員のみが行うようにします。 - IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal/) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。					
メッセージ番号	コンポーネント	テスト	状態	説明	処置
089-801-xxx	CPU	CPU ストレス・テスト	異常終了	内部プログラム・エラー	1. システムの電源をオフにして、再始動してください。 2. DSA コードが最新レベルであることを確認します。最新レベルの DSA コードについては、http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?Indocid=SERV-DSA を参照してください。 3. テストを再実行してください。 4. システムのファームウェアのレベルが最新であることを確認してください。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA イベント・ログに表示されます。詳しくは、485 ページの『ファームウェアの更新』を参照してください。 5. テストを再実行してください。 6. 必要に応じて、システムの電源をオフしてから再始動して、停止状態から回復します。 7. テストを再実行してください。 8. 障害が解決しない場合は、IBM の Web サイト (http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?Indocid=SERV-CALL) で詳しいトラブルシューティング情報を参照してください。

表 6. DSA プリブート・メッセージ (続き)

- 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。 - どのコンポーネントがお客様交換可能ユニット (CRU) で、どのコンポーネントが現場交換可能ユニット (FRU) であるか判別するには、353 ページの『第 4 章 部品リスト、IBM System x3550 M3 Type 4254 および 7944』を参照してください。 - 処置のステップの先頭に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と付されている場合、そのステップは必ずトレーニングを受けたサービス技術員のみが行うようにします。 - IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal/) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。					
メッセージ番号	コンポーネント	テスト	状態	説明	処置
089-802-xxx	CPU	CPU ストレス・テスト	異常終了	システム・リソースの可用性エラー	- システムの電源をオフにして、再始動してください。 - DSA コードが最新レベルであることを確認します。最新レベルの DSA コードについては、 http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnodocid=SERV-DSA を参照してください。 - テストを再実行してください。 - システムのファームウェアのレベルが最新であることを確認してください。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA イベント・ログに表示されます。ファームウェアの最新レベルについては、 http://www.ibm.com/support/fixcentral/ にアクセスし、ご使用のシステムを選択して使用可能なファームウェアのマトリックスを表示してください。 - テストを再実行してください。 - 必要に応じて、システムの電源をオフしてから再始動して、停止状態から回復します。 - テストを再実行してください。 - システムのファームウェアのレベルが最新であることを確認してください。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA イベント・ログに表示されます。詳しくは、485 ページの『ファームウェアの更新』を参照してください。 - テストを再実行してください。 - 障害が解決しない場合は、IBM の Web サイト (http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnodocid=SERV-CALL) で詳しいトラブルシューティング情報を参照してください。

表 6. DSA プリブート・メッセージ (続き)

- 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。 - どのコンポーネントがお客様交換可能ユニット (CRU) で、どのコンポーネントが現場交換可能ユニット (FRU) であるか判別するには、353 ページの『第 4 章 部品リスト、IBM System x3550 M3 Type 4254 および 7944』を参照してください。 - 処置のステップの先頭に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と付されている場合、そのステップは必ずトレーニングを受けたサービス技術員のみが行うようにします。 - IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal/) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。					
メッセージ番号	コンポーネント	テスト	状態	説明	処置
089-901-xxx	CPU	CPU ストレス・テスト	失敗	テストに失敗しました。	- 必要に応じて、システムの電源をオフにしてから再始動して、停止状態から回復します。 - DSA コードが最新レベルであることを確認します。最新レベルの DSA コードについては、http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?Indocid=SERV-DSA を参照してください。 - テストを再実行してください。 - システムのファームウェアのレベルが最新であることを確認してください。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA イベント・ログに表示されます。詳しくは、485 ページの『ファームウェアの更新』を参照してください。 - テストを再実行してください。 - 必要に応じて、システムの電源をオフにしてから再始動して、停止状態から回復します。 - テストを再実行してください。 - 障害が解決しない場合は、IBM の Web サイト (http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?Indocid=SERV-CALL) で詳しいトラブルシューティング情報を参照してください。
166-801-xxx	IMM	IMM I2C テスト	異常終了	IMM I2C テストが異常終了しました。IMM が誤った応答長を戻しました。	- システムの電源をオフにして、電源から切り離します。IMM をリセットするには、システムを AC 電源から切り離す必要があります。 45 秒後に、システムを電源に再接続してシステムの電源をオンにします。 - テストを再実行してください。 - DSA コードが最新レベルであることを確認します。最新レベルの DSA コードについては、http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?Indocid=SERV-DSA を参照してください。 - IMM ファームウェアのレベルが最新であることを確認してください。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA イベント・ログに表示されます。詳しくは、485 ページの『ファームウェアの更新』を参照してください。 - テストを再実行してください。 - 障害が解決しない場合は、IBM の Web サイト (http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?Indocid=SERV-CALL) で詳しいトラブルシューティング情報を参照してください。

表 6. DSA プリブート・メッセージ (続き)

- 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。 - どのコンポーネントがお客様交換可能ユニット (CRU) で、どのコンポーネントが現場交換可能ユニット (FRU) であるか判別するには、353 ページの『第 4 章 部品リスト、IBM System x3550 M3 Type 4254 および 7944』を参照してください。 - 処置のステップの先頭に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と付されている場合、そのステップは必ずトレーニングを受けたサービス技術員のみが行うようにします。 - IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal/) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。					
メッセージ番号	コンポーネント	テスト	状態	説明	処置
166-802-xxx	IMM	IMM I2C テスト	異常終了	IMM I2C テストが異常終了しました。原因不明の理由によってテストを完了することができません。	- システムの電源をオフにして、電源から切り離します。IMM をリセットするには、システムを AC 電源から切り離す必要があります。 45 秒後に、システムを電源に再接続してシステムの電源をオンにします。 - テストを再実行してください。 - DSA コードが最新レベルであることを確認します。最新レベルの DSA コードについては、http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?Indocid=SERV-DSA を参照してください。 - IMM ファームウェアのレベルが最新であることを確認してください。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA イベント・ログに表示されます。詳しくは、485 ページの『ファームウェアの更新』を参照してください。 - テストを再実行してください。 - 障害が解決しない場合は、IBM の Web サイト (http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?Indocid=SERV-CALL) で詳しいトラブルシューティング情報を参照してください。
166-803-xxx	IMM	IMM I2C テスト	異常終了	IMM I2C テストが異常終了しました。ノードが使用中です。後で再試行してください。	- システムの電源をオフにして、電源から切り離します。IMM をリセットするには、システムを AC 電源から切り離す必要があります。 45 秒後に、システムを電源に再接続してシステムの電源をオンにします。 - テストを再実行してください。 - DSA コードが最新レベルであることを確認します。最新レベルの DSA コードについては、http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?Indocid=SERV-DSA を参照してください。 - IMM ファームウェアのレベルが最新であることを確認してください。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA イベント・ログに表示されます。詳しくは、485 ページの『ファームウェアの更新』を参照してください。 - テストを再実行してください。 - 障害が解決しない場合は、IBM の Web サイト (http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?Indocid=SERV-CALL) で詳しいトラブルシューティング情報を参照してください。

表 6. DSA プリブート・メッセージ (続き)

- 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。 - どのコンポーネントがお客様交換可能ユニット (CRU) で、どのコンポーネントが現場交換可能ユニット (FRU) であるか判別するには、353 ページの『第 4 章 部品リスト、IBM System x3550 M3 Type 4254 および 7944』を参照してください。 - 処置のステップの先頭に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と付されている場合、そのステップは必ずトレーニングを受けたサービス技術員のみが行うようにします。 - IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal/) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。					
メッセージ番号	コンポーネント	テスト	状態	説明	処置
166-804-xxx	IMM	IMM I2C テスト	異常終了	IMM I2C テストが異常終了しました。無効なコマンドです。	1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。 IMM をリセットするには、システムを AC 電源から切り離す必要があります。 2. 45 秒後に、システムを電源に再接続してシステムの電源をオンにします。 3. テストを再実行してください。 4. DSA コードが最新レベルであることを確認します。最新レベルの DSA コードについては、http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnocid=SERV-DSA を参照してください。 5. IMM ファームウェアのレベルが最新であることを確認してください。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA イベント・ログに表示されます。詳しくは、485 ページの『ファームウェアの更新』を参照してください。 6. テストを再実行してください。 7. 障害が解決しない場合は、IBM の Web サイト (http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnocid=SERV-CALL) で詳しいトラブルシューティング情報を参照してください。
166-805-xxx	IMM	IMM I2C テスト	異常終了	IMM I2C テストが異常終了しました。指定された LUN に対して無効なコマンドです。	1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。 IMM をリセットするには、システムを AC 電源から切り離す必要があります。 2. 45 秒後に、システムを電源に再接続してシステムの電源をオンにします。 3. テストを再実行してください。 4. DSA コードが最新レベルであることを確認します。最新レベルの DSA コードについては、http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnocid=SERV-DSA を参照してください。 5. IMM ファームウェアのレベルが最新であることを確認してください。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA イベント・ログに表示されます。詳しくは、485 ページの『ファームウェアの更新』を参照してください。 6. テストを再実行してください。 7. 障害が解決しない場合は、IBM の Web サイト (http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnocid=SERV-CALL) で詳しいトラブルシューティング情報を参照してください。

表 6. DSA プリブート・メッセージ (続き)

- 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。 - どのコンポーネントがお客様交換可能ユニット (CRU) で、どのコンポーネントが現場交換可能ユニット (FRU) であるか判別するには、353 ページの『第 4 章 部品リスト、IBM System x3550 M3 Type 4254 および 7944』を参照してください。 - 処置のステップの先頭に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と付されている場合、そのステップは必ずトレーニングを受けたサービス技術員のみが行うようにします。 - IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal/) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。					
メッセージ番号	コンポーネント	テスト	状態	説明	処置
166-806-xxx	IMM	IMM I2C テスト	異常終了	IMM I2C テストが異常終了しました。コマンドの処理中にタイムアウトになりました。	- システムの電源をオフにして、電源から切り離します。IMM をリセットするには、システムを AC 電源から切り離す必要があります。 45 秒後に、システムを電源に再接続してシステムの電源をオンにします。 - テストを再実行してください。 - DSA コードが最新レベルであることを確認します。最新レベルの DSA コードについては、http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?Indocid=SERV-DSA を参照してください。 - IMM ファームウェアのレベルが最新であることを確認してください。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA イベント・ログに表示されます。詳しくは、485 ページの『ファームウェアの更新』を参照してください。 - テストを再実行してください。 - 障害が解決しない場合は、IBM の Web サイト (http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?Indocid=SERV-CALL) で詳しいトラブルシューティング情報を参照してください。
166-807-xxx	IMM	IMM I2C テスト	異常終了	IMM I2C テストが異常終了しました。スペース不足です。	- システムの電源をオフにして、電源から切り離します。IMM をリセットするには、システムを AC 電源から切り離す必要があります。 45 秒後に、システムを電源に再接続してシステムの電源をオンにします。 - テストを再実行してください。 - DSA コードが最新レベルであることを確認します。最新レベルの DSA コードについては、http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?Indocid=SERV-DSA を参照してください。 - IMM ファームウェアのレベルが最新であることを確認してください。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA イベント・ログに表示されます。詳しくは、485 ページの『ファームウェアの更新』を参照してください。 - テストを再実行してください。 - 障害が解決しない場合は、IBM の Web サイト (http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?Indocid=SERV-CALL) で詳しいトラブルシューティング情報を参照してください。

表 6. DSA プリブート・メッセージ (続き)

- 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。 - どのコンポーネントがお客様交換可能ユニット (CRU) で、どのコンポーネントが現場交換可能ユニット (FRU) であるか判別するには、353 ページの『第 4 章 部品リスト、IBM System x3550 M3 Type 4254 および 7944』を参照してください。 - 処置のステップの先頭に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と付されている場合、そのステップは必ずトレーニングを受けたサービス技術員のみが行うようにします。 - IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal/) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。					
メッセージ番号	コンポーネント	テスト	状態	説明	処置
166-808-xxx	IMM	IMM I2C テスト	異常終了	IMM I2C テストが異常終了しました。予約が取り消されたか、無効な予約 ID です。	1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。 IMM をリセットするには、システムを AC 電源から切り離す必要があります。 2. 45 秒後に、システムを電源に再接続してシステムの電源をオンにします。 3. テストを再実行してください。 4. DSA コードが最新レベルであることを確認します。最新レベルの DSA コードについては、http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnidocid=SERV-DSA を参照してください。 5. IMM ファームウェアのレベルが最新であることを確認してください。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA イベント・ログに表示されます。詳しくは、485 ページの『ファームウェアの更新』を参照してください。 6. テストを再実行してください。 7. 障害が解決しない場合は、IBM の Web サイト (http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnidocid=SERV-CALL) で詳しいトラブルシューティング情報を参照してください。
166-809-xxx	IMM	IMM I2C テスト	異常終了	IMM I2C テストが異常終了しました。要求データが切り捨てられました。	1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。 IMM をリセットするには、システムを AC 電源から切り離す必要があります。 2. 45 秒後に、システムを電源に再接続してシステムの電源をオンにします。 3. テストを再実行してください。 4. DSA コードが最新レベルであることを確認します。最新レベルの DSA コードについては、http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnidocid=SERV-DSA を参照してください。 5. IMM ファームウェアのレベルが最新であることを確認してください。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA イベント・ログに表示されます。詳しくは、485 ページの『ファームウェアの更新』を参照してください。 6. テストを再実行してください。 7. 障害が解決しない場合は、IBM の Web サイト (http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnidocid=SERV-CALL) で詳しいトラブルシューティング情報を参照してください。

表 6. DSA プリブート・メッセージ (続き)

- 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。 - どのコンポーネントがお客様交換可能ユニット (CRU) で、どのコンポーネントが現場交換可能ユニット (FRU) であるか判別するには、353 ページの『第 4 章 部品リスト、IBM System x3550 M3 Type 4254 および 7944』を参照してください。 - 処置のステップの先頭に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と付されている場合、そのステップは必ずトレーニングを受けたサービス技術員のみが行うようにします。 - IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal/) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。					
メッセージ番号	コンポーネント	テスト	状態	説明	処置
166-810-xxx	IMM	IMM I2C テスト	異常終了	IMM I2C テストが異常終了しました。要求データの長さが無効です。	- システムの電源をオフにして、電源から切り離します。IMM をリセットするには、システムを AC 電源から切り離す必要があります。 45 秒後に、システムを電源に再接続してシステムの電源をオンにします。 - テストを再実行してください。 - DSA コードが最新レベルであることを確認します。最新レベルの DSA コードについては、http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?Indocid=SERV-DSA を参照してください。 - IMM ファームウェアのレベルが最新であることを確認してください。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA イベント・ログに表示されます。詳しくは、485 ページの『ファームウェアの更新』を参照してください。 - テストを再実行してください。 - 障害が解決しない場合は、IBM の Web サイト (http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?Indocid=SERV-CALL) で詳しいトラブルシューティング情報を参照してください。
166-811-xxx	IMM	IMM I2C テスト	異常終了	IMM I2C テストが異常終了しました。要求データのフィールド長の限度を超えています。	- システムの電源をオフにして、電源から切り離します。IMM をリセットするには、システムを AC 電源から切り離す必要があります。 45 秒後に、システムを電源に再接続してシステムの電源をオンにします。 - テストを再実行してください。 - DSA コードが最新レベルであることを確認します。最新レベルの DSA コードについては、http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?Indocid=SERV-DSA を参照してください。 - IMM ファームウェアのレベルが最新であることを確認してください。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA イベント・ログに表示されます。詳しくは、485 ページの『ファームウェアの更新』を参照してください。 - テストを再実行してください。 - 障害が解決しない場合は、IBM の Web サイト (http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?Indocid=SERV-CALL) で詳しいトラブルシューティング情報を参照してください。

表 6. DSA プリブート・メッセージ (続き)

- 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。 - どのコンポーネントがお客様交換可能ユニット (CRU) で、どのコンポーネントが現場交換可能ユニット (FRU) であるか判別するには、353 ページの『第 4 章 部品リスト、IBM System x3550 M3 Type 4254 および 7944』を参照してください。 - 処置のステップの先頭に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と付されている場合、そのステップは必ずトレーニングを受けたサービス技術員のみが行うようにします。 - IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal/) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。					
メッセージ番号	コンポーネント	テスト	状態	説明	処置
166-812-xxx	IMM	IMM I2C テスト	異常終了	IMM I2C テストが異常終了しました。パラメーターが範囲外です。	1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。 IMM をリセットするには、システムを AC 電源から切り離す必要があります。 2. 45 秒後に、システムを電源に再接続してシステムの電源をオンにします。 3. テストを再実行してください。 4. DSA コードが最新レベルであることを確認します。最新レベルの DSA コードについては、http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnocid=SERV-DSA を参照してください。 5. IMM ファームウェアのレベルが最新であることを確認してください。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA イベント・ログに表示されます。詳しくは、485 ページの『ファームウェアの更新』を参照してください。 6. テストを再実行してください。 7. 障害が解決しない場合は、IBM の Web サイト (http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnocid=SERV-CALL) で詳しいトラブルシューティング情報を参照してください。
166-813-xxx	IMM	IMM I2C テスト	異常終了	IMM I2C テストが異常終了しました。要求されているデータのバイト数を戻すことができません。	1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。 IMM をリセットするには、システムを AC 電源から切り離す必要があります。 2. 45 秒後に、システムを電源に再接続してシステムの電源をオンにします。 3. テストを再実行してください。 4. DSA コードが最新レベルであることを確認します。最新レベルの DSA コードについては、http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnocid=SERV-DSA を参照してください。 5. IMM ファームウェアのレベルが最新であることを確認してください。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA イベント・ログに表示されます。詳しくは、485 ページの『ファームウェアの更新』を参照してください。 6. テストを再実行してください。 7. 障害が解決しない場合は、IBM の Web サイト (http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnocid=SERV-CALL) で詳しいトラブルシューティング情報を参照してください。

表 6. DSA プリブート・メッセージ (続き)

- 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。 - どのコンポーネントがお客様交換可能ユニット (CRU) で、どのコンポーネントが現場交換可能ユニット (FRU) であるか判別するには、353 ページの『第 4 章 部品リスト、IBM System x3550 M3 Type 4254 および 7944』を参照してください。 - 処置のステップの先頭に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と付されている場合、そのステップは必ずトレーニングを受けたサービス技術員のみが行うようにします。 - IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal/) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。					
メッセージ番号	コンポーネント	テスト	状態	説明	処置
166-814-xxx	IMM	IMM I2C テスト	異常終了	IMM I2C テストが異常終了しました。要求されたセンサー、データ、またはレコードが存在しません。	- システムの電源をオフにして、電源から切り離します。IMM をリセットするには、システムを AC 電源から切り離す必要があります。 45 秒後に、システムを電源に再接続してシステムの電源をオンにします。 - テストを再実行してください。 - DSA コードが最新レベルであることを確認します。最新レベルの DSA コードについては、http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?Indocid=SERV-DSA を参照してください。 - IMM ファームウェアのレベルが最新であることを確認してください。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA イベント・ログに表示されます。詳しくは、485 ページの『ファームウェアの更新』を参照してください。 - テストを再実行してください。 - 障害が解決しない場合は、IBM の Web サイト (http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?Indocid=SERV-CALL) で詳しいトラブルシューティング情報を参照してください。
166-815-xxx	IMM	IMM I2C テスト	異常終了	IMM I2C テストが異常終了しました。要求内に無効なデータ・フィールドがあります。	- システムの電源をオフにして、電源から切り離します。IMM をリセットするには、システムを AC 電源から切り離す必要があります。 45 秒後に、システムを電源に再接続してシステムの電源をオンにします。 - テストを再実行してください。 - DSA コードが最新レベルであることを確認します。最新レベルの DSA コードについては、http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?Indocid=SERV-DSA を参照してください。 - IMM ファームウェアのレベルが最新であることを確認してください。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA イベント・ログに表示されます。詳しくは、485 ページの『ファームウェアの更新』を参照してください。 - テストを再実行してください。 - 障害が解決しない場合は、IBM の Web サイト (http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?Indocid=SERV-CALL) で詳しいトラブルシューティング情報を参照してください。

表 6. DSA プリブート・メッセージ (続き)

- 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。 - どのコンポーネントがお客様交換可能ユニット (CRU) で、どのコンポーネントが現場交換可能ユニット (FRU) であるか判別するには、353 ページの『第 4 章 部品リスト、IBM System x3550 M3 Type 4254 および 7944』を参照してください。 - 処置のステップの先頭に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と付されている場合、そのステップは必ずトレーニングを受けたサービス技術員のみが行うようにします。 - IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal/) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。					
メッセージ番号	コンポーネント	テスト	状態	説明	処置
166-816-xxx	IMM	IMM I2C テスト	異常終了	IMM I2C テストが異常終了しました。指定されたセンサーまたはレコード・タイプに対してコマンドが正しくありません。	1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。 IMM をリセットするには、システムを AC 電源から切り離す必要があります。 2. 45 秒後に、システムを電源に再接続してシステムの電源をオンにします。 3. テストを再実行してください。 4. DSA コードが最新レベルであることを確認します。最新レベルの DSA コードについては、http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?Indocid=SERV-DSA を参照してください。 5. IMM ファームウェアのレベルが最新であることを確認してください。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA イベント・ログに表示されます。詳しくは、485 ページの『ファームウェアの更新』を参照してください。 6. テストを再実行してください。 7. 障害が解決しない場合は、IBM の Web サイト (http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?Indocid=SERV-CALL) で詳しいトラブルシューティング情報を参照してください。
166-817-xxx	IMM	IMM I2C テスト	異常終了	IMM I2C テストが異常終了しました。コマンドに対する応答を提供できません。	1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。 IMM をリセットするには、システムを AC 電源から切り離す必要があります。 2. 45 秒後に、システムを電源に再接続してシステムの電源をオンにします。 3. テストを再実行してください。 4. DSA コードが最新レベルであることを確認します。最新レベルの DSA コードについては、http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?Indocid=SERV-DSA を参照してください。 5. IMM ファームウェアのレベルが最新であることを確認してください。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA イベント・ログに表示されます。詳しくは、485 ページの『ファームウェアの更新』を参照してください。 6. テストを再実行してください。 7. 障害が解決しない場合は、IBM の Web サイト (http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?Indocid=SERV-CALL) で詳しいトラブルシューティング情報を参照してください。

表 6. DSA プリブート・メッセージ (続き)

- 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。 - どのコンポーネントがお客様交換可能ユニット (CRU) で、どのコンポーネントが現場交換可能ユニット (FRU) であるか判別するには、353 ページの『第 4 章 部品リスト、IBM System x3550 M3 Type 4254 および 7944』を参照してください。 - 処置のステップの先頭に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と付されている場合、そのステップは必ずトレーニングを受けたサービス技術員のみが行うようにします。 - IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal/) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。					
メッセージ番号	コンポーネント	テスト	状態	説明	処置
166-818-xxx	IMM	IMM I2C テスト	異常終了	IMM I2C テストが異常終了しました。重複する要求は実行できません。	1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。IMM をリセットするには、システムを AC 電源から切り離す必要があります。 2. 45 秒後に、システムを電源に再接続してシステムの電源をオンにします。 3. テストを再実行してください。 4. DSA コードが最新レベルであることを確認します。最新レベルの DSA コードについては、http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnocid=SERV-DSA を参照してください。 5. IMM ファームウェアのレベルが最新であることを確認してください。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA イベント・ログに表示されます。詳しくは、485 ページの『ファームウェアの更新』を参照してください。 6. テストを再実行してください。 7. 障害が解決しない場合は、IBM の Web サイト (http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnocid=SERV-CALL) で詳しいトラブルシューティング情報を参照してください。
166-819-xxx	IMM	IMM I2C テスト	異常終了	IMM I2C テストが異常終了しました。コマンドに対する応答を提供できません。SDR リポジトリが更新モードです。	1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。IMM をリセットするには、システムを AC 電源から切り離す必要があります。 2. 45 秒後に、システムを電源に再接続してシステムの電源をオンにします。 3. テストを再実行してください。 4. DSA コードが最新レベルであることを確認します。最新レベルの DSA コードについては、http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnocid=SERV-DSA を参照してください。 5. IMM ファームウェアのレベルが最新であることを確認してください。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA イベント・ログに表示されます。詳しくは、485 ページの『ファームウェアの更新』を参照してください。 6. テストを再実行してください。 7. 障害が解決しない場合は、IBM の Web サイト (http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnocid=SERV-CALL) で詳しいトラブルシューティング情報を参照してください。

表 6. DSA プリブート・メッセージ (続き)

- 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。 - どのコンポーネントがお客様交換可能ユニット (CRU) で、どのコンポーネントが現場交換可能ユニット (FRU) であるか判別するには、353 ページの『第 4 章 部品リスト、IBM System x3550 M3 Type 4254 および 7944』を参照してください。 - 処置のステップの先頭に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と付されている場合、そのステップは必ずトレーニングを受けたサービス技術員のみが行うようにします。 - IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal/) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。					
メッセージ番号	コンポーネント	テスト	状態	説明	処置
166-820-xxx	IMM	IMM I2C テスト	異常終了	IMM I2C テストが異常終了しました。コマンドに対する応答を提供できません。デバイスがファームウェアの更新モードです。	- システムの電源をオフにして、電源から切り離します。IMM をリセットするには、システムを AC 電源から切り離す必要があります。 45 秒後に、システムを電源に再接続してシステムの電源をオンにします。 - テストを再実行してください。 - DSA コードおよび IMM ファームウェアのレベルが最新であることを確認してください。 - IMM ファームウェアのレベルが最新であることを確認してください。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA イベント・ログに表示されます。詳しくは、485 ページの『ファームウェアの更新』を参照してください。 - テストを再実行してください。 - 障害が解決しない場合は、IBM の Web サイト (http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?Indocid=SERV-CALL) で詳しいトラブルシューティング情報を参照してください。
166-821-xxx	IMM	IMM I2C テスト	異常終了	IMM I2C テストが異常終了しました。コマンドに対する応答を提供できません。IMM の初期化が進行中です。	- システムの電源をオフにして、電源から切り離します。IMM をリセットするには、システムを AC 電源から切り離す必要があります。 45 秒後に、システムを電源に再接続してシステムの電源をオンにします。 - テストを再実行してください。 - DSA コードが最新レベルであることを確認します。最新レベルの DSA コードについては、http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?Indocid=SERV-DSA を参照してください。 - IMM ファームウェアのレベルが最新であることを確認してください。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA イベント・ログに表示されます。詳しくは、485 ページの『ファームウェアの更新』を参照してください。 - テストを再実行してください。 - 障害が解決しない場合は、IBM の Web サイト (http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?Indocid=SERV-CALL) で詳しいトラブルシューティング情報を参照してください。

表 6. DSA プリブート・メッセージ (続き)

- 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。 - どのコンポーネントがお客様交換可能ユニット (CRU) で、どのコンポーネントが現場交換可能ユニット (FRU) であるか判別するには、353 ページの『第 4 章 部品リスト、IBM System x3550 M3 Type 4254 および 7944』を参照してください。 - 処置のステップの先頭に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と付されている場合、そのステップは必ずトレーニングを受けたサービス技術員のみが行うようにします。 - IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal/) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。					
メッセージ番号	コンポーネント	テスト	状態	説明	処置
166-822-xxx	IMM	IMM I2C テスト	異常終了	IMM I2C テストが異常終了しました。宛先が使用不可です。	- システムの電源をオフにして、電源から切り離します。IMM をリセットするには、システムを AC 電源から切り離す必要があります。 45 秒後に、システムを電源に再接続してシステムの電源をオンにします。 - テストを再実行してください。 - DSA コードが最新レベルであることを確認します。最新レベルの DSA コードについては、http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnocid=SERV-DSA を参照してください。 - IMM ファームウェアのレベルが最新であることを確認してください。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA イベント・ログに表示されます。詳しくは、485 ページの『ファームウェアの更新』を参照してください。 - テストを再実行してください。 - 障害が解決しない場合は、IBM の Web サイト (http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnocid=SERV-CALL) で詳しいトラブルシューティング情報を参照してください。
166-823-xxx	IMM	IMM I2C テスト	異常終了	IMM I2C テストが異常終了しました。コマンドを実行できません。特権レベルが不十分です。	- システムの電源をオフにして、電源から切り離します。IMM をリセットするには、システムを AC 電源から切り離す必要があります。 45 秒後に、システムを電源に再接続してシステムの電源をオンにします。 - テストを再実行してください。 - DSA コードが最新レベルであることを確認します。最新レベルの DSA コードについては、http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnocid=SERV-DSA を参照してください。 - IMM ファームウェアのレベルが最新であることを確認してください。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA イベント・ログに表示されます。詳しくは、485 ページの『ファームウェアの更新』を参照してください。 - テストを再実行してください。 - 障害が解決しない場合は、IBM の Web サイト (http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnocid=SERV-CALL) で詳しいトラブルシューティング情報を参照してください。

表 6. DSA プリブート・メッセージ (続き)

- 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。 - どのコンポーネントがお客様交換可能ユニット (CRU) で、どのコンポーネントが現場交換可能ユニット (FRU) であるか判別するには、353 ページの『第 4 章 部品リスト、IBM System x3550 M3 Type 4254 および 7944』を参照してください。 - 処置のステップの先頭に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と付されている場合、そのステップは必ずトレーニングを受けたサービス技術員のみが行うようにします。 - IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal/) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。					
メッセージ番号	コンポーネント	テスト	状態	説明	処置
166-824-xxx	IMM	IMM I2C テスト	異常終了	IMM I2C テストが取り消されました。コマンドを実行できません。	1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。 IMM をリセットするには、システムを AC 電源から切り離す必要があります。 2. 45 秒後に、システムを電源に再接続してシステムの電源をオンにします。 3. テストを再実行してください。 4. DSA コードが最新レベルであることを確認します。最新レベルの DSA コードについては、http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnocid=SERV-DSA を参照してください。 5. IMM ファームウェアのレベルが最新であることを確認してください。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA イベント・ログに表示されます。詳しくは、485 ページの『ファームウェアの更新』を参照してください。 6. テストを再実行してください。 7. 障害が解決しない場合は、IBM の Web サイト (http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnocid=SERV-CALL) で詳しいトラブルシューティング情報を参照してください。
166-901-xxx	IMM	IMM I2C テスト	失敗	IMM が H8 バス (Bus 0) における障害を示しています。	1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。 IMM をリセットするには、システムを AC 電源から切り離す必要があります。 2. 45 秒後に、システムを電源に再接続してシステムの電源をオンにします。 3. テストを再実行してください。 4. DSA コードが最新レベルであることを確認します。最新レベルの DSA コードについては、http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnocid=SERV-DSA を参照してください。 5. IMM ファームウェアのレベルが最新であることを確認してください。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA イベント・ログに表示されます。詳しくは、485 ページの『ファームウェアの更新』を参照してください。 6. テストを再実行してください。 7. 障害が解決しない場合は、IBM の Web サイト (http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnocid=SERV-CALL) で詳しいトラブルシューティング情報を参照してください。

表 6. DSA プリブート・メッセージ (続き)

- 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。 - どのコンポーネントがお客様交換可能ユニット (CRU) で、どのコンポーネントが現場交換可能ユニット (FRU) であるか判別するには、353 ページの『第 4 章 部品リスト、IBM System x3550 M3 Type 4254 および 7944』を参照してください。 - 処置のステップの先頭に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と付されている場合、そのステップは必ずトレーニングを受けたサービス技術員のみが行うようにします。 - IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal/) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。					
メッセージ番号	コンポーネント	テスト	状態	説明	処置
166-902-xxx	IMM	IMM I2C テスト	失敗	IMM が Light Path バス (Bus 1) における障害を示しています。	- システムの電源をオフにして、電源から切り離します。IMM をリセットするには、システムを AC 電源から切り離す必要があります。 45 秒後に、システムを電源に再接続してシステムの電源をオンにします。 - テストを再実行してください。 - DSA コードが最新レベルであることを確認します。最新レベルの DSA コードについては、http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnodocid=SERV-DSA を参照してください。 - IMM ファームウェアのレベルが最新であることを確認してください。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA イベント・ログに表示されます。詳しくは、485 ページの『ファームウェアの更新』を参照してください。 - テストを再実行してください。 - システムの電源をオフにして、電源から切り離します。 - Light Path 診断パネルを取り付け直します。 - システムを電源に再接続して、システムの電源をオンにします。 - テストを再実行してください。 - システムの電源をオフにして、電源から切り離します。 (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを取り付け直します。 - システムを電源に再接続して、システムの電源をオンにします。 - テストを再実行してください。 - 障害が解決しない場合は、IBM の Web サイト (http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnodocid=SERV-CALL) で詳しいトラブルシューティング情報を参照してください。

表 6. DSA プリブート・メッセージ (続き)

- 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。 - どのコンポーネントがお客様交換可能ユニット (CRU) で、どのコンポーネントが現場交換可能ユニット (FRU) であるか判別するには、353 ページの『第 4 章 部品リスト、IBM System x3550 M3 Type 4254 および 7944』を参照してください。 - 処置のステップの先頭に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と付されている場合、そのステップは必ずトレーニングを受けたサービス技術員のみが行うようにします。 - IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal/) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。					
メッセージ番号	コンポーネント	テスト	状態	説明	処置
166-903-xxx	IMM	IMM I2C テスト	失敗	IMM が DIMM バス (Bus 2) における障害を示しています。	- システムの電源をオフにして、電源から切り離します。IMM をリセットするには、システムを AC 電源から切り離す必要があります。 45 秒後に、システムを電源に再接続してシステムの電源をオンにします。 - テストを再実行してください。 - DSA コードが最新レベルであることを確認します。最新レベルの DSA コードについては、http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnodocid=SERV-DSA を参照してください。 - IMM ファームウェアのレベルが最新であることを確認してください。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA イベント・ログに表示されます。詳しくは、485 ページの『ファームウェアの更新』を参照してください。 - テストを再実行してください。 - システムを給電部から切り離します。 - 一度に 1 つずつ DIMM を交換し、各 DIMM を交換するたびにテストを再実行します。 - システムを電源に再接続して、システムの電源をオンにします。 - テストを再実行してください。 - システムの電源をオフにして、電源から切り離します。 - すべての DIMM を取り付け直します。 - システムを電源に再接続して、システムの電源をオンにします。 - テストを再実行してください。 - システムの電源をオフにして、電源から切り離します。 (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを取り付け直します。 - システムを電源に再接続して、システムの電源をオンにします。 - テストを再実行してください。 - 障害が解決しない場合は、IBM の Web サイト (http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnodocid=SERV-CALL) で詳しいトラブルシューティング情報を参照してください。

表 6. DSA プリブート・メッセージ (続き)

- 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。 - どのコンポーネントがお客様交換可能ユニット (CRU) で、どのコンポーネントが現場交換可能ユニット (FRU) であるか判別するには、353 ページの『第 4 章 部品リスト、IBM System x3550 M3 Type 4254 および 7944』を参照してください。 - 処置のステップの先頭に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と付されている場合、そのステップは必ずトレーニングを受けたサービス技術員のみが行うようにします。 - IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal/) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。					
メッセージ番号	コンポーネント	テスト	状態	説明	処置
166-904-xxx	IMM	IMM I2C テスト	失敗	IMM が、パワー・サプライ・バス (Bus 3) における障害を示しています。	- システムの電源をオフにして、電源から切り離します。IMM をリセットするには、システムを AC 電源から切り離す必要があります。 45 秒後に、システムを電源に再接続してシステムの電源をオンにします。 - テストを再実行してください。 - DSA コードが最新レベルであることを確認します。最新レベルの DSA コードについては、http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnodocid=SERV-DSA を参照してください。 - IMM ファームウェアのレベルが最新であることを確認してください。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA イベント・ログに表示されます。詳しくは、485 ページの『ファームウェアの更新』を参照してください。 - テストを再実行してください。 - パワー・サプライを取り付け直します。 - テストを再実行してください。 - システムの電源をオフにして、電源から切り離します。 (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを取り付け直します。 - システムを電源に再接続して、システムの電源をオンにします。 - テストを再実行してください。 - 障害が解決しない場合は、IBM の Web サイト (http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnodocid=SERV-CALL) で詳しいトラブルシューティング情報を参照してください。

表 6. DSA プリブート・メッセージ (続き)

- 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。 - どのコンポーネントがお客様交換可能ユニット (CRU) で、どのコンポーネントが現場交換可能ユニット (FRU) であるか判別するには、353 ページの『第 4 章 部品リスト、IBM System x3550 M3 Type 4254 および 7944』を参照してください。 - 処置のステップの先頭に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と付されている場合、そのステップは必ずトレーニングを受けたサービス技術員のみが行うようにします。 - IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal/) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。					
メッセージ番号	コンポーネント	テスト	状態	説明	処置
166-905-xxx	IMM	IMM I2C テスト	失敗	IMM が HDD バス (Bus 4) における障害を示しています。	注: ハード・ディスク・バックプレーンが取り付けられていない場合は、このエラーを無視してください。 - システムの電源をオフにして、電源から切り離します。IMM をリセットするには、システムを AC 電源から切り離す必要があります。 45 秒後に、システムを電源に再接続してシステムの電源をオンにします。 - テストを再実行してください。 - DSA コードが最新レベルであることを確認します。最新レベルの DSA コードについては、http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnodocid=SERV-DSA を参照してください。 - IMM ファームウェアのレベルが最新であることを確認してください。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA イベント・ログに表示されます。詳しくは、485 ページの『ファームウェアの更新』を参照してください。 - テストを再実行してください。 - システムの電源をオフにして、電源から切り離します。 - ハード・ディスク・バックプレーンを取り付け直します。 - システムを電源に再接続して、システムの電源をオンにします。 - テストを再実行してください。 - システムの電源をオフにして、電源から切り離します。 (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを取り付け直します。 - システムを電源に再接続して、システムの電源をオンにします。 - テストを再実行してください。 - 障害が解決しない場合は、IBM の Web サイト (http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnodocid=SERV-CALL) で詳しいトラブルシューティング情報を参照してください。

表 6. DSA プリブート・メッセージ (続き)

- 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。 - どのコンポーネントがお客様交換可能ユニット (CRU) で、どのコンポーネントが現場交換可能ユニット (FRU) であるか判別するには、353 ページの『第 4 章 部品リスト、IBM System x3550 M3 Type 4254 および 7944』を参照してください。 - 処置のステップの先頭に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と付されている場合、そのステップは必ずトレーニングを受けたサービス技術員のみが行うようにします。 - IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal/) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。					
メッセージ番号	コンポーネント	テスト	状態	説明	処置
166-906-xxx	IMM	IMM I2C テスト	失敗	IMM が、メモリー構成バス (Bus 5) における障害を示しています。	- システムの電源をオフにして、電源から切り離します。IMM をリセットするには、システムを AC 電源から切り離す必要があります。 45 秒後に、システムを電源に再接続してシステムの電源をオンにします。 - テストを再実行してください。 - DSA コードが最新レベルであることを確認します。最新レベルの DSA コードについては、http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?Indocid=SERV-DSA を参照してください。 - IMM ファームウェアのレベルが最新であることを確認してください。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA イベント・ログに表示されます。詳しくは、485 ページの『ファームウェアの更新』を参照してください。 - テストを再実行してください。 - システムの電源をオフにして、電源から切り離します。 (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを取り付け直します。 - システムを電源に再接続して、システムの電源をオンにします。 - テストを再実行してください。 - 障害が解決しない場合は、IBM の Web サイト (http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?Indocid=SERV-CALL) で詳しいトラブルシューティング情報を参照してください。
201-801-xxx	メモリー	メモリー・テスト	異常終了	テストが取り消された: システム UEFI が無効な CBAR アドレスを使用してメモリー・コントローラーをプログラムしました。	- システムの電源をオフにして、再始動してください。 - テストを再実行してください。 - サーバーのファームウェアのレベルが最新であることを確認してください。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA イベント・ログに表示されます。詳しくは、485 ページの『ファームウェアの更新』を参照してください。 - テストを再実行してください。 - 障害が解決しない場合は、IBM の Web サイト (http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?Indocid=SERV-CALL) で詳しいトラブルシューティング情報を参照してください。

表 6. DSA プリブート・メッセージ (続き)

- 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。 - どのコンポーネントがお客様交換可能ユニット (CRU) で、どのコンポーネントが現場交換可能ユニット (FRU) であるか判別するには、353 ページの『第 4 章 部品リスト、IBM System x3550 M3 Type 4254 および 7944』を参照してください。 - 処置のステップの先頭に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と付されている場合、そのステップは必ずトレーニングを受けたサービス技術員のみが行うようにします。 - IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal/) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。					
メッセージ番号	コンポーネント	テスト	状態	説明	処置
201-802-xxx	メモリー	メモリー・テスト	異常終了	テストが取り消されました。E820 機能の終了アドレスが 16 MB より小さいです。	1. システムの電源をオフにして、再始動してください。 2. テストを再実行してください。 3. Setup ユーティリティーですべての DIMM が使用可能になっていることを確認してください。 4. サーバーのファームウェアのレベルが最新であることを確認してください。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA イベント・ログに表示されます。詳しくは、485 ページの『ファームウェアの更新』を参照してください。 5. テストを再実行してください。 6. 障害が解決しない場合は、IBM の Web サイト (http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?Indocid=SERV-CALL) で詳しいトラブルシューティング情報を参照してください。
201-803-xxx	メモリー	メモリー・テスト	異常終了	テストが取り消されました。プロセッサのキャッシュを使用可能にできませんでした。	1. システムの電源をオフにして、再始動してください。 2. テストを再実行してください。 3. サーバーのファームウェアのレベルが最新であることを確認してください。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA イベント・ログに表示されます。詳しくは、485 ページの『ファームウェアの更新』を参照してください。 4. テストを再実行してください。 5. 障害が解決しない場合は、IBM の Web サイト (http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?Indocid=SERV-CALL) で詳しいトラブルシューティング情報を参照してください。
201-804-xxx	メモリー	メモリー・テスト	異常終了	テストが取り消されました。メモリー・コントローラーのパッファー要求が失敗しました。	1. システムの電源をオフにして、再始動してください。 2. テストを再実行してください。 3. サーバーのファームウェアのレベルが最新であることを確認してください。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA イベント・ログに表示されます。詳しくは、485 ページの『ファームウェアの更新』を参照してください。 4. テストを再実行してください。 5. 障害が解決しない場合は、IBM の Web サイト (http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?Indocid=SERV-CALL) で詳しいトラブルシューティング情報を参照してください。

表 6. DSA プリブート・メッセージ (続き)

- 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。 - どのコンポーネントがお客様交換可能ユニット (CRU) で、どのコンポーネントが現場交換可能ユニット (FRU) であるか判別するには、353 ページの『第 4 章 部品リスト、IBM System x3550 M3 Type 4254 および 7944』を参照してください。 - 処置のステップの先頭に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と付されている場合、そのステップは必ずトレーニングを受けたサービス技術員のみが行うようにします。 - IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal/) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。					
メッセージ番号	コンポーネント	テスト	状態	説明	処置
201-805-xxx	メモリー	メモリー・テスト	異常終了	テストが取り消されました。メモリー・コントローラーの表示/変更の書き込み操作が完了しませんでした。	- システムの電源をオフにして、再始動してください。 - テストを再実行してください。 - サーバーのファームウェアのレベルが最新であることを確認してください。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA イベント・ログに表示されます。詳しくは、485 ページの『ファームウェアの更新』を参照してください。 - テストを再実行してください。 - 障害が解決しない場合は、IBM の Web サイト (http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?Indocid=SERV-CALL) で詳しいトラブルシューティング情報を参照してください。
201-806-xxx	メモリー	メモリー・テスト	異常終了	テストが取り消されました。メモリー・コントローラーの高速消し込み操作が完了しませんでした。	- システムの電源をオフにして、再始動してください。 - テストを再実行してください。 - サーバーのファームウェアのレベルが最新であることを確認してください。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA イベント・ログに表示されます。詳しくは、485 ページの『ファームウェアの更新』を参照してください。 - テストを再実行してください。 - 障害が解決しない場合は、IBM の Web サイト (http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?Indocid=SERV-CALL) で詳しいトラブルシューティング情報を参照してください。
201-807-xxx	メモリー	メモリー・テスト	異常終了	テストが取り消されました。メモリー・コントローラーのバッファ解放要求が失敗しました。	- システムの電源をオフにして、再始動してください。 - テストを再実行してください。 - サーバーのファームウェアのレベルが最新であることを確認してください。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA イベント・ログに表示されます。詳しくは、485 ページの『ファームウェアの更新』を参照してください。 - テストを再実行してください。 - 障害が解決しない場合は、IBM の Web サイト (http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?Indocid=SERV-CALL) で詳しいトラブルシューティング情報を参照してください。

表 6. DSA プリブート・メッセージ (続き)

- 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。 - どのコンポーネントがお客様交換可能ユニット (CRU) で、どのコンポーネントが現場交換可能ユニット (FRU) であるか判別するには、353 ページの『第 4 章 部品リスト、IBM System x3550 M3 Type 4254 および 7944』を参照してください。 - 処置のステップの先頭に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と付されている場合、そのステップは必ずトレーニングを受けたサービス技術員のみが行うようにします。 - IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal/) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。					
メッセージ番号	コンポーネント	テスト	状態	説明	処置
201-808-xxx	メモリー	メモリー・テスト	異常終了	テストが取り消されました。メモリー・コントローラーの表示/変更のバッファー実行エラー。	- システムの電源をオフにして、再始動してください。 - テストを再実行してください。 - サーバーのファームウェアのレベルが最新であることを確認してください。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA イベント・ログに表示されます。詳しくは、485 ページの『ファームウェアの更新』を参照してください。 - テストを再実行してください。 - 障害が解決しない場合は、IBM の Web サイト (http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?Indocid=SERV-CALL) で詳しいトラブルシューティング情報を参照してください。
201-809-xxx	メモリー	メモリー・テスト	異常終了	テスト取り消しプログラム・エラー。操作は高速消し込みを実行中。	- システムの電源をオフにして、再始動してください。 - テストを再実行してください。 - DSA コードが最新レベルであることを確認します。最新レベルの DSA コードについては、http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?Indocid=SERV-DSA を参照してください。 - サーバーのファームウェアのレベルが最新であることを確認してください。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA イベント・ログに表示されます。詳しくは、485 ページの『ファームウェアの更新』を参照してください。 - テストを再実行してください。 - 障害が解決しない場合は、IBM の Web サイト (http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?Indocid=SERV-CALL) で詳しいトラブルシューティング情報を参照してください。

表 6. DSA プリブート・メッセージ (続き)

- 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。 - どのコンポーネントがお客様交換可能ユニット (CRU) で、どのコンポーネントが現場交換可能ユニット (FRU) であるか判別するには、353 ページの『第 4 章 部品リスト、IBM System x3550 M3 Type 4254 および 7944』を参照してください。 - 処置のステップの先頭に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と付されている場合、そのステップは必ずトレーニングを受けたサービス技術員のみが行うようにします。 - IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal/) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。					
メッセージ番号	コンポーネント	テスト	状態	説明	処置
201-810-xxx	メモリー	メモリー・テスト	異常終了	テストが停止しました。不明なエラー・コード xxx が COMMONEXIT プロシージャで受信されました。	- システムの電源をオフにして、再始動してください。 - テストを再実行してください。 - DSA コードが最新レベルであることを確認します。最新レベルの DSA コードについては、http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?Indocid=SERV-DSA を参照してください。 - サーバーのファームウェアのレベルが最新であることを確認してください。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA イベント・ログに表示されます。詳しくは、485 ページの『ファームウェアの更新』を参照してください。 - テストを再実行してください。 - 障害が解決しない場合は、IBM の Web サイト (http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?Indocid=SERV-CALL) で詳しいトラブルシューティング情報を参照してください。

表 6. DSA プリブート・メッセージ (続き)

- 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。 - どのコンポーネントがお客様交換可能ユニット (CRU) で、どのコンポーネントが現場交換可能ユニット (FRU) であるか判別するには、353 ページの『第 4 章 部品リスト、IBM System x3550 M3 Type 4254 および 7944』を参照してください。 - 処置のステップの先頭に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と付されている場合、そのステップは必ずトレーニングを受けたサービス技術員のみが行うようにします。 - IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal/) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。					
メッセージ番号	コンポーネント	テスト	状態	説明	処置
201-901-xxx	メモリー	メモリー・テスト	失敗	テストが失敗しました。単一ビット・エラー、障害のある DIMM z。	- システムの電源をオフにして、電源から切り離します。 - DIMM z を取り付け直します。 - システムを電源に再接続して、システムの電源をオンにします。 - DSA コードが最新レベルであることを確認します。最新レベルの DSA コードについては、http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnocid=SERV-DSA を参照してください。 - サーバーのファームウェアのレベルが最新であることを確認してください。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA イベント・ログに表示されます。詳しくは、485 ページの『ファームウェアの更新』を参照してください。 - テストを再実行してください。 - 障害のある DIMM を交換します。 - Setup ユーティリティですべてのメモリーを再度使用可能に設定します (492 ページの『Setup ユーティリティの使用』を参照)。 - テストを再実行してください。 - 障害のある DIMM を交換します。 - Setup ユーティリティですべてのメモリーを再度使用可能に設定します (492 ページの『Setup ユーティリティの使用』を参照)。 - テストを再実行してください。 - 障害が解決しない場合は、IBM の Web サイト (http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnocid=SERV-CALL) で詳しいトラブルシューティング情報を参照してください。

表 6. DSA プリブート・メッセージ (続き)

- 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。 - どのコンポーネントがお客様交換可能ユニット (CRU) で、どのコンポーネントが現場交換可能ユニット (FRU) であるか判別するには、353 ページの『第 4 章 部品リスト、IBM System x3550 M3 Type 4254 および 7944』を参照してください。 - 処置のステップの先頭に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と付されている場合、そのステップは必ずトレーニングを受けたサービス技術員のみが行うようにします。 - IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal/) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。					
メッセージ番号	コンポーネント	テスト	状態	説明	処置
202-801-xxx	メモリー	メモリー・ストレステスト	異常終了	内部プログラム・エラー	- システムの電源をオフにして、再始動してください。 - DSA コードが最新レベルであることを確認します。最新レベルの DSA コードについては、http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?Indocid=SERV-DSA を参照してください。 - サーバーのファームウェアのレベルが最新であることを確認してください。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA イベント・ログに表示されます。詳しくは、485 ページの『ファームウェアの更新』を参照してください。 - テストを再実行してください。 - 必要に応じて、システムの電源をオフにしてから再始動して、停止状態から回復します。 - メモリー診断を実行して、障害のある DIMM を特定してください。 - 障害が解決しない場合は、IBM の Web サイト (http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?Indocid=SERV-CALL) で詳しいトラブルシューティング情報を参照してください。
202-802-xxx	メモリー	メモリー・ストレステスト	失敗	一般エラー。テストを実行するにはメモリー・サイズが足りません。	- DSA イベント・ログの「Available System Memory in the Resource Utilization」セクションで、すべてのメモリーが使用可能になっていることを確認します。必要な場合は、Setup ユーティリティーですべてのメモリーを使用可能に設定します (492 ページの『Setup ユーティリティーの使用』を参照)。 - DSA コードが最新レベルであることを確認します。最新レベルの DSA コードについては、http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?Indocid=SERV-DSA を参照してください。 - テストを再実行してください。 - 標準メモリー・テストを実行して、すべてのメモリーの妥当性検査を行います。 - 障害が解決しない場合は、IBM の Web サイト (http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?Indocid=SERV-CALL) で詳しいトラブルシューティング情報を参照してください。

表 6. DSA プリブート・メッセージ (続き)

- 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。 - どのコンポーネントがお客様交換可能ユニット (CRU) で、どのコンポーネントが現場交換可能ユニット (FRU) であるか判別するには、353 ページの『第 4 章 部品リスト、IBM System x3550 M3 Type 4254 および 7944』を参照してください。 - 処置のステップの先頭に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と付されている場合、そのステップは必ずトレーニングを受けたサービス技術員のみが行うようにします。 - IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal/) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。					
メッセージ番号	コンポーネント	テスト	状態	説明	処置
202-901-xxx	メモリー	メモリー・ストレス・テスト	失敗	テストに失敗しました。	- 標準メモリー・テストを実行して、すべてのメモリーの妥当性検査を行います。 - DSA コードが最新レベルであることを確認します。最新レベルの DSA コードについては、http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnocid=SERV-DSA を参照してください。 - システムの電源をオフにして、電源から切り離します。 - DIMM を取り付け直します。 - システムを電源に再接続して、システムの電源をオンにします。 - テストを再実行してください。 - 標準メモリー・テストを実行して、すべてのメモリーの妥当性検査を行います。 - 障害が解決しない場合は、IBM の Web サイト (http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnocid=SERV-CALL) で詳しいトラブルシューティング情報を参照してください。
215-801-xxx	光ディスク・ドライブ	- インストールされたメディアの検証 - 読み取り/書き込みテスト - セルフテスト メッセージおよびアクションは、3 つのテストすべてに適用されます。	異常終了	デバイス・ドライバーと通信できません。	- DSA コードが最新レベルであることを確認します。最新レベルの DSA コードについては、http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnocid=SERV-DSA を参照してください。 - テストを再実行してください。 - ドライブのケーブルの両端を調べて、接続部が緩んだり切れたりしていないか、またはケーブルに損傷がないか確認します。ケーブルが損傷していたら交換してください。 - テストを再実行してください。 - 詳しいトラブルシューティング情報については、http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnocid=MIGR-41559 にアクセスしてください。 - テストを再実行してください。 - システムのファームウェアのレベルが最新であることを確認してください。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA イベント・ログに表示されます。詳しくは、485 ページの『ファームウェアの更新』を参照してください。 - テストを再実行してください。 - DVD ドライブを交換します。 - 障害が解決しない場合は、IBM の Web サイト (http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnocid=SERV-CALL) で詳しいトラブルシューティング情報を参照してください。

表 6. DSA プリブート・メッセージ (続き)

- 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。 - どのコンポーネントがお客様交換可能ユニット (CRU) で、どのコンポーネントが現場交換可能ユニット (FRU) であるか判別するには、353 ページの『第 4 章 部品リスト、IBM System x3550 M3 Type 4254 および 7944』を参照してください。 - 処置のステップの先頭に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と付されている場合、そのステップは必ずトレーニングを受けたサービス技術員のみが行うようにします。 - IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal/) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。					
メッセージ番号	コンポーネント	テスト	状態	説明	処置
215-802-xxx	光ディスク・ドライブ	- インストールされたメディアの検証 - 読み取り/書き込みテスト - セルフテスト メッセージおよびアクションは、3 つのテストすべてに適用されます。	異常終了	メディア・トレイが開いています。	- メディア・トレイを閉じて、15 秒待ちます。 - テストを再実行してください。 - 新しい CD/DVD をドライブに挿入し、メディアが認識されるまで 15 秒待ちます。 - テストを再実行してください。 - ドライブのケーブルの両端を調べて、接続部が緩んだり切れたりしていないか、またはケーブルに損傷がないか確認します。ケーブルが損傷していたら交換してください。 - テストを再実行してください。 - DSA コードが最新レベルであることを確認します。最新レベルの DSA コードについては、http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnocid=SERV-DSA を参照してください。 - テストを再実行してください。 - 詳しいトラブルシューティング情報については、http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnocid=MIGR-41559 にアクセスしてください。 - テストを再実行してください。 - CD/DVD ドライブを交換してください。 - 障害が解決しない場合は、IBM の Web サイト (http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnocid=SERV-CALL) で詳しいトラブルシューティング情報を参照してください。
215-803-xxx	光ディスク・ドライブ	- インストールされたメディアの検証 - 読み取り/書き込みテスト - セルフテスト メッセージおよびアクションは、3 つのテストすべてに適用されます。	失敗	ディスクがシステムによって使用中である可能性があります。	- システム活動が停止するまで待ちます。 - テストを再実行します。 - システムの電源をオフにして、再始動してください。 - テストを再実行してください。 - DVD ドライブを交換します。 - 障害が解決しない場合は、IBM の Web サイト (http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnocid=SERV-CALL) で詳しいトラブルシューティング情報を参照してください。

表 6. DSA プリブート・メッセージ (続き)

- 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。 - どのコンポーネントがお客様交換可能ユニット (CRU) で、どのコンポーネントが現場交換可能ユニット (FRU) であるか判別するには、353 ページの『第 4 章 部品リスト、IBM System x3550 M3 Type 4254 および 7944』を参照してください。 - 処置のステップの先頭に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と付されている場合、そのステップは必ずトレーニングを受けたサービス技術員のみが行うようにします。 - IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal/) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。					
メッセージ番号	コンポーネント	テスト	状態	説明	処置
215-901-xxx	光ディスク・ドライブ	- インストールされたメディアの検証 - 読み取り/書き込みテスト - セルフテスト メッセージおよびアクションは、3 つのテストすべてに適用されます。	異常終了	ドライブ・メディアが検出されません。	- CD/DVD を DVD ドライブに挿入するか、または新しいメディアを試行して、15 秒待ちます。 - テストを再実行してください。 - ドライブのケーブルの両端を調べて、接続部が緩んだり切れたりしていないか、またはケーブルに損傷がないか確認します。ケーブルが損傷していたら交換してください。 - テストを再実行してください。 - 詳しいトラブルシューティング情報については、http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?Indocid=MIGR-41559 にアクセスしてください。 - テストを再実行してください。 - DVD ドライブを交換します。 - 障害が解決しない場合は、IBM の Web サイト (http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?Indocid=SERV-CALL) で詳しいトラブルシューティング情報を参照してください。
215-902-xxx	光ディスク・ドライブ	- インストールされたメディアの検証 - 読み取り/書き込みテスト - セルフテスト メッセージおよびアクションは、3 つのテストすべてに適用されます。	失敗	読み取りの不一致。	- CD/DVD を DVD ドライブに挿入するか、または新しいメディアを試行して、15 秒待ちます。 - テストを再実行してください。 - ドライブのケーブルの両端を調べて、接続部が緩んだり切れたりしていないか、またはケーブルに損傷がないか確認します。ケーブルが損傷していたら交換してください。 - テストを再実行してください。 - 詳しいトラブルシューティング情報については、http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?Indocid=MIGR-41559 にアクセスしてください。 - テストを再実行してください。 - DVD ドライブを交換します。 - 障害が解決しない場合は、IBM の Web サイト (http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?Indocid=SERV-CALL) で詳しいトラブルシューティング情報を参照してください。

表 6. DSA プリブート・メッセージ (続き)

- 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。 - どのコンポーネントがお客様交換可能ユニット (CRU) で、どのコンポーネントが現場交換可能ユニット (FRU) であるか判別するには、353 ページの『第 4 章 部品リスト、IBM System x3550 M3 Type 4254 および 7944』を参照してください。 - 処置のステップの先頭に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と付されている場合、そのステップは必ずトレーニングを受けたサービス技術員のみが行うようにします。 - IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal/) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。					
メッセージ番号	コンポーネント	テスト	状態	説明	処置
215-903-xxx	光ディスク・ドライブ	- インストールされたメディアの検証 - 読み取り/書き込みテスト - セルフテスト メッセージおよびアクションは、3 つのテストすべてに適用されます。	異常終了	ドライブにアクセスできませんでした。	- CD/DVD を DVD ドライブに挿入するか、または新しいメディアを試行して、15 秒待ちます。 - テストを再実行してください。 - ドライブのケーブルの両端を調べて、接続部が緩んだり切れたりしていないか、またはケーブルに損傷がないか確認します。ケーブルが損傷していたら交換してください。 - テストを再実行してください。 - DSA コードが最新レベルであることを確認します。最新レベルの DSA コードについては、http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnodocid=SERV-DSA を参照してください。 - テストを再実行してください。 - 詳しいトラブルシューティング情報については、http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnodocid=MIGR-41559 にアクセスしてください。 - テストを再実行してください。 - DVD ドライブを交換します。 - 障害が解決しない場合は、IBM の Web サイト (http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnodocid=SERV-CALL) で詳しいトラブルシューティング情報を参照してください。
215-904-xxx	光ディスク・ドライブ	- インストールされたメディアの検証 - 読み取り/書き込みテスト - セルフテスト メッセージおよびアクションは、3 つのテストすべてに適用されます。	失敗	読み取りエラーが起きました。	- CD/DVD を DVD ドライブに挿入するか、または新しいメディアを試行して、15 秒待ちます。 - テストを再実行してください。 - ドライブのケーブルの両端を調べて、接続部が緩んだり切れたりしていないか、またはケーブルに損傷がないか確認します。ケーブルが損傷していたら交換してください。 - テストを再実行してください。 - 詳しいトラブルシューティング情報については、http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnodocid=MIGR-41559 にアクセスしてください。 - テストを再実行してください。 - DVD ドライブを交換します。 - 障害が解決しない場合は、IBM の Web サイト (http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnodocid=SERV-CALL) で詳しいトラブルシューティング情報を参照してください。

表 6. DSA プリブート・メッセージ (続き)

- 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。 - どのコンポーネントがお客様交換可能ユニット (CRU) で、どのコンポーネントが現場交換可能ユニット (FRU) であるか判別するには、353 ページの『第 4 章 部品リスト、IBM System x3550 M3 Type 4254 および 7944』を参照してください。 - 処置のステップの先頭に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と付されている場合、そのステップは必ずトレーニングを受けたサービス技術員のみが行うようにします。 - IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal/) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。					
メッセージ番号	コンポーネント	テスト	状態	説明	処置
405-901-xxx	BroadCom イーサネット・デバイス	コントロール・レジスターのテスト	失敗		- コンポーネントのファームウェアのレベルが最新であることを確認してください。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA イベント・ログに表示されます。詳しくは、485 ページの『ファームウェアの更新』を参照してください。 - テストを再実行してください。 - エラーの原因であるコンポーネントを交換してください。アダプターが原因でエラーが起きている場合は、アダプターを交換します。DSA イベント・ログの PCI 情報およびネットワーク設定情報を確認して、障害のあるコンポーネントの物理的位置を判別します。 - 障害が解決しない場合は、IBM の Web サイト (http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?Indocid=SERV-CALL) で詳しいトラブルシューティング情報を参照してください。
405-901-xxx	BroadCom イーサネット・デバイス	MII レジスターのテスト	失敗		- コンポーネントのファームウェアのレベルが最新であることを確認してください。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA イベント・ログに表示されます。詳しくは、485 ページの『ファームウェアの更新』を参照してください。 - テストを再実行してください。 - エラーの原因であるコンポーネントを交換してください。アダプターが原因でエラーが起きている場合は、アダプターを交換します。DSA イベント・ログの PCI 情報およびネットワーク設定情報を確認して、障害のあるコンポーネントの物理的位置を判別します。 - 障害が解決しない場合は、IBM の Web サイト (http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?Indocid=SERV-CALL) で詳しいトラブルシューティング情報を参照してください。

表 6. DSA プリブート・メッセージ (続き)

- 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。 - どのコンポーネントがお客様交換可能ユニット (CRU) で、どのコンポーネントが現場交換可能ユニット (FRU) であるか判別するには、353 ページの『第 4 章 部品リスト、IBM System x3550 M3 Type 4254 および 7944』を参照してください。 - 処置のステップの先頭に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と付されている場合、そのステップは必ずトレーニングを受けたサービス技術員のみが行うようにします。 - IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal/) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。					
メッセージ番号	コンポーネント	テスト	状態	説明	処置
405-902-xxx	BroadCom イーサネット・デバイス	EEPROM のテスト	失敗		- コンポーネントのファームウェアのレベルが最新であることを確認してください。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA イベント・ログに表示されます。詳しくは、485 ページの『ファームウェアの更新』を参照してください。 - テストを再実行してください。 - エラーの原因であるコンポーネントを交換してください。アダプターが原因でエラーが起きている場合は、アダプターを交換します。DSA イベント・ログの PCI 情報およびネットワーク設定情報を確認して、障害のあるコンポーネントの物理的位置を判別します。 - 障害が解決しない場合は、IBM の Web サイト (http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?Indocid=SERV-CALL) で詳しいトラブルシューティング情報を参照してください。
405-903-xxx	BroadCom イーサネット・デバイス	内部メモリーのテスト	失敗		- コンポーネントのファームウェアのレベルが最新であることを確認してください。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA イベント・ログに表示されます。詳しくは、485 ページの『ファームウェアの更新』を参照してください。 - テストを再実行してください。 - DSA イベント・ログの PCI ハードウェア・セクションで割り込みの割り当てを確認します。イーサネット・デバイスが割り込みを共用している場合は、可能な場合は、Setup ユーティリティを使用して (492 ページの『Setup ユーティリティの使用』を参照) その装置に固有の割り込みを割り当てます。 - エラーの原因であるコンポーネントを交換してください。アダプターが原因でエラーが起きている場合は、アダプターを交換します。DSA イベント・ログの PCI 情報およびネットワーク設定情報を確認して、障害のあるコンポーネントの物理的位置を判別します。 - 障害が解決しない場合は、IBM の Web サイト (http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?Indocid=SERV-CALL) で詳しいトラブルシューティング情報を参照してください。

表 6. DSA プリブート・メッセージ (続き)

- 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。 - どのコンポーネントがお客様交換可能ユニット (CRU) で、どのコンポーネントが現場交換可能ユニット (FRU) であるか判別するには、353 ページの『第 4 章 部品リスト、IBM System x3550 M3 Type 4254 および 7944』を参照してください。 - 処置のステップの先頭に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と付されている場合、そのステップは必ずトレーニングを受けたサービス技術員のみが行うようにします。 - IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal/) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。					
メッセージ番号	コンポーネント	テスト	状態	説明	処置
405-904-xxx	BroadCom イーサネット・デバイス	割り込みのテスト	失敗		- コンポーネントのファームウェアのレベルが最新であることを確認してください。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA イベント・ログに表示されます。詳しくは、485 ページの『ファームウェアの更新』を参照してください。 - テストを再実行してください。 - DSA イベント・ログの PCI ハードウェア・セクションで割り込みの割り当てを確認します。イーサネット・デバイスが割り込みを共用している場合は、可能な場合は、Setup ユーティリティを使用して (492 ページの『Setup ユーティリティの使用』を参照) その装置に固有の割り込みを割り当てます。 - エラーの原因であるコンポーネントを交換してください。アダプターが原因でエラーが起きている場合は、アダプターを交換します。DSA イベント・ログの PCI 情報およびネットワーク設定情報を確認して、障害のあるコンポーネントの物理的位置を判別します。 - 障害が解決しない場合は、IBM の Web サイト (http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?Indocid=SERV-CALL) で詳しいトラブルシューティング情報を参照してください。
405-905-xxx	BroadCom イーサネット・デバイス	MAC 層におけるループバックのテスト	失敗		- コンポーネントのファームウェアのレベルが最新であることを確認してください。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA イベント・ログに表示されます。詳しくは、485 ページの『ファームウェアの更新』を参照してください。 - テストを再実行してください。 - エラーの原因であるコンポーネントを交換してください。アダプターが原因でエラーが起きている場合は、アダプターを交換します。DSA イベント・ログの PCI 情報およびネットワーク設定情報を確認して、障害のあるコンポーネントの物理的位置を判別します。 - 障害が解決しない場合は、IBM の Web サイト (http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?Indocid=SERV-CALL) で詳しいトラブルシューティング情報を参照してください。

表 6. DSA プリブート・メッセージ (続き)

- 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。 - どのコンポーネントがお客様交換可能ユニット (CRU) で、どのコンポーネントが現場交換可能ユニット (FRU) であるか判別するには、353 ページの『第 4 章 部品リスト、IBM System x3550 M3 Type 4254 および 7944』を参照してください。 - 処置のステップの先頭に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と付されている場合、そのステップは必ずトレーニングを受けたサービス技術員のみが行うようにします。 - IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal/) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。					
メッセージ番号	コンポーネント	テスト	状態	説明	処置
405-906-xxx	BroadCom イーサネット・デバイス	物理層におけるループバックのテスト	失敗		- イーサネット・ケーブルに損傷がないか検査し、ケーブルのタイプおよび接続が正しいことを確認します。 - コンポーネントのファームウェアのレベルが最新であることを確認してください。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA イベント・ログに表示されます。詳しくは、485 ページの『ファームウェアの更新』を参照してください。 - テストを再実行してください。 - エラーの原因であるコンポーネントを交換してください。アダプターが原因でエラーが起きている場合は、アダプターを交換します。DSA イベント・ログの PCI 情報およびネットワーク設定情報を確認して、障害のあるコンポーネントの物理的位置を判別します。 - 障害が解決しない場合は、IBM の Web サイト (http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?Indocid=SERV-CALL) で詳しいトラブルシューティング情報を参照してください。
405-907-xxx	BroadCom イーサネット・デバイス	LED のテスト	失敗		- コンポーネントのファームウェアのレベルが最新であることを確認してください。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA イベント・ログに表示されます。詳しくは、485 ページの『ファームウェアの更新』を参照してください。 - テストを再実行してください。 - エラーの原因であるコンポーネントを交換してください。アダプターが原因でエラーが起きている場合は、アダプターを交換します。DSA イベント・ログの PCI 情報およびネットワーク設定情報を確認して、障害のあるコンポーネントの物理的位置を判別します。 - 障害が解決しない場合は、IBM の Web サイト (http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?Indocid=SERV-CALL) で詳しいトラブルシューティング情報を参照してください。

チェックアウト手順

チェックアウト手順は、サーバーの問題を診断するために行う必要がある一連の作業です。

チェックアウト手順について

ハードウェアの問題を診断するためのチェックアウト手順を行う前に、以下の情報をよくお読みください。

- vii ページの『安全について』で始まる『安全について』をお読みください。
- 診断プログラムは、サーバーの主要なコンポーネント (システム・ボード、イーサネット・コントローラー、キーボード、マウス (ポインティング・デバイス)、シリアル・ポート、およびハード・ディスクなど) の基本テスト手段です。これらのプログラムを使用して、一部の外部装置をテストすることもできます。問題の原因がハードウェアにあるか、ソフトウェアにあるかが不確実な場合は、診断プログラムを使用して、ハードウェアが正しく作動しているかどうかを確認することができます。
- 診断プログラムを実行すると、1 つの問題で複数のエラー・メッセージが出されることがあります。その場合は、最初のエラー・メッセージの原因を解決してください。通常、次回に診断プログラムを実行するときは、他のエラー・メッセージは出なくなります。

例外: 複数のエラー・コードあるいは複数の Light Path 診断 LED が 1 つのマイクロプロセッサ・エラーを示す場合、エラーはマイクロプロセッサ内またはマイクロプロセッサ・ソケット内にある可能性があります。マイクロプロセッサの問題の診断については、318 ページの『マイクロプロセッサ問題』を参照してください。

- 診断プログラムを実行する前に、障害のあるサーバーが共用ハード・ディスク・クラスター (外部ストレージ・デバイスを共用する複数のシステム) の一部であるかどうかを判断する必要があります。クラスターの一部である場合は、記憶装置 (つまり、記憶装置内のハード・ディスク) または記憶装置に接続されているストレージ・アダプターをテストするプログラムを除いて、すべての診断プログラムを実行できます。以下の場合、障害のあるサーバーがクラスターの一部である可能性があります。
 - ユーザーが、障害のあるサーバーがクラスター (外部ストレージ・デバイスを共用する複数のサーバー) の一部であると確認した場合。
 - 1 つ以上の外部記憶装置が障害を起こしているサーバーに接続されており、接続されている記憶装置の少なくとも 1 つは別のサーバーまたは未確認装置にも接続されている場合。
 - 1 つ以上のサーバーが、障害を起こしているサーバーの近くに配置されている場合。

重要: サーバーが共用ハード・ディスク・クラスターの一部である場合は、一度に 1 つだけテストを実行してください。「クイック」テストや「通常」テストなど、一組になっているテストを実行しないでください。これを行うと、一連のハード・ディスク診断テストが使用可能にされることがあります。

- サーバーが停止され、POST エラー・コードが表示される場合は、252 ページの『POST エラー・コード』を参照してください。サーバーが停止されるが、エラ

ー・メッセージが表示されない場合は、308 ページの『トラブルシューティング表』および 350 ページの『未解決問題の解決』を参照してください。

- パワー・サプライの問題については、348 ページの『電源の問題の解決』を参照してください。
- 偶発的な問題が生じる場合は、エラー・ログをチェックしてください。これについては、28 ページの『イベント・ログ』および 272 ページの『診断メッセージ』を参照してください。

チェックアウト手順の実行

チェックアウト手順の実行するには、この情報を使用します。

このタスクについて

チェックアウト手順を実行するには、次のステップを行います。

手順

1. サーバーはクラスターの一部ですか。
 - **いいえ:** ステップ 2 に進みます。
 - **はい:** クラスターに関連した、障害のあるすべてのサーバーをシャットダウンします。ステップ 2 に進みます。
2. 次のステップを実行してください。
 - a. パワー・サプライ LED を検査します (339 ページの『パワー・サプライ LED』を参照)。
 - b. サーバーおよび接続されているすべての外部デバイスの電源をオフにします。
 - c. すべての内蔵装置および外付け装置の互換性を <http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us/> でチェックします。
 - d. ケーブルおよび電源コードをすべてチェックします。
 - e. すべてのディスプレイ制御装置を中間位置に設定します。
 - f. すべての外部デバイスの電源を入れます。
 - g. サーバーの電源を入れます。サーバーが始動しない場合は、308 ページの『トラブルシューティング表』を参照してください。
 - h. オペレーター情報パネル上のシステム・エラー LED を確認します。それが点灯または点滅している場合は、Light Path 診断 LED をチェックします (329 ページの『Light Path 診断』を参照)。

注: Light Path 診断パネルをサーバーの外にスライドして引き出して LED またはチェックポイント・コードを検査するときは、Light Path 診断パネルをサーバーから出した状態でサーバーを連続的に稼働させないでください。パネルをサーバーの外に出すのは短時間に制限する必要があります。サーバーが稼働しているときは、冷却を確保するために Light Path 診断パネルはサーバーの中に置く必要があります。

- i. 以下の結果が生じているかどうかを確認します。
 - POST の正常終了 (詳しくは、252 ページの『POST』を参照)
 - 始動の正常終了

トラブルシューティング表

トラブルシューティング表を使用して、識別可能な現象がある問題の解決方法を見つけます。

このタスクについて

トラブルシューティング表を使用して、識別可能な現象がある問題の解決方法を見つけます。

これらの表の中に該当の問題が見つからない場合、サーバーのテストについて 272 ページの『診断メッセージ』を参照してください。

新しいソフトウェアまたは新しいオプション装置を追加した直後にサーバーが作動しなくなった場合は、トラブルシューティング表を使用する前に、次のステップを実行します。

手順

1. オペレーター情報パネル上のシステム・エラー LED をチェックします。それが点灯している場合は、Light Path 診断 LED (329 ページの『Light Path 診断』を参照) をチェックします。
2. 追加したばかりのソフトウェアまたは装置を取り除きます。
3. 診断テストを実行して、サーバーが正しく動作するかどうかを判別します。
4. 新しいソフトウェアをインストールまたは新しい装置を取り付け直します。

DVD ドライブの問題

DVD ドライブの問題を解決するには、この情報を使用します。

- 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。
- どのコンポーネントがお客様交換可能ユニット (CRU) で、どのコンポーネントが現場交換可能ユニット (FRU) であるか判別するには、353 ページの『第 4 章 部品リスト、IBM System x3550 M3 Type 4254 および 7944』を参照してください。
- 処置のステップの先頭に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と付されている場合、そのステップは必ずトレーニングを受けたサービス技術員のみが行うようにします。
- IBM Support Web サイト (<http://www.ibm.com/supportportal/>) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。

現象	処置
オプションの DVD ドライブが認識されない。	1. 次の点を確認します。 • DVD ドライブが接続されている (1 次または 2 次) SATA コネクタが、Setup ユーティリティで使用可能にされている。 • ケーブルおよびジャンパーがすべて正しく取り付けられているか。 • DVD ドライブ用の正しいデバイス・ドライバーがインストールされている。 2. DVD ドライブの診断プログラムを実行します。 3. 次のコンポーネントを取り付け直します。 a. DVD ドライブ b. DVD ドライブ・ケーブル 4. ステップ 3 にリストされているコンポーネントを、示されている順序で、一度に 1 つずつ交換し、そのつどサーバーを再始動します。 5. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。
CD または DVD が正しく作動しない。	1. CD または DVD をクリーニングします。 2. CD または DVD を新規 CD または DVD メディアと取り替えます。 3. DVD ドライブの診断プログラムを実行します。 4. DVD ドライブを取り付け直します。 5. DVD ドライブを交換します。
DVD ドライブ・トレイが正常に作動しない。	1. サーバーの電源がオンになっていることを確認します。 2. まっすぐに伸ばしたペーパー・クリップの先をトレイ解放穴に差し込みます。 3. DVD ドライブを取り付け直します。 4. DVD ドライブを交換します。

一般的な問題

一般的な問題を解決するには、この情報を使用します。

- 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。 - どのコンポーネントがお客様交換可能ユニット (CRU) で、どのコンポーネントが現場交換可能ユニット (FRU) であるか判別するには、353 ページの『第 4 章 部品リスト、IBM System x3550 M3 Type 4254 および 7944』を参照してください。 - 処置のステップの先頭に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と付されている場合、そのステップは必ずトレーニングを受けたサービス技術員のみが行うようにします。 - IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal/) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。	
現象	処置
カバー・ラッチが破損している、LED が機能しない、あるいはこれと類似の問題が発生した。	その部品が CRU の場合は交換します。その部品が FRU の場合は、必ずトレーニングを受けたサービス技術員が部品を交換する必要があります。
画面はオンになっているが、サーバーが停止している。F1 を押しても Setup ユーティリティを開始できない。	- 詳しくは、348 ページの『Nx ブート障害』を参照してください。 - 詳しくは、344 ページの『サーバー・ファームウェアのリカバリー』を参照してください。

ハード・ディスクの問題

ハード・ディスクの問題を解決するには、この情報を使用します。

- 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。 - どのコンポーネントがお客様交換可能ユニット (CRU) で、どのコンポーネントが現場交換可能ユニット (FRU) であるか判別するには、353 ページの『第 4 章 部品リスト、IBM System x3550 M3 Type 4254 および 7944』を参照してください。 - 処置のステップの先頭に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と付されている場合、そのステップは必ずトレーニングを受けたサービス技術員のみが行うようにします。 - IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal/) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。	
現象	処置
ハード・ディスクの障害が発生し、関連したオレンジ色のハード・ディスク状況 LED が点灯している。	障害が起きたハード・ディスクを交換します。

- 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。 - どのコンポーネントがお客様交換可能ユニット (CRU) で、どのコンポーネントが現場交換可能ユニット (FRU) であるか判別するには、353 ページの『第 4 章 部品リスト、IBM System x3550 M3 Type 4254 および 7944』を参照してください。 - 処置のステップの先頭に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と付されている場合、そのステップは必ずトレーニングを受けたサービス技術員のみが行うようにします。 - IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal/) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバを調べるか、情報を要求します。	
現象	処置
新たに取り付けしたハード・ディスクが認識されない。	- 取り付けしたハード・ディスクまたは RAID アダプターがサポートされていることを確認します。サポートされるオプション装置のリストについては、http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us/を参照してください。 - 関連したオレンジ色のハード・ディスク状況 LED を確認します。LED が点灯している場合、ドライブに障害があることを示します。 - LED が点灯している場合、ベイからドライブを外し、45 秒間待ちます。その後ドライブ・アセンブリがハード・ディスク・バックプレーンに接続していることを確認して、ドライブを再度取り付けます。 - 関連する緑色のハード・ディスク活動 LED およびオレンジ色の状況 LED を確認します。 - 緑色の活動 LED が点滅していて、オレンジ色の状況 LED が点灯していない場合、コントローラーがドライブを認識し、正常に作動していることを示します。DSA 診断プログラムを実行して、ドライブが検出されているかどうかを判別してください。 - 緑色の活動 LED が点滅していて、オレンジ色の状況 LED がゆっくり点滅している場合、コントローラーがドライブを認識し、再作成していることを示します。 - いずれの LED も点灯または点滅していない場合は、ハード・ディスク・バックプレーンを確認します (ステップ 5 に進む)。 - 緑色の活動 LED が点滅していて、オレンジ色の状況 LED が点灯している場合、ドライブを交換します。LED の活動状況が変わらない場合、ステップ 5 に進んでください。LED の活動に変化がある場合は、ステップ 2 に戻ります。 - ハード・ディスク・バックプレーンが正しく取り付けられていることを確認します。正しく取り付けられている場合、バックプレーンを曲げたり、動かすことなく、ドライブ・アセンブリをバックプレーンに正常に接続することができます。 - バックプレーン電源ケーブルを取り付け直し、ステップ 2 から 4 までを繰り返します。 - バックプレーン信号ケーブルを取り付け直し、ステップ 2 から 4 までを繰り返します。 - バックプレーン信号ケーブルまたはバックプレーンに問題がある可能性があります。 - サーバーに 8 つのホット・スワップ・ベイがある場合: - 影響を受けたバックプレーン信号ケーブルを交換します。 - 影響を受けたバックプレーンを交換します。 351 ページの『問題判別のヒント』を参照してください。
複数のハード・ディスクに障害が起きました。	ハード・ディスク、SAS/SATA アダプター、およびサーバーのデバイス・ドライバとファームウェアが最新レベルになっていることを確認します。 重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションに対してサポートされていることを確認してください。
複数のハード・ディスクがオフラインです。	- ストレージ・サブシステム・ログを検討して、バックプレーンやケーブルなどの問題が、ストレージ・サブシステム内で起きていないか確認します。 351 ページの『問題判別のヒント』を参照してください。

- 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。 - どのコンポーネントがお客様交換可能ユニット (CRU) で、どのコンポーネントが現場交換可能ユニット (FRU) であるか判別するには、353 ページの『第 4 章 部品リスト、IBM System x3550 M3 Type 4254 および 7944』を参照してください。 - 処置のステップの先頭に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と付されている場合、そのステップは必ずトレーニングを受けたサービス技術員のみが行うようにします。 - IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal/) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。	
現象	処置
交換したハード・ディスクが再ビルドされない。	- ハード・ディスクがアダプターに認識されているか (緑色のハード・ディスク活動 LED が点滅しているか) 確認します。 - SAS/SATA アダプターの資料を検討して、正しい構成パラメーターおよび設定値か判別します。
緑色のハード・ディスク活動 LED が、関連するドライブの実際の状態を正確に表示しない。	ドライブの使用中に緑色のハード・ディスク活動 LED が点滅しない場合は、DSA プリブート診断プログラムを実行して、エラー・ログを収集します (270 ページの『診断プログラムの実行』を参照)。 - ハード・ディスク・エラー・ログがある場合は、該当するハード・ディスクを交換します。 - ハード・ディスク・エラー・ログがない場合は、該当するバックプレーンを交換します。
オレンジ色のハード・ディスク状況 LED が、関連するドライブの実際の状態を正確に表示しない。	- オレンジ色のハード・ディスク LED と RAID アダプター・ソフトウェアがドライブに対して同じ状況を示さない場合は、次のステップを行います。 - サーバーの電源をオフにします。 - SAS/SATA アダプターを取り付け直します。 - バックプレーンの信号ケーブルおよびバックプレーン電源ケーブルを取り付け直します。 - ハード・ディスクを取り付け直します。 - サーバーの電源を入れ、ハード・ディスク LED の活動を確認します。 351 ページの『問題判別のヒント』を参照してください。

ハイパーバイザーの問題

ハイパーバイザーの問題を解決するには、この情報を使用します。

- 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。
- どのコンポーネントがお客様交換可能ユニット (CRU) で、どのコンポーネントが現場交換可能ユニット (FRU) であるか判別するには、353 ページの『第 4 章 部品リスト、IBM System x3550 M3 Type 4254 および 7944』を参照してください。
- 処置のステップの先頭に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と付されている場合、そのステップは必ずトレーニングを受けたサービス技術員のみが行うようにします。
- IBM Support Web サイト (<http://www.ibm.com/supportportal/>) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバを調べるか、情報を要求します。

現象	処置
オプションの組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスが予期したブート順序にリストされない、ブート・デバイスのリストに表示されない、または類似の問題が発生した。	- オプションの組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスが、始動時にブート・マネージャーの「<F12> Select Boot Device」で選択されていることを確認します。 - 組み込みハイパーバイザー・フラッシュ装置がコネクタに正しく取り付けられていることを確認します。 - オプションの組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスに付属の資料を参照して、セットアップおよび構成情報を確認します。 - 他のソフトウェアがサーバー上で動作することを確認します。

再現性の低い問題

再現性の低い問題を解決するには、この情報を使用します。

- 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。
- どのコンポーネントがお客様交換可能ユニット (CRU) で、どのコンポーネントが現場交換可能ユニット (FRU) であるか判別するには、353 ページの『第 4 章 部品リスト、IBM System x3550 M3 Type 4254 および 7944』を参照してください。
- 処置のステップの前に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けたサービス技術員のみです。
- IBM Support Web サイト (<http://www.ibm.com/supportportal/>) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバを調べるか、情報を要求します。

現象	処置
時々起こる問題、または診断が困難な問題。	- 次の点を確認します。 - すべてのケーブルとコードが、サーバーの背面および接続装置にしっかりと接続されている。 - サーバーの電源が入っているとき、ファン・グリルから空気が流れている。空気の流れがないときは、ファンが回っていません。これにより、サーバーが過熱し、シャットダウンすることがあります。 - システム・エラー・ログまたは IMM システム・イベント・ログをチェックします (28 ページの『イベント・ログ』を参照)。

- 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。
- どのコンポーネントがお客様交換可能ユニット (CRU) で、どのコンポーネントが現場交換可能ユニット (FRU) であるか判別するには、353 ページの『第 4 章 部品リスト、IBM System x3550 M3 Type 4254 および 7944』を参照してください。
- 処置のステップの前に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けたサービス技術員のみです。
- IBM Support Web サイト (<http://www.ibm.com/supportportal/>) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。

現象	処置
サーバーが時々リセット (再始動) される。	1. POST 中にリセットが発生し、POST ウォッチドッグ・タイマーが使用可能になっている場合 (Setup ユーティリティで「System Settings」 > 「Integrated Management Module」 > 「POST Watchdog Timer」の順にクリックして、POST ウォッチドッグの設定を確認します)、ウォッチドッグ・タイムアウト値 (POST Watchdog Timer) に十分な時間が設定されていることを確認します。POST 中にサーバーが引き続きリセットする場合は、252 ページの『POST エラー・コード』および 272 ページの『診断メッセージ』を参照してください。 2. オペレーティング・システムの始動後にリセットが発生する場合は、IBM Automatic Server Restart IPMI Application for Windows などの自動サーバー再始動 (ASR) ユーティリティ、または ASR 装置 (取り付けられている場合) を使用不可にしてください。 注: ASR ユーティリティはオペレーティング・システム・ユーティリティとして作動し、IPMI デバイス・ドライバーに関連しています。オペレーティング・システム始動後のリセットが続く場合は、オペレーティング・システムに問題がある可能性が考えられます。328 ページの『ソフトウェアの問題』を参照してください。 3. どちらの条件も当てはまらない場合は、システム・エラー・ログまたは IMM システム・イベント・ログをチェックしてください (28 ページの『イベント・ログ』を参照)。

キーボード、マウス、またはポインティング・デバイスの問題

以下の情報を使用して、キーボード、マウス、またはポインティング・デバイスの問題を解決します。

- 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。
- どのコンポーネントがお客様交換可能ユニット (CRU) で、どのコンポーネントが現場交換可能ユニット (FRU) であるか判別するには、353 ページの『第 4 章 部品リスト、IBM System x3550 M3 Type 4254 および 7944』を参照してください。
- 処置のステップの前に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けたサービス技術員のみです。
- IBM Support Web サイト (<http://www.ibm.com/supportportal/>) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。

現象	処置
キーボードのすべてのキーまたは一部のキーが機能しない。	- 次の点を確認します。 - キーボード・ケーブルがしっかりと接続されている。 - サーバーとモニターの電源がオンになっているか。 - USB キーボードを使用している場合は、Setup ユーティリティを実行してキーボードなし操作を有効にします。 - USB キーボードを使用しており、キーボードが USB ハブに接続されている場合、キーボードをハブから切り離し、直接サーバーに接続します。 - 次のコンポーネントを、リストに示されている順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 - キーボード (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボード
マウスまたはポインティング・デバイスが機能しない。	- 次の点を確認します。 - マウスまたはポインティング・デバイスのケーブルがサーバーにしっかりと接続されている。 - ポインティング・デバイスを使用している場合は、キーボードとマウスまたはポインティング・デバイスのケーブルが逆に接続されていないか確認します。 - マウスまたはポインティング・デバイスのデバイス・ドライバーが正しくインストールされている。 - サーバーとモニターの電源がオンになっているか。 - マウス・オプションが Setup ユーティリティで有効にされている。 - USB マウスまたはポインティング・デバイスを使用しており、それが USB ハブに接続されている場合、マウスまたはポインティング・デバイスをハブから切り離し、直接サーバーに接続します。 - 次のコンポーネントを、リストに示されている順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 - マウスまたはポインティング・デバイス (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボード

メモリーの問題

メモリーの問題を解決するには、この情報を使用します。

- 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。
- どのコンポーネントがお客様交換可能ユニット (CRU) で、どのコンポーネントが現場交換可能ユニット (FRU) であるか判別するには、353 ページの『第 4 章 部品リスト、IBM System x3550 M3 Type 4254 および 7944』を参照してください。
- 処置のステップの前に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けたサービス技術員のみです。
- 追加メモリーのトラブルシューティング情報については、「Troubleshooting Memory - IBM BladeCenter and System x」資料 (<http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnocid=MIGR-5081319>) を参照してください。
- IBM Support Web サイト (<http://www.ibm.com/supportportal/>) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。

現象	処置
表示されたシステム・メモリーの容量が、実際に取り付けられたメモリーの容量より少ない。	注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。 - 次の点を確認します。 - オペレーター情報パネルのエラー LED が何も点灯していない。 - システム・ボード上の DIMM エラー LED が何も点灯していない。 - メモリーのミラーリングが不一致の原因ではない。 - メモリー・モジュールが正しく取り付けられている。 - 正しいタイプのメモリーが取り付けられている。 - メモリーを変更した場合、Setup ユーティリティでメモリー構成を更新した。 - メモリーのすべてのバンクが使用可能になっている。サーバーが問題を検出したときにメモリー・バンクを自動的に使用不可にしたか、メモリー・バンクが手動で使用不可にされた可能性があります。 - サーバーを最小メモリー構成にした場合に、メモリー・ミスマッチがない。 - DIMM を取り付け直し、サーバーを再始動します。 - POST エラー・ログを確認します。 - DIMM がシステム管理割り込み (SMI) によって使用不可にされていた場合は、その DIMM を交換します。 - ユーザーまたは POST によって DIMM が使用不可にされた場合は、DIMM を取り付け直し、Setup ユーティリティを実行して、その DIMM を使用可能にします。 - Setup ユーティリティですべての DIMM が初期化されていることを確認し、メモリー診断を実行します (270 ページの『診断プログラムの実行』を参照)。 (同じマイクロプロセッサの) チャンネル間で DIMM の位置を逆にしてから、サーバーを再始動します。問題が DIMM に関連したものである場合は、障害のある DIMM を交換します。 - Setup ユーティリティを使用してすべての DIMM を使用可能に再設定し、サーバーを再始動します。 (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 故障した DIMM をマイクロプロセッサ 2 (取り付け済みの場合) の DIMM コネクタに取り付け、問題がマイクロプロセッサあるいは DIMM コネクタではないことを確認します。 (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

- 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。
- どのコンポーネントがお客様交換可能ユニット (CRU) で、どのコンポーネントが現場交換可能ユニット (FRU) であるか判別するには、353 ページの『第 4 章 部品リスト、IBM System x3550 M3 Type 4254 および 7944』を参照してください。
- 処置のステップの前に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けたサービス技術員のみです。
- 追加メモリーのトラブルシューティング情報については、「Troubleshooting Memory - IBM BladeCenter and System x」資料 (<http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnocid=MIGR-5081319>) を参照してください。
- IBM Support Web サイト (<http://www.ibm.com/supportportal/>) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバを調べるか、情報を要求します。

現象	処置
あるブランチ内の複数行の DIMM に障害があることが確認されている。 注: 同一チャネル内で、最も番号が大きい DIMM の障害は他の DIMM を使用不可にします。	注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。 1. 該当の DIMM を取り付け直してから、サーバーを再始動します。 2. エラー LED が点灯している DIMM を取り外し、同一で正常と判明している DIMM と取り替えてから、サーバーを再始動します。解決するまで上記を繰り返します。識別されたすべての DIMM を交換した後も障害が続く場合は、ステップ 4 に進みます。 3. 取り外した DIMM を一度に 1 つずつ元のコネクタに戻し、各 DIMM ごとにサーバーを再始動し、ある DIMM が障害を起こすまで繰り返します。障害を起こした各 DIMM を、同一で正常と判明している DIMM と交換し、各 DIMM を交換するごとにサーバーを再始動します。取り外したすべての DIMM のテストが完了するまで、ステップ 3 を繰り返します。 4. エラー LED が点灯している DIMM を取り外してから、サーバーを再始動します。解決するまで上記を繰り返します。 5. (同じマイクロプロセッサの) チャネル間で DIMM の位置を逆にしてから、サーバーを再始動します。問題が DIMM に関連したものである場合は、障害のある DIMM を交換します。 6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 故障した DIMM をマイクロプロセッサ 2 (取り付け済みの場合) の DIMM コネクタに取り付け、問題がマイクロプロセッサあるいは DIMM コネクタではないことを確認します。 7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

マイクロプロセッサ問題

マイクロプロセッサの問題を解決するには、この情報を使用します。

- 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。
- どのコンポーネントがお客様交換可能ユニット (CRU) で、どのコンポーネントが現場交換可能ユニット (FRU) であるか判別するには、353 ページの『第 4 章 部品リスト、IBM System x3550 M3 Type 4254 および 7944』を参照してください。
- 処置のステップの前に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けたサービス技術員のみです。
- IBM Support Web サイト (<http://www.ibm.com/supportportal/>) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバを調べるか、情報を要求します。

現象	処置
サーバーをオンにすると、サーバーが直接 POST イベント・ビューアーになる。	1. Light Path 診断 LED によって示されたエラーをすべて解決します (329 ページの『Light Path 診断』を参照)。 2. サーバーがすべてのマイクロプロセッサをサポートし、マイクロプロセッサの速度とキャッシュ・サイズが相互に一致していることを確認します。マイクロプロセッサ情報を表示するには、Setup ユーティリティを実行して「System Information」 > 「System Summary」 > 「Processor Details」を選択します。 3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) マイクロプロセッサ 1 が正しく取り付けられていることを確認します。 4. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) マイクロプロセッサ 2 を取り外して、サーバーを再始動します。 5. 次のコンポーネントを、リストに示されている順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 a. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) マイクロプロセッサ b. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボード

モニターおよびビデオの問題

モニターおよびビデオの問題を解決するには、この情報を使用します。

一部の IBM モニターには、独自のセルフテスト機能が備わっています。モニターに問題があると思われる場合は、そのモニターに付属の説明書を参照してモニターのテストおよび調整を行ってください。問題を診断できない場合は、保守サービスを依頼してください。

- 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。
- どのコンポーネントがお客様交換可能ユニット (CRU) で、どのコンポーネントが現場交換可能ユニット (FRU) であるか判別するには、353 ページの『第 4 章 部品リスト、IBM System x3550 M3 Type 4254 および 7944』を参照してください。
- 処置のステップの前に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けたサービス技術員のみです。
- IBM Support Web サイト (<http://www.ibm.com/supportportal/>) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。

現象	処置
モニターのテスト。	1. モニター・ケーブルがしっかりと接続されていることを確認します。 2. サーバーで別のモニターを使用するか、または同じモニターを別のサーバーでテストしてみます。 3. 診断プログラムを実行します。モニターが診断プログラムの検査をパスした場合は、ビデオ・デバイス・ドライバーに問題があることが考えられます。 4. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。
画面に何も表示されない。	1. サーバーが KVM スイッチに接続されている場合は、問題の原因を除去するために KVM スイッチをバイパスします。モニター・ケーブルをサーバーの背面にある正しいモニター・コネクタに直接接続してみます。 2. オプションのビデオ・アダプターを取り付けていると、IMM リモート・プレゼンス機能は使用不可になります。IMM リモート・プレゼンス機能を使用するには、オプションのビデオ・アダプターを取り外します。 3. 次の点を確認します。 • サーバーの電源がオンになっている。サーバーに電源がきていない場合は、323 ページの『電源問題』を参照してください。 • モニターのケーブルが正しく接続されている。 • モニターの電源が入っていて、輝度とコントラストが正しく調節されているか。 4. モニターが正しいサーバーで制御されていることを確認します (該当する場合)。 5. 損傷したサーバー・ファームウェアがビデオに影響を及ぼしていないことを確認します。485 ページの『ファームウェアの更新』を参照してください。 6. システム・ボードのチェックポイント LED を監視し、コードが変化する場合は、ステップ 6 に進みます。 7. 次のコンポーネントを、リストに示されている順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 a. モニター b. ビデオ・アダプター (取り付けられている場合) c. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボード。 8. 350 ページの『未解決問題の解決』を参照してください。

- 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。
- どのコンポーネントがお客様交換可能ユニット (CRU) で、どのコンポーネントが現場交換可能ユニット (FRU) であるか判別するには、353 ページの『第 4 章 部品リスト、IBM System x3550 M3 Type 4254 および 7944』を参照してください。
- 処置のステップの前に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けたサービス技術員のみです。
- IBM Support Web サイト (<http://www.ibm.com/supportportal/>) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。

現象	処置
サーバーの電源をオンにした時点ではモニターが作動するが、一部のアプリケーション・プログラムを開始すると画面がブランクになる。	1. 次の点を確認します。 • アプリケーション・プログラムが、モニターの能力を超える表示モードを設定していない。 • アプリケーションに必要なデバイス・ドライバーがインストールされている。 2. ビデオ診断を実行します (270 ページの『診断プログラムの実行』を参照)。 • サーバーがビデオ診断に合格した場合、ビデオは良好です。350 ページの『未解決問題の解決』を参照してください。 • (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) サーバーがビデオ診断に失敗する場合は、システム・ボードを交換します。
モニターに画面ジッターがあるか、または画面イメージが波打つ、読めない、ローリングする、またはゆがむ。	1. モニターのセルフテストで、モニターが正しく作動していることが示された場合は、モニターの位置を検討してください。その他の装置 (変圧器、電気製品、蛍光灯、および他のモニターなど) の周囲の磁界が、画面のジッターや波打ち、判読不能、ローリング、あるいは画面のゆがみの原因となる可能性があります。これが発生した場合は、モニターの電源を切ります。 重要: 電源を入れたままカラー・モニターを移動すると、画面がモノクロになることがあります。 デバイスとモニターの間を 305 mm 以上離し、モニターをオンにします。 注: a. ディスケット・ドライブの読み取り/書き込みエラーを防ぐため、モニターと外付けディスク・ドライブの間を 76 mm 以上にします。 b. IBM 以外のモニター・ケーブルを使用すると、予測できない問題が起こるおそれがあります。 2. モニター・ケーブルを取り付け直します。 3. ステップ 2 にリストされているコンポーネントを、示されている順序で、一度に 1 つずつ交換し、そのつどサーバーを再始動します。 a. モニター・ケーブル b. ビデオ・アダプター (取り付けられている場合) c. モニター d. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボード。

- 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。 - どのコンポーネントがお客様交換可能ユニット (CRU) で、どのコンポーネントが現場交換可能ユニット (FRU) であるか判別するには、353 ページの『第 4 章 部品リスト、IBM System x3550 M3 Type 4254 および 7944』を参照してください。 - 処置のステップの前に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けたサービス技術員のみです。 - IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal/) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。	
現象	処置
画面に誤った文字が表示される。	- 誤った言語が表示される場合は、サーバーのファームウェアを正しい言語の最新レベルに更新します (485 ページの『ファームウェアの更新』を参照)。 - モニター・ケーブルを取り付け直します。 - ステップ 2 にリストされているコンポーネントを、示されている順序で、一度に 1 つずつ交換し、そのつどサーバーを再始動します。 - モニター・ケーブル - ビデオ・アダプター (取り付けられている場合) - モニター (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボード。

オプション装置の問題

以下の情報を使用して、オプション装置の問題を解決します。

- 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。 - どのコンポーネントがお客様交換可能ユニット (CRU) で、どのコンポーネントが現場交換可能ユニット (FRU) であるか判別するには、353 ページの『第 4 章 部品リスト、IBM System x3550 M3 Type 4254 および 7944』を参照してください。 - 処置のステップの前に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けたサービス技術員のみです。 - IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal/) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。	
現象	処置
新たに取り付けた IBM オプション装置が作動しない。	- 次の点を確認します。 - その装置はサーバーに合った設計がされている (http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us/を参照)。 - 装置に付属の取り付け手順に従い正しい取り付けがされている。 - 取り付けた他の装置やケーブルの接続が緩んでいない。 - Setup ユーティリティで構成情報を更新した。メモリーまたは他の装置を変更する場合は、必ず構成を更新する必要があります。 - 取り付けただけの装置を取り付け直します。 - 取り付けただけの装置を交換します。

- 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。
- どのコンポーネントがお客様交換可能ユニット (CRU) で、どのコンポーネントが現場交換可能ユニット (FRU) であるか判別するには、353 ページの『第 4 章 部品リスト、IBM System x3550 M3 Type 4254 および 7944』を参照してください。
- 処置のステップの前に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けたサービス技術員のみです。
- IBM Support Web サイト (<http://www.ibm.com/supportportal/>) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。

現象	処置
前に動作していた IBM オプション装置が動作しなくなった。	1. 装置のケーブルがすべてしっかりと接続されていることを確認してください。 2. 装置にテスト手順が付属している場合は、その手順を使用して装置をテストします。 3. 障害が起こる装置が SCSI 装置の場合は、以下を確認してください。 • すべての外付け SCSI 装置のケーブルが正しく接続されている。 • 各 SCSI チェーンの最後の装置または SCSI ケーブルの終点が正しく終端されている。 • 外付け SCSI 装置の電源がオンになっている。外付け SCSI 装置は、サーバーの電源をオンにする前にオンにする必要があります。 4. 障害のある装置を取り付け直します。 5. 障害のある装置を交換します。

電源問題

以下の情報を使用して、電源の問題を解決します。

- 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。 - どのコンポーネントがお客様交換可能ユニット (CRU) で、どのコンポーネントが現場交換可能ユニット (FRU) であるか判別するには、353 ページの『第 4 章 部品リスト、IBM System x3550 M3 Type 4254 および 7944』を参照してください。 - 処置のステップの前に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けたサービス技術員のみです。 - IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal/) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。	
現象	処置
電源制御ボタンが機能せず、リセット・ボタンも機能しない (サーバーが始動しない)。 注: サーバーが電源に接続されてから約 20 秒から 40 秒経過するまで、電源制御ボタンは機能しません。	- 電源制御ボタンが正しく機能していることを確認します。 - サーバーの電源コードを切り離します。 - 電源コードを再接続します。 (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) オペレーター情報パネルのケーブルを取り付け直してから、ステップの 1a と 1b を繰り返します。 (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) サーバーが始動する場合は、オペレーター情報パネルを取り付け直します。それでも問題が解決しない場合は、オペレーター情報パネルを交換します。 - サーバーが始動しない場合は、強制パワーオン・ジャンパーを使用して電源制御ボタンをバイパスします (21 ページの『システム・ボードのスイッチとジャンパー』を参照)。サーバーが始動する場合は、オペレーター情報パネルを取り付け直します。それでも問題が解決しない場合は、オペレーター情報パネルを交換します。 - 以下のようにして、リセット・ボタンが正しく機能していることを確認します。 - サーバーの電源コードを切り離します。 - 電源コードを再接続します。 (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) Light Path 診断パネルのケーブルを取り付け直してから、ステップの 1a と 1b を繰り返します。 (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) サーバーが始動する場合は、Light Path 診断パネルを交換します。 - サーバーが始動しない場合は、ステップ 3 に進みます。 - サーバーに取り付けられているパワー・サブライが、どちらも同一のタイプであることを確認します。サーバー内で異なるパワー・サブライを混用すると、システム・エラーの原因となります (フロント・パネル上のシステム・エラー LED、およびオペレーター情報パネル上の PS LED と CNFG LED が点灯します)。 - 次の点を確認します。 - 電源コードがサーバーと、通電されている電源コンセントに正しく接続されている。 - 取り付けたメモリーのタイプが正しい。 - DIMM が完全に差し込まれている。 - パワー・サブライ上の LED が問題があることを示していない。 - マイクロプロセッサが正しい順序で取り付けられている。 - 次のコンポーネントを取り付け直します。 - DIMM - パワー・サブライ (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 電源スイッチ・コネクタ - ステップ 5 にリストされているコンポーネントを、示されている順序で、一度に 1 つずつ交換し、そのつどサーバーを再始動します。 - オプション装置を取り付けた場合は、それを取り外してから、サーバーを再始動してください。これでサーバーが始動する場合は、パワー・サブライがサポートできる数を超える装置が取り付けられていることが考えられます。 339 ページの『パワー・サブライ LED』および 350 ページの『未解決問題の解決』を参照してください。

- 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。 - どのコンポーネントがお客様交換可能ユニット (CRU) で、どのコンポーネントが現場交換可能ユニット (FRU) であるか判別するには、353 ページの『第 4 章 部品リスト、IBM System x3550 M3 Type 4254 および 7944』を参照してください。 - 処置のステップの前に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けたサービス技術員のみです。 - IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal/) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。	
現象	処置
Light Path 診断パネル上の OVER SPEC LED が点灯しており、システム・ボード上の 12v チャンネル A LED が点灯している。	- サーバーの電源をオフにして、サーバーから電源を切り離します。 - 光学式ドライブ、ファン、ハード・ディスク、およびハード・ディスク・バックプレーンを取り外します。 - サーバーを再始動して、問題が続いているかどうか調べます。 - ステップ 2 で取り外した各装置を一度に 1 つずつ再取り付けし、そのたびにサーバーを始動して、障害のある装置を判別します。 - 障害のある装置をすべて交換します。 (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。
Light Path 診断パネル上の OVER SPEC LED が点灯しており、システム・ボード上の 12v チャンネル B LED が点灯している。	- サーバーの電源をオフにして、サーバーから電源を切り離します。 - コネクタ 1 の PCI ライザー・カード、すべての DIMM、およびソケット 2 のマイクロプロセッサを取り外します。 - サーバーを再始動して、問題が続いているかどうか調べます。 - ステップ 2 で取り外した各装置を一度に 1 つずつ再取り付けし、そのたびにサーバーを始動して、障害のある装置を判別します。 - 障害のある装置をすべて交換します。 (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。
Light Path 診断パネル上の OVER SPEC LED が点灯し、システム・ボード上の 12V チャンネル C LED が点灯している。	- サーバーの電源をオフにして、サーバーから電源を切り離します。 - SAS/SATA RAID ライザー・カード、コネクタ 1 から 9 までの DIMM、およびソケット 1 のマイクロプロセッサを取り外します。 注: ソケット 1 または 2 のマイクロプロセッサがサーバーに取り付けられていないときは、サーバーの電源はオンになりません。(トレーニングを受けたサービス技術員のみ) スイッチ・ブロック (SW4)、スイッチ 3 を切り替えてサーバーの電源がオンになるようにします。システム・ボードにある SW4 スイッチ・ブロックの位置については、21 ページの『システム・ボードのスイッチとジャンパー』を参照してください。 - サーバーを再始動して、問題が続いているかどうか調べます。 - ステップ 2 で取り外した各装置を一度に 1 つずつ再取り付けし、そのたびにサーバーを始動して、障害のある装置を判別します。 - 障害のある装置をすべて交換します。 (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。
Light Path 診断パネル上の OVER SPEC LED が点灯し、システム・ボード上の 12V チャンネル D LED が点灯している。	- サーバーの電源をオフにして、サーバーから電源を切り離します。 (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) ソケット 1 のマイクロプロセッサを取り外します。 注: ソケット 1 または 2 のマイクロプロセッサがサーバーに取り付けられていないときは、サーバーの電源はオンになりません。(トレーニングを受けたサービス技術員のみ) スイッチ・ブロック (SW4)、スイッチ 3 を切り替えてサーバーの電源がオンになるようにします。システム・ボードにある SW4 スイッチ・ブロックの位置については、21 ページの『システム・ボードのスイッチとジャンパー』を参照してください。 - サーバーを再始動して、問題が続いているかどうか調べます。 (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) マイクロプロセッサをソケット 1 に再インストールし、サーバーを再始動します。 - 障害のある装置をすべて交換します。 (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

- 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。 - どのコンポーネントがお客様交換可能ユニット (CRU) で、どのコンポーネントが現場交換可能ユニット (FRU) であるか判別するには、353 ページの『第 4 章 部品リスト、IBM System x3550 M3 Type 4254 および 7944』を参照してください。 - 処置のステップの前に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けたサービス技術員のみです。 - IBM Support Web サイト (http://www.ibm.com/supportportal/) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。	
現象	処置
Light Path 診断パネル上の OVER SPEC LED が点灯しており、システム・ボード上の 12v チャンネル E LED が点灯している。	- サーバーの電源をオフにして、サーバーから電源を切り離します。 - PCI ライザー・コネクタ 2 の PCI ライザー・カードおよびソケット 2 のマイクロプロセッサを取り外します。 - サーバーを再始動して、問題が続いているかどうか調べます。 - ステップ 2 で取り外した各装置を一度に 1 つずつ再取り付けし、そのたびにサーバーを始動して、障害のある装置を判別します。 - 障害のある装置をすべて交換します。 (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。
Light Path 診断パネル上の OVER SPEC LED が点灯し、システム・ボード上の 12V チャンネル AUX LED が点灯している。	- サーバーの電源をオフにして、サーバーから電源を切り離します。 - すべての PCI Express および PCI-X カード、すべての PCI ライザー・カード、オペレーター情報パネル、およびイーサネット・アダプター (取り付けられている場合) を取り外します。 注: ソケット 1 または 2 のマイクロプロセッサがサーバーに取り付けられていないときは、サーバーの電源はオンになりません。(トレーニングを受けたサービス技術員のみ) スイッチ・ブロック (SW4)、スイッチ 3 を切り替えてサーバーの電源がオンになるようにします。システム・ボードにある SW4 スイッチ・ブロックの位置については、21 ページの『システム・ボードのスイッチとジャンパー』を参照してください。 - サーバーを再始動して、問題が続いているかどうか調べます。 - ステップ 2 で取り外した各装置を一度に 1 つずつ再取り付けし、そのたびにサーバーを始動して、障害のある装置を切り分けます。 - 障害のある装置をすべて交換します。 (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。
サーバーの電源がオフにならない。	- ACPI オペレーティング・システムまたは非 ACPI オペレーティング・システムの使用の有無を調べます。非 ACPI オペレーティング・システムを使用している場合は、以下のステップを実行してください。 - Ctrl+Alt+Delete を押します。 - 電源制御ボタンを 5 秒間押したままにして、サーバーの電源をオフにします。 - サーバーを再始動します。 - もしサーバーが POST で障害を起こし電源制御ボタンが働かない場合は、電源コードを 20 秒間外してから、電源コードを再接続してサーバーを再始動してください。 - それでも問題が続くか、ACPI 対応のオペレーティング・システムを使用している場合は、システム・ボードが原因の可能性があります。
サーバーが予期せずにシャットダウンし、オペレーター情報パネル上の LED が点灯していない。	350 ページの『未解決問題の解決』を参照してください。

シリアル装置の問題

以下の情報を使用して、シリアル装置の問題を解決します。

- 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。
- どのコンポーネントがお客様交換可能ユニット (CRU) で、どのコンポーネントが現場交換可能ユニット (FRU) であるか判別するには、353 ページの『第 4 章 部品リスト、IBM System x3550 M3 Type 4254 および 7944』を参照してください。
- 処置のステップの前に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けたサービス技術員のみです。
- IBM Support Web サイト (<http://www.ibm.com/supportportal/>) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバを調べるか、情報を要求します。

現象	処置
オペレーティング・システムによって識別されたシリアル・ポートの数が、取り付けられたシリアル・ポートの数より少ない。	1. 次の点を確認します。 • Setup ユーティリティで各ポートに固有のアドレスが割り当てられており、どのシリアル・ポートも使用不可にされていない。 • シリアル・ポート・アダプター (装着されている場合) がしっかりと取り付けられている。 2. シリアル・ポート・アダプターを取り付け直します。 3. シリアル・ポート・アダプターを交換します。
シリアル装置が動作しない。	1. 次の点を確認します。 • その装置がサーバーと互換性があるか。 • シリアル・ポートが使用可能で、固有のアドレスが割り当てられているか。 • 装置が正しいコネクタに接続されているか (20 ページの『システム・ボードの内部コネクタ』を参照)。 2. 次のコンポーネントを取り付け直します。 a. 障害を起こしているシリアル装置 b. シリアル・ケーブル 3. ステップ 2 にリストされているコンポーネントを、示されている順序で、一度に 1 つずつ交換し、そのつどサーバーを再始動します。 4. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

ServerGuide の問題

以下の情報を使用して、ServerGuide の問題を解決します。

- 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。
- どのコンポーネントがお客様交換可能ユニット (CRU) で、どのコンポーネントが現場交換可能ユニット (FRU) であるか判別するには、353 ページの『第 4 章 部品リスト、IBM System x3550 M3 Type 4254 および 7944』を参照してください。
- 処置のステップの前に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けたサービス技術員のみです。
- IBM Support Web サイト (<http://www.ibm.com/supportportal/>) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバを調べるか、情報を要求します。

現象	処置
ServerGuide Setup and Installation CD が始動しない。	1. サーバーが ServerGuide プログラムをサポートし、始動可能 (ブート可能) な CD または DVD ドライブが装備されていることを確認します。 2. 始動 (ブート) シーケンスの設定を変更した場合は、CD または DVD ドライブが始動シーケンスの最初になっていることを確認します。 3. 複数の CD または DVD ドライブが取り付けられている場合は、1 次ドライブとして設定してあるドライブが 1 つだけであることを確認してください。その 1 次ドライブから CD を始動してください。
MegaRAID Storage Manager プログラムが、取り付けられているドライブのすべてを表示しない、またはオペレーティング・システムがインストールできない。	1. ハード・ディスクが正しく接続されていることを確認します。 2. SAS/SATA ハード・ディスクのケーブルがしっかり接続されていることを確認してください。
オペレーティング・システムのインストール・プログラムがよくループする。	ハード・ディスク上により多くのスペースを解放してください。
ServerGuide プログラムがオペレーティング・システムの CD を始動しない。	オペレーティング・システム CD が ServerGuide プログラムによってサポートされていることを確認してください。サポートされているオペレーティング・システムのバージョンのリストについては、 http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnocid=SERV-GUIDE にアクセスし、「IBM Service and Support Site」をクリックし、ご使用の ServerGuide のバージョンのリンクをクリックしてから、サポートされている Microsoft Windows オペレーティング・システムのリストまでスクロールダウンしてください。
オペレーティング・システムをインストールできない。オプションを選択できない。	サーバーがそのオペレーティング・システムをサポートしていることを確認します。サポートしている場合は、論理ドライブが定義されていないか (SCSI RAID サーバーの場合)、または ServerGuide システム区画が存在していません。ServerGuide プログラムを実行して、セットアップが完了していることを確認します。

ソフトウェアの問題

ソフトウェアの問題を解決するには、この情報を使用します。

- 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。
- どのコンポーネントがお客様交換可能ユニット (CRU) で、どのコンポーネントが現場交換可能ユニット (FRU) であるか判別するには、353 ページの『第 4 章 部品リスト、IBM System x3550 M3 Type 4254 および 7944』を参照してください。
- 処置のステップの前に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けたサービス技術員のみです。
- IBM Support Web サイト (<http://www.ibm.com/supportportal/>) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。

現象	処置
ソフトウェアが原因と思われる問題	- その問題の原因がソフトウェアであるかを判別するには、以下の点を確認します。 - サーバーが、ソフトウェアを使用するための必要最小限のメモリーを備えている。必要なメモリーを確認するには、ソフトウェアに付属の説明書を参照してください。アダプターまたはメモリーを取り付けた直後の場合は、サーバーでメモリー・アドレスの競合が生じている可能性があります。 - そのソフトウェアがサーバーに対応しているか。 - 他のソフトウェアがサーバー上で動作するか。 - このソフトウェアが他のサーバー上では作動する。 - ソフトウェアの使用中にエラー・メッセージを受け取った場合は、そのソフトウェアに付属の説明書を参照して、メッセージの内容と問題の解決方法を調べてください。 - ソフトウェア・ベンダーに連絡してください。

USB ポートの問題

以下の情報を使用して、USB ポートの問題を解決します。

- 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。
- どのコンポーネントがお客様交換可能ユニット (CRU) で、どのコンポーネントが現場交換可能ユニット (FRU) であるか判別するには、353 ページの『第 4 章 部品リスト、IBM System x3550 M3 Type 4254 および 7944』を参照してください。
- 処置のステップの前に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けたサービス技術員のみです。
- IBM Support Web サイト (<http://www.ibm.com/supportportal/>) で、テクニカル情報、ヒント、および新規デバイス・ドライバーを調べるか、情報を要求します。

現象	処置
USB 装置が動作しない。	- 次の点を確認します。 - 正しい USB デバイス・ドライバーがインストールされている。 - オペレーティング・システムが USB 装置をサポートしている。 - Setup ユーティリティーで USB 構成オプションが正しく設定されていることを確認します (詳しくは、492 ページの『Setup ユーティリティーの使用』を参照)。 - USB ハブを使用している場合は、USB 装置をハブから切り離しサーバーに直接接続してみます。

ビデオの問題

以下の情報を使用して、ビデオの問題を解決します。

318 ページの『モニターおよびビデオの問題』を参照してください。

Light Path 診断

Light Path 診断は、サーバーの各種外部コンポーネントおよび内部コンポーネント上にある LED のシステムです。エラーが発生すると、サーバー全体に配置されている LED が点灯します。多くの場合、LED を所定の順序で見えていくことによりエラーの原因を突き止めることができます。

エラーを示す LED は、サーバーの電源をオフにしても、サーバーがまだ電源に接続されており、パワー・サプライが正常に作動していれば、点灯したままになっています。

Light Path 診断 LED を確認するためにサーバー内部で作業する前に、vii ページの『安全について』 および 370 ページの『静電気に弱い装置の取り扱い』で始まる安全上の注意をお読みください。

エラーが発生した場合は、次の順序で Light Path 診断 LED を見てください。

1. サーバー前面のオペレーター情報パネルを見ます。

- 情報 LED が点灯している場合、サーバーの準最適状態に関する情報が IMM システム・イベント・ログまたはシステム・エラー・ログで入手可能であることを示しています。
- システム・エラー LED が点灯している場合は、エラーが発生したことを示します。ステップ 2 に進んでください。

次の図は、オペレーター情報パネルを示しています。

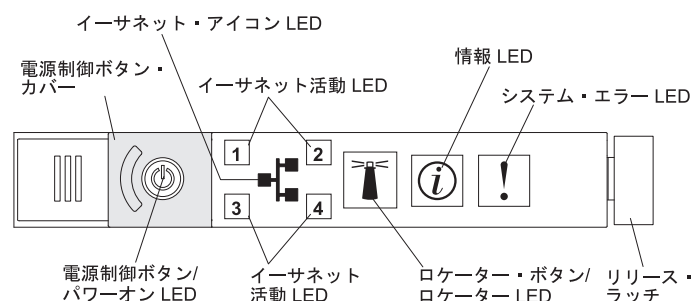


図 14. オペレーター情報パネル

2. Light Path 診断パネルを見るには、オペレーター・パネルにある青色のリリース・ラッチを左側にスライドさせます。オペレーター・パネルのヒンジがサーバー・シャーシから外れるまでパネルを前方に引きます。次に、パネルを下げると Light Path 診断パネルの情報を確認することができます。これで、Light Path 診断パネルが見えるようになります。このパネル上で点灯している LED は、発生したエラーのタイプを示します。

注: Light Path 診断パネルをサーバーの外にスライドして引き出して LED またはチェックポイント・コードを検査するときは、Light Path 診断パネルをサーバーから出した状態でサーバーを連続的に稼働させないでください。パネルをサーバーの外に出すのは短時間に制限する必要があります。サーバーが稼働しているときは、冷却を確保するために Light Path 診断パネルはサーバーの中に置く必要があります。

次の図は、Light Path 診断パネルを示しています。

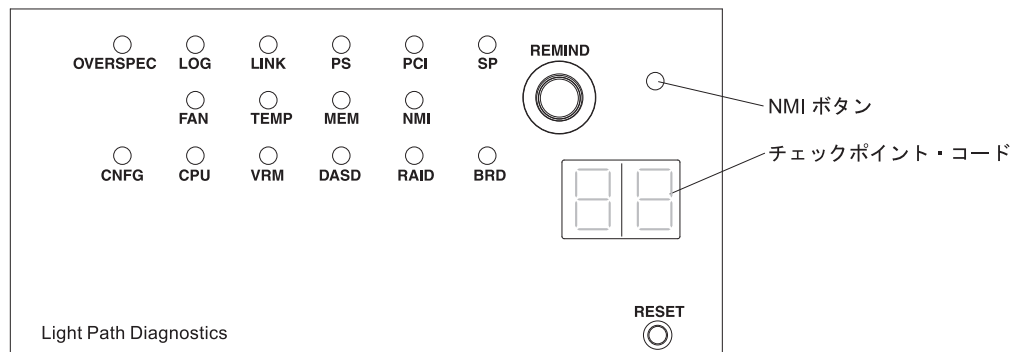


図 15. Light Path 診断パネルの露出

点灯している LED をメモし、Light Path 診断パネルをサーバーに再取り付けします。

注: Light Path 診断パネルをサーバーの外にスライドして引き出して LED またはチェックポイント・コードを検査するときは、Light Path 診断パネルをサーバーから出した状態でサーバーを連続的に稼働させないでください。パネルをサーバーの外部に置くのは短時間だけにしてください。適切な冷却を維持するために、サーバーの稼働中は Light Path 診断パネルがサーバーの中に入ったままではなければなりません。

サーバー・カバーの内側にあるシステム・サービス・ラベルを見ます。これは、Light Path 診断パネル上の LED に対応する内部コンポーネントの概要を示しています。多くの場合、この情報と 332 ページの『Light Path 診断 LED』の情報によって、エラーを診断するための十分な情報が得られます。

3. サーバーのカバーを取り外し、サーバーの内部を見て、点灯している LED がないかどうかを確認します。サーバー内のいくつかのコンポーネントには LED があり、点灯して問題の場所を示します。

次の図は、システム・ボード上の LED およびコネクタを示しています。

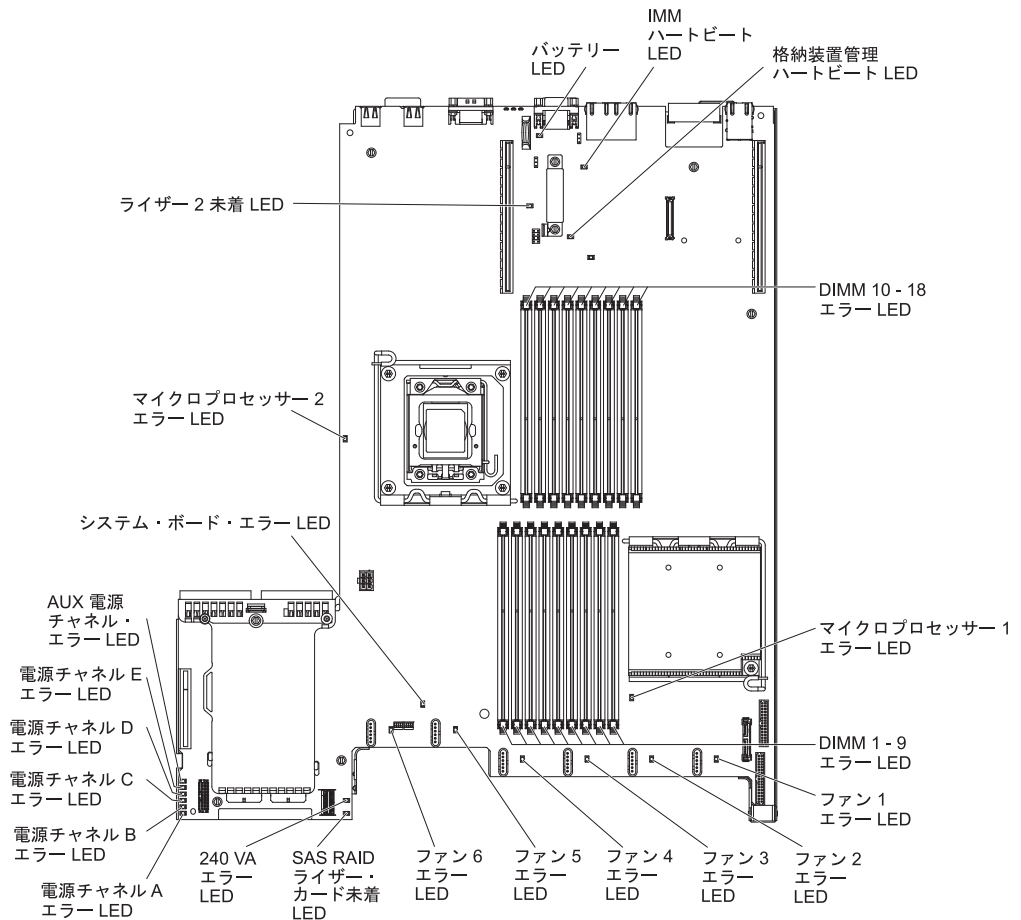


図 16. システム・ボード LED

- ・ **リマインド・ボタン:** このボタンを押すと、前面情報パネルのシステム・エラー LED をリマインド・モードにします。システム・エラー LED インディケーターをリマインド・モードにすることによって、最後に発生した障害の確認のみを行い、問題を修正するための即時アクションをとらないようにすることができます。リマインド・モードでは、以下のいずれかの条件が満たされるまでシステム・エラー LED が素早く点滅します。

 - 既知のエラーがすべて訂正される。
 - サーバーが再始動される。
 - 新たなエラーが発生し、システム・エラー LED が再び点灯する。
- ・ **NMI ボタン:** 前面パネル上の NMI ボタンは、このボタンを押すとオンになります。このボタンを押すと、マイクロプロセッサーにマスク不能割り込みを強制します。ボタンを押すには、ペンまたは真っすぐに伸ばしたペーパー・クリップの先を使用することが必要な場合があります。こうすると、サーバーをブルー・スクリーンにし、メモリー・ダンプを取ることができます (このボタンは、IBM サービス・サポートから指示されたときにのみ使用してください)。
- ・ **チェックポイント・コード表示:** この表示には、ブート・ブロックと POST の間でシステムが停止した時点を示すチェックポイント・コードが表示されます。チェックポイント・コードは、UEFI によって生成されるバイトまたはワード値です。この表示は、エラー・コードを表示することも交換すべきコンポーネントを示すこともありません。

- **リセット・ボタン:** サーバーをリセットし、パワーオン・セルフテスト (POST) を実行するときに、このボタンを押します。 このボタンを押すには、ペンまたはまっすぐに伸ばしたペーパー・クリップの先を使用するとよいかもしれません。リセット・ボタンは、Light Path 診断パネルの右下隅にあります。

Light Path 診断 LED

次の表は、Light Path 診断パネルの LED と、検出された問題を修正するための推奨処置について説明しています。

注: FRU を交換する前に、システム・エラー・ログまたはシステム・イベント・ログに追加情報がないか調べてください。

表 7. Light Path 診断パネル LED

• 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。 • どのコンポーネントがお客様交換可能ユニット (CRU) で、どのコンポーネントが現場交換可能ユニット (FRU) であるか判別するには、『部品リスト』を参照してください。 • 処置のステップの先頭に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と付されている場合、そのステップは必ずトレーニングを受けたサービス技術員のみが行うようにします。		
LED	説明	処置
なし。しかし、システム・エラー LED は点灯している。	エラーが発生したが、そのエラーを特定できません。このエラーは、パスで表せません。	Setup ユーティリティーを使用して、このエラーに関する情報をシステム・エラー・ログでチェックしてください。

表 7. Light Path 診断パネル LED (続き)

- 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。 - どのコンポーネントがお客様交換可能ユニット (CRU) で、どのコンポーネントが現場交換可能ユニット (FRU) であるか判別するには、『部品リスト』を参照してください。 - 処置のステップの先頭に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と付されている場合、そのステップは必ずトレーニングを受けたサービス技術員のみが行うようにします。		
LED	説明	処置
OVER SPEC	パワー・サプライが許容定格以上の電力を消費しています。	Light Path 診断パネル上の OVER SPEC LED が点灯するか、システム・ボード上の 6 個の 12 V チャンネル・エラー LED (A、B、C、D、E、または AUX) のどれかが点灯する場合は、以下の手順のいずれかを使用してください。 12 V チャンネル A エラー LED が点灯している場合は、以下のステップを実行してください。 - サーバーの電源をオフにして、サーバーから電源を切り離します。 - 光学式ドライブ、ファン、ハード・ディスク、およびハード・ディスク・バックプレーンを取り外します。 - サーバーを再始動して、問題が続いているかどうか調べます。 - ステップ 2 で取り外した各装置を一度に 1 つずつ再取り付けし、そのたびにサーバーを始動して、障害のある装置を判別します。 - 障害のある装置をすべて交換します。 (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。 12 V チャンネル B エラー LED が点灯している場合は、以下のステップを実行してください。 - サーバーの電源をオフにして、サーバーから電源を切り離します。 - コネクタ 1 の PCI ライザー・カード、すべての DIMM、およびソケット 2 のマイクロプロセッサを取り外します。 - サーバーを再始動して、問題が続いているかどうか調べます。 - ステップ 2 で取り外した各装置を一度に 1 つずつ再取り付けし、そのたびにサーバーを始動して、障害のある装置を判別します。 - 障害のある装置をすべて交換します。 (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。 (次ページに続く)

表 7. Light Path 診断パネル LED (続き)

- 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。 - どのコンポーネントがお客様交換可能ユニット (CRU) で、どのコンポーネントが現場交換可能ユニット (FRU) であるか判別するには、『部品リスト』を参照してください。 - 処置のステップの先頭に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と付されている場合、そのステップは必ずトレーニングを受けたサービス技術員のみが行うようにします。		
LED	説明	処置
OVER SPEC (続き)	パワー・サプライが許容定格以上の電力を消費しています。	12 V チャンネル C エラー LED が点灯している場合は、以下のステップを実行してください。 - サーバーの電源をオフにして、サーバーから電源を切り離します。 - SAS/SATA RAID ライザー・カード、コネクタ 1 から 9 までの DIMM、およびソケット 1 のマイクロプロセッサを取り外します。 注: ソケット 1 または 2 のマイクロプロセッサがサーバーに取り付けられていないときは、サーバーの電源はオンになりません。(トレーニングを受けたサービス技術員のみ) スイッチ・ブロック (SW4)、ビット 3 を切り替えて、サーバーのパワーオンを可能にします。システム・ボードにある SW4 スイッチ・ブロックの位置については、21 ページの『システム・ボードのスイッチとジャンパー』を参照してください。 - サーバーを再始動して、問題が続いているかどうか調べます。 - ステップ 2 で取り外した各装置を一度に 1 つずつ再取り付けし、そのたびにサーバーを始動して、障害のある装置を判別します。 - 障害のある装置をすべて交換します。 (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。 12 V チャンネル D エラー LED が点灯している場合は、以下のステップを実行してください。 - サーバーの電源をオフにして、サーバーから電源を切り離します。 (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) ソケット 1 のマイクロプロセッサを取り外します。 注: ソケット 1 または 2 のマイクロプロセッサがサーバーに取り付けられていないときは、サーバーの電源はオンになりません。(トレーニングを受けたサービス技術員のみ) スイッチ・ブロック (SW4)、ビット 3 を切り替えて、サーバーのパワーオンを可能にします。システム・ボードにある SW4 スイッチ・ブロックの位置については、21 ページの『システム・ボードのスイッチとジャンパー』を参照してください。 - サーバーを再始動して、問題が続いているかどうか調べます。 (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) マイクロプロセッサをソケット 1 に再インストールし、サーバーを再始動します。 - 障害のある装置をすべて交換します。 (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。 (次ページに続く)

表 7. Light Path 診断パネル LED (続き)

- 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。 - どのコンポーネントがお客様交換可能ユニット (CRU) で、どのコンポーネントが現場交換可能ユニット (FRU) であるか判別するには、『部品リスト』を参照してください。 - 処置のステップの先頭に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と付されている場合、そのステップは必ずトレーニングを受けたサービス技術員のみが行うようにします。		
LED	説明	処置
OVER SPEC (続き)	パワー・サブライが許容定格以上の電力を消費しています。	12 V チャンネル E エラー LED が点灯している場合は、以下のステップを実行してください。 - サーバーの電源をオフにして、サーバーから電源を切り離します。 - PCI ライザー・コネクタ 2 の PCI ライザー・カードおよびソケット 2 のマイクロプロセッサを取り外します。 - サーバーを再始動して、問題が続いているかどうか調べます。 - ステップ 2 で取り外した各装置を一度に 1 つずつ再取り付けし、そのたびにサーバーを始動して、障害のある装置を判別します。 - 障害のある装置をすべて交換します。 (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。 12 V AUX チャンネル・エラー LED が点灯している場合は、以下のステップを実行してください。 - サーバーの電源をオフにして、サーバーから電源を切り離します。 - すべての PCI Express および PCI-X カード、すべての PCI ライザー・カード、オペレーター情報パネル、およびイーサネット・アダプター (取り付けられている場合) を取り外します。 注: ソケット 1 または 2 のマイクロプロセッサがサーバーに取り付けられていないときは、サーバーの電源はオンになりません。(トレーニングを受けたサービス技術員のみ) スイッチ・ブロック (SW4)、ピット 3 を切り替えてサーバーの電源がオンになるようにします。システム・ボードにある SW4 スイッチ・ブロックの位置については、21 ページの『システム・ボードのスイッチとジャンパー』を参照してください。 - サーバーを再始動して、問題が続いているかどうか調べます。 - ステップ 2 で取り外した各装置を一度に 1 つずつ再取り付けし、そのたびにサーバーを始動して、障害のある装置を切り分けます。 - 障害のある装置をすべて交換します。 (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。
LOG	エラーが発生しました。	IMM システム・イベント・ログおよびシステム・エラー・ログで、このエラーに関する情報を確認してください。エラー・ログで識別されたコンポーネントがあれば交換します。
LINK	予約済み	

表 7. Light Path 診断パネル LED (続き)

- 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。 - どのコンポーネントがお客様交換可能ユニット (CRU) で、どのコンポーネントが現場交換可能ユニット (FRU) であるか判別するには、『部品リスト』を参照してください。 - 処置のステップの先頭に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と付されている場合、そのステップは必ずトレーニングを受けたサービス技術員のみが行うようにします。		
LED	説明	処置
PS	パワー・サプライ 1 または 2 に障害が起きました。PS LED と CNFG LED の両方が点灯している場合は、パワー・サプライ構成が無効です。	- オレンジ色の LED が点灯しているパワー・サプライをチェックします (339 ページの『パワー・サプライ LED』を参照)。 - パワー・サプライが正しく取り付けられていることを確認します。 - いずれかのパワー・サプライを取り外して、障害のあるパワー・サプライを特定します。 - サーバーに取り付けられているパワー・サプライが、どちらも同一のタイプであることを確認します。 - 障害を起こしたパワー・サプライを交換します。
PCI	PCI バスまたはシステム・ボードにエラーが発生しました。障害のある PCI スロットの横にある LED が追加で点灯します。	- PCI スロットにある LED をチェックして、エラーの原因となっているコンポーネントを識別します。 - このエラーについての情報がないかどうか、システム・エラー・ログを調べます。 - LED とシステム・エラー・ログの情報を調べても障害を起こしたアダプターを限定できない場合は、障害のある PCI バスからアダプターを一度に 1 つずつ取り外し、各アダプターを取り外すごとにサーバーを再始動します。 - 以下のコンポーネントを示されている順序で交換し、そのつどサーバーを再始動します。 - PCI ライザー・カード (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。 - 詳しくは、http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnocid=SERV-CALL にアクセスしてください。
SP	サービス・プロセッサ・エラーが検出されました。	- システムをシャットダウンして、サーバーから電源コードを抜いてから電源にサーバーを再接続し、サーバーを再始動します。 - IMM ファームウェアを更新します。 (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 問題が解決しない場合は、システム・ボードを交換します。 - 詳しくは、http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnocid=SERV-CALL にアクセスしてください。
FAN	ファンが障害を起こしたか作動速度が遅すぎます。または取り外されました。TEMP LED も点灯している場合があります。	- システム・ボード上のファン・コネクタ付近の LED が点灯して、障害のあるファンが示されるので、これを取り付け直します。 - システム・ボード上のファン・コネクタ付近の LED が点灯して、障害のあるファンが示されるので、これを交換します。 注: システム・ボード上の未使用のファン・コネクタ近くの LED が点灯している場合、PCI ライザー・カード・アセンブリーが欠落している可能性があります。PCI ライザー・カード・アセンブリーを交換します。PCI コネクタ 2 には、1 つの PCI ライザー・カード・アセンブリーが常にある必要があります。

表 7. Light Path 診断パネル LED (続き)

- 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。 - どのコンポーネントがお客様交換可能ユニット (CRU) で、どのコンポーネントが現場交換可能ユニット (FRU) であるか判別するには、『部品リスト』を参照してください。 - 処置のステップの先頭に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と付されている場合、そのステップは必ずトレーニングを受けたサービス技術員のみが行うようにします。		
LED	説明	処置
TEMP	システム温度がしきい値レベルを超えました。ファンに障害があると、TEMP LED も点灯する場合があります。	1. ヒートシンクが正しく取り付けられていることを確認します。 2. ファンが障害を起こしたかどうかを調べます。 障害を起こしている場合は交換してください。 3. 室温が高すぎないことを確認してください。サーバーの温度情報については、7 ページの『機能および仕様』を参照してください。 4. 通風孔がふさがれていないことを確認してください。 5. 詳しくは、http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?Indocid=SERV-CALL にアクセスしてください。
MEM	MEM LED のみが点灯している場合は、メモリー・エラーが発生しています。 MEM LED と CNFG LED の両方が点灯している場合は、メモリー構成が無効であるか、PCI オプション ROM のリソースが不足しています。	注: DIMM の取り付けあるいは取り外しを行う場合は、必ずサーバーを給電部から切り離す必要があります。サーバーを再始動する場合は、10 秒間待ってから行ってください。 1. MEM LED および CNFG LED が点灯している場合は、以下の手順を実行して問題を修正します。 a. Setup ユーティリティまたは IMM エラー・メッセージでシステム・イベント・ログを確認します。 2. CNFG LED が点灯していない場合は、システムがメモリー・エラーを検出した可能性があります。この問題を修正するには、以下のステップを実行してください。 a. サーバーのファームウェアを最新レベルに更新します。 b. DIMM の取り付け直しまたはスワップを行います。 c. Setup ユーティリティまたは IMM エラー・メッセージでシステム・イベント・ログを確認します。
NMI	マスク不能割り込みが発生したか、NMI ボタンが押されました。	このエラーについての情報がないかどうか、システム・エラー・ログを調べます。
CNFG	ハードウェア構成エラーが発生しました。	1. CNFG LED および CPU LED が点灯している場合は、以下の手順を実行して問題を修正します。 a. 取り付けただけのマイクロプロセッサを検査して、それらが相互に互換性があることを確認します。 b. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 互換性の無いマイクロプロセッサを交換します。 c. システム・エラー・ログを参照し、エラーに関する情報がないかを確認します。エラー・ログで識別されたコンポーネントがあれば交換します。 2. CNFG LED および MEM LED が点灯している場合は、以下の手順を実行して問題を修正します。 a. Setup ユーティリティまたは IMM エラー・メッセージでシステム・イベント・ログを確認します。 3. CNFG LED および PS LED が点灯している場合、システムが無効な電源構成エラーを発行しています。サーバーに取り付けられているパワー・サプライが、どちらも同一のタイプであることを確認します。

表 7. *Light Path* 診断パネル LED (続き)

- 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。 - どのコンポーネントがお客様交換可能ユニット (CRU) で、どのコンポーネントが現場交換可能ユニット (FRU) であるか判別するには、『部品リスト』を参照してください。 - 処置のステップの先頭に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と付されている場合、そのステップは必ずトレーニングを受けたサービス技術員のみが行うようにします。		
LED	説明	処置
CPU	無効なマイクロプロセッサ構成か、マイクロプロセッサに障害が起きました (CPU LED および CNFG LED の両方が点灯している可能性があります)。	- CNFG LED が点灯している場合、システムは無効マイクロプロセッサ構成エラーを発行します。この問題を修正するには、以下のステップを実行してください。 - 取り付けただばかりのマイクロプロセッサを検査して、それらが相互に互換性があることを確認し、Setup ユーティリティーを使用して、「System Information」 > 「System Summary」 > 「Processor Details」を選択し、マイクロプロセッサ情報を確認します。 (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 互換性の無いマイクロプロセッサを交換します。 - システム・エラー・ログを参照し、エラーに関する情報がないかを確認します。エラー・ログで識別されたコンポーネントがあれば交換します。 - マイクロプロセッサ障害が発生する場合は、以下のステップを実行してください。 (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 障害のあるマイクロプロセッサ (システム・ボード上の LED が点灯して示されます) が正しく取り付けられているか確認します。 - 詳しくは、http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnocid=SERV-CALL にアクセスしてください。
VRM	予約済み	
DASD	ハード・ディスクに障害が発生したか、あるいは欠落しています。	- 状況 LED が点灯しているドライブについて、ハード・ディスクの LED をチェックし、ハード・ディスクを取り付け直します。 - ハード・ディスク・バックプレーンを取り付け直します。 - 詳しくは、『ハード・ディスクの問題』を参照してください。 - エラーが続く場合は、リストに示されている順序で次のコンポーネントを交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 - ハード・ディスクを交換します。 - ハード・ディスク・バックプレーンを交換します。 - エラーが残る場合は、以下のコンポーネントを、ここに示す順序で一度に 1 つずつ交換し、そのたびにサーバーを再始動します。 - ハード・ディスクを交換します。 - ハード・ディスク・バックプレーンを交換します。 - 問題が解決しない場合は、http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnocid=SERV-CALL にアクセスしてください。
RAID	予約済み	

表 7. Light Path 診断パネル LED (続き)

- 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨アクションを実行します。 - どのコンポーネントがお客様交換可能ユニット (CRU) で、どのコンポーネントが現場交換可能ユニット (FRU) であるか判別するには、『部品リスト』を参照してください。 - 処置のステップの先頭に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と付されている場合、そのステップは必ずトレーニングを受けたサービス技術員のみが行うようにします。		
LED	説明	処置
BRD	システム・ボード上にエラーが発生しています。	- システム・ボード上の LED をチェックして、エラーの原因となっているコンポーネントを識別します。BRD LED は、以下のどの理由でも点灯します。 - バッテリー - PCI ライザー・カード・アセンブリーの欠落 - 電圧調節装置の障害 - このエラーについての情報がないかどうか、システム・エラー・ログを調べます。 - 障害のある、または欠落したコンポーネント (バッテリーまたは PCI ライザー・カード・アセンブリーなど) を取り替えます。 - 電圧調節装置に障害が起きた場合は、(トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

パワー・サプライ LED

以下の情報を使用して、パワー・サプライ LED を確認します。

サーバーを始動するために必要な最小構成は、以下のとおりです。

- マイクロプロセッサ・ソケット 1 内に 1 個のマイクロプロセッサ
- 搭載されているマイクロプロセッサごとに 1 個の 2 GB DIMM (マイクロプロセッサが 1 個のみ搭載されている場合、スロット 3 に 1 個の 2 GB DIMM)
- パワー・サプライ 1 つ
- 電源コード
- 冷却ファン 5 つ (ファン 1、2、3、4、および 5)
- PCI コネクター 2 に、PCI ライザー・カード・アセンブリー 1 つ
- ServeRAID SAS/SATA コントローラー 1 つ

AC パワー・サプライ LED

以下の情報を使用して、AC パワー・サプライ LED を確認します。

次の図は、サーバーの背面にある AC パワー・サプライ LED の位置を示しています。パワー・サプライの問題を解決するための情報については、「問題判別の手引き」を参照してください。

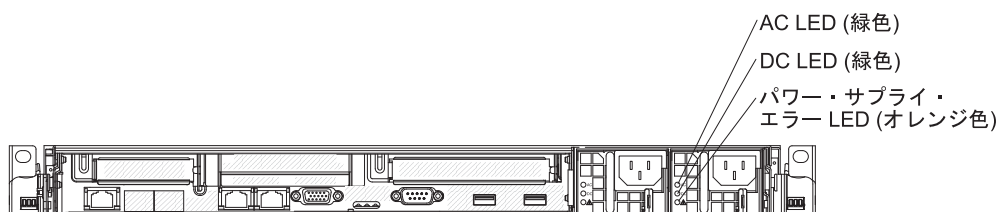


図 17. AC パワー・サプライ LED

次の表は、AC パワー・サプライ上にあるパワー・サプライ LED のさまざまな組み合わせによって示される問題と、検出された問題を修正するための推奨処置を説明します。

AC パワー・サプライ LED			説明	処置	注
AC	DC	Error (!)			
オン	オン	オフ	正常に作動		
オフ	オフ	オフ	サーバーへの AC 電源供給がないか、AC 給電部の問題。	1. サーバーへの AC 電源をチェックします。 2. 電源コードが正常に機能している電源に接続されていることを確認します。 3. サーバーを再始動します。エラーが解決されない場合は、パワー・サプライ LED を確認します。 4. パワー・サプライを交換します。	AC 電源を接続していないときは、これが正常な状態です。
オフ	オフ	オン	サーバーへの AC 電源供給がないか、AC 給電部の問題でパワー・サプライが内部問題を検出しました。	• 電源コードが正常に機能している電源に接続されていることを確認します。 • パワー・サプライを交換してください。	これは、2 台目のパワー・サプライがサーバーに電源を供給している場合にのみ発生します。
オフ	オン	オフ	障害のあるパワー・サプライ	パワー・サプライを交換してください。	
オフ	オン	オン	障害のあるパワー・サプライ	パワー・サプライを交換してください。	

AC パワー・サプライ LED			説明	処置	注
AC	DC	Error (!)			
オン	オフ	オフ	パワー・サプライが完全に差し込まれていない、システム・ボードに障害がある、またはパワー・サプライに障害がある	1. パワー・サプライを取り付け直します。 2. システム・ボードの電源チャネル・エラー LED が点灯していない場合は、パワー・サプライを交換します (手順については、パワー・サプライに付属の資料を参照してください)。 3. システム・ボードの電源チャネル・エラー LED が点灯している場合は、(トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。	パワー・サプライが完全に差し込まれていないことを示す典型的な例です。
オン	オフ	オン	障害のあるパワー・サプライ	パワー・サプライを交換してください。	
オン	オン	オン	パワー・サプライに障害があるが、作動している。	パワー・サプライを交換してください。	

DC パワー・サプライ LED

以下の情報を使用して、DC パワー・サプライ LED を確認します。

次の図は、DC パワー・サプライ上のパワー・サプライ LED の位置を示しています。

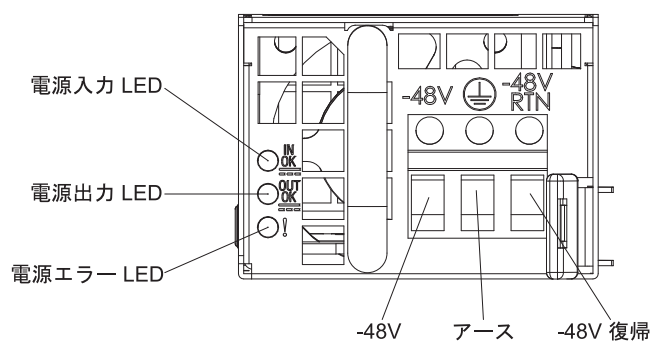


図 18. DC パワー・サプライ LED

次の表は、DC パワー・サプライ上にあるパワー・サプライ LED のさまざまな組み合わせによって示される問題と、検出された問題を修正するための推奨処置を説明します。

DC パワー・サプライ LED			説明	処置	注
IN OK	OUT OK	Error (!)			
オン	オン	オフ	正常に作動		
オフ	オフ	オフ	サーバーへの DC 電源供給がないか、DC 給電部の問題。	1. サーバーへの DC 電源を調べます。 2. 電源コードが正常に機能している電源に接続されていることを確認します。 3. サーバーを再始動します。エラーが解決されない場合は、パワー・サプライ LED を確認します。 4. パワー・サプライを交換します。	DC 電源を接続していないときは、これは正常な状態です。
オフ	オフ	オン	サーバーへの DC 電源供給がないか、DC 給電部の問題でパワー・サプライが内部問題を検出しました。	• 電源コードが正常に機能している電源に接続されていることを確認します。 • パワー・サプライを交換します (手順については、パワー・サプライに付属の資料を参照してください)。	
オフ	オン	オフ	障害のあるパワー・サプライ	パワー・サプライを交換してください。	
オフ	オン	オン	障害のあるパワー・サプライ	パワー・サプライを交換してください。	
オン	オフ	オフ	パワー・サプライが完全に差し込まれていない、システム・ボードに障害がある、またはパワー・サプライに障害がある	1. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) パワー・サプライを取り付け直します。 2. システム・ボードの電源チャネル・エラー LED が点灯していない場合は、パワー・サプライを交換します (手順については、パワー・サプライに付属の資料を参照してください)。 3. システム・ボードの電源チャネル・エラー LED が点灯している場合は、(トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。	パワー・サプライが完全に差し込まれていないことを示す典型的な例です。
オン	オフ	オン	障害のあるパワー・サプライ	パワー・サプライを交換してください。	
オン	オン	オン	パワー・サプライに障害があるが、作動している。	パワー・サプライを交換してください。	

システム・パルス LED

以下の LED はシステム・ボードにあり、システムのパワーオンとパワーオフの順序付けおよびブート進行状況をモニターします。

これらの LED の場所については、25 ページの『システム・ボード LED』を参照してください。

表 8. システム・パルス LED

LED	説明	処置
格納装置管理ハートビート	パワーオンおよびパワーオフの順序付け。	1. LED が 1Hz で点滅する場合は正しく機能しているため、処置は不要です。 2. LED が点滅していない場合は、(トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。
IMM ハートビート	IMM ハートビート・ブート・プロセス。	IMM ハートビート順序付けプロセスのさまざまなステージを以下のステップで説明します。 1. この LED が素早く点滅 (約 4 Hz) している場合は、IMM コードのロード処理中を示します。 2. この LED が一時的にオフになるときは、IMM コードのロードが完了したことを示します。 3. この LED が一時的にオフになり、その後ゆっくりと点滅 (約 1 Hz) を開始するときは、IMM が完全に作動可能になったことを示します。この時点で、電源制御ボタンを押してサーバーの電源をオンにすることができます。 4. サーバーを給電部に接続してから 30 秒以内にこの LED が点滅を開始しない場合は、次のステップを実行します。 a. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) IMM リカバリー・ジャンパーを使用してファームウェアを回復します (21 ページの『システム・ボードのスイッチとジャンパー』を参照)。 b. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

サーバー・ファームウェアのリカバリー

以下の情報を使用して、サーバー・ファームウェアをリカバリーします。

重要:一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションに対してサポートされていることを確認してください。

更新中の電源障害などによってサーバー・ファームウェアが損傷した場合は、次のいずれかの方法でサーバー・ファームウェアをリカバリーできます。

- **インバンド方式:** ブート・ブロック・ジャンパー (自動ブート・リカバリー) またはサーバーの Firmware Update Package Service Pack を使用して、サーバー・ファームウェアをリカバリーする。
- **アウト・オブ・バンド方式:** 最新のサーバー・ファームウェア更新パッケージを使用し、IMM Web Interface からファームウェアを更新する。

注:サーバー更新パッケージは、以下のいずれかから入手できます。

- ワールド・ワイド・ウェブ (WWW) からサーバー・ファームウェアの更新をダウンロードする。
- IBM サービス技術員に連絡する。

ワールド・ワイド・ウェブ (WWW) からサーバー・ファームウェア更新パッケージをダウンロードするには、<http://www.ibm.com/supportportal/> にアクセスしてください。

サーバーのフラッシュ・メモリーは、1 次バンクとバックアップ・バンクから構成されます。バックアップ・バンクはブート可能ファームウェア・イメージを使用して保守する必要があります。1 次バンクが破損した場合、ブート・ブロック・ジャンパーでバックアップ・バンクを手動でブートできます。または、イメージが破損している場合には、Automated Boot Recovery 機能を使用して自動的にバックアップ・バンクをブートできます。

インバンドの手動リカバリー方式

以下の情報を使用して、サーバー・ファームウェアをリカバリーし、サーバー操作を 1 次バンクに復元します。

このタスクについて

サーバー・ファームウェアをリカバリーし、サーバー操作を 1 次バンクに復元するには、次のステップを実行します。

手順

1. vii ページの『安全について』と 370 ページの『静電気に弱い装置の取り扱い』をお読みください。
2. サーバーの電源をオフにして、すべての電源コードおよび外部ケーブルを外します。
3. サーバーのカバーを取り外します。詳しくは、376 ページの『カバーの取り外し』を参照してください。

4. システム・ボード上の UEFI ブート・リカバリー・ジャンパー・ブロック (J29) を見つけます。

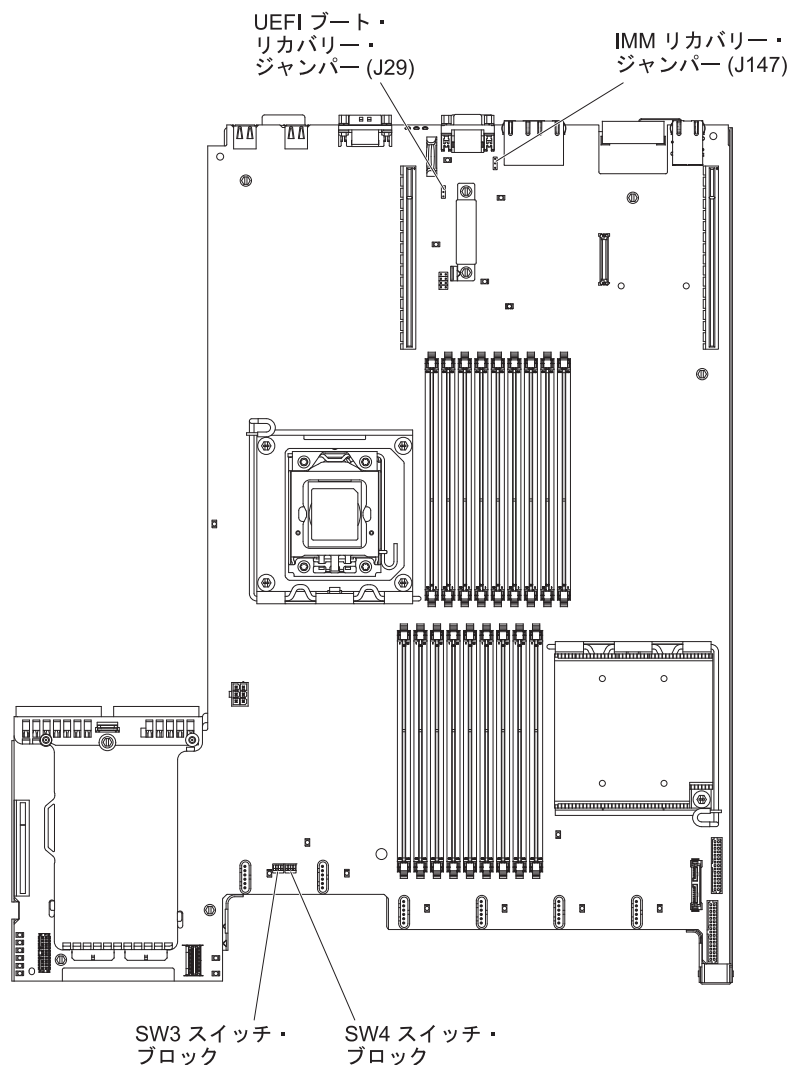


図 19. UEFI ブート・リカバリー・ジャンパー・ブロック (J29) の場所

5. UEFI ブート・リカバリー・ジャンパー・ブロック (J29) へのアクセスの邪魔になるアダプターを取り外します (403 ページの『アダプターの取り外し』を参照)。
6. ジャンパーをピン 1 と 2 からピン 2 と 3 に移動させ、UEFI リカバリー・モードを使用可能にします。
7. 前に取り外したアダプターを、再取り付けします (404 ページの『アダプターの交換』を参照)。
8. サーバーのカバーを再取り付けします (377 ページの『カバーの取り付け』を参照)。次に、すべての電源コードを再接続します。
9. サーバーを再始動します。パワーオン・セルフテスト (POST) が開始されます。
10. ダウンロードしたファームウェア更新パッケージによりサポートされるオペレーティング・システムにサーバーをブートします。

11. ファームウェア更新パッケージの README ファイルの指示に従ってファームウェアの更新を実行します。
12. ダウンロードしたファームウェア更新パッケージをディレクトリーにコピーします。
13. コマンド・ラインで、*filename-s* と入力します。*filename* は、ファームウェア更新パッケージとともにダウンロードした実行可能ファイルの名前です。ファームウェア更新が完了するまでモニターします。
14. サーバーの電源をオフにして、すべての電源コードおよび外部ケーブルを切り離してから、サーバーのカバーを取り外します (376 ページの『カバーの取り外し』を参照)。
15. UEFI ブート・リカバリー・ジャンパー・ブロック (J29) へのアクセスの邪魔になるアダプターを取り外します (404 ページの『アダプターの交換』を参照)。
16. UEFI ブート・リカバリー・ジャンパーをピン 2 と 3 から基本位置 (ピン 1 と 2) に戻します。
17. 前に取り外したアダプターを、再取り付けします (404 ページの『アダプターの交換』参照)。
18. サーバーのカバーを再取り付けします (377 ページの『カバーの取り付け』参照)。次に、すべての電源コードを再接続します。
19. サーバーを再始動します。パワーオン・セルフテスト (POST) が開始されます。これによって 1 次バンクがリカバリーされない場合、引き続き次のステップを実行します。
20. サーバーのカバーを取り外します (376 ページの『カバーの取り外し』を参照)。
21. システム・バッテリーを取り外すことにより、CMOS をリセットします (439 ページの『システム・バッテリーの取り外し』を参照)。
22. システム・バッテリーをサーバーから約 5 分から 15 分間取り外したままにします。
23. システム・バッテリーを再取り付けします (442 ページの『システム・バッテリーの取り付け』を参照)。
24. サーバーのカバーを再取り付けします (377 ページの『カバーの取り付け』参照)。次に、すべての電源コードを再接続します。
25. サーバーを再始動します。パワーオン・セルフテスト (POST) が開始されます。
26. これらのリカバリー作業で問題が解決しない場合は、IBM サービス技術員に連絡してサポートを依頼してください。

タスクの結果

スイッチとジャンパーについて詳しくは、21 ページの『システム・ボードのスイッチとジャンパー』を参照してください。

インバンドの自動ブート・リカバリー方式

以下の情報を使用して、サーバー・ファームウェアをリカバリーし、サーバー操作を 1 次バンクに復元します。

このタスクについて

注: Light Path 診断パネルの BRD LED が点灯し、ログ項目が表示される場合、または Booting Backup Image がファームウェア・スプラッシュ画面に表示される場合は、この方式を使用します。それ以外の場合はインバンド手動リカバリー方式を使用してください。

手順

1. ダウンロードしたファームウェア更新パッケージによりサポートされるオペレーティング・システムにサーバーをブートします。
2. ファームウェア更新パッケージの README ファイルの指示に従ってファームウェアの更新を実行します。
3. サーバーを再始動します。
4. ファームウェア・スプラッシュ画面で、1 次バンクに復元するようにプロンプトが出されたら、F3 を押します。サーバーは 1 次バンクからブートします。

アウト・オブ・バンド方式

以下の情報を使用して、サーバー・ファームウェアをリカバリーし、サーバー操作を 1 次バンクに復元します。

IMM 資料 「統合管理モジュール ユーザーズ・ガイド」 (www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnocid=MIGR-5079770&brandind=5000008) を参照してください。

自動ブート・リカバリー (ABR)

サーバーが始動するときに、統合管理モジュール II が 1 次バンクのサーバー・ファームウェアに問題を検出した場合、サーバーはバックアップ・ファームウェア・バンクに自動的に切り替わり、ユーザーに 1 次バンクのファームウェアを回復する機会を提供します。

このタスクについて

UEFI ファームウェアを回復する手順については、344 ページの『サーバー・ファームウェアのリカバリー』を参照してください。1 次バンクのファームウェアを回復したら、以下のステップを実行してください。

手順

1. サーバーを再始動します。
2. 「Press F3 to restore to primary」のプロンプトが表示されたら、F3 を押して 1 次バンクからサーバーを始動します。

Nx ブート障害

装置の追加やアダプターのファームウェア更新などの構成変更、およびファームウェアまたはアプリケーションのコードの問題により、サーバーの POST (パワーオン・セルフテスト) が失敗することがあります。

これが発生する場合、サーバーは次の方法のいずれかで応答します。

- サーバーは自動的に再始動し、POST を再試行します。
- サーバーは停止し、ユーザーはサーバーの POST を再試行するために、サーバーを手動で再始動する必要があります。

指定された回数連続して試行した後 (自動または手動)、「Nx 回のブート失敗」フューチャーにより、サーバーはデフォルト UEFI 構成に戻って Setup ユーティリティーを開始します。これにより、ユーザーは必要に応じて構成を修正し、サーバーを再始動することができます。サーバーがデフォルトの構成で POST を正常に完了できない場合、システム・ボードに問題がある可能性があります。

Nx 回ブート失敗機能をトリガーする連続再始動試行回数を指定するには、Setup ユーティリティーで、「**System Settings**」 > 「**Operating Modes**」 > 「**POST Attempts Limit**」をクリックします。選択可能なオプションは、3、6、9、および 255 (Nx 回ブート失敗機能を使用不可にする) です。

電源の問題の解決

以下の情報を使用して、電源の問題を解決します。

このタスクについて

電源の問題を解決する際に困難が伴う可能性があります。例えば、短絡がいずれかの配電バスのどこかに存在している可能性があります。通常は、短絡により、過電流状態が原因で電源サブシステムがシャットダウンします。電源問題を診断する場合は、以下の一般手順を使用します。

手順

1. サーバーの電源をオフにして AC 電源コードを切り離します。
2. システム・ボード上の電源障害 LED をチェックします (25 ページの『システム・ボード LED』を参照)。
3. オペレーター情報パネル上の LED を確認します (11 ページの『オペレーター情報パネル』を参照)。
4. 電源サブシステムのケーブルが緩んでいないかを調べます。また、短絡があるかどうか (例えば、回路ボード上に短絡の原因となる緩んだねじがあるかどうか) を調べます。
5. サーバーがサーバーの始動に必要な最小構成になるまで、アダプターを取り外し、すべての内部装置および外部装置へのケーブルおよび電源コードを切り離します (最小構成については、339 ページの『パワー・サプライ LED』を参照)。
6. すべての AC 電源コードを再接続し、サーバーの電源をオンにします。サーバーが正常に始動した場合は、問題が特定されるまで、アダプターおよび装置を一度に 1 つずつ取り付け直します。

タスクの結果

サーバーが最小構成でも始動しない場合は、323 ページの『電源問題』を参照して、問題が特定されるまで、最小構成のコンポーネントを一度に 1 つずつ交換します。

イーサネット・コントローラーの問題の解決

イーサネット・コントローラーをテストするために使用する方法は、使用しているオペレーティング・システムによって異なります。イーサネット・コントローラーの情報については、オペレーティング・システムの資料を参照し、イーサネット・コントローラー・デバイス・ドライバの README ファイルを参照してください。

このタスクについて

以下の手順を試してみてください。

手順

- サーバーに付属した正しいデバイス・ドライバがインストール済みであること、およびそれらが最新レベルのものであることを確認してください。
- イーサネット・ケーブルが正しく取り付けられていることを確認します。
 - ケーブルは、すべての接続部がしっかり接続されている必要があります。ケーブルが接続されているにもかかわらず、問題が解決しない場合は、別のケーブルで試してみてください。
 - イーサネット・コントローラーを 100 Mbps で動作するように設定した場合は、カテゴリ 5 の配線を使用する必要があります。
 - 2 つのサーバーを (ハブを使用せずに) 直接接続する場合、または X ポートを備えるハブを使用していない場合は、クロスオーバー・ケーブルを使用してください。ハブが X ポートを備えているかどうか判別するには、ポートのラベルを調べてください。ラベルに X が記載されている場合は、ハブは X ポートを備えています。
- ハブが自動ネゴシエーションをサポートしているかどうかを調べます。サポートしていない場合は、内蔵イーサネット・コントローラーを、ハブの速度と二重モードに合わせて手動で構成してください。
- サーバーの背面パネルにあるイーサネット・コントローラー LED をチェックします。これらの LED は、コネクタ、ケーブル、またはハブに問題があるかどうかを示します。
 - イーサネット・コントローラーがハブからリンク・パルスを受信すると、イーサネット・リンク状況 LED が点灯します。LED がオフの場合は、コネクタまたはケーブルに欠陥があるか、またはハブに問題がある可能性があります。
 - イーサネット・コントローラーがイーサネット・ネットワークを介してデータを送信または受信すると、イーサネット送信/受信活動 LED が点灯します。イーサネットの送信/受信活動がオフの場合は、ハブとネットワークが作動していること、および正しいデバイス・ドライバがインストールされていることを確認してください。

- サーバー背面の LAN 活動 LED をチェックしてください。LAN 活動 LED は、イーサネット・ネットワークでデータがアクティブであるときに点灯します。LAN 活動 LED がオフの場合は、ハブとネットワークが作動していること、および正しいデバイス・ドライバがインストールされていることを確認してください。
- 問題を引き起こしているオペレーティング・システム固有の原因がないかどうかを確認します。
- クライアントとサーバーのデバイス・ドライバが同じプロトコルを使用していることを確認します。

タスクの結果

ハードウェアが正常に機能しているように見えるのに、イーサネット・コントローラーがネットワークに接続できない場合は、ネットワーク管理者は、ほかにエラーの原因が考えられないかどうかを調べる必要があります。

未解決問題の解決

診断テストで障害を診断できなかった場合、またはサーバーが機能しない場合は、このセクションの情報を使用してください。

このタスクについて

ソフトウェア問題が障害（連続的または断続的）の原因であると思われる場合は、328 ページの『ソフトウェアの問題』を参照してください。

CMOS メモリー内のデータの損傷またはサーバー・ファームウェアの損傷が、未解決問題の原因となることがあります。CMOS データをリセットするには、CMOS ジャンパーを使用して CMOS メモリーを消去し、始動パスワードを変更します。21 ページの『システム・ボードのスイッチとジャンパー』を参照してください。サーバー・ファームウェアに損傷があると思われる場合は、344 ページの『サーバー・ファームウェアのリカバリー』を参照してください。

パワー・サプライが正しく動作している場合は、以下のステップを実行してください。

手順

1. サーバーの電源をオフにします。
2. サーバーのケーブルが正しく接続されていることを確認します。
3. 障害を特定できるまで、以下の装置を一度に 1 つずつ、取り外すかまたは切り離します。そのたびに、サーバーの電源をオンにして再構成を行ってください。
 - 外付け装置
 - サージ抑制装置 (サーバー上)
 - プリンター、マウス、および IBM 以外の装置。
 - 各アダプター
 - ハード・ディスク
 - メモリー・モジュール。必要最小構成はスロット 3 に 2 GB DIMM です。

サーバーを始動するために必要な最小構成は、以下のとおりです。

- ソケット 1 内に 1 個のマイクロプロセッサ

- 搭載されているマイクロプロセッサごとに 1 個の 2 GB DIMM (マイクロプロセッサが 1 個のみ搭載されている場合、スロット 3 に 1 個の 2 GB DIMM)
 - パワー・サプライ 1 つ
 - 電源コード
 - 冷却ファン 5 つ (ファン 1、2、3、4、および 5)
 - PCI コネクタ 2 に、PCI ライザー・カード・アセンブリー 1 つ
 - ServeRAID SAS/SATA コントローラー 1 つ
4. サーバーの電源を入れます。

タスクの結果

あるアダプターをサーバーから取り外すと問題が解消され、再び同じアダプターを取り付けると問題が再発する場合は、そのアダプターに原因があると考えられます。そのアダプターを別のアダプターと交換しても問題が再発する場合は、ライザー・カードに原因があると考えられます。

ネットワークの問題があると思われ、サーバーがすべてのシステム・テストにパスした場合は、サーバーの外部のネットワーク配線に問題がある可能性があります。

問題判別のヒント

ハードウェアとソフトウェアにはさまざまな組み合わせがあるため、以下の情報を利用して問題判別の補助としてください。可能であれば、IBM に支援を要求するときはこれらの情報を準備しておいてください。

モデル番号とシリアル番号は、次の図で示されるように、サーバー前面にある ID ラベル上で見付けることができます。

注: 本書の図は、ご使用のハードウェアと多少異なる場合があります。

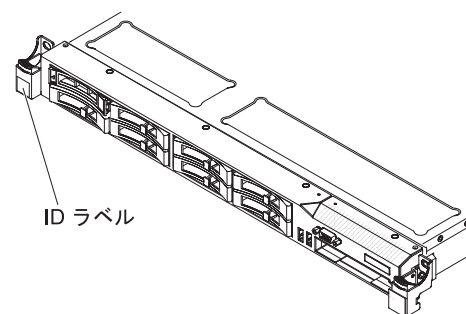


図 20. ID ラベル

- マシン・タイプおよびモデル
- マイクロプロセッサまたはハード・ディスクのアップグレード
- 障害の現象
 - サーバーは診断テストに失敗しますか?
 - 起こったことは何ですか? いつ? どこで?

- 障害は単一のサーバーで発生するのか、または複数のサーバーで発生するのか。
- その障害は再現可能か。
- これまでにこのサーバー構成が正常に作動したことがあったか。
- その構成で障害が発生する前に何か変更したか。
- この障害を報告するのは初めてか。
- 診断プログラムのタイプおよびバージョン・レベル
- ハードウェア構成 (システム・サマリーの画面印刷)
- IMM ファームウェア・レベル
- オペレーティング・システム・ソフトウェア

問題によっては、作動するサーバーと作動しないサーバーの間で構成およびソフトウェア・セットアップを比較することで、解決できる場合があります。診断の目的でサーバーを相互に比較するときは、すべてのサーバーにおいて以下の要素が厳密に同じである場合に限り、サーバーが同じであると見なしてください。

- マシン・タイプおよびモデル
- IMM ファームウェア・レベル
- アダプターおよび接続機構、およびそれぞれの位置
- アドレス・ジャンパー、ターミネーター、およびケーブル配線
- ソフトウェアのバージョンとレベル
- 診断プログラムのタイプとバージョン・レベル
- 構成オプションの設定
- オペレーティング・システム制御ファイルのセットアップ

IBM に保守を依頼する方法については、519 ページの『ヘルプおよび技術サポートの入手』を参照してください。

第 4 章 部品リスト、IBM System x3550 M3 Type 4254 およ び 7944

IBM System x3550 M3 Type 4254 および 7944 サーバーでは、以下の交換可能コンポーネントが使用可能です。

更新された部品リストについては、<http://www.ibm.com/supportportal/> にアクセスしてください。

交換可能なサーバー・コンポーネント

交換可能コンポーネントには、4 つのタイプがあります。

- **消耗品:** 消耗品 (寿命のあるバッテリーやプリンター・カートリッジなどのコンポーネント) の購入および交換はお客様の責任で行っていただきます。お客様の要請により IBM が消耗品コンポーネントの入手または取り付けを行った場合は、サービス料金を請求させていただきます。
- **Tier 1 の、お客様交換可能ユニット (CRU):** IBM が Tier 1 と指定する CRU の交換はお客様ご自身の責任で行っていただきます。お客様の要請により IBM が Tier 1 CRU の導入を行った場合は、その料金を請求させていただきます。
- **Tier 2 の、お客様交換可能ユニット (CRU):** IBM が Tier 2 と指定する CRU はお客様ご自身で取り付けることができますが、対象のサーバーに関して指定された保証サービスの種類に基づき、追加料金なしで IBM に取り付け作業を依頼することもできます。
- **現場交換可能ユニット (FRU):** FRU を取り付けることができるのは、専門のトレーニングを受けたサービス技術員のみです。

保証の条件に関する情報については、サーバーに付属の資料「保証情報」を参照してください。

次の図は、サーバー内の主なコンポーネントを示しています。本書の図は、ご使用のハードウェアと多少異なる場合があります。

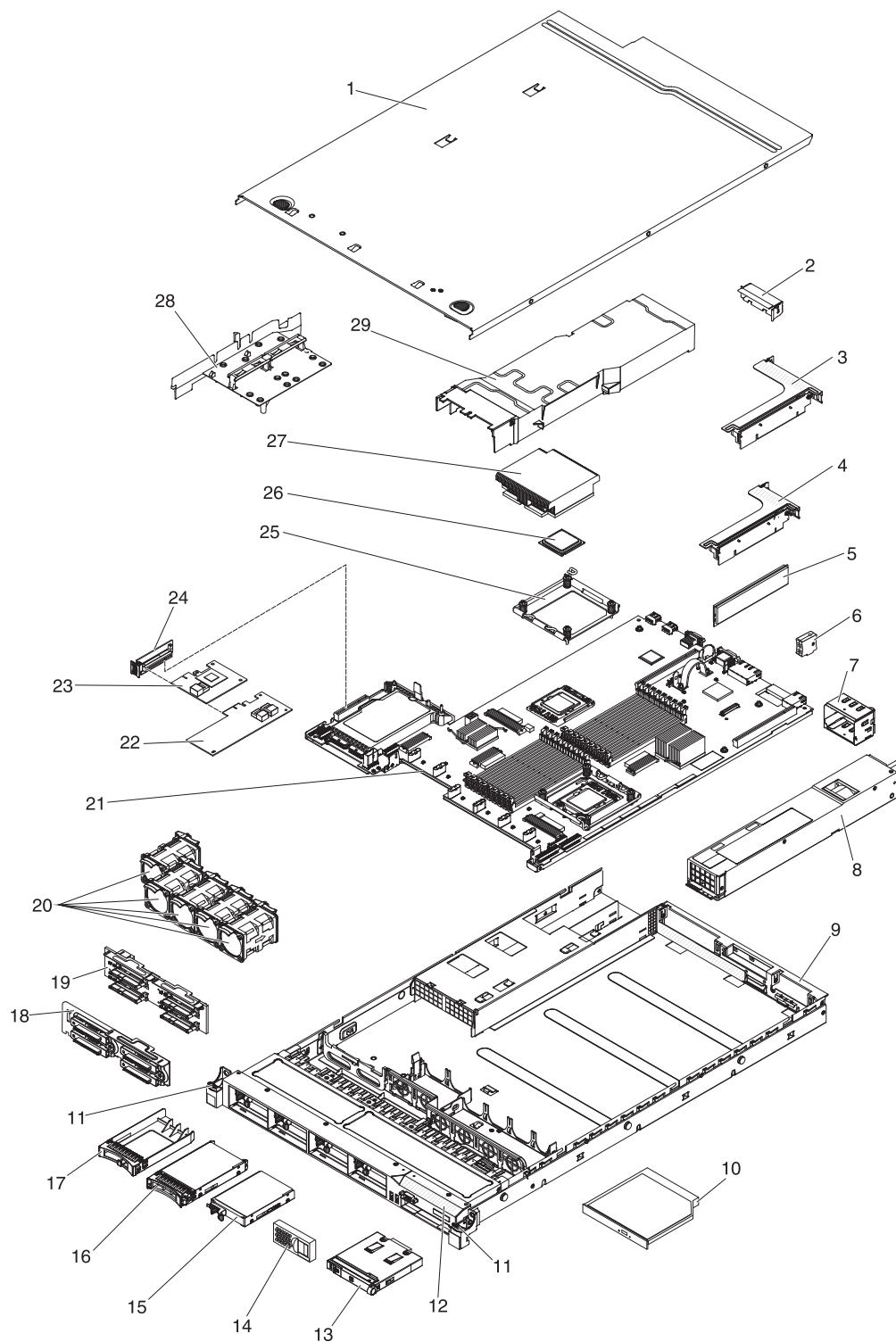


図 21. サーバー・コンポーネント

下表にはサーバー・コンポーネントの部品番号が記載されています。

表9. 部品リスト (Type 4254 および 7944)

索引	説明	CRU の部品 番号 (Tier 1)	CRU の部品 番号 (Tier 2)	FRU の部品 番号
1	トップ・カバー	59Y3927		
2	フィルター、PCI	59Y3969		
3	PCI-X ライザー・カード		69Y4570	
4	PCI Express ライザー・カード、x16、アセンブリー		43V7066	
5	メモリー、2 GB dual-rank DDR3 UDIMM	44T1573		
5	メモリー、4 GB dual-rank DDR3-1333 RDIMM 1.35V	49Y1412		
5	メモリー、2 GB single-rank DDR 3 RDIMM	49Y1421		
5	メモリー、4 GB dual-rank DDR3 UDIMM	49Y1422		
5	メモリー、2 GB single-rank DDR3 RDIMM	49Y1423		
5	メモリー、4 GB single-rank DDR3 RDIMM	49Y1424		
5	メモリー、4 GB dual-rank DDR3 RDIMM	49Y1425		
5	メモリー、1 GB single-rank DDR3-1333 RDIMM	49Y1442		
5	メモリー、2 GB dual-rank DDR3-1333 RDIMM	49Y1443		
5	メモリー、2 GB single-rank DDR3-1333 RDIMM	49Y1444		
5	メモリー、4 GB dual-rank DDR3-1333 RDIMM	49Y1445		
5	メモリー、8 GB dual-rank DDR3-1333 RDIMM	49Y1446		
5	メモリー、8 GB dual-rank PC3L-10600R-999 RDIMM 1.35V	49Y1415		
5	メモリー、8 GB dual-rank PC3L-8500R-777 RDIMM 1.35V	49Y1416		
5	メモリー、16 GB dual-rank PC3L-10600 DDR3-1333 RDIMM 1.35V	49Y1565		
5	メモリー、16 GB quad-rank PC3-8500R-777 RDIMM	46C7489		
6	仮想メディア・キー	46C7528		
7	パワー・サブライ・ベイ・フィルター	49Y4821		
8	パワー・サブライ、460 ワット、AC	39Y7229		
8	パワー・サブライ、460 ワット、AC	39Y7231		
8	パワー・サブライ、460 ワット、AC	69Y5907		
8	パワー・サブライ、675 ワット、DC			39Y7215
8	パワー・サブライ、675 ワット、DC			69Y5905
8	パワー・サブライ、675 ワット HE、AC	39Y7218		
8	パワー・サブライ、675 ワット HE、AC	69Y5901		
8	パワー・サブライ、675 ワット HE、AC	69Y5903		
8	パワー・サブライ、675 ワット、AC	39Y7225		
8	パワー・サブライ、675 ワット、AC	39Y7227		
8	パワー・サブライ、675 ワット、AC	39Y7236		
8	パワー・サブライ、675 ワット、AC	69Y5909		
8	パワー・サブライ、675 ワット、AC	69Y5919		
9	シャーシ・アセンブリー (前面ベゼルなし)			59Y3931
10	DVD-ROM ドライブ	44W3254		
10	DVD-RW ドライブ	44W3256		

表 9. 部品リスト (Type 4254 および 7944) (続き)

索引	説明	CRU の部品 番号 (Tier 1)	CRU の部品 番号 (Tier 2)	FRU の部品 番号
11	ラック・ラッチ・キット		49Y4815	
12	ベゼル、8 ハード・ディスク・ベイ		59Y3916	
12	ベゼル、4 ハード・ディスク・ベイおよび 1 光学式ドライブ・ベイ		59Y3917	
13	オペレーター情報パネル・アセンブリー		44E4372	
14	フィラー、ハード・ディスク・ベイ	59Y3925		
15	ハード・ディスク、2.5 型 シンプル・スワップ、 31.4 GB	43W7684		
15	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型シンプル・スワップ SATA 256 GB	90Y8664		
15	ソリッド・ステート・ドライブ、2.5 型シンプル・スワップ SATA 128 GB	90Y8669		
16	ハード・ディスク、2.5 型 ホット・スワップ、 73 GB、 10 K	43W7537		
16	ハード・ディスク、2.5 型 ホット・スワップ、 73 GB、 15 K	43W7546		
16	ハード・ディスク、2.5 型 ホット・スワップ、 146 GB、 10 K	43W7538		
16	ハード・ディスク、2.5 型ホット・スワップ、 146 GB、 15 K	42D0678		
16	ハード・ディスク、2.5 型 ホット・スワップ、 146 GB、 Slim-HS、 15 K	44W2295		
16	ハード・ディスク、2.5 型ホット・スワップ、 300 GB、 10 K	42D0638		
16	ハード・ディスク、2.5 型 ホット・スワップ、 300 GB、 Slim-HS、 10 K	44W2265		
16	ハード・ディスク、2.5 型ホット・スワップ、 500 GB、 7.2 K	42D0708		
16	ハード・ディスク、2.5 型ホット・スワップ、 600 GB、 10 K	49Y2004		
17	フィラー、EMC	44T2248		
18	バックプレート・アセンブリー、シンプル・スワップ		59Y3919	
19	バックプレーン、SAS		59Y3915	
20	ファン	43V6929		
21	システム・ボード			00D3283
21	システム・ボード			00D3284
22	ServeRAID-M1015 アダプター	46C8933		
23	ServeRAID-BR10i1 v2 アダプター	49Y4737		
24	SAS/SATA ライザー・カード	43V7067		
25	保持モジュール、ヒートシンク			49Y4822
26	マイクロプロセッサ、インテル Xeon E5506 2.13 GHz、4 MB、80W (クアッドコア)			46D1270

表9. 部品リスト (Type 4254 および 7944) (続き)

索引	説明	CRU の部品 番号 (Tier 1)	CRU の部品 番号 (Tier 2)	FRU の部品 番号
26	マイクロプロセッサ、インテル Xeon X5670 2.93 GHz、12 MB、95W (6 コア)			49Y7038
26	マイクロプロセッサ、インテル Xeon X5650 2.66 GHz、12 MB、95W (6 コア)			49Y7040
26	マイクロプロセッサ、インテル Xeon E5640 2.66 GHz、12 MB、80W (クアッドコア)			49Y7051
26	マイクロプロセッサ、インテル Xeon E5630 2.53 GHz、12 MB、80W (クアッドコア)			49Y7052
26	マイクロプロセッサ、インテル Xeon E5620 2.40 GHz、12 MB、80W (クアッドコア)			49Y7053
26	マイクロプロセッサ、インテル Xeon L5640 2.26 GHz、12 MB、60W (6 コア)			49Y7054
26	マイクロプロセッサ、インテル Xeon L5630 2.13 GHz、12 MB、40W (クアッドコア)			59Y3691
26	マイクロプロセッサ、インテル Xeon E5507 2.26 GHz、4 MB、80W (クアッドコア)			69Y0782
26	マイクロプロセッサ、インテル Xeon L5609 1.86 GHz、12 MB、40W (クアッドコア)			69Y0783
26	マイクロプロセッサ、インテル Xeon X5680 3.33 GHz、12 MB、130W (6 コア)			69Y0849
26	マイクロプロセッサ、インテル Xeon E5645 2.40 GHz、12 MB、80W (6 コア)			69Y4714
26	マイクロプロセッサ、インテル Xeon E5603 1.60 GHz、4 MB、80W (クアッドコア)			81Y5952
26	マイクロプロセッサ、インテル Xeon E5606 2.13 GHz、8 MB、80W (クアッドコア)			81Y5953
26	マイクロプロセッサ、インテル Xeon E5607 2.26 GHz、8 MB、80W (クアッドコア)			81Y5954
26	マイクロプロセッサ、インテル Xeon E5649 2.53 GHz、12 MB、80W (6 コア)			81Y5955
26	マイクロプロセッサ、インテル Xeon X5647 2.93 GHz、12 MB、130W (クアッドコア)			81Y5956
26	マイクロプロセッサ、インテル Xeon X5672 3.20 GHz、12 MB、95W (クアッドコア)			81Y5957
26	マイクロプロセッサ、インテル Xeon X5675 3.06 GHz、12MB、95W (6 コア)			81Y5958
26	マイクロプロセッサ、インテル Xeon X5687 3.60 GHz、12 MB、130W (クアッドコア)			81Y5959
26	マイクロプロセッサ、インテル Xeon X5690 3.46 GHz、12 MB、130W (6 コア)			81Y5960
27	ヒートシンク・アセンブリー			49Y4820
27	ヒートシンク・アセンブリー、130W			69Y1207

表 9. 部品リスト (Type 4254 および 7944) (続き)

索引	説明	CRU の部品 番号 (Tier 1)	CRU の部品 番号 (Tier 2)	FRU の部品 番号
28	エアー・バッフル・キット (マイクロプロセッサ・エアー・バッフル、クランプ、および DIMM エアー・ダクト)	59Y3914		
	バッテリー、3.0 V	33F8354		
	ケーブル、ハード・ディスク構成		59Y3918	
	ケーブル、オペレーター・パネル		46C4139	
	ケーブル、SAS 電源		59Y3920	
	ケーブル、SAS 信号、300 mm		49Y4850	
	ケーブル、SAS 信号、450 mm		59Y3921	
	ケーブル、SAS 信号、710 mm		69Y1328	
	ケーブル、SATA DVD		59Y3922	
	ケーブル、USB/ビデオ		59Y3923	
	ケーブル、電源コード	39M5377		
	ケージ、ハード・ディスク		59Y3968	
	ケージ、光学式ドライブ		59Y3924	
	CPU 取り外しツール			81Y9398
	安全カバー			49Y4823
	フィルター、DVD ドライブ・ベイ	49Y4868		
	2 ポート 1 Gb イーサネット・カード	69Y4509		
	2 ポート 1 Gb イーサネット・カード、付属品キット	69Y4586		
	ラベル、シャーシ	59Y3998		
	ラベル、システム・サービス	59Y3926		
	ライザー・カード・ブラケット: フルハイト、ハーフサイズ		43V6936	
	ライザー・カード・ブラケット: ロー・プロファイル		43V6939	
	ブラケット・アセンブリー、背面 I/O			43V6938
	SAS アダプター・リテナー		49Y4852	
	ServeRAID-MR10i アダプター		46C9037	
	ServeRAID-MR10i バッテリー・キャリア・キット		46C9041	
	ServeRAID-BR10i アダプター	46C9043		
	ServeRAID-B5015 ソリッド・ステート・ドライブ (SSD) アダプター	46M0970		
	ServeRAID-M5014 アダプター	46C8929		
	ServeRAID-M5015 アダプター	46C8927		
	ServeRAID-M5016 アダプター	46C8974		
	ServeRAID-M5000 拡張機能キー	46M0931		
	ServeRAID-M5000 シリーズ・バッテリー・キット	81Y4451		
	ServeRAID-M5100 シリーズ・フラッシュ電源モジュール	81Y4579		
	ケーブル、ServeRAID バッテリー (変換コネクタ・カード付き)		44E8844	
	ケーブル、ServeRAID-M5100 シリーズ・フラッシュ電源モジュール	90Y7310		

表 9. 部品リスト (Type 4254 および 7944) (続き)

索引	説明	CRU の部品 番号 (Tier 1)	CRU の部品 番号 (Tier 2)	FRU の部品 番号
	PRO/1000 PT クワッド・ポート アダプター	39Y6138		
	NetXtreme II 1000 Express 4 ポート・イーサネット・アダプター	49Y4222		
	QLogic 10Gb SFP+ SR 光トランシーバー	42C1816		
	QLogic 10Gb CNA (IBM System x 用)	00Y3274		
	Brocade 10Gb SFP+ SR 光トランシーバー	46C9297		
	Brocade 10Gb CNA (IBM System x 用)	42C1822		
	ビデオ・アダプター、NVIDIA FX 1700	43V5765		
	ビデオ・アダプター、NVIDIA FX 570	43V5782		
	ビデオ・アダプター、NVIDIA FX 580	43V5890		
	スライド・レール・キット		59Y3792	
	スライド・レール・キット		69Y5085	
	CMA キット	49Y4817		
	スライド・レール・キット、Gen-II		69Y4391	
	CMA キット、Gen-II	69Y4392		
	各種部品キット		69Y5639	
	ねじキット	59Y4922		
	熱伝導グリース・キット		41Y9292	
	ハイパーバイザー、USB 組み込み、フラッシュ・デバイス	42D0545		
	アルコール・ワイプ		59P4739	

消耗部品

「IBM 保証の内容と制限」では消耗部品はカバーされません。以下の消耗部品は、小売店で購入可能です。

表 10. 消耗部品 (Type 4254 および 7944)

索引	説明	部品番号
	ServeRAID-MR10i バッテリー	46C9040
	ケーブル・クリップ、ServeRAID-M5016 SAS/SATA コントローラー	00D3956

消耗部品は、以下の手順で注文してください。

1. <http://www.ibm.com> にアクセスしてください。
2. 「**Products**」メニューから「**Upgrades, accessories & parts**」を選択します。
3. 「**Obtain maintenance parts**」をクリックし、説明に従って小売店に部品を注文します。

注文の際にヘルプが必要な場合は、小売部品ページにリストされているフリーダイヤル番号に電話するか、最寄りの IBM 担当員にお問い合わせください。

プロダクト・リカバリー CD

次の表は、プロダクト・リカバリー CD の CRU について説明しています。

表 11. プロダクト・リカバリー CD、Type 7944

説明	CRU 部品番号
VMware ESX Server 3i バージョン 3.5	46D0762
VMware ESX Server 3i バージョン 3.5 Update 2	46M9236
VMware ESX Server 3i バージョン 3.5 Update 3	46M9237
VMware ESX Server 3i バージョン 3.5 Update 4	46M9238
VMware ESX Server 3i バージョン 3.5 Update 5	68Y9633
VMware ESXi 4.0	49Y8747
VMware ESXi 4.0 Update 1	68Y9634
VMware ESXi 4.1	81Y2028
VMware vSphere ESXi 4.1 (フラッシュ・メモリー USB キーなし)	81Y2028
VMware vSphere ESXi 4.1 Update 1 (フラッシュ・メモリー USB キーなし)	95Y3065
Microsoft Windows Server 2008 DataCenter 32/64 ビット、マルチ言語	49Y0222
Microsoft Windows Server 2008 Datacenter SP2 32/64 ビット、マルチ言語	60Y1760
Microsoft Windows Server 2008 Datacenter 32/64 ビット、中国語 (簡体字)	49Y0223
Microsoft Windows Server 2008 Datacenter 32/64 ビット、中国語 (繁体字)	49Y0224
Microsoft Windows Server 2008 R2 Datacenter、マルチ言語	59Y7332
Microsoft Windows Server 2008 R2 Datacenter、中国語 (簡体字)	59Y7333
Microsoft Windows Server 2008 R2 Datacenter、中国語 (繁体字)	59Y7334
Microsoft Windows HPC Server 2008、1 から 4 プロセッサ、英語	68Y9455
Microsoft Windows HPC Server 2008、1 から 4 プロセッサ、日本語	68Y9456
Microsoft Windows HPC Server 2008、1 から 4 プロセッサ、中国語 (簡体字)	68Y9457
Microsoft Windows 2008 Server Standard エディション 32/64 ビット、1 から 4 プロセッサ、マルチ言語	49Y0892
Microsoft Windows 2008 Server Standard エディション 32/64 ビット、1 から 4 プロセッサ、中国語 (簡体字)	49Y0893
Microsoft Windows 2008 Server Standard エディション 32/64 ビット、1 から 4 プロセッサ、中国語 (繁体字)	49Y0894
Microsoft Windows 2008 Enterprise エディション 32/64 ビット、1 から 8 プロセッサ、マルチ言語	49Y0895
Microsoft Windows 2008 Enterprise エディション 32/64 ビット、1 から 8 プロセッサ、中国語 (簡体字)	49Y0896

表 11. プロダクト・リカバリー CD、Type 7944 (続き)

説明	CRU 部品番号
Microsoft Windows 2008 Enterprise エディション 32/64 ビット、1 から 8 プロセッサ、中国語 (繁体字)	49Y0897
Microsoft Windows Server 2008 R2 Foundation エディション、英語	81Y2001
Microsoft Windows Server 2008 R2 Foundation エディション、フランス語	81Y2002
Microsoft Windows Server 2008 R2 Foundation エディション、ドイツ語	81Y2003
Microsoft Windows Server 2008 R2 Foundation エディション、スペイン語	81Y2004
Microsoft Windows Server 2008 R2 Foundation エディション、イタリア語	81Y2005
Microsoft Windows Server 2008 R2 Foundation エディション、ブラジル語	81Y2006
Microsoft Windows Server 2008 R2 Foundation エディション、ポーランド語	81Y2007
Microsoft Windows Server 2008 R2 Foundation エディション、ロシア語	81Y2008
Microsoft Windows Server 2008 R2 Foundation エディション、トルコ語	81Y2009
Microsoft Windows Server 2008 R2 Foundation エディション、日本語	81Y2010
Microsoft Windows Server 2008 R2 Foundation エディション、中国語 (簡体字)	81Y2011
Microsoft Windows Server 2008 R2 Foundation エディション、中国語 (繁体字)	81Y2012
Microsoft Windows Server 2008 R2 Foundation エディション、韓国語	81Y2013
Microsoft Windows Server 2008 R2 Foundation エディション、チェコ語	81Y2014
Microsoft Windows Server 2008 R2 Standard エディション、マルチ言語	81Y2015
Microsoft Windows Server 2008 R2 Standard エディション、中国語 (簡体字)	81Y2016
Microsoft Windows Server 2008 R2 Standard エディション、中国語 (繁体字)	81Y2017
Microsoft Windows Server 2008 R2 Enterprise エディション、マルチ言語	81Y2018
Microsoft Windows Server 2008 R2 Enterprise エディション、中国語 (簡体字)	81Y2019
Microsoft Windows Server 2008 R2 Enterprise エディション、中国語 (繁体字)	81Y2020
Microsoft Windows Server 2008 R2 Enterprise エディション、10 CAL、マルチ言語	81Y2021

表 11. プロダクト・リカバリー CD、Type 7944 (続き)

説明	CRU 部品番号
Microsoft Windows Server 2008 R2 Enterprise エディション、 10 CAL、中国語 (簡体字)	81Y2022
Microsoft Windows Server 2008 R2 Enterprise エディション、 10 CAL、中国語 (繁体字)	81Y2023
Microsoft Windows Server 2008 R2 SP1 Datacenter エディション、 マルチ言語	88Y7794
Microsoft Windows Server 2008 R2 SP1 Datacenter エディション、 チェコ語	88Y7795
Microsoft Windows Server 2008 R2 SP1 Datacenter エディション、 中国語 (繁体字)	88Y7796
Microsoft Windows Server 2008 R2 SP1 Foundation エディション、 英語	95Y3009
Microsoft Windows Server 2008 R2 SP1 Foundation エディション、 フランス語	95Y3010
Microsoft Windows Server 2008 R2 SP1 Foundation エディション、 ドイツ語	95Y3011
Microsoft Windows Server 2008 R2 SP1 Foundation エディション、 スペイン語	95Y3012
Microsoft Windows Server 2008 R2 SP1 Foundation エディション、 イタリア語	95Y3013
Microsoft Windows Server 2008 R2 SP1 Foundation エディション、 ブラジル語	95Y3014
Microsoft Windows Server 2008 R2 SP1 Foundation エディション、 ポーランド語	95Y3015
Microsoft Windows Server 2008 R2 SP1 Foundation エディション、 ロシア語	95Y3016
Microsoft Windows Server 2008 R2 SP1 Foundation エディション、 トルコ語	95Y3017
Microsoft Windows Server 2008 R2 SP1 Foundation エディション、 日本語	95Y3018
Microsoft Windows Server 2008 R2 SP1 Foundation エディション、 中国語 (簡体字)	95Y3020
Microsoft Windows Server 2008 R2 SP1 Foundation エディション、 中国語 (繁体字)	95Y3021
Microsoft Windows Server 2008 R2 SP1 Foundation エディション、 韓国語	95Y3022
Microsoft Windows Server 2008 R2 SP1 Foundation エディション、 チェコ語	95Y3023
Microsoft Windows Server 2008 R2 SP1 Enterprise エディション、 マルチ言語	95Y3024
Microsoft Windows Server 2008 R2 SP1 Enterprise エディション、 中国語 (簡体字)	95Y3025
Microsoft Windows Server 2008 R2 SP1 Enterprise エディション、 中国語 (繁体字)	95Y3026

表 11. プロダクト・リカバリー CD、Type 7944 (続き)

説明	CRU 部品番号
Microsoft Windows Server 2008 R2 SP1 Standard エディション、マルチ言語	95Y3027
Microsoft Windows Server 2008 R2 SP1 Standard エディション、中国語 (簡体字)	95Y3028
Microsoft Windows Server 2008 R2 SP1 Standard エディション、中国語 (繁体字)	95Y3029
Microsoft Windows Server 2008 R2 Standard エディション、マルチ言語	95Y3213
Microsoft Windows Server 2008 R2 Enterprise エディション、マルチ言語	95Y3214
Microsoft Windows Server 2012 Standard/Datacenter エディション、ブラジル・ポルトガル語	47C8611
Microsoft Windows Server 2012 Standard/Datacenter エディション、中国語 (簡体字)	47C8612
Microsoft Windows Server 2012 Standard/Datacenter エディション、中国語 (繁体字)	47C8613
Microsoft Windows Server 2012 Standard/Datacenter エディション、チェコ語	47C8614
Microsoft Windows Server 2012 Standard/Datacenter エディション、英語	47C8615
Microsoft Windows Server 2012 Standard/Datacenter エディション、フランス語	47C8616
Microsoft Windows Server 2012 Standard/Datacenter エディション、ドイツ語	47C8617
Microsoft Windows Server 2012 Standard/Datacenter エディション、イタリア語	47C8618
Microsoft Windows Server 2012 Standard/Datacenter エディション、日本語	47C8619
Microsoft Windows Server 2012 Standard/Datacenter エディション、韓国語	47C8620
Microsoft Windows Server 2012 Standard/Datacenter エディション、ポーランド語	47C8621
Microsoft Windows Server 2012 Standard/Datacenter エディション、ロシア語	47C8622
Microsoft Windows Server 2012 Standard/Datacenter エディション、スペイン語	47C8623
Microsoft Windows Server 2012 Standard/Datacenter エディション、スウェーデン語	47C8624
Microsoft Windows Server 2012 Standard/Datacenter エディション、トルコ語	47C8625
Microsoft Windows Server 2012 Foundation エディション、ブラジル・ポルトガル語	47C8626
Microsoft Windows Server 2012 Foundation エディション、中国語 (簡体字)	47C8627

表 11. プロダクト・リカバリー CD、Type 7944 (続き)

説明	CRU 部品番号
Microsoft Windows Server 2012 Foundation エディション、中国語 (繁体字)	47C8628
Microsoft Windows Server 2012 Foundation エディション、チェコ語	47C8629
Microsoft Windows Server 2012 Foundation エディション、英語	47C8630
Microsoft Windows Server 2012 Foundation エディション、フランス語	47C8631
Microsoft Windows Server 2012 Foundation エディション、ドイツ語	47C8632
Microsoft Windows Server 2012 Foundation エディション、イタリア語	47C8633
Microsoft Windows Server 2012 Foundation エディション、日本語	47C8634
Microsoft Windows Server 2012 Foundation エディション、韓国語	47C8635
Microsoft Windows Server 2012 Foundation エディション、ポーランド語	47C8636
Microsoft Windows Server 2012 Foundation エディション、ロシア語	47C8637
Microsoft Windows Server 2012 Foundation エディション、スペイン語	47C8638
Microsoft Windows Server 2012 Foundation エディション、スウェーデン語	47C8639
Microsoft Windows Server 2012 Foundation エディション、トルコ語	47C8640
Microsoft Windows Storage Server 2012、ブラジル・ポルトガル語	47C8641
Microsoft Windows Storage Server 2012、中国語 (簡体字)	47C8642
Microsoft Windows Storage Server 2012、中国語 (繁体字)	47C8643
Microsoft Windows Storage Server 2012、チェコ語	47C8644
Microsoft Windows Storage Server 2012、英語	47C8645
Microsoft Windows Storage Server 2012、フランス語	47C8646
Microsoft Windows Storage Server 2012、ドイツ語	47C8647
Microsoft Windows Storage Server 2012、イタリア語	47C8648
Microsoft Windows Storage Server 2012、日本語	47C8649
Microsoft Windows Storage Server 2012、韓国語	47C8650
Microsoft Windows Storage Server 2012、ポーランド語	47C8651
Microsoft Windows Storage Server 2012、ロシア語	47C8652
Microsoft Windows Storage Server 2012、スペイン語	47C8653
Microsoft Windows Storage Server 2012、スウェーデン語	47C8654
Microsoft Windows Storage Server 2012、トルコ語	47C8655

表 11. プロダクト・リカバリー CD、Type 7944 (続き)

説明	CRU 部品番号
Microsoft Windows Server 2012 Essentials エディション、ブラジル・ポルトガル語	47C9384
Microsoft Windows Server 2012 Essentials エディション、中国語 (簡体字)	47C9385
Microsoft Windows Server 2012 Essentials エディション、中国語 (繁体字)	47C9386
Microsoft Windows Server 2012 Essentials エディション、チェコ語	47C9387
Microsoft Windows Server 2012 Essentials エディション、英語	47C9388
Microsoft Windows Server 2012 Essentials エディション、フランス語	47C9389
Microsoft Windows Server 2012 Essentials エディション、ドイツ語	47C9390
Microsoft Windows Server 2012 Essentials エディション、イタリア語	47C9391
Microsoft Windows Server 2012 Essentials エディション、日本語	47C9392
Microsoft Windows Server 2012 Essentials エディション、韓国語	47C9393
Microsoft Windows Server 2012 Essentials エディション、ポーランド語	47C9394
Microsoft Windows Server 2012 Essentials エディション、ロシア語	47C9395
Microsoft Windows Server 2012 Essentials エディション、スペイン語	47C9396
Microsoft Windows Server 2012 Essentials エディション、スウェーデン語	47C9397
Microsoft Windows Server 2012 Essentials エディション、トルコ語	47C9398

電源コード

IBM は、IBM 製品を安全に使用するための、接地接続機構プラグ付き電源コードを提供しています。感電事故を避けるため、常に正しく接地されたコンセントで電源コードおよびプラグを使用してください。

IBM 電源コードの 部品番号	説明
39M5200	電源コード (4.3 m) 100 V: IEC320 C13 - NEMA 5-15P
39M5378	ジャンパー電源コード (4.3 m) 100-200 V/PDU: IEC320 C13 - IEC320 C14
39M5392	ジャンパー電源コード(2.8 m) 100-200 V/PDU: IEC320 C13 - IEC320 C20

第 5 章 コンポーネントの取り外しと交換

交換可能コンポーネントには、4 つのタイプがあります。

- **消耗品:** 消耗品 (寿命のあるバッテリーやプリンター・カートリッジなどのコンポーネント) の購入および交換はお客様の責任で行っていただきます。お客様の要請により IBM が消耗品コンポーネントの入手または取り付けを行った場合は、サービス料金を請求させていただきます。
- **Tier 1 の、お客様交換可能ユニット (CRU):** IBM が Tier 1 と指定する CRU の交換はお客様ご自身の責任で行っていただきます。お客様の要請により IBM が Tier 1 CRU の導入を行った場合は、その料金を請求させていただきます。
- **Tier 2 の、お客様交換可能ユニット (CRU):** IBM が Tier 2 と指定する CRU はお客様ご自身で取り付けることができますが、対象のサーバーに関して指定された保証サービスの種類に基づき、追加料金なしで IBM に取り付け作業を依頼することもできます。
- **現場交換可能ユニット (FRU):** FRU の取り付け作業は、トレーニングを受けたサービス技術員のみが行う必要があります。

コンポーネントが Tier 1 CRU、Tier 2 CRU、または FRU のいずれであるか判別するには、353 ページの『第 4 章 部品リスト、IBM System x3550 M3 Type 4254 および 7944』を参照してください。

保証の条件に関する情報については、サーバーに付属の資料「保証情報」を参照してください。

サービスと支援を受ける方法について詳しくは、519 ページの『ヘルプおよび技術サポートの入手』を参照してください。

取り付けのガイドライン

取り付けには、この情報を使用します。

重要: 電源がオンのサーバーの内部コンポーネントに静電気が放電すると、システムは停止することがあり、その結果データが失われる可能性があります。こうした潜在的な問題が起きないように、ホット・スワップ装置の取り付けまたは取り外しを行うときは、常に静電気放電用のリスト・ストラップを着用するか、またはその他の接地対策を採用してください。

オプション装置を取り付ける前に、以下の情報をお読みください。

- vii ページの『安全について』の『安全について』、370 ページの『電源オンされているサーバー内部での作業』のガイドライン、および 370 ページの『静電気に弱い装置の取り扱い』をお読みください。この情報は、安全に取り扱うために役立ちます。
- 取り付けるデバイスがサポートされていることを確認します。サーバーでサポートされているオプション装置のリストについては、<http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us/>を参照してください。

- 新規サーバーをインストールする場合は、最新のファームウェア更新をダウンロードし適用してください。この手順は、既知の問題に対処し、ご使用のサーバーを最高レベルの性能で作動可能にするために役立ちます。サーバーのファームウェア更新をダウンロードするには、<http://www.ibm.com/support/fixcentral/>に進みます。

重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションに対してサポートされていることを確認してください。

ファームウェアの更新、管理、およびデプロイ用のツールに関する追加情報については、ToolsCenter for System x and BladeCenter (<http://publib.boulder.ibm.com/infocenter/toolsctr/v1r0/>) を参照してください。

- オプションのハードウェアを取り付ける前に、サーバーが正常に作動していることを確認してください。サーバーを始動し、オペレーティング・システムがインストール済みのときはオペレーティング・システムが開始することを確認してください。あるいは、オペレーティング・システムがインストールされていない場合は、オペレーティング・システムはインストールされていないがサーバーは正常に作動していることを示すエラー・コード 19990305 が表示されることを確認してください。サーバーが正常に作動しない場合は、*IBM System x Documentation CD* に収録されている「問題判別の手引き」に記載の診断情報を参照してください。
- 作業を行う区域の整理整頓を心掛けてください。取り外したカバーやその他の部品は、安全な場所に置いてください。
- カバーを取り外した状態でサーバーを始動する必要がある場合は、サーバーの近くに誰もいないこと、および工具などがサーバー内部に残っていないことを確認してください。
- 自分 1 人では重すぎると思われる物体を持ち上げようとしないでください。重い物体を持ち上げる必要がある場合は、以下の予防措置に従ってください。
 - 足元が安全で、滑るおそれがないことを確認します。
 - 足の間でオブジェクトの重量が同量になるよう分散します。
 - ゆっくりとした持ち上げる力を使用します。重い物体を持ち上げるときは、決して身体を急に動かしたり、ひねったりしないでください。
 - 背筋を痛めないよう、脚の筋肉を使用して立ち上がるか、押し上げるようにして持ち上げます。
- サーバー、モニター、およびその他の装置用に、適切に接地されたコンセントの数量が十分にあることを確認してください。
- ディスク・ドライブを変更する前に、重要なデータはすべてバックアップします。
- 小さなマイナス・ドライバー、小さなプラス・ドライバー、および T8 TORX ドライバーを用意します。
- ホット・スワップ・パワー・サプライ、ホット・スワップ・ファン、またはホット・プラグ USB デバイスを取り付けたり、交換するのに、サーバーの電源をオフにする必要はありません。ただし、アダプター・ケーブルの取り外しや取り付けが必要なステップを実行する場合は、前もってサーバーの電源をオフにする必

要があります。また、ライザー・カードの取り外しや取り付けが必要なステップを実行する場合は、前もってサーバーから給電部を切り離しておく必要があります。

- コンポーネント上の青い表示はタッチ・ポイントを示しています。コンポーネントをサーバーから取り外したり、取り付けたりするとき、またはラッチを開閉するときなどは、このタッチ・ポイントをつかみます。
- コンポーネント上のオレンジ色の表示、またはコンポーネント上またはその付近にあるオレンジ色のラベルは、そのコンポーネントがホット・スワップ可能であることを示しています。ホット・スワップが可能な場合、サーバーとオペレーティング・システムがホット・スワップ機能をサポートしていれば、サーバーの稼働中でもそのコンポーネントの取り外しや取り付けを行うことができます。(オレンジ色の表示がホット・スワップ・コンポーネントのタッチ・ポイントを示す場合もあります。)それぞれのホット・スワップ・コンポーネントの取り外しまたは取り付け前に実行する必要がある追加手順については、そのコンポーネントの取り外しまたは取り付けの説明を参照してください。
- サーバーに対する作業が終了したら、安全用のシールド、ガード、ラベル、および接地ワイヤーをすべて再取り付けします。

システムの信頼性に関するガイドライン

システムの適切な冷却と信頼性を確保するために、以下の要件を満たしていることを確認してください。

システムの適切な冷却と信頼性を確保するために、以下の要件を満たしていることを確認してください。

- すべてのドライブ・ベイには、ドライブまたはフィラー・パネル、およびその中に電磁適合性 (EMC) シールドが取り付けられていること。
- サーバーに冗長電源がある場合、それぞれのパワー・サプライ・ベイにパワー・サプライが取り付けられている。
- サーバーの周囲に、サーバーが冷却システムを正しく作動させるための十分なスペースがある。約 50 mm の空きスペースをサーバーの前面および背面の周囲に確保してください。ファンの前には物を置かないでください。適切な冷却と空気の流れを確保するために、サーバーのカバーを元通りに取り付けてからサーバーの電源をオンにしてください。
- オプションのアダプターに付属する配線手順に従っている。
- 障害のあるファンを 48 時間以内に交換してある。
- ホット・スワップ・ファンは、取り外してから 30 分以内に再取り付けしてあります。
- ホット・スワップ・ドライブは、取り外してから 2 分以内に再取り付けを行う。
- エアー・バッフルを取り付けずにサーバーを作動させないこと。エアー・バッフルを取り付けずにサーバーを動作させると、マイクロプロセッサがオーバーヒートする原因となります場合があります。
- マイクロプロセッサ・ソケット 2 には、必ず、マイクロプロセッサ・バッフルか、またはマイクロプロセッサとヒートシンクが取り付けられている。
- 2 つ目のマイクロプロセッサ・オプションを取り付けた場合、6 つ目のファンが取り付け済みである。

電源オンされているサーバー内部での作業

電源をオンにしたサーバーの内部で作業を行うときは、この情報を使用します。

重要: 電源がオンのサーバーの内部コンポーネントに静電気が放電すると、サーバーは停止することがあり、その結果データが失われる可能性があります。こうした潜在的な問題が起きないように、電源をオンにしたサーバーの内部で作業を行うときは、常に静電気放電用のリスト・ストラップまたはその他の接地システムを使用してください。

このサーバーは、ホット・プラグ、ホット・アド、およびホット・スワップの部品をサポートし、サーバーの電源をオンにして、サーバー・カバーを取り外した状態で安全に作動するように設計されています。電源がオンになっているサーバー内部の作業を行うときは、次のガイドラインに従ってください。

- 腕の部分がゆったりした衣服を着用しないでください。サーバー内部の作業をする前に、長袖シャツのボタンを留めてください。サーバー内部の作業中はカフス・ボタンを着けないでください。
- サーバー内部にネクタイやスカーフが垂れ下がらないようにしてください。
- ブレスレット、ネックレス、リング、緩みのある腕時計などの装身具は外してください。
- サーバーの上に身体を乗り出したときに、シャツのポケットから落下する可能性があるペンや鉛筆などを取り出してください。
- 用紙クリップ、ヘア・ピン、ねじなどの金属製のものがサーバーの中へ落ちないようにしてください。

静電気に弱い装置の取り扱い

以下の情報を使用して、静電気に弱い装置を取り扱います。

重要: 静電気によってサーバーやその他の電子部品が損傷するおそれがあります。静電気による損傷を防止するために、静電気に弱い装置を取り付ける準備ができるまでは、帯電防止パッケージに入れておいてください。

静電気の放電による損傷のおそれを減らすために、次の注意事項を守ってください。

- 動きを制限する。動くと、周囲に静電気が蓄積されることがあります。
- 静電防止対策の採用が推奨されます。例えば、静電気放電用のリスト・ストラップがあればそれを着用してください。電源をオンにしたサーバーの内部で作業を行うときは、常に静電気放電用のリスト・ストラップを着用するか、またはその他の接地対策を採用してください。
- 部品は、縁またはフレームを持って慎重に取り扱ってください。
- はんだの接合部、ピン、または露出した回路には触れないでください。
- 部品は、他の人が触ったり、あるいは部品に損傷を与えたりできるような場所に放置しないでください。
- 部品を帯電防止パッケージに入れたまま、サーバーの外側の塗装されていない金属面に 2 秒以上接触させてください。これにより、パッケージとご自分の身体から静電気が排出されます。

- 部品をパッケージから取り出して、下に置かずに直接サーバーに取り付けてください。部品を下に置く必要がある場合は、その帯電防止パッケージに戻します。部品をサーバーのカバーや金属面の上には置かないでください。
- 寒い天候では、部品の取り扱いには特に注意してください。暖房で室内の湿度が下がり、静電気が増えるからです。

装置またはコンポーネントの返却

装置またはコンポーネントに返却の指示がある場合は、パッケージのしかたの説明に従い、配送されたときのパッケージ材を使用してください。

内部ケーブルのルーティングおよびコネクタ

以下の情報を使用して、ケーブル接続およびコネクタを確認します。

次の図は、2 本の SAS 信号ケーブル（ドライブ・ベイが 8 個のサーバー・モデルの場合）の内部配線およびコネクタを示しています。

注:

1. SAS 信号ケーブルを接続するには、必ず最初に信号ケーブルを、次に電源ケーブルと構成ケーブルを接続するようにしてください。
2. SAS 信号ケーブルを切り離すには、必ず最初に電源ケーブルを、次に信号ケーブルと構成ケーブルを切り離すようにしてください。

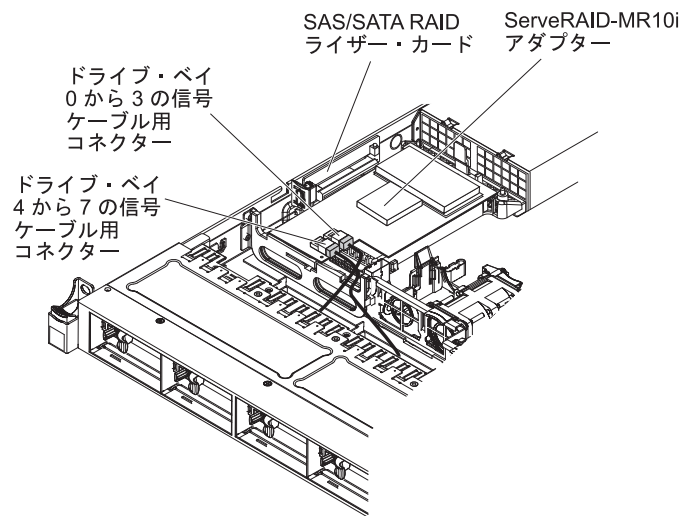


図 22. ServeRAID アダプター・ケーブルの接続

次の図は、オプションの光学式ドライブ・ケーブルに関する内部ルーティングおよびコネクタを示しています。

重要: オプションの光学式ドライブ・ケーブルを切り離すには、必ず最初にコネクタ・リリース・タブを押し、次にシステム・ボード上のコネクタからケーブルを切り離します。ケーブルを切り離すときは力を入れすぎないようにしてください。

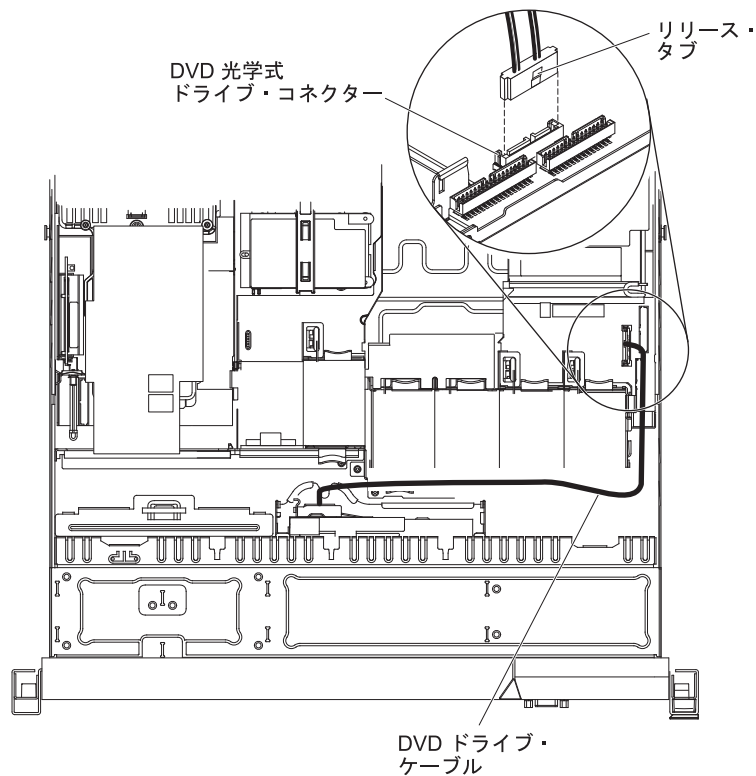


図 23. DVD ドライブのケーブル接続

次の図は、オペレーター情報パネルのケーブルに関する内部ルーティングおよびコネクタを示しています。以下の注意書きでは、オペレーター情報パネルのケーブルの取り付けまたは取り外しを行う際に考慮する必要がある追加情報を記載しています。

- オペレーター情報パネルのケーブルの取り付けまたは取り外しを行う前に、オプションの光学式ドライブのケーブルを取り外すことでスペースを確保することができます。
- オペレーター情報パネルのケーブルを取り外すには、ケーブルをシャーシ方向に少し押してから、システム・ボード上のコネクタからケーブルを引いて取り外します。過剰な力でケーブルをコネクタから引き抜くと、ケーブルあるいはコネクタが損傷する可能性があります。
- オペレーター情報パネルのケーブルシステム・ボードに接続するには、ケーブルを均等に押し込みます。ケーブルの片側だけを押し込むと、ケーブルあるいはコネクタが損傷する可能性があります。

重要: ケーブルの取り付けあるいは取り外しを慎重に行わないと、システム・ボード上のコネクタが損傷する可能性があります。コネクタが損傷すると、システム・ボードの交換が必要になる場合があります。

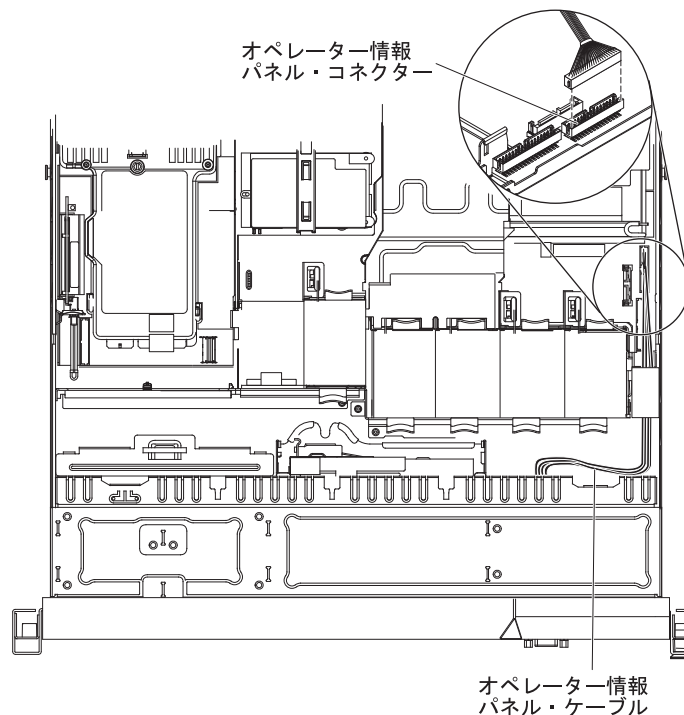


図 24. オペレーター情報パネルのケーブル接続

次の図で、USB/ビデオ・ケーブルの内部配線およびコネクタを示します。以下の注意書きでは、USB/ビデオ・ケーブルの取り付けまたは取り外しを行う際に考慮する必要がある追加情報を記載しています。

- オペレーター情報パネルのケーブルの取り付けまたは取り外しを行う前に、オプションの光学式ドライブのケーブルを取り外すことでスペースを確保することができます。
- USB/ビデオ・ケーブルは、ビデオ・ケーブルの下を通し、次に、USB ケーブルおよびビデオ・ケーブルはどちらもケーブル保持タブおよびトップ・カバー・ラッチ受けの下を通します。
- USB/ビデオ・ケーブルを取り外すには、ケーブルをシャーシ方向に少し押してから、システム・ボード上のコネクタからケーブルを引いて取り外します。過剰な力でケーブルをコネクタから引き抜くと、ケーブルあるいはコネクタが損傷する可能性があります。
- USB/ビデオ・ケーブルをシステム・ボードに接続するには、ケーブルを均等に押し込みます。ケーブルの片側だけを押しと、ケーブルあるいはコネクタが損傷する可能性があります。

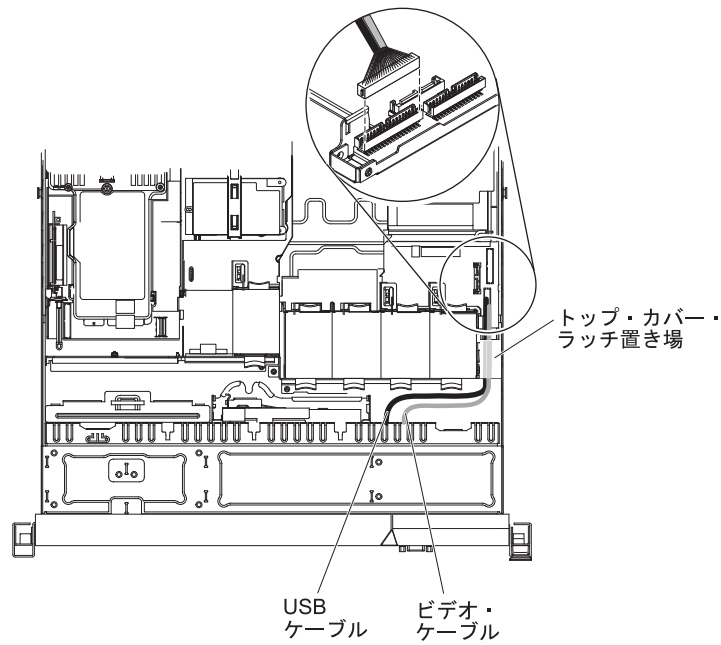


図 25. USB/ビデオ・ケーブルの接続

次の図で、SATA 電源ケーブルおよび信号ケーブルの内部配線を示します。

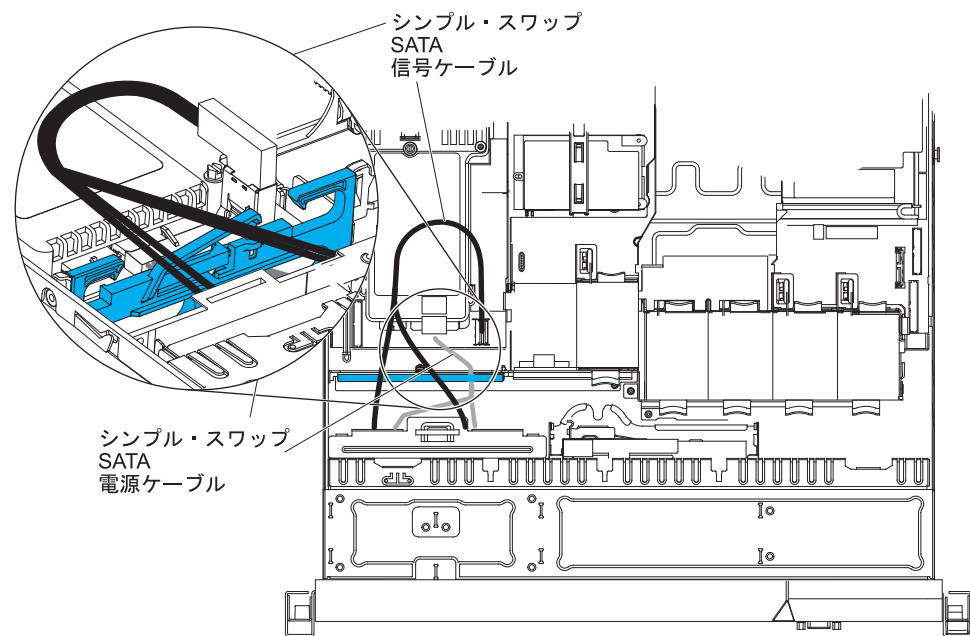


図 26. シンプル・スワップ・バックプレート・アセンブリーのケーブル接続

次の図は、SATA 電源ケーブル、SATA 信号ケーブル、および構成ケーブルの内部配線を示します。

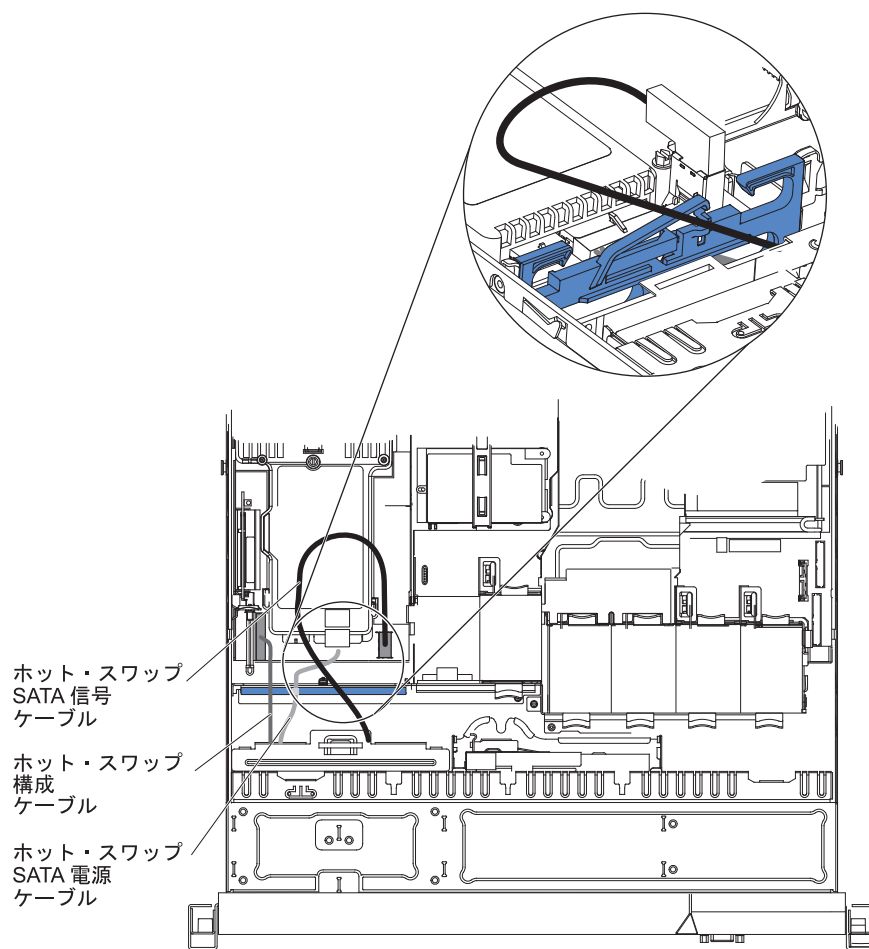


図 27. ホット・スワップ・バックプレーンのケーブル接続

消耗部品および Tier 1 CRU の取り外しと交換

消耗部品および Tier 1 CRU の交換はお客様の責任で行っていただきます。お客様の要請により IBM が消耗部品あるいは Tier 1 CRU の導入を行った場合は、その料金を請求させていただきます。

注: 本書の図は、ご使用のハードウェアと多少異なる場合があります。

カバーの取り外し

以下の情報を使用して、カバーを取り外します。

このタスクについて

サーバー・カバーを取り外すには、次のステップを行います。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 367 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーと周辺装置の電源をオフにして、必要に応じて電源コードとすべての外部ケーブルを切り離します。

注: 給電部からサーバーを切り離すと、LED が点灯しないために LED の表示ができなくなります。給電部を切り離す前に、オペレーター情報パネル、Light Path 診断パネル、およびサーバー内部のシステム・ボード上の LED を含めて、どの LED が点灯しているかをメモしておきます。

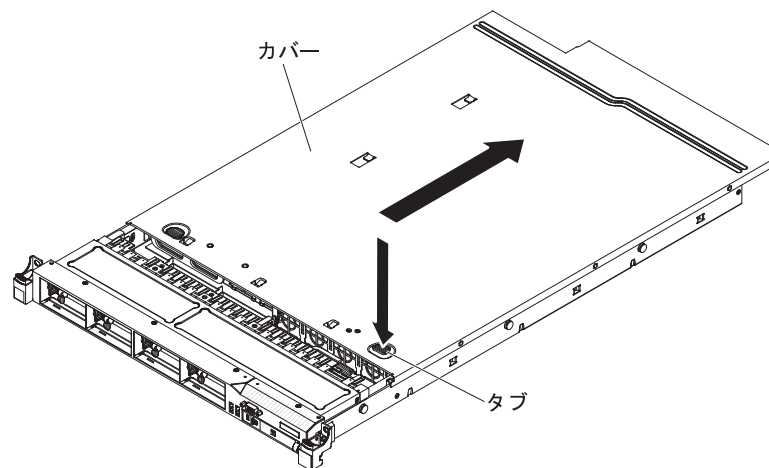


図 28. カバーの取り外し

3. サーバーがラックに取り付けられている場合は、サーバーをスライドさせて、ラック格納装置から出します。
4. カバー上部にある青色のタブ (サーバー前面付近にある) をしっかりと下に押し、カバーがシャーシから外れるまでサーバー背面の方にスライドさせます。
5. サーバー・カバーを引き上げてサーバーから外し、脇に置きます。

重要: 適切な冷却と空気の流れを確保するために、サーバーのカバーを元通りに取り付けてからサーバーの電源をオンにしてください。

カバーの取り付け

以下の情報を使用して、カバーを取り付けます。

このタスクについて

サーバー・カバーを取り付けるには、次のステップを行います。

手順

1. すべてのケーブル、アダプター、およびその他のコンポーネントが取り付けられて正しく装着されていること、およびサーバー内に緩んだままのツールまたは部品が残っていないことを確認します。また、すべての内部ケーブルが正しく配線されていることを確認します。

重要: カバーを前方にスライドさせる前に、カバーの前後、および側面にあるタブがすべてシャーシに正しくはめ込まれていることを確かめます。すべてのタブがシャーシと正しくかみ合っていないと、後でカバーを取り外すのが非常に困難になります。

2. カバーをサーバーの上部に位置付けます。

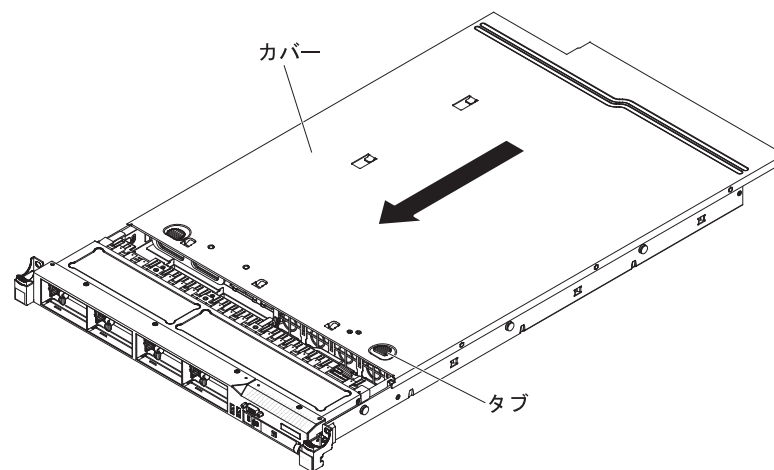


図 29. カバーの取り付け

3. カバーをサーバー前面方向にスライドさせます。
4. カバーがサーバー上のすべての差し込みタブときちんとかみ合っているかどうかを確認します。
5. サーバーをラックの奥までスライドさせると、ラッチが掛かります。
6. 外部ケーブルおよび電源コードを再接続します。

マイクロプロセッサ 2 エアー・バッフルの取り外し

以下の情報を使用して、マイクロプロセッサ 2 エアー・バッフルを取り外します。

このタスクについて

マイクロプロセッサ 2 エアー・バッフルを取り外すには、次のステップを行います。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 367 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離します。
3. カバーを取り外します (376 ページの『カバーの取り外し』を参照)。
4. パワー・サプライ・ケージ側面にある穴からタブが出てくることを確認しながら、エアー・バッフルを持ち上げます。次に、サーバーからエアー・バッフルを取り外し、脇に置きます。

重要: 冷却と通気を確保するため、サーバーの電源を入れる前にエアー・バッフルを元の位置に戻してください。エアー・バッフルを取り外したままサーバーを作動させると、サーバーのコンポーネントが損傷する可能性があります。

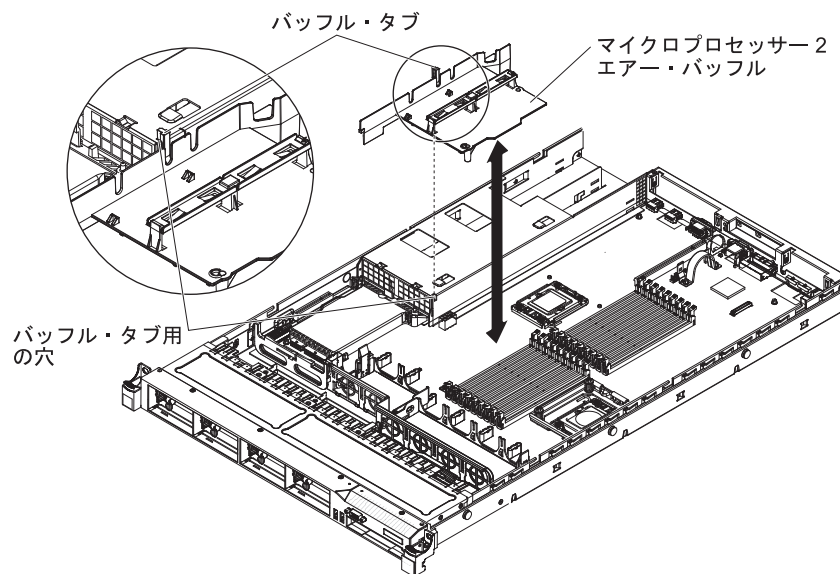


図 30. マイクロプロセッサ 2 エアー・バッフルの取り外し

マイクロプロセッサ 2 エアー・バッフルの取り付け

以下の情報を使用して、マイクロプロセッサ 2 エアー・バッフルを取り付けます。

このタスクについて

エアー・バッフルを取り付けるには、次のステップを実行してください。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 367 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. マイクロプロセッサ 2 のエアー・バッフル・タブをパワー・サプライ・ケーシング側面にある穴に位置を合わせします。次に、ケーシング上の穴にタブを挿入します (エアー・バッフルの前端部分が、ファン 6 の左側にある青色のタッチ・ポイント・タブとぴったりと合っていることを確認します)。エアー・バッフルを下に押し、しっかりと収まった状態にします。

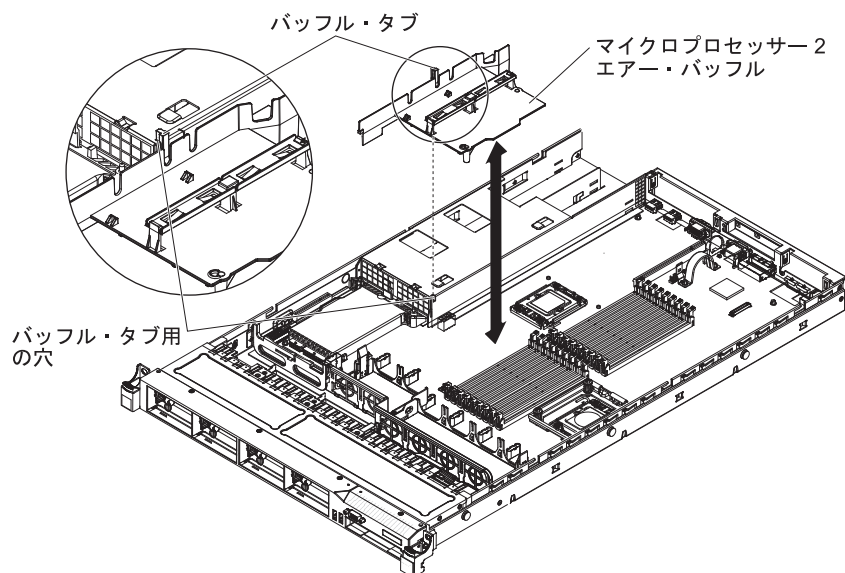


図 31. マイクロプロセッサ 2 エアー・バッフルの取り付け

3. カバーを取り付けます (377 ページの『カバーの取り付け』を参照)。
4. サーバーをスライドさせながらラックに差し込みます。
5. 取り外した電源コードおよびすべてのケーブルを再接続します。
6. 周辺装置とサーバーの電源をオンにします。

DIMM エアー・バッフルの取り外し

以下の情報を使用して、DIMM エアー・バッフルを取り外します。

このタスクについて

DIMM エアー・バッフルを取り外すには、次のステップを行います。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 367 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーと周辺装置の電源をオフにして、必要に応じてすべての電源コードと外部ケーブルを切り離します。
3. カバーを取り外します (376 ページの『カバーの取り外し』を参照)。
4. システム・ボード上のピン・ホールから、DIMM コネクター 8 の左側にピンが出てくることを確認しながら、DIMM エアー・バッフルをつかんで、バッフルを持ち上げます。

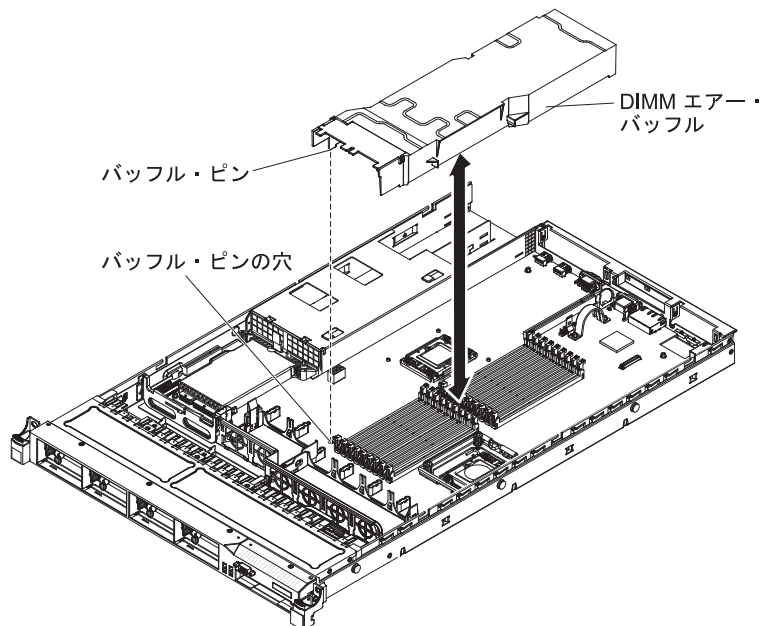


図 32. DIMM エアー・バッフルの取り外し

5. DIMM エアー・バッフルをサーバーから取り外して、脇に置きます。

重要: 適切な冷却と空気の流れを確保するために、エアー・バッフルを元通りに取り付けてからサーバーの電源をオンにしてください。エアー・バッフルを取り外したままサーバーを作動させると、サーバーのコンポーネントが損傷する可能性があります。

DIMM エアー・バッフルの取り付け

以下の情報を使用して、DIMM エアー・バッフルを取り付けます。

このタスクについて

DIMM エアー・バッフルを取り付けるには、次のステップを行います。

手順

1. エアー・バッフルの左側のバッフル・ピンがシステム・ボードの DIMM コネクター 8 の横にあるピン穴の位置と合うように DIMM エアー・バッフルを DIMM の上で位置合わせして、サーバーの中に下げて入れます。

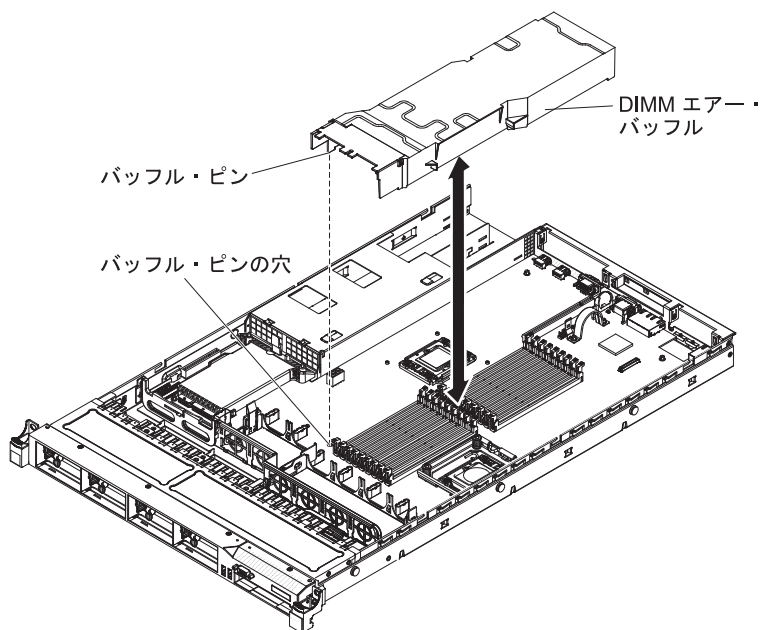


図 33. DIMM エアー・バッフルの取り付け

2. カバーを取り付けます。
3. サーバーをスライドさせながらラックに差し込みます。
4. 取り外した電源コードおよびすべてのケーブルを再接続します。
5. 周辺装置とサーバーの電源をオンにします。

重要: 適切な冷却と通気のために、サーバーの電源をオンにする前にエアー・バッフルを交換してください。エアー・バッフルを取り外したままサーバーを動作させると、サーバーのコンポーネントが損傷する可能性があります。

メモリー・モジュールの取り外し

以下の情報を使用して、メモリー・モジュールを取り外します。

このタスクについて

デュアル・インライン・メモリー・モジュール (DIMM) を取り外すには、次のステップを行います。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 367 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーと周辺装置の電源をオフにしてすべての電源コードを切り離します。
3. カバーを取り外します (376 ページの『カバーの取り外し』を参照)。
4. DIMM エアー・バッフルを取り外します (380 ページの『DIMM エアー・バッフルの取り外し』を参照)。
5. 慎重に DIMM コネクターの各端にある保持クリップを開き、DIMM を取り外します。

重要: 保持クリップが壊れたり、DIMM コネクターが損傷したりするのを防ぐため、クリップの開閉には注意してください。

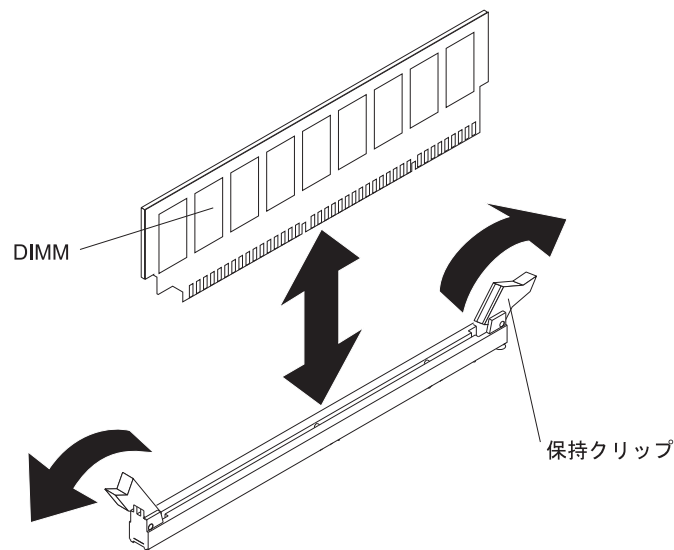


図 34. DIMM の取り外し

タスクの結果

DIMM の返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、パーツがお手元に届いたときの配送用パッケージ材がある場合は、それを使用して荷造りしてください。

メモリー・モジュールの取り付け

以下の注意書きは、サーバーがサポートする DIMM のタイプと、DIMM を取り付けの際に考慮すべきその他の情報についての説明です。

- DIMM の取り付けまたは取り外しを行うと、サーバー構成情報が変わります。サーバーを再始動すると、メモリー構成が変わったことを知らせるメッセージがシステムから表示されます。
- このサーバーは、業界標準の double-data-rate 3 (DDR3)、800、1066、または 1333 MHz、PC3-10600R-999、registered または unbuffered、synchronous dynamic random-access memory (SDRAM) エラー修正コード (ECC) 付きデュアル・インライン・メモリー・モジュール (DIMM) のみをサポートします。このサーバーに対してサポートされているメモリー・モジュールのリストについては、<http://www.ibm.com/supportportal/> を参照してください。
- DDR3 DIMM の仕様は、以下の形式で DIMM 上のラベルに記載されています。

ggg eRxff-PC3-wwwwwm-aa-bb-cc

ここで:

- *ggg* は、DIMM の合計容量です (たとえば 1GB、2GB、または 4GB)
- *e* はランク数です
 - 1 = single-rank
 - 2 = dual-rank
 - 4 = quad-rank
- *ff* はデバイス構成 (ビット幅) です
 - 4 = x4 構成 (SDRAM あたり 4 DQ ライン)
 - 8 = x8 構成
 - 16 = x16 構成
- *wwwww* は、DIMM 帯域幅 (Mbps 単位) です。
 - 6400 = 6.40 GBps (PC3-800 SDRAM、8 バイト基本データ・バス)
 - 8500 = 8.53 GBps (PC3-1066 SDRAM、8 バイト基本データ・バス)
 - 10600 = 10.66 GBps (PC3-1333 SDRAM、8 バイト基本データ・バス)
 - 12800 = 12.80 GBps (PC3-1600 SDRAMs、8 バイト基本データ・バス)
- *m* は、DIMM のタイプです。
 - E = ECC 付きの unbuffered DIMM (UDIMM) (x72 ビット・モジュール・データ・バス)
 - R = Registered DIMM (RDIMM)
 - U = ECC なし Unbuffered DIMM (x64 ビット基本データ・バス)
- *aa* は CAS 待ち時間で、最大動作周波数のクロック数で表します。
- *bb* は、JEDEC SPD 改訂エンコードおよび追加レベルです。
- *cc* は、DIMM 設計の参照設計ファイルです。
- *d* は、DIMM 参照設計の改訂番号です。

注: DIMM のタイプを判別するには、DIMM のラベルを見てください。ラベル上の情報は、xxxxx nRxxx PC3-xxxxx-xx-xx-xxx という形式です。6 番目の数値位置の数表示は、DIMM が single-rank (n=1) であるか、dual-rank (n=2) であるか、quad-rank (n=4) であることを示します。

- チャンネル内の DIMM 数に応じて、DDR3 DIMM の速度には以下の規則が適用されます。
 - チャンネルごとに 1 つの DIMM を取り付けた場合、メモリーは 1333 MHz で稼働します
 - チャンネルごとに 2 つの DIMM を取り付けた場合、メモリーは 1066 MHz で稼働します
 - チャンネルごとに 3 つの DIMM を取り付けた場合、メモリーは 800 MHz で稼働します
 - サーバー内のすべてのチャンネルは、最も高速な共通周波数で稼働します
 - Registered DIMM と Unbuffered DIMM を同一のサーバー内に混用して取り付けないでください
- メモリーの最大速度は、マイクロプロセッサ、DIMM 速度、およびチャンネルごとに取り付けられた DIMM の数の組み合わせによって決まります。
- two-DIMM-per-channel (チャンネルごとに 2 個の DIMM) 構成では、インテル Xeon X5600 シリーズのマイクロプロセッサを搭載したサーバーは、以下の条件のいずれかが満たされている場合、自動的に最大メモリー速度 1333 MHz で稼働します。
 - 2 個の 1.5 V single-rank または dual-rank RDIMM が同じチャンネルに取り付けられている。Setup ユーティリティーで、「**Memory speed**」が「**Max performance**」モードに設定されている。
 - 2 個の 1.35 V single-rank または dual-rank RDIMM が同じチャンネルに取り付けられている。Setup ユーティリティーで、「**Memory speed**」が「**Max performance**」モードに設定されており、「**LV-DIMM power**」が「**Enhance performance**」モードに設定されている。1.35 V の RDIMM は 1.5 V で作動します。
- このサーバーでは、最大で 18 個のシングル・ランクまたはデュアル・ランク RDIMM をサポートします。このサーバーは、最大 12 個の single-rank または dual-rank UDIMM、あるいは quad-rank RDIMM をサポートします。
- このサーバーは、チャンネルあたり 3 つのシングル・ランク DIMM またはデュアル・ランク DIMM をサポートします。このサーバーは、チャンネルごとに最大 2 個の quad-rank RDIMM をサポートします。次の表は、ランク指定された DIMM を使用して取り付けることができるメモリーの最大量の例を示しています。

表 12. 各ランクの DIMM を使用して取り付けられる最大メモリー

DIMM の数	DIMM のタイプ	DIMM サイズ	メモリー合計
12	single-rank UDIMM	2 GB	24 GB
12	dual-rank UDIMM	4 GB	48 GB
18	single-rank RDIMM	2 GB	36 GB
18	dual-rank RDIMM	2 GB	36 GB
18	dual-rank RDIMM	4 GB	72 GB
18	dual-rank RDIMM	8 GB	144 GB

表 12. 各ランクの DIMM を使用して取り付けられる最大メモリー (続き)

DIMM の数	DIMM のタイプ	DIMM サイズ	メモリー合計
12	quad-rank RDIMM	16 GB	192 GB
18	dual-rank RDIMM	16 GB	288 GB

- サーバーで使用可能な RDIMM オプションは、2 GB、4 GB、8 GB、および 16 GB です。サーバーは、RDIMM を使用して最小 2 GB、最大 288 GB のシステム・メモリーをサポートします。

32 ビット・オペレーティング・システムの場合のみ: 一部のメモリーがさまざまなシステム・リソース用に予約されるため、オペレーティング・システムでは使用できなくなります。システム・リソース用に予約されるメモリーの量は、オペレーティング・システム、サーバー構成、構成済みの PCI デバイスなどによって異なります。

- このサーバーで使用可能な UDIMM オプションは、2 GB および 4 GB です。このサーバーは、UDIMM の使用時には最小 2 GB、最大 48 GB のシステム・メモリーをサポートします。

注: 使用可能なメモリーの容量は、システム構成に応じて減少します。メモリーの一定容量はシステム・リソース用に予約されます。取り付けられているメモリーの合計容量および構成済みのメモリー容量を表示するには、Setup ユーティリティを実行します。追加情報については、486 ページの『サーバーの構成』を参照してください。

- それぞれのマイクロプロセッサごとに、最小 1 個の DIMM を取り付ける必要があります。例えば、サーバーに 2 つのマイクロプロセッサが取り付けられている場合は、最小 2 個の DIMM を取り付ける必要があります。ただし、システム・パフォーマンスを向上させるには、各マイクロプロセッサに少なくとも 3 個の DIMM を取り付けてください。
- サーバーが正常に作動することを確実にするためには、同一のチャンネル内の DIMM は同じタイプ (RDIMM または UDIMM) でなければなりません。
- チャンネルに quad-rank RDIMM を 1 つ取り付ける場合は、マイクロプロセッサから最も遠い DIMM コネクタに取り付けてください。
- 1 つのチャンネルに 1 個の quad-rank RDIMM を取り付け、別のチャンネルに 3 個の RDIMM を取り付けることはできません。

下図は、システム・ボード上の DIMM コネクタの位置を示しています。

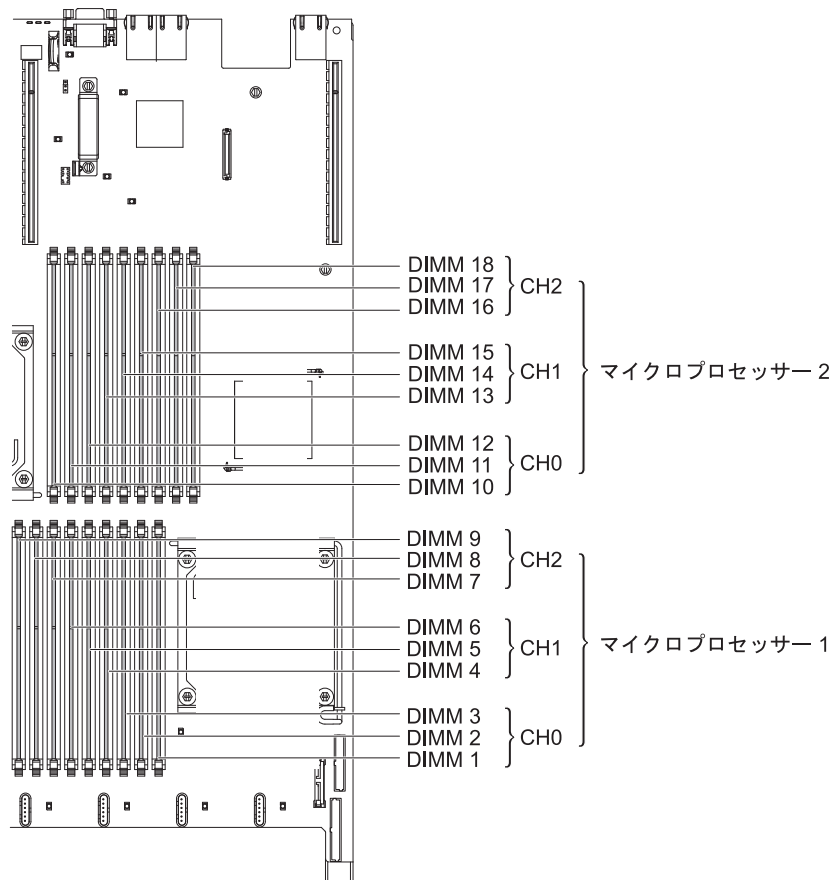


図 35. DIMM コネクタの位置

DIMM 取り付け順序

サーバー・モデルによって、サーバーには最小でスロット 3 に 1 つの 2GB または 4GB DIMM が取り付けられた状態で出荷されます。

追加の DIMM を取り付ける場合は、システムのパフォーマンスを最適化するために、以下の表に示されている順に取り付けてください。非ミラーリング・モードでは、各マイクロプロセッサのメモリー・インターフェース上の 3 つのチャネルはすべて任意の順序で使用でき、一致させる要件はありません。

表 13. 非ミラーリング (通常) モードの DIMM の取り付け順序

取り付け済みのマイクロプロセッサ	DIMM コネクタ取り付け順序
マイクロプロセッサ・ソケット 1	3, 6, 9, 2, 5, 8, 1, 4, 7
マイクロプロセッサ・ソケット 2	12, 15, 18, 11, 14, 17, 10, 13, 16

メモリー・ミラーリング

メモリー・ミラーリング・モードでは、同時に 2 つのチャンネル内で 2 対の DIMM にデータが複製されて保管されます。障害が発生すると、メモリー・コントローラーは、1 次ペアのメモリー DIMM からバックアップ・ペアの DIMM に切り替わります。

Setup ユーティリティを使ってメモリー・ミラーリングを使用可能にするには、「System Settings」 > 「Memory」の順に選択します。詳しくは、492 ページの『Setup ユーティリティの使用』を参照してください。メモリー・ミラーリング機能を使用する際、以下の情報を考慮してください。

- メモリー・ミラーリングを使用する場合は、DIMM をペアで同時に取り付ける必要があります。1 つの DIMM はチャンネル 0 に存在する必要があり、ミラーリング DIMM はチャンネル 1 の同スロットに存在する必要があります。各ペア内の 2 つの DIMM は、サイズ、タイプ、ランク (シングルまたはデュアル)、および編成で同じにする必要がありますが、速度は異なっても構いません。チャンネルは、どのチャンネルでも最遅の DIMM 速度で実行します。
- チャンネル 2、DIMM コネクタ 7、8、9、16、17、および 18 はメモリー・ミラーリング・モードでは使用されません。
- メモリー・ミラーリングが使用可能になっている場合は、最大使用可能メモリーが取り付けられたメモリーの半分に減少します。例えば、RDIMM を使用して 64 GB のメモリーを取り付ける場合、メモリー・ミラーリングを使用すると 32 GB のアドレス可能メモリーのみが使用できます。

下図には、ミラーリング・モードの場合の DIMM 取り付け順序が記載された、メモリー・チャンネル・インターフェース・レイアウトを記載してあります。ボックス内の番号はチャンネル内のペアでの DIMM 取り付け順序を示し、ボックスの横の番号はチャンネル内の DIMM コネクタを示します。例えば、下図は、DIMM の最初のペア (ボックス内に「1」で示す) は、チャンネル 0 の DIMM コネクタ 1 とチャンネル 1 の DIMM コネクタ 2 に取り付ける必要があることを示しています。チャンネル 2 の DIMM コネクタ 3、6、9、12、15、および 18 はメモリー・ミラーリング・モードでは使用されません。

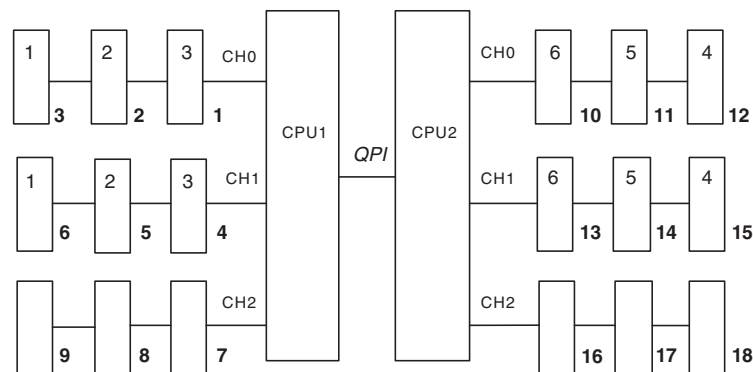


図 36. メモリー・チャンネル・インターフェースのレイアウト

次の表は、各メモリー・チャンネルの DIMM コネクタをリストしています。

表 14. 各メモリー・チャンネルのコネクター

メモリー・チャンネル	DIMM コネクター
チャンネル 0	1, 2, 3, 10, 11, 12
チャンネル 1	4, 5, 6, 13, 14, 15
チャンネル 2	7, 8, 9, 16, 17, 18

下図には、各マイクロプロセッサに関係するメモリー・コネクター・レイアウトを記載してあります。例えば、DIMM コネクター

10、11、12、13、14、15、16、17、および 18 (DIMM コネクターは各ボックスの下に示す) は、マイクロプロセッサ 2 (CPU2) に関連し、DIMM コネクター 1、2、3、4、5、6、7、8、および 9 は、マイクロプロセッサ 1 (CPU1) に関連しています。ボックス内の番号は、DIMM ペアの取り付け順序を示します。例えば、最初の DIMM ペア (ボックス内に「1」で示す) は DIMM コネクター 1 と 2 に取り付ける必要があります、マイクロプロセッサ 1 (CPU1) に関連します。

注: マイクロプロセッサ 2 を取り付けたらすぐにマイクロプロセッサ 2 の DIMM を取り付けることができます。マイクロプロセッサ 1 のすべての DIMM スロットが装着されるまで待つ必要はありません。

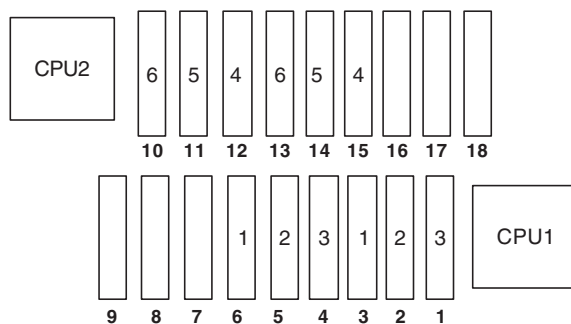


図 37. メモリー・ミラーリング用に各マイクロプロセッサに関連付けられているメモリー・コネクター

次の表は、メモリー・ミラーリング・モードの DIMM 取り付け順序を示しています。

表 15. メモリー・ミラーリング・モードの DIMM 取り付け順序

DIMM の数	取り付け済みのマイクロプロセッサ数	DIMM コネクター
最初の DIMM ペア	1	3, 6
2 番目の DIMM ペア	1	2, 5
3 番目の DIMM ペア	1	1, 4
4 番目の DIMM ペア	2	12, 15
5 番目の DIMM ペア	2	11, 14
6 番目の DIMM ペア	2	10, 13

表の注記: メモリー・ミラーリング・モードでは DIMM コネクター 7、8、9、16、17、および 18 は使用しません。

Online-spare メモリー

メモリー Online-spare 機能により、障害があるメモリーはシステム構成で使用不可にされ、Online-spare DIMM がアクティブにされて障害があるアクティブ DIMM と置き換えられます。

Setup ユーティリティーで Online-spare メモリーまたはメモリー・ミラーリングのいずれかを使用可能にすることができます (492 ページの『Setup ユーティリティーの使用』を参照)。メモリー Online-spare 機能を使用する場合は、以下の情報について考慮してください。

- メモリー Online-spare 機能は、インテル Xeon™ 5600 シリーズのマイクロプロセッサを搭載したサーバー・モデルでサポートされます。
- メモリー Online-spare 機能を使用可能にする場合は、マイクロプロセッサごとに同時に 3 個の DIMM を取り付ける必要があります。1 番目の DIMM はチャンネル 0、2 番目の DIMM はチャンネル 1、そして 3 番目の DIMM はチャンネル 2 に取り付けなければなりません。DIMM は同一のサイズ、タイプ、ランク、および編成でなければなりません。速度は同一である必要はありません。チャンネルは、どのチャンネルでも最遅の DIMM 速度で実行します。
- メモリー Online-spare モードが有効な場合、使用可能な最大メモリーは、取り付けられたメモリーの 2/3 に減少します。例えば、RDIMM を使用して 72 GB のメモリーを取り付ける場合、メモリー Online-spare を使用すると 48 GB のアドレス可能メモリーのみが使用できます。

下表は、メモリー Online-spare モードで各マイクロプロセッサごとの DIMM の取り付け順序を示しています。

表 16. メモリー Online-spare モードの DIMM の取り付け順序

取り付け済みのマイクロプロセッサ	DIMM コネクター
マイクロプロセッサ 1	3, 6, 9
	3, 6, 9, 2, 5, 8
	3, 6, 9, 2, 5, 8, 1, 4, 7
マイクロプロセッサ 2	12, 15, 18,
	12, 15, 18, 11, 14, 17,
	12, 15, 18, 11, 14, 17, 10, 13, 16

DIMM の取り付け

DIMM を取り付けるには、この情報を使用します。

このタスクについて

DIMM は、以下の手順で取り付けてください。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 367 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーと周辺装置の電源をオフにして、必要に応じて電源コードとすべての外部ケーブルを切り離します。
3. カバーを取り外します (376 ページの『カバーの取り外し』を参照)。
4. DIMM コネクター両端にある保持クリップを開きます。

重要: 保持クリップを破損したり、DIMM コネクターを損傷しないように、クリップは丁寧に開閉してください。

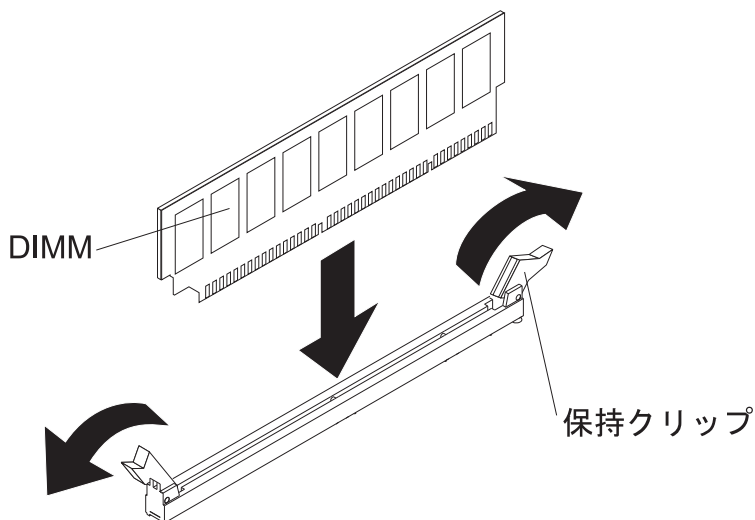


図 38. DIMM の取り付け

5. DIMM が入っている静電防止パッケージを、サーバーの外側の塗装されていない金属面に接触させます。次に DIMM をパッケージから取り出します。
6. DIMM のキーがコネクターの位置に正しく合うように、DIMM の方向を合わせます。
7. DIMM の端を DIMM コネクターの端にあるスロットに合わせて、DIMM をコネクターに差し込みます (DIMM コネクターの位置については、25 ページの『システム・ボードのオプション装置コネクター』を参照)。
8. DIMM の両端に同時に圧力を加えて、DIMM をコネクターにまっすぐ押し下げ、しっかり押し込みます。DIMM がコネクターにしっかり収まると、保持クリップがカチッという音を立て、ロック位置に固定されます。

注: DIMM と保持クリップの間にすき間がある場合は、DIMM が正しく挿入されていません。保持クリップを開いて DIMM を取り外し、挿入し直してください。

9. 取り外した電源コードおよびすべてのケーブルを再接続します。
10. カバーを取り付け直します (377 ページの『カバーの取り付け』を参照)。
11. 周辺装置とサーバーの電源をオンにします。

ホット・スワップ・ハード・ディスクの取り外し

ホット・スワップ・ハード・ディスクを取り外すには、この情報を使用します。

このタスクについて

重要:

- ハード・ディスク・コネクタを損傷しないように、ハード・ディスクを取り付けるか取り外すときは必ず、サーバー・カバーが定位置にあり、完全に閉じていることを確認します。
- システムを適切に冷却するために、各ベイにハード・ディスクかフィラー・パネルを取り付けられない状態で、2 分を超えてサーバーを動作させないでください。
- ハード・ディスク、ハード・ディスク・コントローラー (システム・ボードに内蔵されているコントローラーを含む)、ハード・ディスク・バックプレーン、またはハード・ディスク・ケーブルを変更する前に、ハード・ディスクに保管されている重要なデータをすべてバックアップしてください。
- RAID アレイのコンポーネントを取り外す前に、RAID 構成情報をすべてバックアップしてください。

ホット・スワップ・ハード・ディスクを取り外すには、次のステップを行います。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 367 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. ドライブが RAID アレイの一部である場合は特に、サーバーからドライブを取り外す前にドライブ上のデータを保存したことを確認してください。
3. オレンジ色のリリース・ラッチをゆっくり左方向にスライドさせて、ドライブ・ハンドルをロック解除します。

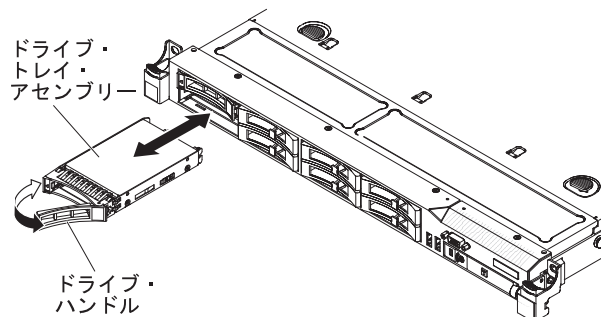


図 39. ホット・スワップ・ハード・ディスクの取り外し

4. このハンドルをつかんで、ドライブをスライドさせてドライブ・ベイから外に出します。

タスクの結果

DIMM の返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、パーツがお手元に届いたときの配送用パッケージ材がある場合は、それを使用して荷造りしてください。

ホット・スワップ・ハード・ディスクの取り付け

ホット・スワップ・ハード・ディスクを取り付けるには、この情報を使用します。

このタスクについて

以下の注記には、このサーバーがサポートするハード・ディスクのタイプと、ハード・ディスクの取り付け時に考慮すべきその他の情報が記載されています。

- この章の説明のほかに、ハード・ディスクに付属の資料に記載されている説明に従ってください。
- ドライブに付属の説明書で指定されたすべてのケーブルと他の装置が揃っているかどうかを確認します。
- ドライブを取り付ける対象のベイを選択します。
- ドライブのスイッチまたはジャンパーを設定する必要があるかどうか判断するために、ドライブに付属の説明書を調べます。SAS または SATA 装置を取り付ける場合は、その装置の SAS または SATA ID を必ず設定してください。
- このサーバーでは、2.5 型のホット・スワップ SAS またはホット・スワップ SATA ハード・ディスクを最大 8 個までサポートします。
- サーバーの電磁気干渉 (EMI) 保全性と冷却を保護するには、すべてのベイと PCI スロットおよび PCI Express スロットがカバーされているか、占有されている必要があります。ドライブ、PCI アダプター、または PCI Express アダプターを取り付ける場合、EMC シールドとフィラー・パネルを、ベイまたは PCI アダプターあるいは PCI Express アダプターのスロット・カバーから外して保管しておきます。後でそのデバイスを取り外した時に使用するためです。
- サーバーでサポートされているオプション装置の完全なリストについては、<http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us/>を参照してください。

2.5 型ホット・スワップ SAS または SATA ハード・ディスクを取り付けるには、次のステップを行います。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 367 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. 空のドライブ・ベイからフィラー・パネルを取り外します。
3. ドライブを収納している帯電防止パッケージを、サーバーの塗装されていない金属面に接触させてから、パッケージからドライブを取り出し、帯電防止面にそれを置きます。
4. 次のようにして、ドライブ・ベイにハード・ディスクを取り付けます。
 - a. 必ず、トレイ・ハンドルを「開 (ロック解除)」位置にします。

- b. ドライブ・アセンブリーをベイ内のガイド・レールと揃えます。

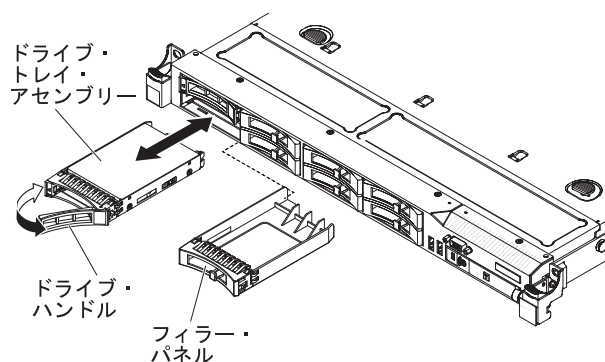


図 40. ホット・スワップ・ハード・ディスクの取り付け

- c. ドライブ・アセンブリーを、ドライブが停止するまで静かにベイに挿入します。
- d. 「閉 (ロック)」位置にトレイ・ハンドルを回します。
- e. ハード・ディスク状況 LED を調べ、ハード・ディスクが正常に動作しているかどうかを確認します。あるドライブ用のオレンジ色のハード・ディスク状況 LED が継続的に点灯している場合、そのドライブには障害があり、交換する必要があります。緑色のハード・ディスク活動 LED が点滅している場合、そのドライブはアクセス中です。

注: ServeRAID アダプターを使用してサーバーを RAID 操作用に構成する場合、ハード・ディスクの取り付け後にディスク・アレイを再構成する必要がある可能性があります。RAID 操作の詳細と、ServeRAID アダプターを使用するための詳細な説明に関しては、ServeRAID アダプターの資料を参照してください。

5. 追加のホット・スワップ・ハード・ディスクを取り付けようとしている場合は、ここでそれを行います。
6. 周辺装置とサーバーの電源をオンにします。

ホット・スワップ・ハード・ディスクの ID

各ドライブに割り当てられたホット・スワップ・ドライブ ID はサーバーの前面に印刷されています。

下図には、ハード・ディスクの ID 位置が記載されています。ID 番号とドライブ・ベイ番号は同じです。

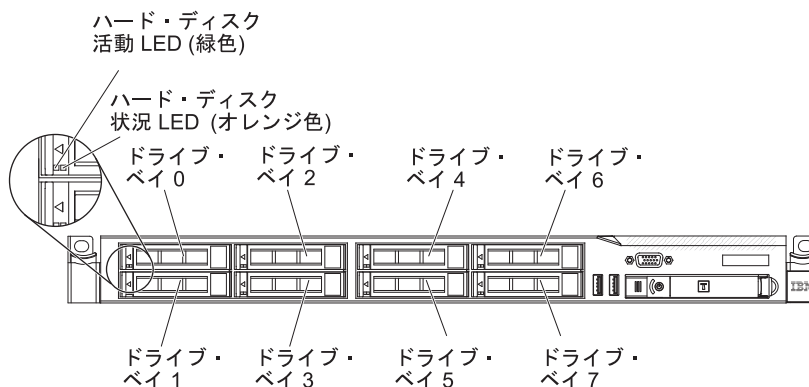


図 41. ホット・スワップ・ハード・ディスク ID

シンプル・スワップ・ハード・ディスクの取り外し

以下の情報を使用して、シンプル・スワップ・ハード・ディスクを取り外します。

このタスクについて

シンプル・スワップ・ドライブをサーバーから取り外すときは、事前にサーバーの電源をオフにする必要があります。シンプル・スワップ SATA ハード・ディスクを取り外すには、次のステップを行います。

重要:

- ハード・ディスク・コネクタを損傷しないように、ハード・ディスクを取り付けるか取り外すときは必ず、サーバー・カバーが定位置にあり、完全に閉じていることを確認します。
- システムを適切に冷却するために、各ベイにハード・ディスクかフィラー・パネルを取り付けない状態で、2 分を超えてサーバーを動作させないでください。

シンプル・スワップ・ハード・ディスクを取り外すには、次のステップを行います。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 367 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離します。
3. ドライブ・ベイからフィラー・パネルを取り外します。
4. 指で黒いドライブ・ハンドルをつかみながら、別の指で青色のリリース・ラッチを右側へスライドさせてドライブを解放し、ハード・ディスクをドライブ・ベイから引き出します。

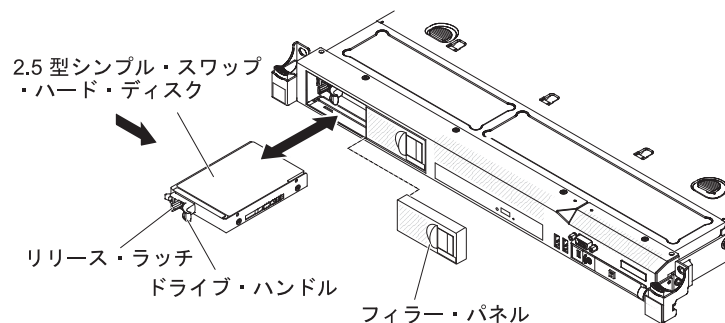


図 42. シンプル・スワップ・ハード・ディスクの取り外し

タスクの結果

シンプル・スワップ・ドライブの返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、パーツがお手元に届いたときの配送用パッケージ材がある場合は、それを使用して荷造りしてください。

シンプル・スワップ・ハード・ディスクの取り付け

シンプル・スワップ・ハード・ディスクを取り付けるには、この情報を使用します。

このタスクについて

シンプル・スワップ・サーバー・モデルは、サーバー前面からアクセス可能な最大 4 つの 2.5 型シンプル・スワップ SATA ハード・ディスクをサポートします。サーバーにシンプル・スワップ・ドライブを取り付ける際には、事前にサーバーの電源をオフにする必要があります。シンプル・スワップ SATA ハード・ディスクを取り付ける前に、以下の情報をお読みください。

- この章の説明のほかに、ハード・ディスクに付属の資料に記載されている説明に従ってください。
- ドライブに付属の説明書で指定されたすべてのケーブルと他の装置が揃っているかどうかを確認します。
- ドライブを取り付ける対象のベイを選択します。
- ドライブのスイッチまたはジャンパーを設定する必要があるかどうか判断するために、ドライブに付属の説明書を調べます。SATA デバイスを取り付けようとしている場合、必ず、そのデバイス用の SATA ID を設定します。
- このサーバーに取り付けられるのは、最大 4 つの 2.5 型シンプル・スワップ SATA ハード・ディスクです。ホット・スワップ・ドライブをシンプル・スワップ・サーバー・モデルに取り付けしないでください。ホット・スワップ・ドライブはサポートされていません。
- ハード・ディスクをドライブに取り付ける際は、ベイ 0 からベイ 1、2、3 と順番に取り付けていきます。
- サーバーのシンプル・スワップ・モデルは、ハイパーバイザー USB フラッシュ・デバイスをサポートしません。また、SAS/SATA ライザー・カードの取り付けもサポートされていません。

- シンプル・スワップ・サーバー・モデルは、RAID を使用しない構成のみのご提供となります。
- サーバーの電磁気干渉 (EMI) 保全性と冷却を保護するには、すべてのベイと PCI スロットおよび PCI Express スロットがカバーされているか、占有されている必要があります。ドライブ、PCI アダプター、または PCI Express アダプターを取り付ける場合、EMC シールドとフィラー・パネルを、ベイまたは PCI アダプターあるいは PCI Express アダプターのスロット・カバーから外して保管しておきます。後でそのデバイスを取り外した時に使用するためです。
- サーバーでサポートされているオプション装置の完全なリストについては、<http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us/>を参照してください。

2.5 型シンプル・スワップ SATA ハード・ディスクを取り付けるには、次のステップを行います。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 367 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. 空のドライブ・ベイからフィラー・パネルを取り外します。
3. ドライブを収納している帯電防止パッケージを、サーバーの塗装されていない金属面に接触させてから、パッケージからドライブを取り出し、帯電防止面にそれを置きます。
4. 次のようにして、ドライブ・ベイにハード・ディスクを取り付けます。
 - a. 黒いドライブ・ハンドルをつかみ、青色のリリース・ラッチを右にスライドさせたら、ドライブ・アセンブリーをベイ内のガイド・レールと揃えます。

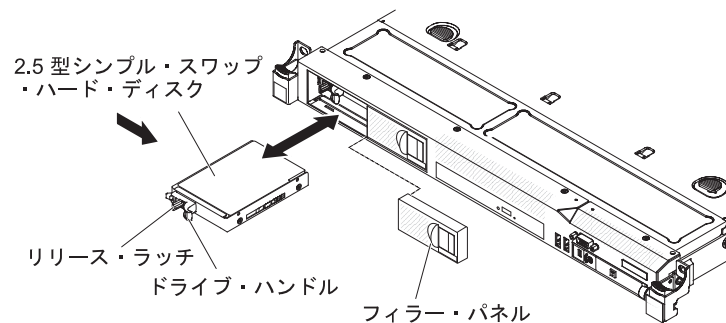


図 43. シンプル・スワップ・ハード・ディスクの取り付け

- b. ドライブ・アセンブリーを、ドライブが停止するまで静かにベイに挿入します。
5. 前の手順で取り外したドライブ・ベイ・フィラー・パネルを再度取り付けます。
 6. 追加のシンプル・スワップ・ハード・ディスクを取り付けようとしている場合は、ここでそれを行います。
 7. 周辺装置とサーバーの電源をオンにします。

シンプル・スワップ・ハード・ディスクの ID

各ドライブに割り当てられたシンプル・スワップ・ドライブ ID はサーバーの前面に印刷されています。

下図には、ハード・ディスクの ID 位置が記載されています。ID 番号とドライブ・ベイ番号は同じです。

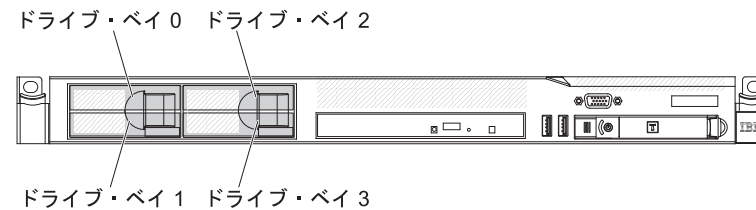


図 44. シンプル・スワップ・ハード・ディスクの ID

オプションの DVD ドライブの取り外し

オプション DVD ドライブを取り外すには、この情報を使用します。

このタスクについて

オプションの DVD ドライブを取り外すには、次のステップを行います。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 367 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーと周辺装置の電源をオフにしてすべての電源コードを切り離します。
3. カバーを取り外します (376 ページの『カバーの取り外し』を参照)。
4. リリース・タブを下に押したままの状態、ドライブを背面から押して、ベイからスライドさせて取り出します。

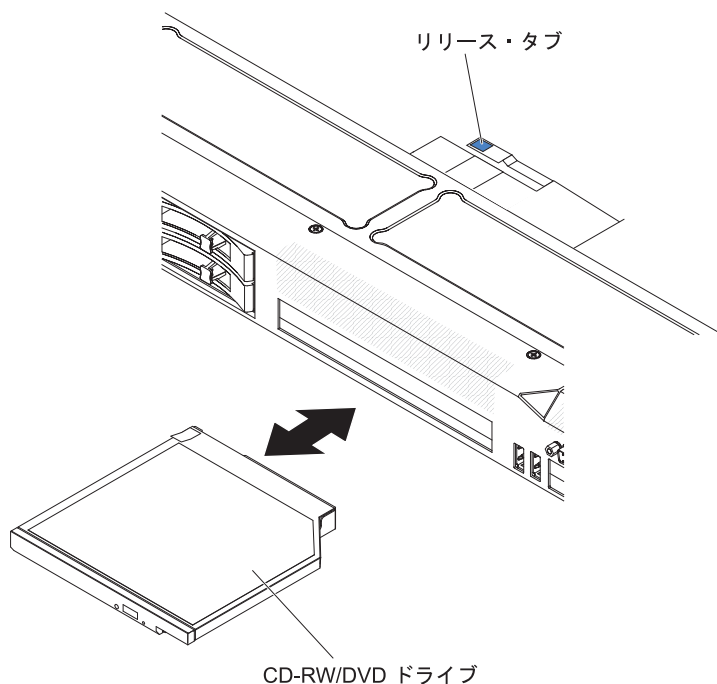


図 45. DVD ドライブの取り外し

5. ドライブ保持クリップをスライドさせて、ドライブ側面から外します。交換用ドライブの取り付けまたは DVD ドライブ・フィラー・パネルの交換時に使用するために、このクリップを保管しておきます。

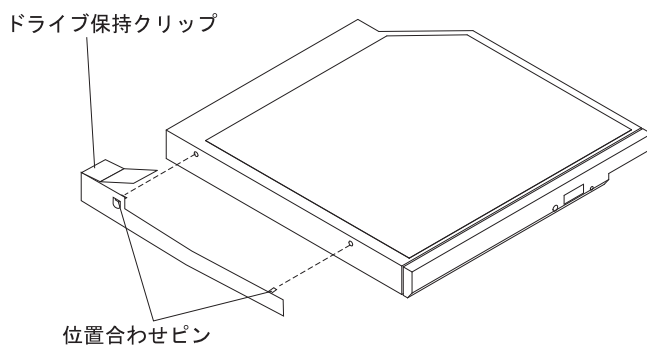
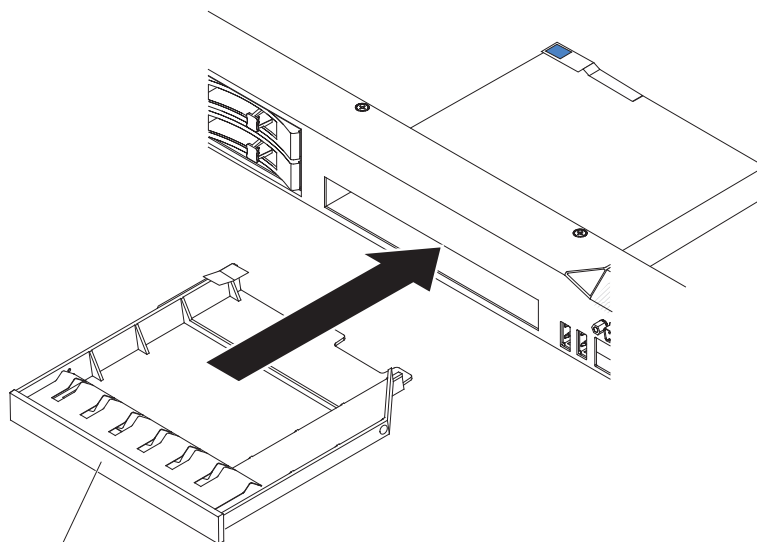


図 46. DVD ドライブ保持クリップの取り付け

6. ステップ 6 (400 ページ) で取り外した DVD ドライブ・フィラー・パネルの側面にドライブ保持クリップを取り付けます。
7. DVD ドライブ・フィラー・パネルがカチッと音がして所定の位置に収まるまで、DVD ドライブ・ベイにスライドさせます。



DVD ドライブ・フィラー・パネル

図 47. DVD ドライブ・フィラー・パネルの取り付け

タスクの結果

DVD ドライブの返却を指示された場合は、梱包の指示に従って、提供されている配送用の梱包材を使用してください。

オプション DVD ドライブの取り付け

オプション DVD ドライブを取り付けるには、この情報を使用します。

このタスクについて

以下の注記には、このサーバーがサポートする CD/DVD ドライブのタイプと、CD/DVD ドライブの取り付け時に考慮すべきその他の情報が記載されています。

- この章の説明のほかに、ドライブに付属の資料に記載されている説明に従ってください。
- ドライブに付属の説明書で指定されたすべてのケーブルと他の装置が揃っているかどうかを確認します。
- このサーバーでは、1 台のウルトラ・スリム SATA 光学式ドライブをサポートします。

オプションの DVD ドライブを取り付ける必要がある場合は、次のステップを行います。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 367 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離します。
3. カバーを取り外します (376 ページの『カバーの取り外し』を参照)。

4. ご使用のサーバーに光学式ドライブ・ベイが取り付けられていない場合は、光学式ドライブ・ケージを取り付けてベゼルを再取り付けします（447 ページの『オプションの光学式ドライブ・ケージの取り付け』 および 445 ページの『ベゼルの取り付け』を参照）。
5. DVD ドライブ・ケーブルを切り離します（448 ページの『DVD ケーブルの取り外し』を参照）。
6. DVD ドライブ・フィラー・パネルが取り付けられている場合は取り外します。DVD ドライブ・フィラー・パネルの背面にある青色のリリース・タブを見つけて、そのタブを押しながら DVD ドライブ・フィラー・パネルをドライブ・ベイから押し出します。

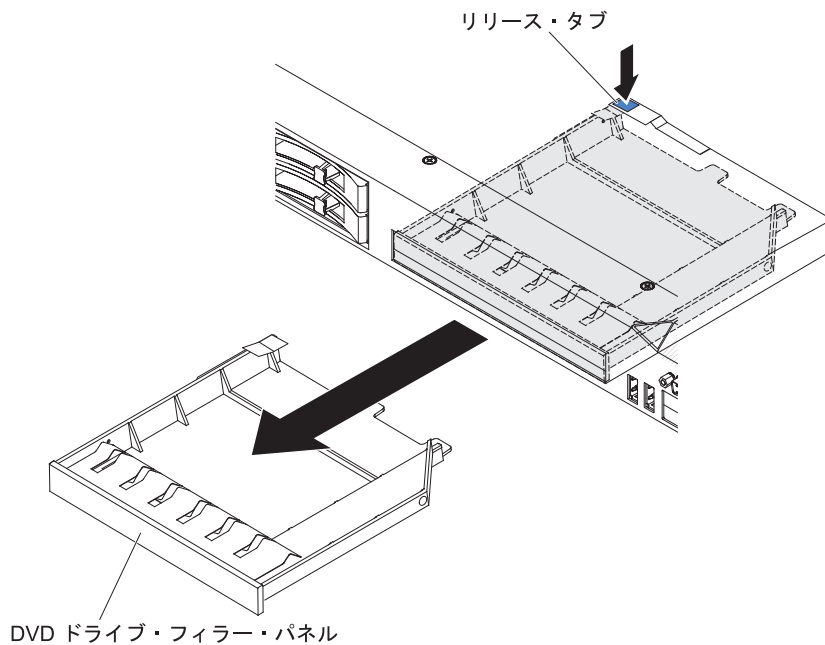


図 48. DVD ドライブ・フィラー・パネルの取り外し

7. DVD ドライブ・フィラー・パネル側面から保持クリップを取り外します。将来の利用に備えて、DVD ドライブ・フィラー・パネルを保管します。

注: レーザーを含む光学式ドライブを取り付けている場合は、以下の安全上の予防措置を守ってください。

安全 3



注意:

レーザー製品 (CD-ROM、DVD ドライブ、光ファイバー装置、または送信機など) を取り付ける場合には以下のことに注意してください。

- カバーを外さないこと。カバーを取り外すと有害なレーザー光を浴びることがあります。この装置の内部には保守が可能な部品はありません。
- 本書に記述されていないコントロールや調整を使用したり、本書に記述されていない手順を実行すると、有害な光線を浴びることがあります。



危険

一部のレーザー製品には、クラス 3A またはクラス 3B のレーザー・ダイオードが組み込まれています。次のことに注意してください。

カバーを開くとレーザー光線の照射があります。光線を見つめたり、光学装置を用いて直接見たり、光線を直接浴びることは避けてください。



クラス 1 レーザー製品
Laser Klasse 1
Laser Klass 1
Luokan 1 Laserlaite
Appareil À Laser de Classe 1

8. 新しい光学式ドライブを収納している帯電防止パッケージを、サーバーの塗装されていない金属面に接触させてから、パッケージからドライブを取り出し、帯電防止面にそれを置きます。
9. ジャンパーまたはスイッチを設定するには、ドライブに付属の説明書に従ってください。
10. DVD ドライブ・フィラー・パネルから取り外したドライブの保持クリップを、新しい DVD ドライブの側面に取り付けます。

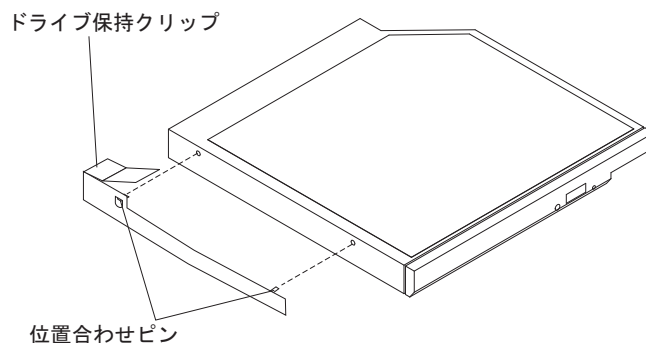


図 49. DVD ドライブ保持クリップの取り付け

11. DVD ドライブをドライブ・ベイに位置合わせし、光学式ドライブ・ベイに DVD ドライブをスライドさせて、DVD ドライブを定位置にはめ込みます。

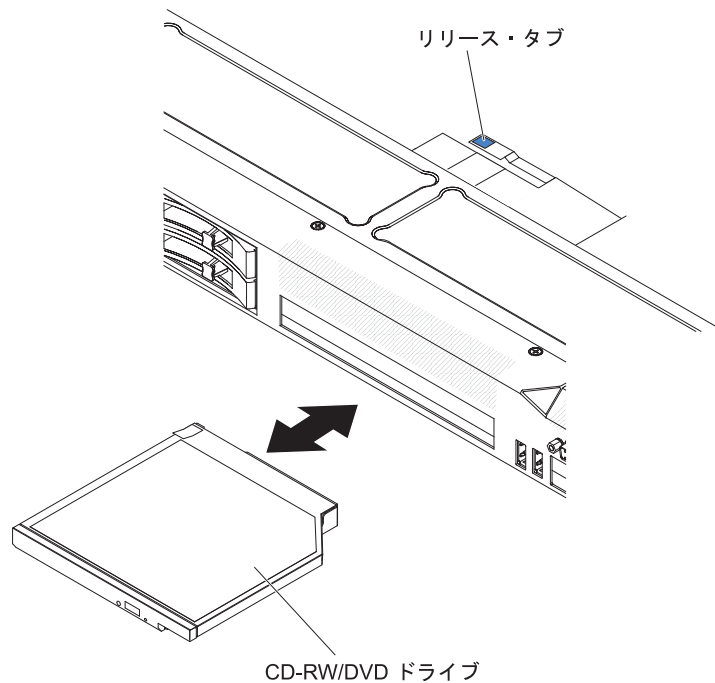


図 50. DVD ドライブの取り付け

12. DVD ドライブ・ケーブルを接続します (450 ページの『DVD ケーブルの取り付け』を参照)。下図には、DVD ドライブ用のケーブル配線を記載してあります。

注: 3 本のケーブル (DVD ケーブル、オペレーション情報パネル・ケーブル、Video/USB ケーブル) をすべてサーバーに取り付ける場合、CD/DVD ケーブルは、オペレーション情報パネル・ケーブル (このケーブルは真ん中) と Video/USB ケーブル (このケーブルが一番下) の上に配線する必要があります。

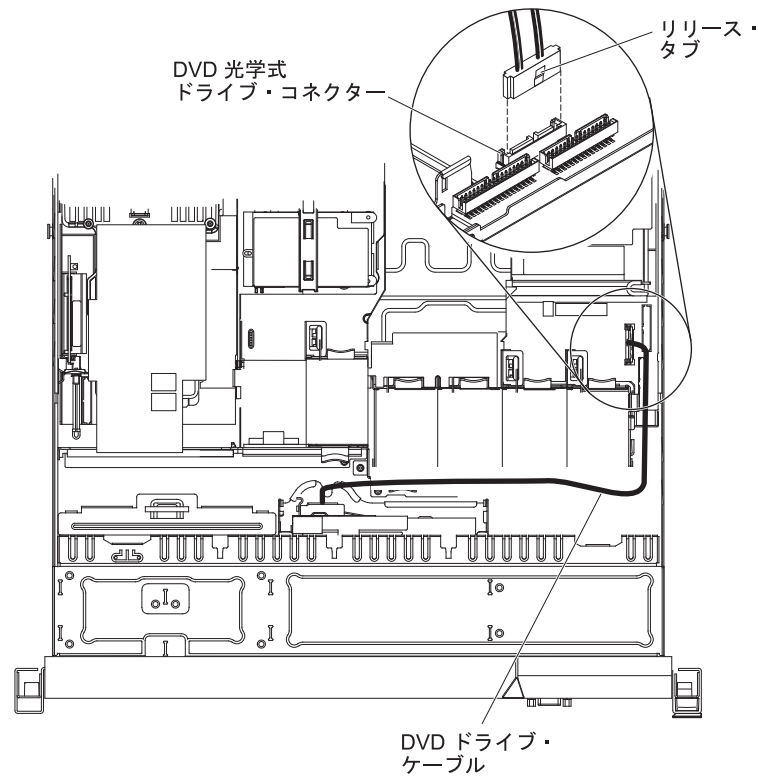


図 51. DVD ドライブのケーブル接続

13. 取り外した電源コードおよびすべてのケーブルを再接続します。
14. 周辺装置とサーバーの電源をオンにします。

アダプターの取り外し

アダプターを取り外すには、この情報を使用します。

このタスクについて

アダプターを取り外すには、次のステップを行います。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 367 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーと周辺装置の電源をオフにしてすべての電源コードを切り離します。
3. カバーを取り外します (376 ページの『カバーの取り外し』を参照)。
4. アダプターからケーブルをすべて切り離します。
5. ライザー・カード・アセンブリーを後部エッジでつかみ、持ち上げてライザー・カード・アセンブリーを取り外します。
6. ライザー・カード・アセンブリーを平らな静電防止板の上に置きます。
7. アダプターの上端または上部の隅を慎重につかみ、ライザー・カード・アセンブリーから引き抜きます。

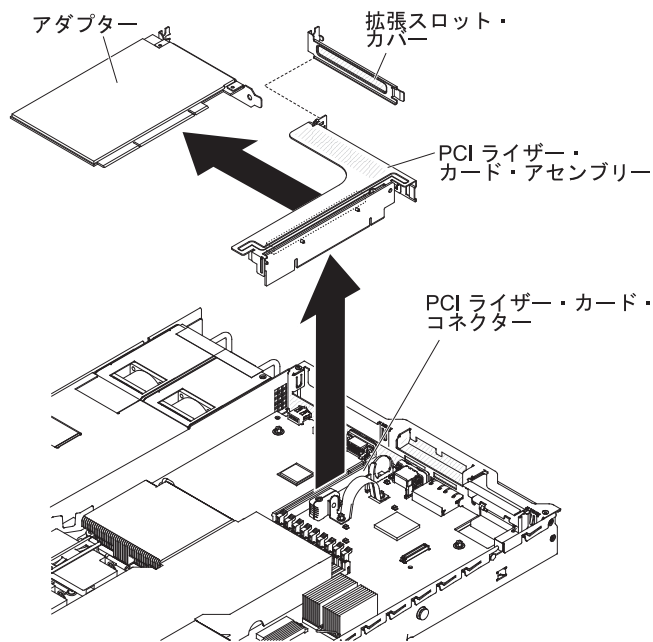


図 52. アダプターの取り外し

タスクの結果

アダプターの返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、パーツがお手元に届いたときの配送用パッケージ材がある場合は、それを使用して荷造りしてください。

アダプターの交換

以下の情報を使用して、アダプターを交換します。

このタスクについて

ここには、サーバーがサポートするアダプターのタイプの説明と、アダプターを取り付けるときに考慮すべき事項が記載されています。

- アダプターに付属の説明書を読んで、その指示に従ってください。また、本章の指示にも従ってください。
- サーバーは、システム・ボード上に 1 つの SAS/SATA RAID ライザー・カード・スロットを備えています。SAS/SATA RAID ライザー・カード・スロットの位置については、25 ページの『システム・ボードのオプション装置コネクタ』を参照してください。一部のモデルのサーバーは、ServeRAID-BR10i1 v2、ServeRAID-M1015、ServeRAID-M5014、あるいは ServeRAID-M5015 アダプターが取り付けられた状態で出荷されます。IBM ServeRAID SAS/SATA アダプターを、オプションの IBM ServeRAID SAS/SATA アダプターにこのスロットの中で取り替えることができます。構成情報については、ServeRAID 資料 (<http://www.ibm.com/supportportal/>) を参照してください。

重要: ServeRAID 10i、10is、または 10M アダプターが UEFI ベース・サーバーで適切に機能するように、アダプター・ファームウェア・レベルが少なくとも 11.x.x-XXX であり、サポート可能なドライバーに更新されていることを確認してください。

重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整されたコード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションに対してサポートされていることを確認してください。

- LCD モニターの最大デジタル・ビデオ・アダプター解像度を 1600 x 1200 (75 Hz) より上に設定しないでください。この解像度が、このサーバーに取り付けるすべてのアドオン・ビデオ・アダプターに対してサポートされる最高解像度です。
- どのアドオン・ビデオ・アダプターでも高精細度ビデオ出力コネクタまたはステレオ・コネクタはサポートされません。
- このサーバーでは、フルサイズ、フルハイトの PCI-X アダプターまたは従来の 5 V PCI アダプターはサポートされません。
- どの PCI アダプターを取り付ける場合も、PCI Express ライザー・カード・アセンブリおよび PCI-X ライザー・カード・アセンブリを取り外す前に、給電部から電源コードを切り離す必要があります。そうでないと、システム・ボード・ロジックによってアクティブな電源管理イベント信号が使用不可になり、Wake on LAN 機能が作動しない可能性があります。ただし、ローカルでサーバーの電源がオンになった後は、システム・ボード・ロジックによってアクティブな電源管理イベント信号が使用可能になります。
- スロット 1 ライザー・アセンブリからスロット 2 に PCI アダプターを差し替える場合、標準ブラケットからねじを取り外し、次に標準ブラケットをロー・プロファイル・ブラケットに取り替える必要があります。
- サーバーのシステム・ボードには 2 つの PCI ライザー・カード・スロットがあります。ブラケット付き PCI ライザー・アセンブリはスロット 2 に取り付けられています。以下の情報には、ライザー・カード・スロットと、そのライザー・カードがサポートするアダプター・タイプが記載されています。
 - このサーバーの標準モデルには PCI Express ライザー・カード・アセンブリが 2 つ取り付けられて出荷されます。そのライザー・カード・アセンブリを、PCI-X ライザー・カード・アセンブリと交換したい場合は、オプションのブラケット付き PCI-X ライザー・カード・アセンブリを注文する必要があります。
 - PCI Express ライザー・カード・アセンブリのコネクタは黒色で、PCI Express アダプターをサポートします。PCI-X ライザー・カード・アセンブリのコネクタは白色 (明るい色) で、PCI-X アダプターをサポートします。
 - PCI ライザー・スロット 1 (パワー・サブライから最も遠いスロット)。このスロットは、ロー・プロファイル・アダプターのみをサポートします。
 - PCI ライザー・スロット 2 (パワー・サブライに最も近いスロット)。このスロットはフルハイト、ハーフサイズのアダプターのみをサポートします。アダプターを取り付けない場合でも、PCI ライザー・カード・アセンブリをスロット 2 に取り付けする必要があります。

下表には、PCI ライザー・カード・スロットに対してサポートされる構成がリストされています。

表 17. PCI ライザー・スロットのサポートされる構成

PCI ライザー・カード・スロット番号	構成 1	構成 2	構成 3	構成 4
スロット 1	PCI Express Gen 2 (x16) カード (ロー・プロファイル・ブラケット付きの PCI Express ライザー・カード搭載)	PCI Express Gen 2 (x16) カード (ロー・プロファイル・ブラケット付きの PCI Express ライザー・カード搭載)	PCI-X 1.0a 64 ビット/133 MHz カード (ロー・プロファイル・ブラケット付きの PCI-X ライザー・カード搭載)	PCI-X 1.0a 64 ビット/133 MHz カード (ロー・プロファイル・ブラケット付きの PCI-X ライザー・カード搭載)
スロット 2	PCI Express Gen 2 (x16) カード (標準ブラケット付きの PCI Express ライザー・カード搭載)	PCI-X 1.0a 64 ビット/133 MHz カード (標準ブラケット付きの PCI-X ライザー・カード搭載)	PCI Express Gen 2 (x16) カード (標準ブラケット付きの PCI Express ライザー・カード搭載)	PCI-X 1.0a 64 ビット/133 MHz カード (標準ブラケット付きの PCI-X ライザー・カード搭載)

注:

1. このセクションに記載された説明は、どの PCI アダプターにも適用されます (例えば、ビデオ・グラフィックス・アダプターまたはネットワーク・アダプター)。
2. LCD モニターの最大デジタル・ビデオ・アダプター解像度を 1600 x 1200 (75 Hz) より上に設定しないでください。この解像度が、このサーバーに取り付けるすべてのアドオン・ビデオ・アダプターに対してサポートされる最高解像度です。
3. どのアドオン・ビデオ・アダプターでも高精細度ビデオ出力コネクタまたはステレオ・コネクタは、サポートされません。

アダプターを取り付けるには、次のステップを実行してください。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 367 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーと周辺装置の電源をオフにしてすべての電源コードを切り離します。
3. カバーを取り外します (376 ページの『カバーの取り外し』を参照)。
4. アダプターに付属しているものがあれば、その配線指示書に従います。アダプターを取り付ける前に、アダプター・ケーブルを配線しておきます。
5. アダプター上のエッジ・コネクタとライザー・カード・アセンブリのコネクタとを位置合わせして、ライザー・カード・アセンブリにアダプターを挿入します。コネクタの端をライザー・カード・アセンブリ内にしっかり押し込みます。アダプターがライザー・カード・アセンブリ内にカチッと音を立ててしっかり収まったか確認してください。

重要: アダプターを取り付けるときに、アダプターがライザー・カード・アセンブリーに正しくはめ込まれ、ライザー・カード・アセンブリーがシステム・ボード上のライザー・カード・コネクタにしっかり収まっていることを確認してから、サーバーの電源をオンにします。アダプターを正しく取り付けないと、システム・ボード、ライザー・カード・アセンブリー、またはアダプターが損傷するおそれがあります。

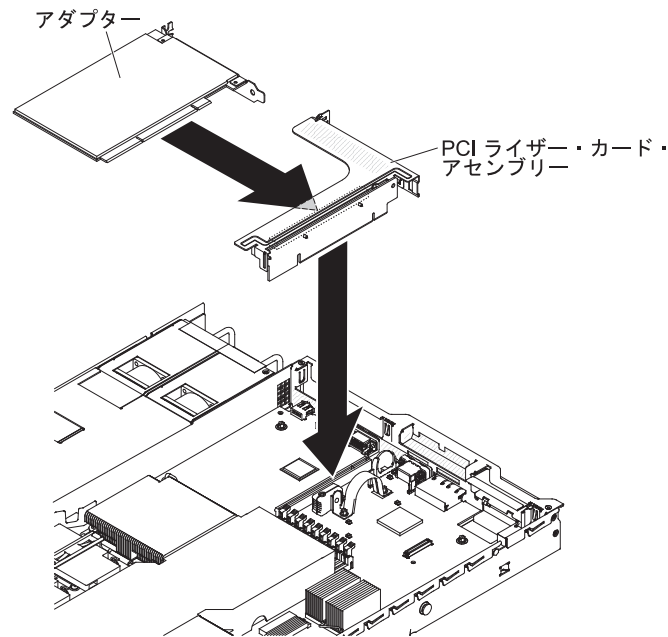


図 53. アダプターの取り付け

6. ライザー・カード・アセンブリーをサーバーに取り付けます (453 ページの『PCI ライザー・カード・アセンブリーの取り付け』を参照)。
7. アダプターに必要な構成タスクをすべて実行します。
8. カバーを取り付けます (377 ページの『カバーの取り付け』を参照)。
9. サーバーをスライドさせながらラックに差し込みます。
10. 取り外した電源コードおよびすべてのケーブルを再接続します。
11. 周辺装置とサーバーの電源をオンにします。

SAS/SATA RAID ライザー・カード・アセンブリの取り外し

以下の情報を使用して、SAS/SATA RAID ライザー・カード・アセンブリを取り外します。

このタスクについて

SAS/SATA RAID ライザー・カード・アセンブリを取り外すには、次のステップを行います。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 367 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーと周辺装置の電源をオフにしてすべての電源コードを切り離します。
3. カバーを取り外します (376 ページの『カバーの取り外し』を参照)。
4. SAS/SATA アダプター上のコネクタからケーブルを切り離してから、アダプターをつかんで、SAS/SATA RAID ライザー・カード・アセンブリ上のコネクタから引き抜きます。
5. プラスチック・タブ (パワー・サプライの隣にある) をパワー・サプライの方に押し、SAS/SATA RAID ライザー・カード・アセンブリ全体を取り外してから、アダプターを取り外します。

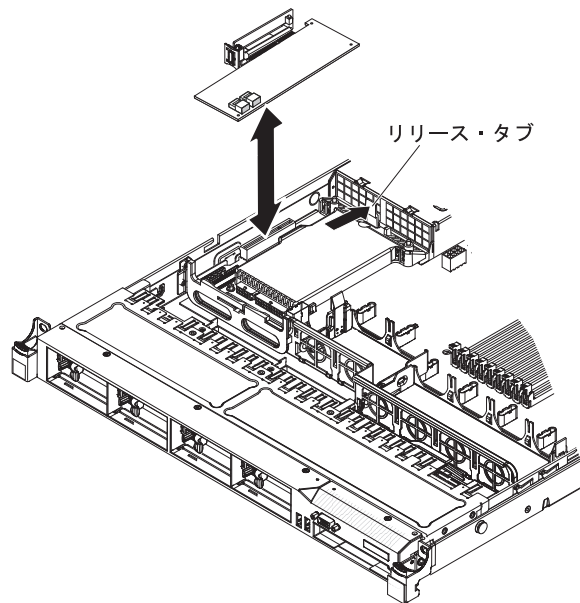


図 54. SAS/SATA RAID ライザー・カード・アセンブリの取り外し

6. フラッシュ・デバイスが取り付けられている場合は、SAS/SATA RAID ライザー・カードからそのフラッシュ・デバイスを取り外します (427 ページの『USB 組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスの取り外し』を参照)。

タスクの結果

SAS/SATA RAID ライザー・カード・アセンブリの返却を指示された場合は、梱包の指示に従って、提供されている配送用の梱包材を使用してください。

SAS/SATA RAID ライザー・カード・アセンブリーの取り付け

以下の情報を使用して、SAS/SATA RAID ライザー・カード・アセンブリーを取り付けます。

このタスクについて

SAS/SATA RAID ライザー・カード・アセンブリーを取り付けるには、次のステップを行います。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 367 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーと周辺装置の電源をオフにしてすべての電源コードを切り離します。
3. カバーを取り外します (376 ページの『カバーの取り外し』を参照)。
4. SAS/SATA アダプターが取り外されていた場合は、それを再取り付けします (412 ページの『SAS/SATA RAID ライザー・カードへの ServeRAID SAS/SATA コントローラーの取り付け』を参照)。
5. USB フラッシュ・デバイスが取り外されていた場合は、それを再取り付けします (428 ページの『USB 組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスの取り付け』を参照)。
6. SAS/SATA RAID ライザー・カード・アセンブリーの切り欠きをシステム・ボード上のコネクタに正しく位置合わせし、システム・ボード上のコネクタにしっかりと収まるまでこのアセンブリーを下に押しします。

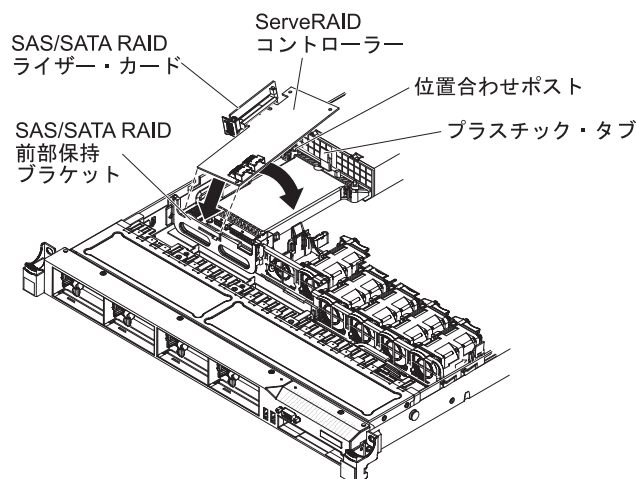


図 55. SAS/SATA RAID ライザー・カード・アセンブリーの取り付け

7. 信号ケーブルを SAS/SATA アダプターに接続します (ステップ 9 (413 ページ) を参照)。
8. カバーを取り付けます (377 ページの『カバーの取り付け』を参照)。
9. サーバーをスライドさせながらラックに差し込みます。
10. 取り外した電源コードおよびすべてのケーブルを再接続します。
11. 周辺装置とサーバーの電源をオンにします。

SAS/SATA RAID ライザー・カードからの ServeRAID SAS/SATA コントローラーの取り外し

以下の情報を使用して、SAS/SATA RAID ライザー・カードから ServeRAID SAS/SATA コントローラーを取り外します。

このタスクについて

ServeRAID SAS/SATA コントローラーは、SAS/SATA RAID ライザー・カードの専用スロットに取り付けられています。

サーバー・モデルによって、サーバーには ServeRAID-BR10il v2、ServeRAID-M1015、ServeRAID-M5014、あるいは ServeRAID-M5015 SAS/SATA アダプターが取り付けられた状態で出荷されます。

ServeRAID コントローラーを別のサポートされる ServeRAID コントローラーに取り替えることができます。サポートされる ServeRAID コントローラーのリストについては、<http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us/>を参照してください。

注: 本書では、ServeRAID SAS/SATA コントローラーを略して、SAS/SATA アダプター、あるいは *ServeRAID* アダプターと記載することがあります。

SAS/SATA RAID ライザー・カードから SAS/SATA アダプターを取り外すには、次のステップを行います。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 367 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーと周辺装置の電源をオフにしてすべての電源コードを切り離します。
3. カバーを取り外します (376 ページの『カバーの取り外し』を参照)。
4. SAS/SATA RAID ライザー・カードおよびコントローラー・アセンブリーをサーバーの左前面の角の近くで見つけます。
5. SAS/SATA アダプターのコネクタから SAS 信号ケーブルを取り外し、位置をメモします。
6. サーバーから SAS/SATA RAID ライザー・カードを取り外します (408 ページの『SAS/SATA RAID ライザー・カード・アセンブリーの取り外し』を参照)。

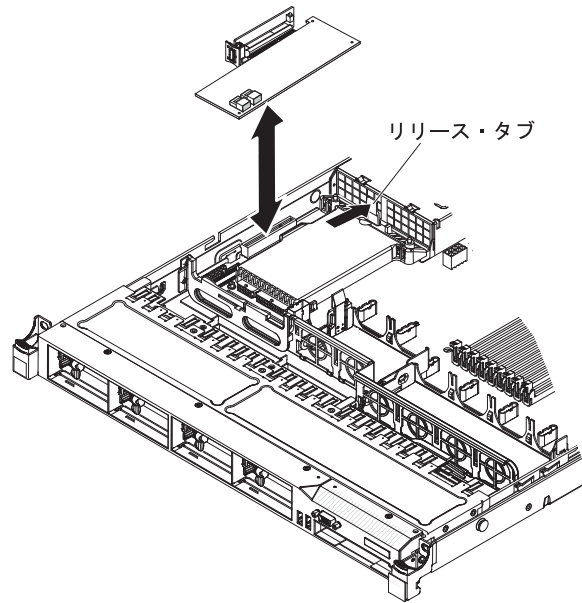


図 56. SAS/SATA RAID ライザー・カード・アセンブリーの取り外し

7. SAS/SATA アダプターを SAS/SATA RAID ライザー・カード上のコネクタから水平方向に引き抜きます。

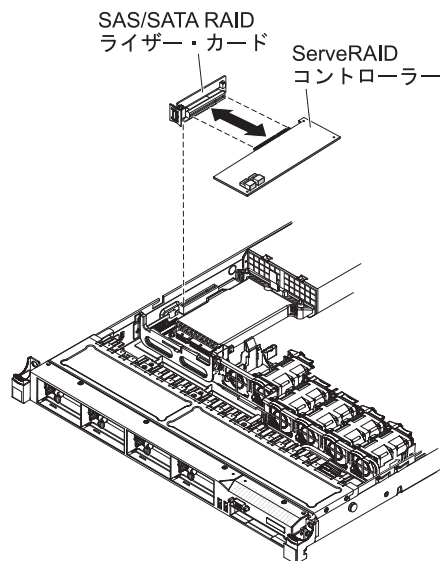


図 57. ServeRAID コントローラーの取り外し

注: オプションの ServeRAID アダプター拡張フィーチャー・キーが取り付けられている場合は、取り外して将来の使用に備えて保管します (415 ページの『オプションの ServeRAID アダプター拡張機能キーの取り外し』を参照)。

タスクの結果

SAS/SATA アダプターを返却するよう指示された場合は、すべての梱包上の指示に従い、提供された配送用の梱包材をすべて使用してください。

SAS/SATA RAID ライザー・カードへの ServeRAID SAS/SATA コントローラーの取り付け

以下の情報を使用して、SAS/SATA RAID ライザー・カードに ServeRAID SAS/SATA コントローラーを取り付けます。

このタスクについて

SAS/SATA RAID ライザー・カードに SAS/SATA アダプターを取り付けるには、次のステップを行います。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 367 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーと周辺装置の電源をオフにしてすべての電源コードを切り離します。
3. カバーを取り外します (376 ページの『カバーの取り外し』を参照)。
4. SAS/SATA アダプターを新規に取り付けるまたは交換する場合、新しい SAS/SATA アダプターが入っている帯電防止パッケージを、サーバーの塗装されていない金属面に接触させます。次に、新規の SAS/SATA アダプターをパッケージから取り出します。

注: オプションの ServeRAID アダプター拡張機能キーがある場合には、先に取り付けます (417 ページの『オプションの ServeRAID アダプター拡張機能キーの取り付け』を参照)。

5. SAS/SATA アダプターの位置合わせを行って、切り欠きが SAS/SATA RAID ライザー・カード・アセンブリー上のコネクタと正しく位置が合うようにします。

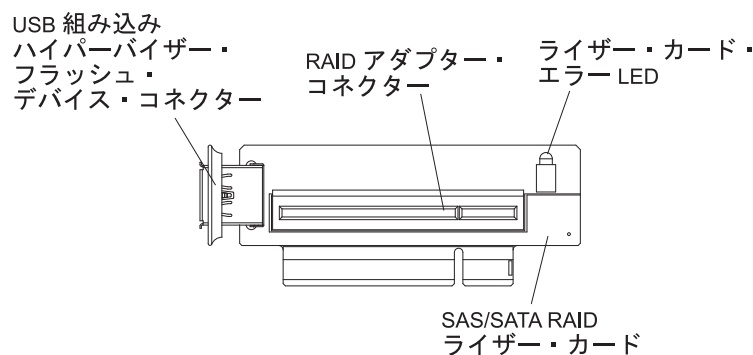


図 58. RAID アダプター・コネクタ

6. SAS/SATA RAID ライザー・カード上のコネクタに SAS/SATA アダプターを挿入して、しっかりと収容されるようにします。

重要: アダプターの差し込みが不完全な場合、サーバーあるいはアダプターが損傷を受けることがあります。

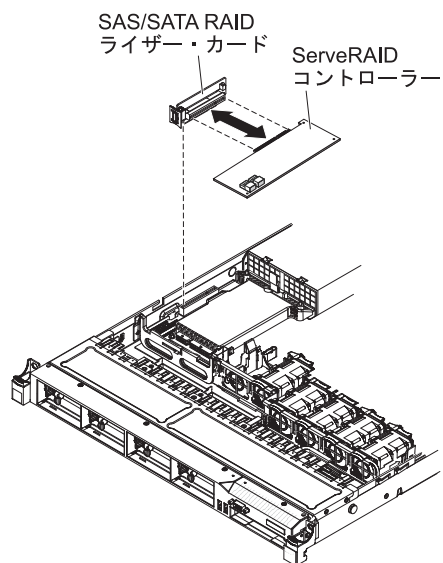


図 59. ServeRAID コントローラーの取り付け

7. SAS/SATA RAID ライザー・カード・アセンブリーを取り付けます (409 ページの『SAS/SATA RAID ライザー・カード・アセンブリーの取り付け』を参照)。
8. 信号ケーブルは、ドライブ・バックプレーンから青色のアダプター保持ブラケットの上を越えて配線します。
9. 信号ケーブルを SAS/SATA アダプターに接続します。
 - **ServeRAID-BR10il v2 アダプター:** ドライブ・ベイ 0 から 3 のドライブ・バックプレーンに接続されている信号ケーブルを、ServeRAID アダプターの SAS/SATA コネクタに接続します。

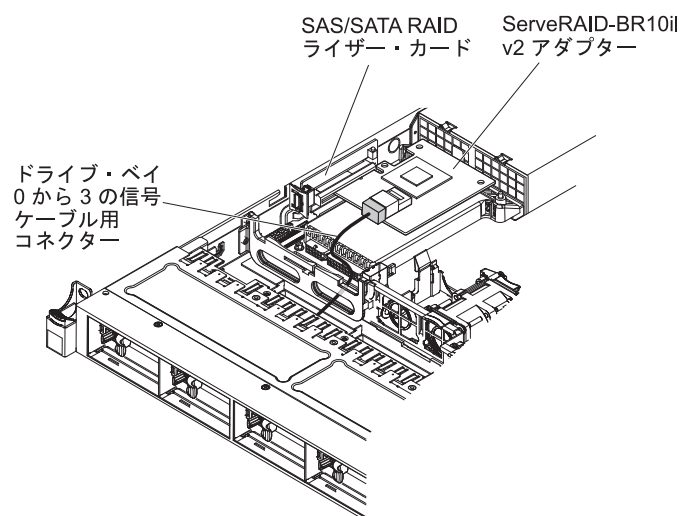


図 60. ServeRAID-BR10il v2 アダプター・ケーブルの接続

- **ServeRAID-BR10i, ServeRAID-M1015, ServeRAID-M5014, または ServeRAID-M5015 アダプター:** ドライブ・ベイ 4 から 7 用のドライブ・バックプレーンに接続する信号ケーブルを使って、そのケーブルを ServeRAID

アダプター・コネクタ (パワー・サプライ・ケージに最も近い) に接続します。ドライブ・ベイ 0 から 3 用のドライブ・バックプレーンに接続する他の信号ケーブルを接続し、そのケーブルをアダプター上の他のコネクタに接続します。

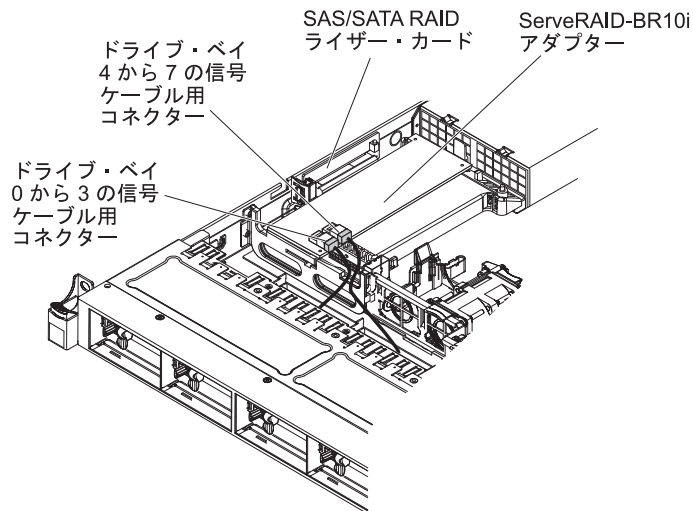


図 61. ServeRAID-BR10i アダプター・ケーブルの接続

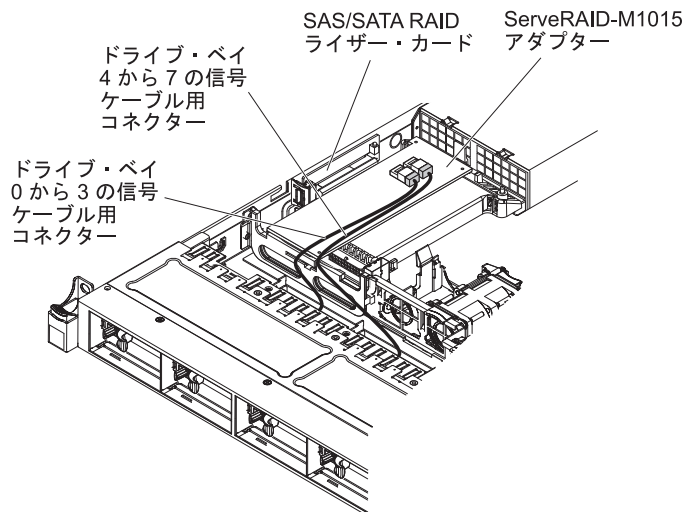


図 62. ServeRAID-M1015 アダプター・ケーブルの接続

- **ServeRAID-M10i アダプター:** ドライブ・ベイ 0 から 3 用のドライブ・バックプレーンに接続する信号ケーブルを使って、そのケーブルを ServeRAID アダプター上のコネクタ (パワー・サプライ・ケージに最も近い) に接続します。ドライブ・ベイ 4 および 7 用のドライブ・バックプレーンに接続する他の信号ケーブルを接続し、そのケーブルをアダプター上の他のコネクタに接続します。

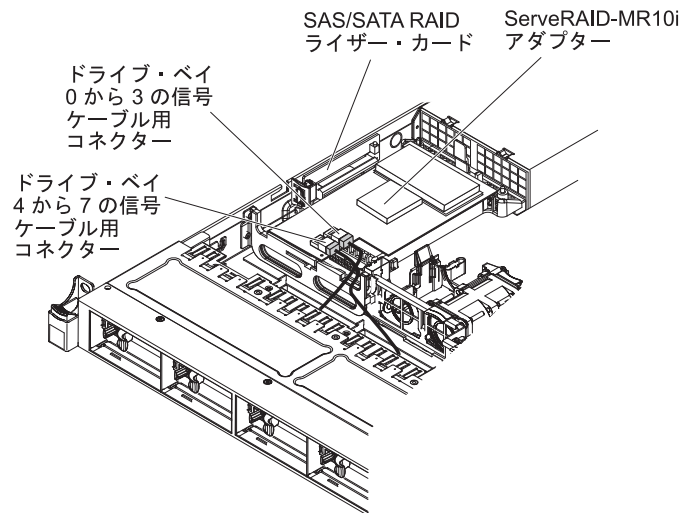


図 63. ServeRAID-M10i アダプター・ケーブルの接続

10. 取り外した電源コードおよびすべてのケーブルを再接続します。
11. カバーを取り付け直します (377 ページの『カバーの取り付け』を参照)。
12. 周辺装置とサーバーの電源をオンにします。

注: サーバーの再始動時、既存の RAID 構成を新規の SAS/SATA アダプターにインポートするようにプロンプトが出されます。

オプションの ServeRAID アダプター拡張機能キーの取り外し

オプションの ServeRAID アダプター拡張機能キーを取り外すには、この情報を使用します。

このタスクについて

オプションの ServeRAID アダプター拡張機能キーを取り外すには、以下のステップを実行してください。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 367 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーと周辺装置の電源をオフにしてすべての電源コードを切り離します。
3. カバーを取り外します (376 ページの『カバーの取り外し』を参照)。
4. 機能キーをつかみ、ServeRAID アダプターのコネクターから持ち上げて取り外します。

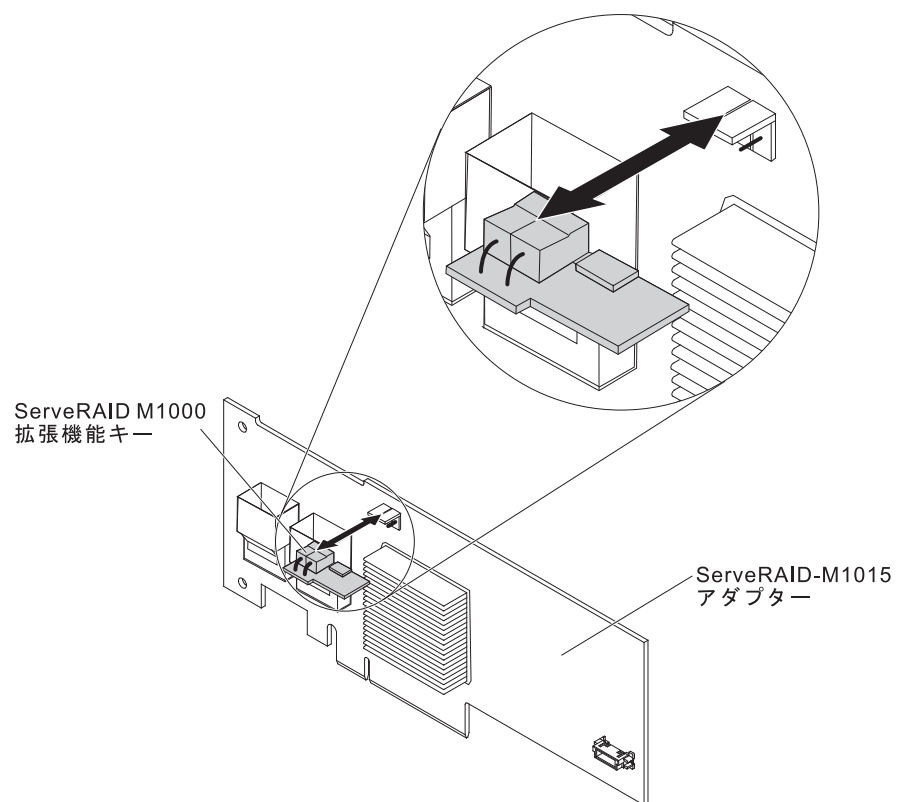


図 64. ServeRAID M1000 拡張機能キーの取り外し

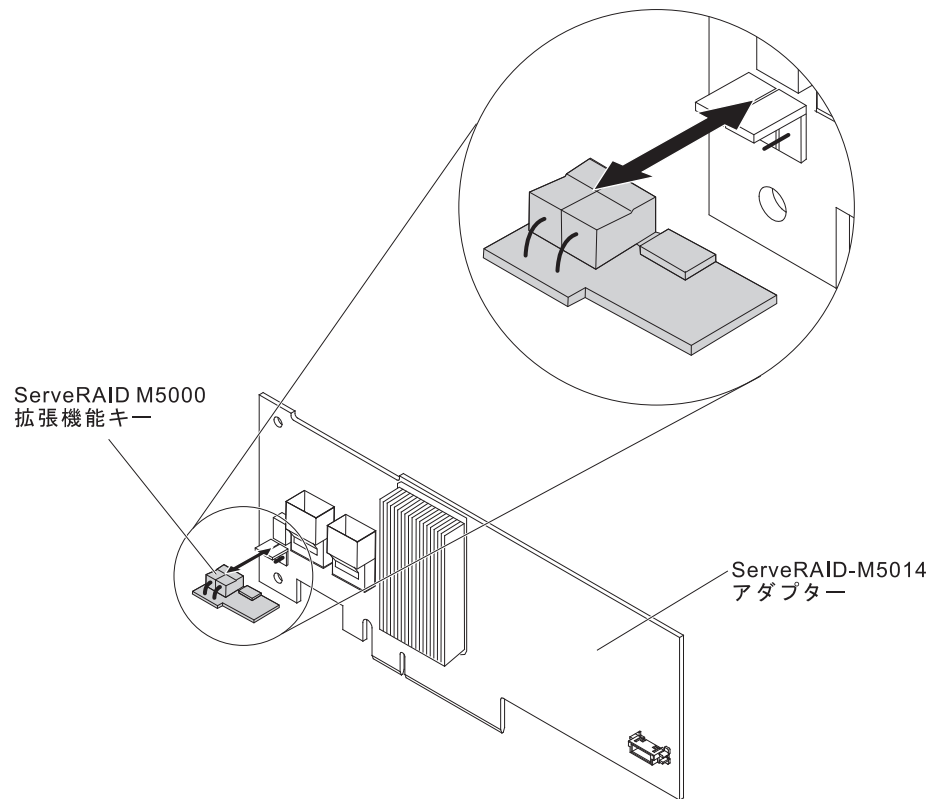


図 65. ServeRAID M5000 拡張機能キーの取り外し

タスクの結果

フィーチャー・キーの返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、パーツがお手元に届いたときの配送用パッケージ材がある場合は、それを使用して荷造りしてください。

オプションの ServeRAID アダプター拡張機能キーの取り付け

オプションの ServeRAID アダプター拡張機能キーを取り付けるには、この情報を使用します。

このタスクについて

オプションの ServeRAID アダプター拡張機能キーを取り付けるには、以下のステップを実行してください。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 367 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーと周辺装置の電源をオフにしてすべての電源コードを切り離します。
3. カバーを取り外します (376 ページの『カバーの取り外し』を参照)。
4. ServeRAID アダプターのコネクタに機能キーを位置合わせし、コネクタに押し込んでしっかりと装着します。

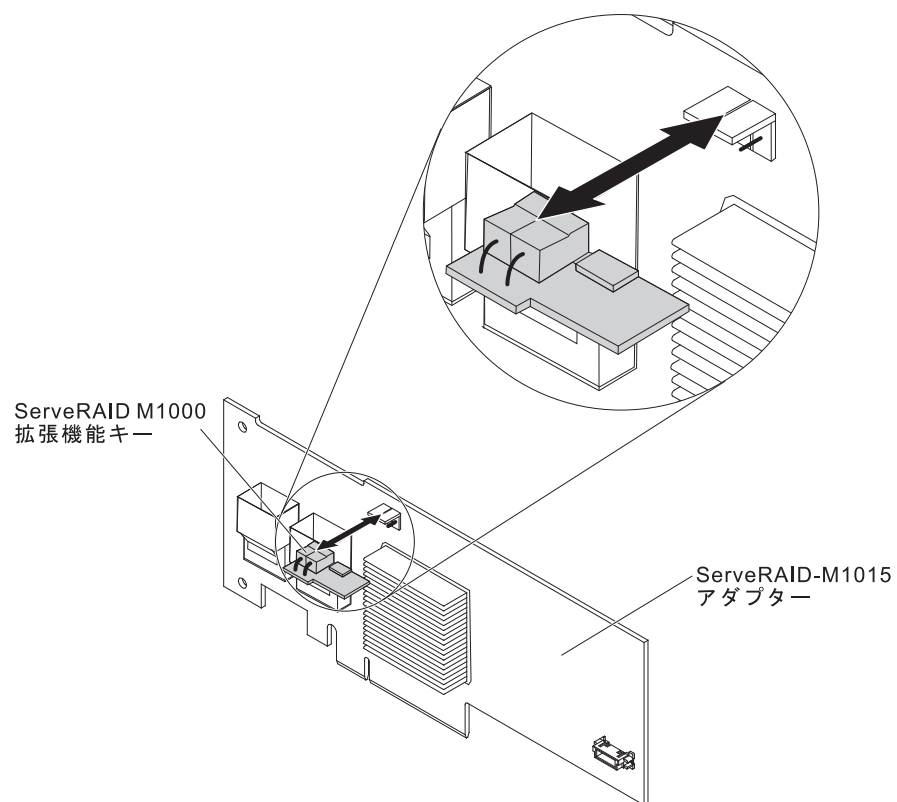


図 66. ServeRAID M1000 拡張機能キーの取り付け

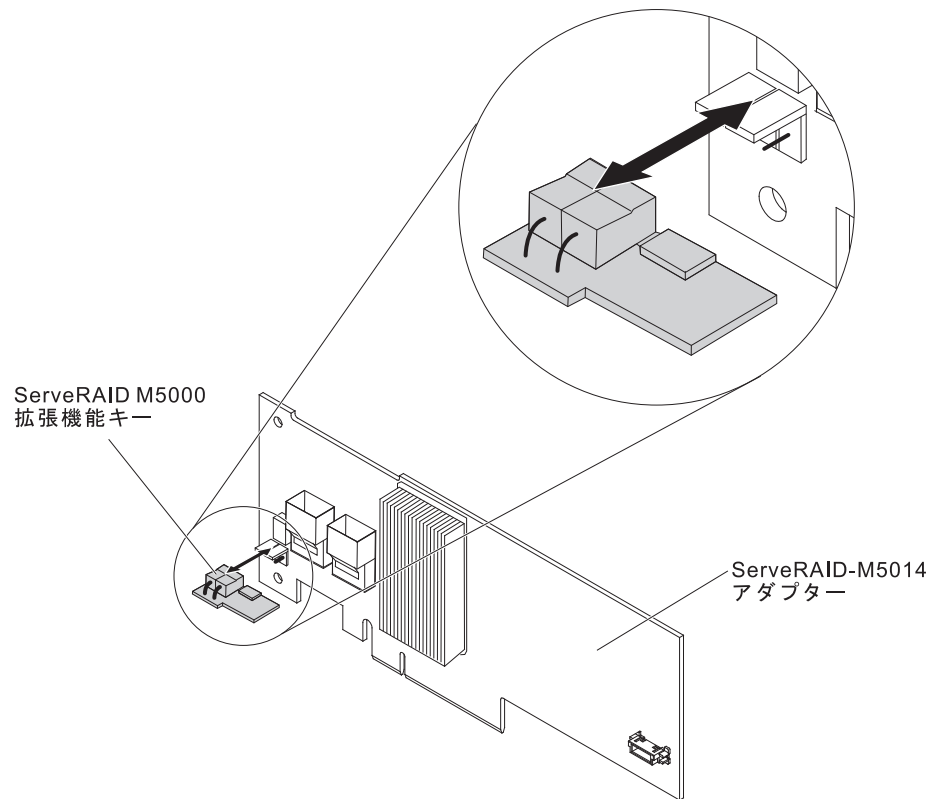


図 67. ServeRAID M5000 拡張機能キーの取り付け

5. 取り外した電源コードおよびすべてのケーブルを再接続します。
6. カバーを取り付けます (377 ページの『カバーの取り付け』を参照)。
7. サーバーをスライドさせながらラックに差し込みます。
8. 周辺装置とサーバーの電源をオンにします。

ホット・スワップ・ファン・アセンブリーの取り外し

以下の情報を使用してホット・スワップ・ファン・アセンブリーを取り外します。

このタスクについて

重要: サーバーの正しい作動を保証するには、故障したホット・スワップ・ファンは 30 秒以内に交換してください。

ホット・スワップ・ファンを取り外すには、次のステップを行います。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 367 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. カバーを取り外します (376 ページの『カバーの取り外し』を参照)。

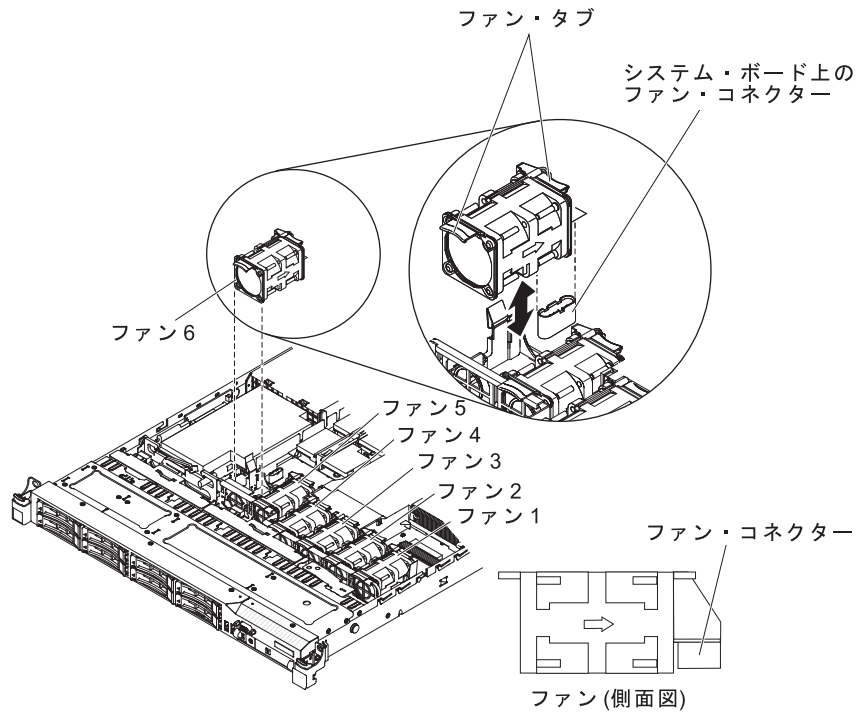


図 68. ファンの取り外し

注: 故障したファン・アセンブリのコネクターに近い LED が点灯します。

3. 既存のファンの両端にあるオレンジ色のファン・タブをつかんで、引っ張り上げてサーバーから出します。ファン 3 と 4 を取り外そうとしている場合、DIMM エアー・バッフル上のクリア・タブを最初に持ち上げます。

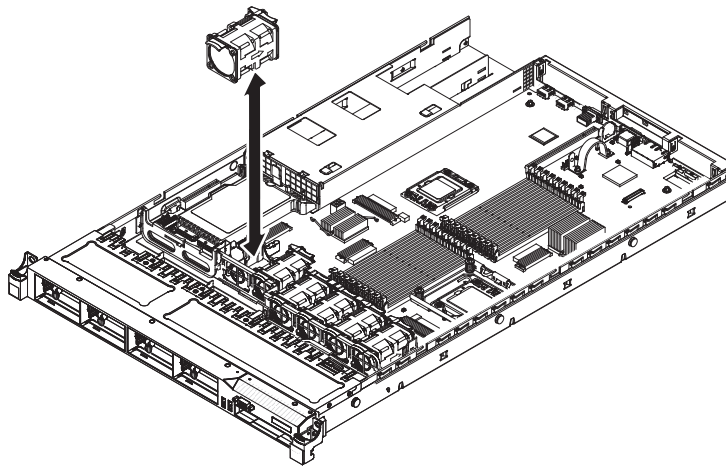


図 69. ファンの取り外し

重要: 正しい作動を保証するには、故障したホット・スワップ・ファンは 30 秒以内に交換してください。

タスクの結果

ファンの返却を指示された場合は、梱包の指示に従って、提供されている配送用の梱包材を使用してください。

ホット・スワップ・ファン・アセンブリーの取り付け

以下の情報を使用して、ホット・スワップ・ファン・アセンブリーを取り付けます。

このタスクについて

このサーバーには、5 個のデュアル・モーター・ホット・スワップ冷却ファンが標準装備されています。

重要: 正しい作動を保証するには、故障したホット・スワップ・ファンは 30 秒以内に交換してください。

ホット・スワップ・ファンを追加で取り付けるには、次のステップを行います。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 367 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. カバーを取り外します (376 ページの『カバーの取り外し』を参照)。
3. 新規のファンが入っている帯電防止パッケージをサーバー上の塗装されていない金属面に触れさせます。次に、新規のファンをパッケージから取り出します。

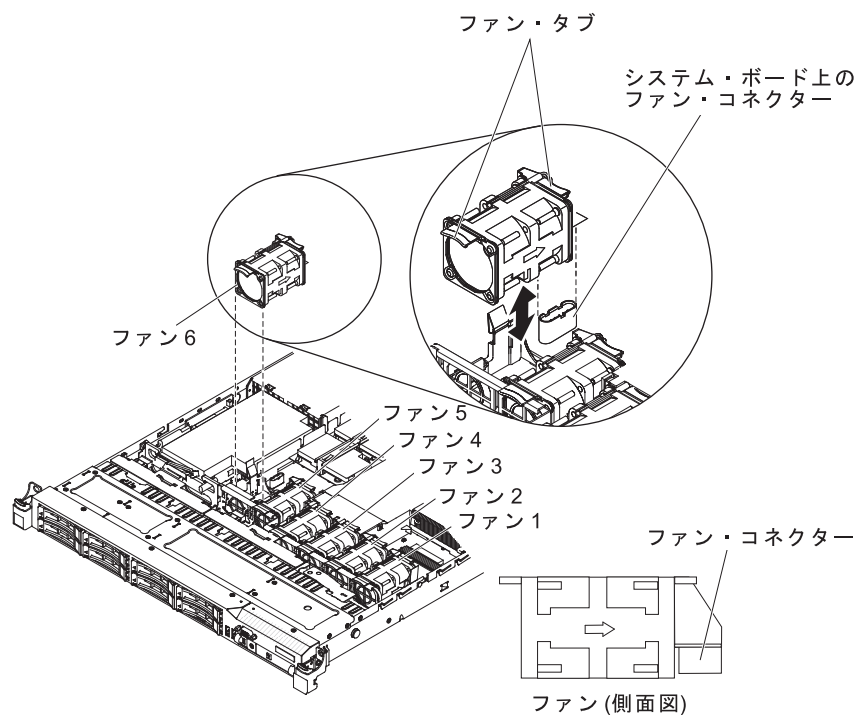


図 70. ファンの取り付け

4. ファン・コネクターとシステム・ボード上のコネクターの位置が合うように、ファンの向きをファン・アセンブリー・ブラケットのファン・スロットの位置で合わせます。

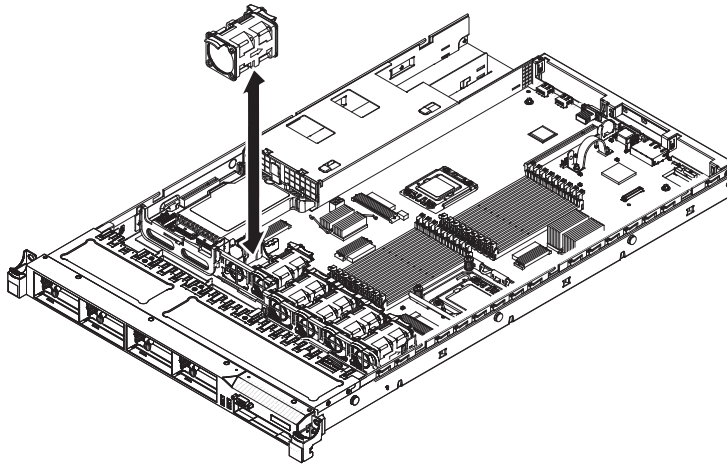


図 71. ファンの取り付け

5. ファン・アセンブリー・ブラケットにあるファン・スロットにファンを挿入して下に押し込み、スロットにしっかりと収容されるようにします。また、ファン・コネクタがシステム・ボード上のコネクタにしっかりと接続されるようにします。
6. カバーを取り付けます (377 ページの『カバーの取り付け』を参照)。
7. サーバーをスライドさせながらラックに差し込みます。

ホット・スワップ AC パワー・サプライの取り外し

以下の情報を使用して、ホット・スワップ AC パワー・サプライを取り外します。

このタスクについて

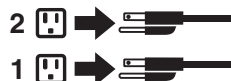
ホット・スワップ・パワー・サプライの取り外しまたは取り付けを行う場合は、以下の注意事項を順守します。

安全 5



注意:

装置の電源制御ボタンおよび電源機構の電源スイッチは、装置に供給されている電流をオフにするものではありません。装置には 2 本以上の電源コードが使われている場合があります。装置から完全に電気を取り除くには給電部からすべての電源コードを切り離してください。



安全 8



注意:

電源機構 (パワー・サプライ) のカバーまたは次のラベルが貼られている部分のカバーは決して取り外さないでください。



このラベルが貼られているコンポーネントの内部には、危険な電圧、強い電流が流れています。これらのコンポーネントの内部には、保守が可能な部品はありません。これらの部品に問題があると思われる場合はサービス技術員に連絡してください。

注: 以下の手順はホット・スワップ AC パワー・サプライの取り外し方法について説明しています。ホット・スワップ DC パワー・サプライの取り外し方法については、DC パワー・サプライに付属の資料を参照してください。

ホット・スワップ AC パワー・サプライを取り外すには、次のステップを行います。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 367 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. パワー・サプライが 1 つだけ取り付けられている場合は、サーバーと周辺装置の電源をオフにしてすべての電源コードを取り外します。
3. サーバーがラックに取り付けられている場合は、サーバーの背面から、ケーブル管理アームを引いて、サーバー背面およびパワー・サプライにアクセスできるようにします。
4. リリース・タブを左側に押したままにします。ハンドルをつかんで、パワー・サプライをサーバーから引き出します。

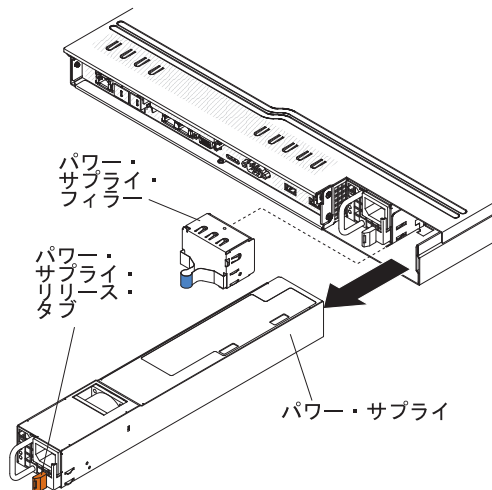


図 72. パワー・サプライの取り外し

タスクの結果

パワー・サプライに返却の指示がある場合は、パッケージのしかたの説明に従い、配送されたときのパッケージ材を使用してください。

ホット・スワップ AC パワー・サプライの取り付け

以下の情報を使用して、ホット・スワップ AC パワー・サプライを取り付けます。

このタスクについて

以下の注意書きでは、このサーバーがサポートしているパワー・サプライのタイプ、およびパワー・サプライを取り付けるときに考慮する必要があるその他の情報を記載しています。

- 追加のパワー・サプライの取り付け、あるいは異なるワット数のパワー・サプライとの交換を行う前には、IBM 電源コンフィギュレーター・ユーティリティを使用して現行のシステム電力使用量を確認してください。ユーティリティの詳細な説明とダウンロードについては、<http://www.ibm.com/systems/bladecenter/resources/powerconfig.html> にアクセスしてください。
- サーバーには、パワー・サプライ・ベイ 1 に接続する 1 個のホット・スワップ 12 V 出力パワー・サプライが付属しています。入力電圧は、110 V AC または 220 V AC の自動検知です。
- サーバー内で 460 ワットのパワー・サプライと 675 ワットのパワー・サプライ、高効率パワー・サプライと高効率ではないパワー・サプライ、あるいは AC パワー・サプライと DC パワー・サプライを混用することはできません。
- 次の情報が、460 ワットのパワー・サプライをサーバーに取り付ける際に適用されます。
 - 電力使用量の合計が 400 ワットを超え、そのサーバーに 1 つの 460 ワットのパワー・サプライしか作動していない場合、警告メッセージが生成されます。この場合、サーバーは正常状態の下で作動はします。サーバーに追加のコンポーネントを取り付ける前に、追加のパワー・サプライを取り付ける必要があります。

- 電力消費量の合計がパワー・サプライの総出力容量を超えた場合、サーバーは自動的にシャットダウンします。
- Setup ユーティリティーで電力キャッピング機能を使用可能にすることで、サーバー内の電力使用量を制御およびモニターすることができます (493 ページの『Setup ユーティリティーのメニュー選択項目』を参照)。

次の表は、サーバーに 460 ワットのパワー・サプライを取り付けた場合のシステム状況を示します。

表 18. 460 ワットのパワー・サプライ取り付け済みのシステム状況

総システム電力消費量 (ワット)	取り付け済みの 460 ワットのパワー・サプライ数		
	1 個	2 個	2 個 (1 個は故障)
< 400	正常	正常、冗長電源	正常
400 ~ 460	正常、警告状況	正常、冗長電源	正常、警告状況
> 460	システム・シャットダウン	正常	システム・シャットダウン

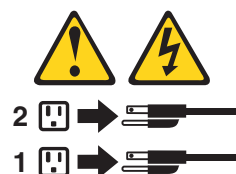
- ・パワー・サプライ 1 がデフォルトであり、1 次パワー・サプライです。パワー・サプライ 1 に障害が起きた場合は、ただちに交換する必要があります。
- ・冗長性を得るためにオプションのパワー・サプライをオーダーできます。
- ・これらのパワー・サプライは、並列操作向けの設計になっています。パワー・サプライ障害が発生した場合、冗長電源がシステムに電源を供給し続けます。ご使用のサーバーは、最大 2 つのパワー・サプライをサポートします。
- ・ホット・スワップ DC パワー・サプライの取り付け方法については、DC パワー・サプライに付属の資料を参照してください。

安全 5



注意:

装置の電源制御ボタンおよび電源機構の電源スイッチは、装置に供給されている電流をオフにするものではありません。装置には 2 本以上の電源コードが使われている場合があります。装置から完全に電気を取り除くには給電部からすべての電源コードを切り離してください。



安全 8



注意:

電源機構 (パワー・サプライ) のカバーまたは次のラベルが貼られている部分のカバーは決して取り外さないでください。



このラベルが貼られているコンポーネントの内部には、危険な電圧、強い電流が流れています。これらのコンポーネントの内部には、保守が可能な部品はありません。これらの部品に問題があると思われる場合はサービス技術員に連絡してください。

ホット・スワップ AC パワー・サプライを取り付けるには、次のステップを行います。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 367 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーの塗装されていない金属面に、ホット・スワップ・パワー・サプライが入っている帯電防止パッケージを触れさせてから、パワー・サプライをパッケージから取り出し、静電気防止板の上に置きます。
3. ホット・スワップ・パワー・サプライを空のベイに取り付ける場合は、パワー・サプライ・ベイからパワー・サプライ・フィルター・パネルを取り外します。

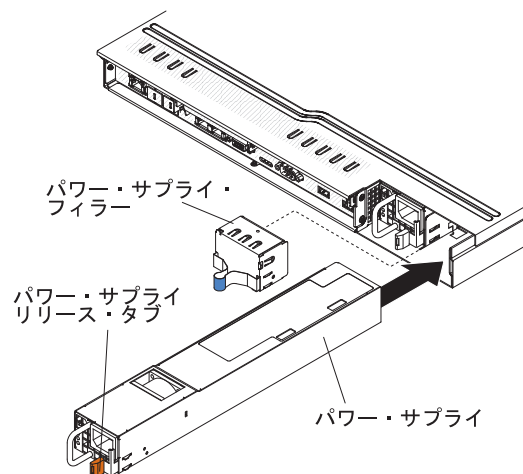


図 73. パワー・サプライの取り付け

4. パワー・サプライ背面のハンドルをつかみ、パワー・サプライを前方にスライドさせて、カチッと音がするまでパワー・サプライ・ベイに挿入します。パワー・サプライがパワー・サプライ・コネクタにしっかりと接続されていることを確認します。

重要: サーバー内で 460 ワットのパワー・サプライと 675 ワットのパワー・サプライ、高効率パワー・サプライと高効率ではないパワー・サプライ、あるいは AC パワー・サプライと DC パワー・サプライを混用して取り付けてはいけません。

5. ハンドルを通して電源コードを配線し、それによって電源コードが誤って抜けないようにします。
6. 新しいパワー・サプライ用の電源コードをパワー・サプライ上にある電源コード・コネクタに接続します。
7. 電源コードのもう一方の端を、正しく接地されたコンセントに接続します。
8. AC パワー・サプライ上の AC 電源 LED および DC 電源 LED が点灯し、パワー・サプライが正常に動作していることを示していることを確認します。 これら 2 つの緑色の LED は電源コード・コネクタの右にあります。
9. パワー・サプライを異なるワット数のパワー・サプライと交換する場合は、新しいパワー・サプライに付属の電力情報ラベルを、サーバー上の既存の電力情報ラベルの上に貼ってください。



図 74. 電源情報ラベル

USB 組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスの取り外し

以下の情報を使用して、USB 組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスを取り外します。

このタスクについて

ハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスを取り外す場合は、次のステップを行います。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 367 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーと周辺装置の電源をオフにして、電源コードを切り離します。
3. カバーを取り外します (376 ページの『カバーの取り外し』を参照)。
4. フラッシュ・デバイスの青色のロック・バー (下図参照) をつかんで、SAS/SATA ライザー・カード・アセンブリーの方へスライドさせてロック解除位

置にし、コネクタから取り外します。

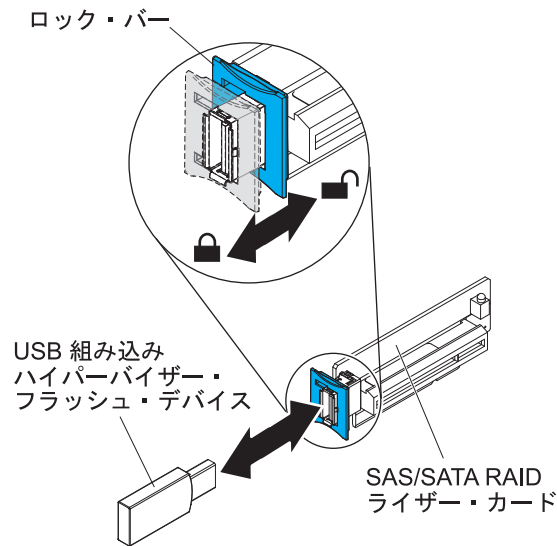


図 75. USB 組み込みハイパーバイザー・フラッシュ装置の取り外し

タスクの結果

フラッシュ・デバイスを返却するよう指示された場合は、すべての梱包上の指示に従い、提供された配送用の梱包材をすべて使用してください。

USB 組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスの取り付け

以下の情報を使用して、USB 組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスを取り付けます。

このタスクについて

ハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスを取り付けるには、次のステップを実行します。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 367 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーと周辺装置の電源をオフにして、電源コードを切り離します。
3. カバーを取り外します (376 ページの『カバーの取り外し』を参照)。
4. SAS/SATA RAID ライザー・カード・アセンブリー上のコネクタにフラッシュ・デバイスを位置合わせし、コネクタに押し込んで、しっかりと収容されるようにします。
5. 青色のロック・バーをフラッシュ・デバイスの方へスライドさせてロック位置にし、しっかりと収容されるようにします。

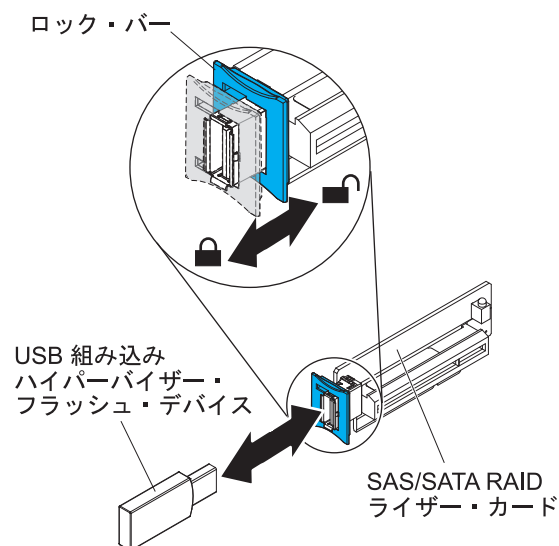


図 76. USB 組み込みハイパーバイザー・フラッシュ装置の取り付け

6. 取り外した電源コードおよびすべてのケーブルを再接続します。
7. カバーを取り付けます (377 ページの『カバーの取り付け』を参照)。
8. サーバーをスライドさせながらラックに差し込みます。
9. 周辺装置とサーバーの電源をオンにします。

仮想メディア・キーの取り外し

以下の情報を使用して、仮想メディア・キーを取り外します。

このタスクについて

仮想メディア・キーを取り外すには、次のステップを行います。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 367 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーと周辺装置の電源をオフにして、電源コードを切り離します。
3. カバーを取り外します (376 ページの『カバーの取り外し』を参照)。
4. 仮想メディア・キーをつかんで、それを上方に静かにスライドさせて取り付けタブから外します。

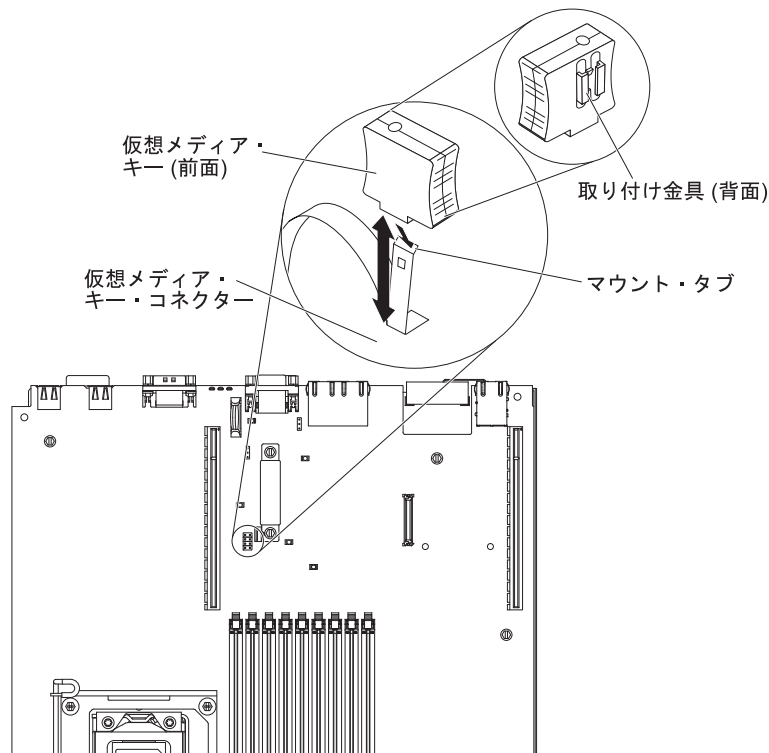


図 77. 仮想メディア・キーの取り外し

タスクの結果

仮想メディア・キーの返却を指示された場合は、梱包の指示に従って、提供されている配送用の梱包材を使用してください。

仮想メディア・キーの取り付け

以下の情報を使用して、仮想メディア・キーを取り付けます。

このタスクについて

仮想メディア・キーを取り付けるには、次のステップを行います。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 367 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーと周辺装置の電源をオフにして、電源コードを切り離します。
3. カバーを取り外します (376 ページの『カバーの取り外し』を参照)。
4. 仮想メディア・キーを取り付けタブと位置合わせし、タブの下方にスライドさせてシステム・ボード上のコネクタに入れます。仮想メディア・キーをシステム・ボード上のコネクタに完全に収まるまで押し込みます。

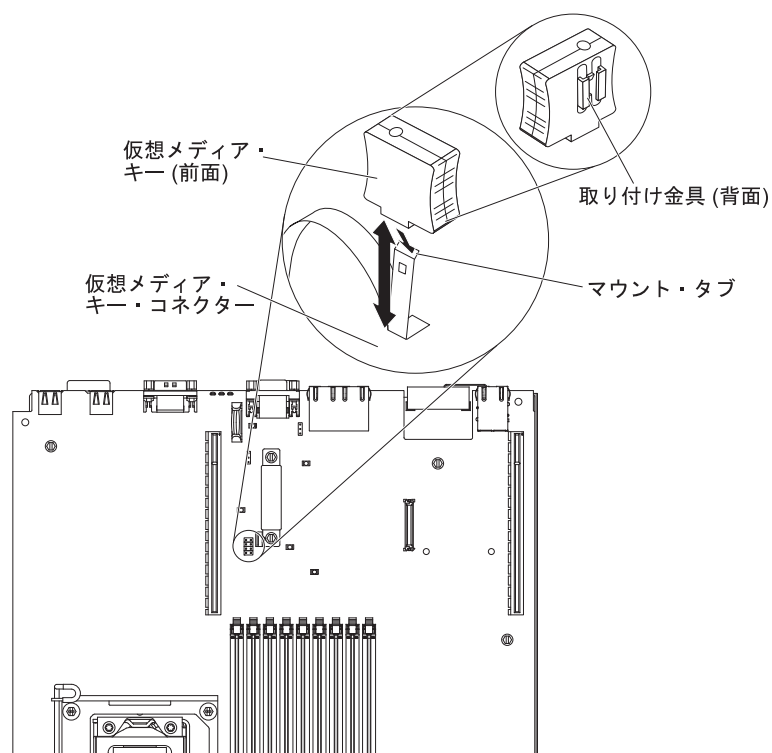


図 78. 仮想メディア・キーの取り付け

5. カバーを取り付け直します (377 ページの『カバーの取り付け』を参照)。
6. サーバーをスライドさせながらラックに差し込みます。
7. 取り外した電源コードおよびすべてのケーブルを再接続します。
8. 周辺装置とサーバーの電源をオンにします。

オプションの 2 ポート・イーサネット・アダプターの取り外し

以下の情報を使用して、オプションの 2 ポート・イーサネット・アダプターを取り外します。

このタスクについて

イーサネット・アダプターを取り外すには、次のステップを行います。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 367 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーと周辺装置の電源をオフにして、電源コードを切り離します。
3. カバーを取り外します (376 ページの『カバーの取り外し』を参照)。
4. PCI ライザー・コネクタ 1 から PCI ライザー・カード・アセンブリを取り外します (取り付けられている場合) (452 ページの『PCI ライザー・カード・アセンブリの取り外し』を参照)。
5. イーサネット・アダプターをつかんで、システム・ボード上の支柱およびコネクタから外します。次に、イーサネット・アダプターをスライドさせてシャーシ

背面のポート開口部から取り出し、サーバーから取り外します。

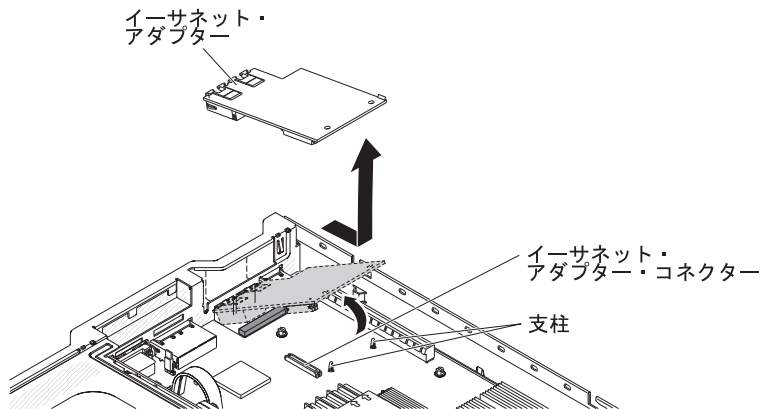


図 79. イーサネット・アダプターの取り外し

タスクの結果

イーサネット・アダプターの返却を指示された場合は、梱包の指示に従って、提供されている配送用の梱包材を使用してください。

オプションの 2 ポート・イーサネット・アダプターの取り付け

オプションの 2 ポート・イーサネット・アダプターを取り付けるには、この情報を使用します。

このタスクについて

イーサネット・アダプターを取り付けるには、次のステップを行います。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 367 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーと周辺装置の電源をオフにして、電源コードを切り離します。
3. カバーを取り外します (376 ページの『カバーの取り外し』を参照)。
4. PCI ライザー・コネクタ 1 から PCI ライザー・カード・アセンブリーを取り外します (取り付けられている場合) (452 ページの『PCI ライザー・カード・アセンブリーの取り外し』を参照)。
5. 次の図に示されるように、システム・ボードの端に沿って、シャーシの上にラバー・ストッパーを取り付けます。

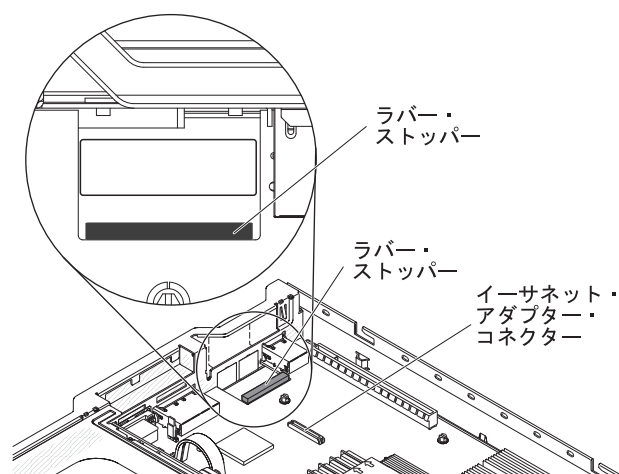


図 80. ラバー・ストッパー

6. シャーシ後部のアダプター・フィラー・パネルを取り外します (まだ取り外していない場合)。

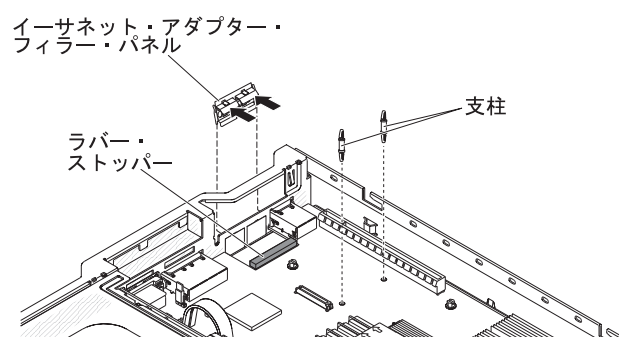


図 81. フィラー・パネルの取り外し

7. システム・ボードに 2 つの支柱を取り付けます。
8. シャーシの外側から、金属クリップの下部タブをポート開口部に挿入します。

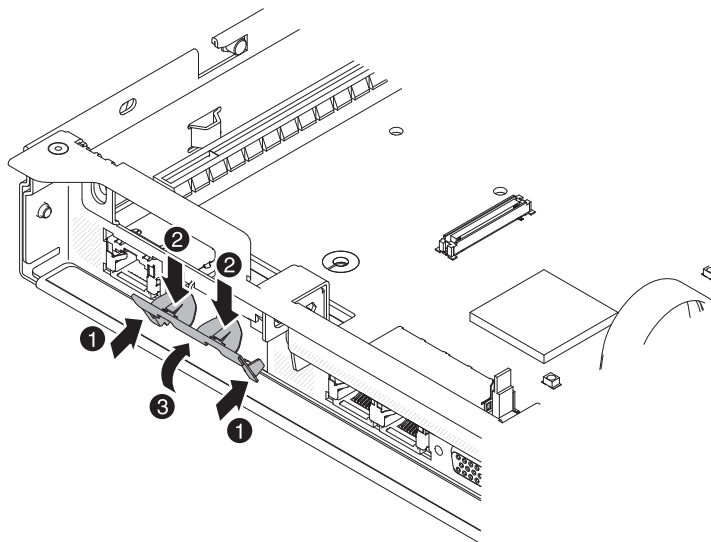


図 82. 金属クリップの取り付け

9. 金属クリップの上部を少し押ししながら、カチッと音がして所定の場所に収まるまで金属クリップをサーバー前面に向かって回転させます。金属クリップがしっかりとシャーシに固定されていることを確認してください。
重要: 金属クリップの上部を強く押しすぎると、金属クリップが損傷します。
10. 新規のアダプターが入っている帯電防止パッケージをサーバー上の塗装されていない金属面に触れさせます。次に、アダプターをパッケージから取り出します。
11. アダプターをシステム・ボード上のアダプター・コネクタと位置合わせし、アダプターのポート・コネクタがシャーシのポート開口部とぴったり合うようにアダプターを傾けます。

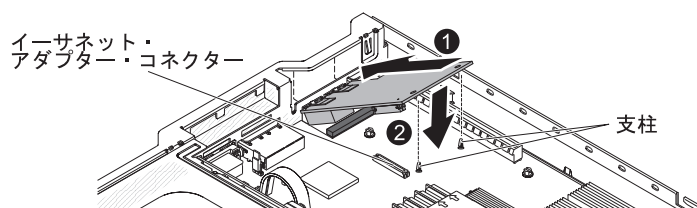


図 83. アダプターの取り付け

12. アダプターのポート・コネクタをスライドさせてシャーシのポート開口部に差し込み、2 つの支柱がアダプターを固定するまでしっかりとアダプターを押します。アダプターがシステム・ボード上のコネクタにしっかりと装着されていることを確認してください。アダプター上のポート・コネクタが、ラバー・ストッパーの上に位置していないことを確認してください。次の図は、サーバー内のアダプターの側面図を示しています。

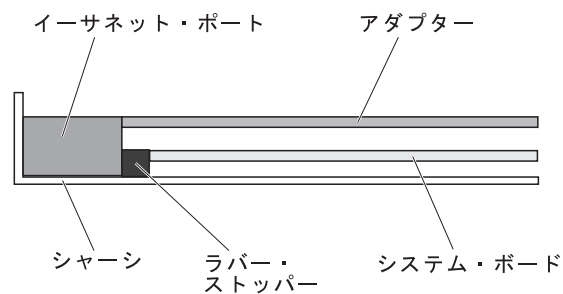


図 84. アダプターの取り付け

重要: アダプター上のポート・コネクタが、サーバー後部のシャーシと適切に位置合わせされていることを確認してください。アダプターを正しく取り付けないと、システム・ボードまたはアダプターが損傷する可能性があります。

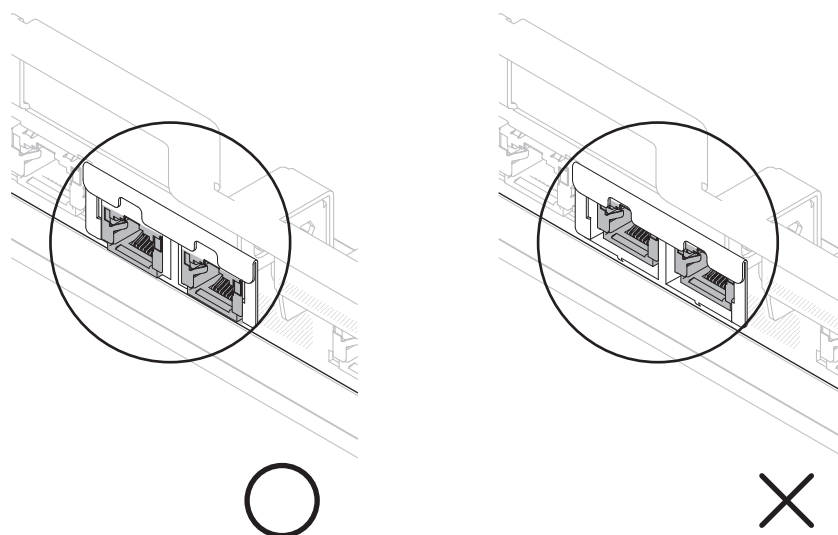


図 85. ポート・コネクタ

13. PCI ライザー・カード・コネクタ 1 の PCI ライザー・カード・アセンブリを取り外していた場合は、再取り付けします (453 ページの『PCI ライザー・カード・アセンブリの取り付け』を参照)。
14. カバーを取り付け直します (377 ページの『カバーの取り付け』を参照)。
15. サーバーをスライドさせながらラックに差し込みます。
16. 取り外した電源コードおよびすべてのケーブルを再接続します。
17. 周辺装置とサーバーの電源をオンにします。

リモート・バッテリーとして取り付けられた RAID アダプター・バッテリーの取り外し

以下の情報を使用して、リモート・バッテリーとして取り付けられた RAID アダプター・バッテリーを取り外します。

このタスクについて

RAID アダプター・バッテリーがマイクロプロセッサ 2 エアー・バッフル上でリモート・バッテリーとして取り付けられていて、それを取り替える必要がある場合は、次のステップを行います。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 367 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーと周辺装置の電源をオフにして、電源コードを切り離します。
3. カバーを取り外します (376 ページの『カバーの取り外し』を参照)。
4. マイクロプロセッサ 2 エアー・バッフルの上部から、所定の位置にバッテリーを保持しているバッテリー保持クリップを取り外します。サーバーの前面方向にリリース・タブを押し、バッテリー保持クリップを取り外します。

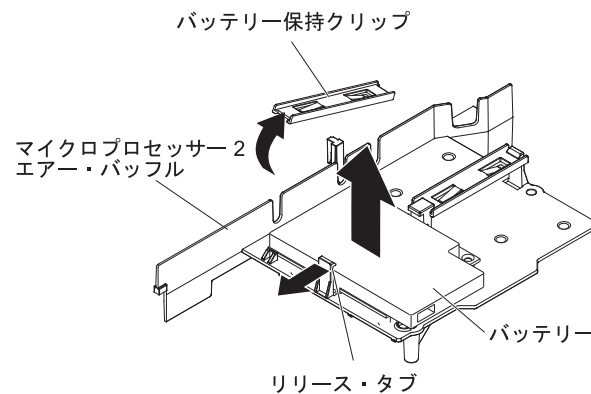


図 86. バッテリーの取り外し

5. リモート・バッテリー・ケーブルを、そのバッテリー・キャリア上のリモート・バッテリー・ケーブル・コネクタから外し、スロットからバッテリーとバッテリー・キャリアを持ち上げます。バッテリー・キャリア上のコネクタの位置に関しては、下図を参照してください。

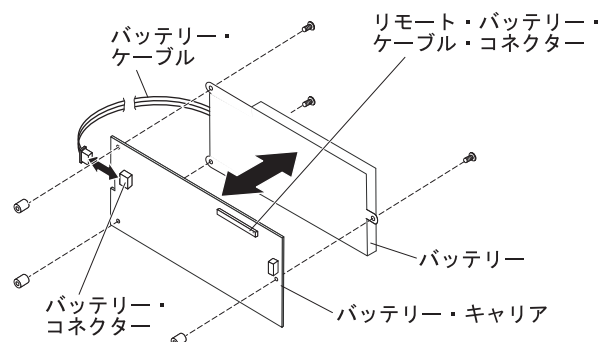


図 87. バッテリーの取り外し

6. バッテリー・キャリア上のバッテリー・ケーブル・コネクタから、バッテリー・ケーブルを外します。
7. バッテリー・キャリアをバッテリーに取り付けている 3 つのねじを外し、バッテリー・キャリアからバッテリーを取り外します。

注: バッテリーとバッテリー・キャリアがクリップを使用して接続されている場合、バッテリー・キャリアの側面にあるクリップをつまみ、バッテリー・キャリアからバッテリーを取り外します。

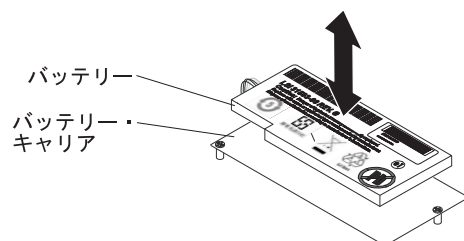


図 88. バッテリーの取り外し

タスクの結果

RAID アダプター・バッテリーの返却を指示された場合は、梱包の指示に従って、提供されている配送用の梱包材を使用してください。

リモート・バッテリーとしての RAID アダプター・バッテリーのサーバーへの取り付け

以下の情報を使用して、リモート・バッテリーとしての RAID アダプター・バッテリーをサーバーに取り付けます。

このタスクについて

バッテリーは、マイクロプロセッサ 2 エアー・バッフルの上部にのみ取り付ける必要があります。RAID アダプター・バッテリーをサーバーに取り付けるには、次のステップを実行します。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 367 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーと周辺装置の電源をオフにして、電源コードを切り離します。
3. カバーを取り外します (376 ページの『カバーの取り外し』を参照)。
4. ライザー・カード上に RAID アダプターを取り付け、ライザー・カード・アセンブリーをサーバーに取り付けます (453 ページの『PCI ライザー・カード・アセンブリーの取り付け』を参照)。
5. マイクロプロセッサ 2 エアー・バッフル上のノッチを通してリモート・バッテリー・ケーブルを配線します。
重要: ケーブルが挟まっていないか、およびシステム・ボード上のコネクタを覆っていたり、コンポーネントの障害となっていないか確認してください。
6. マイクロプロセッサ 2 エアー・バッフルにバッテリーを取り付けます。
 - a. バッテリー・ケーブルをバッテリー・キャリアのバッテリー・ケーブル・コネクタに接続します。

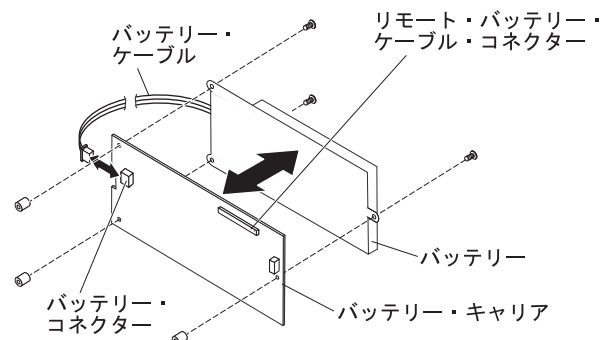


図 89. バッテリーの取り付け

- b. マイクロプロセッサ 2 エアー・バッフル上のバッテリー取り付けスロットにバッテリー・キャリアを置いて、バッテリー・キャリアがスロット内でしっかり固定されるように、バッテリー・キャリア・ポストがバッテリー取り付けスロット上のリングと位置が合うようにします。

注: リモート・バッテリーの位置は、取り付けるリモート・バッテリーのタイプによって異なります。

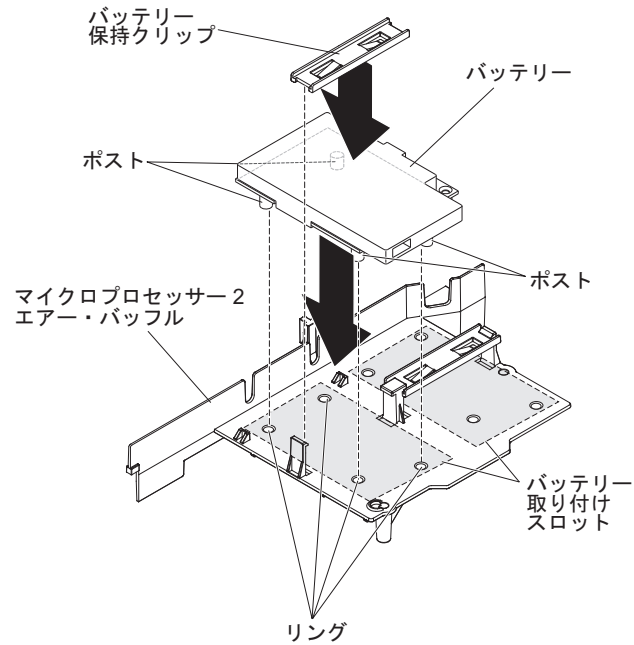


図 90. バッテリーの取り付け

- c. リリース・タブをサーバーの前面方向に押しながら、バッテリー保持クリップを持って他のタブの下にそれを置きます。次に、バッテリー・キャリアを所定の位置にしっかりと保持するためにパチンという音がして所定の位置に入るまで、それを下に押し込みます。
7. カバーを取り付けます。
8. サーバーをスライドさせながらラックに差し込みます。
9. 電源コードとすべての外部ケーブルを再接続し、サーバーと周辺装置の電源を入れます。

システム・バッテリーの取り外し

システム・バッテリーを取り外すには、この情報を使用します。

このタスクについて

以下の注では、バッテリーの交換時に考慮すべき事項について説明します。

- IBM は安全性を考慮してこの製品を設計しました。起こりうる危険な事態を防止するために、リチウム・バッテリーの正しい取り扱いが必要です。バッテリーを交換する場合、以下の説明を厳守する必要があります。

注: 米国の場合、バッテリーの廃棄に関しては、1-800-IBM-4333 に電話してください。

- オリジナルのリチウム・バッテリーを、重金属バッテリーまたは重金属コンポーネントを含むバッテリーに交換する場合、以下の環境上の考慮事項に配慮する必要があります。重金属を含むバッテリーおよび蓄電池は、通常のごみと一緒に廃棄しないでください。製造者、流通業者、または販売代理人によって無料で回収され、再利用されるか、正しい方法で廃棄されます。

- 交換用バッテリーを注文するには、米国内では 1-800-IBM-SERV に、カナダでは 1-800-465-7999 または 1-800-465-6666 に電話してください。米国およびカナダ以外では、サポート・センターまたは指定のビジネス・パートナーにご連絡ください。

注: バッテリーの交換後は、サーバーを再構成し、システム日付と時刻をリセットしなければなりません。

安全 2



注意:

リチウム・バッテリーを交換する場合は、IBM 部品番号 33F8354 またはメーカーが推奨する同等タイプのバッテリーのみを使用してください。システムにリチウム・バッテリーが入ったモジュールがある場合、そのモジュールの交換には同じメーカーの同じモジュール・タイプのみを使用してください。バッテリーにはリチウムが含まれており、適切な使用、扱い、廃棄をしないと、爆発するおそれがあります。

次のことはしないでください。

- 水に投げ込む、あるいは浸す
- 100°C (華氏 212 度) を超える過熱
- 修理または分解

バッテリーを廃棄する場合は地方自治体の条例に従ってください。

システム・ボード・バッテリーを取り外すには、次のステップを行います。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 367 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーと周辺装置の電源をオフにして、電源コードを切り離します。
3. カバーを取り外します (376 ページの『カバーの取り外し』を参照)。
4. 必要な場合は、PCI ライザー・カード・アセンブリーを持ち上げて邪魔にならないようにします (452 ページの『PCI ライザー・カード・アセンブリーの取り外し』を参照)。
5. システム・ボード・バッテリーを取り外します。

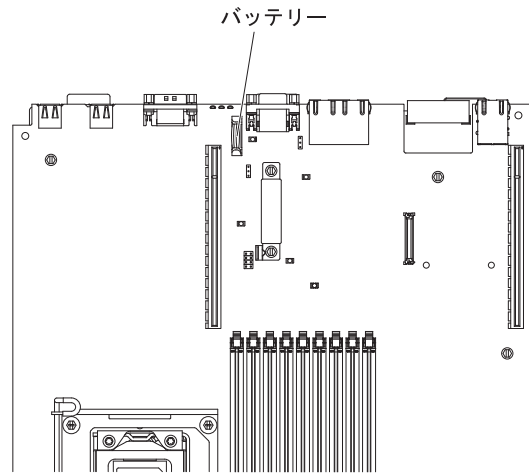


図 91. バッテリーの位置

- a. バッテリー・ホルダーにゴム製のカバーが付いている場合は、指を使ってバッテリー・コネクタからバッテリー・カバーを持ち上げます。
- b. バッテリーを指で水平方向に押してスロット 2 の PCI ライザー・カード・ハウジングから出し、ハウジングから押し出します。

重要: 過度の力でバッテリーを傾けたり押ししたりしないでください。

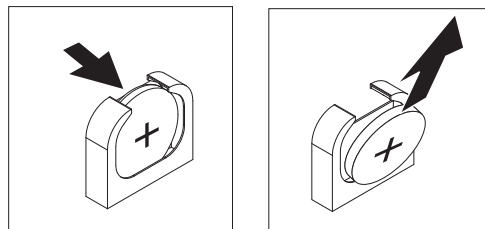


図 92. バッテリーの取り外し

- c. 親指と人差し指を使用してバッテリーをソケットから持ち上げます。

重要: 過度の力でバッテリーを持ち上げないでください。正しくバッテリーを取り外さないと、システム・ボード上のソケットが損傷する可能性があります。ソケットが損傷すると、システム・ボードの交換が必要になる場合があります。

6. バッテリーを廃棄する場合は地方自治体の条例に従ってください。詳細は、IBM System x Documentation CD 上の「IBM Environmental Notices and User's Guide」を参照してください。

システム・バッテリーの取り付け

以下の情報を使用して、システム・バッテリーを取り付けます。

このタスクについて

以下の注では、サーバー内でシステム・ボード・バッテリーを交換するときに考慮する必要のある事項について説明します。

- システム・ボード・バッテリーを交換するときは、同じ製造元の同じタイプのリチウム・バッテリーと交換する必要があります。
- 交換バッテリーを注文するには、米国内では 1-800-426-7378 に、カナダ内では 1-800-465-7999 または 1-800-465-6666 に電話してください。米国およびカナダ以外では、IBM 営業担当員または認可販売店に電話してください。
- システム・ボード・バッテリーの交換後は、サーバーを再構成し、システム日付と時刻をリセットしなければなりません。
- 起こり得る危険を回避するために、以下の安全の注記をお読みにになり、それに従ってください。

安全 2



注意:

リチウム・バッテリーを交換する場合は、IBM 部品番号 33F8354 またはメーカーが推奨する同等タイプのバッテリーのみを使用してください。システムにリチウム・バッテリーが入ったモジュールがある場合、そのモジュールの交換には同じメーカーの同じモジュール・タイプのみを使用してください。バッテリーにはリチウムが含まれており、適切な使用、扱い、廃棄をしないと、爆発するおそれがあります。

次のことはしないでください。

- 水に投げ込む、あるいは浸す
- 100°C (華氏 212 度) を超える過熱
- 修理または分解

バッテリーを廃棄する場合は地方自治体の条例に従ってください。

交換用システム・ボード・バッテリーを取り付けるには、次のステップを行います。

手順

1. 交換バッテリーに付属の特殊な取り扱いや取り付けの説明書があれば、それに従ってください。
2. 新しいバッテリーを次のように挿入します。
 - a. バッテリーを傾けて、バッテリー・クリップの反対側でバッテリーをソケットに挿入できるようにします。



図 93. バッテリーの取り付け

- b. バッテリーをソケットの中に押し下げ、定位置に収めます。バッテリー・クリップがバッテリーをしっかり保持していることを確認します。
 - c. バッテリー・ホルダーからゴム製のカバーを取り外した場合は、指を使ってバッテリー・コネクタの上部にバッテリー・カバーを取り付けます。
3. カバーを取り付けます (377 ページの『カバーの取り付け』を参照)。
4. サーバーをスライドさせながらラックに差し込みます。
5. 外部ケーブルを再接続します。次に電源コードを再接続して、周辺装置とサーバーの電源をオンにします。
6. Setup ユーティリティを始動して、構成をリセットします。
 - システムの日付と時刻を設定します。
 - 始動パスワードを設定します。
 - サーバーを再構成します。

詳しくは、492 ページの『Setup ユーティリティの使用』を参照してください。

Tier 2 の CRU の取り外しと交換

Tier 2 CRU はお客様ご自身で取り付けることができますが、対象のサーバーに関して指定された保証サービスの種類に基づき、追加料金なしで IBM に取り付けを依頼することもできます。

注: 本書の図は、ご使用のハードウェアと多少異なる場合があります。

ベゼルの取り外し

ベゼルを取り外すには、この情報を使用します。

このタスクについて

ベゼルを取り外すには、次のステップを行います。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 367 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーと周辺装置の電源をオフにして、電源コードを切り離します。
3. カバーを取り外します (376 ページの『カバーの取り外し』を参照)。
4. ハード・ディスク・ベイから、ハード・ディスクとフィラー・パネルを取り外します。
5. ベゼルからねじを取り外します。

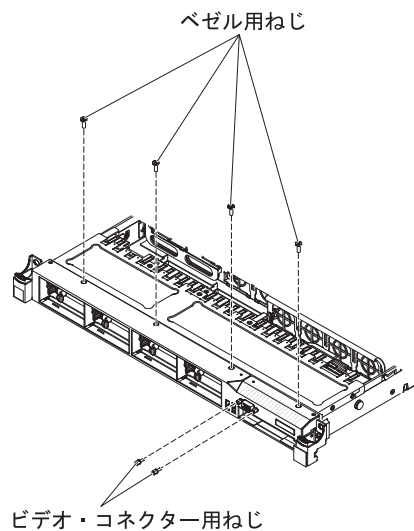


図 94. ねじの取り外し

6. ビデオ・コネクタからねじを取り外します。
7. ベゼルの上部を少し引き出してから、下方にそれを回転させて、ベゼル底部にあるタブがシャーシから外れるようにし、脇に置いておきます。

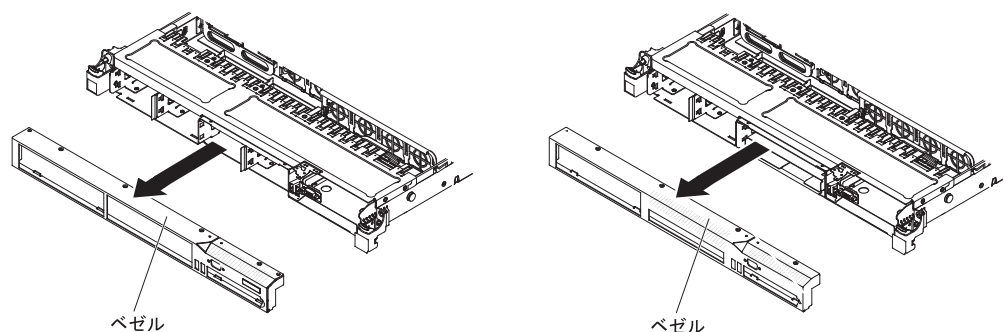


図 95. ベゼルの取り外し

ベゼルの取り付け

ベゼルを取り付けるには、この情報を使用します。

このタスクについて

ベゼルを取り付けるには、次のステップを行います。

手順

1. ベゼル底部にあるタブをシャーシにある穴に挿入します。
2. サーバーに対して上方向にベゼルのねじを再取り付けします。

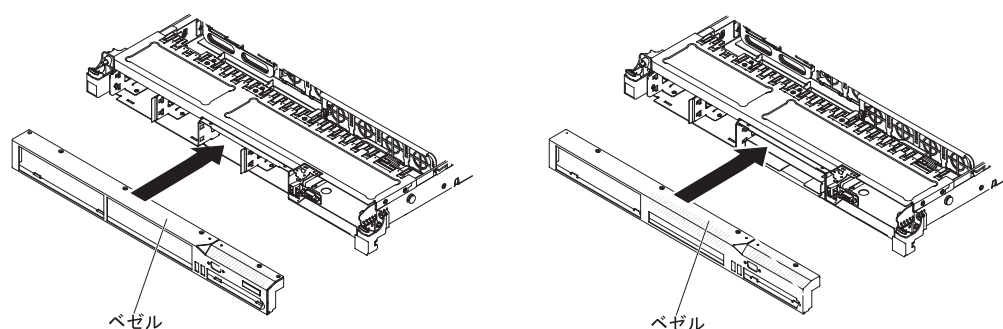


図 96. ベゼルの取り付け

3. ビデオ・コネクタのねじを再取り付けします。
4. ハード・ディスクとドライブ・ベイ・フィラー・パネルをドライブ・ベイに再取り付けします。
5. カバーを取り付けます (377 ページの『カバーの取り付け』を参照)。
6. 取り外した電源コードおよびすべてのケーブルを再接続します。
7. サーバーをスライドさせながらラックに差し込みます。
8. 周辺装置とサーバーの電源をオンにします。

オプションの光学式ドライブ・ケージの取り外し

以下の情報を使用して、オプションの光学式ドライブ・ケージを取り外します。

このタスクについて

オプションの光学式ドライブ・ケージを取り外すには、次のステップを行います。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 367 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーと周辺装置の電源をオフにして、電源コードを切り離します。
3. カバーを取り外します (376 ページの『カバーの取り外し』を参照)。
4. DVD ケーブルを取り外します (448 ページの『DVD ケーブルの取り外し』を参照)。
5. DVD ドライブを取り外します (397 ページの『オプションの DVD ドライブの取り外し』を参照)。
6. ベゼルを取り外します (444 ページの『ベゼルの取り外し』を参照)。
7. オプションの光学式ドライブ・ケージをスライドさせてシャーシから外し、横に置いておきます。

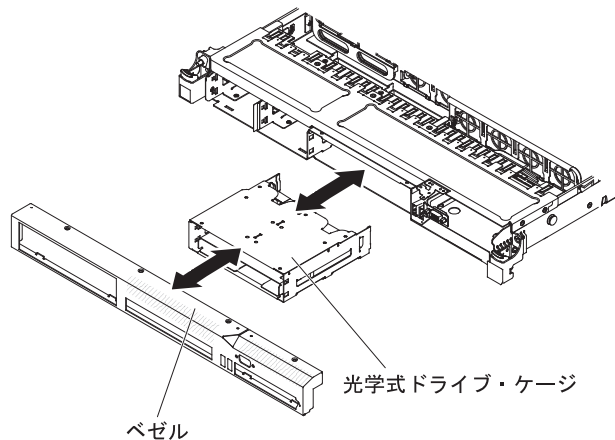


図 97. 光学式ドライブ・ケージの取り外し

オプションの光学式ドライブ・ケージの取り付け

以下の情報を使用して、オプションの光学式ドライブ・ケージを取り付けます。

このタスクについて

光学式ドライブ・ケージを取り付けるには、次のステップを行います。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 367 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーと周辺装置の電源をオフにして、電源コードを切り離します。
3. カバーを取り外します (376 ページの『カバーの取り外し』を参照)。
4. ベゼルを取り外します (444 ページの『ベゼルの取り外し』を参照)。
5. 光学式ドライブ・ケージを光学式ドライブ・ベイの中にスライドさせ、ドライブ・ケージのねじ穴がシャーシのねじ穴と位置が合うまで差し込みます。

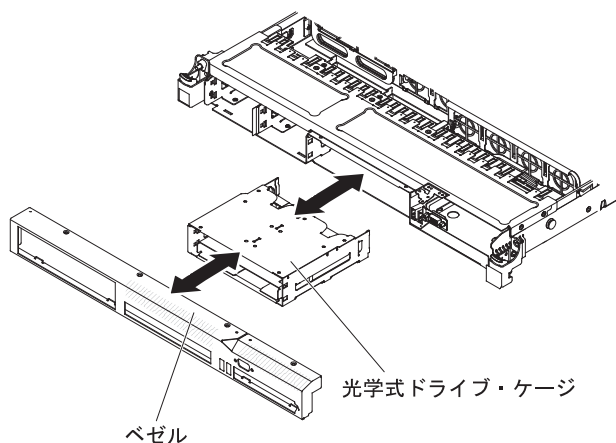


図 98. 光学式ドライブ・ケージの取り付け

6. ベゼルを取り付けます (445 ページの『ベゼルの取り付け』を参照)。
7. DVD ケーブルを取り付けます (450 ページの『DVD ケーブルの取り付け』を参照)。
8. カバーを取り付けます (377 ページの『カバーの取り付け』を参照)。
9. 取り外した電源コードおよびすべてのケーブルを再接続します。
10. サーバーをスライドさせながらラックに差し込みます。
11. 周辺装置とサーバーの電源をオンにします。

DVD ケーブルの取り外し

以下の情報を使用して、DVD ケーブルを取り外します。

このタスクについて

DVD ケーブルを取り外すには、次のステップを行います。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 367 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーと周辺装置の電源をオフにして、電源コードを切り離します。
3. カバーを取り外します (376 ページの『カバーの取り外し』を参照)。
4. ファン・コネクタ 2、3、および 4 でファンを取り外します (419 ページの『ホット・スワップ・ファン・アセンブリーの取り外し』を参照)。
5. DVD ドライブを取り外します (397 ページの『オプションの DVD ドライブの取り外し』を参照)。
6. コネクタ・リリース・タブを押しながら DVD ケーブルをシステム・ボードのコネクタから取り外します。

重要: DVD ケーブルをシステム・ボードから切り離すには、コネクタ・リリース・タブを押す必要があります。DVD ケーブルを切り離すときは力を入れすぎないようにしてください。DVD ケーブルを適切にシステム・ボードから切り離さないと、システム・ボード上のコネクタが損傷する可能性があります。コネクタが損傷すると、システム・ボードの交換が必要になる場合があります。

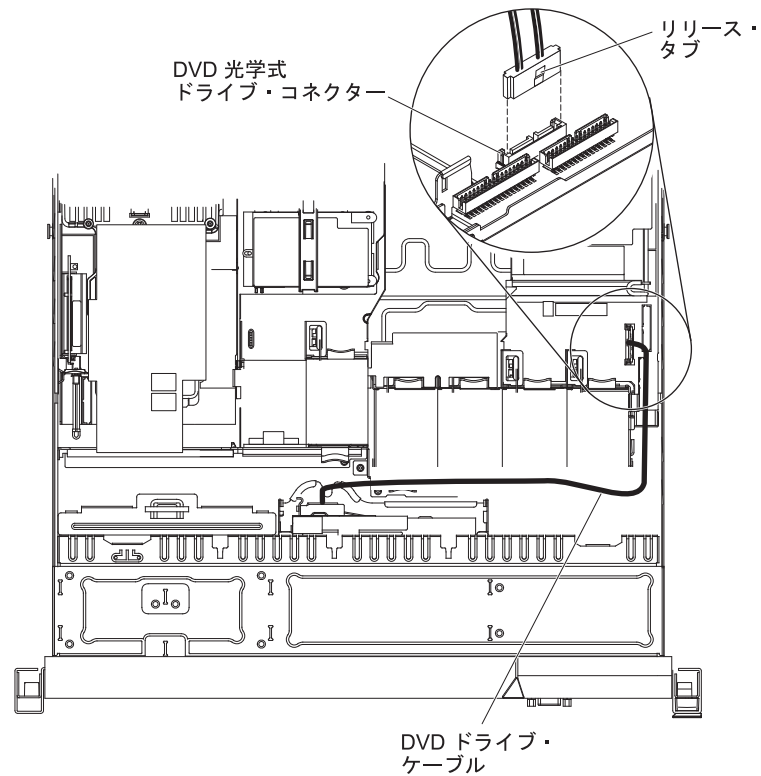


図 99. DVD のケーブル接続

7. サーバーの前面で、ケーブル・コネクタ・ラッチをつかんで、ファン・ブラケットに向かって上にそのラッチをスライドさせます。次に、スプリング・ラッチ(ケーブル・コネクタの右側)を押して、ケーブル・コネクタを右方向にスライドさせます。

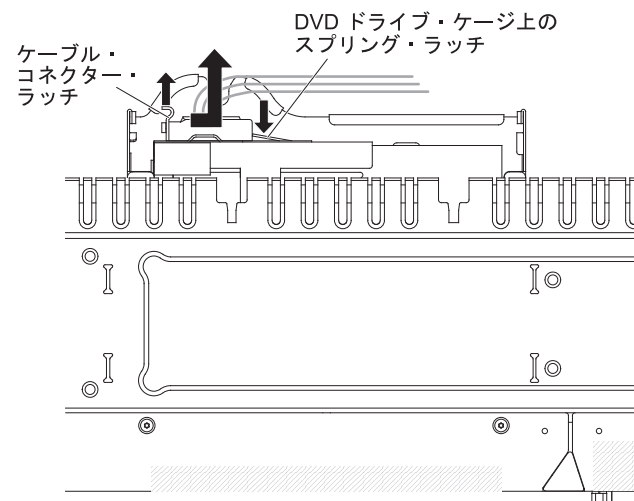


図 100. DVD ケーブルの取り外し

8. 光学式ドライブ・ケージ・コネクタからケーブルを取り外し、脇に置いておきます。

タスクの結果

DVD ドライブ・ケーブルの返却を指示された場合は、梱包の指示に従って、提供されている配送用の梱包材を使用してください。

DVD ケーブルの取り付け

DVD ケーブルを取り付けるには、この情報を使用します。

このタスクについて

DVD ケーブルを取り付けるには、次のステップを行います。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 367 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーと周辺装置の電源をオフにして、電源コードを切り離します。
3. カバーを取り外します (376 ページの『カバーの取り外し』を参照)。
4. 光学式ドライブ・ケージの背面にあるコネクタとケーブル・コネクタを位置合わせし、そのケーブル・コネクタを光学式ドライブ・ケージ・コネクタに押し込んで、確実に収容します。
5. ケーブル・コネクタを左方向にスライドさせている間は、ケーブル・コネクタ・ラッチを引き上げ、そのラッチをその状態にしたままにして、次に、ケーブル・コネクタ・ラッチを下方向にスライドさせて、所定の位置でケーブルをロックします。

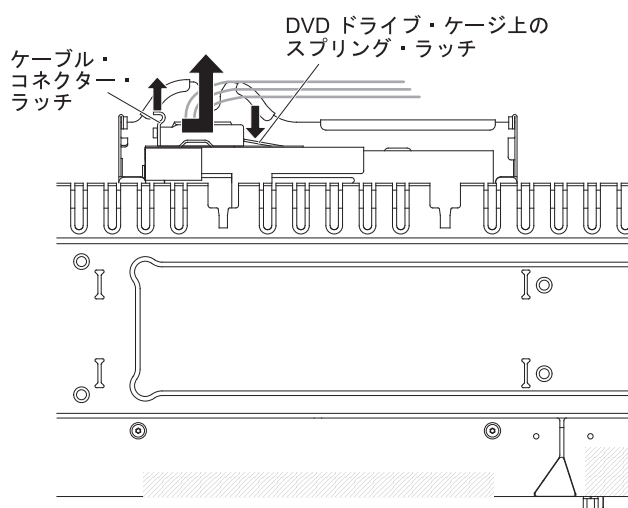


図 101. DVD ケーブルの取り付け

下図には、DVD ケーブル用のケーブル配線を記載してあります。

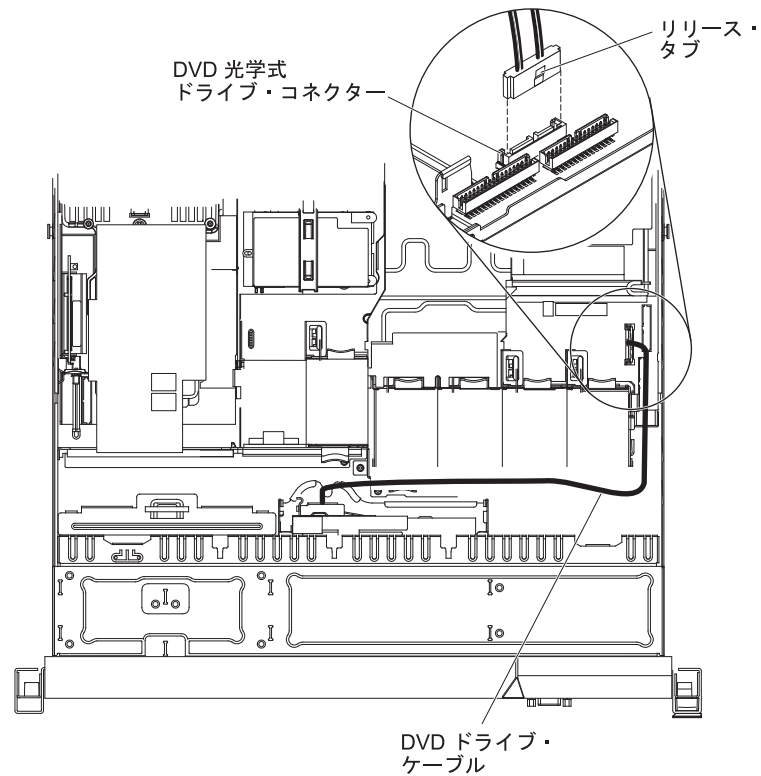


図 102. DVD のケーブル接続

6. DVD ドライブを再取り付けします (399 ページの『オプション DVD ドライブの取り付け』を参照)。
7. ファンを再取り付けします (421 ページの『ホット・スワップ・ファン・アセンブリーの取り付け』を参照)。
8. カバーを取り付け直します (377 ページの『カバーの取り付け』を参照)。
9. サーバーをスライドさせながらラックに差し込みます。
10. 取り外した電源コードおよびすべてのケーブルを再接続します。
11. 周辺装置とサーバーの電源をオンにします。

PCI ライザー・カード・アセンブリの取り外し

以下の情報を使用して、PCI ライザー・カード・アセンブリを取り外します。

このタスクについて

注: アダプターを取り付けない場合でも、PCI ライザー・カード・アセンブリをスロット 2 に取り付ける必要があります。

PCI ライザー・カード・アセンブリを取り外すには、次のステップを行います。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 367 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離します。
3. カバーを取り外します (376 ページの『カバーの取り外し』を参照)。
4. PCI ライザー・カード・アセンブリにアダプターが取り付けられている場合、アダプターに接続されたケーブルをすべて切り離します。
5. PCI ライザー・カード・アセンブリの背面を、その背面からつかみ、持ち上げてシステム・ボードの PCI ライザー・カード・スロットから出します。

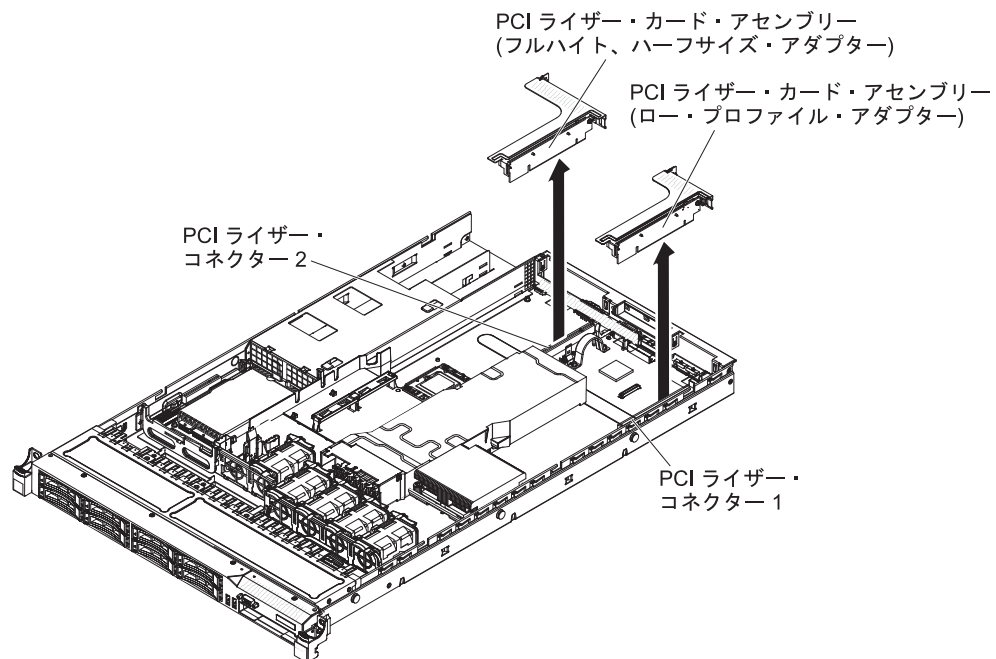


図 103. PCI ライザー・カード・アセンブリの取り外し

6. アダプターがある場合は、それを PCI ライザー・カード・アセンブリから取り外します。
7. アダプターと PCI ライザー・カード・アセンブリを脇に置いておきます。

PCI ライザー・カード・アセンブリの取り付け

以下の情報を使用して、PCI ライザー・カード・アセンブリを取り付けます。

このタスクについて

注: アダプターを取り付けない場合でも、PCI ライザー・カード・アセンブリをスロット 2 に取り付ける必要があります。

PCI ライザー・カード・アセンブリを取り付けるには、次のステップを実行します。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 367 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離します。
3. カバーを取り外します (376 ページの『カバーの取り外し』を参照)。
4. アダプターを新しい PCI ライザー・カード・アセンブリに取り付けます (404 ページの『アダプターの交換』を参照)。
5. アダプター・メーカーの指示どおりに、ジャンパーまたはスイッチをすべてアダプターに設定します。
6. PCI ライザー・カード・アセンブリをシステム・ボードの PCI スロット・コネクタ 1 に取り付ける場合は、サーバーの背面から PCI フィラー・パネルを取り外します。
7. PCI ライザー・カード・アセンブリとシステム・ボードにある PCI スロット・コネクタとを位置合わせしてから、システム・ボード上のコネクタにしっかりと収まるまでこの PCI ライザー・カード・アセンブリを下に押しします。

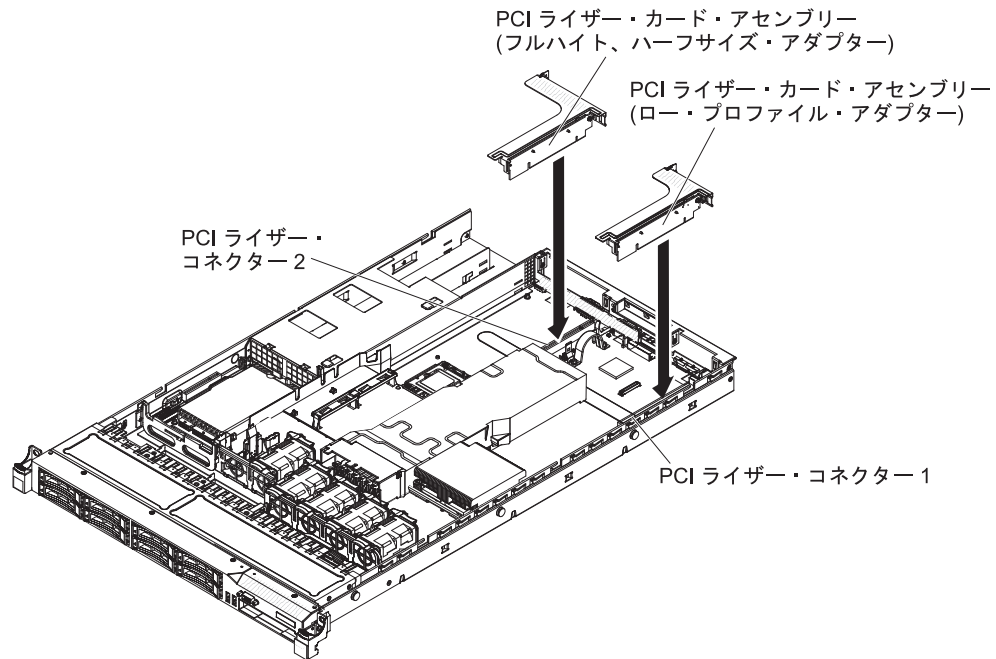


図 104. PCI ライザー・カード・アセンブリーの取り付け

ライザー・カードからの PCI ライザー・カード・ブラケットの取り外し

以下の情報を使用して、ライザー・カードから PCI ライザー・カード・ブラケットを取り外します。

このタスクについて

ライザー・カードから PCI ライザー・カード・ブラケットを取り外すには、次のステップを行います。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 367 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離します。
3. カバーを取り外します (376 ページの『カバーの取り外し』を参照)。
4. PCI ライザー・カード・アセンブリーを取り外します (452 ページの『PCI ライザー・カード・アセンブリーの取り外し』を参照)。
5. PCI ライザー・カードを PCI ブラケットに取り付けているねじを取り外します。

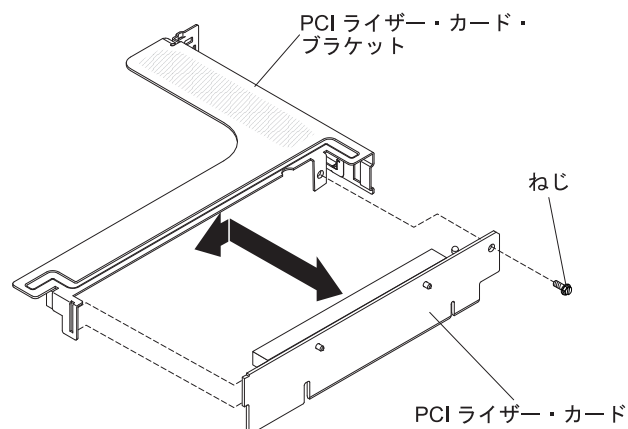


図 105. PCI ライザー・カード・ブラケットの取り外し

タスクの結果

PCI ブラケットの返却を指示された場合は、梱包の指示に従って、提供されている配送用の梱包材を使用してください。

ライザー・カードへの PCI ライザー・カード・ブラケットの取り付け

以下の情報を使用して、ライザー・カードへ PCI ライザー・カード・ブラケットを取り付けます。

このタスクについて

ライザー・カードに PCI ライザー・カード・ブラケットを取り付けるには、次のステップを行います。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 367 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離します。
3. カバーを取り外します (376 ページの『カバーの取り外し』を参照)。
4. PCI ライザー・カード上の穴と PCI ブラケットとを位置合わせし、PCI ライザー・カードを PCI ブラケットに取り付けるねじを取り付けます。

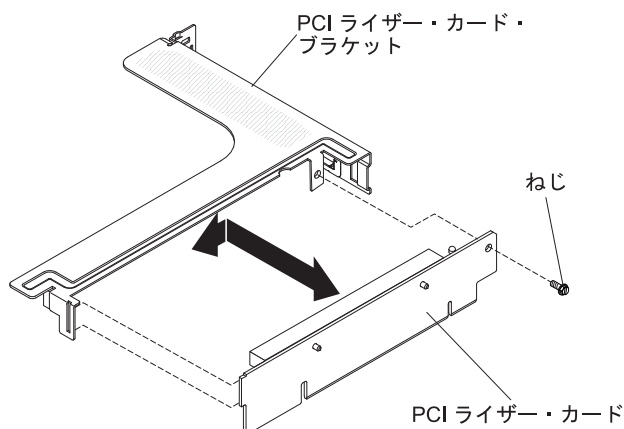


図 106. PCI ライザー・カード・ブラケットの取り付け

5. アダプターを取り付ける必要がある場合は、404 ページの『アダプターの交換』を参照してください。
6. PCI ライザー・カード・アセンブリーを取り付けます (453 ページの『PCI ライザー・カード・アセンブリーの取り付け』を参照)。
7. アダプター用のケーブルを再接続します。
8. カバーを取り付けます (377 ページの『カバーの取り付け』を参照)。
9. サーバーをスライドさせながらラックに差し込みます。
10. 取り外した電源コードおよびすべてのケーブルを再接続します。
11. 周辺装置とサーバーの電源をオンにします。

ホット・スワップ SAS/SATA ハード・ディスク・バックプレーンの取り外し

以下の情報を使用して、ホット・スワップ SAS/SATA ハード・ディスク・バックプレーンを取り外します。

このタスクについて

ホット・スワップ SAS/SATA ハード・ディスク・バックプレーンを取り外すには、次のステップを行います。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 367 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離します。
3. カバーを取り外します (376 ページの『カバーの取り外し』を参照)。
4. ハード・ディスクとフィラー・パネルをサーバーから少し引き出して、ハード・ディスク・バックプレーンから取り外します。
5. ハード・ディスク・バックプレーンからすべてのケーブルを切り離します。

注: また、作業の容易性を考慮して、ブラケットからバックプレーンを取り外した後で、ケーブルを切り離しても構いません。

6. ハード・ディスク・バックプレーンを持ち上げてサーバーから取り外します。

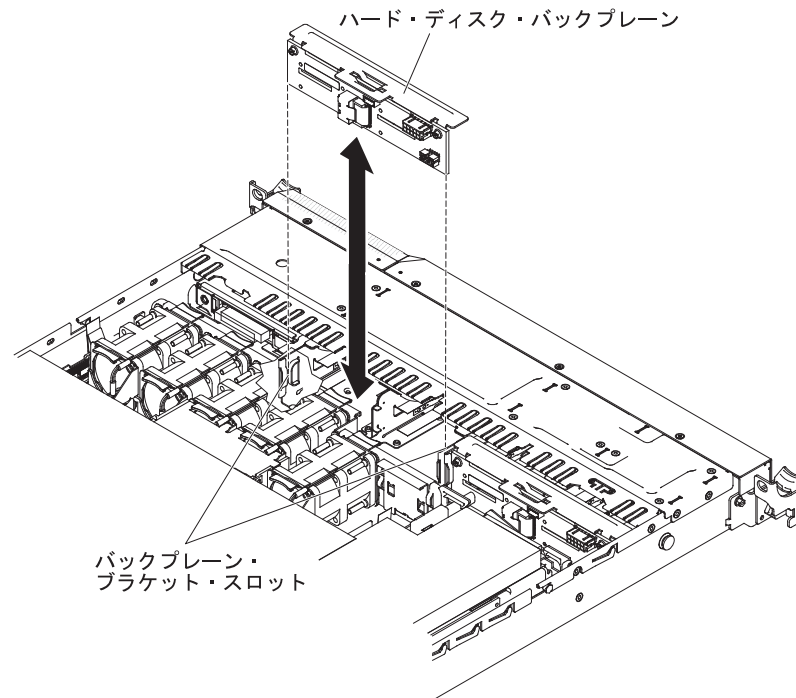


図 107. バックプレーンの取り外し

タスクの結果

ハード・ディスク・バックプレーンの返却を指示された場合は、梱包の指示に従って、提供されている配送用の梱包材を使用してください。

ホット・スワップ SAS/SATA ハード・ディスク・バックプレーンの取り付け

ホット・スワップ SAS/SATA ハード・ディスク・バックプレーンを取り付けるには、この情報を使用します。

このタスクについて

交換用ホット・スワップ SAS/SATA ハード・ディスク・バックプレーンを取り付けるには、次のステップを行います。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 367 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離します。
3. カバーを取り外します (376 ページの『カバーの取り外し』を参照)。
4. ハード・ディスク・バックプレーンの両側面を、バックプレーン・ブラケットのスロットと位置合わせします。

5. バックプレーン・ブラケットのスロットにハード・ディスク・バックプレーンを挿入し、ハード・ディスク・バックプレーンを下に押し、バックプレーンが完全に収まるようにします。

注: ハード・ディスク・バックプレーンをブラケットに取り付ける前に、バックプレーンにケーブルを再び接続することができます。または、バックプレーンを取り付けた後にケーブルを再接続したほうが簡単である場合は、それも可能です。

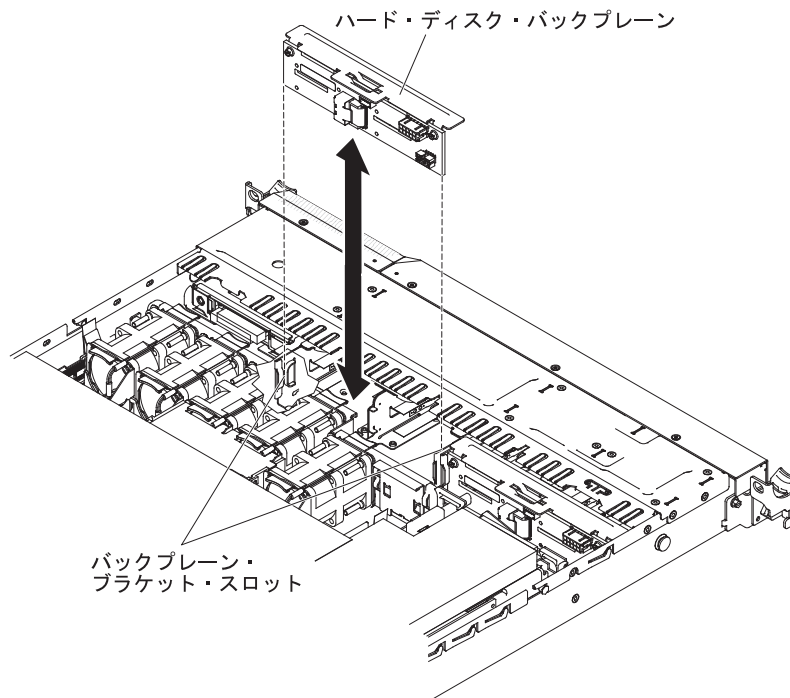


図 108. バックプレーンの取り付け

6. ハード・ディスク・バックプレーンにケーブルを再接続します。
7. ハード・ディスクとフィラー・パネルを再取り付けします。
8. カバーを取り付けます (377 ページの『カバーの取り付け』を参照)。
9. サーバーをスライドさせながらラックに差し込みます。
10. 取り外した電源コードおよびすべてのケーブルを再接続します。
11. 周辺装置とサーバーの電源をオンにします。

シンプル・スワップ SATA ハード・ディスク・バックプレート・アセンブリーの取り外し

以下の情報を使用して、シンプル・スワップ SATA ハード・ディスク・バックプレート・アセンブリーを取り外します。

このタスクについて

シンプル・スワップ SATA ハード・ディスク・バックプレート・アセンブリーを取り外すには、次のステップを行います。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 367 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離します。
3. カバーを取り外します (376 ページの『カバーの取り外し』を参照)。
4. 指を使用して黒色のドライブ・ハンドルをつかみながら、別の指で青色のリリース・タブを右側へスライドします。ハード・ディスクをサーバーから少しだけ引き出して、ハード・ディスク・バックプレートから取り外します (フィラー・パネルも同様にして取り外します)。
5. 電源ケーブルおよび信号ケーブルをシステム・ボードから外します。

注: また、作業の容易性を考慮して、ブラケットからバックプレートを取り外した後でケーブルを切り離しても構いません。

6. ハード・ディスク・バックプレートを持ち上げて、バックプレーン・ブラケットからバックプレート・アセンブリーを取り外し、サーバーから取り外します。

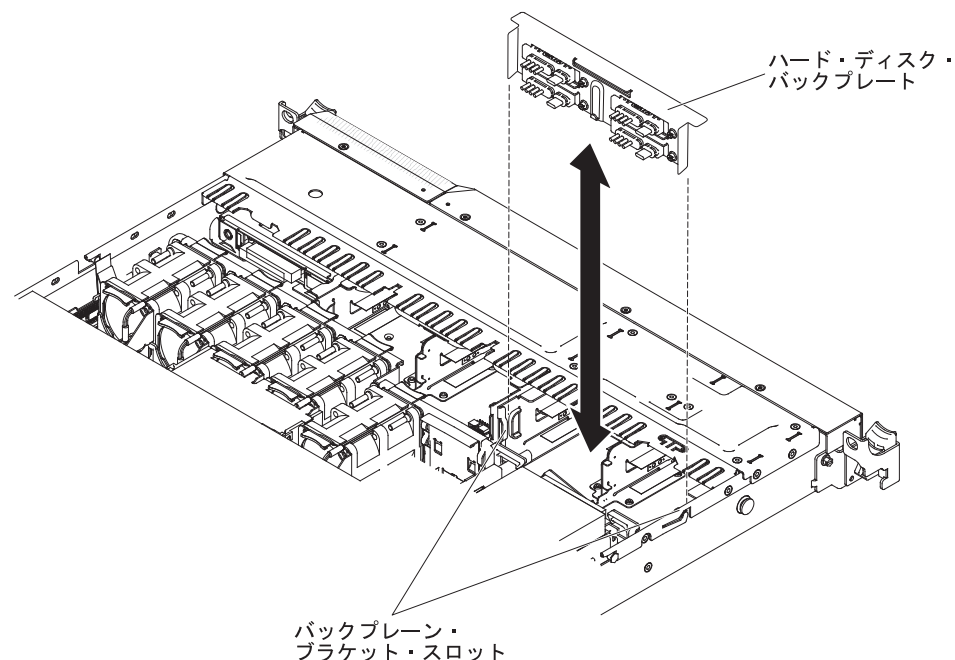


図 109. バックプレート・アセンブリーの取り外し

タスクの結果

ハード・ディスク・バックプレート・アセンブリの返却を指示された場合は、梱包の指示に従って、提供されている配送用の梱包材を使用してください。

シンプル・スワップ SATA ハード・ディスク・バックプレート・アセンブリの取り付け

以下の情報を使用して、シンプル・スワップ SATA ハード・ディスク・バックプレート・アセンブリを取り付けます。

このタスクについて

交換用シンプル・スワップ SATA ハード・ディスク・バックプレート・アセンブリを取り付けるには、次のステップを行います。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 367 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離します。
3. カバーを取り外します (376 ページの『カバーの取り外し』を参照)。
4. ハード・ディスク・バックプレートの側面を、バックプレーン・ブラケット上のスロットと位置合わせします。

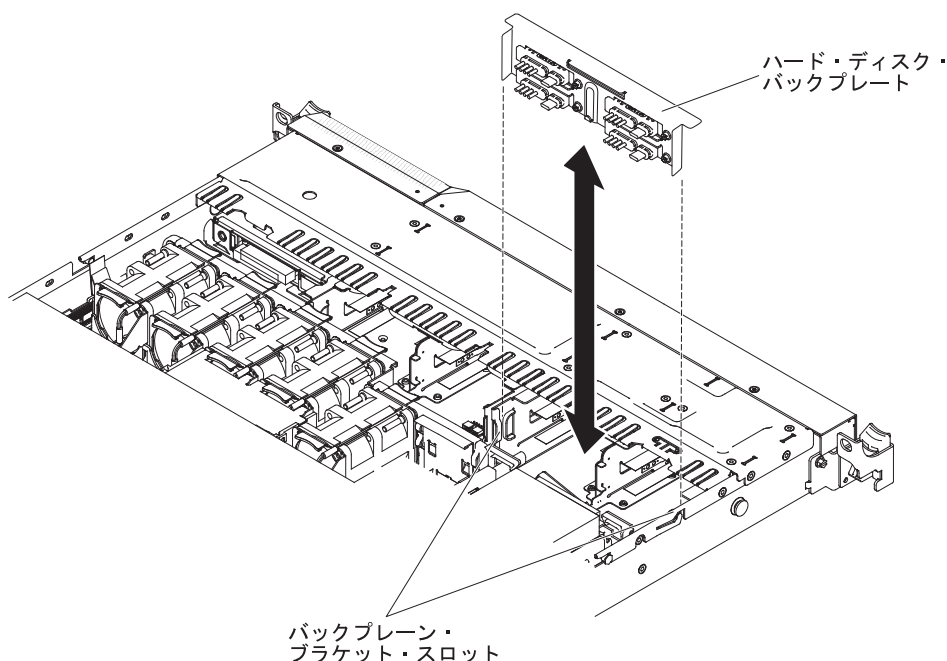


図 110. バックプレート・アセンブリの取り付け

5. バックプレート・ブラケット上のスロットにハード・ディスク・バックプレートを挿入し、しっかり装着されるまでハード・ディスク・バックプレート・アセンブリを押し下げます。

6. 電源ケーブルおよび信号ケーブルをシステム・ボードに接続します。次の図に示すように、電源ケーブルをドライブ・バックプレートから青色のアダプター保持ブラケットの右側にある穴を通過するように配線し、「**シンプル・スワップ SATA 電源コネクタ**」に接続します（20 ページの『システム・ボードの内部コネクタ』を参照）。次に、信号ケーブルをドライブ・バックプレートから青色のアダプター保持ブラケットの上を通過するように配線し、「**シンプル・スワップ SATA 信号コネクタ**」に接続します。

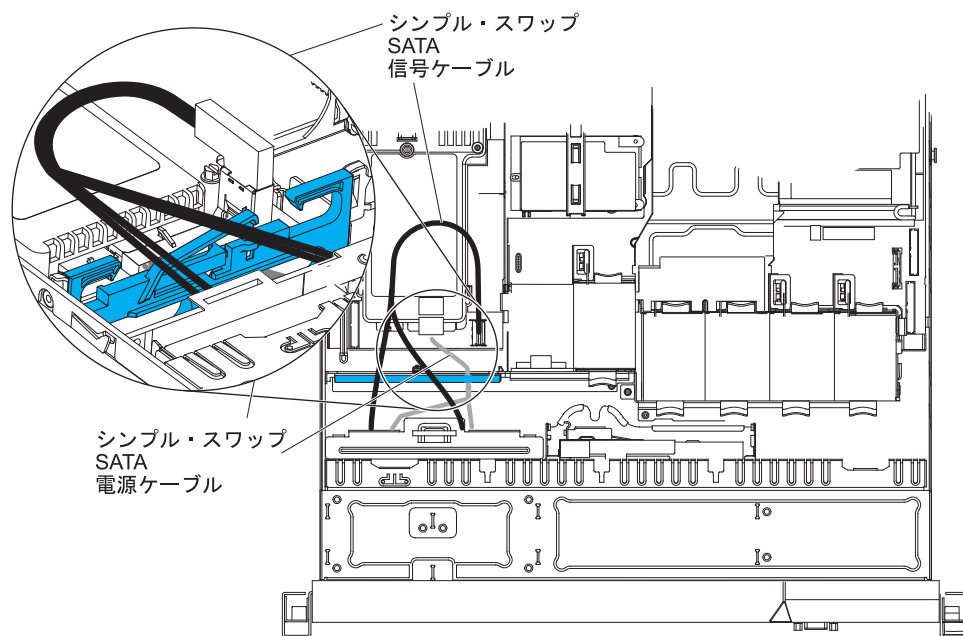


図 III. バックプレート・アセンブリー・ケーブルの接続

7. ハード・ディスクとフィラー・パネルを再取り付けします。
8. カバーを取り付けます（377 ページの『カバーの取り付け』を参照）。
9. サーバーをスライドさせながらラックに差し込みます。
10. 取り外した電源コードおよびすべてのケーブルを再接続します。
11. 周辺装置とサーバーの電源をオンにします。

オペレーター情報パネル・アセンブリーの取り外し

オペレーター情報パネル・アセンブリーを取り外すには、この情報を使用します。

このタスクについて

オペレーター情報パネルを取り外すには、次のステップを行います。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 367 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離します。
3. カバーを取り外します (376 ページの『カバーの取り外し』を参照)。
4. オペレーター情報パネル・アセンブリーの背面からケーブルを切り離します。
5. 先のとがったものを使用してリリース・タブを押し下げ、リリース・タブを押したままの状態パネル背面にある青色のプッシュ・ポイントをサーバーの前面方向に押します。

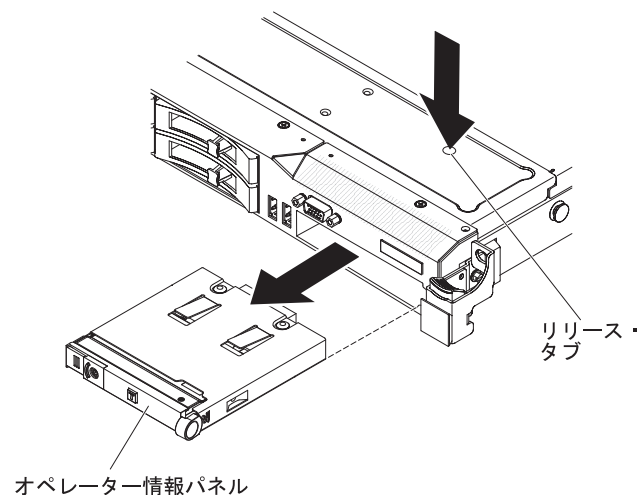


図 112. オペレーター情報パネル・アセンブリーの取り外し

6. サーバーの前面で、このアセンブリーを左右に少し動かしながらこのアセンブリーをサーバーから注意して引き出します。

タスクの結果

オペレーター情報パネル・アセンブリーの返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、パーツがお手元に届いたときの配送用パッケージ材がある場合は、それを使用して荷造りしてください。

オペレーター情報パネル・アセンブリーの取り付け

オペレーター情報パネル・アセンブリーを取り付けるには、この情報を使用します。

このタスクについて

オペレーター情報パネルを取り付けるには、次のステップを行います。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 367 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーの前面から、オペレーター情報パネルをサーバーに挿入してゆき、カチッという音を立てて所定の位置に収まるようにします。
3. サーバー内部で、オペレーター情報パネル・アセンブリーの背面にケーブルを接続します。

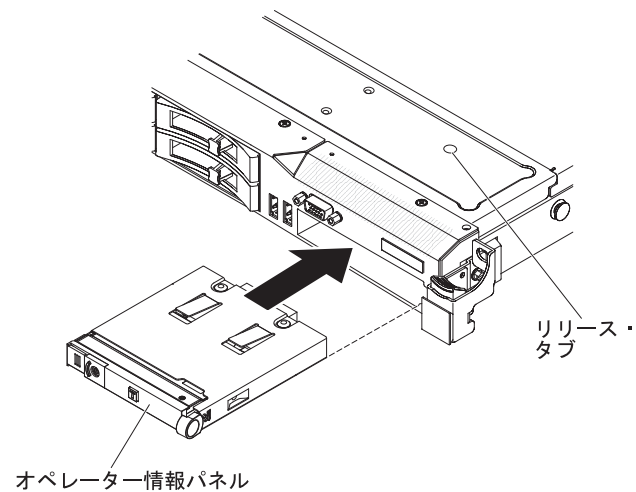


図 113. オペレーター情報パネル・アセンブリーの取り付け

次の図は、オペレーター情報パネルのケーブル配線を示しています。以下の注意書きでは、ケーブルを取り付ける際の追加情報を記載しています。

- オペレーター情報パネルのケーブルの取り付けまたは取り外しを行う前に、オプションの光学式ドライブのケーブルを取り外すことでスペースを確保することができます。
- オペレーター情報パネルのケーブルシステム・ボードに接続するには、ケーブルを均等に押し込みます。ケーブルの片側だけを押し、ケーブルあるいはコネクタが損傷する可能性があります。
- 3 本のケーブル (CD/DVD ケーブル、オペレーション情報パネル・ケーブル、Video/USB ケーブル) をすべてサーバーに取り付ける場合、オペレーション情報パネル・ケーブルは、Video/USB ケーブル (このケーブルが一番下) と CD/DVD ケーブル (このケーブルが一番上) の間に配線する必要があります。

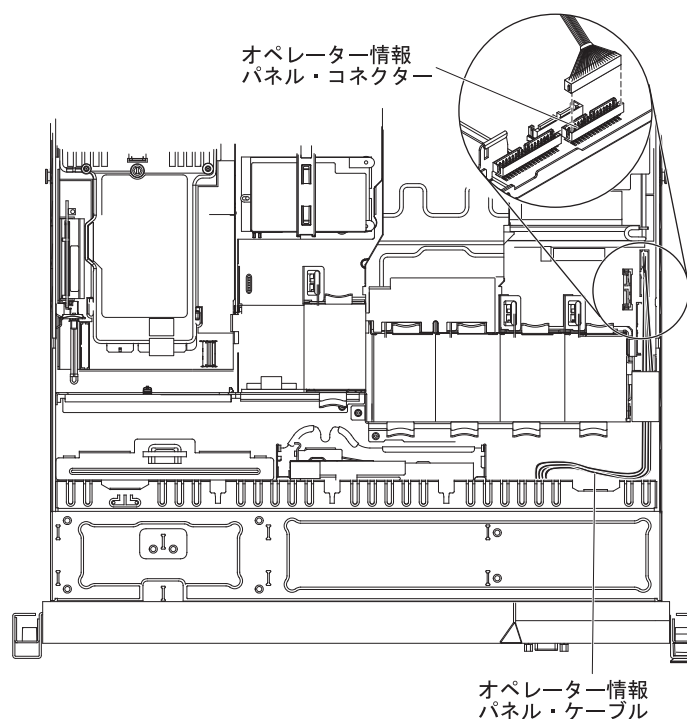


図 114. オペレーター情報パネル・アセンブリーのケーブル接続

4. カバーを取り付けます (377 ページの『カバーの取り付け』を参照)。
5. サーバーをスライドさせながらラックに差し込みます。
6. 取り外した電源コードおよびすべてのケーブルを再接続します。
7. 周辺装置とサーバーの電源をオンにします。

FRU の取り外しと交換

FRU は、トレーニングを受けたサービス技術員のみが交換または取り付ける必要があります。

注: 本書の説明図は、ご使用のハードウェアと多少異なる場合があります。

240 VA 安全カバーの取り外し

以下の情報を使用して、240 VA 安全カバーを取り外します。

このタスクについて

240 VA 安全カバーを取り外すには、次のステップを行います。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 367 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離します。
3. カバーを取り外します (376 ページの『カバーの取り外し』を参照)。
4. SAS/SATA ライザー・カード・アセンブリーを取り外します (408 ページの『SAS/SATA RAID ライザー・カード・アセンブリーの取り外し』を参照)。
5. 安全カバーからねじを取り外します。

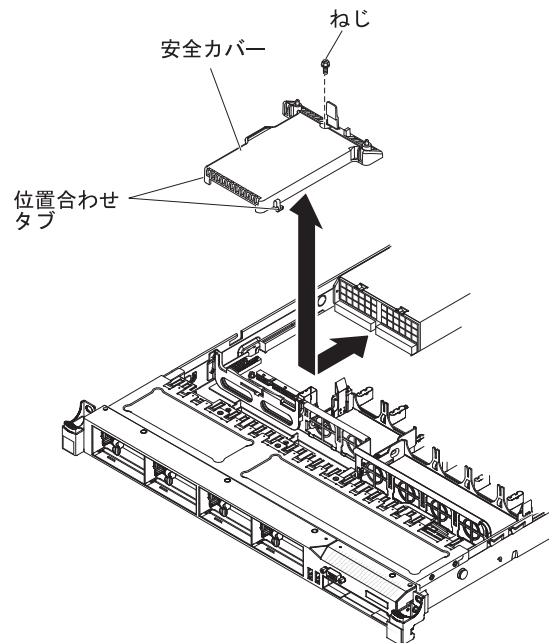


図 115. 安全カバーの取り外し

6. 安全カバーの前面にあるコネクターからハード・ディスク・バックプレーン・ケーブルを切り離します。
7. 安全カバーを前方にスライドさせて、システム・ボードからこのカバーを外してから、持ち上げてサーバーから出します。
- 8.
- 9.

タスクの結果

安全カバーの返却を指示された場合は、梱包の指示に従って、提供されている配送用の梱包材を使用してください。

240 VA 安全カバーの取り付け

以下の情報を使用して、240 VA 安全カバーを取り付けます。

このタスクについて

240 VA 安全カバーを取り付けるには、次のステップを行います。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 367 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離します。
3. カバーを取り外します (376 ページの『カバーの取り外し』を参照)。
4. SAS/SATA ライザー・カード・アセンブリーを取り外します (408 ページの『SAS/SATA RAID ライザー・カード・アセンブリーの取り外し』を参照)。
5. 安全カバーの底部にあるタブとシステム・ボードにあるスロットとを位置合わせし、安全カバーを下ろしてシステム・ボードに入れます。

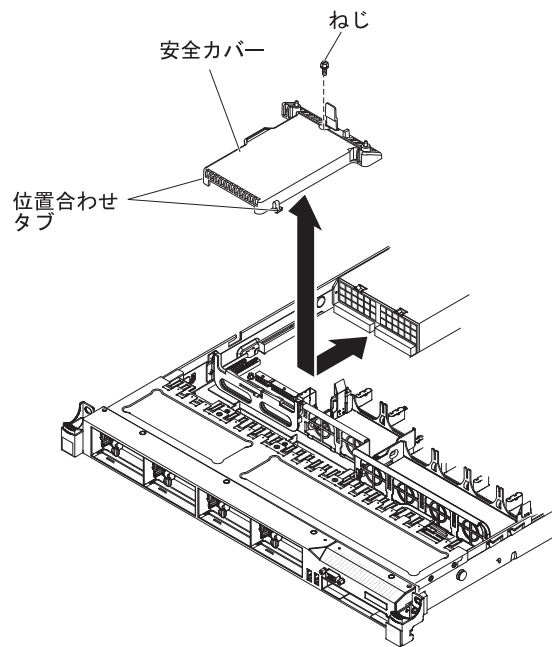


図 116. 安全カバーの取り付け

6. 安全カバーが固定されるまでサーバーの後方向にスライドさせます。
7. 安全カバーの前面にあるコネクタにハード・ディスク・バックプレーン・ケーブルを接続します。
8. ねじを取り付けて安全カバーを固定します。
9. SAS/SATA ライザー・カード・アセンブリーを取り付けます (409 ページの『SAS/SATA RAID ライザー・カード・アセンブリーの取り付け』を参照)。
10. カバーを取り付けます (377 ページの『カバーの取り付け』を参照)。
11. サーバーをスライドさせながらラックに差し込みます。

12. 取り外した電源コードおよびすべてのケーブルを再接続します。
13. 周辺装置とサーバーの電源をオンにします。

マイクロプロセッサとヒートシンクの取り外し

マイクロプロセッサおよびヒートシンクを取り外すには、この情報を使用します。

このタスクについて

重要:

- マイクロプロセッサの取り外しは、必ずトレーニングを受けたサービス技術員が行う必要があります。

重要: マイクロプロセッサを取り外す場合は、必ずマイクロプロセッサ取り付けツールを使用してください。マイクロプロセッサ取り付けツールを使用しないと、システム・ボード上のマイクロプロセッサ・ソケットが損傷する可能性があります。マイクロプロセッサ・ソケットが損傷すると、システム・ボードの交換が必要になる場合があります。

- マイクロプロセッサおよびヒートシンクの熱伝導グリースが、何かと接触することのないようにしてください。何らかの面に接触すると、熱伝導グリースおよびマイクロプロセッサ・ソケットが劣化するおそれがあります。
- 取り付けあるいは取り外し中にマイクロプロセッサを落とすと、接点が損傷する可能性があります。
- マイクロプロセッサの接点には触れないようにしてください。マイクロプロセッサは、必ずエッジ部分を持つようにしてください。マイクロプロセッサ接点の皮膚からの油脂などによる汚れは、接点とソケット間の接触不良の原因になることがあります。

マイクロプロセッサおよびヒートシンクを取り外すには、次のステップを行います。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 367 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離します。
3. カバーを取り外します (376 ページの『カバーの取り外し』を参照)。
4. ヒートシンクとマイクロプロセッサへのアクセスの邪魔になるすべてのケーブルを取り外します。
5. ヒートシンク・リリース・レバーを完全に開いた位置にします。
6. ヒートシンクを持ち上げてサーバーから取り出します。取り外し後は、ヒートシンクを清潔で平らな面に置きます。

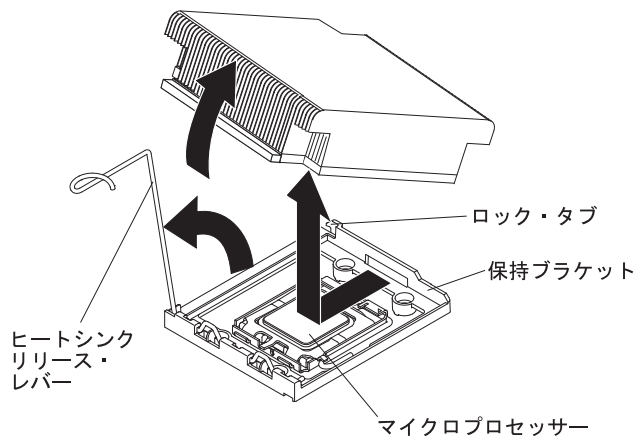


図 117. ヒートシンクの取り外し

7. マイクロプロセッサ保持ラッチの端を押し下げ、側面の方に動かし、オープン (上側) 位置にはずして、このラッチを解放します。
8. 上端にあるタブを持ち上げて、マイクロプロセッサ・ブラケット・フレームを開きます。ブラケット・フレームを開いた位置で保持します。

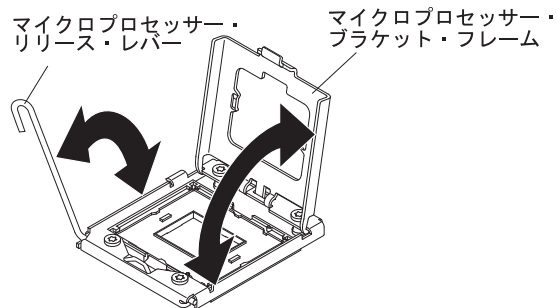


図 118. マイクロプロセッサ・ブラケット・フレームの解放

9. 新しいマイクロプロセッサに付属のマイクロプロセッサ取り付けツールを見つけます。
10. マイクロプロセッサ取り付けツールのハンドルを左回りに回転させ、ハンドルを開いた位置にします。

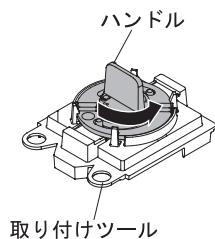


図 119. 取り付けツール・ハンドルの調整

11. 取り付けツールをマイクロプロセッサ・ソケットの位置合わせピンに合わせ、ツールをマイクロプロセッサの上に下ろします。

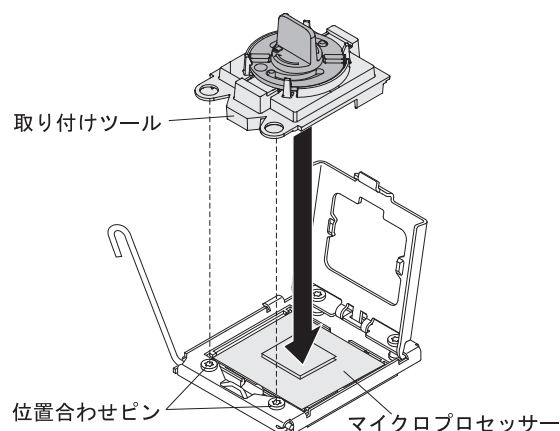


図 120. 取り付けツールの位置合わせ

12. 取り付けツールのハンドルを右回りに回転させ、マイクロプロセッサを持ち上げてソケットから取り外します。

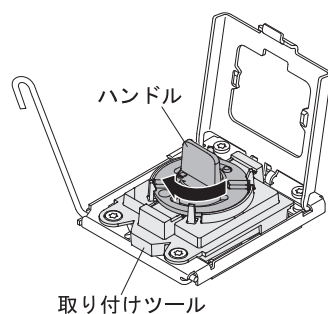


図 121. 取り付けツール・ハンドルの調整

13. 注意して、マイクロプロセッサを真っすぐ上に持ち上げてソケットから取り出し、帯電防止面に置きます。ハンドルを左回りに回転させて、マイクロプロセッサを取り付けツールから取り外します。

14. マイクロプロセッサをソケットに取り付けない場合は、ステップ 4b (471 ページ) で取り外したソケット・ダスト・カバーをソケットに取り付けます。

重要: ソケットのピンは壊れやすいです。ピンが損傷すると、システム・ボードの交換が必要になる場合があります。

タスクの結果

マイクロプロセッサの返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、パーツがお手元に届いたときの配送用パッケージ材がある場合は、それを使用して荷造りしてください。

マイクロプロセッサおよびヒートシンクの取り付け

マイクロプロセッサおよびヒートシンクを取り付けるには、この情報を使用します。

このタスクについて

以下に、サーバーがサポートするマイクロプロセッサのタイプの説明と、マイクロプロセッサおよびヒートシンクを取り付けるときに考慮すべき事項を示します。

- マイクロプロセッサは、トレーニングを受けたサービス技術員が取り付ける必要があります。

重要: マイクロプロセッサを取り外す場合は、必ずマイクロプロセッサ取り付けツールを使用してください。マイクロプロセッサ取り付けツールを使用しないと、システム・ボード上のマイクロプロセッサ・ソケットが損傷する可能性があります。マイクロプロセッサ・ソケットが損傷すると、システム・ボードの交換が必要になる場合があります。

- サーバーは、インテル Xeon マルチコア・マイクロプロセッサを最大 2 個サポートします。サポートされるマイクロプロセッサのリストについては、<http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us/> を参照してください。
- インテル Xeon™ 5500 シリーズ・マイクロプロセッサとインテル Xeon™ 5600 シリーズ・マイクロプロセッサを同一サーバーに取り付けしないでください。
- 同じサーバー内でデュアルコア、クアッドコア、および 6 コアのマイクロプロセッサを混用しないでください。
- 最初のマイクロプロセッサは、必ず、システム・ボード上のマイクロプロセッサ・ソケット 1 に取り付ける必要があります。
- あるマイクロプロセッサを取り付ける場合、ヒートシンク・フィラーはマイクロプロセッサ・ソケット 2 には不要です。ただし、マイクロプロセッサ 2 エアー・バッフルと DIMM エアー・バッフルは適正なシステム冷却を行うために取り付けておく必要があります。
- 2 番目のマイクロプロセッサを取り付ける場合、システム・ボードから最初のマイクロプロセッサを取り外さないでください。
- 2 番目のマイクロプロセッサの取り付け時は、追加のメモリーおよび 6 番目のファンも取り付ける必要があります。取り付け順序の詳細は、383 ページの『メモリー・モジュールの取り付け』を参照してください。
- 追加のマイクロプロセッサを取り付けたときにサーバーが適正に作動するように、必ず QuickPath Interconnect (QPI) リンク速度、内蔵メモリー・コントローラーの周波数、コアの周波数、電源セグメント、内蔵キャッシュ・サイズ、およびタイプが同じマイクロプロセッサを使用してください。
- 同じサーバー・モデル内でのステッピング・レベルが異なるマイクロプロセッサの混用はサポートされています。
- 同じサーバー・モデル内でステッピング・レベルが異なるマイクロプロセッサを混用する場合、マイクロプロセッサ・ソケット 1 に最小のステッピング・レベルおよび機能を持つマイクロプロセッサを取り付ける必要はありません。

- 両方のマイクロプロセッサ電圧調節モジュールがシステム・ボード上に組み込まれます。
- マイクロプロセッサを交換する必要がある場合は、保守を依頼してください。
- マイクロプロセッサに付属の資料を読むと、サーバーのファームウェアを更新する必要があるかどうかを判別できます。ご使用のサーバー用の最新レベルのサーバー・ファームウェアおよびその他のコード更新をダウンロードするには、<http://www.ibm.com/supportportal/>に進みます。
- このサーバーには、マイクロプロセッサ速度が自動的に設定されます。したがって、マイクロプロセッサ周波数選択ジャンパーまたはスイッチを設定する必要はありません。
- 熱伝導グリースの保護カバー（例えば、プラスチックのキャップまたはテープ裏打ちシール）をヒートシンクから取り外した場合、ヒートシンク下部の熱伝導グリースに触れたり、ヒートシンクを下に置いたりしないでください。熱伝導グリースに関してその塗布または作業の詳細は、475 ページの『熱伝導グリース』を参照してください。

注： ヒートシンクをマイクロプロセッサから取り外すと、熱伝導グリースの均等な分散が損なわれるため、熱伝導グリースの交換が必要になります。

- 追加でオプションのマイクロプロセッサを注文する場合は、IBM 営業担当員または指定の販売店にご連絡ください。

追加のマイクロプロセッサおよびヒートシンクを取り付けるには、次のステップを実行します。

重要： 静電気に弱い装置を取り扱う場合、静電気により損傷を受けないように注意してください。これらの部品の取り扱い方法の詳細については、370 ページの『静電気に弱い装置の取り扱い』を参照してください。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 367 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離します。
3. カバーを取り外します（376 ページの『カバーの取り外し』を参照）。
4. 以下のようにして、マイクロプロセッサを取り付けます。
 - a. マイクロプロセッサ・ソケット上のリリース・レバーを下げて外方向に押し、マイクロプロセッサ・リリース・レバーを持ち上げて、完全に開いた位置で止めるようにします。
 - b. ヒンジ付きのマイクロプロセッサ・ブラケット・フレームを開いた位置まで持ち上げ、マイクロプロセッサ・ソケット・ダスト・カバー、テープ、またはラベルをマイクロプロセッサ・ソケットの表面から取り外します（存在する場合）。ソケット・ダスト・カバーは安全な場所に保管してください。

重要： 静電気に弱い装置を取り扱う場合は、静電気による損傷を防ぐための予防措置を行います。これらの部品の取り扱い方法については、370 ページの『静電気に弱い装置の取り扱い』を参照してください。

- c. 新規のマイクロプロセッサの入った帯電防止パッケージを、このサーバーの塗装されていない 金属面に接触させます。その後で、マイクロプロセッサをパッケージから取り出します。

重要:

- マイクロプロセッサの接点には触れないようにしてください。マイクロプロセッサは、必ずエッジ部分を持つようにしてください。マイクロプロセッサ接点の皮膚からの油脂などによる汚れは、接点とソケット間の接触不良の原因になることがあります。
 - マイクロプロセッサの取扱いは慎重に行ってください。取り付けあるいは取り外し中にマイクロプロセッサを落とすと、接点が損傷する可能性があります。
 - マイクロプロセッサをソケットに押し込むときには、力を入れすぎないようにしてください。
 - レバーを閉じる前に、マイクロプロセッサがソケットの中で正しい方向を向き、位置合わせされ、位置付けられていることを確認してください。
- d. マイクロプロセッサ下部にプラスチックの保護カバーが付いている場合は、慎重に取り外します。

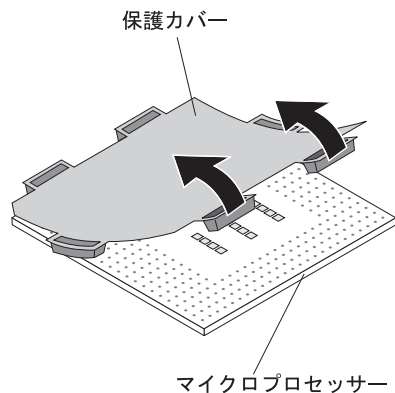


図 122. 保護カバーの取り外し

- e. 新しいマイクロプロセッサに付属のマイクロプロセッサ取り付けツールを見つけます。
- f. 取り付けツールのハンドルを左回りに回転させ、ハンドルを開きます。

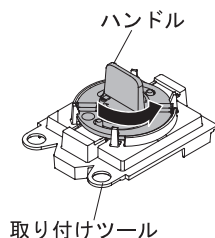


図 123. 取り付けツール・ハンドルの調整

- g. マイクロプロセッサ位置合わせスロットを、マイクロプロセッサ取り付けツール上の位置合わせピンと位置合わせしたら、マイクロプロセッサを取り付けツールの底面と合わせ、ツールがマイクロプロセッサを正しくつ

かむことができるようにします。

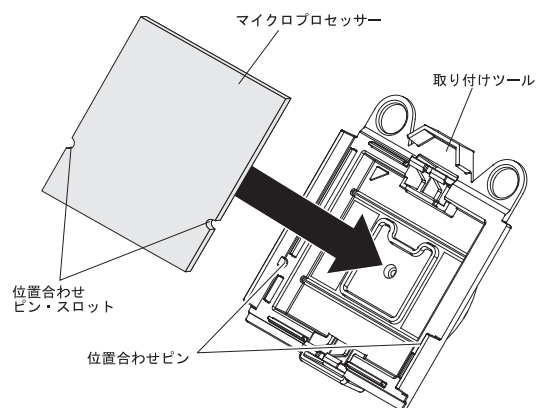


図 124. マイクロプロセッサの位置合わせ

- h. 取り付けツールのハンドルを右回りに回転させ、マイクロプロセッサをツールに固定します。

注: マイクロプロセッサ取り付けツールのハンドルを回転させると、マイクロプロセッサを取り出したり、解放させたりすることができます。

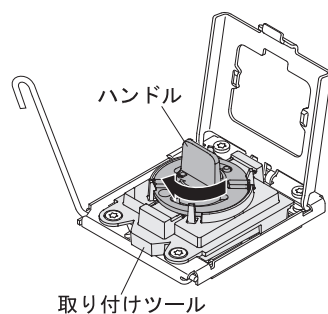


図 125. 取り付けツール・ハンドルの調整

- i. マイクロプロセッサ取り付けツールをマイクロプロセッサ・ソケット上に注意深く位置合わせします。

重要: マイクロプロセッサとソケットが一致するのは 1 方向しかありません。ソケットのピンの損傷を避けるために、マイクロプロセッサをソケットにまっすぐに下ろして置く必要があります。ソケット上のピンは壊れやすい物です。ピンが損傷すると、システム・ボードの交換が必要になる場合があります。

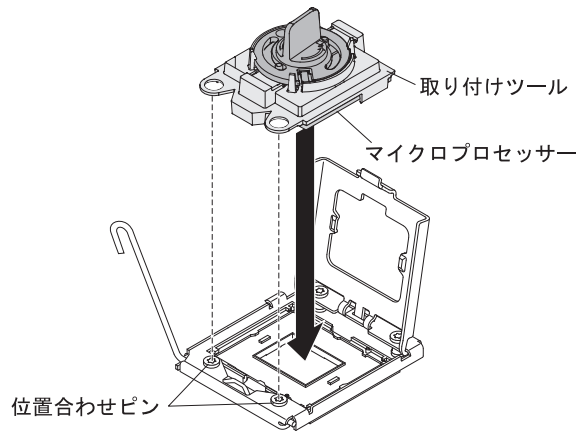


図 126. マイクロプロセッサーの取り付け

- j. マイクロプロセッサー取り付けツールのハンドルを左回りに回転させ、マイクロプロセッサーをソケットに挿入します。

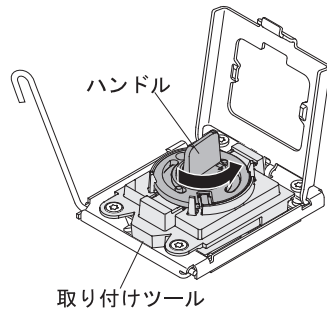


図 127. 取り付けツール・ハンドルの調整

- k. マイクロプロセッサー・ブラケット・フレームを閉じます。
- l. マイクロプロセッサー・リリース・レバーを注意深く閉位置まで閉じて、マイクロプロセッサーをソケットに固定します。
5. ヒートシンクを取り付けます。
 - a. ヒートシンクからグリースを取り除き、マイクロプロセッサーに新しいグリースを塗布します。
 - b. マイクロプロセッサーの上部でヒートシンクを位置合わせします。
 - c. ヒートシンクの後部フランジを保持ブラケットの開口部まで下げて、しっかり固定されるまでヒートシンクの前部を押し下げます。

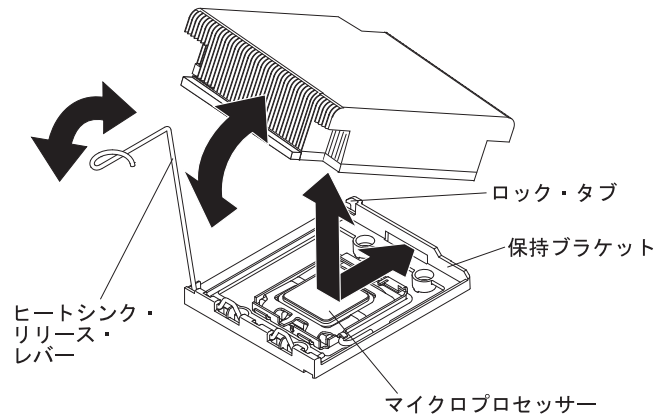


図 128. ヒートシンクの取り付け

- d. ヒートシンク・リリース・レバーを閉じた位置まで回して、ロック・タブの下でフックを掛けます。
6. 2 つ目のマイクロプロセッサを取り付けた場合は、6 個目のファンを取り付けます (421 ページの『ホット・スワップ・ファン・アセンブリーの取り付け』を参照)。
7. マイクロプロセッサ 2 エアー・バッフルを取り外していた場合は、それを取り付けます (379 ページの『マイクロプロセッサ 2 エアー・バッフルの取り付け』を参照)。

熱伝導グリース

ヒートシンクをマイクロプロセッサ上部から取り外して再利用する場合、またはグリースにごみが付いている場合は、必ず熱伝導グリースを交換してください。

このタスクについて

ヒートシンクを取り外したマイクロプロセッサと同じマイクロプロセッサにそのヒートシンクを取り付ける場合は、以下の要件を満たしていることを確認してください。

- ヒートシンクおよびマイクロプロセッサ上の熱伝導グリースが汚れていない。
- ヒートシンクおよびマイクロプロセッサ上に既に付いている熱伝導グリースに、熱伝導グリースを追加していない。

注:

- vii ページの『安全について』で始まる『安全について』をお読みください。
- 367 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
- 370 ページの『静電気に弱い装置の取り扱い』をお読みください。

マイクロプロセッサとヒートシンク上の損傷または汚染した熱伝導グリースを交換するには、次のステップを実行します。

手順

1. ヒートシンクを清潔な作業台に置きます。
2. クリーニング・パッドをパッケージから取り出し、完全に広げます。

3. クリーニング・パッドで、ヒートシンクの底に付いた熱伝導グリースをふき取ります。

注: すべての熱伝導グリースが除去されたことを確認してください。

4. クリーニング・パッドのきれいな部分を使用して、マイクロプロセッサから熱伝導グリースをふき取ります。熱伝導グリースがすべてふき取られたら、クリーニング・パッドを捨ててください。
5. 熱伝導グリースの注射器を使用して、マイクロプロセッサの上部に、等間隔の 9 カ所に点状に 0.02 mL ずつグリースを配置します。最も外側のドットをマイクロプロセッサの端から約 5 mm 内に置く必要があります。これは、グリースを均等に配置するためです。

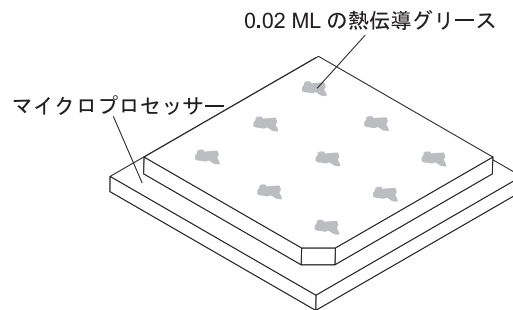


図 129. 熱伝導グリースの配分

注: グリースを適切に塗ると、注射器には約半分グリースが残ります。

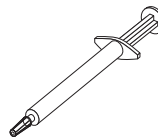


図 130. 注射器

6. ヒートシンクをマイクロプロセッサの上に取り付けます。

ヒートシンク保持モジュールの取り外し

以下の情報を使用して、ヒートシンク保持モジュールを取り外します。

このタスクについて

ヒートシンク保持モジュールを取り外すには、次のステップを行います。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 367 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離します。
3. カバーを取り外します (376 ページの『カバーの取り外し』を参照)。

4. 該当のエアー・バッフルを取り外します (380 ページの『DIMM エアー・バッフルの取り外し』 および 378 ページの『マイクロプロセッサ 2 エアー・バッフルの取り外し』 を参照)。
5. マイクロプロセッサおよびヒートシンクを取り外します (467 ページの『マイクロプロセッサとヒートシンクの取り外し』 を参照)。
重要: マイクロプロセッサとヒートシンクを取り外す場合、再取り付け時のことを考えて、各ヒートシンクとマイクロプロセッサは一緒にしておきます。
6. ドライバーを使用して、保持モジュールをシステム・ボードに固定している 4 つのねじを外します。次に、保持モジュールを持ち上げてシステム・ボードから外します。

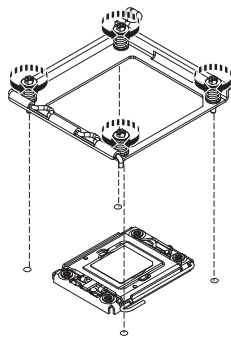


図 131. ヒートシンク保持モジュールの取り外し

タスクの結果

ヒートシンク保持モジュールの返却を指示された場合は、梱包の指示に従って、提供されている配送用の梱包材を使用してください。

ヒートシンク保持モジュールの取り付け

以下の情報を使用して、ヒートシンク保持モジュールを取り付けます。

このタスクについて

ヒートシンク保持モジュールを取り付けるには、次のステップを行います。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 367 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離します。
3. カバーを取り外します (376 ページの『カバーの取り外し』 を参照)。
4. 該当のエアー・バッフルを取り外します (380 ページの『DIMM エアー・バッフルの取り外し』 および 378 ページの『マイクロプロセッサ 2 エアー・バッフルの取り外し』 を参照)。
5. 保持モジュールとシステム・ボード上の穴とを位置合わせします。
6. ドライバーを使用して、以前に取り外した 4 つのねじを再取り付けします。

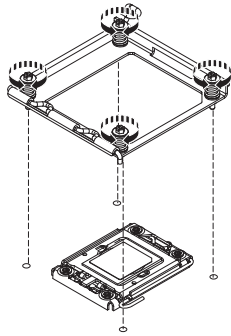


図 132. ヒートシンク保持モジュールの取り付け

7. マイクロプロセッサおよびヒートシンクを再取り付けします (470 ページの『マイクロプロセッサおよびヒートシンクの取り付け』を参照)。
8. エアー・バッフルを再取り付けします。
9. カバーを取り付けます (377 ページの『カバーの取り付け』を参照)。
10. サーバーをスライドさせながらラックに差し込みます。
11. 取り外した電源コードおよびすべてのケーブルを再接続します。
12. 周辺装置とサーバーの電源をオンにします。

システム・ボードの取り外し

システム・ボードを取り外すには、この情報を使用します。

このタスクについて

システム・ボードを取り外すには、次のステップを実行してください。

注:

1. システム・ボードを交換する場合は、必ず、仮想メディア・キーを取り外し、新しいシステム・ボードにそれを取り付けてください。このキーの位置に関しては、429 ページの『仮想メディア・キーの取り外し』を参照してください。
2. システム・ボードを交換する場合は、最新のファームウェアを使用してサーバーを更新するか、またはお客様作成のディスクットまたは CD イメージに含まれている既存のファームウェアを復元してください。最新のファームウェアまたは既存のファームウェアのコピーが手元にあることを確認してから、先に進んでください。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 367 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. サーバーおよび周辺装置の電源をオフにし、電源コードとすべての外部ケーブルを切り離します。
3. カバーを取り外します (376 ページの『カバーの取り外し』を参照)。

注: システム・ボードを交換する場合は、最新のファームウェアを使用してサーバーを更新するか、またはお客様作成のディスクットまたは CD イメージに

含まれている既存のファームウェアを復元してください。最新のファームウェアまたは既存のファームウェアのコピーが手元にあることを確認してから、先に進んでください。

4. サーバーから外すのに必要なだけ、パワー・サプライをサーバー背面から引き出します。
5. すべての PCI ライザー・カード・アセンブリーとアダプターを取り外します (452 ページの『PCI ライザー・カード・アセンブリーの取り外し』を参照)。
6. SAS/SATA RAID ライザー・カード・アセンブリーを取り外します (408 ページの『SAS/SATA RAID ライザー・カード・アセンブリーの取り外し』を参照)。
7. マイクロプロセッサー 2 と DIMM エアー・バッフルをシステム・ボードから取り外します (378 ページの『マイクロプロセッサー 2 エアー・バッフルの取り外し』および 380 ページの『DIMM エアー・バッフルの取り外し』を参照)。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) すべてヒートシンクおよびマイクロプロセッサーを取り外し、再取り付け用に静電防止板の上に置きます (467 ページの『マイクロプロセッサーとヒートシンクの取り外し』を参照)。
 - a. 新しいシステム・ボードのマイクロプロセッサー・ソケットからソケット・カバーを取り外し、取り外したシステム・ボードのマイクロプロセッサー・ソケットに取り付けてください。
 - b. 熱伝導グリースが何かに触れないように注意し、また、再取り付けの際に、それぞれのヒートシンクが必ず元のマイクロプロセッサーとペアになるようにしてください。何らかの面に接触すると、熱伝導グリースおよびマイクロプロセッサー・ソケットが劣化するおそれがあります。マイクロプロセッサーとその元のヒートシンクとの間にミスマッチがある場合は、新しいヒートシンクを取り付けることが必要になることがあります。
9. メモリー・モジュールを取り外し、再取り付け用に静電防止板の上に置きます (382 ページの『メモリー・モジュールの取り外し』を参照)。

注: DIMM を取り外すときは、各 DIMM の位置をメモしておき、後で同じコネクタに再取り付けできるようにします。

10. システム・ボードから仮想メディア・キーを取り外し、脇に置いておきます。新しいシステム・ボードにこの仮想メディア・キーを取り付ける必要があります。
11. システム・バッテリーを取り外します (439 ページの『システム・バッテリーの取り外し』を参照)。
12. システム・ボードからすべてのケーブルを切り離します (371 ページの『内部ケーブルのルーティングおよびコネクタ』を参照)。ケーブルを切り離すときに各ケーブルのリストを作成してください。そうすれば、新しいシステム・ボードの取り付け時にこれをチェックリストとして使用できます。

重要: すべてのケーブルをシステム・ボードから切り離す場合は、ケーブル・コネクタのすべてのラッチ、リリース・タブ、あるいはロックを解放します。ケーブルを取り外す前にそれらを解放しないと、システム・ボード上のケーブル・ソケットが損傷します。システム・ボード上のケーブル・ソケットは壊れやすいです。ケーブル・ソケットが損傷すると、システム・ボードの交換が必要になる場合があります。

13. ホット・スワップ・ファンを取り外します (419 ページの『ホット・スワップ・ファン・アセンブリの取り外し』を参照)。
14. ファンの内側方向にファン・ブラケット・リリース・ラッチを押し (1 つはファン 6 の左に、1 つはファン 1 の右に)、サーバー前面の方にファン・アセンブリ・ブラケットを上に戻させます。
15. システム・ボード・ハンドルをつかんでシステム・ボードの右側を少し上に持ち上げます。それによって、ロケーター・ピンからシステム・ボードが外れるようにしてから、サーバーの左方向にシステム・ボードを少しスライドさせます。

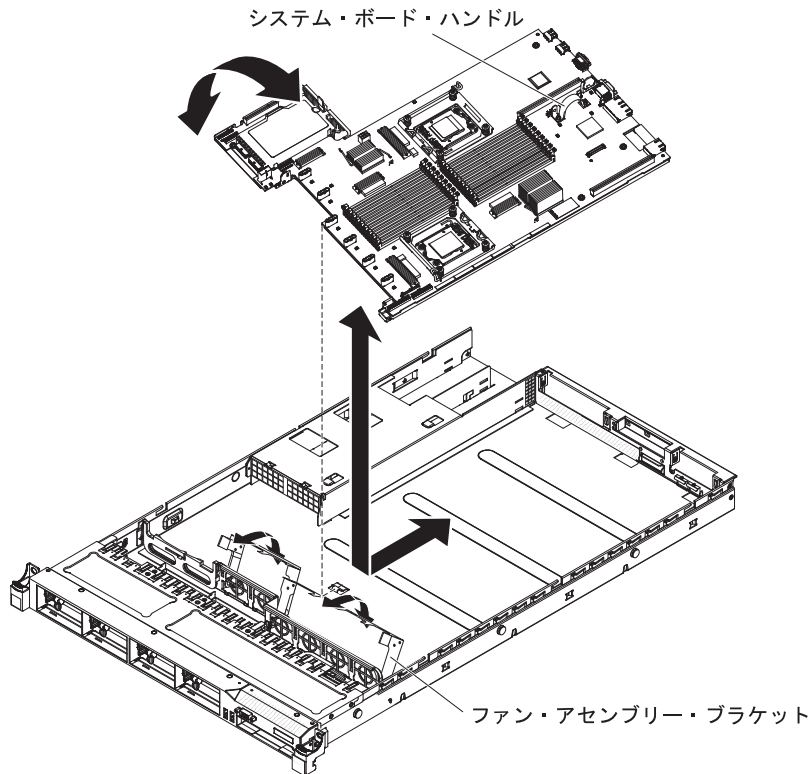


図 133. システム・ボードの取り外し

16. システム・ボードを持ち上げて、注意してサーバーから取り外します。周囲のコンポーネントを損傷したり、マイクロプロセッサのソケット内部のピンを曲げたりしないように慎重に行います。
17. 新しいシステム・ボードのマイクロプロセッサ・ソケットからソケット・ダスト・カバーを取り外し、取り外す古いシステム・ボードのマイクロプロセッサ・ソケットに取り付けます。

重要: 古いシステム・ボードを返却する前に、必ず、システム・ボード上のマイクロプロセッサ・ソケットにソケット・カバーを取り付けてください。

タスクの結果

システム・ボードの返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、パーツがお手元に届いたときの配送用パッケージ材がある場合は、それを使用して荷造りしてください。

システム・ボードの取り付け

以下の情報を使用して、システム・ボードを取り付けます。

このタスクについて

注:

1. サーバー内のコンポーネントを再アセンブルする場合は、すべてのケーブルを慎重に配線して、過度な圧力がケーブルにかからないようにしてください。
2. システム・ボードを交換する場合は、最新のファームウェアを使用してサーバーを更新するか、またはお客様作成のディスクセットまたは CD イメージに含まれている既存のファームウェアを復元してください。最新のファームウェアまたは既存のファームウェアのコピーが手元にあることを確認してから、先に進んでください。詳細については、485 ページの『ファームウェアの更新』、512 ページの『汎用固有 ID (UUID) の更新』、および 515 ページの『DMI/SMBIOS データの更新』を参照してください。

重要: 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションに対してサポートされていることを確認してください。

システム・ボードを取り付けるには、次のステップを行います。

手順

1. vii ページの『安全について』で始まる『安全について』および 367 ページの『取り付けのガイドライン』をお読みください。
2. システム・ボードとシャーシとを位置合わせします。次に、システム・ボードを下ろしてシャーシに入れ、サーバーの背面方向にシステム・ボードをスライドさせて、システム・ボードがシャーシ上のロケーター・ピンにしっかりと収まるようにします。

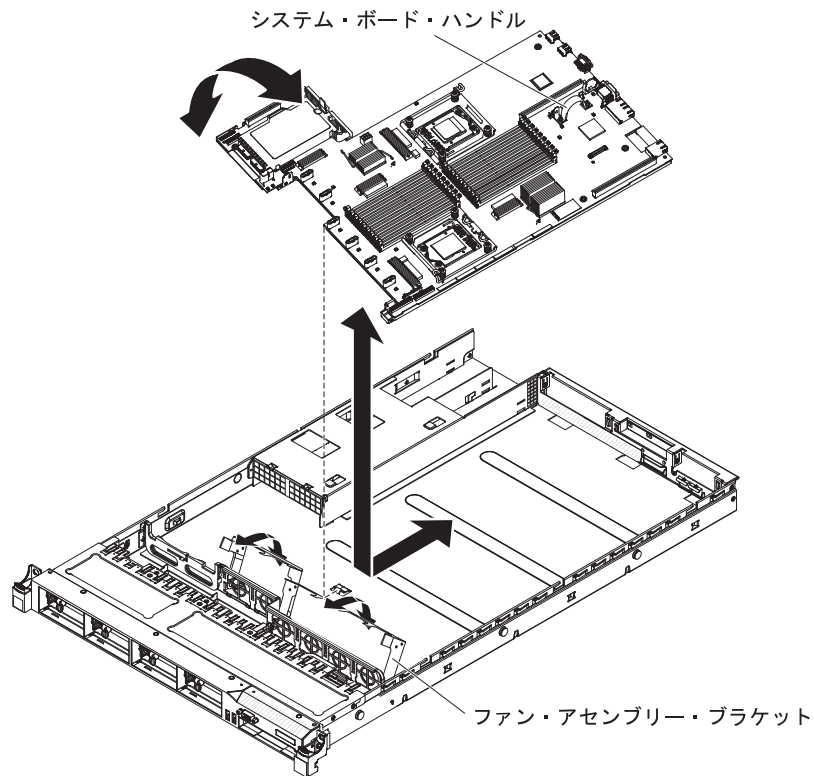


図 134. システム・ボードの取り付け

3. ファン・アセンブリー・ブラケットをつかんでシャーシの下方向に回します。
4. ホット・スワップ・ファンを再び取り付けます (421 ページの『ホット・スワップ・ファン・アセンブリーの取り付け』を参照)。
5. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) マイクロプロセッサおよびヒートシンクを再取り付けします (470 ページの『マイクロプロセッサおよびヒートシンクの取り付け』を参照)。
6. SAS/SATA RAID ライザー・カード・アセンブリー・ベースを再取り付けします (409 ページの『SAS/SATA RAID ライザー・カード・アセンブリーの取り付け』を参照)。
7. DIMM を再取り付けします (383 ページの『メモリー・モジュールの取り付け』を参照)。
8. システム・バッテリーを再取り付けします (442 ページの『システム・バッテリーの取り付け』を参照)。
9. マイクロプロセッサ 2 と DIMM エアー・バッフルを再取り付けします (379 ページの『マイクロプロセッサ 2 エアー・バッフルの取り付け』および 381 ページの『DIMM エアー・バッフルの取り付け』を参照)。
10. PCI ライザー・カード・アセンブリーとアダプターのいずれかが取り付けられていた場合は、それを再取り付けします (453 ページの『PCI ライザー・カード・アセンブリーの取り付け』を参照)。
11. 仮想メディア・キーを再取り付けします (430 ページの『仮想メディア・キーの取り付け』を参照)。
12. ステップ 12 (479 ページ) で切り離したケーブルをシステム・ボードに再接続します。

13. カバーを取り付けます (377 ページの『カバーの取り付け』を参照)。
14. パワー・サプライをサーバーに押し戻します。
15. サーバーをスライドさせながらラックに差し込みます。
16. 取り外した電源コードおよびすべてのケーブルを再接続します。
17. 周辺装置とサーバーの電源をオンにします。

タスクの結果

重要:

- Setup ユーティリティーを開始して構成をリセットします。
 - システムの日付と時刻を設定します。
 - 始動パスワードを設定します。
 - サーバーを再構成します。

詳しくは、492 ページの『Setup ユーティリティーの使用』を参照してください。
- 最新の RAID ファームウェアを使用してサーバーを更新するか、またはディスクセットまたは CD イメージから事前設定済みのファームウェアを復元してください。
- UUID を更新してください (512 ページの『汎用固有 ID (UUID) の更新』を参照)。
- DMI/SMBIOS を更新してください (515 ページの『DMI/SMBIOS データの更新』を参照)。

第 6 章 構成情報と説明

この章では、ファームウェアの更新方法と構成ユーティリティの使用法について説明します。

ファームウェアの更新

以下の情報を使用して、ファームウェアを更新します。

重要:

1. 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションに対してサポートされていることを確認してください。
2. Trusted Platform Module (TPM) の特性が新しいファームウェアによって変更される場合があるため、ファームウェアを更新する前に、必ず TPM に格納されているすべてのデータをバックアップしてください。手順については、ご使用の暗号化ソフトウェアの資料を参照してください。
3. 誤ったファームウェアまたはデバイス・ドライバ・アップデートをインストールすると、サーバーの誤動作の原因となることがあります。ファームウェアまたはデバイス・ドライバ・アップデートをインストールする前に、ダウンロードされたアップデートに付属の README および変更履歴・ファイルをお読みください。これらのファイルには、初期ファームウェアまたはデバイス・ドライバ・バージョンから最新バージョンにアップデートする特別な手順を含み、アップデートおよびアップデート・インストール手順に関する重要な情報が記載されています。

UpdateXpress システム・パックまたは UpdateXpress CD イメージとしてパッケージされているコード更新をインストールできます。UpdateXpress システム・パックには、ご使用のサーバー用のオンライン・ファームウェア更新とデバイス・ドライバ更新の統合テスト済みバンドルが収録されています。UpdateXpress システム・パック・インストーラーを使用して、UpdateXpress システム・パックおよび個々のファームウェアおよびデバイス・ドライバ更新を獲得し、適用してください。

UpdateXpress システム・パック・インストーラーの追加情報およびダウンロードについては、ToolsCenter for System x and BladeCenter (<http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnocid=TOOL-CENTER>) にアクセスし、「**UpdateXpress System Pack Installer**」をクリックします。

更新をクリックすると、情報ページが表示され、その更新で修正された問題のリストが記載されています。このリストにお客様の特定の問題がないか調べてください。ただし、お客様の問題がリストされていない場合でも、更新をインストールすると問題が解決される場合があります。

リストされた重要な更新の中に、リリースの日付が UpdateXpress システム・パックあるいは UpdateXpress イメージのリリース日以降のものがあれば、必ず別にインストールしてください。

サーバーのファームウェアは定期的に更新され、IBM Web サイトからダウンロードできます。UEFI ファームウェア、重要プロダクト・データ (VPD) コード、デバイス・ドライバ、および統合管理モジュール・ファームウェアなどのファームウェアの最新レベルを確認するには、<http://www.ibm.com/support/fixcentral/> にアクセスしてください。

サーバーの最新のファームウェアをダウンロードし、ダウンロード・ファイルに含まれている説明を使用してファームウェアをインストールします。

サーバー内の装置を交換した場合、その装置のメモリーに保管されているファームウェアを更新するか、ディスクまたは CD イメージから既存のファームウェアを復元することが必要な場合があります。

- UEFI ファームウェアは、システム・ボード上の ROM に格納されます。
- IMM ファームウェアは、システム・ボード上の IMM の ROM に格納されます。
- イーサネット・ファームウェアは、イーサネット・コントローラーの ROM に格納されます。
- ServeRAID ファームウェアは、ServeRAID アダプターの ROM に格納されます。
- SATA ファームウェアは、オンボード SATA コントローラーの ROM に格納されます。
- SAS/SATA ファームウェアは、システム・ボード上の SAS/SATA コントローラーの ROM に格納されます。

サーバーの構成

ご使用のサーバーには、次の構成プログラムが付属しています。

ServerGuide プログラムは、本サーバー用に設計されたソフトウェア・セットアップ・ツールおよびインストール・ツールを提供します。RAID 機能付きオンボード SAS/SATA コントローラーなどの基本ハードウェア機能を構成し、オペレーティング・システムのインストールを簡略化するには、サーバーの取り付け時にこの CD を使用してください。この CD の使用については、488 ページの『*ServerGuide Setup and Installation* CD の使用』を参照してください。

ServerGuide Setup and Installation CD の他に、以下の構成プログラムを使用してサーバー・ハードウェアのカスタマイズを行うことができます。

- **Setup ユーティリティー**

Setup ユーティリティーは、基本入出力システム・ファームウェアの一部です。これを使用して、割り込み要求 (IRQ) の設定の変更、始動装置シーケンスの変更、日時の設定、およびパスワードの設定を行います。このプログラムの使用については、492 ページの『*Setup ユーティリティーの使用*』を参照してください。

- **Boot Manager プログラム**

Boot Manager プログラムは、サーバー・ファームウェアの一部です。このプログラムを使用して、Setup ユーティリティーでセットされる始動シーケンスをオーバーライドし、始動シーケンスの先頭になるように装置を一時的に割り当てま

す。このプログラムの使用法について詳しくは、500 ページの『Boot Manager プログラムの使用』を参照してください。

- **Integrated Management Module**

統合管理モジュール (IMM) を構成に使用して、ファームウェアおよび SDR/FRU (センサー・データ・レコード/現場交換可能ユニット) データを更新し、リモート側でネットワークを管理します。これらのプログラムの使用法について詳しくは、501 ページの『統合管理モジュールの使用』を参照してください。

- **VMware ESXi 組み込みハイパーバイザー**

VMware ESXi 組み込みハイパーバイザーは、USB 組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスが取り付けられたサーバー・モデルで使用できます。USB フラッシュ・デバイスは、SAS/SATA RAID ライザー・カードの USB コネクタに取り付けられています。ハイパーバイザーは、複数のオペレーティング・システムが 1 つのホスト・システム上で同時に稼働できるようにする仮想化ソフトウェアです。組み込みハイパーバイザーの使用法について詳しくは、505 ページの『組み込みハイパーバイザーの使用』を参照してください。

- **リモート・プレゼンス機能およびブルー・スクリーン・キャプチャー機能**

リモート・プレゼンス機能およびブルー・スクリーン・キャプチャー機能は、統合管理モジュール (IMM) に組み込まれています。リモート・プレゼンス機能を使用可能にするには、仮想メディア・キーが必要です。サーバーにオプションの仮想メディア・キーが取り付けられると、リモート・プレゼンス機能がアクティブになります。仮想メディア・キーがない場合は、リモートでネットワークにアクセスしてクライアント・システムのドライブまたはイメージをマウントまたはアンマウントすることはできません。ただし、仮想メディア・キーがない場合でも、Web インターフェースを使用してホストのグラフィカル・ユーザー・インターフェースにアクセスすることは可能です。オプションの IBM 仮想メディア・キーがサーバーに付属していない場合は、これを注文して入手することができます。リモート・プレゼンス機能を有効にする方法について詳しくは、503 ページの『リモート・プレゼンス機能およびブルー・スクリーン・キャプチャー機能の使用』を参照してください。

- **イーサネット・コントローラー構成**

イーサネット・コントローラーの構成については、507 ページの『Gigabit Ethernet コントローラーの構成』を参照してください。

- **IBM Advanced Settings ユーティリティ (ASU) プログラム**

Setup ユーティリティの代わりにこのプログラムを使用して、UEFI 設定を変更します。ASU プログラムをオンラインまたはアウト・オブ・バンドで使用する と、Setup ユーティリティにアクセスするためにサーバーを再始動することなく、コマンド・ラインから UEFI 設定を変更することができます。このプログラムの使用法について詳しくは、510 ページの『IBM Advanced Settings ユーティリティ・プログラム』を参照してください。

- **LSI Configuration ユーティリティ・プログラム**

LSI Configuration ユーティリティ・プログラムを使用して、RAID 機能付きオンボード SAS/SATA コントローラー、およびそれに接続されたデバイスを構成

することができます。このプログラムの使用については、507 ページの『LSI Configuration ユーティリティ・プログラムの使用』を参照してください。

次の表は、サーバー構成の種類、および RAID アレイの構成と管理に使用できるアプリケーションをリストしています。

表 19. RAID アレイを構成および管理するためのサーバー構成とアプリケーション

サーバー構成	RAID アレイの構成 (オペレーティング・システムのインストール前)	RAID アレイの管理 (オペレーティング・システムのインストール後)
ServeRAID-BR10i アダプター (LSI 1068E)	LSI ユーティリティ (Setup ユーティリティ、Ctrl+C を押します)、ServerGuide	MegaRAID ストレージ・マネージャー (ストレージのモニターのみ)
ServeRAID-BR10il v2 アダプター (LSI 1064E)	LSI ユーティリティ (Setup ユーティリティ、Ctrl+C を押します)、ServerGuide	MegaRAID Storage Manager (MSM)、Director
ServeRAID-MR10i アダプター (LSI 1078)	MegaRAID BIOS Configuration ユーティリティ (Ctrl+H を押して開始します)、ServerGuide	MegaRAID Storage Manager (MSM)、Director
ServeRAID-M5014 アダプター (LSI SAS2108)	MegaCLI (コマンド・ライン・インターフェース)、ServerGuide	MegaRAID Storage Manager (MSM)、Director
ServeRAID-M5015 アダプター (LSI SAS2108)	MegaCLI (コマンド・ライン・インターフェース)、ServerGuide	MegaRAID Storage Manager (MSM)、Director
ServeRAID-M1015 アダプター (LSI SAS2008)	MegaCLI (コマンド・ライン・インターフェース)、ServerGuide	MegaRAID Storage Manager (MSM)、Director

ServerGuide Setup and Installation CD の使用

以下の情報は、ServerGuide Setup and Installation CD の使用についての概要として使用することができます。

ServerGuide Setup and Installation CD には、サーバー用に設計されたソフトウェア・セットアップ・ツールおよびインストール・ツールが入っています。ServerGuide プログラムは、インストールされているサーバーのモデルとハードウェア・オプションを検出し、セットアップ時にその情報を使用してハードウェアを構成します。ServerGuide プログラムでは、更新済みのデバイス・ドライバーが提供され、場合によってはデバイス・ドライバーが自動的にインストールされるため、オペレーティング・システムのインストールが簡単に行えます。CD をダウンロードするには、<http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?Indocid=SERV-GUIDE> にアクセスして、「**IBM Service and Support Site**」をクリックします。

ServerGuide プログラムには、以下の機能が備わっています。

- 使いやすいインターフェース
- ディスケットを使用しないセットアップ、および検出したハードウェアに基づく構成プログラム

- ご使用の ServeRAID アダプターを構成する、ServeRAID Manager プログラム。
- サーバー・モデルおよび検出されたハードウェアに合わせて提供されるデバイス・ドライバ
- セットアップ中に選択可能なオペレーティング・システムの区画サイズとファイル・システムのタイプ

注: IBM Web サイトは定期的に変更されます。実際の手順は、本書の説明とは少々異なる場合があります。

ServerGuide の機能

以下の情報は、ServerGuide 機能の概要について説明しています。

フィーチャーおよび機能は、ServerGuide プログラムのバージョンによって少し異なることがあります。 ご使用のバージョンについて詳しく知るためには、*ServerGuide Setup and Installation* CD を開始し、オンラインの概説を表示します。すべての機能がすべてのサーバー・モデルでサポートされているとは限りません。

ServerGuide プログラムは、サポートされた IBM サーバーおよび使用可能になっている始動可能 (ブート可能) CD ドライブを必要とします。 *ServerGuide Setup and Installation* CD の他に、オペレーティング・システムをインストールするためのオペレーティング・システム CD が必要です。

ServerGuide プログラムは、以下のタスクを実行します。

- システム日付と時刻の設定
- RAID アダプターまたはコントローラーを検出し、SAS/SATA RAID 構成プログラムを実行します。
- ServeRAID アダプターのマイクロコード (ファームウェア) レベルを検査し、それより新しいレベルが CD から使用可能かどうかを判別します。
- インストール済みのハードウェア・オプションの検出と、ほとんどのアダプターおよびデバイス用の更新済みデバイス・ドライバの提供
- サポートされる Windows オペレーティング・システム用にディスク不要のインストールを提供します。
- ご使用のハードウェアおよびオペレーティング・システムのインストール済み環境に対するヒントにリンクしたオンライン README ファイルの包含

セットアップおよび構成の概要

ServerGuide のセットアップと構成の概要

ServerGuide Setup and Installation CD を使用する場合、セットアップ・ディスクは必要ありません。この CD を使用して、サポートされているすべての IBM サーバー・モデルを構成できます。セットアップ・プログラムは、ご使用のサーバー・モデルをセットアップするのに必要なタスクのリストを提供します。ServeRAID アダプター、または RAID 機能付き SAS/SATA コントローラーを使用するサーバーでは、SAS RAID 構成プログラムを実行して、論理ドライブを作成することができます。

注: フィーチャーおよび機能は、ServerGuide プログラムのバージョンによって少し異なることがあります。

ServerGuide Setup and Installation CD を開始すると、プログラムは以下のタスクを実行するようにプロンプトを出します。

- ご使用の言語を選択します。
- ご使用のキーボードのレイアウトと国を選択します。
- 概要を表示して、ServerGuide の機能を確認します。
- オペレーティング・システムとアダプターをインストールするためのヒントが記載された README ファイルの表示。
- オペレーティング・システムのインストールを開始します。オペレーティング・システム CD が必要になります。

重要: LSI SAS コントローラーを搭載したサーバーにレガシー・オペレーティング・システム (VMware など) をインストールする前に、最初に以下の手順を実行する必要があります。

1. LSI SAS コントローラーのデバイス・ドライバーを最新レベルに更新します。
2. Setup ユーティリティで、「**Boot Manager**」メニューのブート順序で「**Legacy Only**」を最初のオプションとして設定します。
3. LSI Configuration ユーティリティ・プログラムを使用して、ブート・ドライブを選択します。

詳しい説明と手順については、<http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnocid=MIGR-5083225> にアクセスしてください。

標準的なオペレーティング・システムのインストール

ServerGuide 標準的なオペレーティング・システムのインストール

ServerGuide プログラムは、オペレーティング・システムをインストールするために要する時間を削減することができます。このプログラムは、ご使用のハードウェアおよびインストールする予定のオペレーティング・システムに必要なデバイス・ドライバを提供します。このセクションでは、ServerGuide を使用した標準的なオペレーティング・システムのインストールについて説明します。

注: フィーチャーおよび機能は、ServerGuide プログラムのバージョンによって少し異なることがあります。

1. セットアップ処理が完了すると、オペレーティング・システムのインストール・プログラムが開始します。(インストールを完了するために、ご使用のオペレーティング・システム CD が必要になります。)
2. ServerGuide プログラムは、サーバー・モデル、サービス・プロセッサ、ハード・ディスク、コントローラー、およびネットワーク・アダプターに関する情報を保管します。次に、プログラムは最新のデバイス・ドライバがあるか CD を調べます。この情報は保管された後、オペレーティング・システムのインストール・プログラムに渡されます。
3. ServerGuide プログラムは、ご使用のオペレーティング・システムの選択および取り付けられたハード・ディスクに基づいて、オペレーティング・システムの区画オプションを提供します。
4. ServerGuide プログラムは、ご使用のオペレーティング・システムの CD を挿入して、サーバーを再始動するように指示してきます。この時点から、オペレーティング・システムのインストール・プログラムがインストールの完了まで制御します。

ServerGuide を使用しないオペレーティング・システムのインストール

この情報を使用して、ServerGuide を使用しないでサーバーにオペレーティング・システムをインストールすることができます。

サーバーのハードウェアが既に構成済みであり、オペレーティング・システムのインストールに ServerGuide プログラムを使用しない場合は、<http://www.ibm.com/supportportal/> にアクセスし、IBM Web サイトから、最新のオペレーティング・システム・インストール手順をダウンロードしてください。

Setup ユーティリティーの使用

これらの手順を使用して、Setup ユーティリティーを開始することができます。

Unified Extensible Firmware Interface (UEFI) (以前の BIOS) の Setup ユーティリティーを使用すると、次のようなタスクを実行できます。

- 構成情報の表示
- 装置と入出力ポートの割り当ての表示と変更
- 日時の設定
- サーバーの始動特性および始動装置順位の設定
- 拡張ハードウェア機構の設定と変更
- 省電力機能の設定値の表示、設定、および変更
- エラー・ログの表示および消去
- 割り込み要求 (IRQ) 設定値の変更
- 構成競合の解決

Setup ユーティリティーの開始

以下の情報を使用して、Setup ユーティリティーを開始します。

このタスクについて

Setup ユーティリティーを開始するには、以下の手順で行います。

手順

1. サーバーの電源をオンにします。

注: サーバーが電源に接続されてから約 20 秒から 40 秒後に、電源制御ボタンがアクティブになります。

2. プロンプトの「<F1> Setup」が表示されたら、F1 キーを押します。管理者パスワードを設定している場合は、Setup ユーティリティーの完全メニューにアクセスするために、管理者パスワードを入力する必要があります。管理者パスワードを入力しない場合、Setup ユーティリティーの限られたメニューしか利用できません。
3. 表示または変更する設定を選択します。

Setup ユーティリティのメニュー選択項目

サーバーの構成データおよび設定を表示または構成するには、Setup ユーティリティ・メインメニューを使用します。

UEFI の Setup ユーティリティのメインメニューには、次の選択項目が表示されています。ファームウェアのバージョンによっては、メニュー選択がここでの説明と少し異なる場合があります。

- **System Information**

サーバーに関する情報を表示するには、この選択項目を選択します。Setup ユーティリティの他の選択項目を使用して変更を行った場合は、その変更の一部は System Information に反映されますが、System Information から直接設定を変更することはできません。この選択項目は、Setup ユーティリティの完全メニューにのみ表示されます。

- **System Summary**

マイクロプロセッサの ID、速度、およびキャッシュ・サイズ、サーバーのマシン・タイプおよびモデル、シリアル番号、システム UUID、インストール済みのメモリー容量などの構成情報を表示するには、この項目を選択します。Setup ユーティリティの他のオプションを使用して構成変更を行った場合、その変更は System Summary に反映されますが、System Summary から直接設定を変更することはできません。

- **Product Data**

システム・ボード ID、ファームウェアの改訂レベルまたは発行日、Integrated Management Module と診断コード、およびバージョンと日付を表示するには、この項目を選択します。

この選択項目は、Setup ユーティリティの完全メニューにのみ表示されます。

- **System Settings**

サーバー・コンポーネントの設定値を表示または変更するには、この項目を選択します。

- **Processors**

プロセッサの設定値を表示または変更するには、この項目を選択します。

- **Memory**

この選択項目を選択し、メモリー設定を表示あるいは変更します。

- **Devices and I/O Ports**

この選択項目を選択し、デバイスと入出力ポートの割り当てを表示あるいは変更します。シリアル・ポートの構成、リモート・コンソール・リダイレクトの構成、内蔵イーサネット・コントローラー、SAS/SATA コントローラー、SATA 光学式ドライブ・チャネル、PCI スロット、およびビデオ・コントローラーの使用可能化または使用不可化を行うことができます。装置を使用不可に設定した場合、その装置を構成することはできず、オペレーティング・システムはその装置を検出できません (これは、装置を切断するのと同様です)。

- **Power**

消費量、プロセッサ、およびパフォーマンス状態を制御するために電力キャッシングを表示または変更するには、この項目を選択します。

– **Operating Modes**

オペレーティング・プロファイルの表示または変更するには、この項目を選択します (パフォーマンス (performance) および電力使用率 (power utilization))。

– **Legacy Support**

この選択項目を選択して、レガシー・サポートを表示あるいは設定します。

– **Force Legacy Video on Boot**

この選択項目を選択して、INT ビデオ・サポートを強制します (オペレーティング・システムが UEFI のビデオ出力規格をサポートしない場合)。

– **Rehook INT 19h**

装置に対してブート・プロセスの制御を使用可能または使用不可にするには、この項目を選択します。デフォルトは「**Disable**」です。

– **Legacy Thunk Support**

この選択項目は、UEFI と UEFI に未対応の PCI 大容量ストレージ・デバイスとのデータのやりとりを使用可能または使用不可にする場合に選択します。

– **Integrated Management Module**

Integrated Management Module の設定値を表示または変更するには、この項目を選択します。

– **POST Watchdog Timer**

この選択項目を選択し、POST ウォッチドッグ・タイマーを表示あるいは使用可能にします。

– **POST Watchdog Timer Value**

この選択項目を選択し、POST ローダーのウォッチドッグ・タイマー値を表示あるいは設定します。

– **Reboot System on NMI**

マスク不能割り込み (NMI) が発生するたびにシステムを再始動することを使用可能または使用不可にします。「**Disabled**」がデフォルトです。

– **Commands on USB Interface Preference**

IMM の Ethernet over USB インターフェースを使用可能または使用不可に設定するには、この選択項目を選択します。

– **Network Configuration**

この選択項目を選択して以下のことを行います。システム管理ネットワークのインターフェース・ポート、IMM MAC アドレス、現行 IMM IP アドレス、およびホスト名の表示。静的 IMM IP アドレス、サブネット・マス

ク、およびゲートウェイ・アドレスの定義。静的 IP アドレスを使用するか DHCP で IMM IP アドレスを割り当てるかの指定。ネットワーク変更の保存。IMM のリセット。

- **Reset IMM to Defaults**

IMM デフォルト設定の表示またはリセットを行うには、この項目を選択します。

- **Reset IMM**

IMM をリセットするには、この項目を選択します。

- **System Security**

Trusted Platform Module (TPM) サポートを表示または構成するには、この選択項目を選択します。

- **Adapters and UEFI Drivers**

サーバーに取り付けられた UEFI 1.10 準拠のアダプターとドライバーおよび UEFI 2.0 準拠のアダプターとドライバーに関する情報を表示するには、この選択項目を選択します。

- **Video**

ビデオ・デバイスのオプションを表示または構成する場合、この選択項目を選択します。

注: UEFI 2.1 以上に準拠の追加ビデオ・デバイスの構成フォームは、ここに置かれている場合があります。

• **Date and Time**

この選択項目を選択して、サーバーの日時を 24 時間形式 (時:分:秒) で設定します。

この選択項目は、Setup ユーティリティの完全メニューにのみ表示されます。

• **Start Options**

この選択項目は、始動シーケンス、キーボード NumLock 状態、PXE ブート・オプション、および PCI デバイス・ブート優先順位を含む、始動オプションの表示または変更を行う場合に選択します。始動オプションでの変更は、サーバーの始動時に有効になります。

始動シーケンスは、サーバーがブート・レコードを検出するために装置をチェックする順序を指定します。サーバーは、最初に検出したブート・レコードから始動します。サーバーが Wake on LAN ハードウェアおよびソフトウェアを備えており、オペレーティング・システムが Wake on LAN 機能をサポートしている場合、Wake on LAN 機能の始動シーケンスを指定できます。例えば、CD-RW/DVD ドライブ内のディスクをチェックし、次にハード・ディスク、その後にネットワーク・アダプターをチェックする始動シーケンスを定義できます。

この選択項目は、Setup ユーティリティの完全メニューにのみ表示されます。

• **Boot Manager**

この選択項目を選択し、デバイスのブート優先順位の表示、追加、削除、または変更、ファイルからのブート、一回限りのブート方法の選択、またはブート順序のデフォルト設定へのリセットを行います。

- **System Event Logs**

この選択項目を選択して、システム・イベント・マネージャーに入り、そこでシステム・イベント・ログ内のエラー・メッセージを表示することができます。エラー・ログでページ間を移動するには、矢印キーを使用できます。

システム・イベント・ログには、POST 中にシステム管理インターフェース・ハンドラーおよびシステム・サービス・プロセッサによって生成されたすべてのイベントおよびエラー・メッセージが入っています。発生したエラー・コードの詳細を表示するには、診断プログラムを実行します。

重要: サーバーの前面のシステム・エラー LED が点灯しているが、その他にはエラー表示が何もない場合は、IMM システム・イベント・ログをクリアしてください。また、修復を完了するかエラーを訂正した後も、IMM システム・イベント・ログを消去して、サーバー前面のシステム・エラー LED をオフにしてください。

- **POST Event Viewer**

この選択項目を選択して、POST エラー・メッセージを表示する POST イベント・ビューアーに入ります。

- **System Event Log**

この選択項目を選択して、IMM システム・イベント・ログを表示します。

- **Clear System Event Log**

この選択項目を選択して、IMM システム・イベント・ログを消去します。

- **User Security**

この選択項目を選択し、パスワードを設定、変更または削除します。詳しくは、497 ページの『パスワード』を参照してください。

この選択項目は、Setup ユーティリティーの完全および限定メニューに表示されます。

- **Set Power-on Password**

始動パスワードを設定または変更するには、この項目を選択します。詳しくは、498 ページの『始動パスワード』を参照してください。

- **Clear Power-on Password**

始動パスワードをクリアするには、この項目を選択します。詳しくは、498 ページの『始動パスワード』を参照してください。

- **Set Administrator Password**

管理者パスワードを設定または変更する場合、この選択項目を選択します。管理者パスワードは、システム管理者が使用するもので、これによって Setup ユーティリティーの完全メニューへのアクセスを制限します。 管理者パ

スワードが設定されている場合、Setup ユーティリティの完全メニューが使用可能になるのは、パスワード・プロンプトで管理者パスワードを入力した場合のみです。詳しくは、500 ページの『管理者パスワード』を参照してください。

– Clear Administrator Password

管理者パスワードをクリアするには、この項目を選択します。詳しくは、500 ページの『管理者パスワード』を参照してください。

• Save Settings

この選択項目を選択し、設定値に加えた変更を保存します。

• Restore Settings

この選択項目を選択し、設定値に加えた変更をキャンセルし、前の設定値に戻します。

• Load Default Settings

設定に加えた変更を取り消し、工場出荷時設定に復元するには、この項目を選択します。

• Exit Setup

この選択項目を選択し、Setup ユーティリティを終了します。設定値に加えた変更内容を保存していなかった場合は、変更を保存するか保存しないで終了するかを尋ねられます。

パスワード

「User Security」メニュー選択項目から、始動パスワードおよび管理者パスワードを設定、変更、削除できます。

「User Security」選択項目は、Setup ユーティリティの完全メニューにのみ表示されます。

始動パスワードのみを設定している場合、システム始動を完了するため、および Setup ユーティリティの完全メニューにアクセスするために、始動パスワードを入力する必要があります。

管理者パスワードは、システム管理者が使用するものであり、Setup ユーティリティの完全メニューへのアクセスを制限します。管理者パスワードのみを設定した場合は、システムの始動時にパスワードを入力する必要はありませんが、Setup ユーティリティのメニューにアクセスする際に、管理者パスワードを入力する必要があります。

ユーザーの始動パスワードおよびシステム管理者の管理者パスワードを設定した場合、システム始動を完了するには始動パスワードを入力する必要があります。システム管理者は、管理者パスワードを入力すると、Setup ユーティリティの完全メニューにアクセスできます。システム管理者は、始動パスワードを設定、変更、および削除するためのユーザー権限を与えることができます。始動パスワードを入力したユーザーは、Setup ユーティリティの限定メニューにのみアクセスできます。ユーザーは、システム管理者から権限が与えられている場合、始動パスワードの設定、変更、および削除を行うことができます。

始動パスワード:

始動パスワードが設定されている場合、サーバーの電源をオンにした後、始動パスワードを入力するまではシステムの始動は完了しません。パスワードには、6 文字から 20 文字までの印刷可能な ASCII 文字を任意に組み合わせて使用できます。

始動パスワードが設定されると、Unattended Start モードを使用可能にすることができます。このモードでは、キーボードとマウスはロックされたままですが、オペレーティング・システムは始動できます。始動パスワードを入力することにより、キーボードとマウスのロックを解除できます。

始動パスワードを忘れた場合は、次のいずれかの方法でサーバーへのアクセスを回復できます。

- 管理者パスワードが設定されている場合は、パスワード・プロンプトで管理者パスワードを入力します。Setup ユーティリティを開始して、始動パスワードをリセットします。
- サーバーからバッテリーをいったん取り外した後、取り付け直します。
- 始動パスワード・スイッチの位置を変更して (システム・ボード・スイッチ・ブロック (SW4) のスイッチ 1 を使用可能にする)、始動パスワード検査をバイパスします (詳しくは、24 ページの表 4 を参照)。

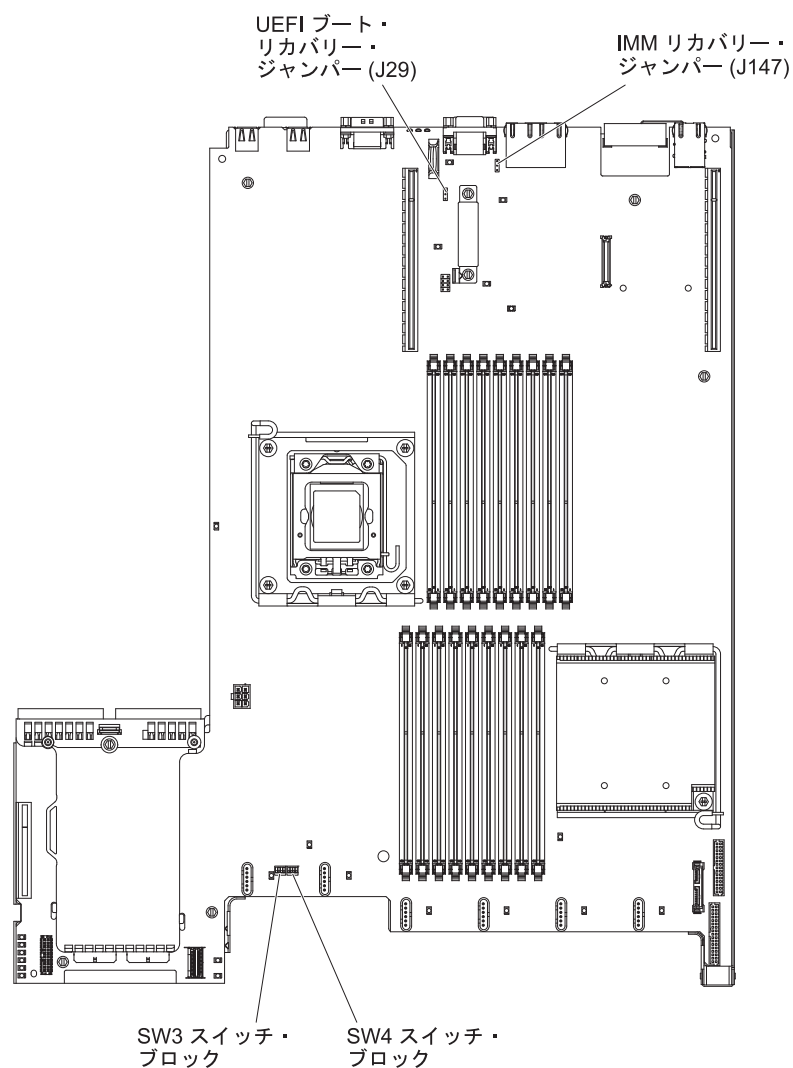


図 135. システム・ボードのスイッチとジャンパー

重要: スイッチの設定の変更またはジャンパーの移動を行うときは、その前にサーバーの電源をオフにして、電源コードと外部ケーブルをすべて外してください。vii ページの『安全について』で始まる『安全について』を参照してください。本書に表示されていないシステム・ボード上のスイッチ・ブロックまたはジャンパー・ブロックでは、設定の変更またはジャンパーの移動を行わないでください。

スイッチ・ブロック (SW4) 上のすべてのスイッチのデフォルトは、「オフ」です。

サーバーの電源がオフの間に、スイッチ・ブロック (SW4) のスイッチ 1 を「オン」位置に移動して、始動パスワード・オーバーライドを使用可能にします。次に Setup ユーティリティを開始し、始動パスワードを再設定することができます。スイッチを前の位置に戻す必要はありません。

始動パスワード・オーバーライド・スイッチは、管理者パスワードには影響しません。

管理者パスワード:

管理者パスワードを設定している場合、Setup ユーティリティの完全メニューにアクセスするには、管理者パスワードを入力する必要があります。パスワードには、6 から 20 個の印刷可能な ASCII 文字の任意の組み合わせを使用できます。

重要: 管理者パスワードを設定したがそれを忘れてしまった場合、管理者パスワードを変更、オーバーライド、または削除することはできません。システム・ボードを交換する必要があります。

Boot Manager プログラムの使用

ブート・マネージャー・プログラムは標準装備されたメニュー方式の構成ユーティリティ・プログラムであり、Setup ユーティリティの設定を変更することなく、一時的に最初の始動装置を再定義するために使用できます。

このタスクについて

ブート・マネージャー・プログラムを使用するには、以下のステップを実行してください。

手順

1. サーバーの電源をオフにします。
2. サーバーを再始動します。
3. 「<F12> Select Boot Device」というプロンプトが表示されたら、F12 を押します。ブート可能 USB 大容量ストレージ・デバイスが取り付けられている場合は、サブメニュー項目 (**USB Key/Disk**) が表示されます。
4. 上矢印キーと下矢印キーを使用して「**Boot Selection Menu**」から項目を選択し、Enter を押します。

タスクの結果

次にサーバーが始動するときは、Setup ユーティリティに設定された始動シーケンスに戻ります。

バックアップ・サーバー・ファームウェアの開始

システム・ボードには、サーバー・ファームウェア用のバックアップ・コピー領域があります。これはサーバー・ファームウェアの 2 次コピーであり、サーバー・ファームウェアの更新プロセス時にのみ更新されるものです。サーバー・ファームウェアの 1 次コピーが損傷した場合は、このバックアップ・コピーを使用してください。

システム・ボードには、サーバー・ファームウェア (以前の BIOS ファームウェア) 用のバックアップ・コピー領域があります。これはサーバー・ファームウェアの 2 次コピーであり、サーバー・ファームウェアの更新プロセス時にのみ更新されるものです。サーバー・ファームウェアの 1 次コピーが損傷した場合、このバックアップ・コピーを使用してください。

サーバーにサーバー・ファームウェアのバックアップ・コピーから始動することを強制するには、サーバーの電源をオフにし、J29 ジャンパーをバックアップ位置 (ピン 2 および 3) に置きます。

サーバー・ファームウェアの 1 次コピーがリストアされるまでは、バックアップ・コピーを使用してください。1 次コピーがリストアされたら、サーバーの電源をオフにし、J29 ジャンパーを 1 次の位置 (ピン 1 および 2) に戻します。

統合管理モジュールの使用

統合管理モジュール (IMM) は、以前にベースボード管理コントローラーのハードウェアで提供されていた機能の第 2 世代です。これは、サービス・プロセッサ機能、ビデオ・コントローラー、およびリモート・プレゼンス機能を単一のチップにチップにまとめています。

IMM では、以下の基本的なシステム管理機能をサポートしています。

- 温度、電圧、ファン障害、およびパワー・サプライ障害用のファン速度制御を備えた環境モニター。
- ファン、パワー・サプライ、マイクロプロセッサ、ハード・ディスクで発生したエラーとシステム・エラーを報告する Light Path 診断 LED インディケータ。
- DIMM エラー支援。Unified Extensible Firmware Interface (UEFI) は、POST 中に検出された障害のある DIMM を使用不可にし、IMM は、関連したシステム・エラー LED および障害のある DIMM のエラー LED を点灯します。
- システム・イベント・ログ (SEL)。
- ROM ベースの IMM ファームウェア・フラッシュ・アップデート。
- 自動ブート障害リカバリー (ABR)
- 仮想メディア・キー。これにより、リモート・プレゼンス・サポート (リモート・ビデオ、リモート・キーボード/マウス、およびリモート・ストレージ) が可能になります。
- 2 個のマイクロプロセッサ構成で、1 個のマイクロプロセッサが内部エラーをシグナル通知した場合の、障害時の自動マイクロプロセッサ使用不可および再始動。
- マスク不可能割り込み (NMI) の検出および報告
- POST が完了しなかった場合、またはオペレーティング・システムが停止してオペレーティング・システム・ウォッチドッグ・タイマーがタイムアウトになった場合の、自動サーバー再始動 (ASR)。ASR 機能が使用可能になっている場合、IMM はオペレーティング・システム・ウォッチドッグ・タイマーを監視し、タイムアウト後にシステムをリブートするように構成されている場合があります。そうでない場合、IMM は管理者がオペレーティング・システム・メモリー・ダンプのために Light Path 診断パネルの NMI ボタンを押して、マスク不可能割り込み (NMI) を生成することを許可します。ASR は IPMI でサポートされています。
- Intelligent Platform Management Interface (IPMI) Specification V2.0 および Intelligent Platform Management Bus (IPMB) のサポート。
- 無効システム構成 (CNFG) LED のサポート。
- Telnet または SSH を介したシリアル・ポート・リダイレクト。

- Serial over LAN (SOL)。
- Active Energy Manager
- パワー・サプライ入力電力の照会。
- PECI 2 のサポート。
- 電源/リセット制御 (電源投入、ハードおよびソフト・シャットダウン、ハードおよびソフト・リセット、スケジュール電源制御)。
- アラート (インバンドおよびアウト・オブ・バンドのアラート、PET トラップ - IPMI スタイル、SNMP、E メール)。
- オペレーティング・システム障害のブルー・スクリーン・キャプチャー。
- コマンド・ライン・インターフェース。
- 構成の保管とリストア。
- PCI 構成データ。
- ブート・シーケンス操作。

IMM は、OSA SMBridge 管理ユーティリティ・プログラムを使用して、以下のリモート・サーバー管理機能も提供します。

- **コマンド・ライン・インターフェース (IPMI シェル)**

コマンド・ライン・インターフェースでは、IPMI 2.0 プロトコルを使用したサーバー管理機能への直接アクセスが可能です。 コマンド・ライン・インターフェースを使用すると、サーバー電源の制御、システム情報の表示、およびサーバーの識別を行うためにコマンドを実行できます。 また、1 つ以上のコマンドをテキスト・ファイルとして保管し、そのファイルをスクリプトとして実行することもできます。

- **Serial over LAN**

リモートの場所からサーバーを管理するには、Serial over LAN (SOL) 接続を確立します。 リモートで UEFI 設定の表示および変更、サーバーの再始動、サーバーの識別、およびその他の管理機能の実行を行うことができます。 標準の Telnet クライアント・アプリケーションはどれも SOL 接続にアクセスできません。

リモート・プレゼンス機能およびブルー・スクリーン・キャプチャー機能の使用

リモート・プレゼンス機能およびブルー・スクリーン・キャプチャー機能は統合管理モジュール (IMM) に組み込まれた機能です。

オプションの IBM 仮想メディア・キーがサーバーに取り付けられている場合、これによってリモート・プレゼンス機能がアクティブになります。組み込まれているリモート・プレゼンス機能とブルー・スクリーン・キャプチャー機能を使用するには、仮想メディア・キーが必要です。仮想メディア・キーがない場合は、リモートでネットワークにアクセスしてクライアント・システムのドライブまたはイメージをマウントまたはアンマウントすることはできません。ただし、このキーがなくても Web インターフェースにはアクセスできます。

仮想メディア・キーがサーバーに取り付けられた後、このキーが有効であるかどうかを判別するための認証が行われます。このキーが無効である場合、リモート・プレゼンス機能を開始しようとする Web インターフェースにメッセージが表示され、リモート・プレゼンス機能を使用するにはハードウェア・キーが必要であることが示されます。

仮想メディア・キーには LED が 1 つあります。この LED が緑色に点灯しているときは、そのキーが正しく取り付けられており、正常に機能していることを示しています。LED が点灯していないときは、そのキーが正しく取り付けられていない可能性があることを示しています。

リモート・プレゼンス機能は、以下の機能を備えています。

- システムの状態に関係なく、75 Hz で最大 1600 x 1200 のグラフィックス解像度のビデオをリモート側で表示できます。
- リモート・クライアントからキーボードとマウスを使用して、リモート側でサーバーにアクセスできます。
- リモート・クライアント上の CD または DVD ドライブ、ディスケット・ドライブ、および USB フラッシュ・ドライブをマッピングし、また、ISO イメージ・ファイルおよびディスケット・イメージ・ファイルを仮想ドライブとしてマッピングして、サーバーで使用できるようにします。
- ディスケット・イメージを IMM のメモリーにアップロードし、これを仮想ドライブとしてサーバーにマッピングする

IMM がオペレーティング・システムのハング状態を検出した場合、IMM がサーバーを再始動する前に、ブルー・スクリーン・キャプチャー機能はビデオの表示内容をキャプチャーします。システム管理者は、ハング状態の原因を判別するためにブルー・スクリーン・キャプチャーを使用することができます。

リモート・プレゼンス機能の使用可能化

以下の情報を使用して、リモート・プレゼンス機能を使用可能にします。

このタスクについて

リモート・プレゼンス機能を使用可能にするには、次のステップを実行してください。

手順

1. 仮想メディア・キーをシステム・ボードの専用スロットに取り付けます (25 ページの『システム・ボードのオプション装置コネクタ』を参照)。
2. サーバーの電源をオンにします。

注: サーバーが電源に接続されてから約 20 秒から 40 秒後に、電源制御ボタンがアクティブになります。

IMM 用の IP アドレスの取得

Web インターフェースにアクセスするには、IMM 用の IP アドレスが必要です。IMM の IP アドレスは、Setup ユーティリティを使用して取得できます。サーバーには、IMM 用のデフォルト IP アドレス 192.168.70.125 があります。

このタスクについて

IP アドレスを見つけるには、以下のステップを実行してください。

手順

1. サーバーの電源をオンにします。

注: サーバーが電源に接続されてから約 20 秒から 40 秒後に、電源制御ボタンがアクティブになります。

2. プロンプトの「<F1> Setup」が表示されたら、F1 キーを押します。(このプロンプトは、数秒間しか画面に表示されません。素早く F1 を押してください。) 始動パスワードと管理者パスワードの両方を設定している場合、Setup ユーティリティの完全メニューにアクセスするには、管理者パスワードを入力する必要があります。
3. Setup ユーティリティのメインメニューから「**System Settings**」を選択します。
4. 次の画面で「**Integrated Management Module**」を選択します。
5. 次の画面で「**Network Configuration**」を選択します。
6. IP アドレスを見つけ、書き留めます。
7. Setup ユーティリティを終了します。

Web インターフェースへのログイン

以下の情報を使用して、Web インターフェースにログインします。

このタスクについて

Web インターフェースにログインしてリモート・プレゼンス機能を使用するには、以下のステップを実行してください。

手順

1. サーバーに接続しているコンピューターで Web ブラウザーを開き、「**Address**」または「**URL**」フィールドに、接続する IMM の IP アドレスまたはホスト名を入力します。

注: IMM はデフォルトで DHCP を使用します。DHCP ホストが使用できない場合、IMM は静的 IP アドレスである 192.168.70.125 を割り当てます。

2. ログイン・ページで、ユーザー名とパスワードを入力します。IMM を初めて使用する場合、ユーザー名とパスワードはシステム管理者から入手できます。ログインの試行はイベント・ログにすべて記録されます。

注: IMM の初期設定では、ユーザー名は USERID、パスワードは PASSWORD になっています (passwd の 0 は文字の O ではなく数字のゼロです)。読み取り/書き込み権限が付与されています。このデフォルトのパスワードは、初回ログイン時に変更する必要があります。

3. ウェルカム・ページで、表示されているフィールドにタイムアウト値 (分数) を入力します。タイムアウト値に入力した分数の間だけブラウザーが活動状態になると、IMM によって Web インターフェースからログオフされます。
4. 「**Continue**」をクリックして、セッションを開始します。「**System Health**」ページにシステム状況のクイック・ビューが表示されます。

組み込みハイパーバイザーの使用

VMware ESXi 組み込みハイパーバイザーは、USB 組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスを取り付けた状態で出荷されるサーバー・モデルで使用できます。

このタスクについて

USB フラッシュ・デバイスは、SAS/SATA RAID ライザー・カードの USB コネクターに取り付けられています (以下の図を参照してください)。ハイパーバイザーは、複数のオペレーティング・システムが 1 つのホスト・システム上で同時に稼働できるようにする仮想化ソフトウェアです。ハイパーバイザー機能をアクティブにするには、USB フラッシュ装置が必要です。

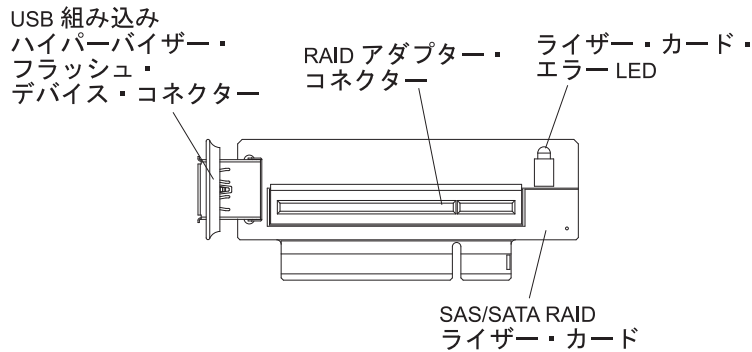


図 136. USB 組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイス・コネクタ

組み込みハイパーバイザー機能の使用を開始するには、Setup ユーティリティのブート順序に USB フラッシュ装置を追加する必要があります。

USB フラッシュ装置をブート順序に追加するには、次のステップを実行します。

手順

1. サーバーの電源をオンにします。

注: サーバーが電源に接続されてから約 20 秒から 40 秒後に、電源制御ボタンがアクティブになります。

2. プロンプト「<F1> Setup」が表示されたら、F1 キーを押します。
3. Setup ユーティリティのメインメニューから「**Boot Manager**」を選択します。
4. 「**Add Boot Option**」 > 「**Embedded Hypervisor**」を選択します。Enter キーを押してから、Esc を選択します。
5. 「**Change Boot Order**」を選択し、次に「**Commit Changes**」を選択して、Enter キーを押します。
6. 「**Save Settings**」を選択し、次に「**Exit Setup**」を選択します。

フラッシュ・デバイス・イメージの回復

このタスクについて

組み込みハイパーバイザーのフラッシュ・デバイス・イメージが破損した場合は、VMware Recovery CD を使用してフラッシュ・デバイス・イメージを回復することができます。

フラッシュ装置イメージを回復するには、次のステップを実行します。

手順

1. サーバーの電源を入れます。

注: サーバーが電源に接続されてから約 20 秒から 40 秒後に、電源制御ボタンがアクティブになります。

2. VMware Recovery CD を CD または DVD ドライブに挿入します。
3. 画面の指示に従います。

タスクの結果

追加情報と手順については、「*ESXi Embedded and vCenter Server Setup Guide*」(http://www.vmware.com/pdf/vsphere4/r40_u1/vsp_40_u1_esxi_e_vc_setup_guide.pdf) を参照してください。

Broadcom Gigabit Ethernet ユーティリティ・プログラムの使用可能化

Broadcom Gigabit Ethernet ユーティリティ・プログラムはサーバー・ファームウェアの一部です。

このプログラムを使用して、ネットワークを始動可能デバイスとして構成し、ネットワーク始動オプションを始動シーケンスのどこに位置付けるかをカスタマイズすることができます。Broadcom Gigabit Ethernet ユーティリティ・プログラムは、Setup ユーティリティから使用可能および使用不可にします。

Gigabit Ethernet コントローラーの構成

イーサネット・コントローラーはシステム・ボードに組み込まれています。これらのコントローラーは、10 Mbps、100 Mbps、または 1 Gbps のネットワークに接続するためのインターフェースを提供し、さらにネットワーク上のデータの同時送受信を可能にする全二重 (FDX) 機能を提供します。

サーバーのイーサネット・ポートがオートネゴシエーションをサポートしている場合は、コントローラーは、ネットワークのデータ転送速度 (10BASE-T、100BASE-TX、または 1000BASE-T) と二重モード (全二重または半二重) を検出し、自動的にその速度とモードで稼働します。

ジャンパーをセットしたりコントローラーを構成したりする必要はありません。ただし、デバイス・ドライバをインストールして、オペレーティング・システムがコントローラーをアドレスできるようにする必要があります。

デバイス・ドライバおよびイーサネット・コントローラーの構成に関する情報を検索するには、<http://www.ibm.com/supportportal/> にアクセスしてください。

LSI Configuration ユーティリティ・プログラムの使用

RAID アレイを構成および管理するには、LSI Configuration ユーティリティ・プログラムを使用します。

このプログラムは、必ず本書の説明に従って使用してください。

- LSI Configuration ユーティリティ・プログラムを使用すると、以下のタスクを実行できます。
 - ハード・ディスクのローレベル・フォーマットの実行
 - ホット・スペア・ドライブ付き/なしのハード・ディスク・アレイの作成
 - ハード・ディスクのプロトコル・パラメーターの設定

RAID 機能付きオンボード SAS/SATA コントローラーは、RAID アレイをサポートします。LSI Configuration ユーティリティ・プログラムを使用して、接続された 1 対の装置に対して RAID 1 (IM)、RAID 1E (IME)、および RAID 0 (IS) を構成

できます。オプションの ServeRAID-MR10i SAS/SATA コントローラーを取り付ける場合、RAID レベル 0、1、5、6、10、50、および 60 のサポートが提供されます。別のタイプの RAID アダプターを取り付ける場合は、そのアダプターに付属の資料に記載された手順に従って接続装置の設定を表示または変更してください。

さらに、LSI コマンド・ライン構成プログラムを <http://www.ibm.com/supportportal/> からダウンロードすることができます。

LSI Configuration ユーティリティ・プログラムを使用してアレイの構成と管理を行う場合は、次の情報を考慮してください。

- RAID 機能付きオンボード SAS/SATA コントローラーは、以下の機能をサポートします。

- ホット・スペア・サポート付き統合ミラーリング (IM) (RAID 1 と同じ)

このオプションを使用して、2 つのディスクからなる統合アレイと、最高 2 つのホット・スペアを作成します。1 次ディスク上のすべてのデータをマイグレーションすることができます。

- ホット・スペア・サポート付き統合ミラーリング拡張 (IME) (RAID 1E と同じ)

このオプションを使用して、最高 2 つのオプションのホット・スペアを含めて、3 つから 8 つのディスクからなる統合ミラーリング拡張アレイを作成します。アレイ・ディスク上のすべてのデータは削除されます。

- 統合ストライピング (IS) (RAID 0 と同じ)

このオプションを使用して、2 つから 8 つのディスクからなる統合ストライピング・アレイを作成します。アレイ・ディスク上のすべてのデータは削除されます。

- ハード・ディスクの容量はアレイの作成方法に関係します。アレイ内のドライブは異なる容量を持つことが可能ですが、RAID コントローラーは、すべてのドライブを最小容量のハード・ディスクと同じ容量を持つものとして扱います。
- オペレーティング・システムをインストールしたあとで、RAID 機能付きオンボード SAS/SATA コントローラーを使用して、RAID 1 (ミラーリング) アレイを構成する場合は、ミラーリングされたペアの 2 次ドライブに以前に保管されたデータまたはアプリケーションにアクセスできなくなります。
- 別のタイプの RAID コントローラーを取り付けている場合に、接続装置の設定を表示または変更するには、コントローラーに付属の資料を参照してください。

LSI Configuration ユーティリティ・プログラムの開始

LSI Configuration ユーティリティ・プログラムを開始するには、この情報を使用します。

このタスクについて

LSI Configuration ユーティリティ・プログラムを開始するには、次のステップを完了してください。

手順

1. サーバーの電源を入れます。

注: サーバーが電源に接続されてから約 20 秒から 40 秒後に、電源制御ボタンがアクティブになります。

2. プロンプト「<F1 Setup>」が表示されたら、F1 キーを押します。管理者パスワードが設定されている場合は、そのパスワードの入力を求めるプロンプトが表示されます。
3. 「System Settings」 > 「Adapters and UEFI drivers」を選択します。
4. 「Please refresh this page on the first visit」を選択して、Enter を押します。
5. 「LSI controller_driver_name Driver」を選択して、Enter を押します。ここで、*controller_driver_name* は、SAS/SATA コントローラー・ドライバーの名前です。SAS/SATA コントローラー・ドライバー名については、コントローラーに付属の資料を参照してください。
6. ストレージ管理タスクを実行するには、SAS/SATA コントローラーに付属の資料に記載された手順に従ってください。

タスクの結果

設定の変更が完了したら、Esc キーを押してプログラムを終了します。変更した設定を保存するには、「Save」を選択します。

ハード・ディスクのフォーマット

ローレベル・フォーマットを行うと、ハード・ディスクからすべてのデータが削除されます。ディスク上に保存したいデータがある場合は、そのハード・ディスクをバックアップしてからこの手順を実行してください。

このタスクについて

注: ハード・ディスクをフォーマットする前に、ディスクがミラーリングされたペアの一部ではないことを確認してください。

ドライブをフォーマットするには、次のステップを実行します。

手順

1. アダプターのリストから、フォーマットしたいドライブのコントローラー (チャンネル) を選択して Enter を押します。
2. 「SAS Topology」を選択して、Enter を押します。
3. 「Direct Attach Devices」を選択して、Enter を押します。

4. フォーマットしたいドライブを強調表示するには、上矢印および下矢印キーを使用します。左右にスクロールするには、左矢印および右矢印キー、または End (終了) キーを使用します。Alt+D を押します。
5. ローレベル・フォーマット操作を開始するには、「**Format**」を選択し、Enter を押します。

ハード・ディスクの RAID アレイの作成

以下の情報を使用して、ハード・ディスクの RAID アレイを作成します。

このタスクについて

ハード・ディスクの RAID アレイを作成するには、次のステップを実行します。

手順

1. アダプターのリストから、ミラーリングしたいドライブのコントローラー (チャネル) を選択します。
2. 「**RAID Properties**」を選択します。
3. 作成したいアレイのタイプを選択します。
4. 矢印キーを使用してペアの最初のドライブを強調表示します。その後、マイナス (-) またはプラス (+) のキーを押して、ミラーリングの値を「**Primary**」に変更します。
5. アレイに使用するすべてのドライブを選択するまで、マイナス (-) またはプラス (+) のキーを使用して次のドライブの選択を続行します。
6. C キーを押して、ディスク・アレイを作成します。
7. 「**Apply changes and exit menu**」を選択し、アレイを作成します。

IBM Advanced Settings ユーティリティ・プログラム

IBM Advanced Settings ユーティリティ (ASU) プログラムは、UEFI 設定の変更を行うための、Setup ユーティリティの代替となるプログラムです。

ASU プログラムをオンラインまたはアウト・オブ・バンドで使用すると、コマンド・ラインから UEFI 設定を変更することができるので、Setup ユーティリティにアクセスするためにシステムを再始動する必要がありません。

また、ASU プログラムを使用して、オプションのリモート・プレゼンス機能または他の IMM 設定を構成できます。リモート・プレゼンス機能は、システム管理の拡張機能を備えています。

また、ASU プログラムには、コマンド・ライン・インターフェースから IMM の IPMI 機能を構成するための限定された設定もあります。

セットアップ・コマンドを実行するには、コマンド・ライン・インターフェースを使用します。すべての設定をファイルとして保存し、そのファイルをスクリプトとして実行できます。ASU プログラムは、バッチ処理モードを使用したスクリプト環境をサポートします。

ASU プログラムの詳しい説明とダウンロードについては、<http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnocid=TOOL-ASU> にアクセスしてください。

IBM Systems Director の更新

サーバーの管理に IBM Systems Director を使用する予定がある場合は、IBM Systems Director に適用可能な最新の更新と暫定修正があるかどうかを確認する必要があります。

このタスクについて

注: IBM Web サイトは、定期的に変更されます。 実際の手順が本書に記述されているものと多少異なっていることがあります。

最新バージョンのインストール

このタスクについて

最新バージョンの IBM Systems Director を見つけてインストールするには、次のステップを実行してください。

手順

1. IBM Systems Director の最新バージョンを確認します。
 - a. <http://www.ibm.com/systems/management/director/downloads.html> に進みます。
 - b. サーバーに付属しているものよりも新しいバージョンの IBM Systems Director がドロップダウン・リストに表示されている場合は、Web ページの指示に従って最新バージョンをダウンロードしてください。
2. IBM Systems Director プログラムをインストールします。

ご使用の管理サーバーがインターネットに接続されている場合の更新のインストール

このタスクについて

ご使用の管理サーバーがインターネットに接続されている場合に更新と暫定修正を特定してインストールするには、以下のステップを実行してください。

手順

1. ディスカバリーとインベントリーの収集タスクを実行したことを確認します。
2. IBM Systems Director Web インターフェースのウェルカム・ページで、「更新の表示」をクリックします。
3. 「**Check for updates**」をクリックします。表に使用可能な更新が表示されます。
4. インストールする更新を選択して、「**Install**」をクリックします。インストール・ウィザードが開始します。

ご使用の管理サーバーがインターネットに接続されていない場合の更新のインストール

このタスクについて

ご使用の管理サーバーがインターネットに接続されていない場合に更新と暫定修正を特定してインストールするには、以下のステップを実行してください。

手順

1. ディスカバリーとインベントリーの収集タスクを実行したことを確認します。
2. インターネットに接続されているシステムで、<http://www.ibm.com/support/fixcentral/> にアクセスします。
3. 「**Product family**」リストから「**IBM Systems Director**」を選択します。
4. 「**Product**」リストから「**IBM Systems Director**」を選択します。
5. 「**Installed version**」リストから最新バージョンを選択して、「**Continue**」をクリックします。
6. 使用可能な更新をダウンロードします。
7. ダウンロードしたファイルを管理サーバーにコピーします。
8. 管理サーバーの IBM Systems Director Web インターフェースのウェルカム・ページで、「**管理**」タブをクリックし、「**更新マネージャー**」をクリックします。
9. 「**Import updates**」をクリックして、管理サーバーにコピーしたダウンロード済みファイルの場所を指定します。
10. Web インターフェースのウェルカム・ページに戻り、「**View updates**」をクリックします。
11. インストールする更新を選択して、「**Install**」をクリックします。インストール・ウィザードが開始します。

汎用固有 ID (UUID) の更新

システム・ボードを交換した場合、汎用固有 ID (UUID) を更新する必要があります。Advanced Settings ユーティリティを使用して、UEFI ベースのサーバーの UUID を更新します。

このタスクについて

ASU は、複数のオペレーティング・システムをサポートするオンライン・ツールです。ご使用のオペレーティング・システム用のバージョンをダウンロードしてください。ASU は、IBM Web サイトからダウンロードできます。ASU をダウンロードし、UUID を更新するには、<http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnocid=TOOL-ASU>に進みます。

手順

1. ASU は、統合管理モジュール (IMM) で UUID を設定します。次のいずれかの方法を選択して統合管理モジュール (IMM) にアクセスし、UUID を設定します。

- ターゲット・システムからオンラインでアクセス (LAN またはキーボード・コンソール・スタイル (KCS) のアクセス)
 - ターゲット・システムへのリモート・アクセス (LAN ベース)
 - ASU を含んでいるブート可能メディア (ブート可能メディアに応じて、LAN または KCS)
2. ASU パッケージ (これには、他の必要なファイルも含まれている) をサーバーにコピーし、解凍します。ASU と必要なファイルを必ず同じディレクトリーに解凍してください。アプリケーション実行可能ファイル (asu または asu64) の他に、以下のファイルが必要です。
- Windows ベースのオペレーティング・システムの場合:
 - ibm_rndis_server_os.inf
 - device.cat
 - Linux ベースのオペレーティング・システムの場合:
 - cdc_interface.sh
3. ASU をインストールした後、次のコマンド構文を使用して UUID を設定します。

```
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoUUID <uuid_value> [access_method]
```

それぞれのパラメーターの意味は次のとおりです。

<uuid_value>

ユーザーが割り当てる最大 16 バイトの 16 進値。

[access_method]

以下の方式からユーザーが使用することを選択したアクセス方式。

- オンライン認証 LAN アクセスの場合、次のコマンドを入力します。

```
[host <imm_internal_ip>] [user <imm_user_id>] [password <imm_password>]
```

ここで、

imm_internal_ip

IMM 内部 LAN/USB IP アドレス。デフォルト値は 169.254.95.118 です。

imm_user_id

IMM account (12 アカウントのうちの 1 つ)。デフォルト値は USERID です。

imm_password

IMM アカウントのパスワード (12 アカウントのうちの 1 つ)。デフォルト値は PASSWORD (O ではなくゼロ 0 を使用) です。

注: いずれのパラメーターも指定しない場合、ASU はデフォルト値を使用します。デフォルト値が使用され、オンライン認証の LAN アクセス方式を使用して ASU が IMM にアクセスできないとき、ASU は自動的に認定されていない KCS アクセス方式を使用します。

以下のコマンドは、ユーザー ID およびパスワードのデフォルト値を使用する例と、デフォルト値を使用しない例です。

ユーザー ID およびパスワードのデフォルト値を使用しない例:

```
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoUUID <uuid_value> --user <user_id>
--password <password>
```

ユーザー ID およびパスワードのデフォルト値を使用する例:

```
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoUUID <uuid_value>
```

- オンライン KCS アクセス (非認証およびユーザー制限付き)

このアクセス方式を使用する場合は、*access_method* の値を指定する必要はありません。

例:

```
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoUUID <uuid_value>
```

KCS アクセス方式は、IPMI/KCS インターフェースを使用します。この方式では、IPMI ドライバーがインストールされている必要があります。一部のオペレーティング・システムには、IPMI ドライバーがデフォルトでインストールされます。ASU は対応するマッピング・レイヤーを提供します。詳細については、510 ページの『IBM Advanced Settings ユーティリティ・プログラム』または「*Advanced Settings Utility Users Guide*」を参照してください。

- リモート LAN アクセスの場合、次のコマンドを入力します。

注: リモート LAN アクセス方式を使用し、クライアントから LAN を使用して IMM にアクセスする場合、「*host*」および「*imm_external_ip*」アドレスは必須パラメーターです。

```
host <imm_external_ip> [user <imm_user_id>] [password <imm_password>]
```

ここで、

imm_external_ip

外部 IMM LAN IP アドレス。デフォルト値はありません。このパラメーターは必須です。

imm_user_id

IMM account (12 アカウントのうちの 1 つ)。デフォルト値は USERID です。

imm_password

IMM アカウントのパスワード (12 アカウントのうちの 1 つ)。デフォルト値は PASSWORD (O ではなくゼロ 0 を使用) です。

以下のコマンドは、ユーザー ID およびパスワードのデフォルト値を使用する例と、デフォルト値を使用しない例です。

ユーザー ID およびパスワードのデフォルト値を使用しない例:

```
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoUUID <uuid_value> --host <imm_ip>
--user <user_id> --password <password>
```

ユーザー ID およびパスワードのデフォルト値を使用する例:

```
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoUUID <uuid_value> --host <imm_ip>
```

- ブート可能メディア:

Tools Center Web サイト (<http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnocid=TOOL-CENTER>) から入手可能なアプリケーションを使用して、ブート可能メディアを作成することもできます。左側のペインから「**IBM System x and BladeCenter Tools Center**」をクリックし、次に「**Tool reference**」をクリックして、使用可能なツールを確認します。

4. サーバーを再始動します。

DMI/SMBIOS データの更新

システム・ボードを交換した場合、Desktop Management Interface (DMI) を更新する必要があります。Advanced Settings ユーティリティーを使用して、UEFI ベースのサーバーの DMI を更新します。

このタスクについて

ASU は複数のオペレーティング・システムをサポートするオンライン・ツールです。ご使用のオペレーティング・システム用のバージョンをダウンロードしたことを確認してください。IBM Web サイトから ASU をダウンロードすることができます。ASU をダウンロードし、DMI を更新するには、<http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnocid=TOOL-ASU>に進みます。

手順

1. ASU は、統合管理モジュール (IMM) で DMI を設定します。次のいずれかの方法を選択して統合管理モジュール (IMM) にアクセスし、DMI を設定します。
 - ターゲット・システムからオンラインでアクセス (LAN またはキーボード・コンソール・スタイル (KCS) のアクセス)
 - ターゲット・システムへのリモート・アクセス (LAN ベース)
 - ASU を含んでいるブート可能メディア (ブート可能メディアに応じて、LAN または KCS)
2. ASU パッケージ (これには、他の必要なファイルも含まれている) をサーバーにコピーし、解凍します。ASU と必要なファイルを必ず同じディレクトリーに解凍してください。アプリケーション実行可能ファイル (asu または asu64) の他に、以下のファイルが必要です。
 - Windows ベースのオペレーティング・システムの場合:
 - ibm_rndis_server_os.inf
 - device.cat
 - Linux ベースのオペレーティング・システムの場合:
 - cdc_interface.sh
3. ASU のインストール後、以下のコマンドをタイプして DMI を設定します。

```
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoProdName <m/t_model> [access_method]
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoProdIdentifier <system model> [access_method]
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoSerialNum <s/n> [access_method]
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysEncloseAssetTag <asset_tag> [access_method]
```

ここで、

<m/t_model>

サーバーのマシン・タイプおよび型式番号。mtm xxxxyyy と入力してください。ここで、xxxx はマシン・タイプ、yyy はサーバーの型式番号です。

< system model>

システムのモデル。system yyyyyyy と入力します。ここで、yyyyyy は x3550M3 のようなプロダクト ID です。

<s/n>

サーバーのシリアル番号。sn zzzzzzz と入力します。ここで、zzzzzz はシリアル番号です。

<asset_method>

サーバーの資産タグ番号。asset aaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaa と入力します。ここで、aaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaa は資産タグ番号です。

[access_method]

以下の方式からユーザーが選択したアクセス方式。

- オンライン認証 LAN アクセスの場合、次のコマンドを入力します。

```
[host <imm_internal_ip>] [user <imm_user_id>][password <imm_password>]
```

ここで、

imm_internal_ip

IMM 内部 LAN/USB IP アドレス。デフォルト値は 169.254.95.118 です。

imm_user_id

IMM account (12 アカountのうちの 1 つ)。デフォルト値は USERID です。

imm_password

IMM アカountのパスワード (12 アカountのうちの 1 つ)。デフォルト値は PASSWORD (O ではなくゼロ 0 を使用) です。

注: いずれのパラメーターも指定しない場合、ASU はデフォルト値を使用します。デフォルト値が使用され、オンライン認証の LAN アクセス方式を使用して ASU が IMM にアクセスできないとき、ASU は自動的に認定されていない以下の KCS アクセス方式を使用します。

以下のコマンドは、ユーザー ID およびパスワードのデフォルト値を使用する例と、デフォルト値を使用しない例です。

ユーザー ID およびパスワードのデフォルト値を使用しない例:

```
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoProdName <m/t_model>
--user <imm_user_id> --password <imm_password>
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoProdIdentifier <system model>
--user <imm_user_id> --password <imm_password>
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoSerialNum <s/n> --user <imm_user_id>
--password <imm_password>
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysEncloseAssetTag <asset_tag>
--user <imm_user_id> --password <imm_password>
```

ユーザー ID およびパスワードのデフォルト値を使用する例:

```
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoProdName <m/t_model>
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoProdIdentifier <system model>
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoSerialNum <s/n>
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysEncloseAssetTag <asset_tag>
```

- オンライン KCS アクセス (非認証およびユーザー制限付き) の場合:

このアクセス方式を使用する場合は、*access_method* の値を指定する必要はありません。

KCS アクセス方式は IPMI/KCS インターフェースを使用します。この方式では、IPMI ドライバーがインストールされている必要があります。一部のオペレーティング・システムには、IPMI ドライバーがデフォルトでインストールされます。ASU は対応するマッピング・レイヤーを提供します。詳しくは、<http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnocid=TOOL-ASU> で「*Advanced Settings Utility Users Guide*」を参照してください。

以下のコマンドは、ユーザー ID およびパスワードのデフォルト値を使用する例と、デフォルト値を使用しない例です。

ユーザー ID およびパスワードのデフォルト値を使用しない例:

```
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoProdName <m/t_model>
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoProdIdentifier <system model>
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoSerialNum <s/n>
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysEncloseAssetTag <asset_tag>
```

- リモート LAN アクセスの場合、次のコマンドを入力します。

注: リモート LAN アクセス方式を使用し、クライアントから LAN を使用して IMM にアクセスする場合、「*host*」および「*imm_external_ip*」アドレスは必須パラメーターです。

```
host <imm_external_ip> [user <imm_user_id>][password <imm_password>]
```

ここで、

imm_external_ip

外部 IMM LAN IP アドレス。デフォルト値はありません。このパラメーターは必須です。

imm_user_id

IMM account (12 アカウントのうちの 1 つ)。デフォルト値は USERID です。

imm_password

IMM アカウントのパスワード (12 アカウントのうちの 1 つ)。デフォルト値は PASSWORD (O ではなくゼロ 0 を使用) です。

以下のコマンドは、ユーザー ID およびパスワードのデフォルト値を使用する例と、デフォルト値を使用しない例です。

ユーザー ID およびパスワードのデフォルト値を使用しない例:

```
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoProdName <m/t_model> --host <imm_ip>
--user <imm_user_id> --password <imm_password>
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoProdIdentifier <system model>
--host <imm_ip>
--user <imm_user_id> --password <imm_password>
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoSerialNum <s/n> --host <imm_ip>
--user <imm_user_id> --password <imm_password>
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysEncloseAssetTag <asset_tag> --host <imm_ip>
--user <imm_user_id> --password <imm_password>
```

ユーザー ID およびパスワードのデフォルト値を使用する例:

```
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoProdName <m/t_model> --host <imm_ip>
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoProdIdentifier <system model>
--host <imm_ip>
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoSerialNum <s/n> --host <imm_ip>
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysEncloseAssetTag <asset_tag> --host <imm_ip>
```

- ブート可能メディア:

Tools Center Web サイト (<http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnocid=TOOL-CENTER>) から入手可能なアプリケーションを使用して、ブート可能メディアを作成することもできます。左側のペインから「**IBM System x and BladeCenter Tools Center**」をクリックし、次に「**Tool reference**」をクリックして、使用可能なツールを確認します。

4. サーバーを再始動します。

付録. ヘルプおよび技術サポートの入手

ヘルプ、サービス、技術サポート、または IBM 製品に関する詳しい情報が必要な場合は、IBM がさまざまな形で提供しているサポートをご利用いただけます。

以下の情報を使用して、IBM と IBM 製品に関する追加情報の入手先、IBM システムまたはオプション装置で問題が発生した場合の対処方法、およびサービスが必要になった場合の連絡先を知ることができます。

依頼する前に

連絡する前に、以下の手順を実行して、必ずお客様自身で問題の解決を試みてください。

ご使用の IBM 製品において IBM が保証サービスを実行する必要があると確信する場合は、お客様に連絡前の準備をしていただくことで、IBM サービス技術員がより効果的な支援を行うことができます。

- ケーブルがすべて接続されていることを確認します。
- 電源スイッチをチェックして、システムおよびすべてのオプション製品の電源がオンになっていることを確認します。
- ご使用の IBM 製品用に更新されたソフトウェア、ファームウェア、およびオペレーティング・システム・デバイス・ドライバがないかを確認します。IBM 保証条件は、IBM 製品の所有者であるお客様の責任で、製品のソフトウェアおよびファームウェアの保守および更新を行う必要があることを明記しています（追加の保守契約によって保証されていない場合）。お客様の IBM サービス技術員は、問題の解決策がソフトウェアのアップグレードで文書化されている場合、ソフトウェアおよびファームウェアをアップグレードすることを要求します。
- ご使用の環境で新しいハードウェアを取り付けたり、新しいソフトウェアをインストールした場合、<http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us/> でそのハードウェアおよびソフトウェアがご使用の IBM 製品によってサポートされていることを確認してください。
- <http://www.ibm.com/support/jp/ja/> にアクセスして、問題の解決に役立つ情報があるか確認してください。
- IBM サポートに提供する次の情報を収集してください。このデータは、IBM サービスがお客様の問題に対する解決方法を迅速に提供するのに役立ちます。また、このデータによって、お客様が契約したレベルのサービスを確実に受けることができるようになります。
 - ハードウェアおよびソフトウェアの保守契約番号（該当する場合）
 - マシン・タイプ番号（IBM の 4 桁のマシン識別番号）
 - 型式番号
 - シリアル番号
 - 現行のシステム UEFI およびファームウェアのレベル
 - エラー・メッセージやログなど、その他関連情報

- http://www.ibm.com/support/entry/portal/Open_service_request/ にアクセスして、Electronic Service Request を送信してください。Electronic Service Request を送信すると、IBM サポートが迅速に、そして効果的に関連情報を使用できるようになることで、お客様の問題の解決策を判別するプロセスが開始されます。IBM サービス技術員は、お客様が Electronic Service Request を完了および送信するとすぐに、解決策の作業を開始します。

多くの問題は、IBM 製品に付属のオンライン・ヘルプおよび説明資料に記載のトラブルシューティング手順を実行することで、お客様自身で解決することができます。IBM システムに付属の資料には、お客様が実行できる診断テストについても記載しています。大部分のシステム、オペレーティング・システムおよびプログラムには、トラブルシューティング手順やエラー・メッセージおよびエラー・コードに関する説明書が付属しています。ソフトウェアの問題だと考えられる場合は、オペレーティング・システムまたはプログラムの資料を参照してください。

ヘルプおよび情報を WWW から入手する

IBM 製品およびサポートに関する最新情報は、WWW から入手することができます。

WWW 上の <http://www.ibm.com/support/jp/ja/> では、IBM システム、オプション装置、サービス、およびサポートについての最新情報が提供されています。IBM System x 情報は、<http://www-06.ibm.com/systems/jp/x/> にあります。IBM BladeCenter 情報は、<http://www-06.ibm.com/systems/jp/bladecenter/> にあります。IBM IntelliStation 情報は、<http://www-06.ibm.com/systems/jp/x/intellistation/list.shtml> にあります。

IBM への DSA データの送信方法

IBM に診断データを送信するには、IBM Enhanced Customer Data Repository を使用します。

診断データを IBM に送信する前に、<http://www.ibm.com/de/support/ecurep/terms.html> の利用条件をお読みください。

以下のいずれかの方法を使用して、診断データを IBM に送信することができます。

- 標準アップロード:http://www.ibm.com/de/support/ecurep/send_http.html
- システムのシリアル番号を使用した標準アップロード:http://www.ecurep.ibm.com/app/upload_hw
- セキュア・アップロード:http://www.ibm.com/de/support/ecurep/send_http.html#secure
- システムのシリアル番号を使用したセキュア・アップロード:
https://www.ecurep.ibm.com/app/upload_hw

個別設定したサポート Web ページの作成

目的の IBM 製品を特定して、個別設定したサポート Web ページを作成することができます。

個別設定したサポート Web ページを作成するには、<http://www.ibm.com/support/mynotifications> にアクセスします。この個別設定されたページから、新しい技術文書に関する E メール通知を毎週購読したり、情報およびダウンロードを検索したり、さまざまな管理サービスにアクセスしたりすることができます。

ソフトウェアのサービスとサポート

IBM サポート・ラインを使用すると、ご使用の IBM 製品の用法、構成、およびソフトウェアの問題について、電話によるサポートを有料で受けることができます。

サポート・ラインおよび各種の IBM サービスについて詳しくは、<http://www.ibm.com/services/> をご覧になるか、あるいは <http://www.ibm.com/planetwide/> でサポート電話番号をご覧ください。米国およびカナダの場合は、1-800-IBM-SERV (1-800-426-7378) に電話してください。

ハードウェアのサービスとサポート

ハードウェアの保守は、IBM 販売店か IBM サービスを通じて受けることができます。

IBM により許可された保証サービスを提供する販売店を見つけるには、<http://www.ibm.com/partnerworld/jp/> にアクセスしてから、ページの右サイドで「パートナーを探す」をクリックしてください。IBM サポートの電話番号については、<http://www.ibm.com/planetwide/> を参照してください。米国およびカナダの場合は、1-800-IBM-SERV (1-800-426-7378) に電話してください。

米国およびカナダでは、ハードウェア・サービスおよびサポートは、1 日 24 時間、週 7 日ご利用いただけます。英国では、これらのサービスは、月曜から金曜までの午前 9 時から午後 6 時までご利用いただけます。

特記事項

本書は米国 IBM が提供する製品およびサービスについて作成したものであり、本書に記載の製品、サービス、または機能が日本においては提供されていない場合があります。日本で利用可能な製品、サービス、および機能については、日本 IBM の営業担当員にお尋ねください。本書で IBM 製品、プログラム、またはサービスに言及していても、その IBM 製品、プログラム、またはサービスのみが使用可能であることを意味するものではありません。これらに代えて、IBM の知的所有権を侵害することのない、機能的に同等の製品、プログラム、またはサービスを使用することができます。ただし、IBM 以外の製品とプログラムの操作またはサービスの評価および検証は、お客様の責任で行っていただきます。

IBM は、本書に記載されている内容に関して特許権 (特許出願中のものを含む) を保有している場合があります。本書の提供は、お客様にこれらの特許権について実施権を許諾することを意味するものではありません。実施権についてのお問い合わせは、書面にて下記宛先にお送りください。

〒103-8510
東京都中央区日本橋箱崎町19番21号
日本アイ・ビー・エム株式会社
法務・知的財産
知的財産権ライセンス渉外

IBM およびその直接または間接の子会社は、本書を特定物として現存するままの状態を提供し、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任を負わないものとします。国または地域によっては、法律の強行規定により、保証責任の制限が禁じられる場合、強行規定の制限を受けるものとします。

この情報には、技術的に不適切な記述や誤植を含む場合があります。本書は定期的に見直され、必要な変更は本書の次版に組み込まれます。IBM は予告なしに、随時、この文書に記載されている製品またはプログラムに対して、改良または変更を行うことがあります。

本書において IBM 以外の Web サイトに言及している場合がありますが、便宜のため記載しただけであり、決してそれらの Web サイトを推奨するものではありません。それらの Web サイトにある資料は、この IBM 製品の資料の一部ではありません。それらの Web サイトは、お客様の責任でご使用ください。

IBM は、お客様が提供するいかなる情報も、お客様に対してなんら義務も負うことのない、自ら適切と信ずる方法で、使用もしくは配布することができるものとします。

商標

IBM、IBM ロゴおよび ibm.com は、世界の多くの国で登録された International Business Machines Corp. の商標です。他の製品名およびサービス名等は、それぞれ IBM または各社の商標である場合があります。

現時点での IBM の商標リストについては、<http://www.ibm.com/legal/us/en/copytrade.shtml> をご覧ください。

Adobe および PostScript は、Adobe Systems Incorporated の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Cell Broadband Engine, Cell/B.E は、米国およびその他の国における Sony Computer Entertainment, Inc. の商標であり、同社の許諾を受けて使用しています。

Intel、Intel Xeon、Itanium、および Pentium は、Intel Corporation の米国およびその他の国における商標です。

Java およびすべての Java 関連の商標およびロゴは Oracle やその関連会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Linux は、Linus Torvalds の米国およびその他の国における商標です。

Microsoft、Windows、および Windows NT は、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標です。

UNIX は、The Open Group の米国およびその他の国における登録商標です。

重要事項

プロセッサの速度とは、マイクロプロセッサの内蔵クロックの速度を意味しますが、他の要因もアプリケーション・パフォーマンスに影響します。

CD または DVD ドライブの速度は、変わる可能性のある読み取り速度を記載しています。実際の速度は記載された速度と異なる場合があります、最大可能な速度よりも遅いことがあります。

主記憶装置、実記憶域と仮想記憶域、またはチャネル転送量を表す場合、KB は 1024 バイト、MB は 1,048,576 バイト、GB は 1,073,741,824 バイトを意味します。

ハード・ディスクの容量、または通信ボリュームを表すとき、MB は 1,000,000 バイトを意味し、GB は 1,000,000,000 バイトを意味します。ユーザーがアクセス可能な総容量は、オペレーティング環境によって異なる可能性があります。

内蔵ハード・ディスクの最大容量は、IBM から入手可能な現在サポートされている最大のドライブを標準ハード・ディスクの代わりに使用し、すべてのハード・ディスク・ベイに取り付けることを想定しています。

最大メモリーは標準メモリーをオプション・メモリー・モジュールと取り替える必要があることもあります。

各ソリッド・ステート・メモリー・セルには、そのセルが耐えられる固有の有限数の組み込みサイクルがあります。したがって、ソリッド・ステート・デバイスには、可能な書き込みサイクルの最大数が決められています。これを「書き込み合計バイト数」(TBW) と呼びます。この制限を超えたデバイスは、システム生成コマンドに応答できなくなる可能性があり、また書き込み不能になる可能性があります。IBM は、正式に公開された仕様に文書化されているプログラム/消去のサイクルの最大保証回数を超えたデバイスについては責任を負いません。

IBM は、ServerProven® に登録されている他社製品およびサービスに関して、商品性、および特定目的適合性に関する黙示的な保証も含め、一切の保証責任を負いません。これらの製品は、第三者によってのみ提供および保証されます。

IBM は、他社製品に関して一切の保証責任を負いません。他社製品のサポートがある場合は、IBM ではなく第三者によって提供されます。

いくつかのソフトウェアは、その小売り版 (利用可能である場合) とは異なる場合があります。ユーザー・マニュアルまたはすべてのプログラム機能が含まれていない場合があります。

粒子汚染

重要: 浮遊微小粒子 (金属片や微粒子を含む) や反応性ガスは、単独で、あるいは湿気や気温など他の環境要因と組み合わせられることで、本書に記載されている装置にリスクをもたらす可能性があります。

過度のレベルの微粒子や高濃度の有害ガスによって発生するリスクの中には、装置の誤動作や完全な機能停止の原因となり得る損傷も含まれます。以下の仕様では、このような損傷を防止するために設定された微粒子とガスの制限について説明しています。以下の制限を、絶対的な制限としてみなしたり、使用したりしてはなりません。微粒子や環境腐食物質、ガスの汚染物質移動が及ぼす影響の度合いは、温度や空気中の湿気など他の多くの要因によって左右されるからです。本書で説明されている具体的な制限がない場合は、人体の健康と安全の保護を脅かすことのない微粒子とガスのレベルを維持するよう、実践していく必要があります。お客様の環境の微粒子あるいはガスのレベルが装置損傷の原因であると IBM が判断した場合、IBM は、装置または部品の修理あるいは交換の条件として、かかる環境汚染を改善する適切な是正措置の実施を求める場合があります。かかる是正措置は、お客様の責任で実施していただきます。

表 20. 微粒子およびガスの制限

汚染物質	制限
微粒子	- 室内の空気は、ASHRAE Standard 52.2 に従い、大気粉塵が 40% のスポット効率で継続してフィルタリングされなければならない (MERV 9 準拠) ¹。 - データ・センターに取り入れる空気は、MIL-STD-282 に準拠する HEPA フィルターを使用し、99.97% 以上の粒子捕集率効果のあるフィルタリングが実施されなければならない。 - 粒子汚染の潮解相対湿度は、60% を超えていなければならない ²。 - 室内には、亜鉛ウィスカーのような導電性汚染があってはならない。

表 20. 微粒子およびガスの制限 (続き)

汚染物質	制限
ガス	- 銅: ANSI/ISA 71.04-1985 準拠の Class G1 ³ - 銀: 腐食率は 30 日間で 300 Å 未満
¹ ASHRAE 52.2-2008 - 一般的な換気および空気清浄機器について、微粒子の大きさごとの除去効率をテストする方法。Atlanta: American Society of Heating, Refrigerating and Air-Conditioning Engineers, Inc.	
² 粒子汚染の潮解相対湿度とは、水分を吸収した塵埃が、十分に濡れてイオン導電性を持つようになる湿度のことです。	
³ ANSI/ISA-71.04-1985。プロセス計測およびシステム制御のための環境条件: 気中浮遊汚染物質。Instrument Society of America, Research Triangle Park, North Carolina, U.S.A.	

通信規制の注記

This product is not intended to be connected directly or indirectly by any means whatsoever to interfaces of public telecommunications networks.

本製品は、電気通信事業者の通信回線への直接、またはそれに準ずる方法での接続を目的とするものではありません。

電波障害自主規制特記事項

この装置にモニターを接続する場合は、モニターに付属の指定のモニター・ケーブルおよび電波障害抑制装置を使用してください。

Federal Communications Commission (FCC) statement

Note: This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class A digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference when the equipment is operated in a commercial environment. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instruction manual, may cause harmful interference to radio communications. Operation of this equipment in a residential area is likely to cause harmful interference, in which case the user will be required to correct the interference at his own expense.

Properly shielded and grounded cables and connectors must be used in order to meet FCC emission limits. IBM is not responsible for any radio or television interference caused by using other than recommended cables and connectors or by unauthorized changes or modifications to this equipment. Unauthorized changes or modifications could void the user's authority to operate the equipment.

This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) this device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that might cause undesired operation.

Industry Canada Class A emission compliance statement

This Class A digital apparatus complies with Canadian ICES-003.

Avis de conformité à la réglementation d'Industrie Canada

Cet appareil numérique de la classe A est conforme à la norme NMB-003 du Canada.

Australia and New Zealand Class A statement

Attention: This is a Class A product. In a domestic environment this product may cause radio interference in which case the user may be required to take adequate measures.

European Union EMC Directive conformance statement

This product is in conformity with the protection requirements of EU Council Directive 2004/108/EC on the approximation of the laws of the Member States relating to electromagnetic compatibility. IBM cannot accept responsibility for any failure to satisfy the protection requirements resulting from a nonrecommended modification of the product, including the fitting of non-IBM option cards.

Attention: This is an EN 55022 Class A product. In a domestic environment this product may cause radio interference in which case the user may be required to take adequate measures.

Responsible manufacturer:

International Business Machines Corp.
New Orchard Road
Armonk, New York 10504
914-499-1900

European Community contact:

IBM Deutschland GmbH
Technical Regulations, Department M372
IBM-Allee 1, 71139 Ehningen, Germany
Telephone: +49 7032 15 2941
Email: lugi@de.ibm.com

Germany Class A statement

Deutschsprachiger EU Hinweis: Hinweis für Geräte der Klasse A EU-Richtlinie zur Elektromagnetischen Verträglichkeit

Dieses Produkt entspricht den Schutzanforderungen der EU-Richtlinie 2004/108/EG zur Angleichung der Rechtsvorschriften über die elektromagnetische Verträglichkeit in den EU-Mitgliedsstaaten und hält die Grenzwerte der EN 55022 Klasse A ein.

Um dieses sicherzustellen, sind die Geräte wie in den Handbüchern beschrieben zu installieren und zu betreiben. Des Weiteren dürfen auch nur von der IBM empfohlene Kabel angeschlossen werden. IBM übernimmt keine Verantwortung für die Einhaltung der Schutzanforderungen, wenn das Produkt ohne Zustimmung der IBM verändert bzw. wenn Erweiterungskomponenten von Fremdherstellern ohne Empfehlung der IBM gesteckt/eingebaut werden.

EN 55022 Klasse A Geräte müssen mit folgendem Warnhinweis versehen werden:

"Warnung: Dieses ist eine Einrichtung der Klasse A. Diese Einrichtung kann im Wohnbereich Funk-Störungen verursachen; in diesem Fall kann vom Betreiber verlangt werden, angemessene Maßnahmen zu ergreifen und dafür aufzukommen."

Deutschland: Einhaltung des Gesetzes über die elektromagnetische Verträglichkeit von Geräten

Dieses Produkt entspricht dem "Gesetz über die elektromagnetische Verträglichkeit von Geräten (EMVG)". Dies ist die Umsetzung der EU-Richtlinie 2004/108/EG in der Bundesrepublik Deutschland.

Zulassungsbescheinigung laut dem Deutschen Gesetz über die elektromagnetische Verträglichkeit von Geräten (EMVG) (bzw. der EMC EG Richtlinie 2004/108/EG) für Geräte der Klasse A

Dieses Gerät ist berechtigt, in Übereinstimmung mit dem Deutschen EMVG das EG-Konformitätszeichen - CE - zu führen.

Verantwortlich für die Einhaltung der EMV Vorschriften ist der Hersteller:

International Business Machines Corp.
New Orchard Road
Armonk, New York 10504
914-499-1900

Der verantwortliche Ansprechpartner des Herstellers in der EU ist:

IBM Deutschland GmbH
Technical Regulations, Abteilung M372
IBM-Allee 1, 71139 Ehningen, Germany
Telephone: +49 7032 15 2941
Email: lugi@de.ibm.com

Generelle Informationen:

Das Gerät erfüllt die Schutzanforderungen nach EN 55024 und EN 55022 Klasse A.

VCCI クラス A 情報技術装置

この装置は、クラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用する
と電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策
を講ずるよう要求されることがあります。 VCCI-A

電子情報技術産業協会 (JEITA) 表示

高調波ガイドライン準用品

電子情報技術産業協会 (JEITA) 承認済み (変更付き) 高調波指針 (1 相当たりの入
力電流が 20 A より大きい機器)

Korea Communications Commission (KCC) statement

이 기기는 업무용(A급)으로 전자파적합기기로서 판매자 또는 사용자는 이 점을 주의하시기
바라며, 가정외의 지역에서 사용하는 것을 목
적으로 합니다.

This is electromagnetic wave compatibility equipment for business (Type A). Sellers
and users need to pay attention to it. This is for any areas other than home.

Russia Electromagnetic Interference (EMI) Class A statement

ВНИМАНИЕ! Настоящее изделие относится к классу А.
В жилых помещениях оно может создавать радиопомехи, для
снижения которых необходимы дополнительные меры

People's Republic of China Class A electronic emission statement

声 明

此为 A 级产品。在生活环境中，该产品可能会造成无线电干扰。在这种情况下，可能需要用户对其干扰采取切实可行的措施。

Taiwan Class A compliance statement

警告使用者：
這是甲類的資訊產品，在居住的環境中使用時，可能會造成射頻干擾，在這種情況下，使用者會被要求採取某些適當的對策。

索引

日本語, 数字, 英字, 特殊文字の順に配列されています。なお, 濁音と半濁音は清音と同等に扱われています。

【ア行】

アウト・オブ・バンド 347
アダプター
 再取り付け 403
 リモート・バッテリー
 取り外し 436
 取り付け 438
 PCI Express バス 403
 PCI-X バス 403
アダプターの取り付け 404
安全、点検 ix
安全カバー
 取り外し 465
 取り付け 466
安全と注意 6
安全に関する注意書き vii, xi
イーサネット
 コントローラー
 トラブルシューティング 349
 システム管理コネクタ 14
 リンク状況 LED 14
イーサネット活動
 LED 11, 14
イーサネット・コネクタ 14
イーサネット・コントローラーの構成 486
一般
 問題 310
イベント・ログ 28
イベント・ログ、システム 28
イベント・ログ、表示の方式 30
イベント・ログ、POST 28
エラー
 フォーマット、診断コード 271
 DC パワー・サプライ LED 341
エラー現象
 一般 310
 オプション装置 321
 キーボード、非 USB 315
 偶発的 313
 シリアル・ポート 326
 ソフトウェア 328
 電源 323
 ハード・ディスク 310

エラー現象 (続き)
 ハイパーバイザー・フラッシュ装置 313
 ビデオ 329
 ポインティング・デバイス、非 USB 315
 マイクロプロセッサ 318
 マウス、非 USB 315
 メモリー 316
 モニター 318
 DVD ドライブ 309
 ServerGuide 327
 USB ポート 328
エラー・コードとメッセージ
 診断 272
 メッセージ、診断 270
 IMM 32
 POST 252
エラー・メッセージ 32
エラー・ログ
 消去 31
 表示 29
お客様交換可能ユニット (CRU) 353
汚染、微粒子およびガス 8
汚染、粒子およびガス 525
オプション装置の問題 321
オプションの光学式ドライブ仕様 8
オペレーター情報パネル
 コントロールおよび LED 11
 取り外し 462
 取り付け 463
オペレーター情報パネル・リリース・ラッチ 10
オペレーティング・システム・イベント・ログ 28, 30
オンライン資料 5

【カ行】

ガイドライン
 オプションの取り付け 367
 システム信頼性 369
 電気機器の保守 x
 トレーニングを受けたサービス技術員 ix
概要 5
拡張ベイ 8
格納装置管理ハートビート
 LED 343
ガス汚染 8, 525

カスタム・サポート Web ページ 521
仮想メディア・キー
 取り付け 430
カバー
 取り外し 376
 取り付け 377
環境 8
管理者
 パスワード 500
管理者パスワード 493
キー、仮想メディア
 取り付け 430
キーボードの問題 315
機械コードのご使用条件 5
危険の注記 6
機能 8
 ServerGuide 489
偶発的
 問題 313
組み込みハイパーバイザー
 使用 505
グリース、熱伝導 475
ケーブル接続
 内部配線 371
検索
 更新された資料 5
現場交換可能ユニット (FRU) 353
光学式ドライブ・ベイ
 取り外し 446
 取り付け 447
交換部品 353
更新
 サーバー・ファームウェア 470
 汎用固有 ID (UUID) 512
 DMI/SMBIOS データ 515
 IBM Systems Director 511
 Systems Director, IBM 511
構成
 情報 485
 手順 485
 Nx ブート障害 348
 ServerGuide Setup and Installation CD 485
 ServerGuide で 490
 Setup ユーティリティ 485
構成プログラム
 LSI Configuration ユーティリティ 486
コネクタ
 イーサネット 14
 イーサネット・システム管理 14

コネクタ (続き)
オプション 25
外部 20
シリアル 14
内部 20
内部ケーブルのルーティング 371
背面 14
パワー・サプライ 14
ビデオ
 前面 10
 背面 14
USB 10, 14
個別設定したサポート Web ページの作成 521
コントローラー
 イーサネット 507
コントロールおよび LED
 オペレーター情報パネル 11
 Light Path 診断パネル 13
コンポーネント
 サーバー 353

[サ行]

サーバー
 電源オンのサーバー内部での作業 370
 電源機能 17
サーバー、バックアップ・ファームウェア
 始動 500
サーバーの交換可能部品 353
サーバーの構成 485
サーバーの電源をオフにする 18
 ベースボード管理コントローラー 18
サーバーの内部での作業
 電源オン 370
サーバー・コンポーネント 353
サーバー・ファームウェア
 更新 470
サーバー・ファームウェアのリカバリー 344
サービスおよびサポート
 依頼する前に 519
 ソフトウェア 521
 ハードウェア 521
サイズ 8
再取り付け
 コンポーネント 367
 消耗部品 375
 バッテリー、システム 439, 442
 DVD ドライブ 397
 SAS/SATA バックプレーン 456
 SATA バックプレート・アセンブリ 459
 Tier 1 CRU 375
作成
 RAID アレイ 510
サポート Web ページ、カスタム 521
サポート、入手 519
事項、重要 524
システム
 エラー LED (前面) 11
 システム・エラー LED
 背面 14
 情報 LED 11
 ロケータ LED (前面) 11
システム管理
 イーサネット・コネクタ 14
システムの信頼性に関するガイドライン 369
システム・イベント・ログ 28, 29, 32
システム・イベント・ログ、Assertion イベント 28
システム・イベント・ログ、Deassertion イベント 28
システム・パルス LED 343
システム・ボード
 始動パスワード・スイッチ 498
 スイッチとジャンパー 21
 取り外し 478
 取り付け 481
 内部コネクタ 20
システム・ボード LED 25
システム・ロケータ
 LED
 背面 14
室温 8
湿度 8
質量 8
始動
 サーバー・ファームウェア 500
 LSI Configuration ユーティリティ・プログラム 509
 Setup ユーティリティ 492
始動パスワード 493
自動ブート失敗リカバリー (ABR) 347
シャットダウン 18
ジャンパー
 UEFI ブート・リカバリー 344
重要な注 6
重要な注記 6, 524
取得
 IMM 用 IP アドレス 504
仕様 8
使用
 組み込みハイパーバイザー 505
 統合管理モジュール 501
 リモート・プレゼンス機能 503
IMM 501
LSI Configuration ユーティリティ・プログラム 507
Setup ユーティリティ 492
使用可能化 504

商標 524
消耗部品 359
シリアルおよびモデル番号
 ロケーション 351
シリアル番号 5
シリアル・コネクタ 14
シリアル・ポートの問題 326
資料 5
 オンライン (online) 5
 更新 5
 プロダクト・データ 5
資料、更新された
 検索 5
新磁気ディスク制御機構 (RAID)
 アダプタ 392
診断 27
 イベント・ログ 27
 エラー・コード 27, 272
オンボード・プログラム、開始 270
ツール、概要 27
テキスト・メッセージ書式 271
テスト・ログ、表示 271
プログラム、概要 270
POST エラー・コードおよびイベン
 ト・ログ 27
シンプル・スワップ SATA ディスク (2.5
 型)、取り付け 395
シンプル・スワップ SATA バックプレー
 ト・アセンブリ
 再取り付け 459
 取り付け 460
シンプル・スワップ、SATA ハード・デ
 ィスク
 取り外し 394
シンプル・スワップ前面図
 LED の位置 10
シンプル・スワップ・ドライブ
 SATA ID 397
スイッチとジャンパー
 システム・ボード 21
スイッチ・ブロック
 システム・ボード 21
スタンバイ・モード 17
スロット
 PCI 拡張 8
寸法 8
静電気に弱い装置
 取り扱い 370
静電気に弱い装置の取り扱い 370
装置、静電気の影響を受けやすい
 取り扱い 370
ソフトウェアのサービスおよびサポートの
 電話番号 521
ソフトウェアの問題 328

[タ行]

チェックアウト手順 306
 実行 307
チェックポイント・コード 27
チェックポイント・コード・ディスプレイ
 Light Path 診断パネル・ディスプレイ 329
注 6
注意の注記 6
注記 6, 523
 electronic emission 526
 FCC, Class A 526
ツール、診断 27
通信規制の注記 526
粒子汚染 8, 525
データ収集 1
データの収集 1
ディスプレイの問題 318
手順、チェックアウト 307
テスト・ログ、表示 271
電気機器、保守 x
電気機器の保守 x
電源
 サーバー 17
 サプライ 8
 仕様 8
 電源制御ボタン 11
 パワーオン LED 17
点検、安全 ix
電源オン、サーバー内部での作業 370
電源コード 366
電源入力 8
電源の問題 323, 348
電源をオンにする、サーバーの 18
電子情報技術産業協会表示 529
電磁波放出 Class A の注記 526
電話番号 521
統合管理モジュール
 イベント・ログ 28, 30
 エラー・メッセージ 32
 使用 501
 LED 343
統合管理モジュール・プログラム 486
ドライブ、DVD
 取り外し 448
 取り付け 450
取り外し
 アダプター 403
 安全カバー 465
 オペレーター情報パネル 462
 仮想メディア・キー 429
 光学式ドライブ・ベイ 446
 コンポーネント 367
 システム・ボード 478

取り外し (続き)

 シンプル・スワップ SATA バックブ
 レート・アセンブリー 459
 ハード・ディスク 391
 ハイパーバイザー 427
 バッテリー、システム 439
 ヒートシンク 467
 ヒートシンク保持モジュール 476
 ベゼル 444
 ホット・スワップ AC パワー・サブ
 ライ 422
 ホット・スワップ SAS/SATA バック
 プレーン 456
 ホット・スワップ・ファン 419
 マイクロプロセッサ 467
 マイクロプロセッサ 2 エアー・バッ
 フル 378
 2 ポート・イーサネット・アダプター
 431
 DIMM 382
 DIMM エアー・バッフル 380
 DVD ケーブル 448
 DVD ドライブ 397
 PCI ライザー・カード・アセンブリー
 452
 PCI ライザー・カード・ブラケット
 454
 RAID アダプター・リモート・バッテ
 リー 436
 RAID コントローラー 410, 412
 SAS/SATA コントローラー 410, 412
 ServeRAID アダプター拡張機能キー
 415

取り付け

 安全カバー 466
 オペレーター情報パネル 463
 仮想メディア・キー 430
 カバー 377
 光学式ドライブ・ベイ 447
 システム・ボード 481
 シンプル・スワップ SATA バックブ
 レート・アセンブリー 460
 ハード・ディスク 392
 ハイパーバイザー・フラッシュ装置
 428
 バッテリー、システム 442
 ヒートシンク 470
 ヒートシンク保持モジュール 477
 ベゼル 445
 ホット・スワップ AC パワー・サブ
 ライ 424
 ホット・スワップ SAS/SATA バック
 プレーン 457
 ホット・スワップ・ファン 421
 マイクロプロセッサ 470

取り付け (続き)

 マイクロプロセッサ 2 エアー・バッ
 フル 379
 2 ポート・イーサネット・アダプター
 432
 2.5 型シンプル・スワップ SATA ハー
 ド・ディスク 395
 2.5 型ホット・スワップ・ハード・デ
 ィスク 392
 DIMM 383, 390
 DIMM エアー・バッフル 381
 DVD ケーブル 450
 DVD ドライブ 399
 PCI ライザー・カード・アセンブリー
 453
 PCI ライザー・カード・ブラケット
 455
 RAID アダプター・リモート・バッテ
 リー 438
 ServeRAID アダプター拡張機能キー
 417
取り付けのガイドライン 367
トレーニングを受けたサービス技術員、ガ
イドライン ix

[ナ行]

内蔵機能 8
内部ケーブルのルーティング 371
内部コネクタ 19, 20
熱伝導グリース 475

[ハ行]

ハードウェア、構成 486
ハードウェアの構成 486
ハードウェアのサービスおよびサポートの
 電話番号 521
ハード・ディスク
 シンプル・スワップ SATA 394
 取り外し 391
 取り付け 392
 フォーマット 509
 ホット・スワップ SATA 391
 問題 310
 SAS 391
 SCSI 391
ハード・ディスク (SATA)、取り付け (シ
ンプル・スワップ 2.5 型) 395
ハード・ディスク、取り付け (ホット・ス
ワップ 2.5 型) 392
ハード・ディスク活動
 LED 11
ハード・ディスク活動 LED 10
ハード・ディスク状況 LED 10

ハイパーバイザー・フラッシュ装置
 取り付け 428
 問題 313
背面図 14
パスワード 497
 管理者 497
 パワーオン 497
パスワード、始動
 スイッチ、システム・ボード上の 498
バックプレーン、ホット・スワップ
 SAS/SATA
 取り外し 456
バックプレーン・アセンブリー、 ホット・スワップ SAS/SATA
 取り外し 459
バッテリー、交換 442
バッテリー、システム
 再取り付け 439
 取り付け 442
発熱量 8
パワーオン
 LED
 背面 14
パワーオン LED 11
パワー・サプライ
 AC 422, 424
 取り外し 422
 取り付け 424
 LED 339
パワー・サプライ LED 339
 AC 340
ヒートシンク
 取り外し 467
 取り付け 470
ヒートシンク保持モジュール
 取り外し 476
 取り付け 477
ビデオの問題 318
ビデオ・コネクター
 前面 10
 背面 14
ビデオ・コントローラー、内蔵
 仕様 8
表示、イベント・ログの 30
表示域
 Light Path 診断パネル 329
表明イベント、システム・イベント・ログ 28
表明解除イベント、システム・イベント・ログ 28
ブート・マネージャー・プログラム 486, 500
ファームウェア
 更新 5
ファームウェア、更新 485

ファームウェア、サーバー
 始動 500
ファームウェア、サーバー、更新 470
ファームウェア、サーバー、リカバリー 344
ファームウェアの更新 5, 367, 485
ファン
 再取り付け 419, 421
フォーマット
 ハード・ディスク 509
部品、消耗 359
部品リスト 353
ブルー・スクリーン・キャプチャー機能
 概要 503
プレゼンス検出ボタン 11
文書化されていない問題 4
ベースボード管理コントローラー 18
ベイ 8
米国 FCC Class A の注記 526
ベゼル
 取り外し 444
 取り付け 445
ヘルプ
 ソース 519
 IBM への診断データの送信 520
 WWW から 520
返却
 コンポーネント 371
 デバイス 371
方式 347
方式、イベント・ログの表示 30
放出音響ノイズ 8
保持モジュール、ヒートシンク
 取り外し 476
 取り付け 477
ボタン、プレゼンス検出 11
ホット・スワップ
 ファン、交換 419, 421
ホット・スワップ AC パワー・サプライ 422, 424
 取り外し 422
 取り付け 424
ホット・スワップ SAS/SATA バックプレーン
 再取り付け 456
 取り付け 457
ホット・スワップ・ディスク・ドライブ、2.5 型の取り付け 392
ホット・スワップ・ドライブ
 SAS/SATA ID 393

[マ行]

マイクロプロセッサ
 仕様 8
 取り外し 467

マイクロプロセッサ (続き)
 取り付け 470
 問題 318
マイクロプロセッサ 2 エアー・バッフル
 取り外し 378
 取り付け 379
未解決問題 350
ミラーリング・モード 387
メッセージ
 診断 270
メッセージ、エラー
 POST 252
メニュー選択
 Setup ユーティリティ 493
メモリー
 仕様 8
 取り外し 382
 two-DIMM-per-channel (2DPC) 383
メモリー Online-spares
 説明 389
メモリーの取り付け順序
 非ミラーリング・モード 386
メモリーの問題 316
メモリー・ミラーリング
 説明 387
 DIMM 取り付け順序 387, 389
モデルおよび製造番号
 ロケーション 351
モニターの問題 318
問題
 イーサネット・コントローラー 349
 一般 310
 オプション装置 321
 偶発的 313
 シリアル・ポート 326
 ソフトウェア 328
 電源 323, 348
 ハード・ディスク 310
 ハイパーバイザー・フラッシュ装置 313
 ビデオ 318, 329
 ポインティング・デバイス 315
 マイクロプロセッサ 318
 マウス 315
 未解決 350
 メモリー 316
 モニター 318
 DVD ドライブ 309
 IMM 32
 USB ポート 328
問題判別表 308

[ヤ行]

ユーティリティ
Setup 492
ユーティリティ、セットアップ 486
ユーティリティ・プログラム
IBM Advanced Settings 510

[ラ行]

ライザー・カード
コネクタの位置 20
ライザー・カード・アセンブリ
ロケーション 403
ラック・リリース・ラッチ 10
リカバリー CD 360
リセット・ボタン 13, 329
リマインド・ボタン 13, 329
リモート・バッテリー、RAID アダプター
取り外し 436
取り付け 438
リモート・プレゼンス機能 504
使用 503
リモート・プレゼンスのサポート 486
レガシー・オペレーティング・システム
要件 490
レガシー・オペレーティング・システムを
インストールする前に 490
ログオン 505

A

ABR、自動ブート失敗リカバリー 347
AC 正常 LED 340
AC 電源 LED 14
AC パワー・サプライ 422, 424
ASM イベント・ログ 28, 30
Australia Class A statement 527

B

Broadcom Gigabit Ethernet ユーティリ
ティー・プログラム
使用可能化 507

C

Canada Class A electronic emission
statement 527
CD
リカバリー 360
China Class A electronic emission
statement 530
Class A 電磁波放出の注記 526

CRU、交換
アダプター 403
カバー 377
システム・バッテリー 439
メモリー 382
DIMM 382
DVD ドライブ 397

D

DC 正常 LED 340
DC 電源 LED 14
DC パワー・サプライ LED エラー 341
DIMM
取り外し 382
取り付け 383, 390
取り付けの順序、非ミラーリング・モ
ード 386
DIMM エアー・バッフル
取り外し 380
取り付け 381
DIMM の取り付け順序
メモリー・ミラーリング 387, 389
DSA ログ 28, 30
DSA、IBM へのデータの送信 520
DVD
イジェクト・ボタン 10
ドライブ活動 LED 10
DVD ドライブ
再取り付け 397
取り外し 448
取り付け 399, 450
問題 309
DVD ドライブ、取り付け 399

E

European Union EMC Directive
conformance statement 527

F

FCC Class A notice 526

G

Germany Class A statement 528

I

IBM Advanced Settings ユーティリテ
ィー・プログラム
概要 510

IBM Systems Director
更新 511
IBM への診断データの送信 520
IMM 486, 501
エラー・メッセージ 32
IMM web インターフェース 505
IMM ハートビート
LED 343
IN OK LED 341
IN OK 電源 LED 14
IP アドレス
取得、IMM 用 504
IPMI イベント・ログ 28, 30
IPMITool 30

J

JEITA 表示 529

K

Korea Class A electronic emission
statement 529

L

LED
イーサネット活動 11
イーサネット活動用 14
イーサネット・リンク状況 14
格納装置管理ハートビート 343
システム情報 11
システム・エラー 11
背面 14
システム・ロケーター 11
背面 14
統合管理モジュール 343
ハード・ディスク活動 10, 11
ハード・ディスク状況 10
パワーオン 11
背面 14
パワー・サプライ 339, 340
パワー・サプライ・エラー
背面 14
ロケーション 10
AC 電源 14
DC 電源 14
DVD ドライブ活動 10
IMM ハートビート 343
IN OK 電源 14
OUT OK 電源 14
LED エラー
DC パワー・サプライ 341
LED、システム・パルス 343
Licenses and Attributions Documents 5

Light Path 診断 329
 パネル 329
 LED 332
Light Path 診断 LED 332
Light Path 診断パネル
 コントロールおよび LED 13
 チェックポイント・コード・ディスプレイ 329
 NMI ボタン 13, 329
Light Path 診断パネル・ディスプレイ
 チェックポイント・コード 329
Light パネル診断パネル
 ロケーション 10
LSI Configuration ユーティリティ・プログラム
 始動 509
 使用 507

N

New Zealand Class A statement 527
NMI ボタン
 Light Path 診断パネル 329
 Light Path 診断パネル上 13
NOS インストール
 ServerGuide 491
 ServerGuide を使用しないで 491
Nx ブート障害 348

O

Online-spare モード 389
OUT OK LED 341
OUT OK 電源 LED 14

P

PCI
 スロット 1 14
 スロット 2 14
 ライザー・カード・アセンブリー 452, 453
 ライザー・カード・ブラケット 454
PCI 拡張スロット 8
PCI ライザー・カード・アセンブリー
 取り外し 452
 取り付け 453
PCI ライザー・カード・ブラケット
 取り付け 455
PCI ライザー・スロット
 インストール構成 404
 サポートされる構成 404
People's Republic of China Class A
 electronic emission statement 530
POST 252

POST (続き)
 エラー・コード 252
 エラー・ログ 29
POST イベント・ログ 28

R

RAID
 ライザー・カード・アセンブリー 408, 409
RAID アレイ
 作成 510
RAID コントローラー
 取り外し 410, 412
Russia Class A electronic emission
 statement 529

S

safety vii
Safety Information 6
SAS/SATA
 ホット・スワップ・ドライブの ID 393
SAS/SATA コントローラー
 取り外し 410, 412
 ハイパーバイザー 427
SAS/SATA ホット・スワップ・ドライブ用の ID 393
SATA
 シンプル・スワップ・ドライブ用の ID 397
SATA シンプル・スワップ・ドライブ用の ID 397
ServeRAID アダプター
 取り外し 410, 412
ServeRAID アダプター拡張機能キー
 取り付け 417
 ハイパーバイザー 415
ServerGuide
 機能 489
 使用 488
 セットアップ 490
 NOS インストール 491
 Setup and Installation CD 485
ServerGuide CD 5
Setup ユーティリティ 485, 486, 492
 始動 492
 使用 492
 メニュー選択 493
SW3 スイッチ・ブロックの説明 21
SW4 スイッチ・ブロックの説明 21

T

Taiwan Class A electronic emission
 statement 530
TOE 8
two-DIMM-per-channel (2DPC)
 要件 383

U

UEFI
 ブート・リカバリー・ジャンパー 344
Universal Serial Bus (USB) の問題 328
UpdateXpress 485
USB
 コネクター 10, 14

V

VCCI クラス A 情報技術装置 529
VMware ハイパーバイザーのサポート 486

W

Wake on LAN 機能 18
Web サイト
 UEFI フラッシュ・ディスク 344



部品番号: 00AK759

Printed in Japan

(1P) P/N: 00AK759



日本アイ・ビー・エム株式会社

〒103-8510 東京都中央区日本橋箱崎町19-21